

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第108集

高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡

平成6～8年度 磐田原パーキングエリア移設事業に伴う
埋蔵文化財調査報告書

1998

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡 正誤表

下記の箇所にごりがありましたので、恐れ入りますが訂正させていただきますようお願いいたします。

		誤	正
表紙		平成6～8年度	平成6～9年度
中表紙		平成6～8年度	平成6～9年度
例言	下から15行目	加藤芳鑑	加藤芳朗
P20	上から14行目	加藤芳鑑	加藤芳朗
"	下から13行目	加藤芳鑑	加藤芳朗
P336	下から5行目	懸けた	贈けた
抄録	上から7行目	編集趣旨	編集機関

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第108集

高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡

平成6～8年度 磐田原パーキングエリア移設事業に伴う
埋蔵文化財調査報告書

1998

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所



高見丘Ⅲ遺跡ブロック4出土石器



高見丘Ⅳ遺跡礫群20

序

磐田原台地上がってみると、緩やかな起伏に沿って茶畑が延々と続いている。西に天竜川を見下ろす向こうには浜松市街を一望できる。東にトンボの楽園で知られる桶ヶ谷沼、北に南アルプス連山、南には雄大な太平洋が控える。のどかな光景が広がる反面、冬には、風物詩となっている猛烈な遠州の空っ風にみまわれる。自然豊かなこの台地が本格的に開墾されたのは、明治時代に入ってからであるが、人々が住み始めたのは、遙か旧石器時代までさかのぼる。

磐田原台地は、国指定史跡の鏡子塚古墳や、最古型式の前方後円墳である新豊院山古墳など、600基に及ぶ古墳で知られているが、同時に、旧石器時代の遺跡が多い地域としても有名である。磐田市の寺谷遺跡、豊田町の広野北遺跡などは、旧石器時代の集落研究で輝かしい足跡を残している。近年では磐田市の匂坂中遺跡で、8万㎡という広大な範囲を発掘調査して、旧石器時代の集落の全貌を明らかにしている。

この度、当研究所では、東名高速道路の磐田原パーキングエリアの移設に伴って高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡を調査した。2万5千㎡に及ぶ調査によって、百数十基の礫群や30ヶ所を越える石器ブロックを検出した。石器の数を遙かに超える礫群の評価は、集落の復原にあたって重要な課題を与えている。また、全国的に貴重な資料である、旧石器時代の土坑も10基検出した。中には現代の鉄製のスコップも歯が立たない硬い土層を掘り抜いて、深さ2m近くに達するものがあり、金属を持たない当時の人々が、これに費やしたたくましい労力は、我々現代人の想像を超える。また、精緻な調査の成果もあって、炭化物の集中域も10ヶ所以上検出でき、当時の火気の種類や遺跡の年代測定に重要な資料となった。

現地調査の多大な成果を受けた整理作業はかなり難行した。遺跡の上層堆積の悪化故、複数時期にわたる遺物が同一面でも出土しており、これらを時期ごとに分類するためには、複雑な資料操作の必要があった。しかし、その結果、浅い谷を望む微高地上に居住域をかまえ、居住域を離れたところには動物を捕る落とし穴と思われる穴が掘ってある、このような集落が台地上に展開している様子を浮かび上がらせることができた。また、今回の調査では、礫群を2基、研究・展示用に復原した。そのうち1基は、現地で地面ごと切り取り、出土したそのままの状態での保存処理をした。埋蔵文化財の活用方法が見直されている現在、新しい活用方法も模索していく必要を切に感じる。

最後になったが、調査、並びに本書の作成に当たっては、日本道路公団をはじめとした関係諸機関、各位に多大なる援助・協力を受けた。厚く御礼申し上げる。また、この場をお借りして、現地調査、資料整理に参加した調査員、作業員の労をねぎらいたい。

平成10年3月

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所
所長 齋藤 忠

例 言

- 1 本書は静岡県磐田郡豊田町高見丘に所在する高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 調査は、平成5年度に実施した確認調査の結果を受け、平成6年度、磐田原パーキングエリア移設に伴う埋蔵文化財発掘調査業務として、日本道路公団焼津工事事務所の委託を受け、静岡県教育委員会文化課の指導のもと、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所が平成6年12月から平成8年8月まで現地調査を実施した。
- 3 高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の資料整理は平成8年9月から平成10年3月まで実施した。
- 4 調査体制は以下の通りである。

平成6年度（本調査）
所長 齋藤 忠 常務理事 鈴木 勲 調査研究部長 小崎章男 調査研究三課長 渡瀬 治
調査員 鈴木一行 清水尚（豊田町から派遣）、坪井敏之（豊田町から派遣）
平成7年度（本調査）
所長 齋藤 忠 常務理事 三村田 昌昭 調査研究部長 小崎章男 調査研究三課長 渡瀬 治
調査員 佐藤清隆、清水尚（豊田町から派遣）、宮崎覚、柴田 睦、富樫孝志、丸杉俊一郎
平成8年度（本調査、資料整理）
所長 齋藤 忠 常務理事 三村田 昌昭 調査研究部長 石垣英夫 調査研究三課長 渡瀬 治
調査員 佐藤清隆、宮崎覚（8月まで）、富樫孝志、丸杉俊一郎（8月まで）
平成9年度
所長 齋藤 忠 常務理事 三村田 昌昭 調査研究部長 石垣英夫 調査研究三課長 渡瀬 治
調査員 富樫孝志
- 5 遺物の取り上げ、旧地形の記録、遺物のデータ処理、台帳管理には（株）コンピュータシステムの「SITE」を使用した。
- 6 石器実測には（株）シン技術コンサルによる、石器実測用スリット写真を使用した。
- 7 地形測量の一部は（株）フジヤマに委託した。
- 8 現地調査、整理作業においては次の方々に御指導、玉稿を賜った、厚くお礼申し上げる。

調査・整理方法	京都文化博物館	鈴木忠司
土層・地形	静岡大学名誉教授	加藤芳郎
石材鑑定	静岡大学名誉教授	伊藤通玄
火山灰分析	山梨文化財研究所	河西 学
熱残留磁気測定	姫路工業大学	森永速男
	京都文化博物館	山下秀樹
黒曜石産地同定	沼津工業高等専門学校	望月明彦
放射性炭素年代測定	株式会社	古環境研究所
- 9 調査では、次の方々に御教示をいただいた。厚くお礼申し上げる（五十音順）。
安藤寛、伊藤健、稲田孝司、牛嶋茂、織笠 昭、織笠明子、川口安曇、木村弘之、佐口節司、白石浩之、進藤貴和子、鈴木次郎、諏訪岡順、竹内直文、保坂康之、松井一明、室内美香、向坂鋼二、山崎克巳
- 10 本書の執筆は次の通りである。
第Ⅱ章・第Ⅲ章第2節…渡瀬、第Ⅲ章第3節…佐藤、その他特記のない限りは富樫が執筆した。
- 11 本書の編集は、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所が行った。
- 12 発掘資料は、すべて財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所が保管している。

凡 例

本書の記載は以下の基準に従って統一をはかった。

- 1 調査区の方眼設定は国家座標（平面直角座標体系）を基準として国家座標（X = -139240、Y = -60350）を起点とした。
- 2 石器の器種の略号は次の通りである。
Po…尖頭器、Kn…ナイフ形石器、Sc…スクレイパー、Gr…彫器、MC…細石核、MB…細石刃、RF…加工痕のある剥片、UF…使用痕のある剥片、Cr…石核、Fl…剥片、Ch…砕片、PE…楔形石器、RM…原石、GS…磨石、HS…叩石、QS…石皿、AS…台石、AX…石斧
- 3 石材名の略号は次の通りである。
Si1…白色系統のシルト岩、Si2…白色系統以外のシルト岩、Sa…砂岩、Ch…チャート、Tu…凝灰岩、Rh…流紋岩、Ob…黒曜石、An…安山岩、Ba…玄武岩、Ol…カンラン岩、Se…蛇紋岩、Gr…花崗岩、Sc…変成岩類
- 4 石器の分布図にある記号は原則として次の通りである。
○…剥片、砕片、△…尖頭器、ナイフ形石器、彫器、スクレイパー、加工痕のある剥片、使用痕のある剥片、細石核、細石刃、楔形石器、□…石核、叩石、磨石、石皿、台石、
- 3 遺物分布図の垂直投影図にかけてあるスクリーントーンは暗色帯中部（3 b 層）である。
- 4 石器の記載では、各実測図の左端を石器の正面、その裏側を裏面としている。
- 5 多色刷りの遺物分布図での、色分けは次の通りである。
黒…石器、赤…礫、青…配石、緑…炭化物

目次

巻頭写真

序

例言

凡例

第I章 位置と環境

第1節 磐田原台地の地形・ 1

第2節 磐田原台地上の遺跡・ 1

第II章 調査に至る経過・ 10

第III章 調査の経過

第1節 調査区の設定・ 12

第2節 確認調査の経過と概要・ 12

第3節 本調査の経過と概要・ 13

第4節 整理作業の経過と概要・ 15

第IV章 高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の土層

第1節 基本土層・ 18

第2節 谷部の土層・ 20

第3節 土層の残存状況・ 20

第V章 旧石器時代の調査方法

第1節 ブロックの認定基準・ 24

第2節 礫群の認定基準・ 24

第3節 配石の認定基準・ 25

第4節 エリア区分・ 26

第5節 個別別分類・ 26

第VI章 高見丘Ⅲ遺跡の調査

第1節 エリア1の遺構と遺物

1 土坑・ 27

2 礫群・ 29

3 配石・ 41

4 礫の接合状況・ 46

5 出土石器・ 51

6 石器の接合状況・ 74

7 個別別資料の分布状況・ 77

第2節 エリア2の遺構と遺物

1 土坑・ 87

2 礫群・ 88

3 配石・ 99

4 礫の接合状況・ 103

5 出土石器・ 104

6 個別別資料の分布状況・ 116

第3節 エリア3の遺構と遺物

1 土坑・ 127

2 礫群・ 131

3 配石・ 153

4 礫の接合状況・ 164

5 出土石器・ 177

6 石器の接合状況・ 213

7 個別別資料の分布状況・ 225

第VII章 高見丘Ⅳ遺跡の調査

第1節 エリア1の遺構と遺物

1 土坑・ 236

2 礫群・ 237

3 配石・ 245

4 礫の接合状況・ 253

5 出土石器・ 253

6 石器の接合状況・ 275

7 個別別資料の分布状況・ 277

第2節 エリア2の遺構と遺物

1 礫群・ 290

2 配石・ 291

3 出土石器・ 294

6 石器の接合状況・ 297

7 個別別資料の分布状況・ 299

第3節 エリア3の遺構と遺物

1 礫群・ 301

2 配石・ 301

3 礫の接合状況・ 303

4 出土石器・ 304

第4節 細石器文化器の遺物・ 305

第VIII章 縄文時代以降の調査

第1節 高見丘Ⅲ遺跡の縄文時代の調査・ 312

第2節 高見丘Ⅳ遺跡の

縄文時代以降の調査・ 316

第Ⅸ章 自然科学分析

第1節 静岡県磐田郡豊田町高見丘

Ⅲ・Ⅳ遺跡のテフラ・・・・・・・・・・317

第2節 高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の礫群検出面の被熱の有無に関する磁気学的検討・・325

第3節 放射性炭素による遺跡の年代測定・328

第4節 黒耀石の産地同定・・・・・・・・・・330

第Ⅹ章 成果と課題・・・・・・・・・・332

挿図目次

図1 磐田原台地の遺跡分布図・・・・・・・・・・2	図32 ブロック1出土石器・・・・・・・・・・53
図2 磐田原台地の旧石器時代遺跡分布図・・3	図33 ブロック3石器分布図・・・・・・・・・・54
図3 調査区周辺旧地形図・・・・・・・・・・6	図34 ブロック3出土石器・・・・・・・・・・54
図4 高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡グリッド設定図・・11	図35 ブロック4石器分布図・・・・・・・・・・56
図5 グリッド小区両図・・・・・・・・・・12	図36 ブロック4 K _n 、G _r 、 S _c 、C _r 分布図・・・・・・・・・・57
図6 高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の基本土層図・・18	図37 ブロック4 RF、UF分布図・・・・・・・・58
図7 土層柱状図、地形エレベーション図・・19	図38 ブロック4出土石器1・・・・・・・・・・59
図8 浅谷断面図・・・・・・・・・・21	図39 ブロック4出土石器2・・・・・・・・・・61
図9 高見丘Ⅲ遺跡の攪乱状況・・・・・・・・22	図40 ブロック4出土石器3・・・・・・・・・・62
図10 高見丘Ⅳ遺跡の攪乱状況・・・・・・・・23	図41 ブロック4出土石器4・・・・・・・・・・63
図11 高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡出土礫の 属性別重量分布グラフ・・・・・・・・25	図42 ブロック4出土石器5・・・・・・・・・・64
図12 エリア1遺構、遺物分布図・・・・・・・・27	図43 ブロック4出土石器6・・・・・・・・・・65
図13 土坑1、2平・断面図・・・・・・・・28	図44 ブロック4出土石器7・・・・・・・・・・67
図14 礫群1礫分布図・・・・・・・・・・29	図45 ブロック4出土石器8・・・・・・・・・・68
図15 礫群6礫分布図・・・・・・・・・・30	図46 ブロック4出土石器9・・・・・・・・・・69
図16 礫群7礫分布図・・・・・・・・・・31	図47 ブロック4出土石器10・・・・・・・・70
図17 礫群8、10～12礫分布図・・・・・・・・32	図48 エリア1ブロック外出土石器1・・71
図18 礫群9礫分布図・・・・・・・・・・33	図49 エリア1ブロック外出土石器2・・73
図19 礫群13、15～17礫分布図・・・・・・・・34	図50 エリア1ブロック外出土石器3・・74
図20 礫群14礫分布図・・・・・・・・・・35	図51 エリア1ブロック外出土石器4・・75
図21 礫群18～23礫分布図・・・・・・・・・・37	図52 エリア1石器接合状況・・・・・・・・76
図22 礫群24～26礫分布図・・・・・・・・・・38	図53 E 1325区付近石器接合状況・・・・・・・・77
図23 礫群27～29、31礫分布図・・・・・・・・39	図54 エリア1出土接合資料1・・・・・・・・78
図24 礫群30礫分布図・・・・・・・・・・40	図55 エリア1出土接合資料2、3・・・・79
図25 配石実測図1・・・・・・・・・・42	図56 エリア1出土接合資料4・・・・・・・・80
図26 配石実測図2・・・・・・・・・・44	図57 エリア1出土接合資料5、6・・・・81
図27 エリア1礫接合状況・・・・・・・・・・47	図58 エリア1石器接合資料7・・・・・・・・82
図28 E 1325、F 1201、E 1315区 付近礫接合状況・・・・・・・・・・48	図59 エリア1個別別資料分布図・・・・・・・・83
図29 G 1318、G 1412区付近礫接合状況・・49	図60 エリア2遺構、遺物分布図・・・・・・・・86
図30 F 1202、F 1321区付近礫接合状況・・50	図61 土坑3平・断面図・・・・・・・・・・87
図31 ブロック1石器分布図・・・・・・・・・・52	図62 礫群32～35礫分布図・・・・・・・・89
	図63 礫群36～39礫分布図・・・・・・・・90

図 64 礫群 40 礫分布図	91	図 105 礫群 62、63 礫分布図	140
図 65 礫群 41、42、103 礫分布図	92	図 106 礫群 64～66 礫分布図	141
図 66 礫群 43 礫分布図	93	図 107 礫群 67、68、71～73 礫分布図	142
図 67 礫群 44 礫分布図	94	図 108 礫群 69 礫分布図	143
図 68 礫群 89～92 礫分布図	95	図 109 礫群 75 礫分布図	144
図 69 礫群 94 礫分布図	97	図 110 礫群 76 礫分布図	145
図 70 礫群 97 礫分布図	98	図 111 礫群 77 礫分布図	146
図 71 礫群 98 礫分布図	99	図 112 礫群 78 礫分布図	148
図 72 礫群 93、95、96、102 礫分布図	100	図 113 礫群 79～81 礫分布図	149
図 73 礫群 104 礫分布図	101	図 114 礫群 82～84 礫分布図	150
図 74 配石実測図 3	103	図 115 礫群 85、87、88 礫分布図	151
図 75 エリア 2 礫接合状況	105	図 116 配石実測図 4	158
図 76 F 1824、F 1625 区付近礫接合状況	106	図 117 配石実測図 5	160
図 77 F 1805、F 1925 区付近礫接合状況	107	図 118 配石実測図 6	162
図 78 ブロック 5、6 石器分布図	108	図 119 エリア 3 礫接合状況	165
図 79 ブロック 6 出土石器	109	図 120 M 1503、M 1611 区付近礫接合状況	167
図 80 ブロック 7～9 石器分布図	110	図 121 M 1725、J 1620 区付近礫接合状況	168
図 81 ブロック 8 出土石器	111	図 122 L 1610 区付近礫接合状況	169
図 82 ブロック 9 出土石器	112	図 123 L 1725 区付近礫接合状況	170
図 83 ブロック 14 石器分布図	113	図 124 L 1720 区付近礫接合状況	171
図 84 ブロック 15 石器分布図	114	図 125 M 1706 区付近礫接合状況	172
図 85 ブロック 14、15 出土石器	115	図 126 L 1613、M 1708、M 1604 区 付近礫接合状況	173
図 86 ブロック 16 石器分布図	116	図 127 L 1602 区付近礫接合状況	174
図 87 ブロック 16 出土石器	117	図 128 M 1718、K 1617、M 1711 区 付近礫接合状況	175
図 88 エリア 2 ブロック外出土石器 1	118	図 129 ブロック 10、13 石器分布図	178
図 89 エリア 2 ブロック外出土石器 2	119	図 130 ブロック 10 出土石器	179
図 90 エリア 2 ブロック外出土石器 3	120	図 131 ブロック 13 出土石器	180
図 91 エリア 2 石材別分布図	121	図 132 ブロック 11 石器分布図	181
図 92 エリア 2 個体別資料分布図	122	図 133 ブロック 11 出土石器	182
図 93 エリア 3 遺構、遺物分布図	126	図 134 ブロック 12 石器分布図	184
図 94 土坑 4 平・断面図	128	図 135 ブロック 12 出土石器 1	185
図 95 土坑 5 平・断面図	129	図 136 ブロック 12 出土石器 2	187
図 96 土坑 6 平・断面図	130	図 137 ブロック 12 出土石器 3	188
図 97 土坑 7 平・断面図と出土石器	130	図 138 ブロック 17、20、24～26 石器分布図	189
図 98 礫群 45、46 礫分布図	132	図 139 ブロック 17 出土石器	190
図 99 礫群 47～49、74 礫分布図	133	図 140 ブロック 18 石器分布図	191
図 100 礫群 50～52 礫分布図	134	図 141 ブロック 19 石器分布図	192
図 101 礫群 53～55、58、59 礫分布図	136	図 142 ブロック 18 出土石器	193
図 102 礫群 56 礫分布図	137	図 143 ブロック 18、19 出土石器	195
図 103 礫群 57 礫分布図	138		
図 104 礫群 60 礫分布図	139		

図144	ブロック21石器分布図	197	図184	ブロック3、5、9、10石器分布図	256
図145	ブロック22石器分布図	198	図185	ブロック3出土石器1	257
図146	ブロック21出土石器	199	図186	ブロック3出土石器2	258
図147	ブロック21、22出土石器	200	図187	ブロック5出土石器1	259
図148	ブロック22出土石器1	202	図188	ブロック5出土石器2	260
図149	ブロック22出土石器2	203	図189	ブロック5出土石器3	261
図150	ブロック23石器分布図	204	図190	ブロック5出土石器4	262
図151	ブロック23、25出土石器	206	図191	ブロック9出土石器	263
図152	ブロック26出土石器	207	図192	ブロック9、10出土石器	264
図153	ブロック27石器分布図	208	図193	ブロック10出土石器	265
図154	エリア3ブロック外出石器1	209	図194	ブロック7石器分布図	265
図155	エリア3ブロック外出石器2	210	図195	ブロック7出土石器	266
図156	エリア3ブロック外出石器3	211	図196	ブロック8石器分布図	267
図157	エリア3ブロック外出石器4	212	図197	ブロック8出土石器1	269
図158	エリア3ブロック外出石器5	214	図198	ブロック8出土石器2	270
図159	エリア3微高地部分石器分布図1	215	図199	ブロック8出土石器3	271
図160	エリア3微高地部分石器分布図2	216	図200	ブロック8出土石器4	272
図161	エリア3石器接合状況	217	図201	ブロック8出土石器5	273
図162	ブロック11、12付近石器接合状況	218	図202	ブロック8出土石器6	274
図163	エリア3出土接合資料19	219	図203	ブロック8出土石器7	275
図164	エリア3出土接合資料30、50	220	図204	エリア1ブロック外出石器1	276
図165	エリア3出土接合資料27	221	図205	エリア1ブロック外出石器2	278
図166	エリア3出土接合資料17	222	図206	エリア1ブロック外出石器3	279
図167	エリア3出土接合資料34、36	223	図207	エリア1、6ライン以南 石器接合状況	280
図168	エリア3出土接合資料20、24	224	図208	エリア1出土接合資料8	280
図169	エリア3個別別資料分布図	226	図209	エリア1出土接合資料6	281
図170	エリア1遺構、遺物分布図	235	図210	エリア1出土接合資料7	282
図171	土坑1平・断面図	236	図211	エリア1出土接合資料4	283
図172	土坑2、3平・断面図	237	図212	エリア1出土接合資料5	284
図173	礫群1～3、12礫分布図	238	図213	エリア1個別別資料分布図	285
図174	礫群4、6、22礫分布図	240	図214	エリア2遺構、遺物分布図	289
図175	礫群5礫分布図	241	図215	礫群7、8礫分布図	290
図176	礫群9礫分布図	242	図216	礫群14～16礫分布図	291
図177	礫群10、13礫分布図	243	図217	礫群24礫分布図	292
図178	礫群20、21、23礫分布図	244	図218	配石実測図10	293
図179	配石実測図7	247	図219	ブロック1、2、6石器分布図	295
図180	配石実測図8	249	図220	ブロック1出土石器	296
図181	配石実測図9	251	図221	エリア2ブロック外出石器1	297
図182	エリア1、6ライン以北礫接合状況	254	図222	エリア2ブロック外出石器2	298
図183	G 0517、F 0618、F 0612区付近 礫接合状況	255	図223	エリア2出土接合資料1	299

図224	エリア3遺構・遺物分布図	302
図225	礫群17～19礫分布図	303
図226	配石実測図11	304
図227	A 0708区付近礫接合状況	305
図228	ブロック12石器分布図	307
図229	ブロック12出土石器	306
図230	ブロック4石器分布図	307
図231	ブロック4出土石器1	308
図232	ブロック4出土石器2	309
図233	ブロック4出土石器3	310
図234	ブロック4出土接合資料2	311
図235	土坑11～16分布図及び流路内地形図	312

図236	土坑11～15平・断面図	313
図237	土坑16平・断面図	314
図238	土坑4平・断面図及び出土遺物	314
図239	流路断面図	315
図240	テフラ分析用試料採取地点	317
図241	火山ガラス含有率1	319
図242	火山ガラス含有率2	320
図243	火山ガラス含有率3	321
図244	土壌試料採取地点	325
図245	熱残留磁気測定結果	326
図246	年代測定用炭化物採取地点	328
図247	黒曜石産地判別図	330

挿表目次

表1	磐田原台地の遺跡地名表	4
表2	年度別調査面積と現地発掘調査体制	17
表3	調査工程表	17
表4	エリア1礫群属性表	41
表5	エリア1配石の接合礫一覧	46
表6	エリア1ブロック別石器組成表	84
表7	エリア1個別別石器組成表	84
表8	エリア2礫群属性表	102
表9	エリア2配石の接合礫一覧	104
表10	エリア2ブロック別石器組成表	123
表11	エリア2個別別石器組成表1	124
表12	エリア2個別別石器組成表2	125
表13	エリア3礫群属性表	152
表14	エリア3配石の接合礫一覧	163
表15	エリア3配石の接合礫一覧2	164
表16	エリア3ブロック別石器組成表1	227
表17	エリア3ブロック別石器組成表2	228
表18	エリア3ブロック別石器組成表3	229
表19	エリア3個別別石器組成表1	229
表20	エリア3個別別石器組成表2	230
表21	エリア3個別別石器組成表3	231
表22	エリア3個別別石器組成表4	232
表23	エリア3個別別石器組成表5	233
表24	エリア3個別別石器組成表6	234
表25	エリア1礫群属性表	245

表26	エリア1配石の接合礫一覧	252
表27	エリア1ブロック別組成表	286
表28	エリア1個別別石器組成表1	287
表29	エリア1個別別石器組成表2	288
表30	エリア2礫群属性表	292
表31	エリア2ブロック別石器組成表	300
表32	エリア2個別別石器組成表	300
表33	エリア3礫群属性表	301
表34	エリア3ブロック別石器組成表	304
表35	エリア3個別別石器組成表	304
表36	ブロック4石器組成表	307
表37	ブロック4個別別石器組成表	307
表38	火山ガラス屈折率測定値	318
表39	火山ガラス計測粒数	319
表40	熱残留磁気測定結果	326
表41	放射性炭素年代測定結果	329
表42	黒曜石産地推定確率	331
表43	高見丘Ⅲ遺跡エリア1出土礫	337
表44	高見丘Ⅲ遺跡エリア1出土石器	349
表45	高見丘Ⅲ遺跡エリア2出土礫	356
表46	高見丘Ⅲ遺跡エリア2出土石器	371
表47	高見丘Ⅲ遺跡エリア3出土礫	374
表48	高見丘Ⅲ遺跡エリア3出土石器	393
表49	高見丘Ⅲ遺跡出土配石	409
表50	高見丘Ⅳ遺跡エリア1出土礫	412

表 51	高見丘IV遺跡エリア1出土石器・・・419
表 52	高見丘IV遺跡エリア2出土礫・・・424
表 53	高見丘IV遺跡エリア2出土石器・・・426
表 54	高見丘IV遺跡エリア3出土礫・・・427

表 55	高見丘IV遺跡エリア3出土石器・・・429
表 56	高見丘IV遺跡出土配石・・・430
表 57	礫接合一覧・・・431
表 58	石器接合一覧・・・439

写真図版目次

図版 1	(1) 高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡遠景(北から)	(2) 礫群 62 (Ⅲ遺跡エリア3)
	(2) 高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡遠景(南から)	図版 18 (1) 礫群 67 (Ⅲ遺跡エリア3)
図版 2	(1) 天竜川方面遠望	(2) 礫群 75 (Ⅲ遺跡エリア3)
	(2) Ⅲ遺跡エリア2 遠望	図版 19 (1) 礫群 76 (Ⅲ遺跡エリア3)
図版 3	(1) Ⅲ遺跡基本土層(エリア1)	(2) 土坑6内部礫出土状況
	(2) Ⅳ遺跡基本土層(暗色帯2枚)	(Ⅲ遺跡エリア3)
図版 4	(1) Ⅳ遺跡基本土層(暗色帯1枚)	図版 20 (1) 礫群 77 (Ⅲ遺跡エリア3)
	(2) 谷切り込み面(Ⅲ遺跡エリア1)	(2) 礫群 78 (Ⅲ遺跡エリア3)
図版 5	(1) 谷検出状況(Ⅲ遺跡エリア1)	図版 21 (1) 礫群 80 (Ⅲ遺跡エリア3)
	(2) 土坑1(Ⅲ遺跡エリア1)	(2) 礫群 85 (Ⅲ遺跡エリア3)
図版 6	(1) 土坑2(Ⅲ遺跡エリア1)	図版 22 (1) 礫群 87 (Ⅲ遺跡エリア3)
	(2) 礫群 10 (Ⅲ遺跡エリア1)	(2) ブロック 12 (Ⅲ遺跡エリア3)
図版 7	(1) 礫群 12 (Ⅲ遺跡エリア1)	図版 23 (1) 土坑1検出状況(Ⅳ遺跡エリア1)
	(2) 礫群 13 (Ⅲ遺跡エリア1)	(2) 土坑1完掘状況(Ⅳ遺跡エリア1)
図版 8	(1) 礫群 14 (Ⅲ遺跡エリア1)	図版 24 (1) 土坑2、3半掘状況
	(2) 礫群 25 (Ⅲ遺跡エリア1)	(Ⅳ遺跡エリア1)
図版 9	(1) 礫群 27～30 (Ⅲ遺跡エリア1)	(2) 土坑2、3完掘状況
	(2) ブロック 4 (Ⅲ遺跡エリア1)	(Ⅳ遺跡エリア1)
図版 10	(1) 谷検出状況(Ⅲ遺跡エリア2)	図版 25 (1) 礫群 4 (Ⅳ遺跡エリア1)
	(2) 土坑3(Ⅲ遺跡エリア2)	(2) 礫群 5 (Ⅳ遺跡エリア1)
図版 11	(1) 礫群 35 (Ⅲ遺跡エリア2)	図版 26 (1) 礫群 6 (Ⅳ遺跡エリア1)
	(2) ブロック 6 (Ⅲ遺跡エリア2)	(2) ブロック 5 (Ⅳ遺跡エリア1)
図版 12	(1) 土坑4検出状況(Ⅲ遺跡エリア3)	図版 27 (1) ブロック 8 (Ⅳ遺跡エリア1)
	(2) 土坑4完掘(Ⅲ遺跡エリア3)	(2) 礫群 24 (Ⅳ遺跡エリア2)
図版 13	(1) 土坑5検出状況(Ⅲ遺跡エリア3)	図版 28 (1) エリア3遺物出土状況
	(2) 土坑5完掘(Ⅲ遺跡エリア3)	(2) 礫群 17 (Ⅳ遺跡エリア3)
図版 14	(1) 礫群 76と土坑6検出状況	図版 29 (1) 礫群 18 (Ⅳ遺跡エリア3)
	(Ⅲ遺跡エリア3)	(2) ブロック 4 (Ⅳ遺跡細石器文化期)
	(2) 土坑6完掘(Ⅲ遺跡エリア3)	図版 30 (1) 土坑11(Ⅲ遺跡)
図版 15	(1) 土坑7検出状況(Ⅲ遺跡エリア3)	(2) 土坑12(Ⅲ遺跡)
	(2) 土坑7完掘(Ⅲ遺跡エリア3)	図版 31 (1) 土坑13(Ⅲ遺跡)
図版 16	(1) 礫群 50(Ⅲ遺跡エリア3)	(2) 土坑14(Ⅲ遺跡)
	(2) 礫群 55(Ⅲ遺跡エリア3)	図版 32 (1) 土坑15(Ⅲ遺跡)
図版 17	(1) 礫群 56(Ⅲ遺跡エリア3)	(2) 土坑16(Ⅲ遺跡)

図版 33 (1) ブロック 1、外出土石器

(2) ブロック外出土石器

図版 34 (1) ブロック 11、12、外出土石器

(2) ブロック 21、18、22 出土石器

図版 35 (1) ブロック 7、8 出土石器

(2) ブロック 4 出土石器

第I章 位置と環境

第1節 磐田原台地の地形

磐田原台地は、静岡県磐田市、袋井市、豊田町、豊岡村の4市町村にまたがる台地(図1)である。台地の北端は、豊岡村神増原付近の標高約130mから始まり、南に向かって幅が広がる細長い三角形の台地である。南端は東西幅約11km、標高約2.5mで沖積平野下に没している。台地の西側縁辺は天竜川によって浸食された、高さ数十mの断崖となっている(図2)。その断崖が延々と続く景観は、下から見上げて上から見おろしても壮観である。一方、台地の東側は、緩やかに標高を下げながら、大小の谷が入り組んだ複雑な地形となり、桶ヶ谷沼などの湿地帯は、トンボをはじめ多くの種類の動植物の良好な生息地となっている。台地の南側は、今之浦、大池など、肥沃な低湿地帯が広がっている。台地上は、現在は緩やかな起伏に沿って茶畑が一面に広がるのどかな光景が展開しているが、これは、開墾の結果であって、旧地形は大小の谷とその間の微高地が入り組んだ地形となっている。台地を南北方向に流れる加茂川、中川、安久路川に沿って大きな谷が走り、それからいくつもの谷が分派している。最大の谷は今之浦から中川沿いに北上する谷で、これによって台地が東西に二分されている。

高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡は、台地の西側、台地の真ん中よりもやや南に下った所、標高54m～51mにある。遺跡周辺の旧地形を、開墾前、明治時代の地形図から復元すると、図3ようになる。遺跡は台地西側の断崖から200～300mほど台地の中に入った所にある。遺跡の南側約500mには、加茂川方面から延びる谷が迫り、その谷が二方向に分かれ、その2本の谷にはさまれた微高地に高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡がある。遺跡の西側の谷は、現在は埋没しているが、やや窪んだ地形に沿って水路が流れ、谷の面影を残している。一方、東側の谷は、緩やかに落ち込んで今之浦から延びる大きな開析谷に通じている。

第2節 磐田原台地上の遺跡

磐田原台地上の旧石器時代の遺跡数は常に増え続けており、正確な遺跡数は流動的である。1989年刊行の『静岡県文化財地図Ⅱ』によれば、旧石器時代の遺跡は75カ所登録されているが、1994年刊行の『磐田中遺跡の報告書』には、1994年1月時点の最新データとして、79カ所をあげている。この報告書の中では、出山道下2遺跡を新たに旧石器時代遺跡としてあげ、これと勾坂中下5遺跡、勾坂中上1遺跡、勾坂上8遺跡の3遺跡を勾坂中遺跡に統合しているため、76カ所になる。さらに今回、高見丘Ⅲ遺跡を旧石器時代の遺跡として報告するため、合計77カ所となる。

旧石器時代遺跡の8割弱は、台地西側縁辺の断崖に沿って分布している。これ以外にも遺物が採集された地点があり、これらも含めると遺跡数はさらに増えるであろう。台地の東側では、旧石器時代遺跡は極端に少ない。これは、土層の堆積状況の悪さもあるが、表面採集資料の少なさから見ても、台地西側へのこれほどの偏りは、やはり遺跡形成の際の選地が大きな要因であろう。遺物は、主として微高地上に分布しており、特に開析谷から離れた浅谷の奥に分布する傾向がある。このような遺物の分布と旧地形の密接な関係は、これまでの調査で常に指摘されてきたことである。

出土遺物は、ナイフ形石器文化期の石器群がほとんどである。石器群の内容は、茂呂系のナイフ形石器と横長剥片素材のナイフ形石器があり、これにスクレイパーが伴う。尖頭器、彫器は少ない。

磐田原台地での旧石器時代遺跡の調査は1960年の池端前遺跡の調査に始まる。その後、1969～1979年に5次にわたって寺谷遺跡が調査され、ブロックの詳細な分析から集落が復元された。1982年には広

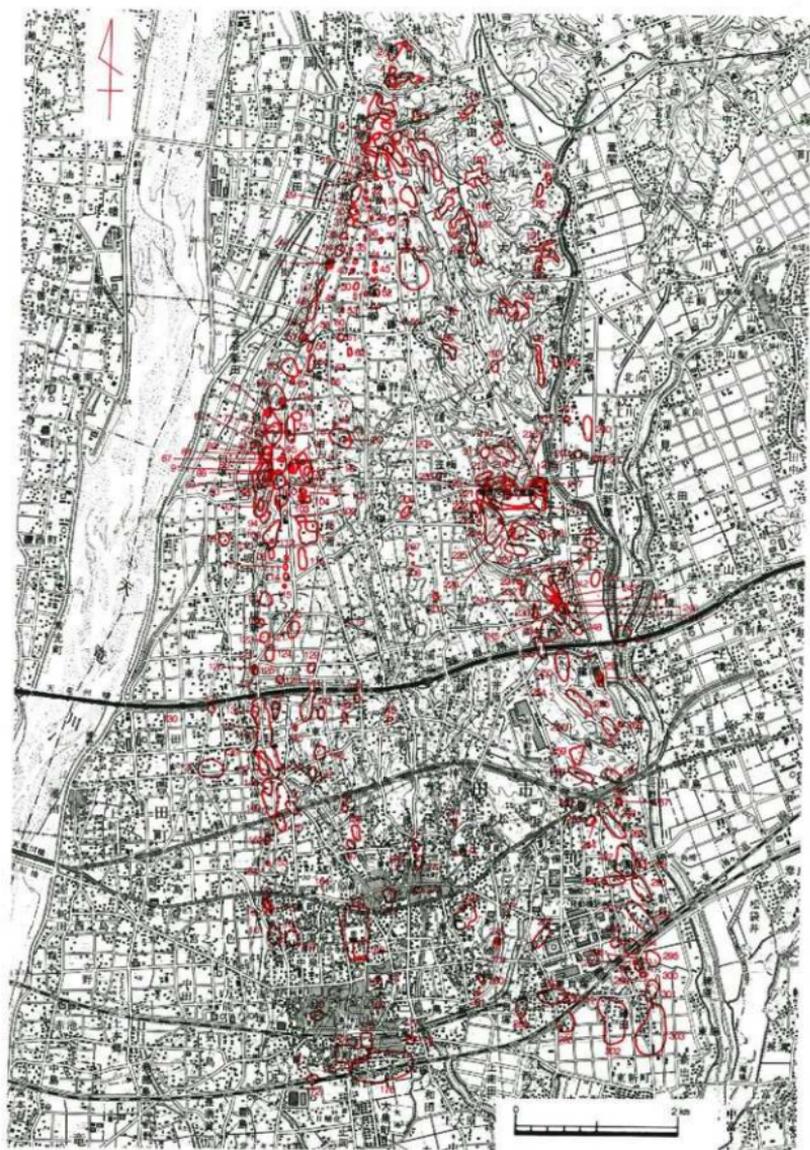


図1 磐田原台地の遺跡分布図 (1/60000、1/25000地形図「磐田」と「笠井」を改変)

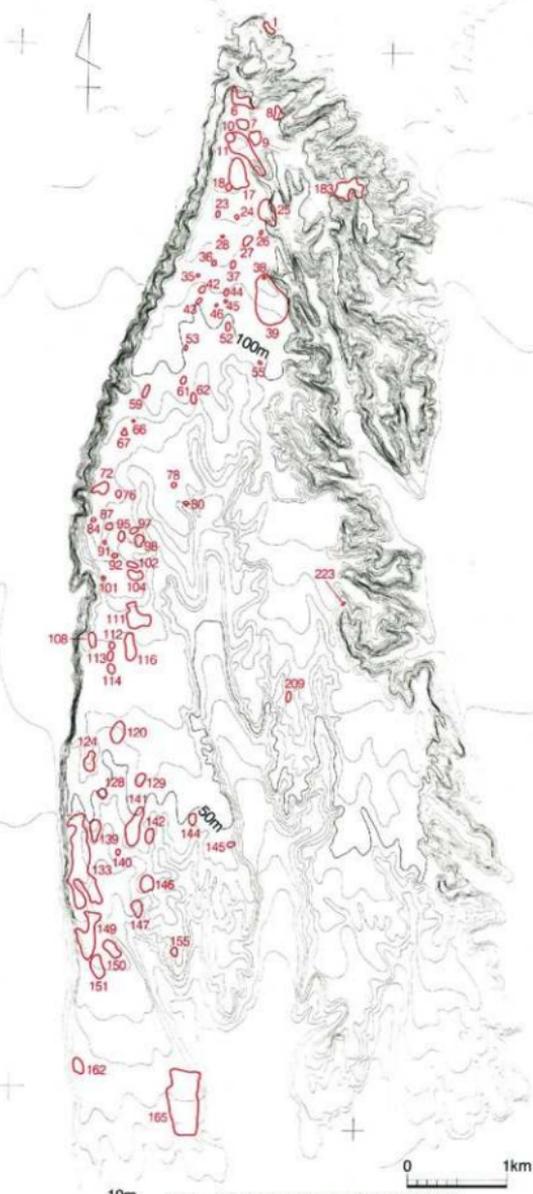


図2 盤田原台地の旧石器時代遺跡分布図

(1/50000 遺跡番号は表1と同じ、旧地形は1/50000地形図「見付町」
大日本帝国陸地測量部 明治32年より複製)

野北遺跡が調査され、礫群、ブロックの分析から、当時の推定生活域としてユニットが設定された。1983、1984年には勾坂上遺跡、山田原Ⅱ遺跡が調査され、ナイフ形石器を主体とする良好な石器群が出土している。近年では、勾坂中遺跡で8万㎡にわたる広範囲を調査し、詳細な旧地形の復元のもとに、同時期の遺物・遺構が分布する範囲として「エリア」を設定している。また、この調査によって、石器数をはるかに上回る礫群、配石が出土し、そういった遺跡のあり方の解釈という新しい課題を提唱している。

縄文時代遺跡の分布は旧石器時代遺跡の分布に重なる部分が多いが、草創期～前期の遺跡は少なく、中期になって遺跡数が増える。後期になると台地上の遺跡は少なくなり、台地の南端に、砂丘の発達により形成された古磐田海と呼ばれるラグーン周辺に、拠点集落と考えられる西貝塚やその分枝性格の石原貝塚、見性寺貝塚などが分布するようになる。そのラグーンは弥生時代にはいと農耕に適した低湿地となり、御殿・二之宮遺跡などの集落が営まれるようになる。一方、台地上では、加茂東原遺跡に環濠集落の可能性のある集落、馬坂遺跡や広野北遺跡では方形周溝墓が見つかる。農耕に適した土地ではなく、高地性集落としての性格を持った集落、あるいは台地直下の天竜川沿い沖積地に水田を営むための集落と考えられる。

台地の東部、太田川水系に面した所では、弥生時代中期後半から、マウンドをもった墳墓群が築かれるようになり、やがて、最古型式の前方後円墳、新豊院山D-2号墳が出現する。その後、台地の西側、東側、南端に多くの古墳が築かれるようになる。それぞれ

表1 磐田原台地の遺跡地名表

遺跡番号	地区	遺跡名	時代	文献番号
1	磐田市	善光寺遺跡	旧石器	1
2	磐田市	北山古墳群	古墳(後)	1
3	磐田市	北山古墳群	古墳(後)	2
4	磐田市	北山古墳群	古墳(後)	2
5	磐田市	大平第1遺跡	旧石器, 縄文, 弥生	1
6	磐田市	大平内A古墳群	古墳	3, 4
7	磐田市	大平第2遺跡	旧石器	1
8	磐田市	山田原古墳群	旧石器, 古墳	1
9	磐田市	山田原古墳群	旧石器, 古墳	1
10	磐田市	中神古墳群	旧石器	1
11	磐田市	山田原遺跡	旧石器, 縄文, 古墳	1
12	磐田市	山田原古墳群	古墳(弥生)	5
13	磐田市	山田原1号墳	古墳	1
14	磐田市	山田原遺跡	旧石器, 古墳	1
15	磐田市	大平内古墳群	古墳	1
16	磐田市	大平内古墳群	古墳	1
17	磐田市	山田原古墳群	旧石器, 縄文	1
18	磐田市	藤上第1遺跡	旧石器, 縄文	1
19	磐田市	大瀧原古墳	古墳	1
20	磐田市	大瀧原1遺跡	縄文(中)	1
21	磐田市	大瀧原古墳群	古墳	1
22	磐田市	大瀧原古墳群	古墳	6
23	磐田市	藤上第2遺跡	旧石器	1
24	磐田市	藤上第3遺跡	旧石器	7, 8
25	磐田市	山田原古墳群	旧石器, 縄文	1
26	磐田市	大瀧原1遺跡	旧石器	1
27	磐田市	藤上第3遺跡	旧石器, 縄文	1
28	磐田市	藤上第4遺跡	旧石器	1
29	磐田市	土井原遺跡	縄文(中)	1
30	磐田市	大瀧原古墳群	古墳	1
31	磐田市	大瀧原古墳群	古墳	1
32	磐田市	大瀧原1遺跡	縄文	6
33	磐田市	大瀧原古墳群	古墳	1
34	磐田市	大瀧原古墳群	古墳	1
35	磐田市	藤上第1遺跡	旧石器	1
36	磐田市	赤塚古墳群	旧石器	9
37	磐田市	藤上第6遺跡	旧石器	1
38	磐田市	大瀧原2遺跡	旧石器	1
39	磐田市	大瀧原遺跡	旧石器, 縄文	1
40	磐田市	大瀧原古墳群	古墳	1
41	磐田市	大瀧原古墳群	古墳	6
42	磐田市	藤上第9遺跡	旧石器	1
43	磐田市	藤上第10遺跡	旧石器	1
44	磐田市	藤上第11遺跡	旧石器	1
45	磐田市	藤上第13遺跡	旧石器	1
46	磐田市	藤上第14遺跡	旧石器	1
47	磐田市	大瀧原古墳群	古墳	1
48	磐田市	大瀧原古墳群	古墳	1
49	磐田市	藤上第15遺跡	古墳(中)	1
50	磐田市	藤上第16遺跡	古墳	1
51	磐田市	西田遺跡	縄文	6
52	磐田市	西田遺跡	旧石器	1
53	磐田市	上原1遺跡	旧石器	1
54	磐田市	八幡神社北古墳	古墳	1
55	磐田市	藤上第17遺跡	旧石器	1
56	磐田市	大瀧原1古墳群	古墳	10
57	磐田市	藤上第18遺跡	縄文	6
58	磐田市	古畑古墳群	古墳	1
59	磐田市	大瀧原遺跡	旧石器	1
60	磐田市	上原古墳群	古墳	1
61	磐田市	上原3遺跡	旧石器	1
62	磐田市	上原4遺跡	旧石器	1
63	磐田市	上原古墳群	古墳	1
64	磐田市	藤上第19遺跡	旧石器, 古墳	10
65	磐田市	藤上第20遺跡	古墳	11
66	磐田市	五平古墳群	旧石器	1
67	磐田市	谷崎遺跡	旧石器, 縄文(中)	12
68	磐田市	鏡子塚古墳群	古墳	13, 14
69	磐田市	了子遺跡	縄文(中)	5
70	磐田市	石上遺跡	縄文(中)	5
71	磐田市	中神上古墳群	古墳	15
72	磐田市	藤上遺跡	旧石器, 縄文(中, 後)	7, 8
73	磐田市	以下古墳群	古墳	1
74	磐田市	長倉遺跡	弥生	16
75	磐田市	長倉遺跡古墳群	古墳(後)	1
76	磐田市	藤上第21遺跡	旧石器	1
77	磐田市	藤上第22遺跡	古墳	1
78	磐田市	大久保1遺跡	古墳	17
79	磐田市	大久保1遺跡	古墳	17
80	磐田市	大久保2遺跡	旧石器	1
81	磐田市	赤坂古墳	弥生	1
82	磐田市	赤坂1号墳	平安	18
83	磐田市	大瀧原古墳群	古墳	1
84	磐田市	大瀧原古墳群	古墳	1
85	磐田市	包塚遺跡	古墳	19
86	磐田市	大土原遺跡	縄文	6
87	磐田市	知事上1遺跡	旧石器, 弥生	1
88	磐田市	藤上古墳群	古墳	1
89	磐田市	藤上遺跡	弥生(中, 後), 奈良	1

90	磐田市	知事下野古墳群	古墳	20
91	磐田市	知事上1遺跡	旧石器	21
92	磐田市	知事上1遺跡	旧石器	21
93	磐田市	知事上1遺跡	古墳	21
94	磐田市	知事上1遺跡	古墳	22
95	磐田市	知事上2遺跡	古墳	22
96	磐田市	知事上2遺跡	古墳	22
97	磐田市	藤上古墳群	古墳(後)	23
98	磐田市	知事上3遺跡	旧石器, 縄文	1
99	磐田市	知事上4遺跡	旧石器, 縄文	24
100	磐田市	藤上古墳群	古墳	24
101	磐田市	知事上5遺跡	旧石器	1
102	磐田市	知事上7遺跡	旧石器	1
103	磐田市	藤上古墳群	古墳	24
104	磐田市	知事上8遺跡	旧石器	1
105	磐田市	知事上8遺跡	古墳	25
106	磐田市	藤上古墳群	古墳	26
107	磐田市	大瀧原	弥生(中)	27
108	磐田市	知事上4遺跡	弥生, 弥生(後)	27
109	磐田市	知事上4遺跡	弥生	27
110	磐田市	知事上4遺跡(知事上2下遺跡)	旧石器, 縄文(中)	28, 29
111	磐田市	知事上4遺跡(知事上1上遺跡)	旧石器	30, 31
112	磐田市	知事上4遺跡(知事上1上遺跡)	旧石器, 縄文	28, 29
113	磐田市	知事上4遺跡(知事上2下遺跡)	旧石器	1
114	磐田市	知事上4遺跡(知事上3遺跡)	旧石器	30
115	磐田市	知事上4遺跡(知事上3下遺跡)	弥生	27
116	磐田市	知事上4遺跡(知事上5下遺跡)	旧石器	28, 29
117	磐田市	次山古墳群	古墳(中)	24
118	磐田市	知事上古墳群	古墳	26
119	磐田市	藤上遺跡	縄文	6
120	磐田市	藤上遺跡	古墳, 古墳(後)	1
121	磐田市	藤上第1古墳群	古墳(後)	1
122	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	1
123	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	1
124	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器, 古墳(後)	1
125	磐田市	藤上第1古墳群	古墳(後)	1
126	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	1
127	磐田市	藤上第1古墳群	古墳(後)	1
128	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器, 古墳(後)	1
129	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器	1
130	磐田市	藤上第1古墳群	縄文	1
131	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	31
132	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	31
133	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器-縄文	32-35
134	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	1
135	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	1
136	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	1
137	磐田市	藤上第1古墳群	古墳(後)	1
138	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	1
139	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器, 縄文	1
140	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器	1
141	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器, 縄文	1
142	磐田市	藤上第1古墳群	縄文	1
143	磐田市	藤上第1古墳群	縄文	1
144	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器	1
145	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器	1
146	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器	1
147	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器	1
148	磐田市	藤上第1古墳群	古墳(後)	1
149	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器-古代	36, 37
150	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器, 縄文	1
151	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器	38
152	磐田市	藤上第1古墳群	弥生	1
153	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	1
154	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	1
155	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	1
156	磐田市	藤上第1古墳群	弥生, 近世	39
157	磐田市	藤上第1古墳群	弥生, 中世	39
158	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器-近世	40
159	磐田市	藤上第1古墳群	古墳(中)	41
160	磐田市	藤上第1古墳群	古墳, 古代	41
161	磐田市	藤上第1古墳群	古代, 中世	41
162	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	42
163	磐田市	藤上第1古墳群	古墳(中)	42
164	磐田市	藤上第1古墳群	旧石器, 古墳-中世	43
165	磐田市	藤上第1古墳群	弥生-中世	43
166	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	43
167	磐田市	藤上第1古墳群	古墳(中)	46
168	磐田市	藤上第1古墳群	古墳(前)	46
169	磐田市	藤上第1古墳群	縄文(後), 弥生(中)	44
170	磐田市	藤上第1古墳群	古墳(中)	44
171	磐田市	藤上第1古墳群	弥生, 平安	45
172	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	46
173	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	47
174	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	47
175	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	46
176	磐田市	藤上第1古墳群	古墳	47
177	磐田市	藤上第1古墳群	古墳(後)	48
178	磐田市	藤上第1古墳群	弥生	48
179	磐田市	藤上第1古墳群	弥生, 古墳	48
180	磐田市	藤上第1古墳群	弥生, 古墳, 中世	48

181	發祥地	次の上湯跡	發生・活賢	
182	發祥地	川奈崎山古墳群	古墳	49
183	發祥地	山崎原古墳群	旧石群、古墳	
184	發祥地	大塚原古墳群	縄文	
185	發祥地	大谷原古墳群	古墳	
186	發祥地	大谷原古墳群	古墳	
187	發祥地	大谷原古墳群	古墳	
188	發祥地	大塚原古墳群	縄文、古墳	
189	發祥地	大塚原古墳群	古墳	
190	發祥地	新大塚原古墳群	古墳	
191	發祥地	龍雲山古墳群	古墳	
192	發祥地	雲梯寺上湯跡	古墳	
193	發祥地	雲梯寺古墳群	古墳	
194	發祥地	龍雲山	縄文、發生、古墳	
195	發祥地	龍ヶ谷A-1 古墳	古墳	
196	發祥地	龍ヶ谷古墳群	古墳	
197	發祥地	龍ヶ谷古墳群	古墳	
198	發祥地	龍ヶ谷古墳群	古墳	50
199	發祥地	龍ヶ谷古墳群	發生	
200	發祥地	中村湯跡	古墳、古代	
201	發祥地	五輪湯跡	古墳、中世	
202	發祥地	龍ヶ谷湯跡	發生(後)、古墳	27
203	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
204	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
205	發祥地	宮崎原古墳群	古墳	
206	發祥地	大久保古墳群	古墳	
207	發祥地	龍ヶ谷湯跡	奈良	
208	發祥地	宮崎原古墳群	縄文	
209	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	1
210	發祥地	宮崎原古墳群	古墳	
211	發祥地	龍ヶ谷古墳群	古墳	
212	發祥地	子倉神社古墳群	古墳	
213	發祥地	宮崎原古墳群	古墳	
214	發祥地	龍ヶ谷古墳群	古墳	
215	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
216	發祥地	龍ヶ谷湯跡	縄文(中)、發生(後)	51
217	發祥地	龍ヶ谷湯跡	發生(中、後)	52
218	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	52
219	發祥地	龍ヶ谷湯跡	發生(中、後)	53
220	發祥地	宮崎原	近世	54
221	發祥地	中塚古墳群	古墳	
222	發祥地	中塚古墳群	古墳	
223	發祥地	龍ヶ谷湯跡	旧石器、縄文	
224	發祥地	中塚古墳群	古墳	55
225	發祥地	竹之内中塚湯跡	發生	
226	發祥地	中塚湯跡	古墳(前)	56
227	發祥地	宮崎原古墳群	古墳	
228	發祥地	竹之内1号湯	發生(後)	57
229	發祥地	宮崎原古墳群	古墳	
230	發祥地	大塚湯跡	古墳(後)、中世	58
231	發祥地	竹之内下湯湯跡	發生(後)	
232	發祥地	宮崎原湯跡	古墳	58
233	發祥地	龍ヶ谷古墳群	古墳	
234	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
235	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	59
236	發祥地	龍ヶ谷湯跡	縄文(中)、發生(中)	27
237	發祥地	龍ヶ谷湯跡	發生	
238	發祥地	下塚古墳群	古墳	
239	發祥地	龍ヶ谷古墳群	古墳	60
240	發祥地	下塚古墳群	古墳、奈良、中世	56
241	發祥地	下塚湯跡	旧石器、縄文、發生	
242	發祥地	下塚湯跡	古墳	
243	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
244	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
245	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
246	發祥地	龍ヶ谷湯跡	縄文(中)、發生(後)	
247	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	61
248	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
249	發祥地	上塚湯跡	古墳	
250	發祥地	中山古墳群	古墳	
251	發祥地	二ヶ谷湯跡	古墳	
252	發祥地	龍ヶ谷古墳群	古墳	
253	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳、中世、近世	
254	發祥地	龍ヶ谷古墳群	古墳	
255	發祥地	龍ヶ谷古墳群	古墳	
256	發祥地	龍ヶ谷古墳群	古墳	
257	發祥地	山崎原古墳群	古墳	
258	發祥地	龍ヶ谷古墳群内湯跡	縄文、近世	
259	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
260	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
261	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	62
262	發祥地	龍ヶ谷湯跡	近世	63
263	發祥地	二ヶ谷湯跡	古墳	
264	發祥地	龍ヶ谷湯跡	縄文	
265	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
266	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	64
267	發祥地	大塚原古墳群	古墳	
268	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
269	發祥地	龍ヶ谷湯跡	中世、近世	
270	發祥地	龍ヶ谷湯跡	縄文～平安、近世	65, 66
271	發祥地	大塚原湯跡	平安、中世	

272	發祥地	龍ヶ谷湯跡	平安、中世、近世	67
273	發祥地	龍ヶ谷湯跡	發生、奈良	27
274	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	71, 68
275	發祥地	天神地蔵湯	中世、近世	
276	發祥地	龍ヶ谷湯跡	中世、近世	69
277	發祥地	穿久路古墳	古墳(後)	
278	發祥地	龍ヶ谷湯跡	發生(後)	69
279	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳(後)	69
280	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	71
281	發祥地	龍ヶ谷湯跡	發生	27
282	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	72
283	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
284	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	73
285	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	6
286	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳、奈良～近世	75, 76
287	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	27
288	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	78, 79
289	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
290	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
291	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
292	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
293	發祥地	龍ヶ谷湯跡	中世、近世	80
294	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	81, 82
295	發祥地	龍ヶ谷湯跡	發生(中) 古墳	83
296	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳(中)	
297	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
298	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
299	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳	
300	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳(中)	
301	發祥地	龍ヶ谷湯跡	古墳(中)	
302	發祥地	龍ヶ谷湯跡	發生(後)～中世	84
303	發祥地	龍ヶ谷湯跡	發生(中、後)～中世	85



図3 調査区周辺旧地形図 (1/6000 豊田町教育委員会所蔵地図から復原)

に小銚子塚古墳、新豊院山2号墳、松林山古墳といった首長墓があり、各地域内で古墳の系譜をたどることができる。後期には京見塚古墳群といった群集墳が成立し、瓶塚古墳は、静岡県で最初に横穴式石室を採用した古墳として知られる。また、横穴式木槨墓といった特異な埋葬法も見られ、磐田原台地では、古墳時代を通じて拠点集落が繁栄したことを物語っている。

奈良時代にはいと静岡府と推定される御殿・二宮遺跡が出現し、大規模な土塁と堀をめぐらした長者屋敷遺跡が築かれ、遠州地方の拠点地域としての性格は続くことになる。

中世～近世は、社山城、匂坂城といった城館や「見付の国府」が築かれ、町人の町として台地南部、現在の磐田市見付付近を中心に栄える。これが後の台地開拓の原動力となったのであろう。

参考文献

- 1 鈴木久雄『磐田原先土器時代遺跡地名表』磐田市立郷土館 1978年
- 2 徳橋伸一「社山城」『静岡県の中世城館跡』静岡県教育委員会 1981年
- 3 柴田稔他『大手内古墳調査概報』豊岡村教育委員会 1978年
- 4 川江秀孝「大手内古墳群」『静岡県史 資料編2』1990年
- 5 山崎克巳「山田原古墳群」『静岡県史 資料編2』1990年
- 6 鈴木久雄『磐田原縄文時代遺跡地名表』磐田市立郷土館 1979年
- 7 佐口節司他「坂上遺跡・藤上原3遺跡発掘調査報告書」磐田市文化財保存顕彰会 1989年
- 8 佐口節司編「坂上遺跡・藤上原3遺跡発掘調査報告書」磐田市文化財保存顕彰会 1988年
- 9 麻生優、小田静夫「静岡県磐田市大藤池端前遺跡」『人類学雑誌』第74巻第2号 1966年
- 10 安藤寛他「大道西1古墳群遺跡・道東遺跡」磐田市教育委員会 1993年
- 11 山崎克巳「県史跡 米塚古墳群」『静岡県史 資料編2』1990年
- 12 鈴木忠司「寺谷遺跡発掘調査報告書」平安博物館 1980年
- 13 大塚初重「銚子塚古墳」『静岡県史 資料編2』1990年
- 14 大塚初重「小銚子塚古墳」『静岡県史 資料編2』1990年
- 15 平野和男「磐田67号墳調査報告書」磐田市教育委員会 1977年
- 16 平野吾郎「県史跡 長者屋敷遺跡」『静岡県史 資料編2』1990年
- 17 佐口節司「大久保・高山古墳群発掘調査報告書」磐田市教育委員会 1989年
- 18 中嶋郁夫「寺谷瓦窯」『静岡県考古学研究会』第3号 静岡県考古学会 1978年
- 19 徳橋伸一「匂坂城」『静岡県の中世城館跡』静岡県教育委員会 1984年
- 20 木村弘之「匂坂下原古墳群発掘調査報告書」磐田市文化財保存顕彰会 1991年
- 21 川口安曇他「匂坂下原古墳群・匂坂上5遺跡発掘調査報告書」磐田市教育委員会 1996年
- 22 山崎克巳「匂坂上2遺跡発掘調査報告書」磐田市教育委員会 1997年
- 23 山崎克巳、小宮猛幸編「匂坂上2号遺跡 遠江国分寺跡周辺発掘調査概報」磐田市教育委員会 1984年
- 24 大下明他「匂坂上4遺跡発掘調査報告Ⅱ」磐田市教育委員会 1989年
- 25 徳橋伸一「匂坂館」『静岡県の中世城館跡』静岡県教育委員会 1981年
- 26 佐口節司他「梵天古墳群・匂坂中下4遺跡発掘調査報告書」磐田市教育委員会 1995年
- 27 鈴木久雄『磐田弥生時代遺跡地名表』磐田市立郷土館 1980年
- 28 鈴木忠司他「匂坂中遺跡群発掘調査報告書」磐田市教育委員会 1994年
- 29 鈴木忠司他「匂坂中遺跡群発掘調査報告書Ⅱ」磐田市教育委員会 1996年
- 30 中島郁夫、山口卓也「匂坂中下3遺跡発掘調査報告」磐田市教育委員会 1986年
- 31 徳橋伸一「加茂砦」『静岡県の中世城館跡』静岡県教育委員会 1981年

- 32 徳橋伸一「高梨屋敷」『静岡県の中世城館跡』静岡県教育委員会 1981 年
- 33 大橋保夫他「広野遺跡」『森町考古』17 森町考古学研究会 1981 年
- 34 清水尚「広野遺跡-第 1 次-」豊田町教育委員会 1996 年
- 35 山下秀樹他「広野北遺跡発掘調査報告書」平安博物館 1985 年
- 36 栗野克巳「加茂東原遺跡第 1 次発掘調査概報」豊田町教育委員会 1982 年
- 37 柴田稔「加茂東原遺跡第 2 次発掘調査概報」豊田町教育委員会 1984 年
- 38 清水尚「加茂東原 I 遺跡-第 1 次-」豊田町教育委員会
- 39 山崎克巳他「一の谷中世墳墓群遺跡」磐田市教育委員会 1993 年
- 40 山崎克巳他「磐田市京見塚遺跡群発掘調査報告書」磐田市立郷土館 1982 年
- 41 山村宏他「京見塚遺跡群発掘調査概要」『静岡県考古学研究』第 11 号 1982 年
- 42 山崎克巳「兜塚古墳」『静岡県史 資料編 2』1990 年
- 43 斉藤忠他「遠江国分寺の調査」(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所 1995 年など
- 44 市原寿文「遠江石原貝塚の研究」『人文論集』静岡大学人文学部 1962 年
- 45 徳橋伸一「中泉代官所」『静岡県の中世城館跡』静岡県教育委員会 1981 年
- 46 徳橋伸一「中泉御殿」『静岡県の中世城館跡』静岡県教育委員会 1981 年
- 47 中島郁夫・市野浩世編「御殿・二之宮遺跡発掘調査報告 1」磐田市教育委員会 1981 年
- 48 平野和男「遠江新発見の三角縁神獸鏡」『遠江考古学研究』遠江考古学研究会 1968 年
- 49 吉岡伸夫「坊主山古墳」『静岡県史 資料編 2』1990 年
- 50 吉岡伸夫「暮々谷遺跡」『静岡県史 資料編 2』1990 年
- 51 田辺昭三「向笠遺跡群」『静岡県史 資料編 1』1990 年
- 52 平野和男他「新豊院山墳墓群」磐田市教育委員会 1982 年
- 53 柴田稔、木野美鈴「新豊院山遺跡 (A-II・III) 地点」磐田市教育委員会 1980 年
- 54 徳橋伸一「向笠城」『静岡県の中世城館跡』静岡県教育委員会 1981 年
- 55 木村弘之「中原 C 古墳群」磐田市文化財保存顕彰会 1991 年
- 56 鈴木久雄「磐田古墳時代遺跡地名表」磐田市立郷土館 1982 年
- 57 木村弘之「竹之内 1 号墓遺跡発掘調査報告書」磐田市文化財保存顕彰会 1992 年
- 58 山崎克巳「向笠下原遺跡発掘調査報告書」磐田市教育委員会 1997 年
- 59 平野和男他「東名高速道路建設に伴う埋蔵文化財調査」日本道路公団 1966 年
- 60 鈴木隆夫「権現山古墳群」『静岡県史 資料編 2』1990 年
- 61 鈴木隆夫「屋敷山古墳群」『静岡県史 資料編 2』1990 年
- 62 川江秀孝「瓠塚古墳群」『静岡県史 資料編 2』1990 年
- 63 徳橋伸一「岩井崎」『静岡県の中世城館跡』静岡県教育委員会 1981 年
- 64 徳橋伸一「三箇野台」『静岡県の中世城館跡』静岡県教育委員会 1981 年
- 65 平野吉郎「遠江見性寺貝塚の研究」磐田市教育委員会 1974 年
- 66 鈴木節司「見性寺遺跡発掘調査概報」1985 年
- 67 山崎克巳他「見付端城遺跡発掘調査報告書」磐田市教育委員会 1993 年
- 68 山崎克巳他「住古遺跡発掘調査報告書」磐田市教育委員会 1993 年
- 69 徳橋伸一「城之崎城」『静岡県の中世城館跡』静岡県教育委員会 1981 年
- 70 辰巳和弘「城之崎遺跡発掘調査報告」磐田市教育委員会 1978 年
- 71 「磐田市新貝 17 号墳・18 号墳 城之崎丸山古墳調査概報」磐田市教育委員会 1971 年
- 72 中嶋郁夫「安久路古墳群」『静岡県史 資料編 2』1990 年

- 73 原秀三郎他『遠江堂山古墳』磐田市教育委員会 1995 年
- 74 中島郁夫『野際遺跡発掘調査概報』磐田市教育委員会 1982 年
- 75 伊藤美鈴、鈴木節司『野際遺跡地点発掘調査概報』磐田市教育委員会 1984 年
- 76 山崎克巳『野際遺跡発掘調査報告書』磐田市教育委員会 1994 年
- 77 麻生優『西貝塚』磐田市教育委員会 1961 年
- 78 鈴木隆夫『明ヶ島古墳群』『静岡県史 資料編 2』1990 年
- 79 竹内直文『地鎮めのまつり』『静岡の原像をさぐる』静岡県教育委員会 1997 年
- 80 平野和男『大原墳墓群調査報告書』磐田市教育委員会 1984 年
- 81 後藤守・『松林山古墳発掘調査報告』御厨村郷土研究会 1939 年
- 82 佐口節司『松林山古墳発掘調査報告書』磐田市文化財保存顕彰会 1992 年
- 83 木村弘之『大間遺跡発掘調査報告書』磐田市教育委員会 1992 年
- 84 山崎克巳『長江崎遺跡発掘調査報告書』磐田市教育委員会 1996 年
- 85 山崎克巳、佐口節司他『鎌田・嶽影遺跡発掘調査報告書』磐田市教育委員会 1987 年

第Ⅱ章 調査に至る経過

平成3年12月、東名高速道路の磐田原インターチェンジの建設および磐田原パーキングエリア(以下磐田原PA)の移設に関する整備計画が策定されたことを受けて、磐田原PA移設予定地内に所在する埋蔵文化財の取り扱いについて静岡県教育委員会と豊田町教育委員会との間で協議が開始された。平成4年3月、県教委文化課、豊田町教委・土木課、磐田市教育委員会文化財課によって、磐田原PA移設工事範囲および周辺開発予定地の踏査が2日間にわたり実施され、剥片、土器片など若下の遺物を採集した。9月には、移設予定地内の上層の残存状況を把握するため、豊田町教委・土木課、磐田市教委文化財課、磐田市磐田インター対策室により、テストピットによる調査が行われた。また、これに併行して土地所有者へのアンケート調査が実施され、改植状況の把握がなされた。11月、これらの事前調査結果をもとに県教委文化課、豊田町教委・土木課、磐田市教委文化財課、磐田市磐田インター対策室による協議がもたれ、磐田原PA移設予定地内に所在する、高見丘Ⅲ遺跡・高見丘Ⅳ遺跡の範囲確認調査および本調査の計画について話し合われた。この中で、発掘調査事業委託契約は豊田町と日本道路公団が取り交わし、調査費用については日本道路公団と磐田原総合開発株式会社(第三セクター)で負担することが県教委文化課により明らかにされた。また、調査主体となる豊田町教委の調査体制の整備が急務であることが確認された。

平成5年4月、県教委から豊田町に埋蔵文化財調査担当として1名の職員が派遣され、8月には日本道路公団滝津工事事務所、豊田町教委・土木課で確認調査の方法と工程および契約行為について協議が行われた。10月、県教委文化課も加わり、前回の協議をもとに確認調査および本調査、資料整理作業を含めた全体計画と、協定書・委託契約書の内容と取り交わしについて話し合いがなされた。この協議での合意を受けて、当月27日付けで日本道路公団東京第一建設局長、豊田町長、県教委教育長との間で、本調査・資料整理まで含む協定および確認調査の委託契約が締結された。

計画どおり確認調査は実施され、平成6年3月、日本道路公団滝津工事事務所、県教委文化課、豊田町教委の三者協議が開かれた。豊田町教委から報告された確認調査結果をもとに本調査範囲について合意がなされた。この協議のなかで、本調査の調査主体が、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所となり豊田町教委の協力を得て実施する方針が県教委文化課から示された。

平成6年9月、調査主体が豊田町教委から財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所へと変更になったため、新たに協定を結ぶことになり、委託契約書の内容と併せて協議を実施する。12月22日付けで、日本道路公団静岡建設所長、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所理事長、県教委教育長の三者間で、協定書が、前二者間で平成6年度の委託契約書が取り交わされた。平成7年1月から3月まで豊田町から財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所へ2名の職員が派遣され、財団職員1名と併せて3名の調査体制で本調査のスタートをきることになった。磐田原PAが平成9年度に供用開始される計画に合わせ、本調査は工事工程との調整の中で行われた。平成6年度は、平成7年10月の高見橋撤去工事のためのヤード部分に当たる2区の調査を実施した。

平成7年度は、1A区、1B東区、3区、4区、5A区、5B区、6区、7区、9区の本調査と8区の確認調査を実施し、9月まで、豊田町から1名の職員の派遣を受けた。なお、8区は攪乱が調査区のはほぼ全体に及んでいることが判明したため、以下では報告から除く。

平成8年度は、1B西区の調査を8月まで実施し、全ての現地調査を終了した。資料整理作業は4月から現地調査と併行して行い、9月から鳥田整理事務所にて本格的な作業に入った。

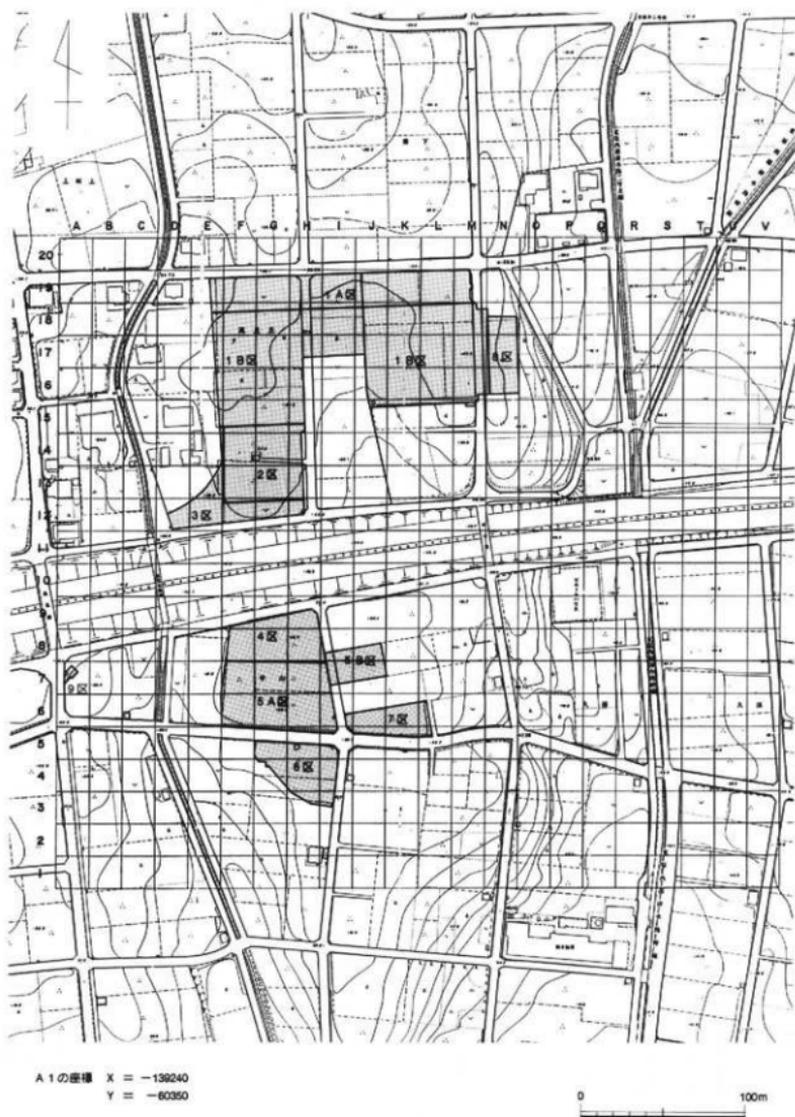


図4 高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡グリッド設定図 (1/3000)

第三章 調査の経過

第1節 調査区の設定

確認調査に先立って国家座標第Ⅲ系を基準に20mメッシュを設定した(図4)。東名高速道路をはさんで南北にメッシュを設定するため、東名高速道路にかかる中山橋を通過するX軸を基準線として、 $X = -139240$ 、 $Y = -60350$ を起点とした。グリッド名は起点をA1として、X軸を北方に1から番号をふり、Y軸を東方にAからアルファベットをふり、各グリッドの南西隅の交点をグリッド名とした。グリッド番号を北方に展開したのは、将来、高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の北側で調査が行われる可能性があり、その時にも使用できるようにしたためである。

20mグリッドは中を4mメッシュで区切って25等分し、左隅から南西隅の交点に01～25の番号をつけ、小グリッドの呼称とした。例えば、F18グリッドの中の05グリッド(図5の斜線部)ならば、F1805グリッドと呼称する。さらに、遺物の出土位置を示す基準を表すために、4mの小グリッド内を1mで等分し、起点から北方向と東方向への距離で表した。F1805 N1m E2mという表現はF1805の点から北へ1m、東へ2mの位置を表す。

第2節 確認調査の経過と概要

平成5年度の調査

調査委託契約書の締結後、直ちに発掘作業員の募集・発掘調査事務所設置等の準備に入った。準備が整い、調査箇所の地権者の承諾を得て、12月20日から現地調査に入った。

国土座標を基に、調査範囲を覆う20m×20mのグリッドを設定し、このグリッド線の交点に2m×2mの試掘坑を設け、人力掘削による調査を行った。原則として、この一帯で現在のところ遺構・遺物が確認されている最も古い層である3b層まで掘り下げて調査したが、これより上層で遺構・遺物が見つ

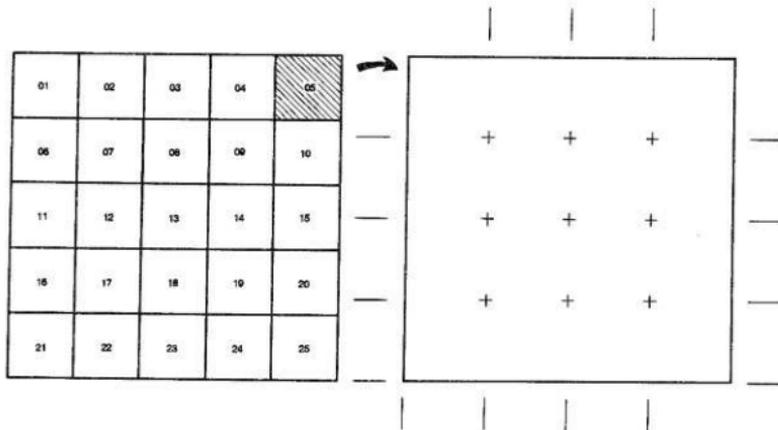


図5 グリッド小区面図

かったときは、実測・写真撮影を行い、確認調査を終了した。出土遺物は、位置が動く、または紛失の恐れがあるため取り上げた。

当初計画した試掘坑124箇所のうち、P.A.予定地境界にかかる恐れのある地点および、果樹園のため土地買収前の調査ができなかった箇所、茶園耕作により承諾が得られなかった箇所を除いて南区36箇所、北区55箇所、計91箇所の確認調査を実施することができた。

南区は全体としてかなり改植が進んでいたが、北西の1帯は改植を免れ、2箇所から遺構・遺物が検出された。一方、北区は、南区に比べて土層の残存状態が良好で、遺構・遺物が13箇所から検出された。

当該地は、主として旧石器時代の遺跡の広がり予測され、広範囲の中に何箇所か遺構・遺物が集中して発見される可能性が高い。

第3節 本調査の経過と概要

平成6年度の調査

a. 2区の調査

前年度の確認調査結果を受け、調査対象地の表面積を23,000m²とし、1区から8区の調査区を設定した。そのうち、2区(表面積2,000m²、総面積4,280m²)を6年度の調査対象区とした。調査期間は、平成6年12月から平成7年3月までのおよそ3ヶ月半である。

平成6年12月22日、日本道路公団、静岡県教育委員会、(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所の三者契約が成立した。これを受け、平成8年1月から、調査事務所建設・作業員雇用・資器材調達・調査用コンピューターシステムの導入、茶木伐開等の事前準備を進め、2月6日から現地発掘調査に入った。

調査は、次年度以降の調査の基準となる資料を得るため、基本土層の層位把握を目的として調査区北辺に設定したトレンチの掘削から開始された。3月には静岡大学名誉教授加藤芳朗氏、磐田市教育委員会文化財課の指導を仰ぎ、基本土層の確認を得た。(詳細は別項に記載)

これに基づき、表土除去の後、2 a層から順に平面掘削を進めた。旧石器時代の遺構・遺物は、2 b層から3 a層において検出された。西端部および中央付近に礫・石器の集中部が観察された。

平成7年度の調査

a. 準備工

平成7年度調査計画(調査順、方法、土壌分析等)の具体的な検討を行う。また、防塵・防護フェンス設置、グリッド杭設置準備やコンピューターによる遺物及び遺構実測・取り上げシステムの準備作業を行う。他に、2区で検出した土坑や基本土層の図面・写真等による確認を、また、出土した遺物の基礎整理(洗淨、注記、台帳作成等)作業、図面整理作業を行う。

b. 3区の調査

5月22日から表土除去を開始し、終了後、旧石器時代の遺構・遺物調査に着手。石器ブロック、襟群、西側谷部調査(～8月25日完掘)、黒色帯確認調査を経て9月5日、3 b層完掘写真の撮影を行い、9月13日すべての調査を終了する。8月17日、静岡大学名誉教授(土壌学)加藤芳朗氏を招き、土層検討を行う。

c. 4区の調査

6月19日から表土除去を開始し、終了後旧石器時代の遺構・遺物調査に着手。土坑調査、変色土調査、黒色帯確認調査を経て、9月5日に3b層完掘写真撮影を行い、9月7日全ての調査を終了する。

d. 6区緊急調査

取り付け道路工事先行に伴い、6月29日から9m²の確認トレンチを掘削調査。7月14日に完掘写真の撮影を行い、すべての調査を終了する。

e. 9区緊急調査

取り付け道路工事に先立ち、7月11日から表土除去を開始し、終了後、旧石器時代の遺構・遺物調査に着手。礫群、配石、東側谷部調査を経て、7月28日に3b層完掘写真の撮影を行い、同日すべての調査を終了する。

f. 5B区の調査

7月20日から表土除去を開始したが、他調査区の進捗状況を受けて、8月21日から本格的な掘削調査を行う。2b～3b各層の調査を経て、9月29日に黒色帯確認調査を行う。11月7日に完掘写真を撮影し全ての調査を終了する。

g. 5A区の調査

8月24日から表土除去を開始し、9月8日に測量杭を設置する。その後、旧石器時代の遺構・遺物調査に着手。礫群、石器ブロック、配石、土坑、炭化物調査を経て、12月19日に3b層完掘写真の撮影を行い、同日すべての調査を終了する。

この間、10月18日に近くの豊田東小学校6年生75名が来跡し見学する。また、前出加藤芳朗氏を招き土層検討、礫群20及び土坑1断面土層保存処理、河西 学氏により火山灰分析試料採取を行う。

h. 1B区緊急調査

工事計画変更に伴い、9月21日から表土除去を開始し、終了後、旧石器時代の遺構・遺物調査に着手。礫群、石器ブロック、配石調査を経て、9月27日に3b層完掘写真の撮影を行い、同日すべての調査を終了する。

i. 1A区の調査

10月1日から表土除去を開始する。長大な調査区のため東側から3地区に分けて進める。縄文時代以降の自然流路、旧石器時代の遺構・遺物（礫群、石器ブロック、配石、土坑、炭化物）調査を経て、12月19日に3b層完掘写真の撮影を行い、12月25日すべての調査を終了する。

j. 7区の調査

12月4日に表土除去を開始し、終了後、旧石器時代の遺構・遺物調査に着手。礫群、配石調査及び黒色帯確認調査を経て、1月29日に3b層完掘写真の撮影を行い、同日すべての調査を終了する。

k. 6区の調査

12月25日に表土除去を開始し、終了後、縄文時代以降の自然流路の調査を行う。1月29日にこれを終了し、旧石器時代の遺構・遺物（礫群、石器ブロック、配石、炭化物）調査、黒色帯確認調査を経て、3月14日に3b層完掘写真の撮影を行い、同日すべての調査を終了する。

l. 1B区（東半部分）の調査

2月5日から表土除去を開始し、その後旧石器時代の遺構・遺物（礫群、石器ブロック、配石、炭化物）調査を経て、3月28日に2b層写真撮影を終了する。

平成8年度の調査

a. 中央部分の調査表面積 5400 m² 総面積 11340 m²

表土除去ののち遺構面精査を行った結果、すでに北側の1A区において検出していた3本の流路が、この1B区中央部分で1本に合流するという大きな地形的変化を見せると予想された。4月2日から黒色有機質土掘削を始め、断面実測および写真撮影の終了後、5月31日に平面実測を委託により実施する。

流路内に散在している縄文土器の小破片を少量取り上げ、十坑5基の調査を実施する。続いて3a層の掘削調査を行い、6月7日に流路の完掘写真を撮影する。7月15日に調査区全体の完掘写真を撮影し、全ての調査を終了する。

b. 西半部分の調査

4月22日に南側から表土除去を開始し、5月23日から測量杭を委託により設置する。設置後、2b～3b各層の旧石器時代の遺構・遺物（礫群、石器ブロック、配石、土坑、炭化物、黒色帯確認）調査を経て、8月9日に3b層完掘写真の撮影を実施する。この間、6月7日には、調査区南壁において基本土層のはぎ取り保存作業を実施する。

なお、両部分間を南北に走る道路部分は、断面調査の結果、造成工事により攪乱されたため当時の土層は残存していないと判断された。

この後、旧地形復原のため調査区全面のオフセット実測を行い、北側の一部に残る遺構（礫群）を調査し、8月31日に本調査の全てを完了する。

第4節 整理作業の経過と概要

平成8年度の整理作業

平成8年9月からは高田整理事務所で開催作業に入った。遺物、器材等の搬入、今後の整理作業方針の検討、遺物の収納、パソコンの設置などの準備期間を経て、9月下旬から本格的な整理作業を開始した。

平成8年度の整理作業は、遺物の接合作業と、遺物台帳の整備に重点をおくこととした。

礫の接合は、礫群内接合、近接する礫群間接合、礫群外礫と礫群内礫の接合、礫群外礫同士の接合の順で行った。作業範囲は、20mの大グリッドを基本的な作業単位として、隣接する大グリッド間での接合作業を最大の作業範囲とした。これによって、最大40mまでの接合関係をカバーできるようにした。これ以上の遠距離接合については、いくつかの礫群をピックアップしてその礫群間での接合を試みたが、全く接合しなかったため、40mを越える接合は極めて希であると判断し、行わなかった。

石器の接合は、個別別試料の分類から始めたが、これがかなり難航した。従来から指摘されているように、磐田原台地の主要石材であるシルト岩や砂岩、凝灰岩は、白く風化したものが多く、個体の識別は非常に困難である。今回の場合も、風化の度合いや色、細かな模様、節理の入り方など、どの程度の違いを個体による違いと判断するか、迷いに迷った。そこで、まず、破片や小さな剥片の個別別分類は不可能であるため、これらを除外した。次に個別別分類が可能な遺物について、比較的分類しやすい石核を個別別に分類し、これを基準にしてその他の石器の個体を分けた。石核と同一個体でない石器は、大型の剥片を基準として個別別分類した。接合作業は、主として同一個体内で行ったが、個別別分類の正確さを検証する意味で、類似した個体間での作業を行ったところ、別の個体に分類した遺物が接合する例がいくつかあり、その都度分類を再検討した。このように、個別別分類は常に流動的であったため、結局のところ、同一個体内、類似した個体間で石器1点づつの総当たり戦を敢行して接合の有無を検討した。

遺物台帳の作成は（株）コンピュータシステムの整理作業用ソフトを使用し、遺物の平面分布図、垂直投影図、接合状況図の作成もこのソフトを使用した。なお、最終的にはこの遺物データを市販の表計算ソフトに変換して報告した。

平成9年度の整理作業

平成9年4月からは前年度の基礎作業を受けて、石器の実測、図面、表の作成など、報告書に使用する図面、表などを作成した。石器の実測には（株）シン技術コンサルの実測用スリット写真を使用した。



IV遺跡エリア1調査風景



III遺跡エリア1ブロック4調査風景



III遺跡エリア3ブロック12調査風景



IV遺跡群20切り取り作業



IV遺跡群20表面保護



IV遺跡群20密封作業



IV遺跡群20吊り上げ



IV遺跡群20吊り上げ

現地調査風景

表2 年度別調査面積と現地発掘調査体制

年度	期 間	面 積	担 当 者
5	平成5年12月20日～平成6年3月10日	364m ²	渡瀬 治 坪井敏之
6	平成6年12月22日～平成7年3月31日	2,000m ² 4,280m ²	渡瀬 治 清水 尚 鈴木一行 坪井敏之
7	平成7年4月1日～平成8年3月31日	17,145m ² 36,025m ²	渡瀬 治 佐藤清隆 清水 尚 宮崎 覚 柴田 睦 富樫孝志 丸杉俊一郎
8	平成7年4月1日～平成8年8月31日	5,400m ² 11,340m ²	渡瀬 治 佐藤清隆 宮崎 覚 富樫孝志 丸杉俊一郎

平成5年度の調査は確認調査で、静岡県磐田郡豊田町教育委員会が担当している。

本調査面積は、表面積24,545m²総延べ面積51,645m²である。

平成6年度本調査からは（財）静岡県埋蔵文化財調査研究所が担当している。

表3 調査工程表

平成5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
確認調査												
平成6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2区												
平成7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備工												
3区												
4区												
6区緊急調査												
9区緊急調査												
5B区												
5A区												
1B区緊急調査												
1A区												
7区												
6区												
1B区東												
平成8年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1B区中央部												
1B区西												

第IV章 高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の土層

第1節 基本土層

高見丘Ⅲ遺跡と高見丘Ⅳ遺跡は、東名高速道路をはさんで別の遺跡として登録されているが、基本土層は同じであるため、ここでまとめて報告する(図6)。

磐田原台地の土層は、暗色帯を中心に考察されてきた研究史がある。これは、暗色帯が肉眼的に認識しやすいことと、火山灰分析によって始良Tn火山灰を含むことが指摘されていることが大きな理由である。広野北遺跡では暗色帯が1枚だけ認められたのに対して、寺谷遺跡では暗色帯が間層をはさんで

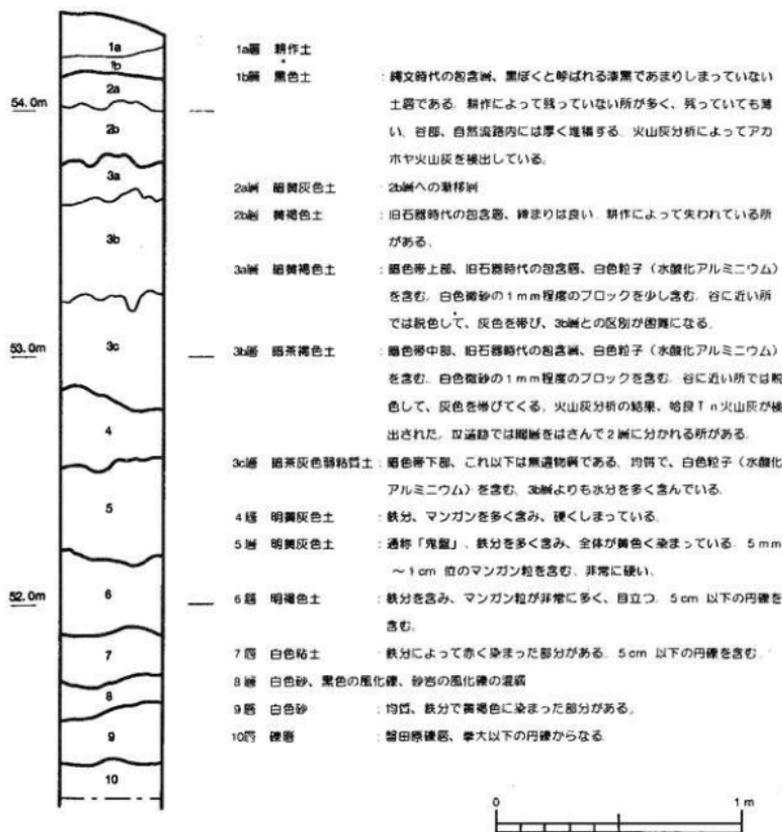


図6 高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の基本土層図(1/20)

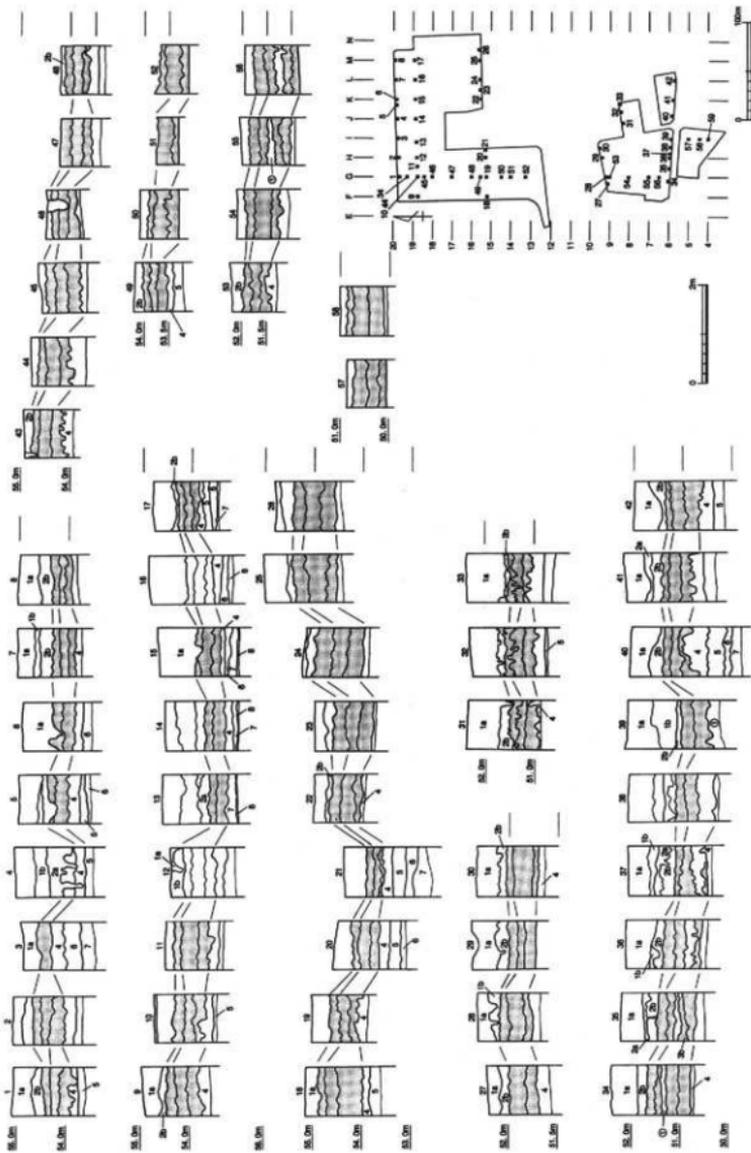


図7 土層柱状図、地形エレベーション図 (1/100 柱状図位置は1/5000)

2枚認められている。前者は広野型、後者は寺谷型とされている。高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡では、基本的に暗色帯は1枚のため、広野型に属すると考えられる。暗色帯の細分方法は、調査者によって若干の違いがあるようだが、高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の調査では次のようにした。まず、もっとも色が暗く見える部分を暗色帯の本体(中層)とした。次に、その下に明らかに粘性が増し、また、水分も多く含んだ部分があったため、この部分を暗色帯の下層とした。一方、暗色帯中層と黄褐色土の間に暗色帯のやや色の薄い部分があり、この部分を暗色帯上層とした。

縄文時代の土層と旧石器時代の包含層の上にある漸移層は、攪乱によって残っているところは少ない。旧石器時代の遺物は2b層とした黄褐色土と3a層とした暗色帯上層、3b層とした暗色帯中層から出土した。暗色帯下層からは遺物は出土していない。もっとも遺物を多く含んでいるのは暗色帯上層である。

暗色帯は基本的に1枚であるが、Ⅳ遺跡の一部では暗色帯が間層をはさんで2枚に分かれている所がある(図10)。間層は、灰白色粘質土と暗色帯が混ざってまだらになった層で、場所によっては間層が厚みを増すに従って暗色帯下部(3c層)が薄くなり、暗色帯下部(3c層)がなくなっている所もある。加藤芳郎氏の教示によれば、本来、灰白色粘質土が暗色帯内に間層として入り込んでいたものが、攪乱を受けて暗色帯と混ざっており、場所によっては攪乱が下の暗色帯下部にまで及んで間層が厚くなった分、3c層が薄くなっている。したがって、暗色帯が2枚に分かれてはいるが、寺谷型とは成因が異なっていることになる。

第2節 谷部の土層

遺跡の西側、現在の流路に沿って深い埋没谷が南北方向に走っており、それから派生すると考えられる谷をⅢ遺跡の南西隅と北西隅で合計2カ所検出している。ともに円弧状の入り江で、勾塚中遺跡の調査で多数検出され、ノッチと称された特徴的な地形である。成因や埋土の地質学的検討は、勾塚中遺跡の報告書に詳しい。谷の上部は攪乱が入っていたり、埋土と黒ボクの区別が非常に困難であったりで、切り込み面は確認できなかった。確実に切り込みがわかるのは2b層以下で、2b層以下を浸食して基底礫層まで達し、谷底は平坦になっている(図8)。谷の埋土は黒色土を主体としており、加藤芳郎氏の教示によれば、黒ボクの再堆積とのことである。底に近づくに従って小礫を多く含むようになる。埋土中にはナイフ形石器など、旧石器時代の遺物も流れ込んでいる。

第3節 土層の残存状況

茶畑の造成や新種の茶の木に植え替える際に、地力の回復を兼ねて地面を大きく掘り返す(天地返し)ことがあるため、調査前にこの状況を把握することは、調査区の設定において不可欠であった。調査区の設定前に、地主に対して行ったアンケート調査や確認調査によって、天地返しの著しい場所は、予め調査区からはずしてあったが、本調査区でも縄文時代の包含層である1b層は失われている場所が多く、2b層の上部まで攪乱が及んでいる場所もある。旧石器時代の遺物包含層に大きな影響を及ぼす攪乱の状況は次のとおりである。Ⅲ遺跡では自然流路による攪乱以外にも耕作や工事による攪乱が入っており、遺物の分布に影響を与えている(図9)。Ⅳ遺跡では、自然流路以外には大きな攪乱はなかった(図10)。これ以外にもⅢ遺跡、Ⅳ遺跡ともに、重機や茶畑の防霜ファンによる攪乱は至る所にあるが、幸い遺物の分布に影響しているものは少ない。

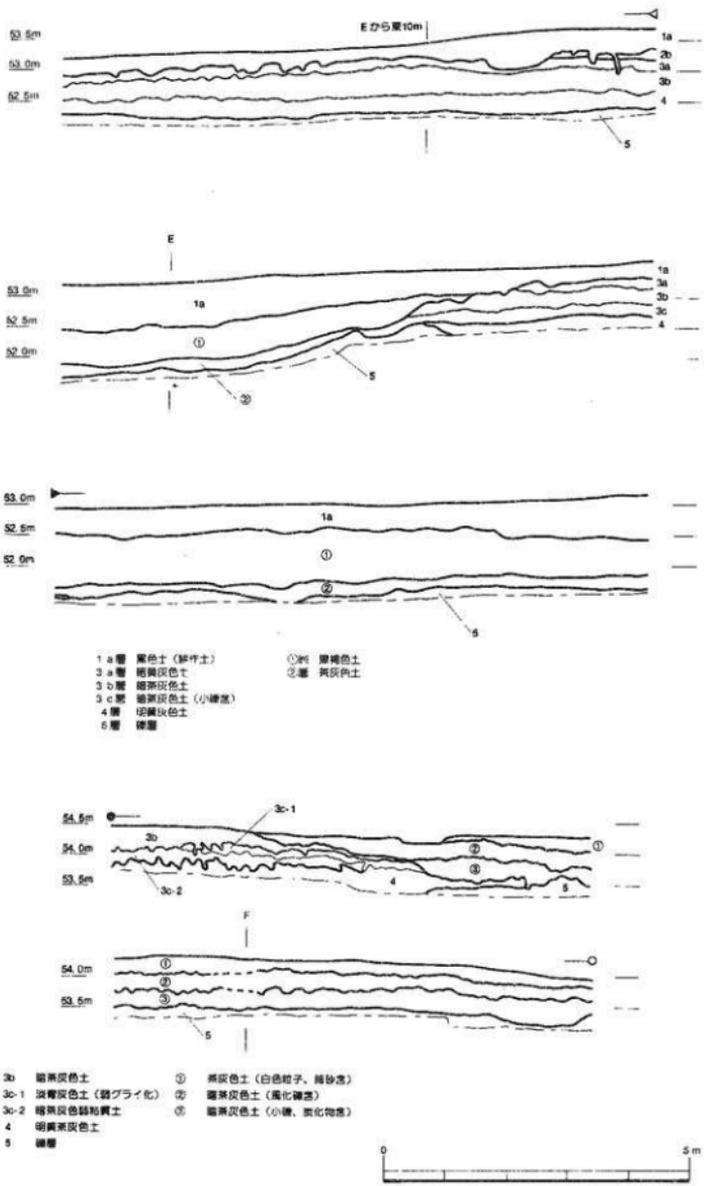


図8 浅谷断面図 (1/80 断面位置は図9に記載)

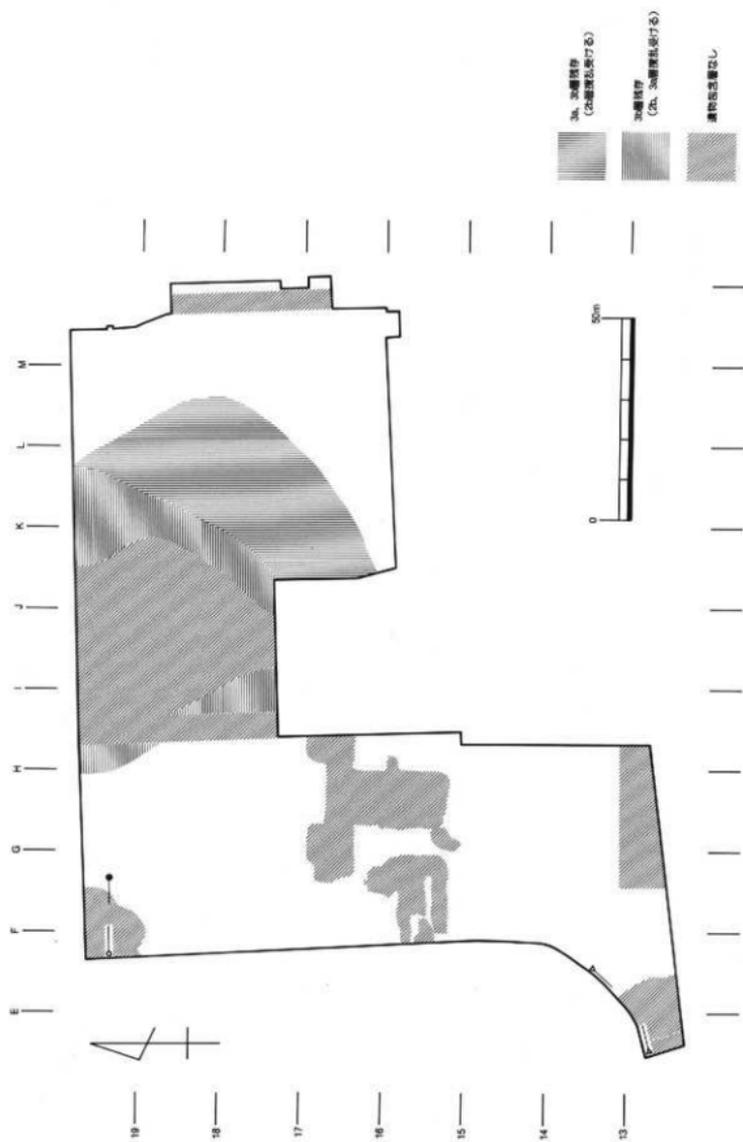


図9 高見丘Ⅲ遺跡の攪乱状況 (1/1200)

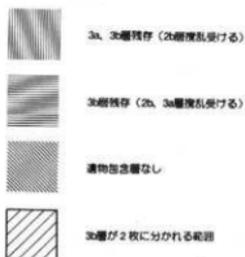
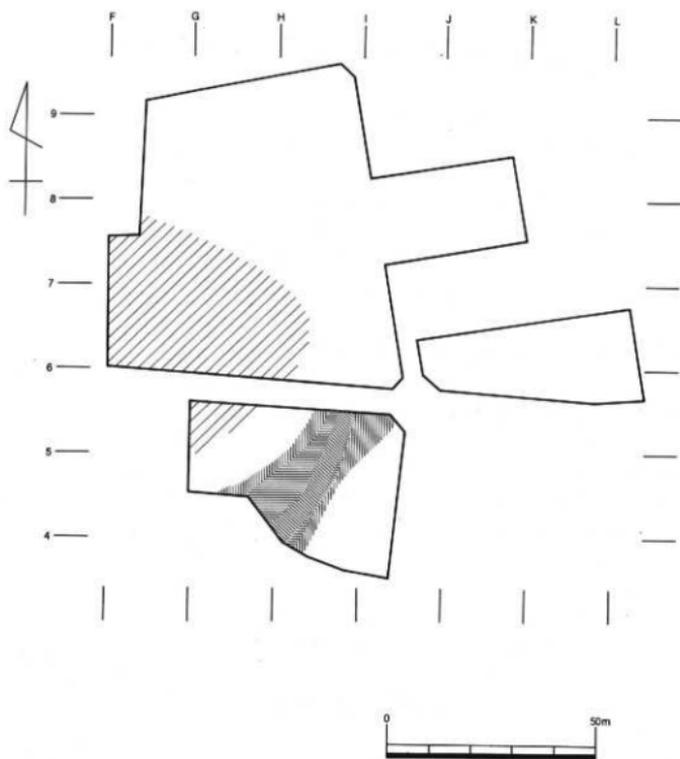


図10 高見丘IV遺跡の攪乱状況（1/1200）

第V章 旧石器時代の調査方法

磐田原台地では、一般的に旧石器時代の包含層が薄く、各土層の上面は緩やかに傾斜していることが多いため、旧地形に沿った掘削に特に注意し、配石、礫群、石器の出土層を極力正確に把握することにとめた。遺物は、出土状況や過去の調査例から、同一面で複数時期の遺物が混じって出土していることは確実であり、出土層の違いによる文化層の区分はほぼ不可能と判断し、また、他遺跡と資料の分析方法を等質にするため、勾配中遺跡での遺構認定方法、資料操作方法を継承することとした。

第1節 ブロックの認定基準

石器の集中の度合いに大きな差があり、石器の分布がまばらな場合はブロックとするには抵抗があった。しかし、まばらではあっても周辺との比較で、相対的に石器が集まっていると判断できるものについてはできるだけブロックと認定することにし、有意な集まりとして、分析単位を与えた。

ブロックの認定がもっとも難しかったのが、Ⅲ遺跡エリア3の微高地部分である。ブロック11を中心に複数のブロックがあることは確実であったが、現場では境界線を引くことができなかった。まず、ブロック11の南西にもう1つのブロック（ブロック12）があることは、視覚的にわかったが、その境界をどこにするかは個別別資料の分布や接合関係を基準に検討したものの、結局は両者の間にある空間を頼りに境界を設定した。次に、ブロック11とブロック12の周辺の分布域である。ブロック17～20は石器の分布を周囲の空間で区切ることによって設定できたが、それ以外の部分にはブロック11、12を囲むように礫群が分布しており、その分布に重なるように石器が分布している。石器の分布は切れ目なく連続と続いており、後述のように、個別別試料の分布を手がかりとしてブロックを設定した。

第2節 礫群の認定基準

礫群は、5個以上の礫の集まりとして、周囲の遺物の分布と比べて相対的に集中していることを現場での認識基準とした。礫群については、外形がはっきりしているものが多く、現場で認識しやすかった。

赤化、破損、割れ面赤化の度合いの判断については次のようにした。

赤化、割れ面赤化：◎…全体、または一部が真っ赤になっている。例えて言えば、鶏のとさかのような色になっている礫が、これに属する。

○…真っ赤ではないが、全体が明らかに赤くなっている。

△…全体が薄いピンク色になっているか、一部が明らかに赤く、またはピンク色になっている。

×…変色していない。

破損：◎…半分以上失い、一部だけ残っている。

○…ほぼ半分に割れている。

△…一部が欠けている。

×…割れていない、すなわち、完形。

破損の判定の場合、接合した結果の判定は含んでいない。あくまでもどのような状態で出土したかの判定である。大きさは、もっとも長く計れる軸を長軸とし、それに直行する方向でもっとも長く計れる軸を短軸とし、それらに直行する方向でもっとも長く計れる軸を厚さとした。

第3節 配石の認定基準

過去、寺谷、広野北遺跡では、礫の赤化、破損の2つの属性について、重量別分布の検討によって1kg以上の礫を配石としている。これに対して匂坂中遺跡では同様の検討の結果、900g以上の礫を配石としている。高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡でも配石を認定する必要上、同じ検討を行い、次の結果を得た。

出土した全礫を対象にして、赤化礫の個数と完形礫の個数を100gごとに区切って重量別分布図を作成した(図11)。この図を見て明らかなように、800g未満の礫では完形礫よりも赤化礫の方が圧倒的に多かったものが、800g台の礫では赤化礫と完形礫の数がほぼ同数になり、900g台を越えると完形礫の数の方がずっと多くなり、赤化礫の個数は急激に減少していく。ここで、800g台の礫を配石にするかどうか迷うところだが、800g台の礫の出土状況を見ると、礫群内に含まれているものがほとんどであるのに対して、900g台を越えると礫群を離れて単独で出土するものが増えてくる。したがって、900g以上の礫は900g未満の礫と出土状況と礫の属性が異なることから、900g以上の礫を配石として区別した。この際、礫群内に含まれるものと含まれないものの区別も試みたが、判断に迷うものがあまりにも多かったため、900g以上の礫をすべて配石とした。以上は匂坂中遺跡での検討と同様の結果である。

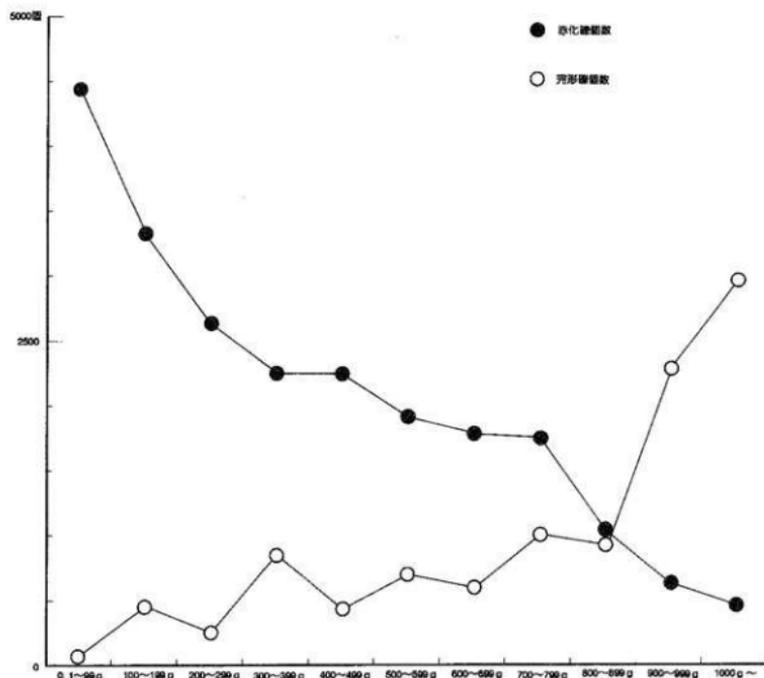


図11 高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡出土礫の属性別重量分布グラフ

第4節 エリア区分

エリアは勾取中遺跡で実践された概念で、同時期と考えられる遺構、遺物が分布する範囲と定義され、様々な資料分析の際の作業単位となる。高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡でも勾取中遺跡での手法に習った。区分の手順は次の通りである。

- 1 各ブロックの時期を決定する。
- 2 同時期のブロックが分布する範囲を決める。
- 3 接合関係や個別別資料の分布、遺物分布の粗密、空白をもとに同時期のブロックとその周辺の遺物分布域を1つのまとまりとする。
- 4 同じエリア内で遺物の分布や接合関係からさらに有意なまとまりとしてサブエリアを適宜設定した。こうして微高地を単位としてⅢ遺跡で3つ、Ⅳ遺跡で3つのエリアを決定した。

第5節 個別別分類

高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡で使用している石器石材について、伊藤通玄氏の鑑定結果と報告書での使用名の対応は次の通りである。

シルト岩1 (S i 1) : 灰白色、黄白色など白色系統のもの…珪質シルト岩、凝灰質シルト岩、珪質頁岩

シルト岩2 (S i 2) : 白色系統以外のもの…珪質シルト岩

砂岩 (S a) …凝灰質砂岩

凝灰岩 (T u) …珪質凝灰岩、流紋岩質凝灰岩

黒曜石 (O b)、安山岩 (A n)、玄武岩 (B a)、蛇紋岩 (S e) は、鑑定名と報告名は同じである。また、礫群に見られる変成岩は変成岩類 (S c) として一括した。シルト岩と砂岩は区別が難しいものがあったが、肉眼で鉱物粒が確認できるものを砂岩とした。

磐田原台地で使用している石器石材は白色系統のシルト岩、砂岩、凝灰岩が主体で、個別別分類が困難なことはこれまでの調査で指摘されてきたことである。今回の作業では、微高地単位で遺物を分けてからその中で個別別分類を開始した。これは、最初、Ⅲ遺跡とⅣ遺跡それぞれの中で、地形や個々の遺物の分布とは関係なく、純粹に石材の違いのみで、個別別分類をしたところ、地形単位を越えて数十mの距離を隔てて分布する個体が続出した。谷をはさんだ2つ以上の微高地上に同時に居住があったとしても良いが、その分布はあまりにも不自然で、将来集落論を展開する時に、異様なモデルを設定せざるを得なくなると考えられることと、そもそも、白く風化した石材を純粹に石材の違いだけで分類したところに無理があると考えた。したがって、資料操作の第一段階として、石材の違いのみで分類する以前に、Ⅲ遺跡とⅣ遺跡で、もっとも大きな分析単位となる旧地形単位で個体を分ける必要があった。そこで、微高地ごとに遺物を分けてから次の作業に移った。まず、碎片については個別別分類が不可能であるため、これを除外した。次に石核を個別別に分類し、これを基準にしてこれらの石核と同一個体の石器を抽出した。こうすると石核とは別個体の石器が残る。これらを、大型で目立つ石器を基準として、これと同一個体の石器を分類する。この一連の作業の結果どこにも分類されなかった石器を再度、他の個体と比較検討した後に、どの個体にも所属しない場合は、これを単独個体とした。

ただし、個別別分類が困難なことには変わりはなく、接合作業の途中でも、接合状況によって、個別別分類の再検討を繰り返した。

第Ⅵ章 高見丘Ⅲ遺跡の調査

第1節 エリア1の遺構と遺物

このエリアではブロック3基、礫群27基、配石38基、土坑2基を検出した(図12)。地形は微高地と東に向かう緩斜面、南西隅の、調査区西側にある埋没谷から派生する浅谷からなっている。遺物は谷に面した微高地頂部に集中しており、石器の大半はここで出土している。緩斜面は、礫群が集中する場所が2カ所ある。このあたりでは石器があまり分布していないが、礫の接合関係から、礫群の集中箇所を1つの単位として設定した方が、礫群が集中する意味を解釈しやすいことから、サブエリアを設定した。石器、礫ともに低い密度で散在する地域であるため、石器の個別別資料の分布以外に、両者の間にある空間を生かしてサブエリアを設定した。

遺物は2b~3b層上層で出土している。特に礫は3a~3b層上面に集中する傾向がある。3b層中位以下からは礫、石器とも全く出土していない。土坑は、調査区東端で遺物があまり分布しない場所で2基並ぶようにして検出した。

1 土坑

調査区の東端、H1402、H1407区で土坑を2基検出した。ともに検出面は3b層上面、標高52.9mで、掘り込み面は確認できなかった。2基とも平面形、規模、埋土など共通点が多く、長径が北西方向を向いて並んでいるように見える。これは、土層の色の違いで検出したというよりも、周囲の土に比べて非常に硬く締まった部分として検出した。2基とも埋土から遺物は出土していない。検出当初、人工

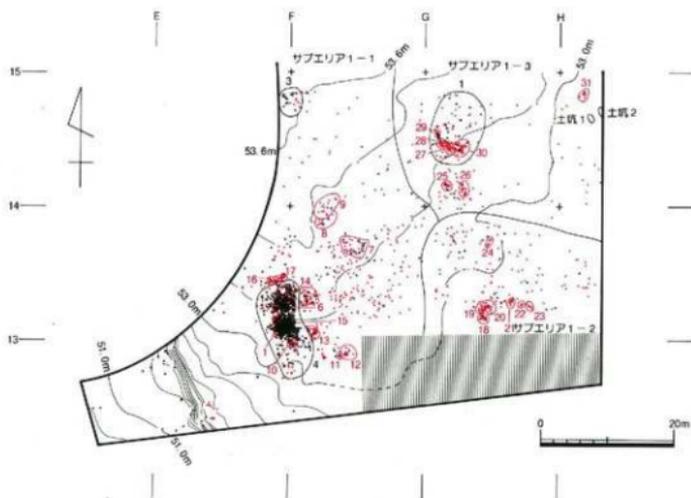


図12 エリア1遺構、遺物分布図(1/750)

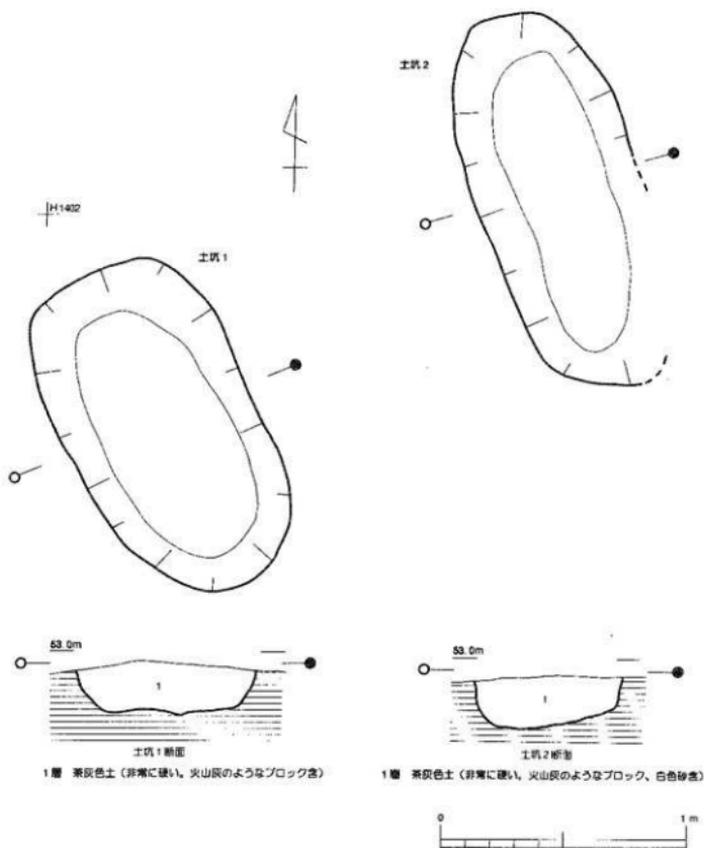


図13 土坑1、2平・断面図 (1/20)

的なものか判断しがたかったが、2つ並んで検出できたことで相互に比較検討したところ、自然にできた窪みというには平面形、掘り方など形態がはっきりしており、2基の間に共通点が多いため、土坑と判断した。今回の調査で検出した土坑の中では特異な存在である。

土坑1 (図13) 規模は長径140 cm、短径80 cm、深さ20 cmの楕円形である。埋土は非常に硬く締まった茶灰色土1層からなり、直径5 mm以下の火山灰のようなさらさらしたブロックを多く含むため、火山灰分析を依頼したところ、始良T n火山灰が検出された。

土坑2 (図13) 規模は長径160 cm、短径70 cm、深さ20 cmの楕円形である。埋土は非常に硬く締まった茶灰色土1層からなり、白色粒子の他に、直径5 mm以下の火山灰のようなブロックを多く含む。土坑1よりもわずかに粘土質を帯びている。この土坑の埋土からも始良T n火山灰が検出された。なお、始良T n火山灰は土坑の外でも検出されているが、土坑埋土の方に多く含まれる。

2 礫群

礫群はエリアの南側、北側、西側の3カ所で集中して出土した。南側と北側の集中域は微高地の頂部から、谷に向かって緩やかに下がっていく斜面にあたっている。西側の集中域は、西端で検出した谷を望む微高地の頂部付近、ブロック4の下から出土した。

礫群1 (図14) E1325区付近、微高地上で2b層から出土した。175×132cmの範囲に広がる。礫が集中する部分が数カ所ある。中央付近に配石5を含んでいる。南東には配石6、9がある。構成礫数は50点、砂岩が72%、あとはチャートと頁岩である。赤化率92%、破砕率78%、割れ面赤化率66%である。総重量7961g、平均重量は159.22gである。

礫群6 (図15) 2b層で検出した。411cm×380cmの広い範囲に広がる。中央付近に空間があり、2つの礫群に分かれるかもしれない。礫が集中する部分はなく、散在しており、南側にやや礫が多い。配石3、4を含んでいる。構成礫数は117個で砂岩が81.2%で他はチャート、頁岩、流紋岩がある。赤化率は92.3%、破砕率88.0%、割れ面赤化率66.7%、総重量12599g、平均重量107.7gである。

礫群7 (図16) 2b層で検出した。360cm×235cmの範囲に広がる。配石を6個含んでいるため、それぞれを単独の配石としても良いが、周辺にある礫がどの配石に属するのかわからないものが多いため、このまとまり全体を礫群とした。したがって、他の礫群と同列に扱うには若干の問題がある。構成

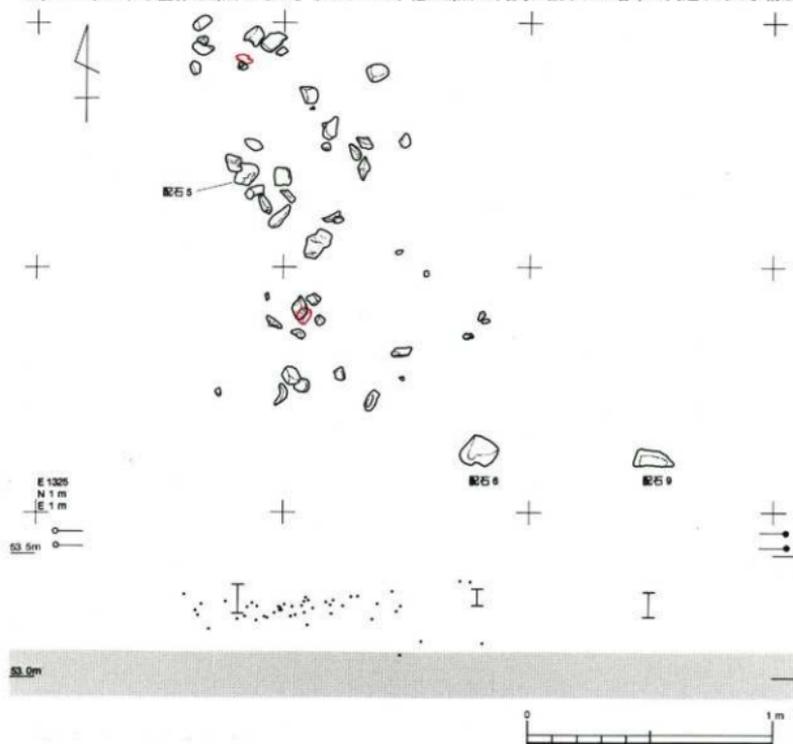


図14 礫群1礫分布図 (1/20)

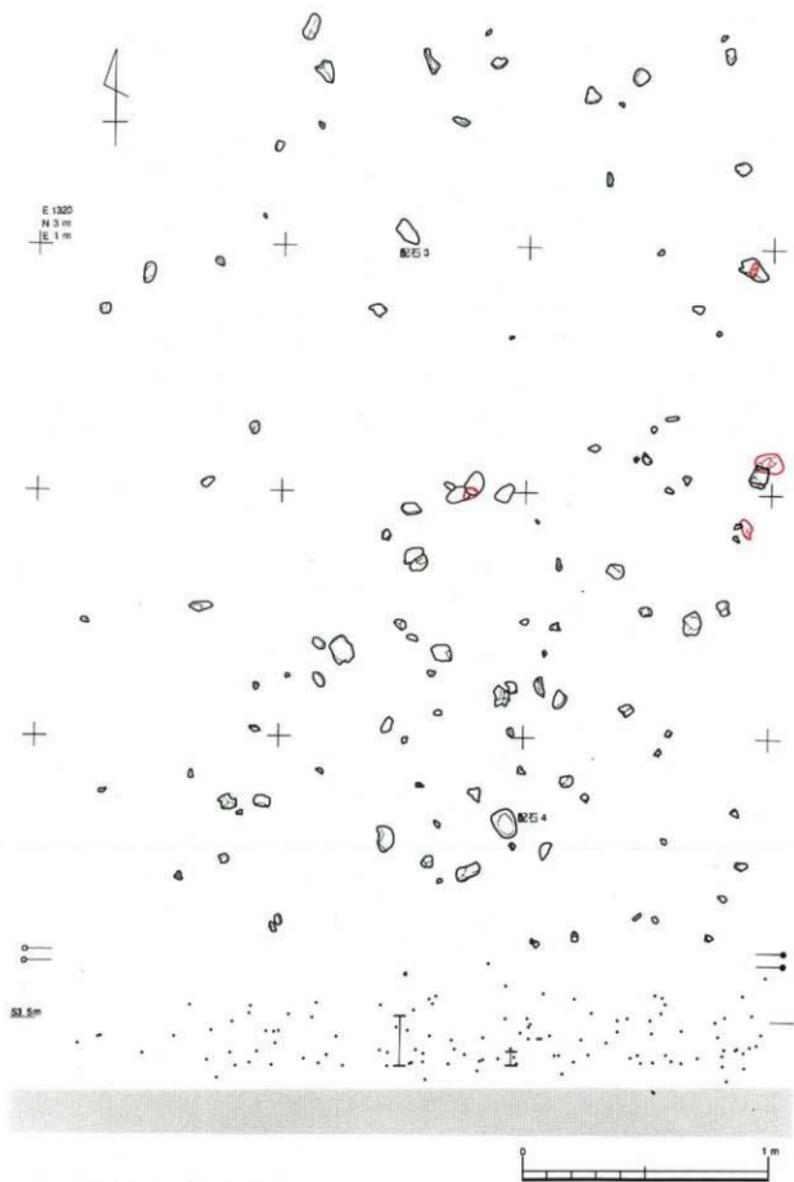


圖 15 礫群 6 礫分布圖 (1/20)

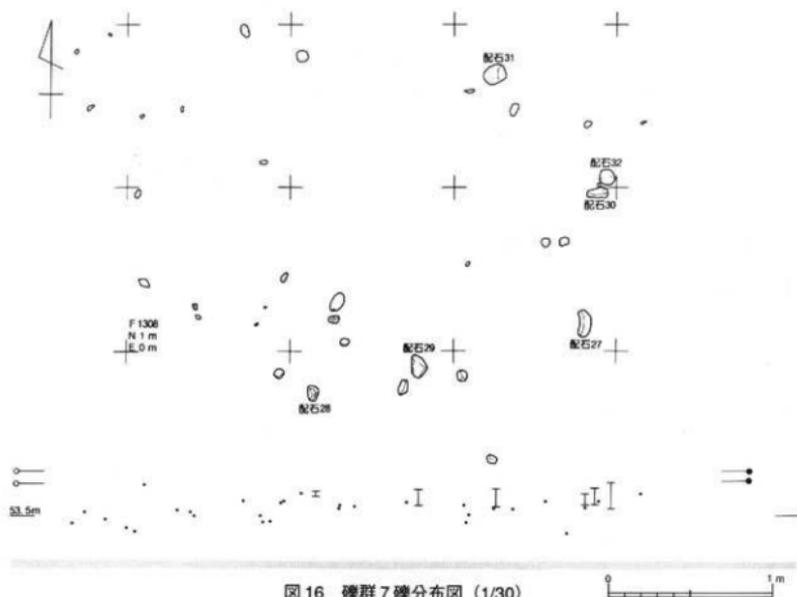


図16 礫群7礫分布図 (1/30)

礫数は36個で砂岩が50.0%で他はチャートと花崗岩、頁岩がある。赤化率は41.7%、破砕率58.3%、割れ面赤化率13.9%、総重量12535 g、平均重量348.2 gである。赤化率、破砕率、割れ面赤化率とも低いのは、配石を6個含んでいるためである。

礫群8 (図17) 2 b層で検出した。64 cm×48 cmの範囲に広がっている。構成礫数7個で砂岩が85.7%で、あとは花崗岩と頁岩である。小礫が散在している。赤化率40%、破砕率80%、割れ面赤化率30%、総重量2871 g、平均重量287.1 gである。赤化率が低いのが特徴である。

礫群10 (図17) 2 b～3 a層で検出した。西側に配石21を含んでいる。103 cm×67 cmの範囲に広がっている。構成礫数27個で砂岩が70.4%であとは頁岩、流紋岩がある。赤化率88.9%、破砕率81.5%、割れ面赤化率59.3%、総重量4708 g、平均重量174.4 gである。

礫群11 (図17) 3 a層で検出した。配石22を含んでいるが、全体として配石にすべきかもしれない。40 cm×40 cmの狭い範囲にまとまっている。構成礫数6個で砂岩が83.3%で他はチャートがある。赤化率は50%、破砕率83.3%、割れ面赤化率83.3%、総重量3020 g、平均重量503.3 gである。

礫群12 (図17) 3 a～3 b層上面にかけて検出した。153 cm×98 cmの範囲に広がっている。西側に礫が集中している。構成礫数は29個で砂岩が82.8%で、他はチャート、頁岩である。赤化率93.1%、破砕率96.6%、割れ面赤化率65.5%、総重量2708 g、平均重量93.4 gである。礫が集中している場所が2カ所あるように見えるが、近接しているため、周囲の礫とともに1つの礫群とした。

礫群9 (図18) 2 b層で検出した。配石24を含んでいる。325 cm×188 cmの範囲に散漫に礫が密集している。構成礫数は17個で砂岩が76.5%で他はチャート、花崗岩、頁岩がある。赤化率23.5%、破砕率82.4%、割れ面赤化率11.8%、総重量4643 g、平均重量273.1 gである。赤化率、割れ面赤化率が低い特徴がある。

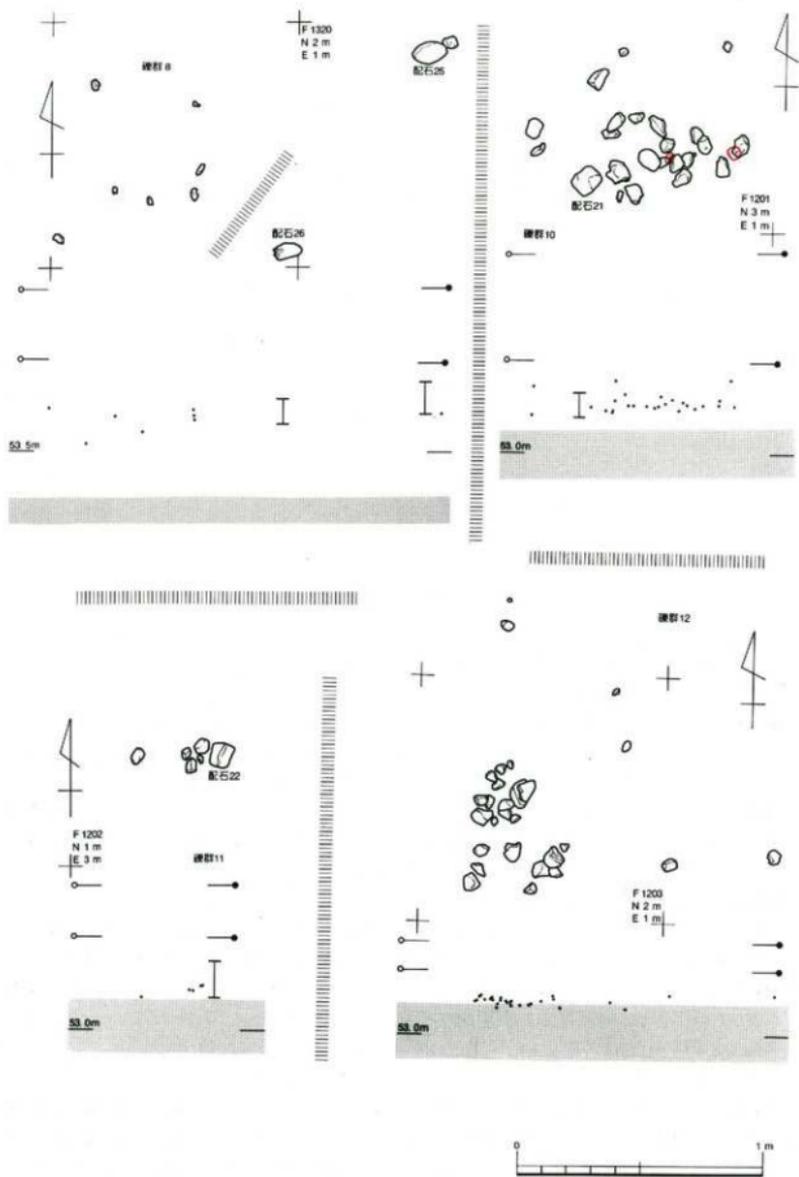


図17 碑群8、10～12碑分布図 (1/20)

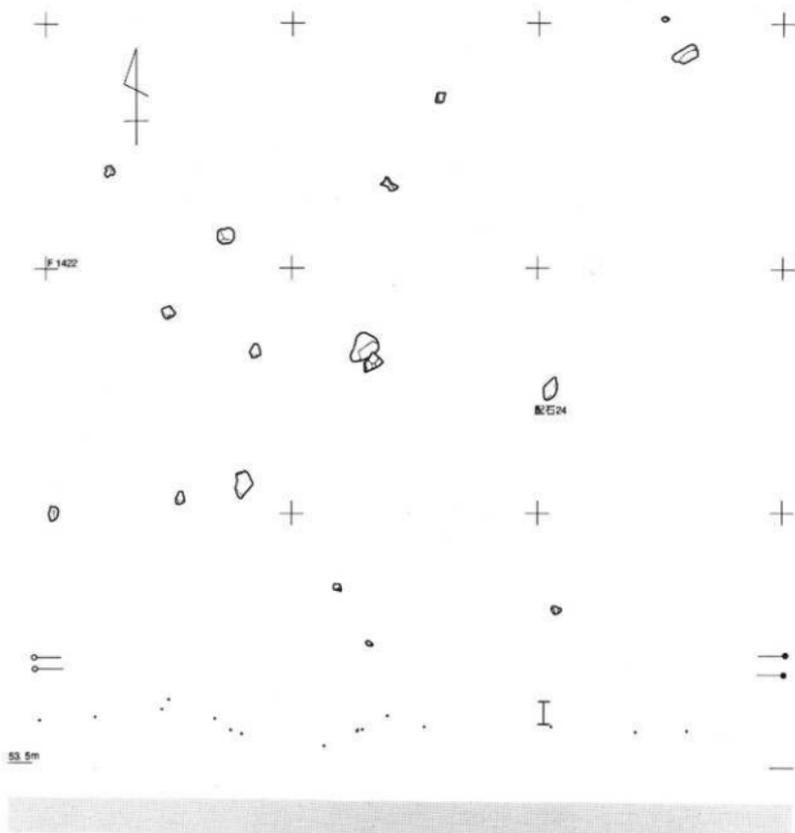


図18 礫群9礫分布図 (1/20)

礫群13 (図19) 3 a ~ 3 b 層上面にかけて検出した。配石41、38を含んでいる。170 cm × 97 cm の範囲に広がっている。中心付近に礫がやや集まった部分がある他は散在している。構成礫数は32個で砂岩が90.6%で他はチャート、花崗岩がある。赤化率93.8%、破砕率87.5%、割れ面赤化率68.7%、総重量7132 g、平均重量222.9 gである。

礫群15 (図19) 2 b 層で検出した。配石7、8を含む。礫群ではなく、配石7と配石8に分けた方がよいかもしれない。101 cm × 33 cm の範囲に広がっている。構成礫数は8個で砂岩が87.5%で他はチャートがある。赤化率75.0%、破砕率62.5%、割れ面赤化率62.5%、総重量4991 g、平均重量623.9 gである。

礫群16 (図19) 3 a 層で検出した。礫群17に近接している。礫群17との間にある空間で区分したが、本来は礫群17と同一の礫群かもしれない。73 cm × 67 cm の範囲に散在している。構成礫数は12個で

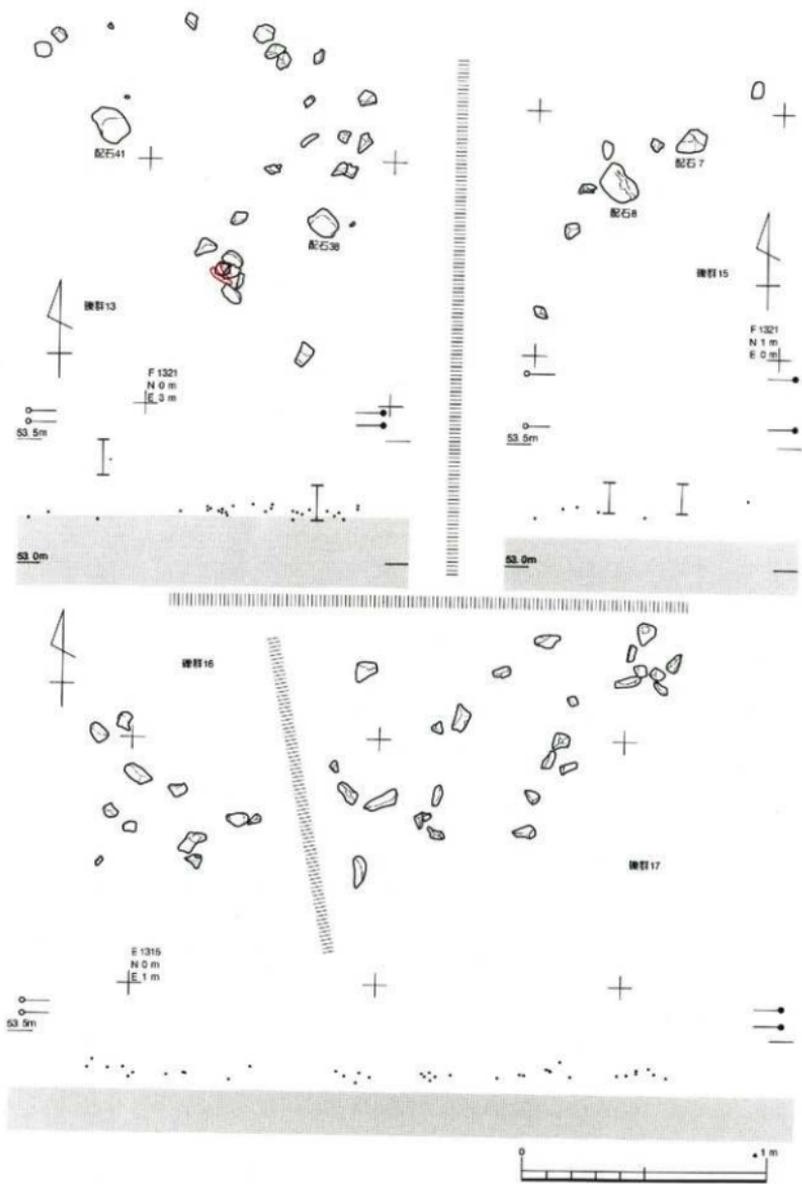


图 19 群13、15~17 群分布图 (1/20)

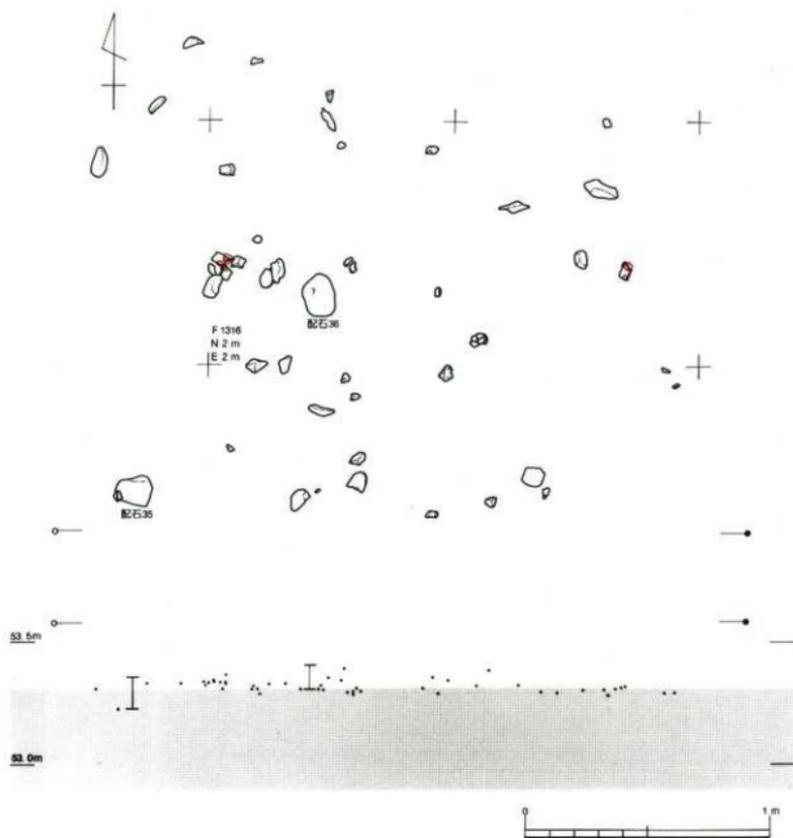


图 20 碑群 14 碑分布图 (1/20)

砂岩が41.7%で他はチャート、頁岩がある。赤化率100%、破砕率91.7%、割れ面赤化率75%、総重量2598 g、平均重量216.5 gである。

礫群17 (図19) 3 a層で検出した。礫群16に近接している。礫群16との間にある空間で区分したが、本来は礫群16と同一の礫群かもしれない。162 cm×96 cmの範囲に散在している。構成礫数は26個で砂岩が80.8%で他はチャートがある。赤化率92.3%、破砕率88.5%、割れ面赤化率69.2%、総重量5452 g、平均重量209.7 gである。

礫群14 (図20) 3 a～3 b層上面で検出した。配石35、36を含む。配石35は少し離れているが、この礫群に含めておく。245 cm×238 cmの範囲に広がっている。礫が密集する部分はなく、散在している。構成礫数は55個で砂岩が69.1%で、他はチャート、花崗岩、頁岩、流紋岩がある。赤化率89.1%、破砕率94.6%、割れ面赤化率69.1%、総重量10212 g、平均重量185.7 gである。この礫群内で、棒状の細長い凝灰岩礫が2点出土しており、それらは接合すると完形にはならないものの、長さが40 cmほどの棒状の礫になる。叩石のような使用痕はない。わずかに赤化しており、この礫群に伴うことは間違いないが、他の礫群構成礫と石材、礫の形などの点で明らかに異なっており、別の用途に使った礫を礫群礫に転用しているようである。

礫群18 (図21) 3 a～3 b層上層で検出した。112 cm×72 cmの範囲に広がっている。構成礫数は20個で砂岩が90%で他はチャート、頁岩がある。赤化率100%、破砕率100%、割れ面赤化率80%、総重量1824 g、平均重量91.2 gである。

礫群19 (図21) 3 a～3 b層上層で検出した。隣接する礫群20と同一の礫群かもしれないが、平均重量で100 g以上の差があったため、別の礫群とした。100 cm×81 cmの範囲に広がっている。構成礫数は15個で砂岩が73.3%で他はチャートと粗粒の安山岩がある。赤化率100%、破砕率100%、割れ面赤化率73.3%、総重量1266 g、平均重量85.7 gである。

礫群20 (図21) 3 a～3 b層上層で検出した。隣接する礫群19と同一の礫群かもしれないが、平均重量で100 g以上の差があったため、別の礫群とした。134 cm×123 cmの範囲に広がっている。構成礫数は14個で砂岩が85.7%で他はチャートと花崗岩がある。赤化率92.9%、破砕率100%、割れ面赤化率64.3%、総重量2662 g、平均重量190.1 gである。

礫群21 (図21) 3 a～3 b層上層で検出した。92 cm×44 cmの範囲に広がる小規模な礫群である。構成礫数は12個で砂岩が86.7%で他は花崗岩、頁岩がある。赤化率100%、破砕率91.7%、割れ面赤化率75%、総重量2442 g、平均重量203.5 gである。

礫群22 (図21) 3 a～3 b層上層で検出した。36 cm×14 cmの範囲に広がる小規模な礫群である。構成礫数は6個で、砂岩が86.7%で他は頁岩がある。赤化率83.3%、破砕率100%、割れ面赤化率66.7%、総重量83 g、平均重量13.8 gである。平均重量の軽い礫群である。

礫群23 (図21) 3 a～3 b層上層で検出した。69 cm×17 cmの範囲に広がる小規模な礫群である。構成礫数は8個で、砂岩が75%で他は花崗岩、頁岩がある。赤化率100%、破砕率87.5%、割れ面赤化率75%、総重量218 g、平均重量27.3 gである。これも平均重量の軽い礫群である。礫群19～23は微高地から谷に向かう緩斜面で隣接して出土したもので、総じて赤化率が高い。

礫群24 (図22) 3 a～3 b層上層で検出した。配石52が隣接する。103 cm×22 cmの範囲に広がる。南側に礫が集中する部分がある。構成礫数は10個で、砂岩が90%、あとは花崗岩である。赤化率90%、破砕率90%、割れ面赤化率90%、総重量3567 g、平均重量356.7 gである。

礫群25 (図22) 2 b層～3 a層で検出した。92 cm×50 cmの範囲に散在している。構成礫数は14個で、砂岩が85.7%で他はチャート、頁岩がある。赤化率78.6%、破砕率85.7%、割れ面赤化率71.4%、総重量1448 g、平均重量103.4 gである。

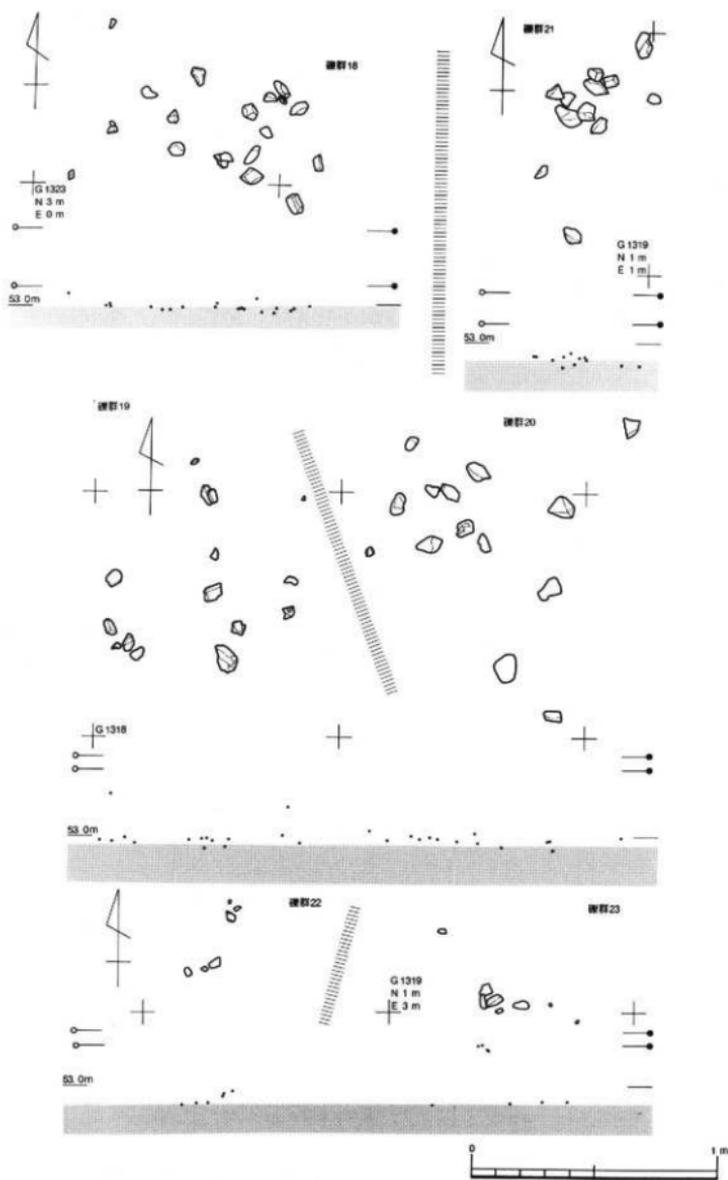


図21 礫群18～23礫分布図(1/20)

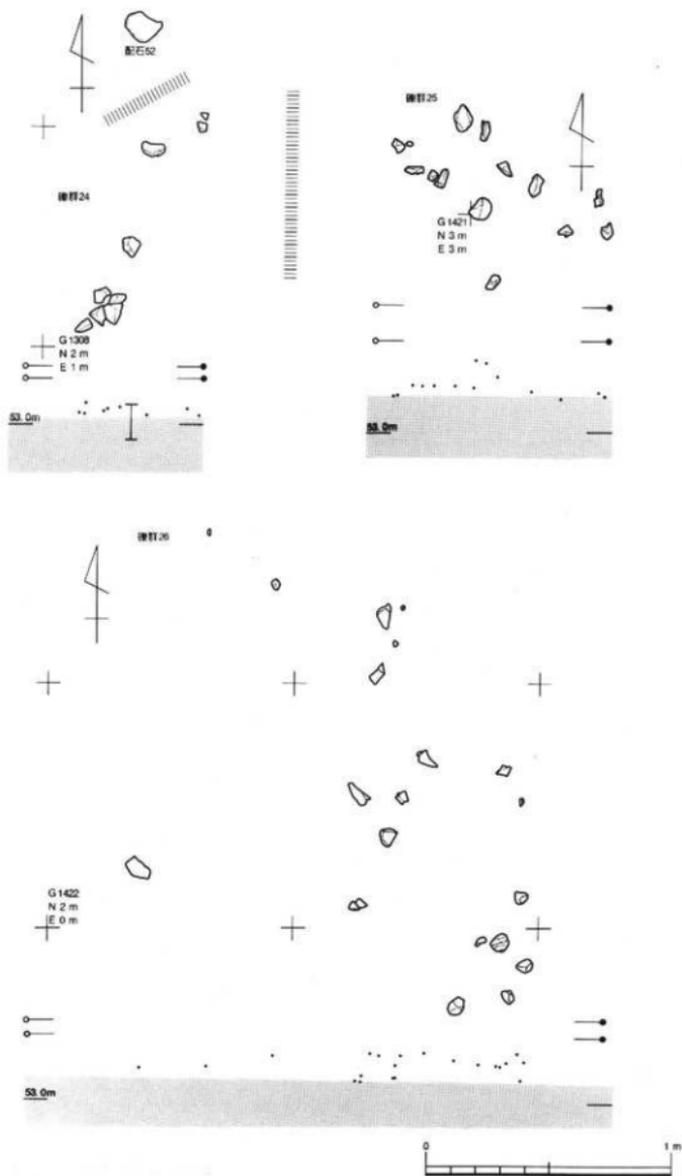


図22 群石24～26分布図 (1/20)

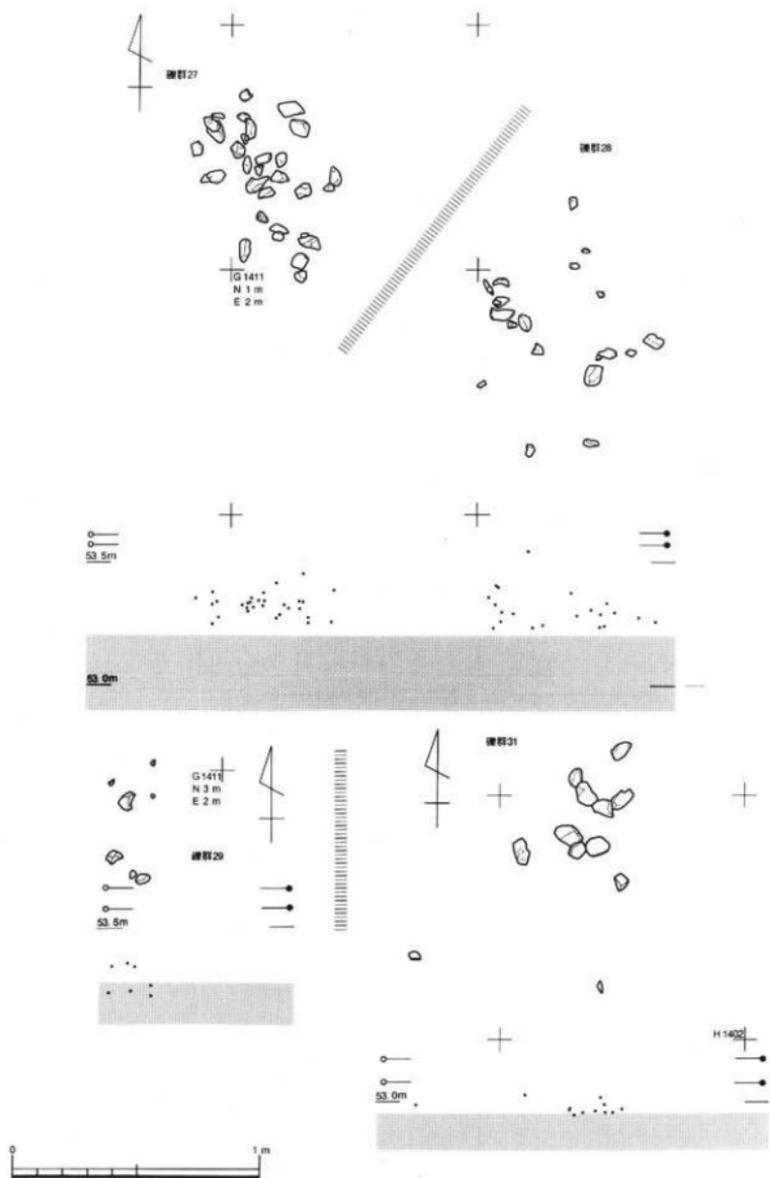


図23 礫群27～29、31礫分布図 (1/20)

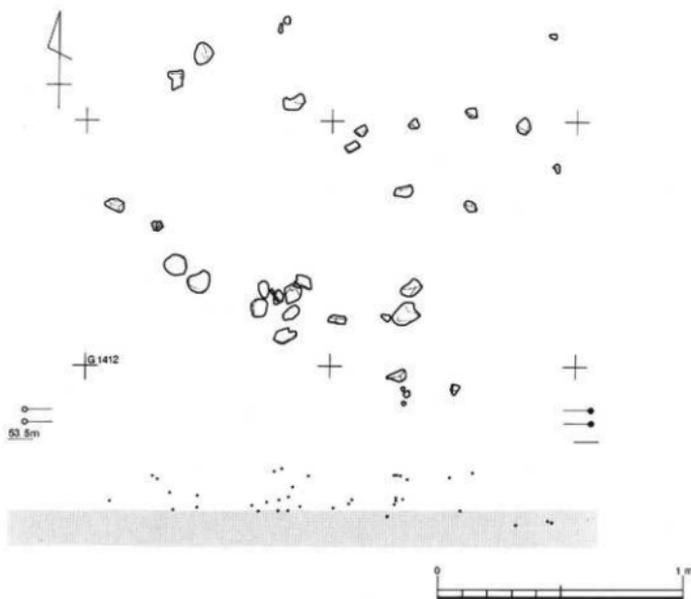


図24 礫群30礫分布図 (1/20)

礫群26 (図22) 3 a層で検出した。229 c m×155 c mの範囲にまばらに広がる。構成礫数は21個で、砂岩が81%で他はチャートと花崗岩、頁岩がある。赤化率90.5%、破砕率81%、割れ面赤化率38.1%、総重量2681 g、平均重量127.7 gである。割れ面赤化率が低い礫群である。

礫群27 (図23) 2 b～3 a層で検出した。78 c m×58 c mの範囲に広がる。1カ所に礫がまとまっている。構成礫数は21個で、砂岩が61.9%で他はチャート、頁岩がある。赤化率100%、破砕率100%、割れ面赤化率66.7%、総重量1389 g、平均重量66.1 gである。

礫群28 (図23) 2 b～3 a層で検出した。107 c m×77 c mの範囲に散在している。構成礫数は31個で、砂岩が74.2%で他はチャート、頁岩がある。赤化率100%、破砕率100%、割れ面赤化率64.5%、総重量3559.5 g、平均重量114.8 gである。

礫群29 (図23) 3 a～3 b層上位で検出した。小さな礫からなる礫群である。52 c m×20 c mの範囲に広がる。構成礫数は7個で、砂岩が71.4%で他はチャート、頁岩がある。赤化率71.4%、破砕率100%、割れ面赤化率42.9%、総重量293 g、平均重量41.9 gである。

礫群31 (図23) エリア1の東端、谷に向かう緩斜面で、周囲に遺物が少ない場所で、3 a層で検出した。中央付近に礫がまとまる場所が2カ所ある。125 c m×48 c mの範囲に広がる。構成礫数は12個で、砂岩が75%で他はチャート、頁岩がある。赤化率91.7%、破砕率91.7%、割れ面赤化率66.7%、総重量3849 g、平均重量320.8 gである。

礫群30 (図24) 3 a～3 b層上位で検出した。198 c m×170 c mの範囲に広がる。中央付近の空間はさんと南北2つの礫群に分けられるかもしれない。南側にやや礫がまとまる。構成礫数は40個で、砂岩が52.5%で他はチャート、頁岩がある。赤化率82.5%、破砕率92.5%、割れ面赤化率67.5%、総重量4553 g、平均重量113.8 gである。

表4 エリア1 礫群属性表

群集地	石種	成分											重量	平均重量											
		Sa	Ch	Gr	Sc	An	Ba	Sh	Rh	Tu	小石	赤化													
1	点検	36	8	0	0	0	0	6	0	0	50	7	37	2	4	0	39	11	4	2	5	17	7961	159.2	
	割合(%)	72	16	0	0	0	0	12	0	0	100	14	74	4	8	0	78	0	22	6	48	10	34		
6	点検	95	10	0	0	0	0	11	1	0	117	9	92	7	9	0	103	0	14	2	59	17	39	12599	107.7
	割合(%)	81	8.6	0	0	0	0	9.4	0.9	0	100	7.7	79	6	7.7	0	88	0	12	1.7	50	15	33		
7	点検	18	12	1	0	0	0	5	0	0	36	2	8	5	21	0	20	1	15	2	2	1	31	12535	348.2
	割合(%)	50	33	2.8	0	0	0	14	0	0	100	5.6	22	14	58	0	56	28	42	5.6	5.6	2.8	86		
8	点検	81	0	1	0	0	0	1	0	0	10	1	0	31	6	0	7	1	21	1	0	2	7	2871	287.1
	割合(%)	80	0	1.0	0	0	0	1.4	0	0	100	10	0	30	50	0	70	10	20	10	0	2.0	70		
9	点検	13	1	1	0	0	0	2	0	0	17	0	4	0	13	0	14	0	3	0	1	1	15	4643	273.1
	割合(%)	76	5.9	5.9	0	0	0	12	0	0	100	0	24	0	76	0	82	0	18	0	5.9	5.9	86		
10	点検	19	2	1	0	0	0	2	3	0	27	1	20	3	3	0	22	0	5	0	8	8	11	4708	174.4
	割合(%)	70	7.4	3.7	0	0	0	7.4	11	0	100	3.7	24	11	11	0	81	0	19	0	30	30	41		
11	点検	51	7	0	0	0	0	0	0	0	6	0	1	2	3	0	5	0	1	0	2	1	31	3026	503.3
	割合(%)	81	12	0	0	0	0	9	0	0	100	6	17	33	80	0	83	0	17	0	17	67	17		
12	点検	23	3	0	0	0	0	2	0	0	29	5	17	5	2	0	28	0	1	1	10	8	10	2706	93.38
	割合(%)	83	10	0	0	0	0	6.9	0	0	100	17	59	17	6.9	0	97	0	3.5	3.5	34	28	34		
13	点検	29	2	1	0	0	0	0	0	0	32	0	25	5	2	0	28	0	4	0	10	12	7132	222.9	
	割合(%)	91	6.3	3.1	0	0	0	0	0	0	100	0	28	16	6.3	0	88	0	13	0	31	38	31		
14	点検	38	6	5	0	0	0	4	2	0	53	4	40	5	6	0	52	0	3	0	21	17	17	10212	185.7
	割合(%)	69	11	9.1	0	0	0	7.3	3.6	0	100	7.3	73	9.1	11	0	95	0	5.5	0	38	31	31		
15	点検	88	13	0	0	0	0	0	0	0	100	25	50	0	25	0	63	0	38	0	25	38	38	4991	623.9
	割合(%)	5	2	0	0	0	0	5	0	0	12	0	11	1	0	0	11	0	1	0	5	4	3	2598	216.5
16	点検	42	17	0	0	0	0	42	0	0	100	0	92	8.3	0	0	92	0	8.3	0	42	33	25		
	割合(%)	21	5	0	0	0	0	0	0	0	26	8	9	7	2	0	23	0	3	4	7	7	8	5452	209.7
17	点検	18	19	3	0	0	0	0	0	0	100	31	35	27	7.7	0	88	0	12	15	27	27	31		
	割合(%)	21	5	0	0	0	0	1	0	0	20	5	13	11	0	0	20	0	1	4	11	4		1824	91.2
18	点検	90	5	0	0	0	0	5	0	0	100	25	65	5	5	0	100	0	5	20	55	20			
	割合(%)	11	3	0	0	1	0	0	0	0	15	7	8	0	0	0	15	0	2	8	1	4	1286	85.73	
19	点検	73	20	0	0	6.7	0	0	0	0	100	47	53	0	0	0	100	0	13	53	6.7	27			
	割合(%)	12	1	1	0	0	0	0	0	0	14	3	10	0	1	0	14	0	0	0	3	6	5	2662	190.1
20	点検	86	7.1	2.3	0	0	0	0	0	0	100	21	71	0	7.1	0	100	0	0	21	45	36			
	割合(%)	8	0	3	0	0	0	1	0	0	12	7	4	1	0	0	11	0	1	0	5	4	3	2442	203.5
21	点検	67	0	25	0	0	8.3	0	0	0	100	58	33	8.3	0	0	92	0	8.3	0	42	33	25		
	割合(%)	4	0	0	0	0	0	2	0	0	6	1	4	0	1	0	6	0	0	0	1	3	2	83	13.83
22	点検	67	0	0	0	0	33	0	0	0	100	17	67	0	17	0	100	0	0	17	30	33			
	割合(%)	6	0	1	0	0	0	1	0	0	8	3	4	1	0	0	7	0	1	0	3	3	2	218	27.25
23	点検	75	0	13	0	0	0	13	0	0	100	38	50	2	0	0	88	0	13	0	38	25			
	割合(%)	9	1	0	0	0	0	0	0	0	10	7	2	0	1	0	9	0	1	0	7	2	1	3567	356.7
24	点検	90	10	0	0	0	0	0	0	0	100	70	20	0	10	0	90	0	10	0	70	20	10		
	割合(%)	12	1	0	0	0	1	0	0	0	14	0	11	0	3	0	12	0	2	0	8	2	4	1448	103.4
25	点検	86	7.1	0	0	0	7.1	0	0	0	100	0	29	0	21	0	86	0	14	0	57	14	29		
	割合(%)	17	1	1	0	0	2	0	0	0	21	5	13	1	2	0	17	0	4	0	7	1	13	2681	127.7
26	点検	81	4.8	4.8	0	0	0	9.5	0	0	100	24	82	4.8	9.5	0	81	0	19	0	32	4.8	62		
	割合(%)	13	5	5	0	0	0	3	0	0	21	4	15	2	0	0	21	0	3	4	7	7		1389	66.14
27	点検	62	24	0	0	0	14	0	0	0	100	19	21	9.5	0	0	100	0	14	19	33	33			
	割合(%)	23	2	0	0	0	6	0	0	0	31	10	20	1	0	0	31	0	0	11	9	11	3560	114.8	
28	点検	74	6.5	0	0	0	19	0	0	0	100	32	65	3.2	0	0	100	0	0	35	29	35			
	割合(%)	5	1	0	0	0	1	0	0	0	7	2	0	3	2	0	7	0	0	0	3	4	293	41.86	
29	点検	21	14	0	0	0	0	14	0	0	100	29	0	43	29	0	100	0	0	0	43	37			
	割合(%)	21	9	1	0	0	0	11	0	0	40	23	9	1	7	0	37	0	3	2	13	13	4553	113.8	
30	点検	53	20	0	0	0	0	28	0	0	100	58	23	2.5	18	0	93	0	7.5	5	33	30			
	割合(%)	9	2	0	0	0	0	1	0	0	12	6	5	0	1	0	10	0	2	1	6	1	4	3849	320.8
31	点検	75	17	0	0	0	0	8.3	0	0	100	50	42	0	8.3	0	83	0	17	8.3	50	8.3	33		

3 配石

配石5 (図14) E 1325区、2 b層から出土しており、礫群1に含まれる。1150 gの砂岩の完形礫で赤化していない。

配石3 (図15) E 1320区、礫群6の中にある。2800 gの砂岩の完形礫である。微高地頂部、3 a層から出土している。細長い礫で直立している。

配石4 (図15) E 1320区、礫群6の中にある。1110 gの頁岩の完形礫である。微高地頂部、2 b層から出土しているが、接地面は3 a層上面付近になると思われる。

配石27 (図16) F 1308区、礫群7の中にある。微高地頂部からやや下がった所、2 b層から出土している。1370 gの砂岩礫で、半分近く割れており、割れ面は赤化していない。

配石28 (図16) F 1308区、礫群7の中にある。微高地頂部からやや下がった所、2 b層から出土している。1205 gのチャートの完形礫である。

配石29 (図16) F 1308区、礫群7の中にある。微高地頂部からやや下がった所、2 b層から出土している。1960 gのチャートの完形礫である。

配石30 (図16) F 1308区、礫群7の中にある。配石32と接するように出土している。微高地頂部からやや下がった所、2 b層から出土である。948 gの頁岩礫で、割れており、割れ面は赤化していない。

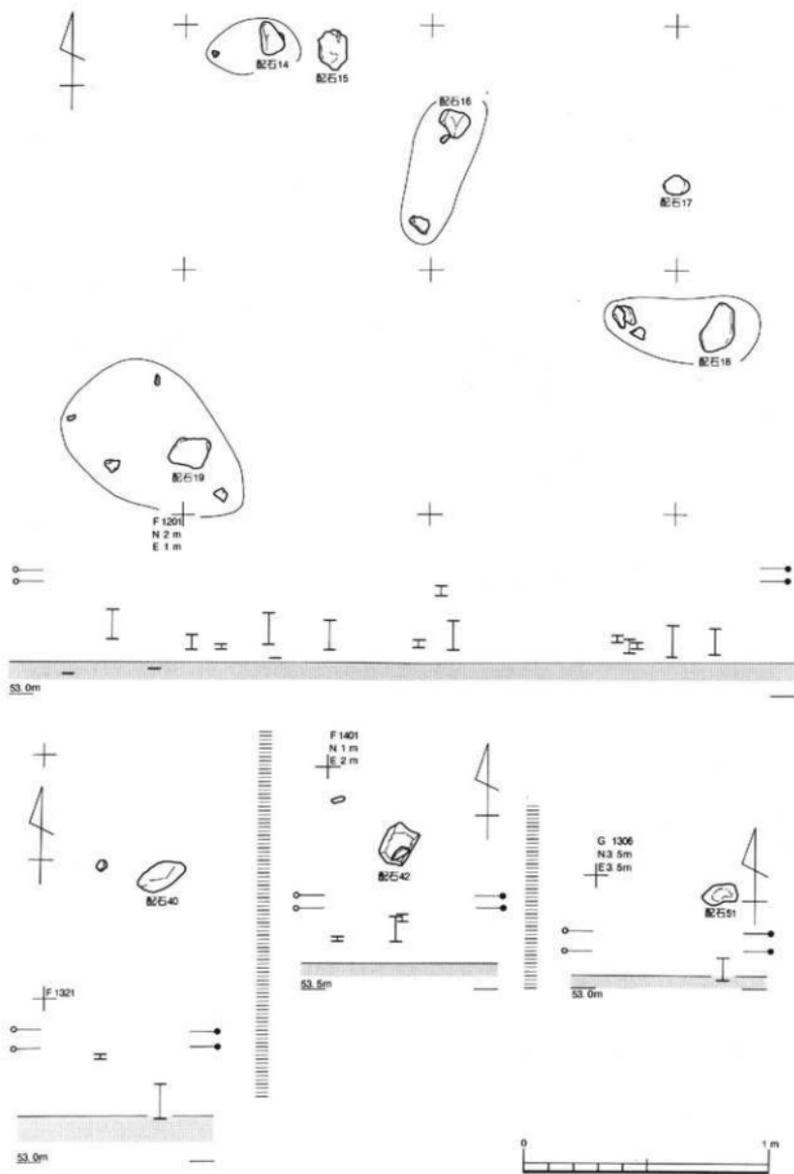


图 25 配石实测图 1 (1/20)

配石 31 (図 16) F 1308 区、礫群 7 中にある。微高地頂部からやや下がった所、2 b 層から出土している。1610 g の砂岩礫で、わずかに割れている。

配石 32 (図 16) F 1308 区、礫群 7 中であり、配石 30 と接するように出土している。微高地頂部からやや下がった所、2 b 層から出土している。1515 g の砂岩礫で、割れており、割れ面は赤化していない。細長い礫では直立して出土した。

配石 21 (図 17) F 1201 区、礫群 10 に寄り添うようにして出土している。礫群 10 の中に含まれる。微高地の頂部、3 a 層から出土している。1160 g の花崗岩礫で、半分近く割れているが、接合する礫はない。割れ面は赤化していない。

配石 22 (図 17) F 1202 区、礫群 11 中にある。微高地の東端、3 a 層から出土している。2390 g の砂岩の完形礫である。わずかに赤化している。

配石 25 (図 17) F 1302 区、礫群 8 の北東で出土している。2 点の礫からなり、接合はしない。微高地頂部からやや下がった所、2 b 層から出土している。大きな方は 1192 g の花崗岩の完形礫で、赤化していない。

配石 26 (図 17) F 1302 区、礫群 8 の南東に隣接して出土している。微高地頂部からやや下がった所、2 b 層から出土している。1203 g の砂岩礫でわずかに割れている。割れ面は赤化していない。

配石 24 (図 18) F 1302 区、礫群 9 に含まれる。礫群 9 の東側で出土しており、礫群とは分離して扱うこともできる。1191 g の花崗岩の完形礫で、赤化していない。

配石 7 (図 19) E 1325 区、3 a 層から出土している。微高地上での出土で、礫群 15 に含まれる。1370 g のチャートの完形礫で赤化していない。

配石 8 (図 19) E 1325 区、3 a 層から出土している。微高地上での出土で、礫群 15 に含まれる。3020 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 38 (図 19) F 1321 区、礫群 13 中であり、これを円形にとりまくように礫群礫が分布している。微高地頂部、2 b 層から出土している。1730 g の花崗岩の完形礫で、わずかに赤化している。

配石 41 (図 19) F 1321 区、礫群 13 中であり、これを円形にとりまくように礫群礫が分布している。微高地頂部、2 b 層から出土している。2510 g の砂岩の完形礫でわずかに赤化している。

配石 35 (図 20) F 1316 区、礫群 14 の南東に接するようにある。赤化していることもあり、配石 36 とともに礫群 14 に含めておく。微高地の頂部、3 a 層から出土しているが、接地面は 3 b 層上位と考えられる。2710 g のチャートの完形礫でわずかに赤化している。

配石 36 (図 20) F 1316 区、礫群 14 中にある。微高地の頂部、3 a 層から出土している。2610 g の砂岩礫で、割れているが、接合する礫はない。割れ面は赤化していない。

配石 52 (図 22) G 1308 区、礫群 24 に隣接している。微高地から谷に向かう緩斜面、3 a 層から出土している。周囲にはこの礫群以外に遺構はなく、礫群 24 とともに孤立して存在している。2205 g のチャートの完形礫で、赤化していない。

配石 14 (図 25) F 1201 区、微高地頂部で 3 a 層から出土している。すぐ北西にはブロック 4、礫群 10 がある。1990 g の砂岩礫で、わずかに割れ、全体、割れ面ともわずかに赤化している。西側 20 cm で小礫が出土しており、これも配石 14 に含めておく。

配石 15 (図 25) F 1201 区、配石 14 の東に隣接して出土している。微高地頂部、3 a 層から出土している。2130 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 16 (図 25) F 1201 区、微高地頂部で、3 a 層から出土している。1300 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。すぐ脇で小礫が配石から少し浮いた状態で出土している。また、南西側 45 cm でも小礫が出土しており、これも配石 16 に含めておく。

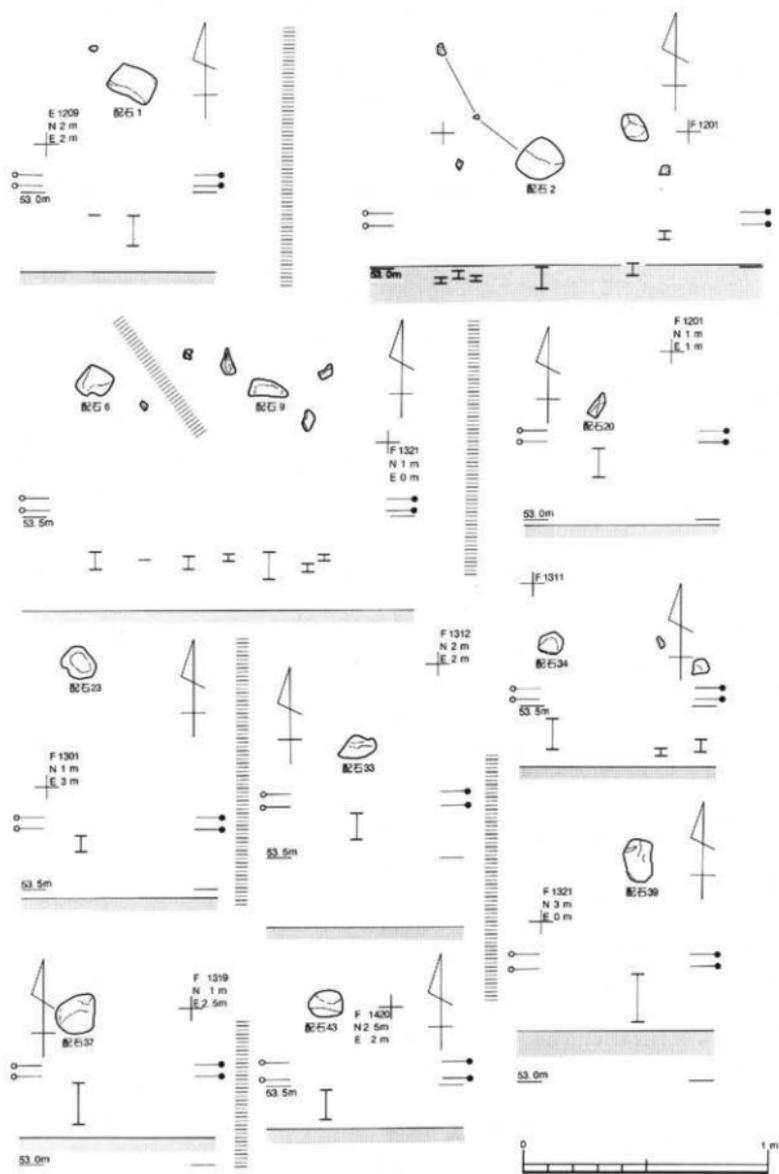


图 26 配石実測図 2 (1/20)

配石17 (図25) F 1201区、微高地頂部で、3 a層から出土している。1300 gの砂岩の完形礫で赤化していない。やや細長い円礫で、ほぼ直立して出土した。

配石18 (図25) F 1201区、微高地頂部で、3 a層から出土している。3000 gの砂岩の完形礫で赤化していない。西側35 cmで小礫が3点出土しており、これも配石18に含めておく。

配石19 (図25) F 1201区、微高地頂部で、3 a層から出土している。1530 gの砂岩の完形礫で赤化していない。周囲に小礫が4点散らばったような状態で出土しており、これも配石19に含めておく。周囲の小礫の内、1点は細長い円礫で、ほぼ直立した状態で出土した。

配石14から19は微高地の頂部でブロック4、礫群1～6、14～17などの集中域の南東で、直径2.5 m程の範囲内で群をなすように出土している。特定の作業空間を示唆している。

配石40 (図25) F 1321区、微高地頂部、3 a層から出土している。2780 gの砂岩の完形礫でわずかに赤化している。隣接して小礫が配石よりも少し浮いた状態で出土しており、これも配石40に含めておく。

配石42 (図25) F 1401区、エリア1の北西隅の方で出土している。地形は微高地の頂部で、3 a層の出土である。2565 gの砂岩の完形礫で赤化していない。小礫が2点伴っている。

配石51 (図25) G 1306区、微高地頂部から谷に向かう緩斜面で、3 a層から出土している。接地面は3 b層上面あたりであろう。周囲にあまり遺物が分布していないところで孤立した状態で出土した。1339 gの砂岩の完形礫で赤化していない。

配石1 (図26) E 1209区、微高地頂部の西端で、2 b層から出土した。小礫を1点伴っている。4485 gの砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石2 (図26) E 1205～E 1210区、微高地の西端で3 a～3 b層上位から出土した。周囲に5点の礫を伴っている。この内、図中に線で結んだ2点の礫が配石に接合する。

配石6 (図26) E 1325区、2 b層から出土している。微高地上である。南東側に小礫を1点ともなう。1080 gの砂岩の円礫で、大きく割れており、赤化しているが、割れ面は赤化していない。この配石は礫群外であるが、礫群1の礫が3点接合する。この配石の割れ面は赤化していないが、接合する礫は3点とも表面、割れ面ともに赤化している。

配石9 (図26) E 1325区、配石6の東で微高地の頂部、2 b層から出土している。2440 gの砂岩礫で、わずかに赤化している。周囲に4点の礫を伴っているが、接合しない。

配石20 (図26) E 1201区、微高地の頂部、2 b層から出土している。北西には礫群10がある。990 gの砂岩の完形礫で赤化していない。細長い円礫で、直立して出土した。

配石23 (図26) F 1301区、微高地の東側で、2 b層から出土している。西側1 m弱の所に礫群8がある。1038 gの砂岩の完形礫で赤化していない。

配石33 (図26) F 1312区、微高地の東端、2 b層から出土している。1515 gの砂岩礫で、赤化はしていない。割れているが、これに接合する礫はない。他の礫よりも少し浮いた状態である。

配石34 (図26) F 1316区、微高地頂部、礫群6と礫群14の間で3 a層から出土している。東側40～50 cmに2点の礫が出土しており、これも配石34に含める。1210 gの頁岩の完形礫でわずかに赤化している。

配石37 (図26) F 1319区、微高地から谷に向かう緩斜面、3 a層から出土した。3894 gの砂岩の完形礫で赤化していない。

配石39 (図26) F 1321区、微高地の頂部、礫群1～5の東側で3 a層から出土した。2780 gの砂岩の完形礫でわずかに割れているが、割れ面は赤化していない。

配石43 (図26) F 1420区、微高地から谷に向かう緩斜面、3 a層から出土した。周囲にほとんど遺物がなく、ところで単独で出土している。2565 gの砂岩の完形礫で、赤化していない。

表5 エリア1配石の接合確一覽

配石番号	接合確番号	赤化	割れ	割れ面赤化	所属
6		○	○	×	礫群外礫
	257	○	○	○	礫群 2
	187	○	○	○	礫群 4
	155	○	○	○	礫群 5
2		×	○	×	礫群外礫
	1018	×	○	×	礫群外礫
	1021	×	○	×	礫群外礫

4 礫の接合状況

エリア1全体の礫の接合状況を図27に示す。エリア1では、近接した礫どうしの接合が頻繁に見られる他、F1316区付近では10m近い接合も見られる。この接合は礫群外礫どうしの接合で、1つは5点の礫が約10mの距離を隔てて接合している例で、接合線の総延長は21mに及ぶ。もう1つは、3点の礫が約10mの距離で接合する例で、その接合線の総延長も21mに及ぶ。礫群1、10～17が分布する微高地頂部では礫群間接合が多く見られる。これらの礫群がほぼ同時期に作られたことを物語っている。礫群18～23が分布するあたりでは、礫群18～20の間では礫群間接合が認められるが、礫群21～23では礫群間接合どころか、礫群内接合もほとんど認められない特異な礫群となっている。礫群25～30では、礫群28～30の間で礫群間接合が見られる。

礫群構成礫以外の散在する礫の間での接合は、上記の長距離接合を除くと極めて少ない。礫群間での接合を列挙すると次のようになる。かつこ内は接合該当礫の点数である。

- 1 礫群1 (1) + 礫群6 (1)
- 2 礫群6 (1) + 礫群17 (2)
- 3 礫群6 (1) + 礫群14 (1)
- 4 礫群6 (1) + 礫群14 (1)
- 5 礫群11 (3) + 礫群12 (2)
- 6 礫群13 (1) + 礫群14 (1)
- 7 礫群18 (1) + 礫群19 (1)
- 8 礫群27 (4) + 礫群30 (1)
- 9 礫群27 (1) + 礫群28 (1) + 礫群30 (1)

以上のように9例の礫群間接合が認められる。サブエリアを越える接合は認められない。逆にこれがサブエリアを設定する根拠にもなっている。

次に、礫群内および、周辺の礫群、散在礫との接合関係を見る。礫群1と礫群6では5～6mの距離を隔てて接合している。礫群1では周辺の散在礫との接合も認められる。礫群13では礫群内接合以外に礫群外礫との接合が1例見られる(以上図28)。礫群6と礫群14でも2例の接合が見られる(図29)。礫群16、17では礫群内での接合が少数見られる以外は、礫群17と周辺礫との間で1点接合しているだけである(図29)。礫群10では礫群内接合だけで、周辺の礫とは接合していない(図29)。

G1318区付近では、礫群18と礫群19の間で1点だけ接合している他では、礫群間接合は見られず、それぞれの礫群内での接合も少ない(図29)。G1412区では、礫群27、28、30の間でいくつかの接合があり、それぞれの礫群内でも接合している(図29)。礫群27、28、30付近では、北西～南東方向の接合が目立つ。図の中には入っていないが、礫群28の北に礫群29がある。礫群29は礫群内接合のみで、この礫群と礫群27、28、30との間では接合関係は見られない。

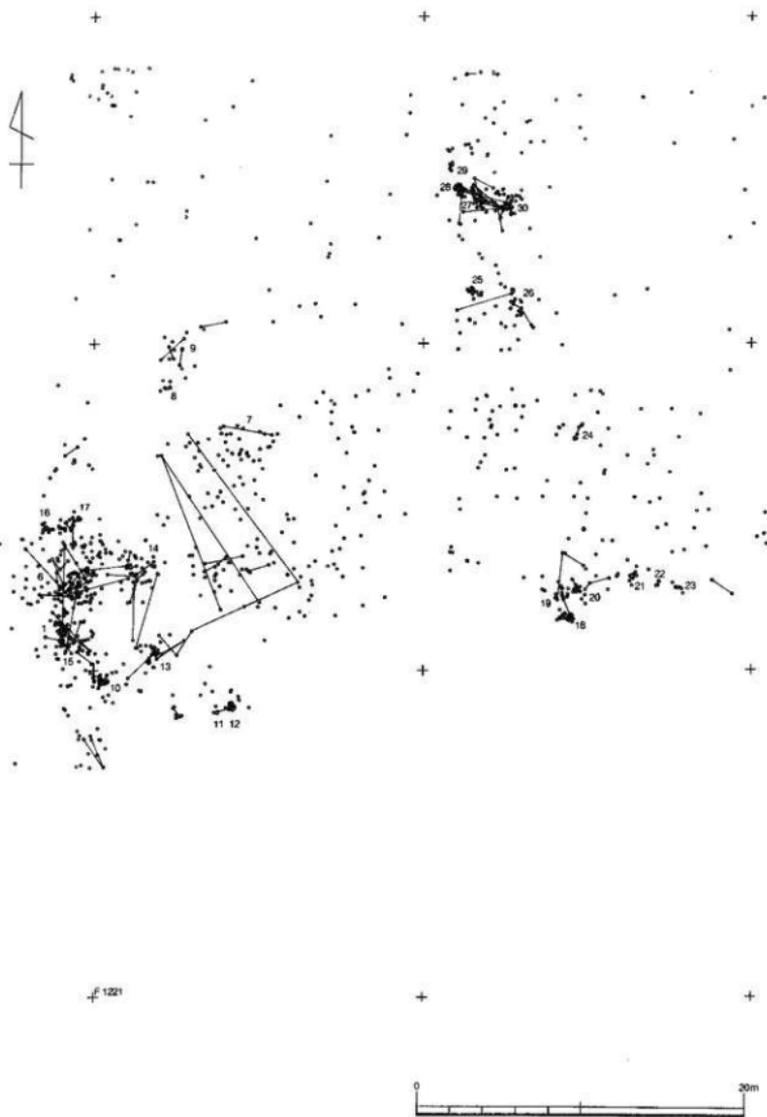


図27 エリア1 礫接合状況 (1/300、数字は礫群番号)

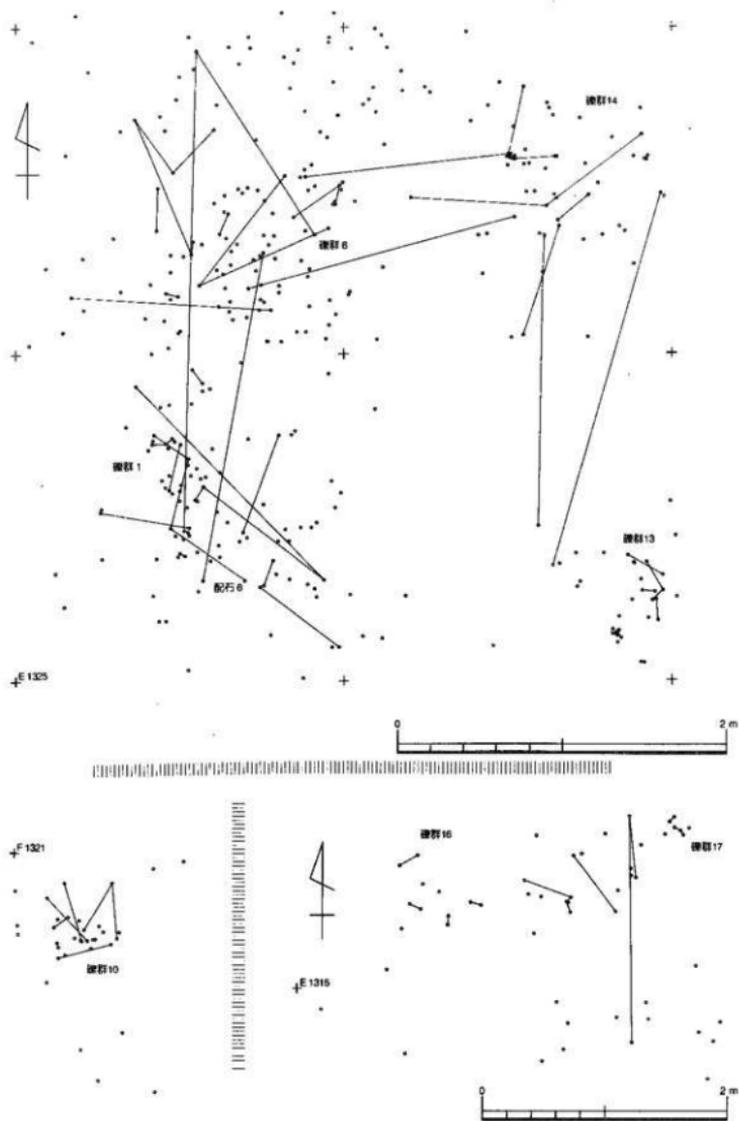


图 28 E1325、F1201、E1315 区附近裂缝接合状况 (上 1/60、下 1/40)

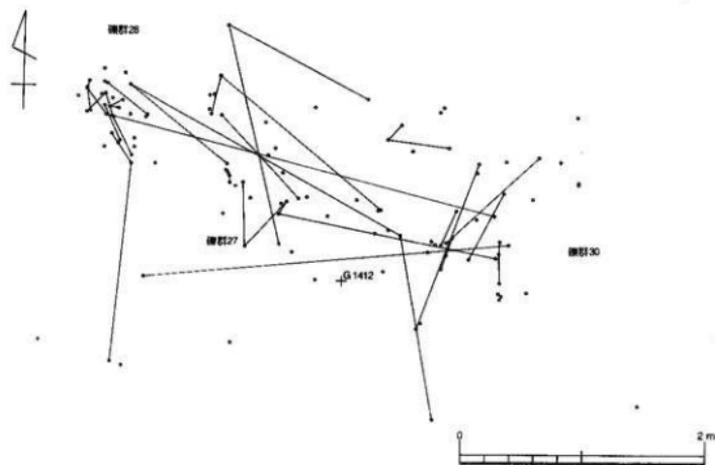
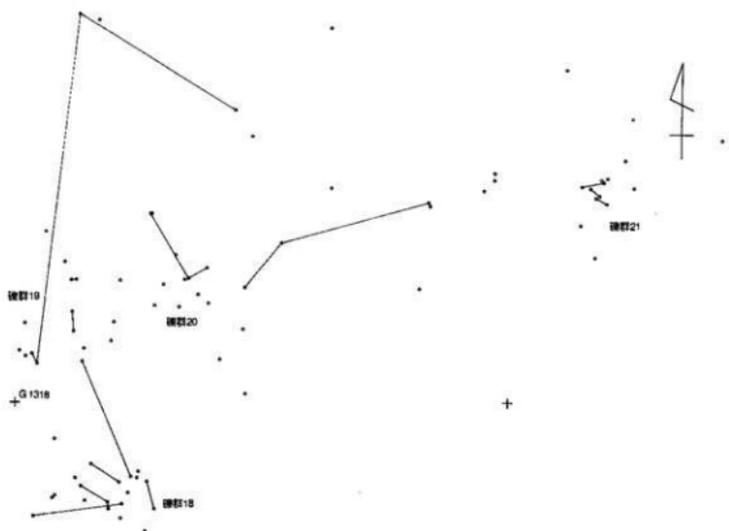


图29 G1318、G1412区附近连接状况 (1/40)

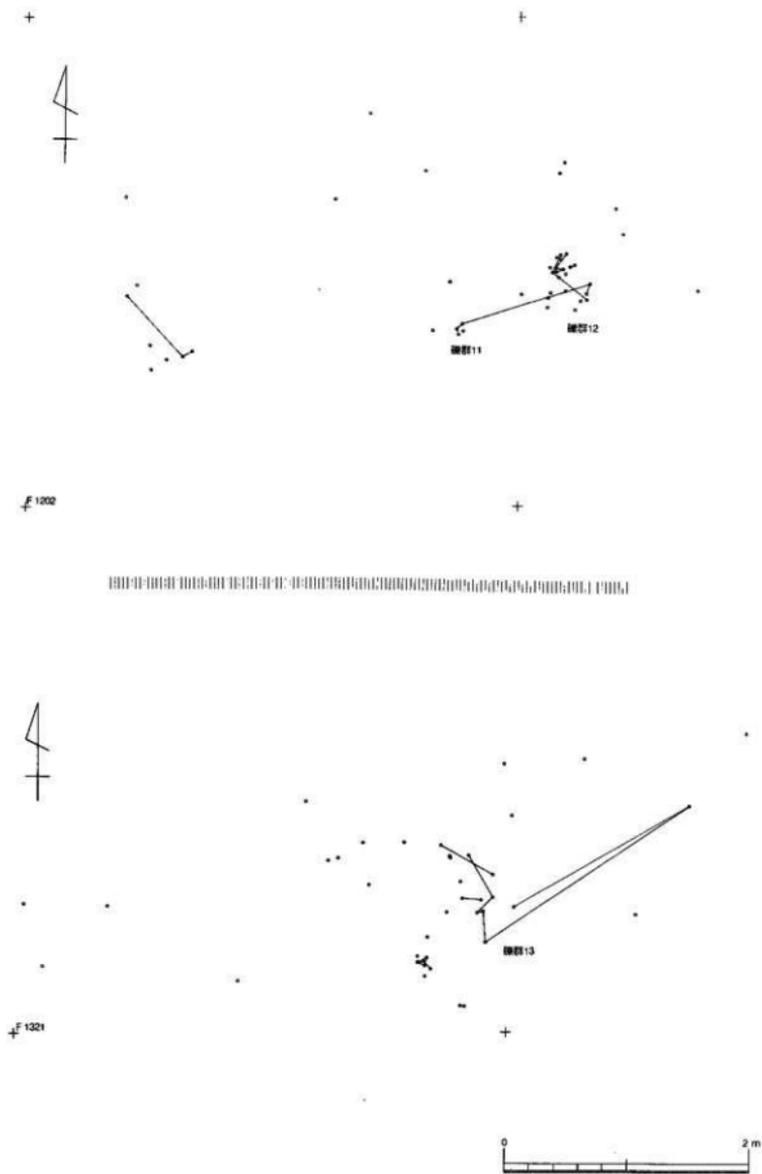


图30 F1202、F1321区附近碰接合状况 (1/40)

5 出土石器

1) ブロック1

G1411区を中心として2b層で検出した(図31)。微高地から谷に向かう緩斜面に当たっている。ブロックの範囲は8.4×7.2mである。凝灰岩が主要石材となっており、剥片、砕片に比べてスクレイパーなど完成品の多いブロックである(表6)。石器製作よりも石器の消費に関するブロックであろう。

個体の搬入状況(表7)は次の通りである。合計で13個体を識別した。内訳は、黒曜石と砂岩は各1個体で、砂岩は完成品での搬入である。シルト岩1は5個体ですべて単独個体でいづれも完成品での搬入である。凝灰岩は6個体で、うち1個体が単独個体である。

ナイフ形石器(図32-1)

凝灰岩の縦長剥片を使用し、打面を上側にして、正面右側縁に両面から加工して刃部を左側にしている。打面側は古い折れ面で、欠損か折り取りかは不明である。下端をわずかに欠損している。

彫器(図32-2)

凝灰岩の幅広剥片の末端に、末端側縁の平坦面を打面として槓状剥離を入れている。槓状剥離を入れる際の打面調整は見られない。槓状剥離ははっきりしたものではなく、彫器ではないかもしれない。

スクレイパー(図32-3、4)

3は、シルト岩の幅広の縦長剥片の末端に、急角度の加工をしてエンドスクレイパーとしている。素材剥片の調整打面は残っている。4は、シルト岩の丸みを帯びて厚みのある剥片の末端に、急角度の加工をしてエンドスクレイパーとしている。刃部の主剥離面側にも浅い角度で若干の剥離が入っている。意図した加工なのか、使用痕なのかははっきりしない。素材剥片の調整打面は残っている。3に比べるとずんぐりした形態である。

加工痕のある剥片(図32-5)

シルト岩の幅広の大型の剥片の右側縁に連続した加工がある。素材剥片の打面側は欠損している。

使用痕のある剥片(図32-6、7)

6は、砂岩の不定形剥片の末端に不連続の小さな剥離がある。素材剥片の打面はわずかに欠損している。7は、凝灰岩の小型縦長剥片の右側縁の一部に微細な剥離が入っている。

石核(図32-8、9)

8は凝灰岩製で、全体の形態や作業面に見られる縦に細長い剥離から考えて細石核かもしれない。したがって、ブロック1からの出土ではあるが、他の石器とは別扱いにした方がよい。なお、同じブロックから細石刃は出土していない。9は凝灰岩製で、上端の調整打面から縦長剥片をとっている。剥離方向は上方からの一方向で、作業面は石核の周囲を巡っており、石核下端が尖った円錐形になっている。

2) ブロック3

E1410区を中心として2b層で検出した小規模なブロックである(図31)。微高地から谷に向かう緩斜面に当たっている。範囲は2.9×2.4mである。シルト岩と砂岩が主要石材である。ナイフ形石器の破片と使用痕のある剥片、石核からなる。石器の点数は多くなく、石器製作よりも石器消費に関するブロックであろう。

個別資料の搬入状況(表7)は次の通りである。このブロックでは5個体を識別した。内訳は、砂岩が3個体で、うち2個体が単独個体で、そのうち1個体は完成品での搬入である。シルト岩1は1個体である。凝灰岩は1個体で単独個体である。

使用痕のある剥片(図34-1)

シルト岩の縦長剥片の末端に近い部分の両側縁に、微細な剥離が不連続にある。素材剥片の平坦打面は残っている。剥片の末端は古い折れ面で、欠損なのか折り取りなのかは不明である。

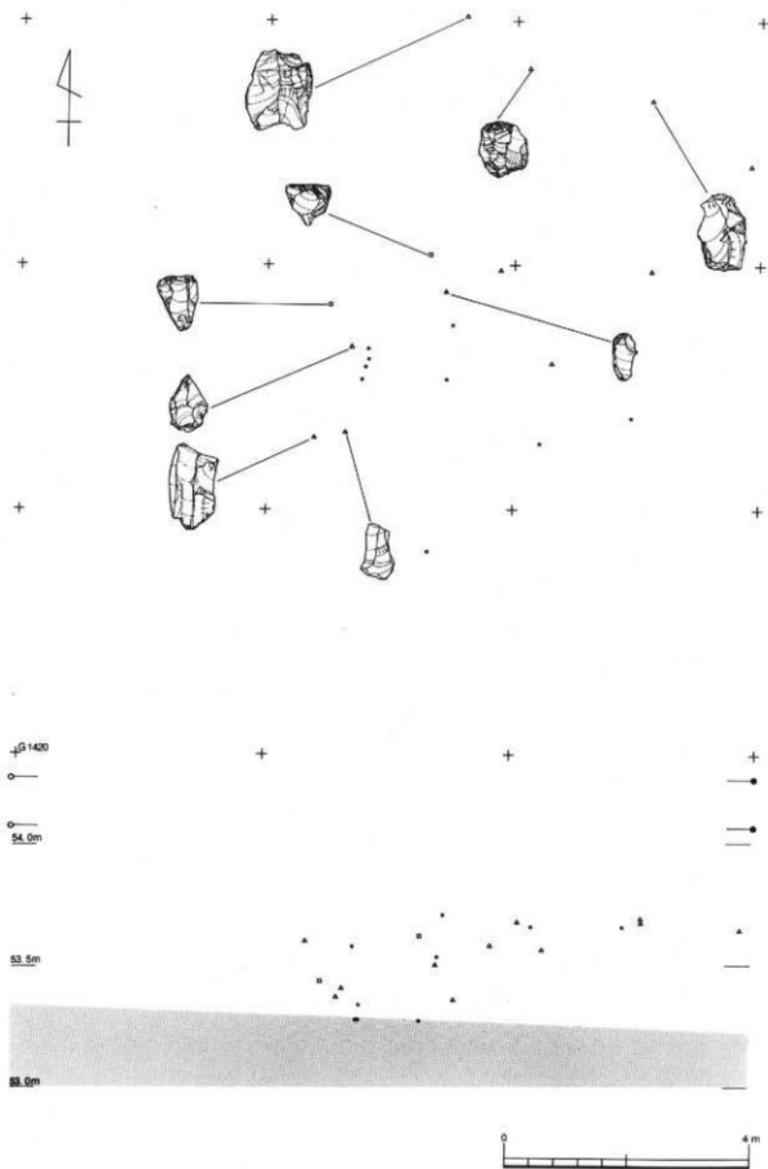


図31 ブロック1石器分布図 (1/80)

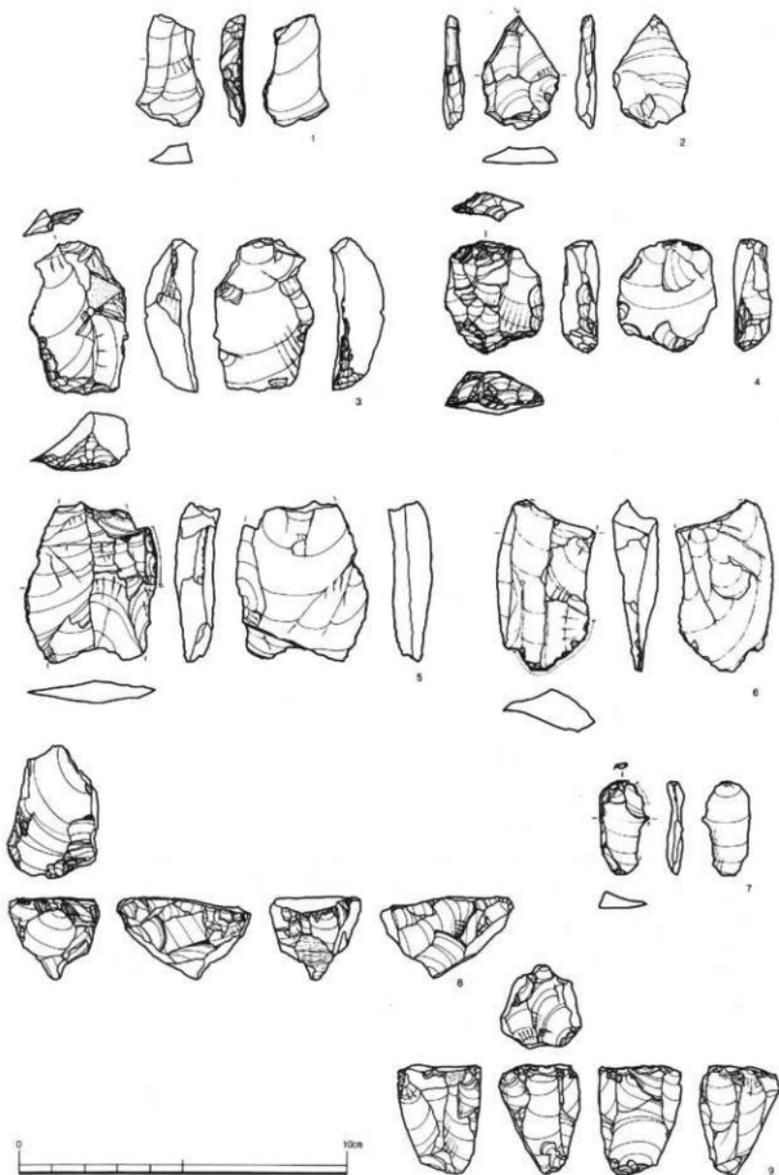


図32 ブロック1出土石器 (2/3)

石核 (図 34-2)

シルト岩裂で、上端に平坦打面を設定して幅広の縦長剥片をとっている。作業面は正面の1面に限定しており、作業面の裏側には円礫の自然面が残っている。作業面中央部では大きな階段状剥離をおこしている。正面左側面には側面調整が見られる。

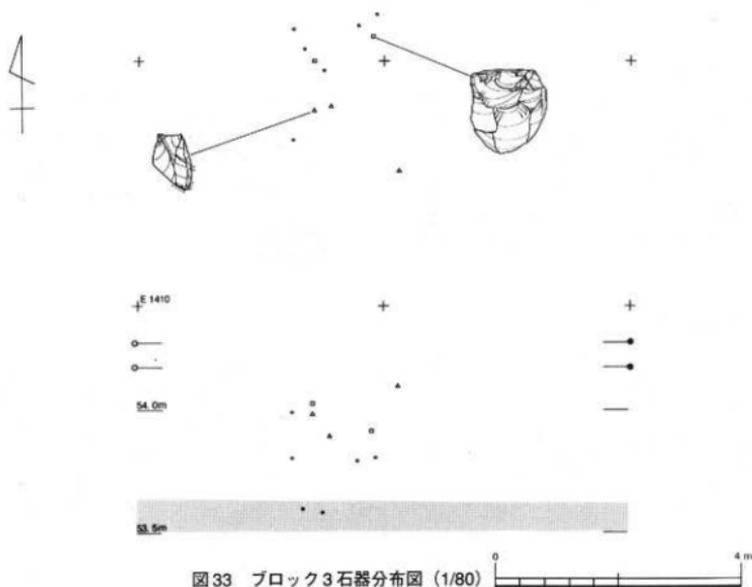


図 33 ブロック 3 石器分布図 (1/80)

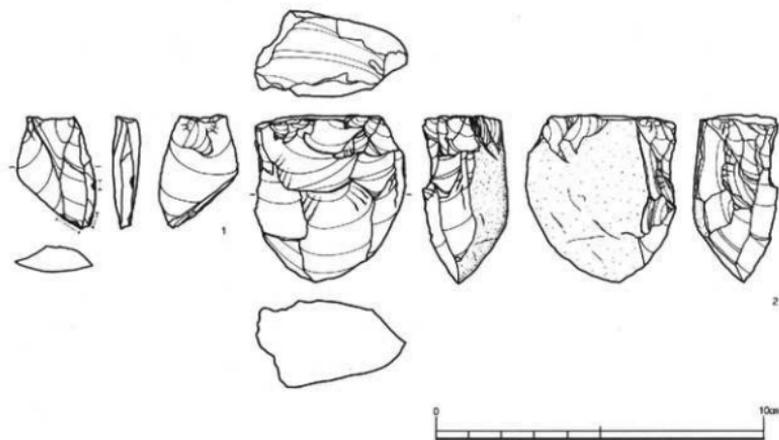


図 34 ブロック 3 出土石器 (2/3)

3) ブロック4

E1325区を中心として2b～3a層で検出した(図35)。高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡ではもっとも充実したブロックである。出土した場所は、調査区西端で検出した浅谷を望む微高地の頂部である。この微高地付近からは天竜川方面を一望でき、良好な居住地であったと思われる。このブロックの下からは、先に記載した礫群、配石が出土しており、当時の重要な居住域であったと考えられる。ブロックの中央付近を東西方向に攪乱が入っており、この攪乱の中からも石器が出土している。このブロックに属すると考えて良いであろう。また、この攪乱によって失われた石器も多いと思われる。範囲は12.9×7.4m、出土した石器点数は736点で範囲、石器点数ともにこのエリア最大である。石材は、シルト岩、砂岩、凝灰岩、黒曜石などからなり、高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡で出土する石材は大方そろうている。ナイフ形石器、スクレイパー、彫器、加工痕のある剥片、使用痕のある剥片からなり、剥片には良好な縦長剥片が含まれている。石器組成、石器製作技術などを考える上で良好な資料である。剥片、破片が644点出土していることから、石器製作を行ったブロックであろう。器種ごとの分布(図36、37)を見ると、特に偏ることはなく、各器種が均等に広がっている。

個別資料の搬入状況は次の通りである。96個体を識別した。内訳は、玄武岩が1個体で単独個体である。チャートは2個体で、うち1個体が単独個体で、完成品での搬入である。黒曜石は5個体で、うち3個体が単独個体、そのうち1個体が完成品での搬入である。カンラン岩は1個体で単独個体、完成品での搬入である。流紋岩は1個体である。砂岩は11個体で、うち4個体が単独個体で、そのうち1個体は完成品での搬入である。蛇紋岩は1個体である。シルト岩2は6個体で、うち3個体が単独個体で、そのうち2個体は完成品での搬入である。シルト岩1は、57個体で、うち30個体が単独個体で、そのうち14個体が完成品での搬入である。凝灰岩は13個体で、うち1個体が単独個体である。

ナイフ形石器(図38-1～13)

1は、砂岩の縦長剥片の打面上側にして、主剥離面側から二側縁を加工して、刃部を右側にしている。刃部側の加工は縁辺が直線的になるようにしている。2は、シルト岩のやや厚めの縦長剥片の打面上側にして、主剥離面側から二側縁に加工して刃部を右側にしている。刃部側の刃潰し加工はやや内湾している。3は、シルト岩の縦長剥片の打面上側にして、両面から二側縁に加工して刃部を右側にしている。4は、シルト岩の縦長剥片の打面を下側にして、二側縁を加工して刃部を左側にしている。刃部側の刃潰し加工は内湾するようにしてあり、主剥離面には素材剥片のバルブを取り除くための平坦剥離が見られる。刃潰し加工は一部先行剥離面側から行っている。5は、シルト岩の縦長剥片の打面上側にして、二側縁に主剥離面側から加工して刃部を右側にしている。刃部側の加工は基部付近にとどまっている。細身で小型のナイフ形石器である。6は、砂岩の縦長剥片の打面を下側にして、二側縁に両面から加工して刃部を右側にしている。小型のナイフ形石器である。7は、シルト岩の縦長剥片の打面上側にして一側縁に両面から加工して刃部を右側にしている。切り出し状に見えるが、二側縁加工による形態ではない。8は、シルト岩の縦長剥片の打面上側にして、両面から一側縁に加工して刃部を左側にしている。刃潰し加工は一側縁全体には及ばず、素材面を残している。9は、シルト岩の厚い縦長剥片の打面を下側にして、一側縁に両面から加工して刃部を左側にしているが、上下逆になるかもしれない。刃部には浅い角度で加工痕がある。10は、砂岩の幅広い縦長剥片の一側縁に主剥離面側から加工して、刃部を左側にしている。厚い剥片を使っているが、刃潰し加工は主剥離面側からだけで比較的大きな剥離を入れている。11は、シルト岩の横長か不定形の剥片の打面側の一側縁を、主剥離面側から加工して刃部を右側にしている。上下を欠損している。12は、シルト岩の縦長剥片の打面上側にして、一側縁に主剥離面側から加工して刃部を右側にしている。上下を欠損している。11とよく似た形態である。13はシルト岩の縦長剥片の打面上側にして、打面側を折り取るようにして加工している。

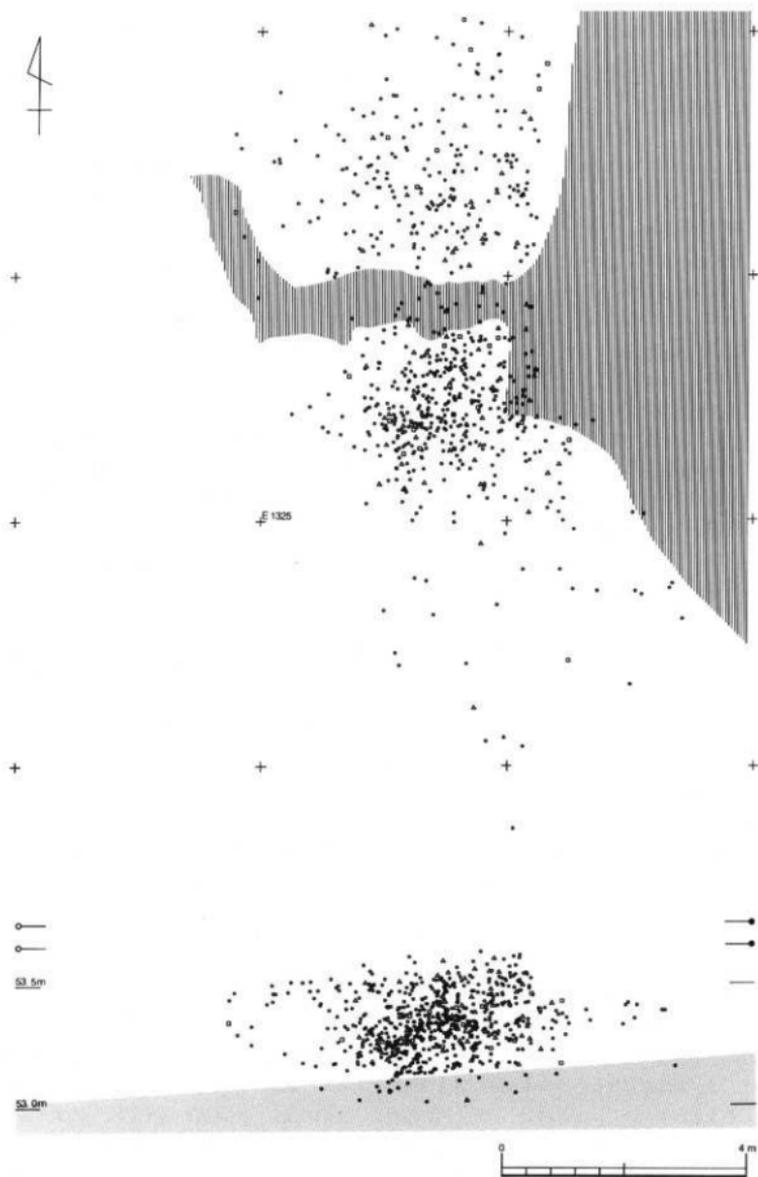


図 35 ブロック 4 石器分布図 (1/80、平面図のスクリーントーンは攪乱)

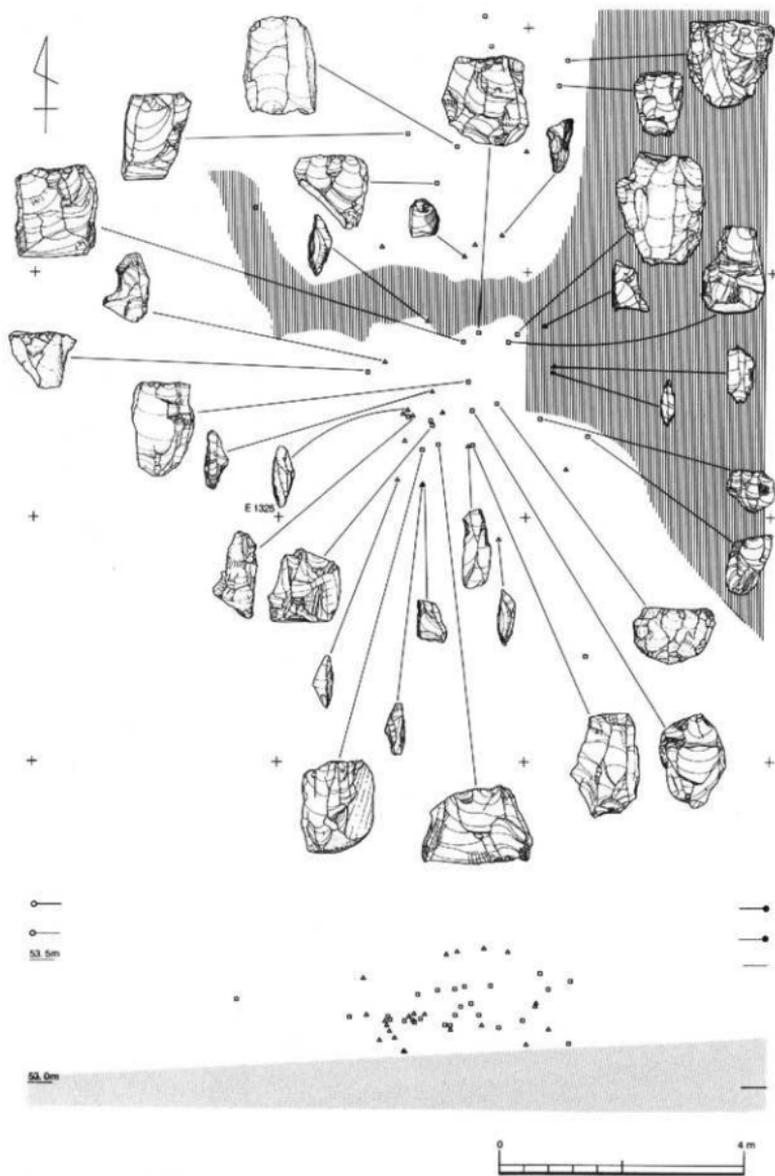


図36 ブロック4Kn, Gr, Sc, Cr分布図 (1/80、平面図のスクリーントーンは攪乱)

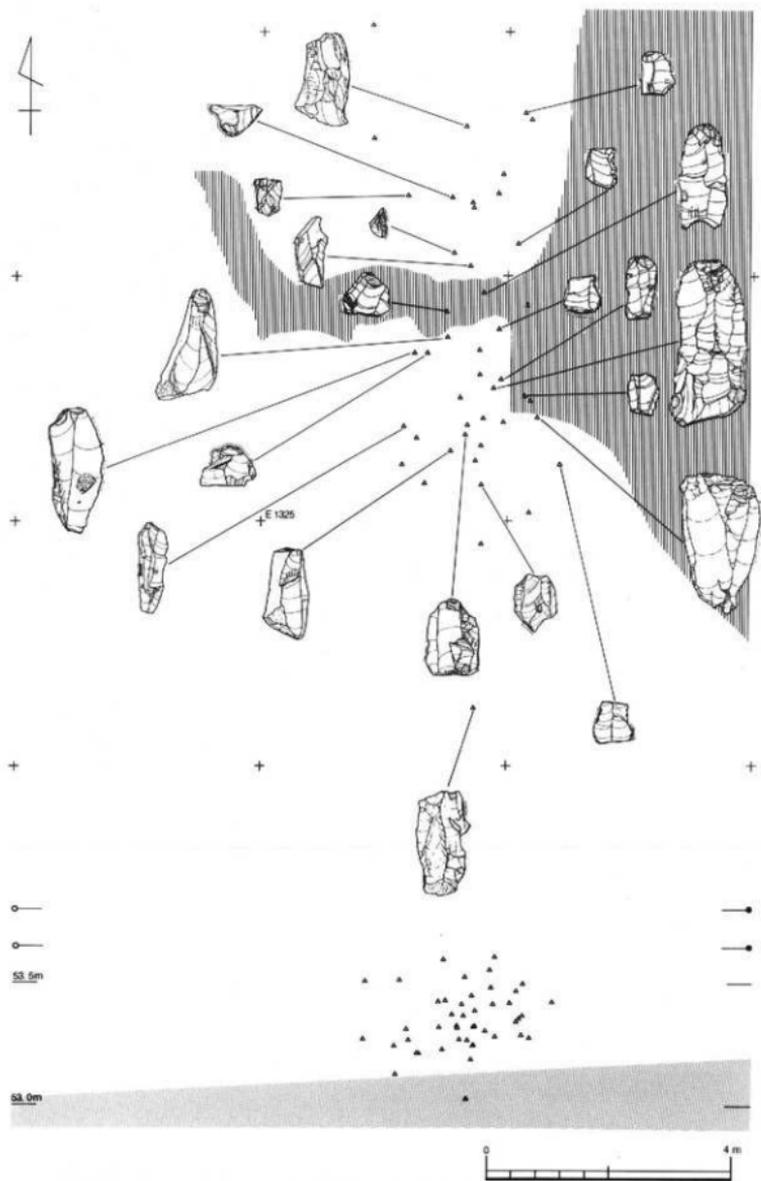


図37 ブロック4RF、UF分布図 (1/80、平面図のスクリーントーンは攪乱)

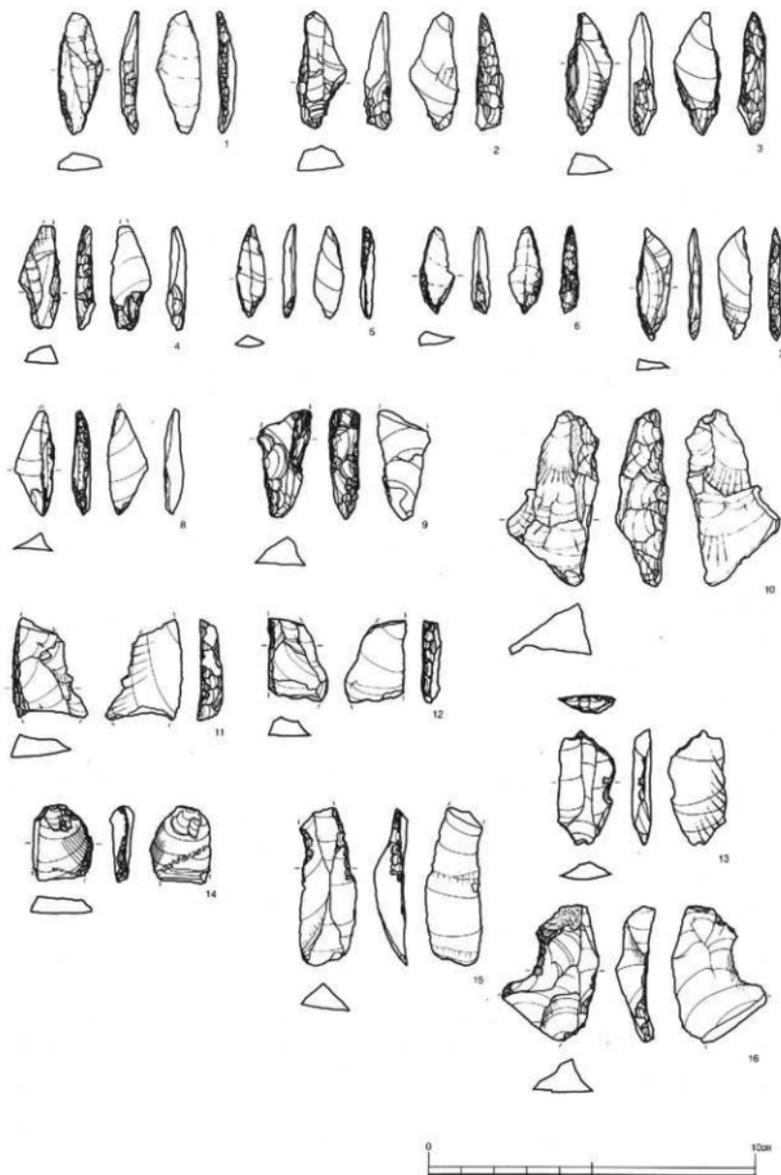


図38 ブロック4出土石器1 (2/3)

スクレイパー (図 38 - 14 ~ 16)

14は、黒曜石の縦長剥片の一側縁を加工して刃部としている。下部を欠損している。素材剥片の平坦打面が残っている。15は、シルト岩の縦長剥片の打面を上側にして、両側縁の上側半分ほどを加工して刃部としている。16は、シルト岩の縦長剥片の両側縁を加工して刃部としている。正面左側の加工は、素材剥片の大きく内湾した部分を加工してあるため、抉り入りのスクレイパーのようになっている。正面右側の加工は、側縁の下半分にとどまっている。素材剥片の打面側を欠損している。

加工痕のある剥片 (図 39 - 1 ~ 11)

1は、砂岩の縦長剥片の正面右側縁の一部に連続した剥離がある。素材剥片は節理面によって階段状剥離をおこすなど、うまく剥離しておらず、安定した形態になっていない。2は、シルト岩の縦長剥片の正面左側縁の中央付近を加工してわずかに内湾させている。3は、シルト岩の縦長剥片の正面右側縁の中央付近を加工して内湾させている。縁辺の一部を欠損している。4は、シルト岩の幅広の縦長剥片の正面左側縁の下側に連続した剥離がある。下部を欠損している。5は、シルト岩の縦長剥片の正面右側縁の一部に連続した剥離がある。6は、シルト岩の幅広の縦長剥片の両側縁に連続した剥離がある。下半部を欠損している。7は、黒曜石の幅広の剥片の正面左側縁に小さな剥離が連続してある。上部を大きく欠損している。8は、黒曜石の縦長剥片の正面右側縁と下縁に連続した剥離がある。右側縁の加工は縁辺を内湾させるように加工している。9は、黒曜石の小型の縦長剥片の正面右側縁に両側から、浅い角度の細長い剥離が連続して入っている。一側縁加工のナイフ形石器の可能性もある。10は、砂岩の幅広剥片の打面側の側縁に、両面から浅い角度で小さな剥離が連続している。下部を欠損する。11は、シルト岩の幅広の縦長剥片の正面左側縁に、先行剥離面側から剥離を入れて縁辺を内湾させるように加工している。

使用痕のある剥片 (図 39 - 12, 図 40, 図 41 - 1 ~ 3)

12は、シルト岩の大型の縦長剥片の正面左側縁の一部に微細な剥離が不連続には入っている。下面には下設打面か、石核下面と思われる面が残っている。先行剥離面には、下面を打面とする剥離はないことから、おそらく石核下面であろう。なお、これは高見ⅢB・Ⅳ遺跡では最大級の剥片で、このブロックに単独で置入した個体である。

図 40 - 1は、砂岩の厚い幅広の縦長剥片の正面右側縁に微細な剥離が不連続には入っている。2は、シルト岩の厚い縦長剥片の正面右側縁の一部に小さな剥離がある。3は、焼けて褐色に変色したシルト岩の縦長剥片の正面右側縁に微細な剥離がある。先行剥離面側には被熱による剥離がある。正面左側縁にも加工痕らしい剥離があるが、打点のはっきりせず、これも被熱による剥離かもしれない。4は、シルト岩の縦長剥片の正面左側縁の一部に微細な剥離がある。5は、シルト岩の縦長剥片の正面右側縁に微細な剥離が不連続に入っている。下面には裁断したような大きく湾曲する剥離が見られる。6は、シルト岩の縦長剥片の正面左側縁に微細な剥離が不連続に入っている。7は、シルト岩の縦長剥片の正面左側縁に微細な剥離が不連続に入っている。なお、4 - 6は他の剥片3点と接合し、連続して剥離した縦長剥片であることがわかる。

図 41 - 1は、シルト岩の薄い縦長剥片の両側縁の一部に微細な剥離がある。素材剥片の縁辺はヒンジフラクチャーによってギザギザになっている。2は、黒曜石の幅広の剥片の正面左側縁と、下縁に微細な剥離がある。3は、黒曜石の縦長剥片の正面左側縁に微細な剥離がある。

剥片 (図 41 - 4)

ブロック 4では、このような厚みのある縦長剥片が目立っており後述のように、分厚い剥片を素材とした石核と思われる石器 (図 47) が出土していることから、これも石核の素材の可能性があるものとして掲載した。正面左側面に上方からの槌状の剥離が入っている点を考えれば、彫器になるかもしれない。



図39 ブロック4出土石器2 (2/3)

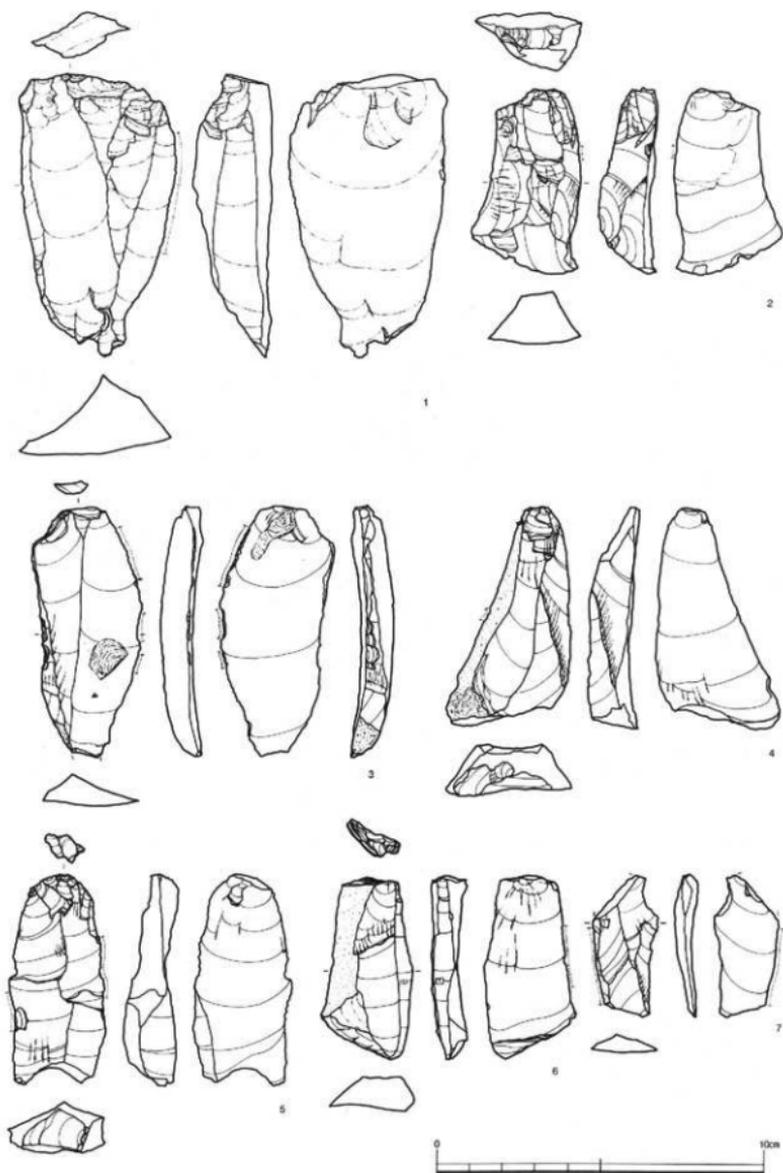


図40 ブロック4出土石器3 (2/3)

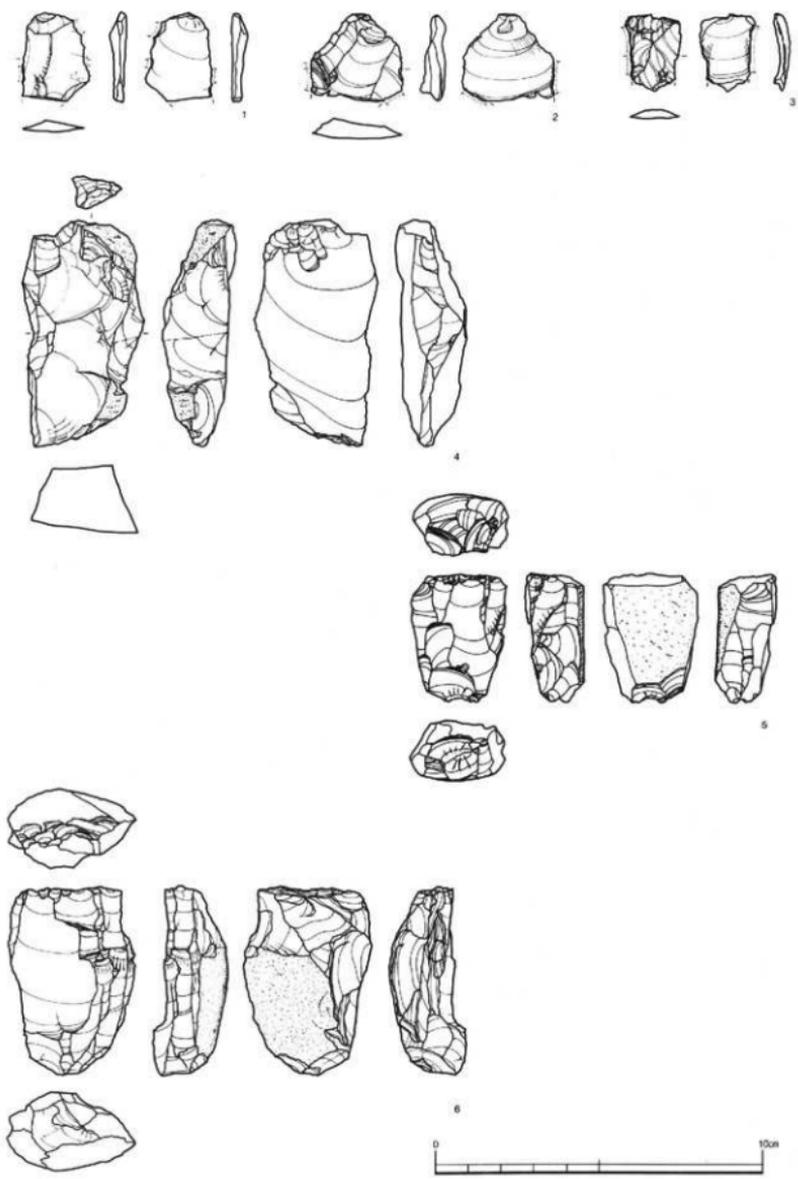


図41 ブロック4出土石器4 (2/3)

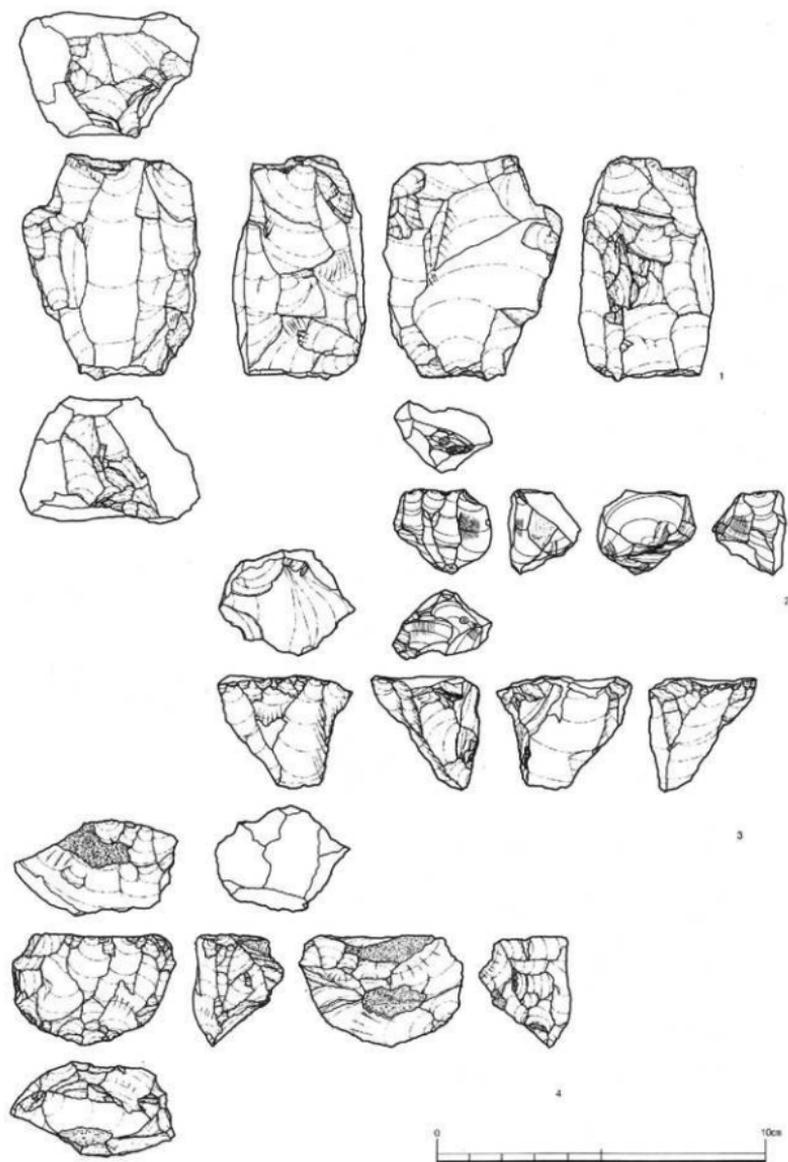


図42 ブロック4出土石器5 (2/3)

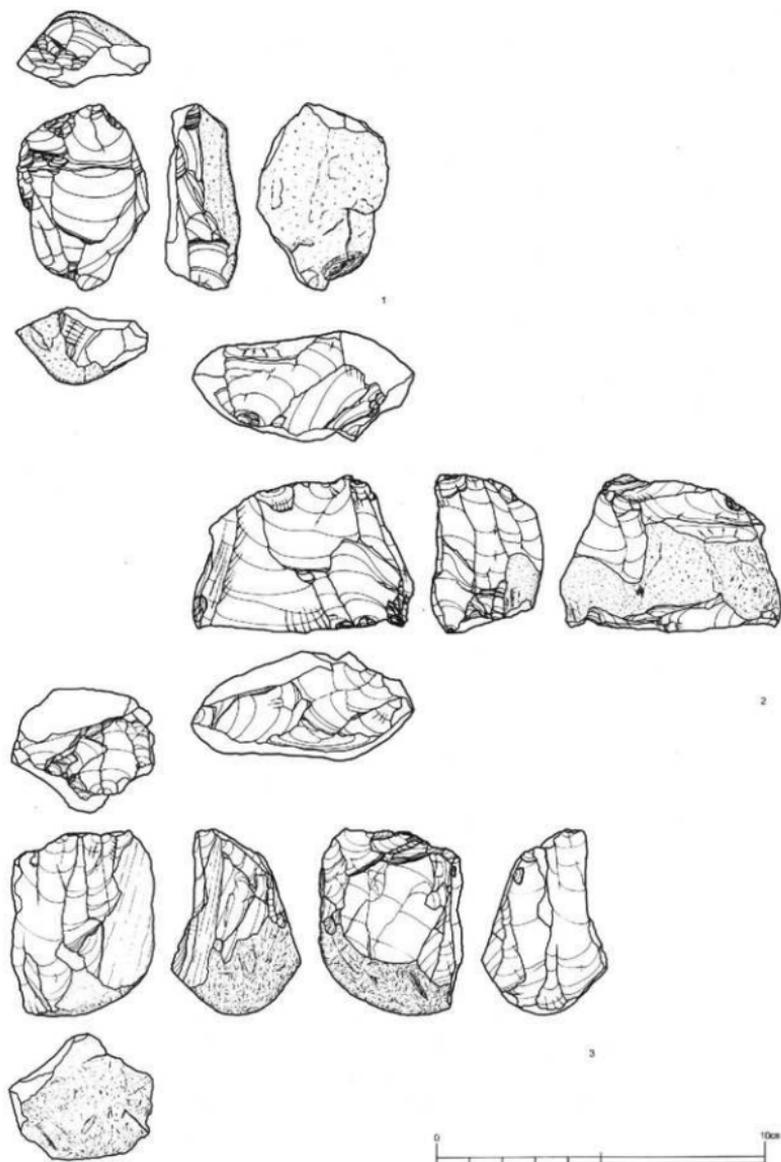


図43 ブロック4出土石器6 (2/3)

石核 (図41-5、6、図42-47)

5は、凝灰岩製で、縦長剥片を剥離した両設打面石核である。作業面は正面にほぼ限定しており、正面の裏側は円礫の自然面が残っている。正面右側の側面には石核の成形と思われる剥離が残っている。6は、蛇紋岩化したカンラン岩製で、5と同様に縦長剥片を剥離した両設打面石核である。下設打面からの剥離は上からの剥離に切られてあまり残っていない。作業面は正面にほぼ限定しており、正面の裏側は円礫の自然面が残っている。また、裏側には石核の成形と思われる剥離が残っている。

図42-1は、やや目の粗い砂岩製で、縦長剥片を剥離した両設打面石核である。作業面はほぼ全周をめぐっている。正面右側面の下部には90度の打面転移をした剥離がある。2は、黒曜石製で、上設の平坦打面から縦長剥片をとっている。作業面は正面に限定している。3は、砂岩製で、上設の粗く調整した打面から縦長剥片をとっている。作業面は正面1面である。4は、石器石材にしては目の粗いカンラン岩製で、両設打面から幅広の縦長剥片をとっている。下設打面からの剥離は上設打面からの剥離に切られてあまり残っていない。裏側には石核の成形と思われる剥離と自然面が残っている。単独個体で、ブロック内では剥片剥離作業は行っていない。搬入しただけで放棄してある。

図43-1は、シルト岩製で、幅広の剥片をとっている。作業面は正面が主で、一部、正面右側面でも下設打面からの剥離がある。これは石核の成形のための剥離かもしれない。裏側には円礫の自然面が残っている。2は、目の細かい砂岩製で、粗く調整した両設打面から幅広の剥片をとっている。作業面は正面と正面右側面の2面ある。裏側には円礫の自然面が残っている。3は、上設の調整打面から縦長剥片をとっている。作業面は正面に限定している。下面から裏側にかけて円礫の自然面が残っている。

図44-1は、シルト岩製で、調整打面から縦長剥片をとっている。作業面は正面と正面右側面で、裏側には90度の打面転移も見られる。被熱によって黒褐色に変色しており、下面には被熱による大きな剥離がある。2はシルト岩製で、上設の平坦打面から幅広の剥片をとっている。側面には90度の打面転移も見られる。3は、シルト岩製で、正面上設の調整打面から幅広の縦長剥片をとっている。その裏側では、90度の打面転移をして側面から幅広の剥片をとっている。また、裏側には円礫の自然面が残っている。側面には調整の剥離が残っている。

図45-1は、シルト岩製で、両設の調整打面から幅広の縦長剥片をとっている。作業面は正面に限定している。裏側には円礫の自然面が残っている。2は、流紋岩製で、やや風化が進んでいる。上設の調整打面と下設の平坦打面から縦長剥片をとっている。作業面は2面あり、正面で整った形の縦長剥片をとり、裏側では、正面右側面の自然面を打面として、正面とは90度打面を転移した方向から幅広の剥片をとっている。3は、シルト岩製で、上設の調整打面から縦長剥片をとっている。作業面では多くの剥離面が切りあっており、剥離した剥片の形態は必ずしもはっきりとしなが、縦長剥片を意図していると思われる。作業面は円礫の自然面が残る裏側以外の面をめぐっている。

図46-1は、シルト岩製で、上設の調整打面から幅広の縦長剥片をとっている。作業面は、石核成形の剥離が残る裏側以外の面をめぐっている。2は、シルト岩製で、上設の平坦打面から不定形の剥片をとっている。作業面は正面と裏側にある。下面にも、薄い剥離によって打面と思われる面を準備しているが、この面を打面とする剥離はない。3は、上設の平坦打面から不定形の剥片をとっている。2の石核と接合するが、分割面を切る剥離面はないことから、分割してからは剥離作業を行っていない。

図47は、分厚い剥片を素材とする石核である。上面に調整打面を作り、素材剥片の主剥離面側で剥片を1枚とっている。この剥離の末端は大きく階段状剥離を起こしている。また、下面にも主剥離面を切る細かい剥離が入っている。これはもう1つの打面の準備であろう。また、素材剥片の主剥離面側の両側縁にも剥離が入っている。意図は明らかでないが、作業面調整であろうか。なお、この石器は、正面右側面に上下方向から槌状の剥離が入っており、彫器の可能性も大いに考えられる。

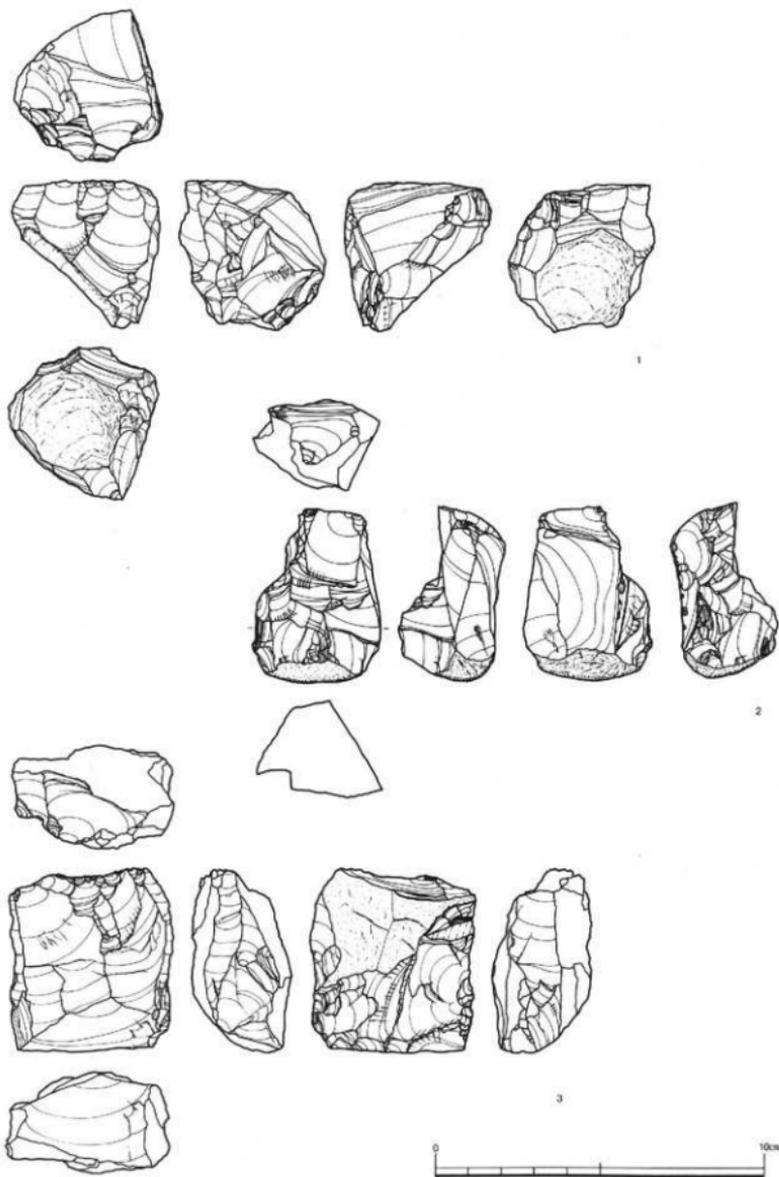


図44 ブロック4出土石器7 (2/3)

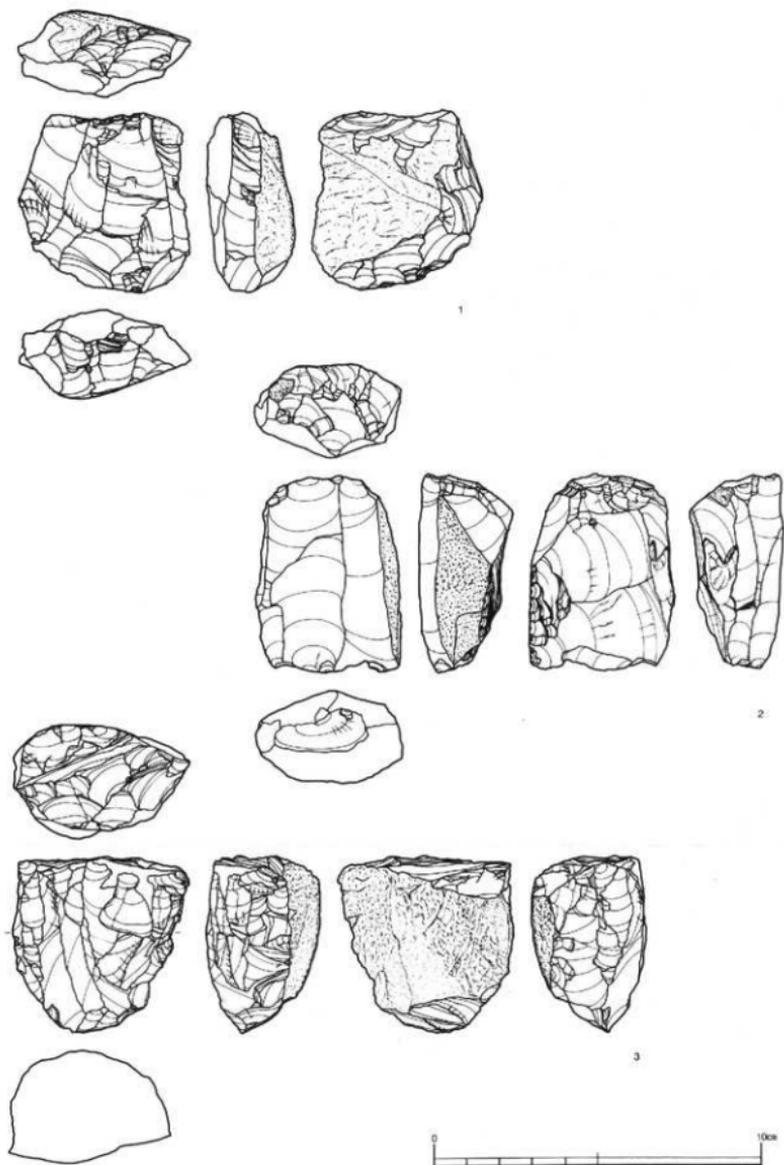


図45 ブロック4出土石器8 (2/3)



図46 ブロック4出土石器9 (2/3)

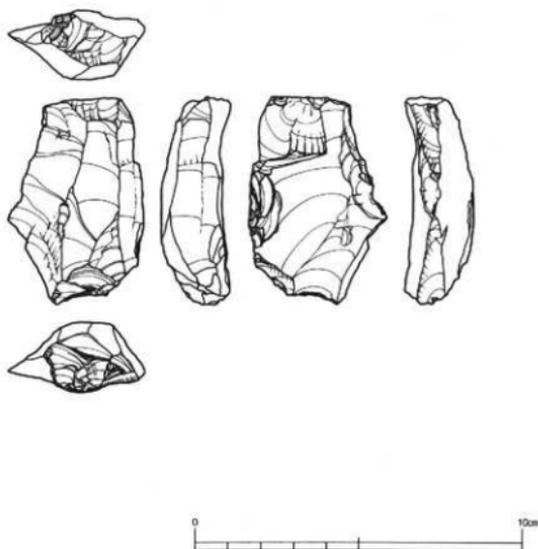


図 47 ブロック 4 出土石器 10 (2/3)

4) ブロック外出土石器 (図 48～51)

尖頭器 (図 48-1、2)

1はF 1315区、2b層で出土した。玄武岩製で風化が進んでいる。新しい割れ面ではサヌカイトのような漆黒で、ガラス光沢がある。このような石材は付近で採集できる石材ではなく、搬入石材と考えられる。両面加工の尖頭器である。2は砂岩製で、G 1307区、2b層出土の尖頭器の未完成品である。横長の剥片の先行剥離面側に平坦な加工をしてあり、主剥離面側は加工していない。素材剥片は打面側と末端で厚さが相当違っており、平面形では尖頭器の形に近づいてはいるものの、断面はいびつである。

ナイフ形石器 (図 48-3～7)

3はF 1306区、2b層出土である。シルト岩の縦長剥片の打面を下にして、主剥離面側から二側縁を加工して刃部を右側にしてある。刃部には使用痕と思われる不規則な剥離がある。刃部側の加工は基部にとどまる。4はブロック4の西側にある谷の埋土から出土した。シルト岩のやや厚みのある縦長剥片の打面を上にして、両面から二側縁を加工して刃部を右側にしてある。半分近くを欠損しているため、上下を判断しにくく、図が上下逆になるかもしれない。5はF 1308区、3a層出土である。シルト岩の縦長剥片の打面を上にして主剥離面側から一側縁を加工して刃部を右にしている。小型のナイフ形石器である。6はG 1318区、2b層出土である。シルト岩の縦長剥片の打面を上にして素材剥片を斜めに切断するように両面から加工している。7はE 1314区、3a層出土である。シルト岩の幅広の剥片の二側縁を加工している。使用痕と思われる微細な剥離がある部分を刃部とすると、刃部は図の上縁ということになる。図の正面が素材剥片の主剥離面である。加工は正面左側縁は主剥離面側から、側縁の下半分ほどにとどめている。一方、正面右側縁は、先行剥離面側から刃潰し加工にしては浅い角度で加工している。高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡では特異な形態のナイフ形石器である。



図48 エリア1ブロック外出土石器1 (2/3)

スクレイパー (図48-8~12)

8はブロック4の西側にある谷の埋土から出土した。黒曜石の縦長剥片の正面左側縁に刃部を作っている。9はG1318区、2b層出土である。黒曜石の幅広の剥片の一側縁を細かく連続して加工している。10はF1316区、3a層出土である。シルト岩の厚みのある大型縦長剥片の正面右側縁を主剥離面側から加工している。11は、シルト岩の縦長剥片の打面を上側にして、両側縁を加工して刃部にしている。加工痕の大きさはそろっていない。加工は、正面右側の側縁は、側縁全体に及んでいるが、正面左側の側縁の加工は、側縁上部と下部だけにとどまっている。このうち、側縁上部の加工は縁辺が内湾するようにしてある。素材剥片の平坦打面が残っている。12はブロック4の西側にある谷の埋土から出土した。シルト岩の幅広剥片の両側縁から末端にかけてを連続して加工している。素材剥片の両側縁は主剥離面側から加工して、末端部分は先行剥離面側から加工している。素材剥片の打面側は欠損している。

加工痕のある剥片 (図49-1、2)

1はブロック4の西側にある谷の埋土から出土した。砂岩の正面左側縁に先行剥離面側から細かい剥離が連続してある。2はE1310区、3a層出土である。シルト岩の幅広剥片の正面右側縁に細かい剥離が連続してある。素材剥片の打面側と正面左側縁を大きく欠損している。

使用痕のある剥片 (図49-3~10)

3はF1309区、2b層出土である。シルト岩の縦長剥片の両側縁に細かい剥離が不連続には入っている。素材剥片の下面には石核の底面か下設打面と思われる剥離面がある。やや赤っぽく変色したようになっていることから、焼けているかもしれない。4はF1312区、2b層出土である。シルト岩の縦長剥片の正面右側縁の一部に細かい剥離がある。素材剥片は先行剥離面側に大きく凹縁の自然面を残している。5はG1323区、3a層出土である。凝灰岩の幅広の縦長剥片の正面右側縁に細かい剥離が連続してはいつている。素材剥片の先行剥離面側には凹縁の自然面が残っており、後縁形成らしい細かい剥離が見られる。6はブロック4の西側にある谷の埋土から出土した。シルト岩の幅広の剥片の正面左側縁に微細な剥離がある。素材剥片の打面側を欠損している。7はF1312区、2b層出土である。シルト岩の縦長剥片の正面右側縁の一部に細かい剥離が不連続にある。8はF1316区、3a層出土である。シルト岩の縦長剥片の正面左側縁の一部に細かい剥離がある。素材剥片の打面側を欠損している。9はH1311区3a層出土である。凝灰岩の不定形剥片の正面右側縁に微細な剥離がある。10はG1314区、3a層出土である。凝灰岩の小型の縦長剥片の正面左側縁の一部に微細な剥離がある。

石核 (図50-1、図51)

図50-1は目の粗いシルト岩製であるが色が黒色であり安山岩の可能性もある。F1202区、3a層出土である。横長剥片石核で、打面が山形になるように整形している点で、翼状剥片石核の可能性があり、瀬戸内技法をうかがわせる資料である。また、実測図右側には、上方からの剥離が並んでおり、これを旧作業面と考えると、別の技術で剥片をとっていた石核を横長剥片剥離用の石核に転用していると考えられる。単独個体で、搬入後の剥片剥離は行っていない。

図51-1はG1422区、3a層出土である。凝灰岩製で、上設の調整打面から幅広の剥片をとっている。作業面は石核の全周をめぐる。下面には明確な打面はないが、石核の下端に細かい剥離が並んでおり、下方向からの剥離も見られる。一部に凹縁の自然面が残っている。2はG1421区、3a層出土である。凝灰岩製で上設の調整打面から不定形の剥片をとっている。剥片を取り尽くした感じである。

打製石斧 (図50-2)

F1413区、3a層出土である。目の粗い玄武岩製で風化が激しく、稜線以外、剥離面の観察はできない。刃部と思われる個が突っており、石斧の刃部にしては妙な形になっていることから、刃部が欠損しているかもしれない。単独個体で、周囲に遺物がない場所で直立して出土した。

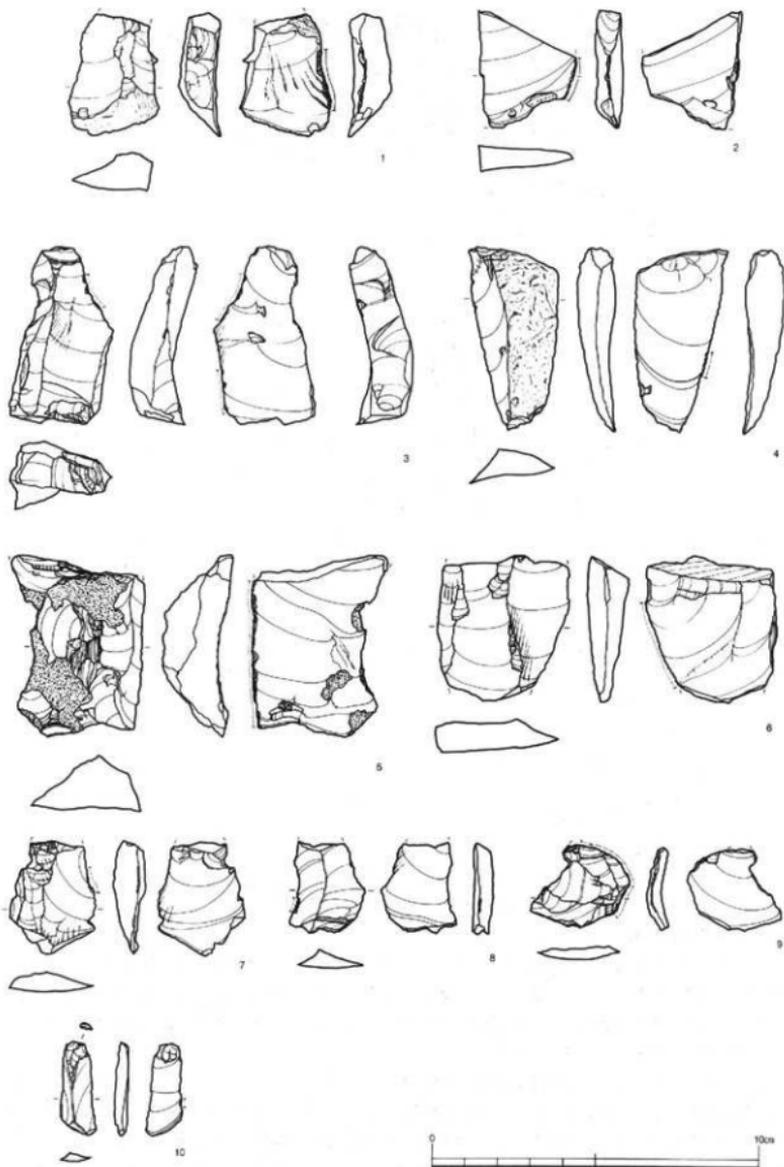


図49 エリア1ブロック外出土石器2 (2/3)

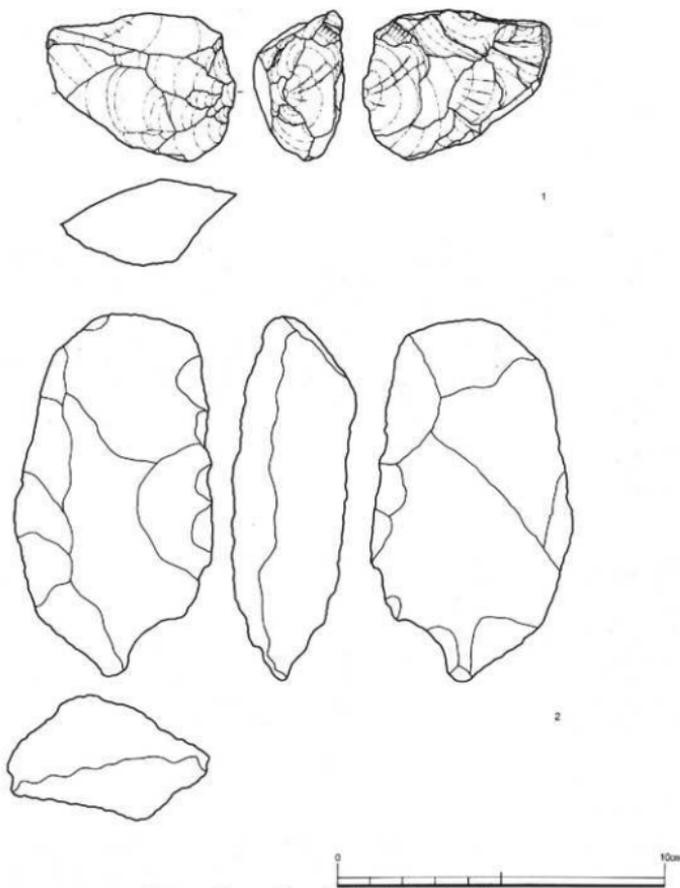


図50 エリア1ブロック外出土石器3 (2/3)

6 石器の接合状況

エリア1の石器の接合状況を図52に示す。ブロック4の内部でいくつか接合例があるが、これに対してブロック4以外ではほとんど接合していない。これは、ブロックをはずれると単独個体の占める割合が大きくなることが要因としてあげられる。言い換えれば、このような空間は石器の製作地というよりも石器の消費地だったためであろう。

次に、ブロック4とその周辺の接合状況を図53に示す。ほとんどがブロック内での接合に収まっている。連続剥離を示す接合資料4や5の構成資料もこのブロック内に収まっている。また、石核の他に剥片、砕片も多く出土していることから、このブロック内で石器製作を行ったと考えて良い。ブロックの南に大きく飛び出した接合線があるが、これはチャートの原石を荒割りしたもので、明確に石器製作を示す資料ではない。

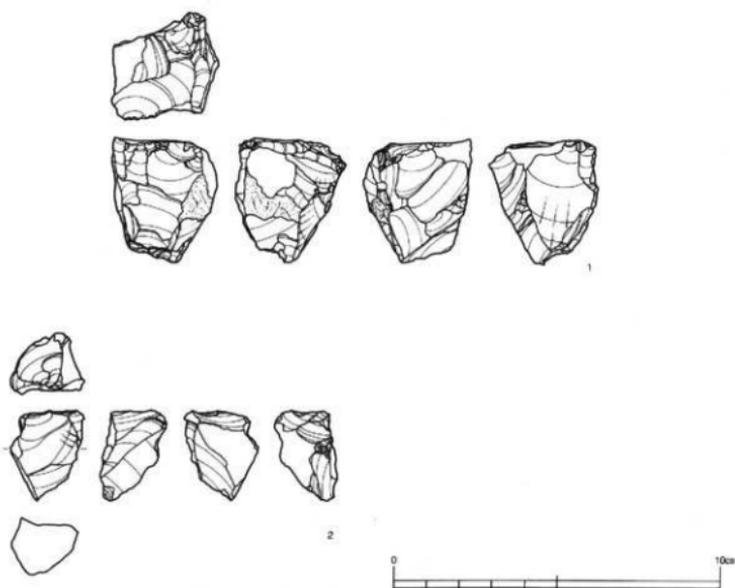


図51 エリア1ブロック外出土石器4 (2/3)

接合資料1 (図54)

使用痕のある剥片3点(図40-4~6)と剥片3点の接合である。石材はシルト岩である。すべてブロック4で出土している。このうち、図54-4と6は折れた縦長剥片で、折れ面で接合して1点の剥片になる。1、2、3、4・6、5の順ではほぼ同じ方向からの打撃で連続剥離しており、3を剥離する前に打面再生をして、打面が1.5 cm程低くなっている。打点は、4、6の次に5を剥離するときに1 cm程横に移動している以外は大きな移動はない。石核は搬出したらしく、出土していない。

接合資料2 (図55)

石核(図45-2)と剥片1点の接合である。石材は風化の進んだ流紋岩である。ともにブロック4出土である。剥片は打面付近を欠損している。上設打面からやや厚めの剥片を剥離している。

接合資料3 (図55)

使用痕のある剥片3点(図40-7、図49-8、図55-3)の接合である。石材はシルト岩である。これらのうち1点(図40-7)はブロック外出土である。3点は1~3の順で連続して剥離しており、図55-1と2の間で180度の打面転移がある。石核は搬出したらしく、出土していない。

接合資料4 (図56)

石核(図42-1)と縦長剥片が接合したものである。石材は、石器石材としては目の粗い砂岩である。ともにブロック4出土である。剥片(図56-1)は断面が三角形になっており、その後縁から丁寧な剥離が入っている。接合していない状態で、剥片だけを見ると、縦長剥片を剥離する前の稜線形成のように見えるが、接合した状態で見ると、石核の側面調整、もしくは、90度の打面転移をした後の作業面調整と判断できる。剥片の打面と石核の打面との間に段差があることから、1の剥片をとった後に打面再生をしていることがわかる。

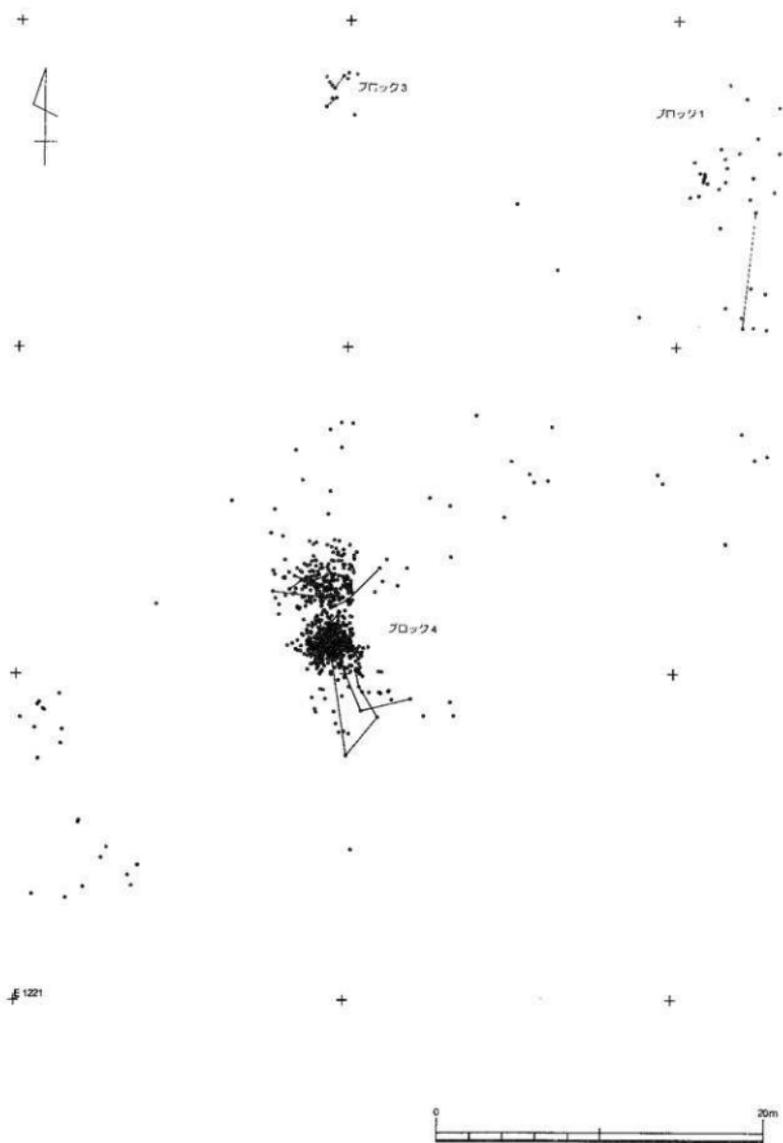


図 52 エリア 1 石器接合状況 (1/300)

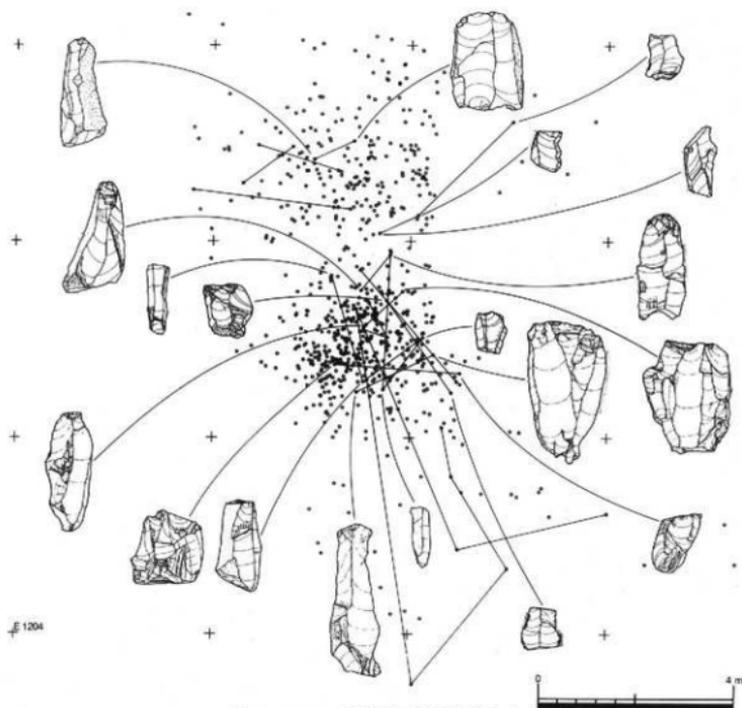


図53 E1325区付近石器接合状況(1/100)

接合資料5(図57)

使用痕のある剥片(図40-1)と厚手の縦長剥片の接合である。同じ平坦打面から剥離している。剥片の下面には石核の底面か、下設打面と思われる剥離面がある。

接合資料6(図57)

加工痕のある剥片(図39-6)と剥片の接合である。同じ調整打面からの剥離で、打点は1.5cm程平行移動している。石核は撤出したらしく、出土していない。

接合資料7(図58)

石核2点(図46-2、3)の接合である。ともにブロック4出土である。石の目に似た粗い剥離面で2つに割れている。2つに割れた後は剥片をとっていない。

7 個体別資料の分布状況

主要な個体別資料の分布状況を図59に示す。主要個体のほとんどはブロック4に集中している。ブロック内での分布を詳細に見ると、シルト岩1、砂岩とシルト岩2、凝灰岩、黒曜石を比べると、前者が南より、後者が北よりに分布する傾向がある。また、凝灰岩では、Tu011とTu012がブロック1に分布し、Tu013がブロック4に分布している。

ブロック外では60個体を認識し、そのうち47個体が単独個体である。このように、ブロックをはずれたところでは単独個体が8割弱を占めていることから、石器消費地としての性格が考えられるであろう。

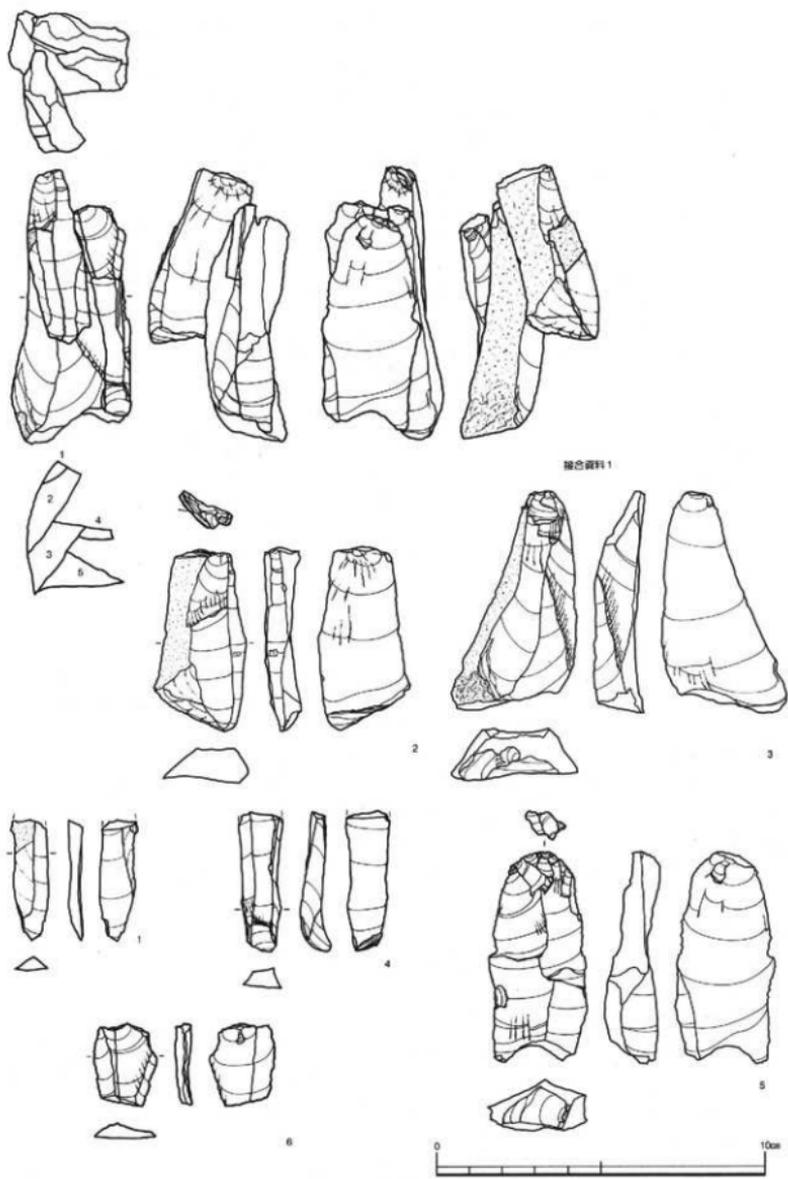


図54 エリア1出土接合資料1 (2/3)

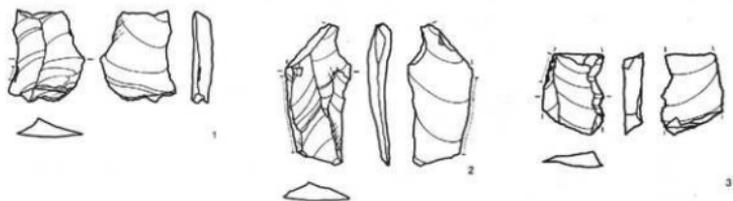
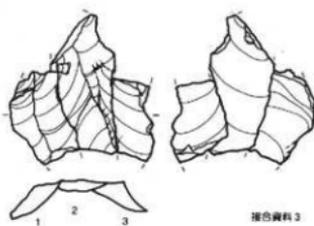
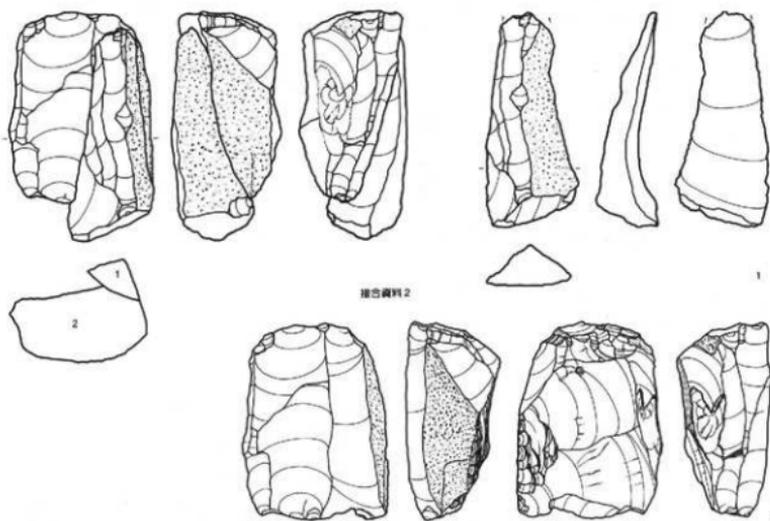


図 55 エリア 1 出土接合資料 2、3 (2/3)

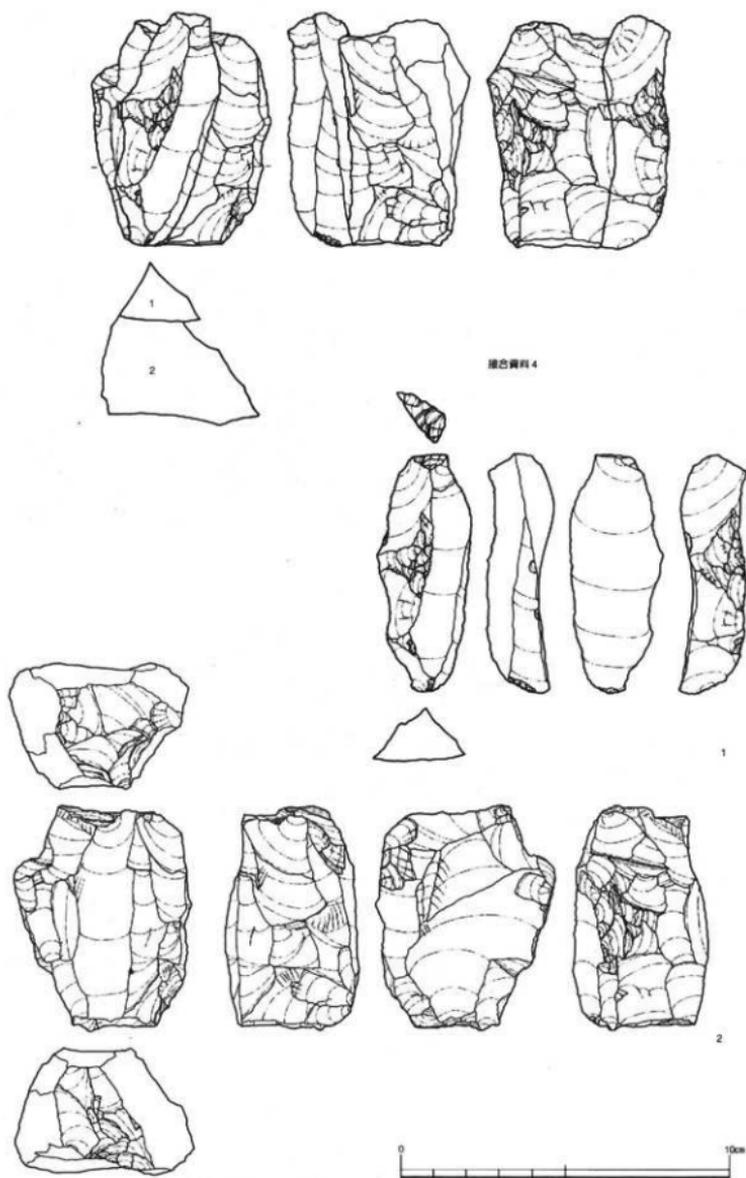


図56 エリア1出土接合資料4 (2/3)

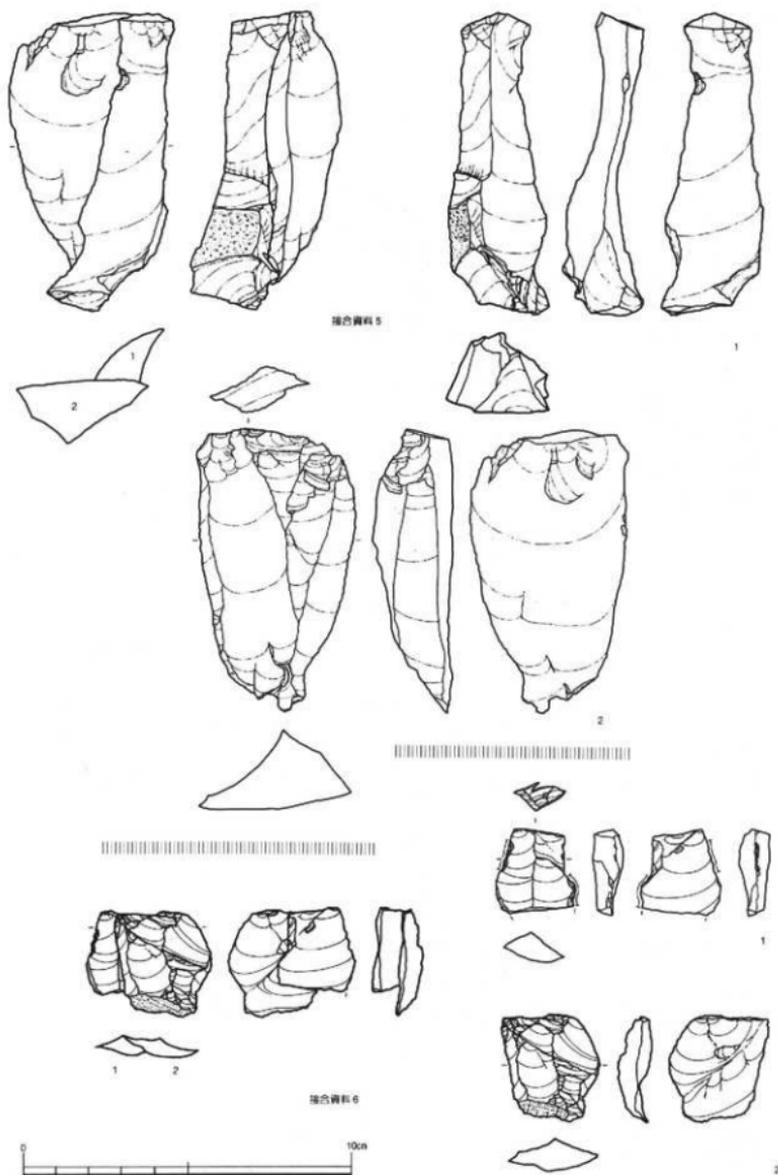


図 57 エリア 1 出土接合資料 5、6 (2/3)

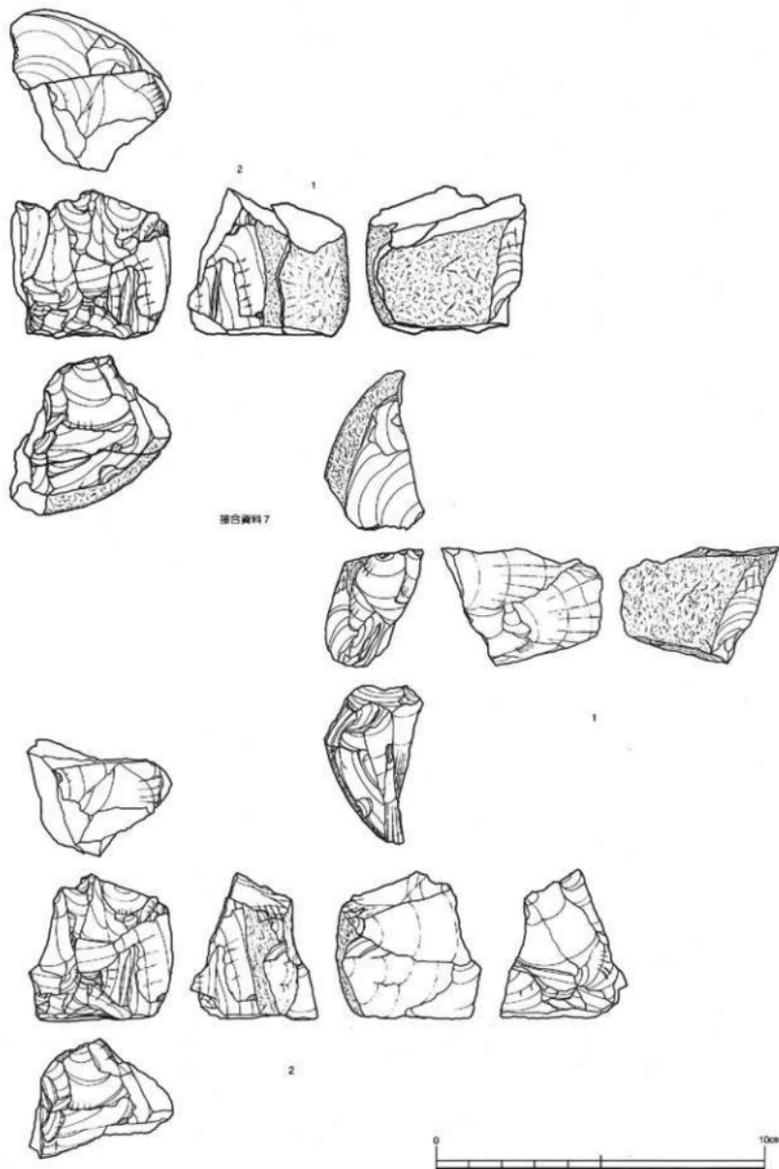


図58 エリア1出土接合資料7 (2/3)

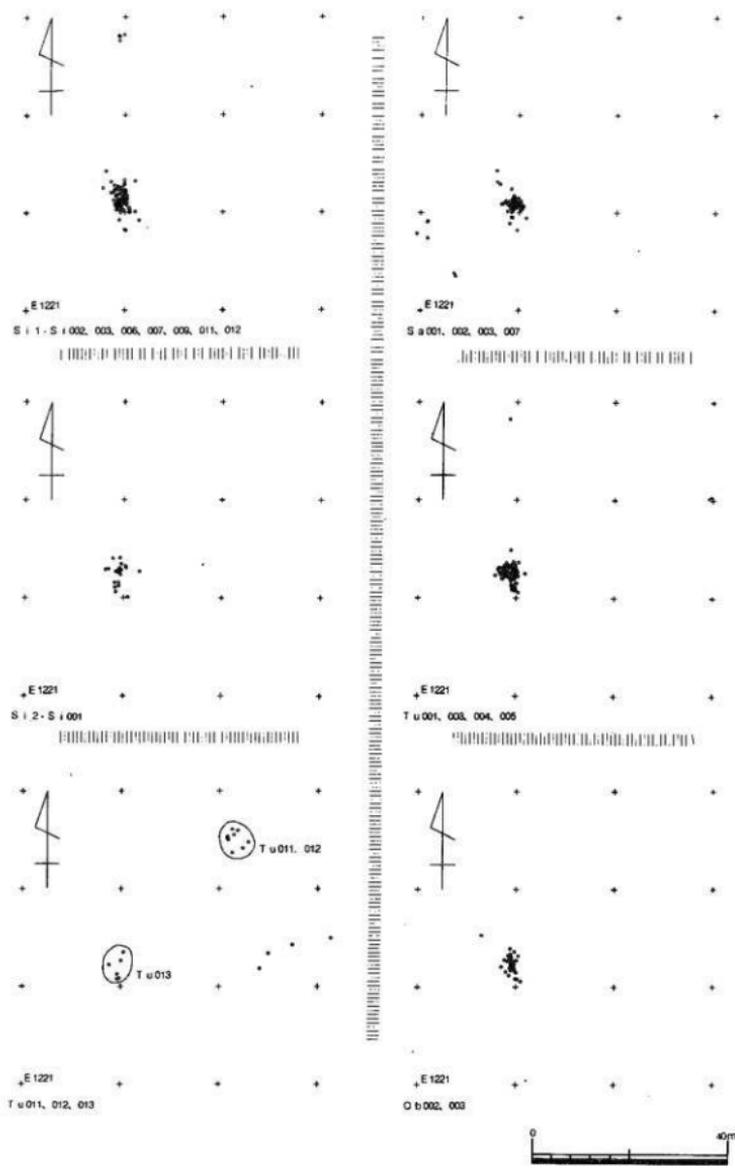


図 59 エリア 1 個体別資料分布図 (1/1000)

表6 エリア1ブロック別石器組成表

ブロック1

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1		3					1	1										5
Sa								1										1
Tu	1			1				2	2	11		2						19
Ob										1								1
合計	1	3	0	1	0	0	1	4	2	12	0	2	0	0	0	0	0	26

ブロック3

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1								1	2	1								4
Sa	1							1		4								6
Tu										1								1
合計	1	0	0	0	0	0	0	2	2	6	0	0	0	0	0	0	0	11

ブロック4

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1	12	2		1				12	16	10	197	124						374
Si2	1								4	3	36	10						54
Sa	2	1					1	3	5	64	22							98
Tu	1							1	2	1	92	57						154
Ch									1	6	1		1					9
Ob	1	1					4	2	1	14	11							34
Se									1	5	2							8
Rh									1	2								3
Ol									1									1
Ba										1								1
合計	17	4	0	1	0	0	18	27	24	417	227	0	0	0	0	0	0	736

表7 III遺跡エリア1個体別石器組成表

ブロック1

器種/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分類
Ob010										1									1	ブロック1
Sa018								1											1	ブロック1
Si1-S057							1												1	ブロック1
Si1-S078			1																1	ブロック1
Si1-S079			1																1	ブロック1
Si1-S080							1												1	ブロック1
Si1-S081			1																1	ブロック1
Tu011								1	3	1									5	ブロック1
Tu012								5											5	ブロック1
Tu018							1			1									2	ブロック1
Tu019		1		1			1	1											4	ブロック1
Tu033								2											2	ブロック1
Tu034								1											1	
合計	1	3	0	1	0	0	1	4	2	12	0	2	0	0	0	0	0	0	26	

ブロック3

器種/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分類
Sa010								1	3										4	ブロック3、4
Sa017									1										1	ブロック3、4
Sa023		1																	1	ブロック3
Si1-S006							1	2	1										4	ブロック3、4
Tu003		1	0	0	0	0	0	2	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	11	ブロック3、4
合計	1	0	0	0	0	0	2	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	

ブロック4

器種/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分類
Rh001									6	1	1								8	ブロック4
Ob002									1										1	ブロック4
Ob003		1	1				1	1	6	5									15	ブロック4
Ob012							2	2	7	5									16	ブロック4
Ob013							1												1	ブロック4
Ob014									1										1	ブロック4
Ob001								1	1										2	ブロック4
Rh004									1	2									3	ブロック4
Sa001							1	1	24	12									38	ブロック4
Sa002							1	1	12	1									15	ブロック4
Sa003							2	2	9										13	ブロック4
Sa006									5										5	ブロック4
Sa007		1	1					1	4										7	ブロック4
Sa010									1										1	ブロック3、4
Sa017									2										2	ブロック3、4

第2節 エリア2の遺構と遺物

このエリア(図60)では土坑1基、磔群26基、配石21基、ブロック8基、炭化物の集中域4カ所を検出した。このエリアは、エリア1から北に続く微高地にあっており、この微高地上で遺構、遺物が出土した。微高地の西側には、現在の水路に沿って埋没谷が南北方向に走っている。この谷は、調査区外のため、検出してはいるが、このエリアの北西隅で、この谷から派生すると思われる入り江状の浅谷を検出している。一方、微高地の東側には、縄文時代に埋没した谷を検出しており、この谷がエリア3との境界になっている。なお、このエリアの南側には大きな攪乱が入っており、本来はここにも遺物が分布していたと考えられる。

遺物は2b~3b層上層で出土しており、3a層がもっとも多いが、Ⅲ遺跡のエリア1、エリア3に比べると遺構、遺物の少ないエリアである。炭化物の集中域を最初に見つけたのがこのエリアで、後の調査の指針となった。このエリアの炭化物の集中域には良好なものがあり、年代測定用の試料を採取でき、エリアの年代を知る手がかりとなっている。また、北西隅で検出した浅谷の埋土からも、年代測定用の炭化物を採取でき、浅谷の埋没時期を推定する根拠を得ることができた。

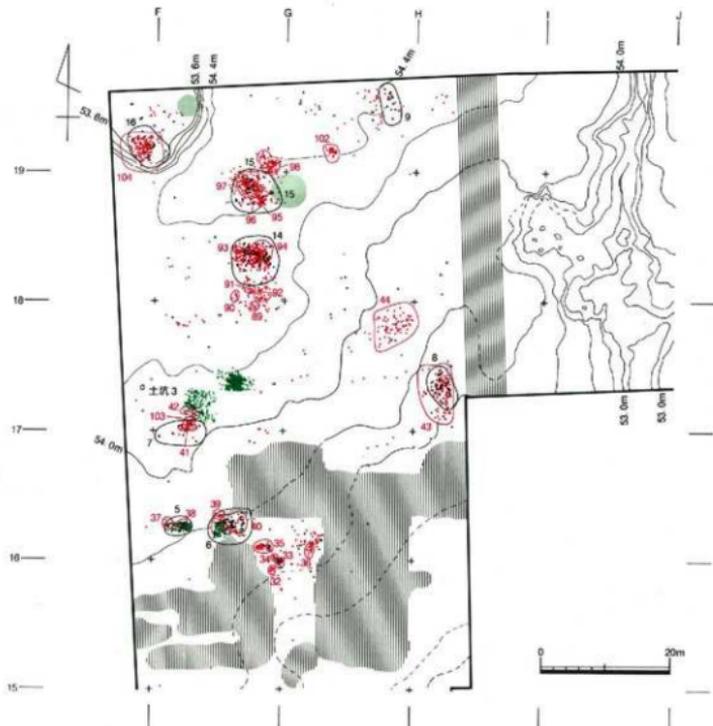


図60 エリア2遺構、遺物分布図(1/750 スクリーントーンは攪乱)

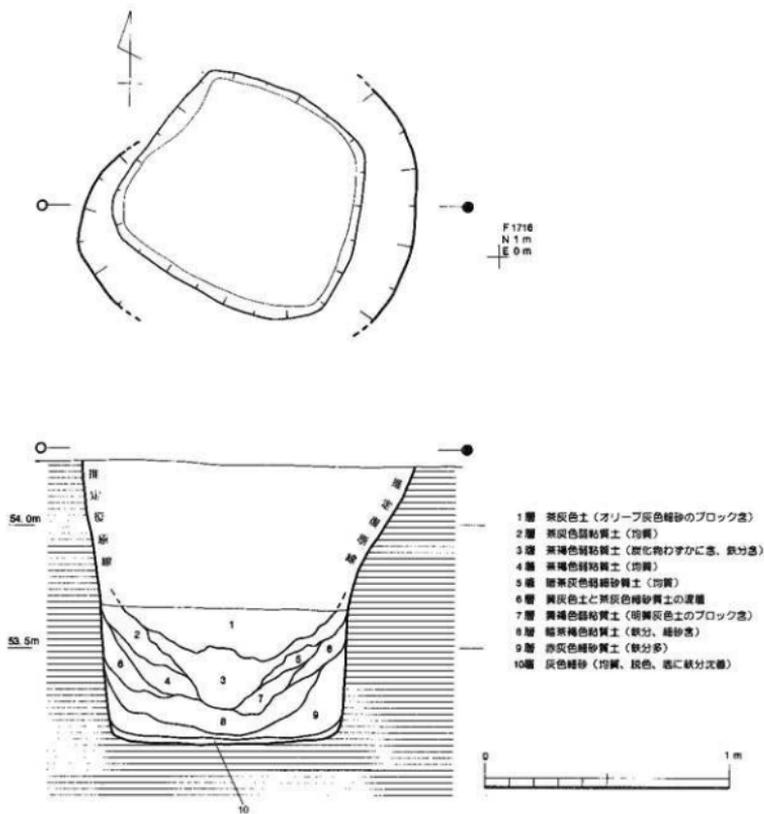


図 61 土坑 3 平・断面図 (1/20)

1 土坑

土坑 3 (図 61) E 1715、E 1720 区で検出した。トレンチ掘削中にちょうどトレンチの真中で発見したもので、上半を失ってしまったが、土坑の立ち上がりがトレンチの断面にかかっていたため、断面を観察したところ、3 a 層上面、標高 54.3 m で掘り方を確認できたが、本来の掘り込み面は 2 b 層中になると思われる。平面形は、3 a 層上面では円形だが、中程から不等四辺形になる。規模は長径 135 cm、短径は推定で 120 cm、深さは推定で 115 cm である。付近の遺構は、北東約 2 m に配石 10、南東約 7.5 m に礫群 42 がある。周辺に石器はほとんど分布していない。底は鬼盤を 10 cm 掘り込んでいる。埋土は自然堆積で、遺物は出土していない。底に水がたんでいた時期があったようで、底に脱色した砂が堆積し、鉄分が沈着している。

2 礫群

礫群 32 (図62) 3 b層上層で検出した。北東に礫群 33、34 が近接している。規模は 78×50 cm の範囲に広がる。構成礫は 9 点で、すべて砂岩である。赤化率 88.9%、破砕率 88.9%、割れ面赤化率 77% である。総重量は 1392 g、平均重量は 154.7 g である。

礫群 33 (図62) 3 b層上層で検出した。北西に礫群 34 が隣接している。 71×67 cm の範囲に広がる。構成礫は 21 点で、砂岩が 77.3% で、他はチャート、花崗岩がある。赤化率は 81.8%、破砕率 86.4%、割れ面赤化率 77.3% である。総重量は 8496 g、平均重量 386.2 g である。配石 44 を含み、配石 45 が隣接する。

礫群 35 (図62) 3 b層上層で検出した。南西に礫群 32 ~ 34 が近接している。 222×195 cm の範囲に広がっている。密集部分があり、東に向かって礫が拡散するような分布を示し、拡散部分に配石 47 を含んでいる。配石の周辺と礫の密集部分の間に 20 cm 程の空間があり、これを境に 2 つに分けることもできる。構成礫数は 67 点で、砂岩が 85.1%、他はチャートと花崗岩、頁岩である。赤化率 95.5%、破砕率 92.5%、割れ面赤化率 80.6% である。総重量は 10749 g、平均重量 160.4 g である。

礫群 36 (図63) 3 a ~ 3 b 層で検出した。谷に向かって緩やかに傾斜する所にある。礫の出土レベル差が大きかったため、現場では礫群としなかったが、その後、他の礫群と比較したところ、出土レベル差が 40 cm 近くあっても接合した例があることから、これも礫群とした。 207×79 cm の範囲に広がる。構成礫数は 23 点で、砂岩が 78.3%、他はチャートである。赤化率は 82.6%、破砕率 91.3%、割れ面赤化率 73.9% である。総重量は 2619 g、平均重量は 113.9 g である。

礫群 37 (図63) 礫群 38 と近接して微高地上、3 b層上面付近で検出した。 124×67 cm の範囲に広がる。中央付近にやや礫が集まる場所があり、全体的に南北方向に分布している。礫集中部があり、その周辺に致点の礫が散らばっている。米粒以下の炭化物を含んでいる。構成礫数は 16 点、砂岩が 93.8%、後はチャートである。赤化率 100%、破砕率 81.2%、割れ面赤化率 56.2% である。総重量は 1816 g、平均重量は 113.5 g である。

礫群 38 (図63) 礫群 37 と近接して微高地上、3 b層上面付近で検出した。 135×70 cm の範囲に広がる。礫が集中する部分はなく、円弧状に礫が分布している。また、米粒以下の多量の炭化物を含んでいる。構成礫数は 10 点で、砂岩が 80%、あとはチャートである。赤化率 100%、破砕率 100%、割れ面赤化率 60% である。総重量は 978 g、平均重量は 97.8 g である。

礫群 39 (図63) 微高地上、礫群 40 に隣接して 3 b層上面付近で検出した。 125×53 cm の範囲に広がる。礫の集中部があり、そこから西方に礫が散在している。構成礫数は 14 点、すべて砂岩である。赤化率は 100%、破砕率 100%、割れ面赤化率 71.4% である。総重量は 1242 g、平均重量は 88.7 g である。

礫群 40 (図64) 微高地上、2 b ~ 3 a 層で検出した。西に炭化物の集中域が隣接している。礫の出土レベル差が 40 cm 以上あったことから、現場では礫群としなかったが、他の礫群と比較したところ、出土レベル差が 40 cm 近くあっても接合した例や、小さな礫が主体となる礫群があることから、礫群に認定した。 455×177 cm の広い範囲に広がる。礫が集中する場所はなく、散在している。構成礫数は 43 点で、砂岩が 90.7%、他はチャートである。赤化率は 79.1%、破砕率 95.4%、割れ面赤化率 55.8% である。総重量は 2224 g、平均重量は 51.7 g である。

礫群 41 (図65) 微高地上、3 b層で検出した。 208×48 cm の東西に細長い範囲に広がる。礫が集中する場所はなく、散在している。構成礫数は 14 点、砂岩が 78.6% で、他はチャートと頁岩である。赤化率 85.7%、破砕率 100%、割れ面赤化率 64% である。総重量は 254 g、平均重量は 18.1 g と小さい礫からなる特徴的な礫群である。

礫群 42 (図65) 微高地上、2 b ~ 3 a 層で検出した。南側に礫群 103 が近接している。非常に小さい

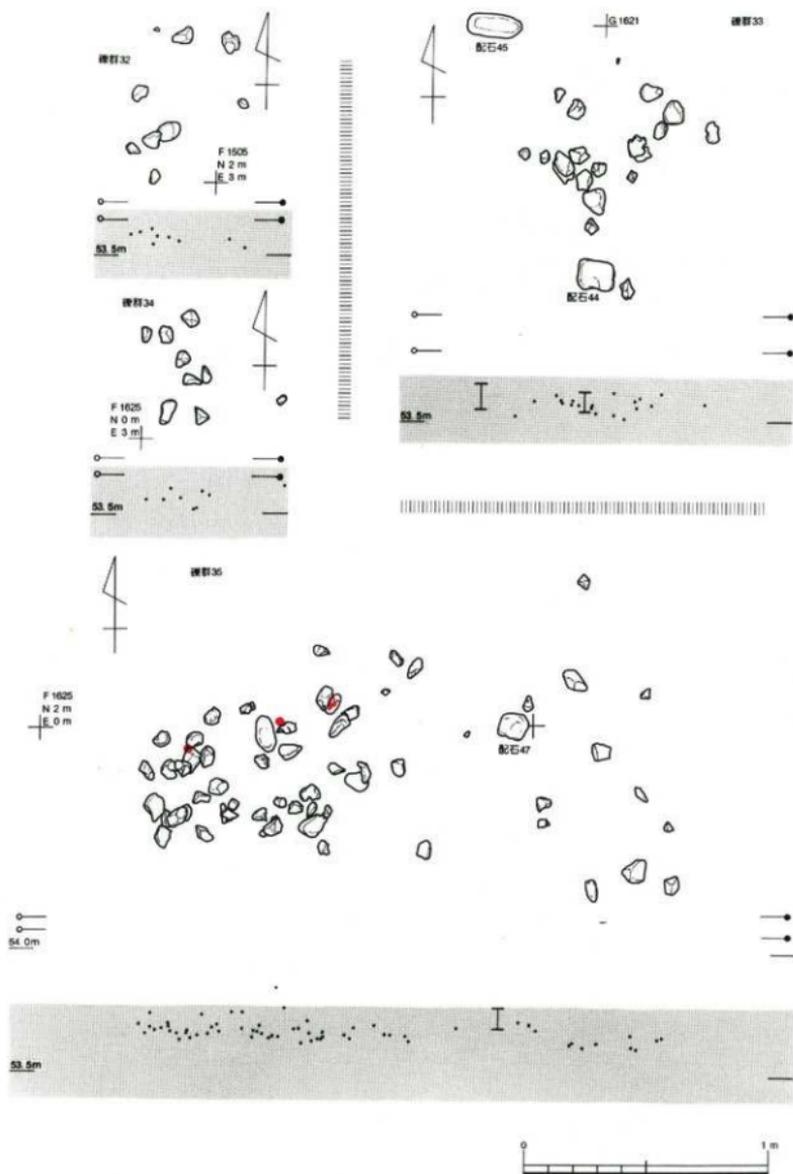


図 62 群32～35 礫分布図 (1/20)

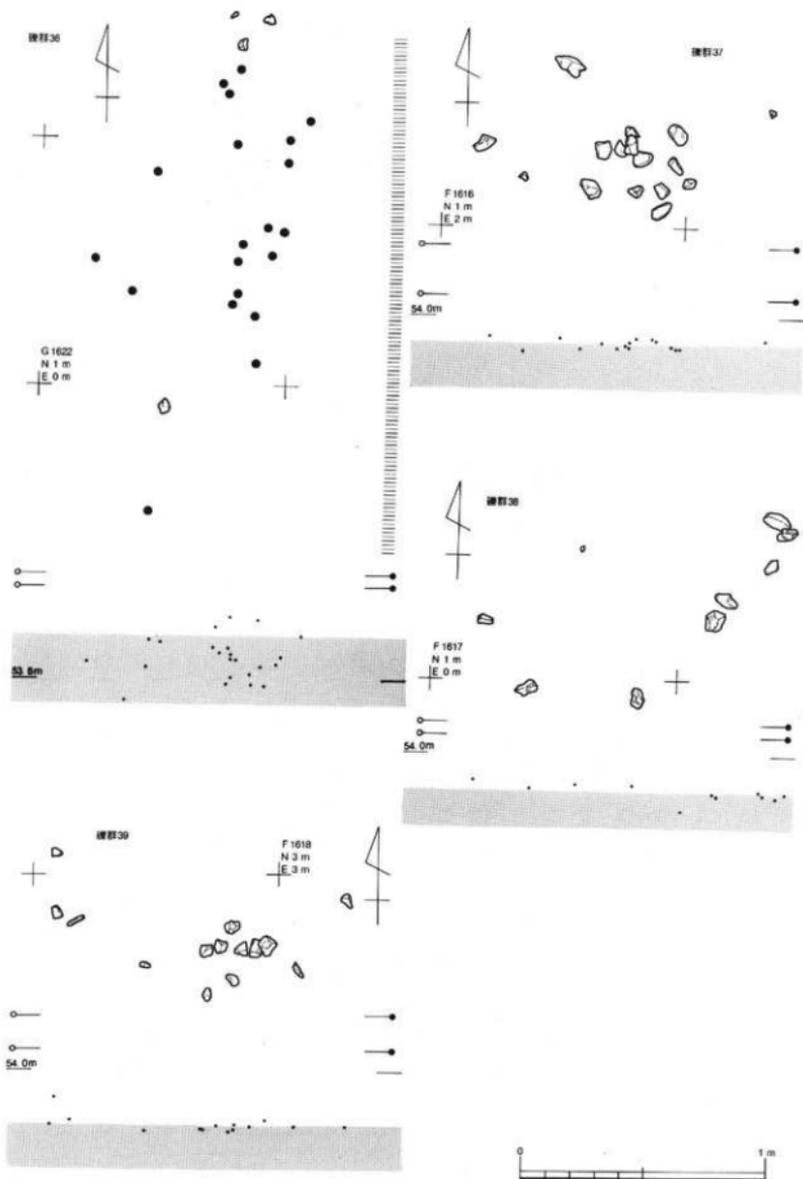


图 63 礫群 36 ~ 39 礫分布图 (1/20)



図 64 礫群 40 礫分布図 (1/30)

礫ばかりであったため、現場では礫群にしなかったが、構成礫の大小は礫群認定の基準にはならないとの判断から、礫群とした。281×90 cmの範囲に広がっている。礫が集中する場所はなく、散在している。構成礫数は16点で、砂岩が87.5%、あとはチャートである。赤化率は93.8%、破砕率100%、割れ面赤化率87.5%である。総重量は84.5 g、平均重量は5.3 gである。

礫群103 (図65) 微高地上、3 b層から検出した。礫群42と礫群41にはさまれるようにしてある。115×113 cmの範囲に広がっている。中心に配石48があり、その周囲に礫が集中している。そしてその周りに礫が散在している。構成礫数は26点、砂岩が57.1%、あとはチャート、頁岩である。赤化率は67.9%、破砕率88.3%、割れ面赤化率42.9%である。総重量は5960 g、平均重量は212.9 gである。

礫群43 (図66) 2 b層下部～3 a層で検出した。谷に向かう緩斜面にあり、ブロック8と重なる。820×440 cmの広い範囲に広がっている。礫が集中する場所はなく散在している。分布範囲の中央付近に配石56、57を含んでいる。構成礫数は134点、砂岩が79.9%、他はチャートと頁岩である。赤化率82.1%、破砕率97%、割れ面赤化率74.6%である。総重量は4901.2 g、平均重量は36.6 gと小さな礫が主体である。配石を除けば平均重量は17.1 gとなる。

礫群44 (図67) 谷に向かう緩斜面、2 b層下部～3 b層上面付近で検出した。590×500 cmの広い範囲に広がる。礫が集中する場所はなく、散在している。南端に配石53を含んでいる。構成礫数は68点、砂岩が73.5 g、他はチャートと頁岩である。赤化率80.9%、破砕率100%、割れ面赤化率72.1%である。総重量は3198 g、平均重量は47 gである。

以下の礫群89～94では、礫の出土状況から、次の認定方法をとった。現地ではまず、F 18区一帯で、2 b～3 a層で礫が散在して出土した。1つの礫群にしては規模が大きすぎるため、複数の礫群が混在していることを考えたが、現地では、礫群に分解できなかつたため、整理作業での資料操作に期待す

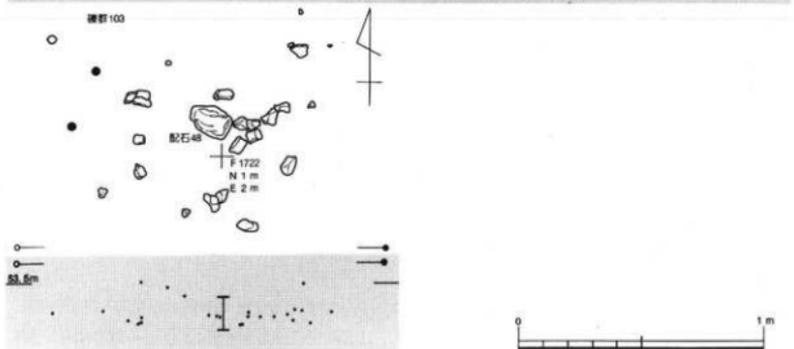
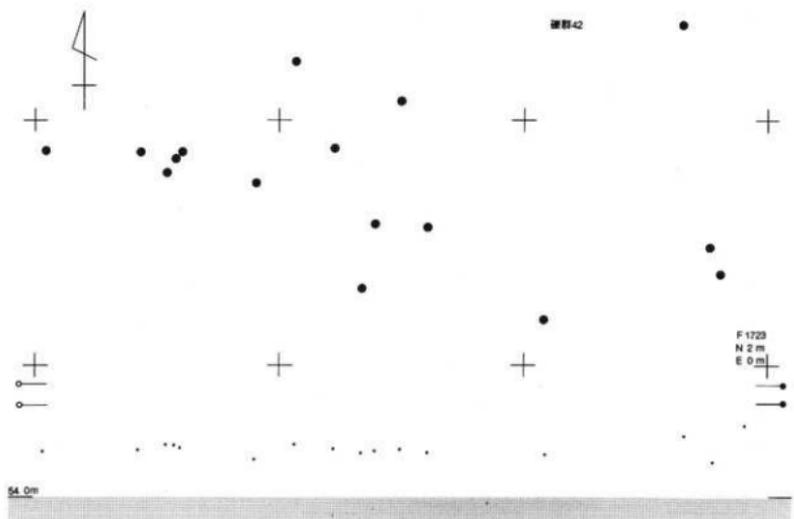
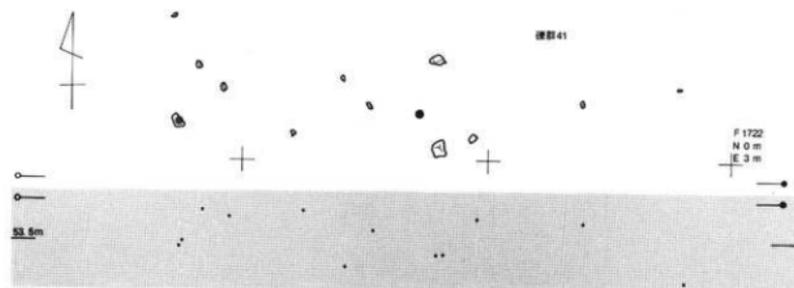


图 65 碑群 41、42、103 碑分布图 (1/20)



図66 礫群43礫分布図 (1/40)

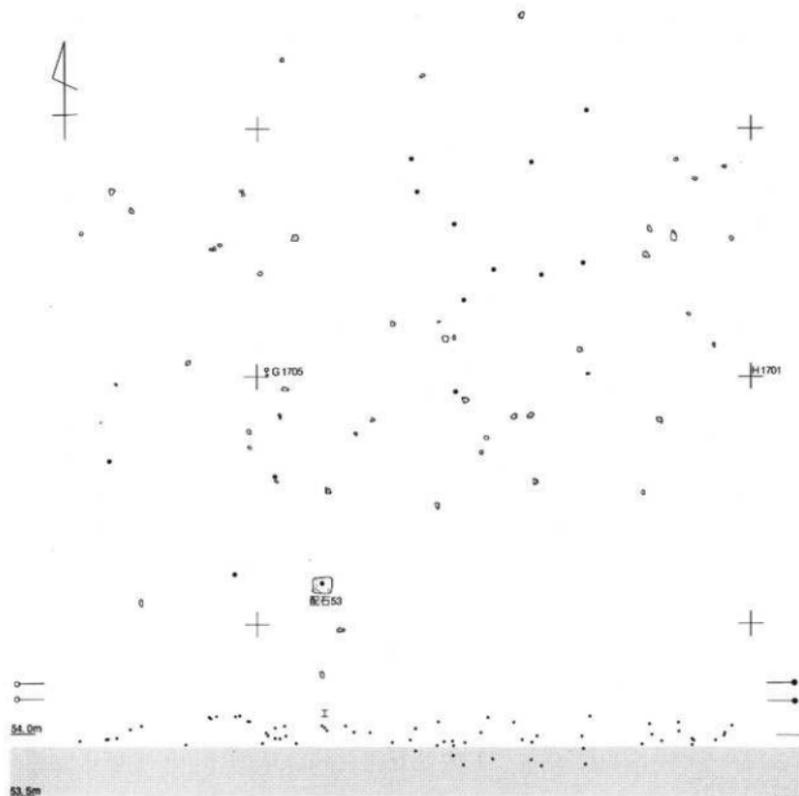


図 67 礫群 44 礫分布図 (1/40)

0 1m

ることとして、それらの礫を取り上げ、3 b層を掘り下げたところ、いくつかの礫の集中部が現れ、礫群 89～94 を認定した。その後の接合作業の結果、F 18 区、2 b～3 a層で出土した礫で、礫群 89～94の構成礫と接合する礫あったため、これらの礫は礫群 89～94の構成礫が浮き上がって、さらに混ざっていると判断できたが、すべての礫を礫群 89～94に分けて帰属させること難しく、特に礫群 89～94と接合しない礫の所属礫群の判定はほとんど不可能であった。そこで、3 b層で確認した礫群 89～94の礫と、その上層で出土した礫のうち、礫群 89～94の礫と接合した礫だけを礫群構成礫とした。

礫群 89 (図 68) 微高地上、礫群 92 に近接して 3 a～3 b層で検出した。90×63 cm の範囲に広がる。数個の礫が散らばるように分布する小規模な礫群である。構成礫数は 7 点、砂岩が 71.4%、あとはチャートである。赤化率 100%、破碎率 85.7%、割れ面赤化率 28.6% である。構成礫数が少ないため、評価しにくい、割れ面赤化率が低い特徴がある。総重量は 160 g、平均重量は 22.6 g と小さな礫からなっ

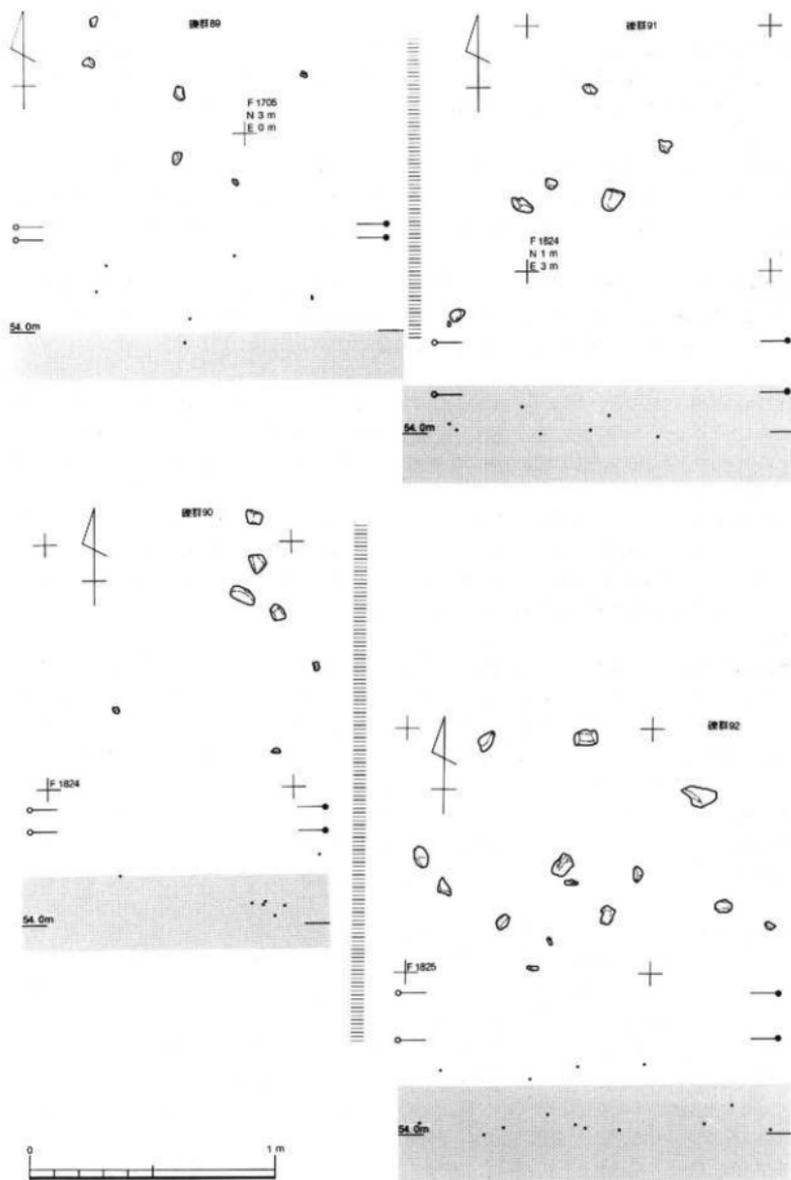


图 68 砾群 89 ~ 92 砾分布图 (1/20)

いる。

礫群90 (図68) 微高地上、3 b層上層で検出した。100×61 cmの範囲に広がる。やや礫が集まった箇所があり、その南西に小さな礫が3つ散在している。構成礫数7点、砂岩が85.7%、あとはチャートである。赤化率85.7%、破砕率100%、割れ面赤化率85.7%である。総重量は806 g、平均重量は115.1 gである。

礫群91 (図68) 微高地上、礫群92に近接して3 b層上層で検出した。115×44 cmの範囲に広がる。致細の礫が散在する小規模な礫群である。構成礫数は7点、砂岩が57.1%、あとはチャート、頁岩、流紋岩である。赤化率85.7%、破砕率100%、割れ面赤化率42.9%である。総重量は771 g、平均重量は110.1 gである。

礫群92 (図68) 微高地上、礫群89、91に近接して3 a～3 b層上層で検出した。143×102 cmの範囲に広がる。礫が集中する場所はなく、散在している。構成礫数14点、砂岩が64.3%、あとはチャートである。赤化率85.7%、破砕率92.9%、割れ面赤化率64.3%である。総重量は2197 g、平均重量は156.9 gである。

礫群94 (図69) 微高地上、3 b層で検出した。礫群93に近接している。やや礫がまとまる場所が2カ所ある。ブロック14と重なる。230×219 cmの範囲に広がる。構成礫数は52点で、砂岩が88.5%、あとはチャートと頁岩である。赤化率は94.2%、破砕率92.3%、割れ面赤化率61.5%である。総重量4823 g、平均重量は92.8 gである。

礫群97 (図70) エリア2の北西部で検出した入り江状の浅谷を望む微高地上、3 a～3 b層で検出した。350×300 cmの範囲に広がる。中心付近にやや礫が集まっている。礫群95、96に近接し、ブロック15と重なる。構成礫数は104点で、砂岩が68.3%、あとはチャートと頁岩、流紋岩である。赤化率87.5%、破砕率90.4%、割れ面赤化率72.1%である。総重量は6339.5 g、平均重量は61.53 gと小さな礫が多い。

礫群98 (図71) エリア2の北西部で検出した入り江状の谷を望む微高地上、3 b層で検出した。当初、現場では4つの礫群に分けられると考えていたが、接合作業の結果、1つの礫群にまとめた。322×257 cmの範囲に広がる。東側に礫が集まる場所があり、西側にまばらに広がっている。構成礫数は79点、砂岩が88.6%、あとはチャートと花崗岩、頁岩である。赤化率91.1%、破砕率88.6%、割れ面赤化率67.1%である。総重量は6782.3 g、平均重量は85.9 gである。

礫群93 (図72) 微高地上、礫群94に近接して3 b層で検出した。1カ所に礫が密集している。90×53 cmの範囲に広がる。ブロック14と重なる。構成礫数は35点、砂岩が91.4%、他はチャートである。赤化率は100%、破砕率91.4%、割れ面赤化率74.3%である。礫の焼けが進んだ礫群である。総重量は4857 g、平均重量は138.8 gである。

礫群95 (図72) エリア2の北西部で検出した入り江状の谷を望む微高地上、3 b層で検出した。礫群96に隣接している。97×37 cmの範囲に広がる。南西側にやや礫が集まり、南東に散在している。構成礫数は15点、砂岩が86.7%、あとは頁岩である。赤化率100%、破砕率100%、割れ面赤化率は80%である。総重量は1536 g、平均重量は102.4 gである。

礫群96 (図72) エリア2の北西部で検出した入り江状の谷を望む微高地上、3 a～3 b層で検出した。礫群95の北西に隣接している。105×102 cmの範囲に広がる。西側に礫がやや集中し、東側に散在している。構成礫数は30点、すべて砂岩である。赤化率は100%、破砕率66.7%、割れ面赤化率63.3%である。総重量は2791.5 g、平均重量は93 gである。

礫群102 (図72) 微高地上、3 b層上層～中層で検出した。174×144 cmの範囲に広がる。中央付近に礫がまとまるところがあり、その周辺に礫が散在している。構成礫数は30点、砂岩が86.7%、他は

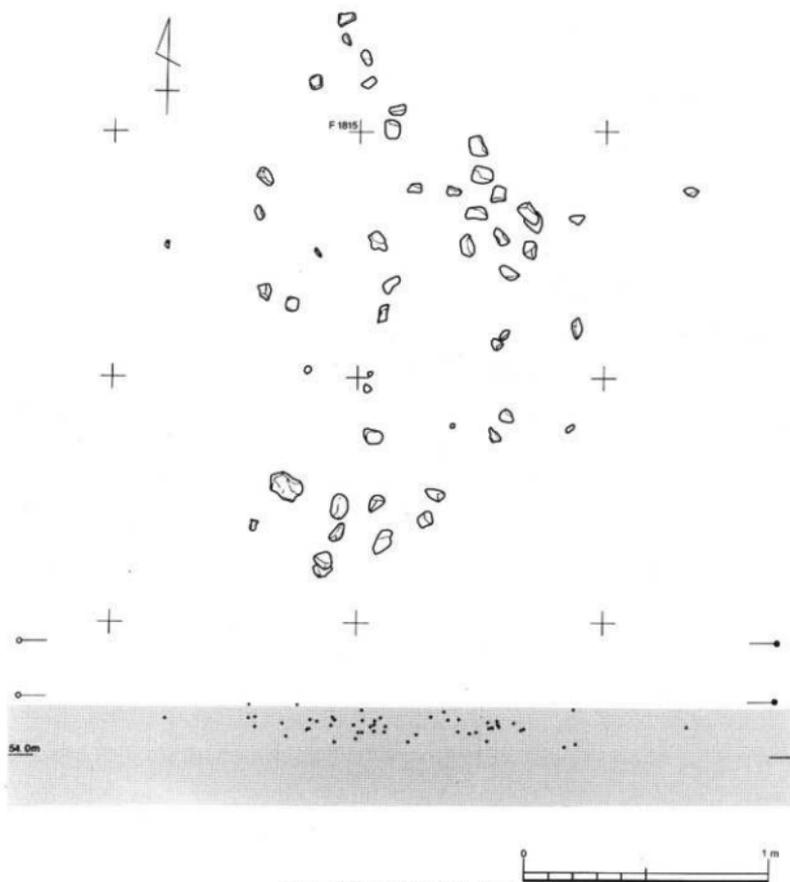


図 69 礫群 94 礫分布図 (1/20)

チャート、頁岩である。赤化率 66.7%、破砕率 80%、割れ面赤化率 16.7%と、割れ面赤化率が低い特徴がある。総重量は 5962 g、平均重量は 212.9 gである。

礫群 104 (図 73) エリア 2 の北西隅で検出した入り江状の浅谷の埋土から出土した。本来は微高地の際にあった礫群が、谷に流れ込んだと思われる。したがって、原位置はまったくとどめていない。流れこみのためか、他の礫群に比べると、出土レベルの上下幅がやや大きい。分布はブロック 16 と重なっている。513 × 463 c m の広い範囲に散在している。構成礫数は 146 点、砂岩が 87%、あとはチャート、頁岩、流紋岩である。赤化率 64.4%、破砕率 100%、割れ面赤化率 54.8%である。総重量は 5074.3 g、平均重量は 34.6 g である。完形礫が 1 点もなく、平均重量も軽い。小さく砕けたような礫ばかりで構成される礫群である。

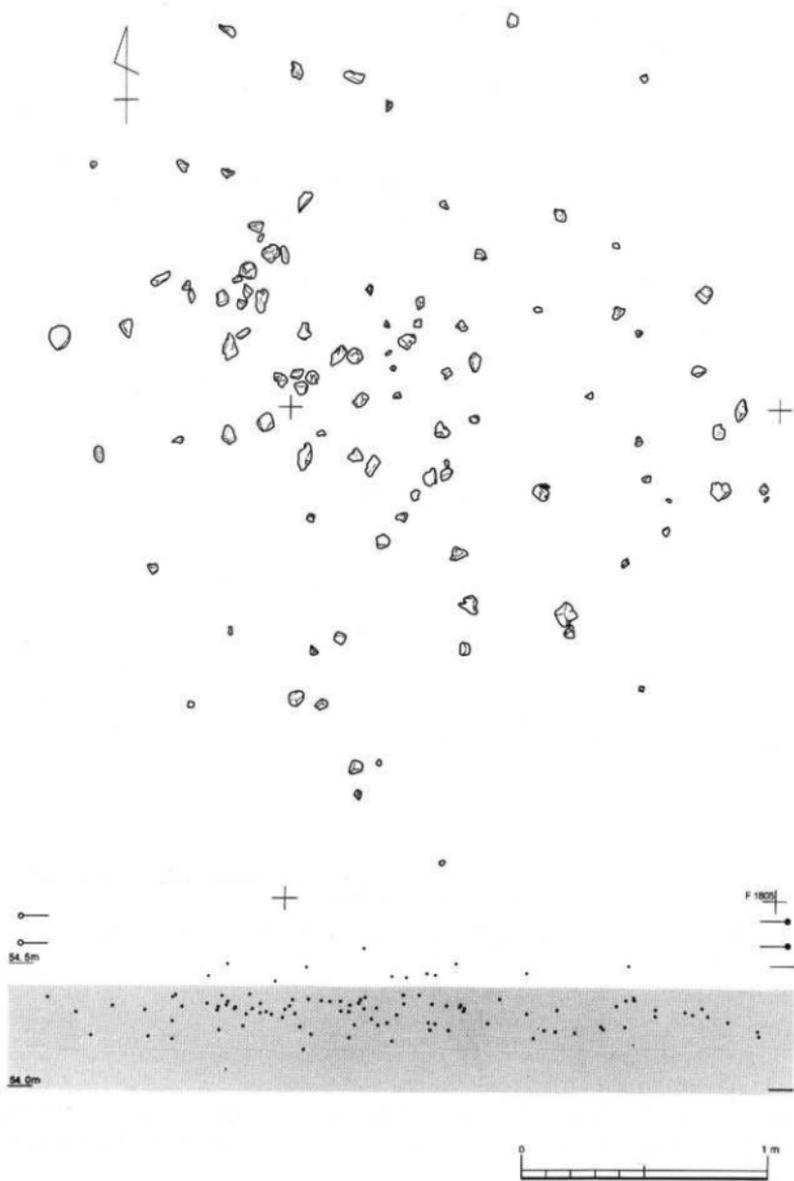


图 70 磔群 97 磔分布图 (1/20)

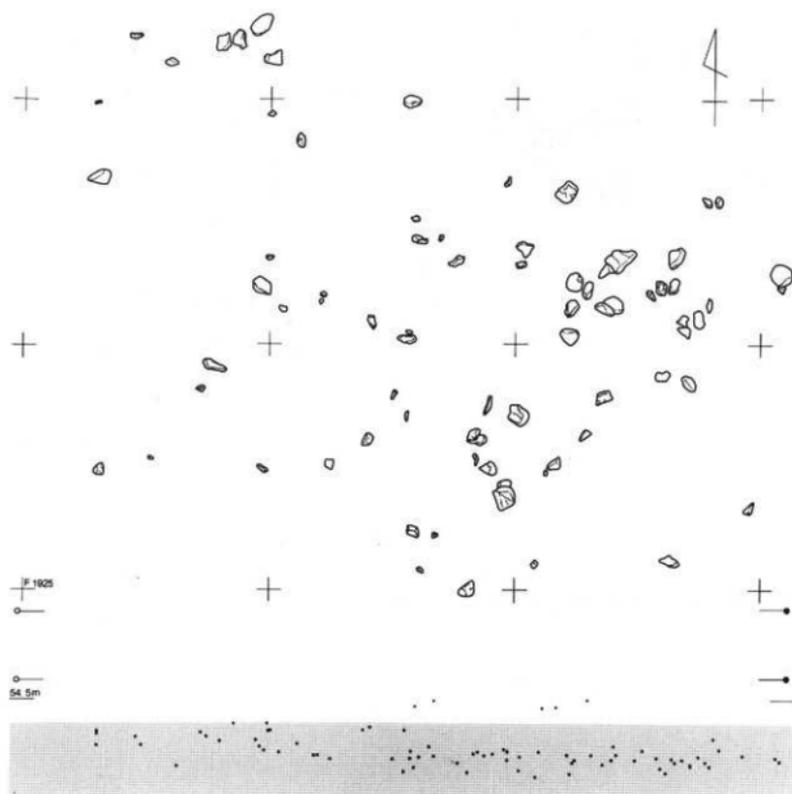


図71 礫群98 礫分布図 (1/20)

3 配石

配石44 (図62) 礫群33に含まれる。重量2230gの砂岩の完形礫で赤化していない。3b層上層から出土している。微高地上で出土している。礫群33の中ではなく、すぐ脇に隣接するため、礫群33とは切り離しても良いが、この配石のすぐ脇で出土した礫が礫群33の構成礫と接合したため、この配石も礫群33に含めた。

配石45 (図62) 礫群33の北東に近接する。重量3260gのチャートの完形礫で赤化していない。3b層上層、微高地上で出土している。礫群33に含まれる可能性もあるが、礫群33とは25cm程の空間を隔てているため、これを根拠に礫群33とは分けた。

配石47 (図62) 礫群35に含まれる。微高地上、3b層上層で出土した。1150gの砂岩の完形礫で、赤化していない。礫群33の礫集中部から東に40cm程はずれた所にあり、周辺には礫が散在している。

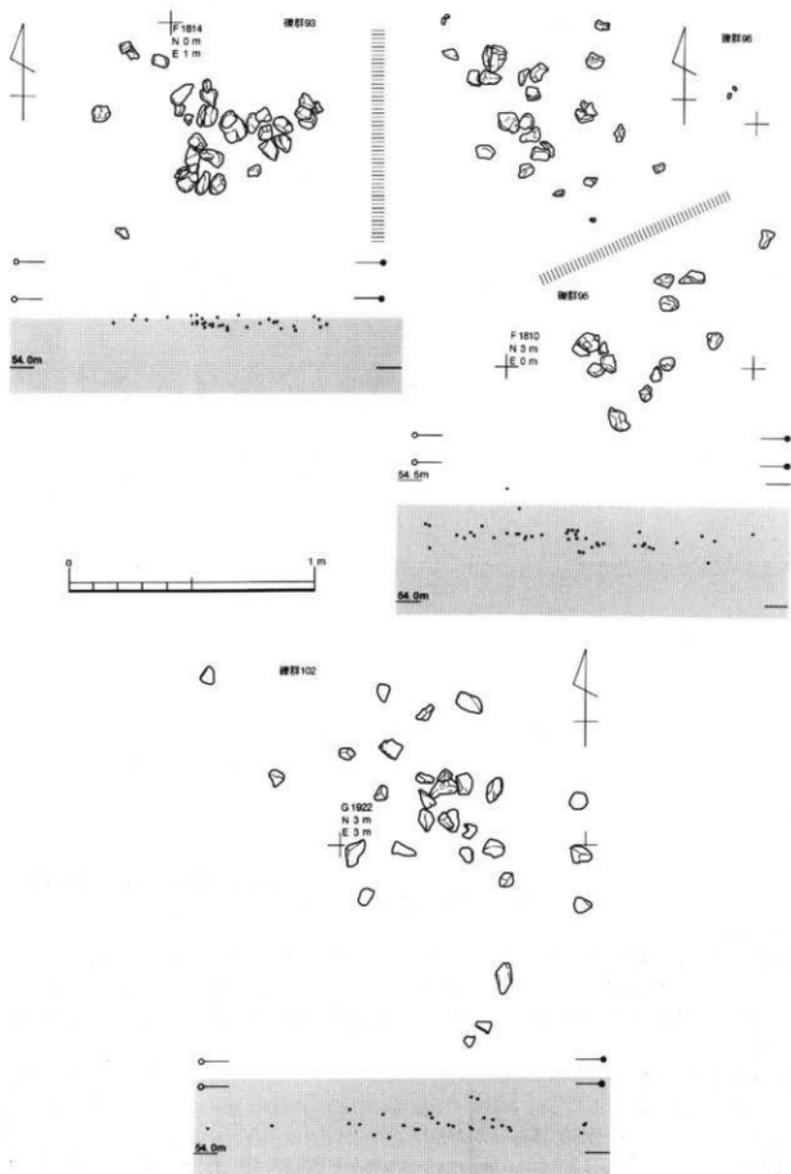


图 72 碑群 93、95、96、102 碑分布图

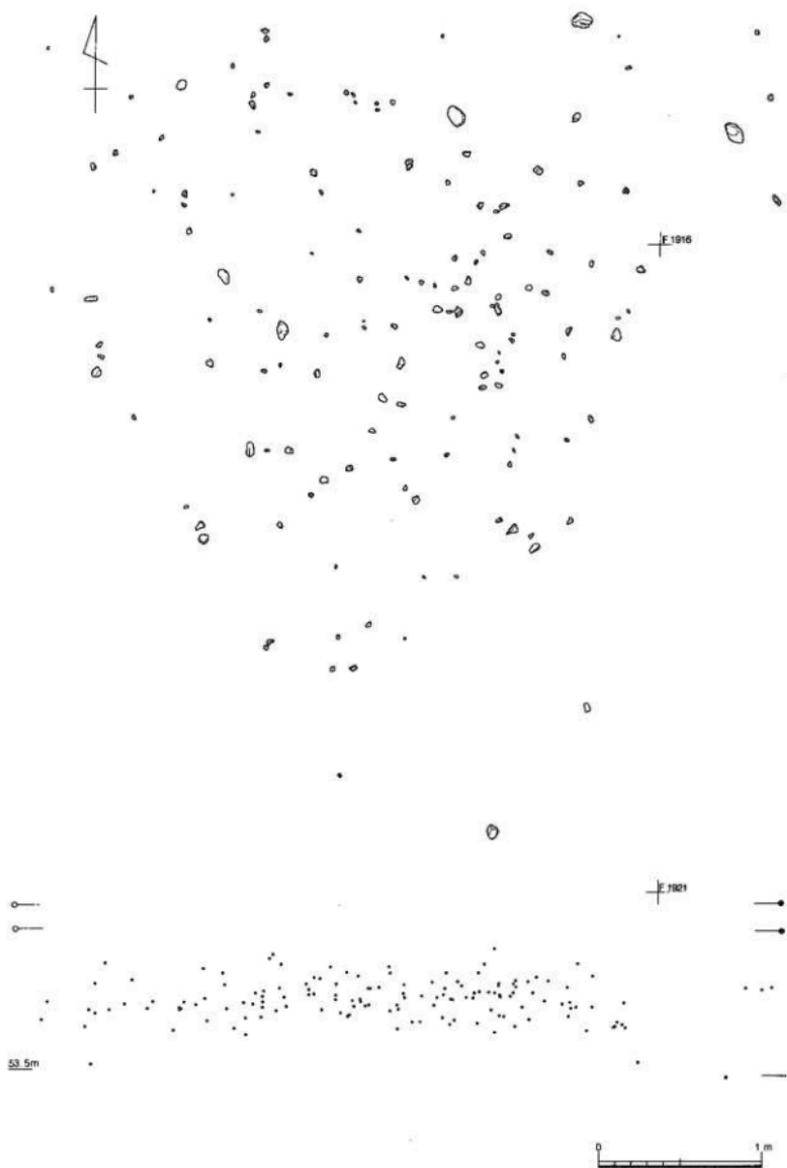


图 73 礁群 104 礁分布图 (1/30)

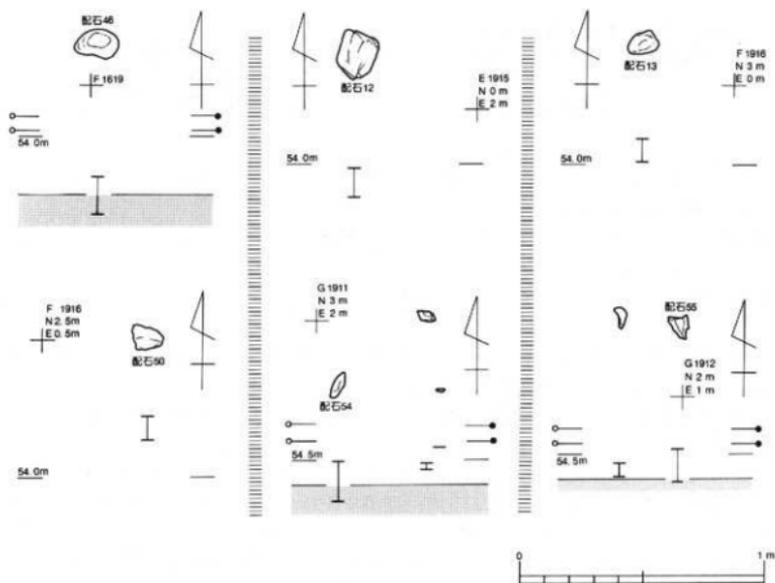


図74 配石実測図3 (1/20)

赤化していない。

配石50 (図74) F 1916区、エリア2の北西隅で検出した入り江状の谷の埋土から出土した。礫群104の北側に隣接しているが、微高地ににあったものが流れ込んだと思われる。1102 gの砂岩の円礫で半分ほどに割れているが、赤化はしていない。また、割れ面に接合する礫もない。

配石54 (図74) G 1911区、3 a層で出土した。配石55とともに遺構、遺物とも少ないところで孤立した状態で出土した。一番近い礫群102まで9 m程ある。2780 gの砂岩の完形礫で赤化していない。細長い円礫でほぼ垂直に立った状態で出土した。周囲に2点の礫を伴っている。

配石55 (図74) G 1912区、3 a層で出土した。配石54とともに遺構、遺物とも少ないところで孤立した状態で出土した。一番近い礫群102まで9 m程ある。1160 gの砂岩の完形礫で、強く赤化している。割れており、割れ面は赤化していない。これも細長い礫で垂直に立った状態で出土した。西側に1点の礫を伴っており、この礫ともう1点の礫がこの配石に接合する。接合する礫は表面は弱く赤化しているが、割れ面は赤化していない。

4 礫の接合状況

エリア2ではほとんどが礫群内での接合にとどまっており、礫群間接合は礫群98と礫群97、礫群91と礫群94、礫群90と礫群91、礫群39と礫群40、礫群41と礫群103といった近接した礫群間でそれぞれ1点づつ接合しただけである (図75)。

礫群89～94付近では割れた礫が多いが、接合はそれほど頻繁ではない (図76)。礫群89～92ではほとんど接合していない。

礫群35はエリア2の中でも比較的、礫群内接合が多い礫群である (図76)。1点、礫群外礫と接合している。これに対して、礫群34では全く接合例が見られない。

表9 エリア2配石の接合確一覽

配石番号	接合機番号	赤化	割れ	割れ面赤化	所属
55		◎	○	×	礫群外礫
	221	△	○	×	礫群外礫

礫群95～97では、礫群95と礫群96の間で1点接合している。礫群97は礫群内接合が比較的多くあり、礫群外礫との接合も3点認められる。

礫群98では、北東の礫が密集している所で礫群内接合が認められる。他では礫群の周辺を含めて接合している礫は少ない。

5 出土石器

1) ブロック5 (図78)

F1617区、微高地上で3 a層から出土した。70×34 cmの範囲に広がる。礫群37、38と重なる。凝灰岩の剥片と砕片からなる小規模なブロックである。接合する資料はない。

個別資料の搬入状況は、凝灰岩を2個体搬入しており、そのうち1個体は単独個体である。

2) ブロック6 (図78)

F1618区、微高地上で3 a～3 b層上面付近から出土した。140×100 cmの範囲に広がる。礫群39、40と重なる。砂岩が主体という特徴がある。使用痕のある剥片が1点と単独個体の石核が1点ある以外は、剥片と砕片だけからなるブロックである。

個別資料の搬入状況は次の通りである。9個体を識別し、その内訳は次の通りである。チャートは1個体、単独個体で、完成品での搬入である。砂岩は5個体で、うち2個体が単独個体である。シルト岩1は2個体である。いずれも単独個体である。凝灰岩は1個体である。

石核 (図79)

チャート製で、打面転移を繰り返しながら不定形の剥片をとっており、一部では打面と作業面を交互に入れ替える技術も見られる。

3) ブロック7 (図80)

F1601区、微高地上、3 a層上面直下付近で出土した。一部が礫群41、103と重なる。108×40 cmの範囲に広がる。剥片と砕片だけが散在するブロックである。

個別資料の搬入状況は次の通りである。10個体を識別し、その内訳は、チャートが4個体で、いずれも単独個体である。砂岩は1個体で、単独個体である。シルト岩1は3個体で、いずれも単独個体である。凝灰岩は2個体でいずれも単独個体である。このように、単独で搬入された資料が主体となるブロックである。

4) ブロック8 (図80)

H1716区、谷に向かう緩斜面で、谷に近い所で出土した。出土層は、3 a層下層～3 b層上層である。164×80 cmの範囲で、南北に細長く分布する。遺物が密集する場所はない。石核と剥片、砕片からなるブロックである。

個別資料の搬入状況次の通りである。13個体を識別しその内訳は、砂岩が1個体で、単独個体である。シルト岩1は6個体で、うち5個体が単独個体で、そのうち1個体は石核での搬入である。石核が単独個体で搬入されていることから、このブロックでは、この石核から剥片剥離作業を行ったブロックではない。凝灰岩は6個体で、うち3個体が単独個体である。

石核 (図81)

シルト岩製で、上設の調整打面から幅広の縦長剥片をとっている。作業面は1面で、その両側面には

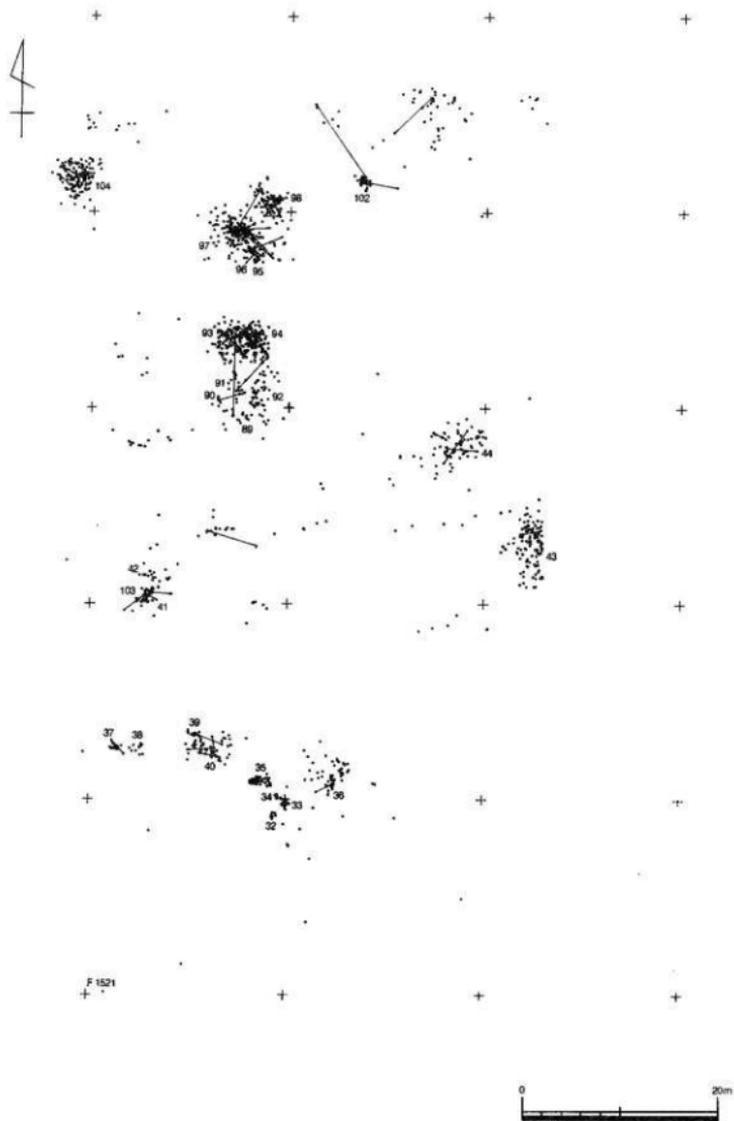
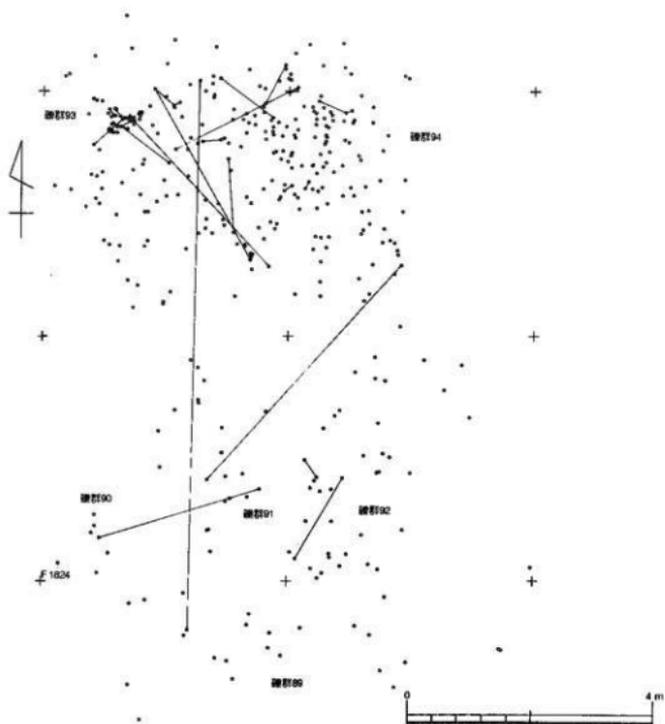


図75 エリア2 礫接合状況 (1/500、数字は礫群番号)



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

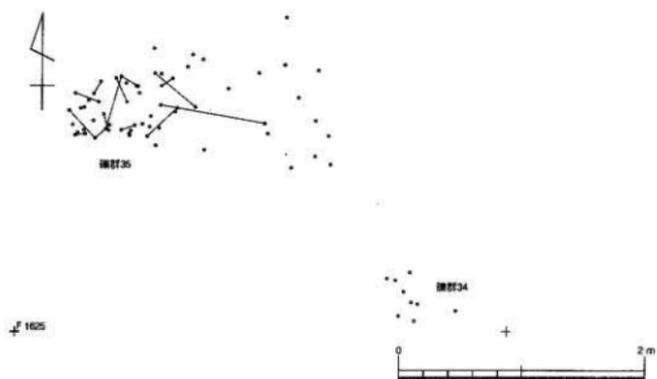
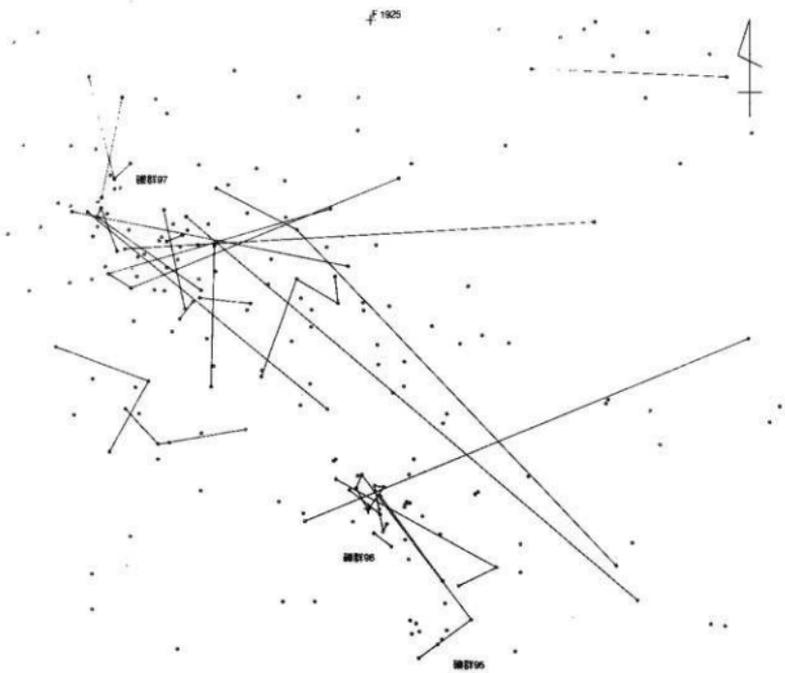


图 76 F1824、F1625 区付近隣接合状況 (上 1/80、下 1/40)



0 0.4 0.8 1.2 1.6 2.0 2.4 2.8 3.2 3.6 4.0 4.4 4.8 5.2 5.6 6.0 6.4 6.8 7.2 7.6 8.0 8.4 8.8 9.2 9.6 10.0



图 77 F1805、F1925 区附近衔接状况 (1/40)

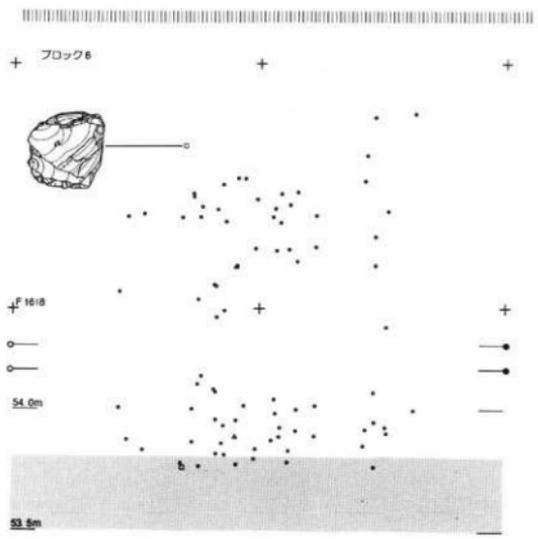
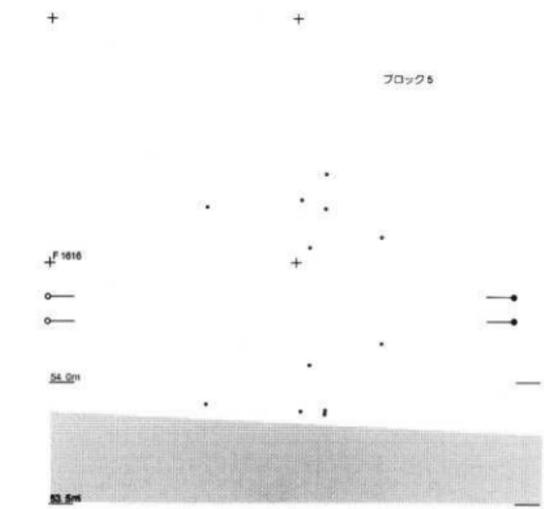


図 78 ブロック 5、6 石器分布図 (1/80)

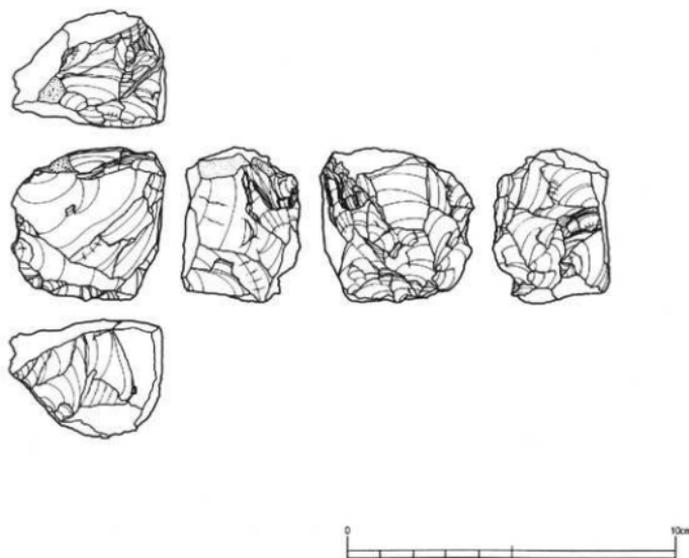


図79 ブロック6出土石器(2/3)

石核整形の剥離が見られる。若干赤く変色した部分があることから、熱を受けているかもしれない。

5) ブロック9 (図80)

G 1913、G 1914区で、3 a層～3 b層上面で検出した。微高地の東端で、エリア3との境界になっている谷を望んでいる。67×33 cmの範囲、南北に細長く広がる。遺物が集中する場所はない。砂岩が主体となるブロックである。石核と剥片、碎片からなるブロックで、石核は単独個体であるため、この石核を使用した作業は行っていない。

個別別資料の搬入状況は次の通りである。3個体を識別し、その内訳は、黒曜石が1個体で、完成品で搬入した単独資料である。流紋岩は1個体で単独個体である。砂岩は1個体である。

石核 (図82)

良質の黒曜石製である。丁寧に調整した上設打面から縦長剥片をとっている。そのために下方向に向かって尻すほみになるような形態である。作業面は正面の1面で、正面裏側には石核の整形の剥離がある。下設打面ははっきりとは作り出していないが、下から縦長剥片をとった剥離も認められる。正面には石核の素材面が残っており、石核の厚みも十分なことから、まだ数枚の縦長剥片がとれる状態である。

6) ブロック14 (図83)

F 1819区で検出した。微高地上で、出土層は3 a～3 b層である。遺物の出土レベル差が50 cmとやや大きいのが、50 cmのレベル差があっても接合する例があることから、これも1つのブロックとした。礫群93、94と重なる。遺物が集中する場所はなく、152×146 cmの範囲に散在している。凝灰岩が主体のブロックで、完成品としては、ナイフ形石器以外は加工痕のある剥片と使用痕のある剥片がある。

個別別資料の搬入状況は次の通りである。19個体を識別し、内訳は、安山岩が1個体で、単独個体、完成品での搬入である。チャートは4個体で、うち1個体が単独個体、石核での搬入である。黒曜石は

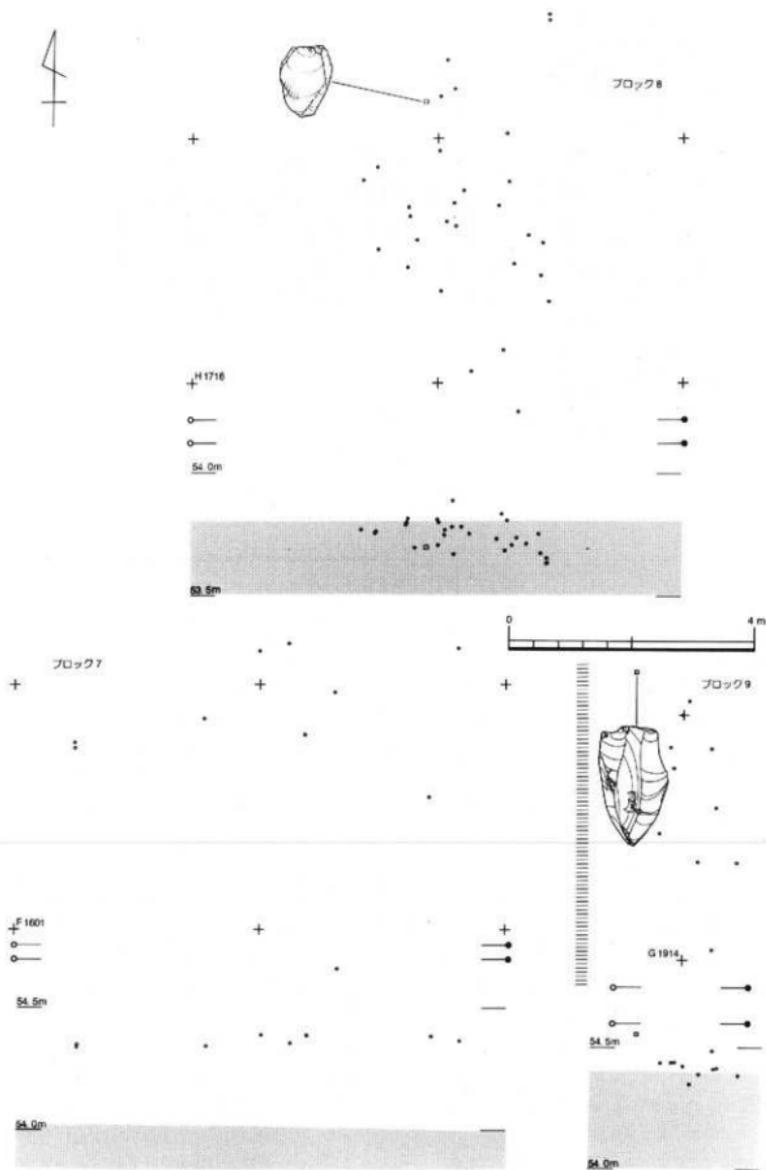


図80 ブロック7～9石器分布図 (1/80)

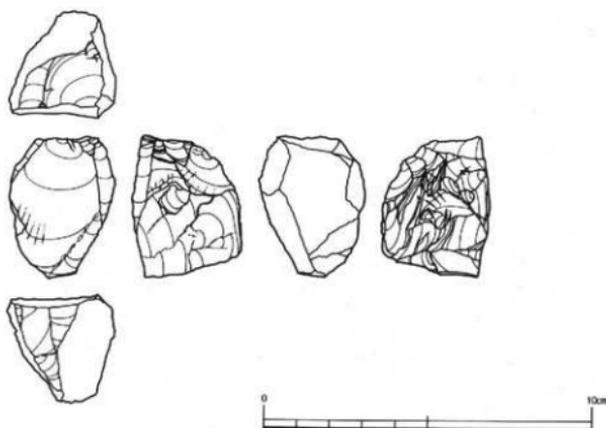


図81 ブロック8出土石器 (2/3)

1個体で単独個体である。砂岩は2個体で、2個体とも単独個体、完成品での搬入である。シルト岩1は2個体で、2個体とも単独個体、ともに完成品での搬入である。凝灰岩は9個体、うち4個体が単独個体である。石核がチャートの単独個体1点のみなので、このブロックで剥片剥離作業を行った石核は搬出したことになる。

ナイフ形石器 (図85-1)

安山岩製である。この安山岩はサヌカイト様の漆黒の安山岩ではなく、青灰色で、油を塗ったようなガラス光沢がある。ガラス質安山岩と言った方が良いかもしれない。遺跡周辺で採集できる石材ではなく、遠方から搬入した石材と考えられる。縦長剥片の打面を上にして一側縁に主剥離面側から加工して刃部を左側に行っている。半分ほどを欠損しているため、上下逆になるかもしれない。

加工痕のある剥片 (図85-2)

砂岩の縦長剥片の正面左側縁に連続した剥離がある。素材剥片には円礫の自然面が大きく残っている。

使用痕のある剥片 (図85-3、4)

3は、シルト岩の縦長剥片の正面左側縁に小さな剥離が不連続にある。4は、砂岩の縦長剥片の主剥離面側の右側縁に不連続な剥離がある。加工痕の可能性もある。打面を欠損しているが、古い欠損である。石核 (図85-5)

チャート製で、打面と作業面を交互に入れ替えながら不定形の剥片をとっているように見えるが、裏側の剥離は石核の整形と打面調整で、作業面は正面の1面である。両設打面から幅広い剥片をとっている。

7) ブロック15 (図84)

F1804区を中心として、165×141cmの範囲で3a～3b層から出土した。主体は3b層上層にある。石器の分布は特に密集する場所はなく、散在している。完成品は、スクレイパーの他には加工痕のある剥片と使用痕のある剥片からなる。石核がないブロックで、剥片を剥離作業をした後に搬出したのであろう。このブロックは礫群95～97と重なっている。

個体別資料の搬入状況は次の通りである。個体は11個体識別した。内訳は、チャートが3個体で、3個体とも単独個体で、うち1個体は完成品での搬入である。黒曜石は1個体、シルト岩1は4個体で、

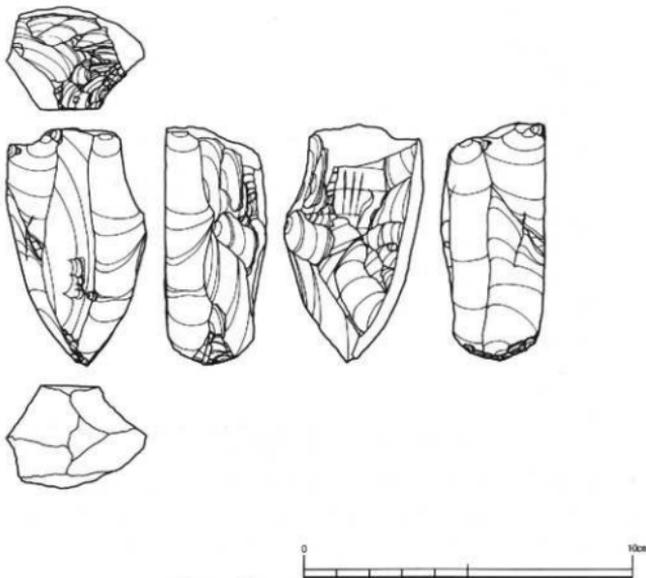


図82 ブロック9出土石器 (2/3)

うち3個体は単独個体で、そのうち2個体は完成品での搬入である。凝灰岩は2個体で、うち1個体が単独個体である。

スクレイパー (図85-6~8)

6はチャートの厚い剥片の全周に急角度の加工をしている。円形搔器と呼んで良い。素材剥片の主剥離面側にも平坦剥離が入っている。7は、シルト岩の丸い剥片の末端から正面右側縁にかけてに急角度の加工をして刃部を作っている。8は、黒曜石の縦長剥片の正面右側縁に主剥離面側から加工している。上下を欠損している。

加工痕のある剥片 (図85-9、10)

9は、凝灰岩の縦長剥片のほぼ全周に細かい剥離がある。加工は、主として素材剥片の主剥離面側からやっているが、一部、先行剥離面側からやっている部分もある。10は、黒曜石の縦長剥片の正面右側縁に主剥離面側から加工している。打面付近を欠損している。

使用痕のある剥片 (図85-11)

11は、黒曜石製で、幅広い小型剥片を使用している。末端付近に細かい剥離がある。

8) ブロック16 (図86)

E1925区を中心にして出土したブロックで、エリア2の北西で検出した入り江状の谷の埋土から出土した。微高地の上にあったブロックが流れ込んだのであろう。石器が密集する場所はなく、散在している。シルト岩1が主体となるブロックである。

個体別資料の搬入状況は次の通りである。13個体を識別した。内訳は、チャートが1個体で、単独個体、黒曜石が1個体、単独個体で完成品での搬入である。砂岩は1個体で、単独個体、シルト岩1は8個体で、すべて単独個体、うち3個体が完成品での搬入である。シルト岩2は1個体で、単独個体、完

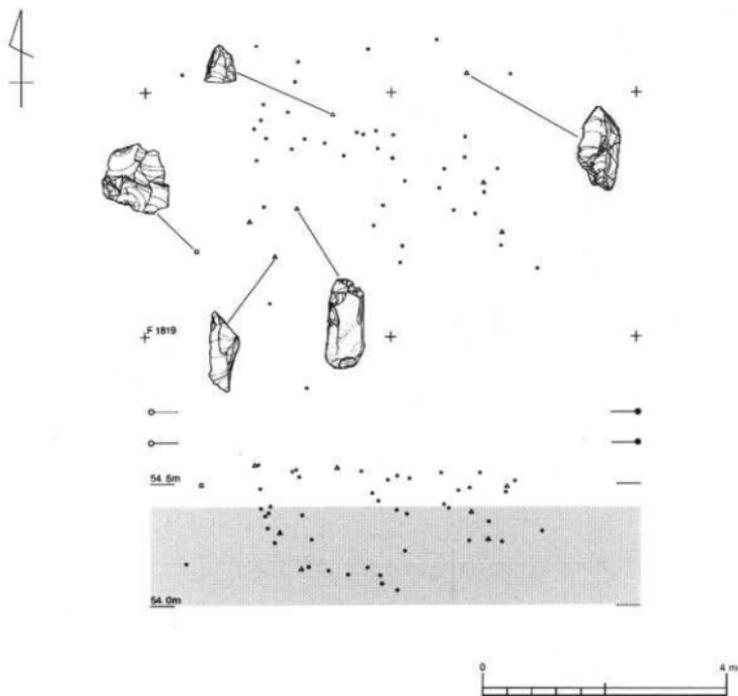


図83 ブロック14石器分布図(1/80)

成品での搬入である。凝灰岩は1個体で、単独個体である。ほとんどが単独個体という特徴のあるブロックである。

ナイフ形石器(図87-1)

シルト岩の縦長剥片の打面を下にして、正面左の側縁を主剥離面側から加工して刃部を右側にしてある。素材剥片の打面は残っており、高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡では数少ない例である。

使用痕のある剥片(図87-2)

黒曜石の縦長剥片の正面右側に小さな剥離がある。素材剥片の打面付近を欠損している。

石核(図87-3)

シルト岩製で、丁寧に調整した打面から縦長剥片をとっている。作業面は正面の1面であるが、打面にも縦長剥片をとった跡があり、この面も作業面であるかもしれない。一部の円縁の自然面が残っている。作業面では階段状剥離が目立つ。

9) ブロック外出土石器

尖頭器(図88-1)

G1922区、3a層出土である。シルト岩製で、左右がやや非対称形だが、両面を丁寧に加工してある。先端をわずかに欠損し、下部も半分近くを欠損している。

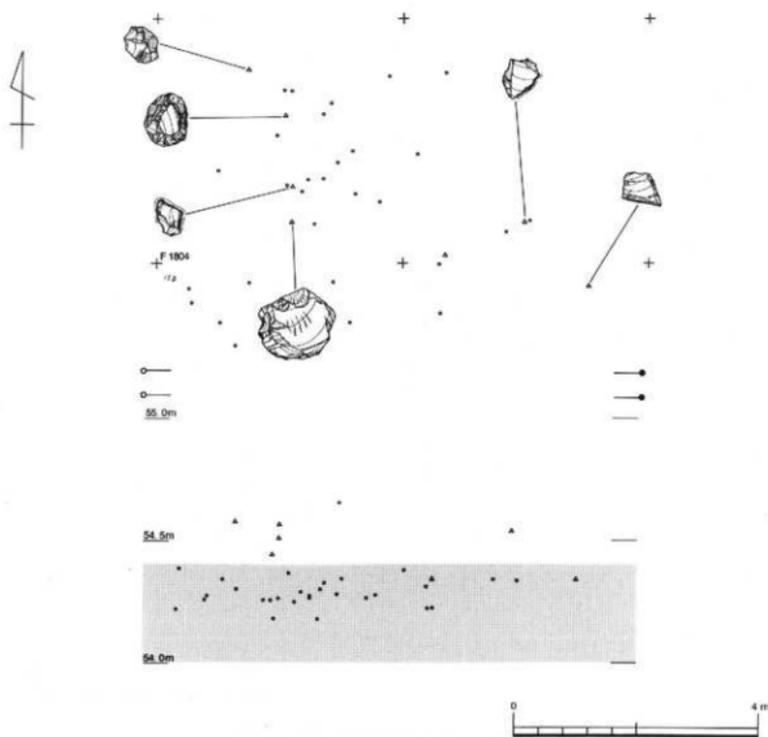


図84 ブロック15石器分布図(1/80)

ナイフ形石器(図88-2、3)

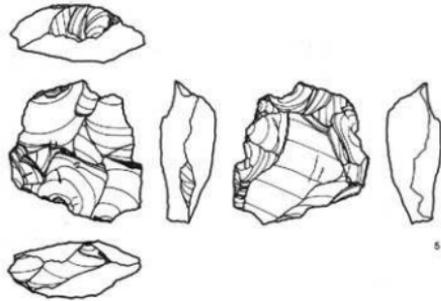
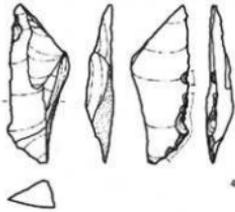
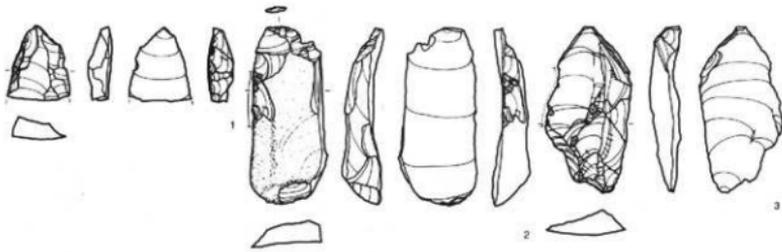
2はH1606区、3a層出土である。黒曜石の縦長剥片の打面を上にして、打面から正面右側縁の半分ほどを、主剥離面側から刃潰しをしている。下面にも刃潰し状の急角度の加工がある。3はG1502区、3a層出土である。シルト岩の幅広の縦長剥片の正面左側一側縁を先行剥離面側から加工している。素材剥片の打面側を欠損している。

スクレイパー(図88-4、5)

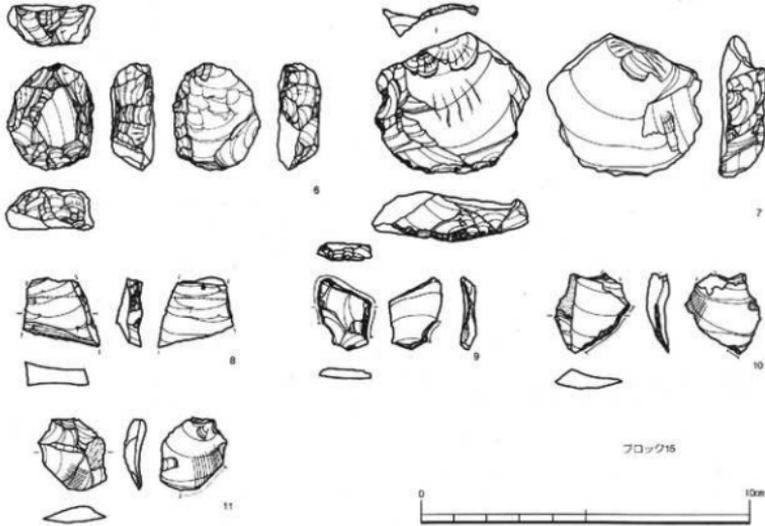
4はF1708区、3a層出土である。シルト岩の縦長剥片の末端に急角度の加工をして刃部を作っている。素材剥片の打面側を欠損している。先行剥離面側に自然面を残している。主剥離面側にも若干の平坦剥離が不規則にある。調整剥離にしては不規則で、使用に伴う剥離であろうか。5はE1915区、エリア2の北西隅で検出した入り江状の谷の埋土から出土した。シルト岩の大型の縦長剥片の正面右側縁を加工して刃部を作っている。先行剥離面側は自然面が少し残る。

加工痕のある剥片(図88-6~8)

6はG1622区、3a層出土である。シルト岩の幅広の剥片の正面左側縁に先行剥離面側から加工してある。また、正面右側縁の一部に小さな剥離が連続してある。剥離が連続しているので2次加工としたが、これは使用痕の可能性もある。7はG1622区、3a層出土である。チャートの幅広の縦長剥片の両



ブロック14



ブロック15



図85 ブロック14、15出土石器 (2/3)

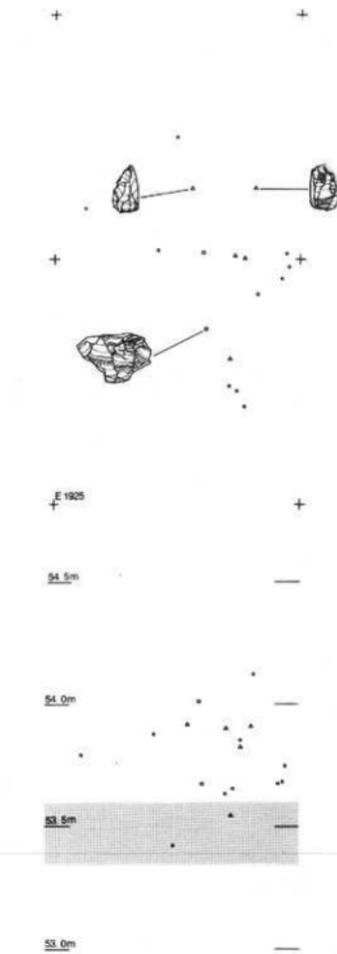


図86 ブロック16石器分布図 (1/80)

シルト岩1が主体となるブロックはE 1625区付近のブロック16とH 1716区付近のブロック8だけである。あとはブロック外に散在している。さらに、このエリアではシルト岩1で44個体を識別したが、そのうち41個体が単独個体である。ブロック内を含めても単独個体がほとんどという特異な状況を示している。その代わりにこのエリアでは砂岩と凝灰岩を主体とするブロックが多くなっている。こうした状況は、この辺をエリア2として区分した根拠の1つである。砂岩と凝灰岩の分布を見るとそれぞれの分布が

側縁に剥離がある。8はF 1806区、3 a層出土である。シルト岩の幅広の厚みのある大型剥片の末端の一部と主剥離面の右側縁の下側に加工がある。

使用痕のある剥片 (図89-1~6)

1はG 1919区、3 a層出土である。シルト岩の縦長剥片の正面左側縁に微細な剥離がある。2はG 1705区、3 a層出土である。シルト岩の縦長剥片の両側縁に微細な剥離がある。下側を半分近く欠損している。3はF 1914区、3 b層出土である。シルト岩の縦長剥片の正面右側縁に微細な剥離がある。4はG 1710区、3層出土である。チャートの幅広の縦長剥片の正面左側縁に細かい剥離があり、刃こぼれのようにになっている。打面側半分近くを欠損している。5はH 1712区、3 a層出土である。シルト岩の縦長剥片の両側縁の一部に細かい剥離がある。6はG 1501区、3 a層出土である。チャートの縦長剥片の両側縁に細かい剥離がある。

石核 (図89-7、図90)

図89-7はF 1625区、3 a層出土である。シルト岩製で、正面と裏側、下面の3面で幅広の縦長剥片をとっている。下面に円礫の自然面を残している。

図90-1はF 1611区、3 a層出土である。シルト岩の円礫を半割して打面が山形になるように加工して横長剥片をとっている。打面が山形になるようにしているが、打点付近は自然面である。この石核から剥離した剥片は出土していないが、翼状の剥片が剥離したと思われる。瀬戸内技法との関連を示唆する資料である。2はシルト岩の円礫を素材として、大きく分割した面を平坦打面として、幅広の縦長剥片をとっている。

6 個別資料の分布状況 (図91)

このエリアでは、石材ごとの分布が著しく異なるため、まず、石材ごとの分布を見る (図91)。シルト岩1は高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡を通じてもっとも普遍的に見られる石材で、多くのブロックで主体をなす石材である。しかし、エリア2では図91に示したように、

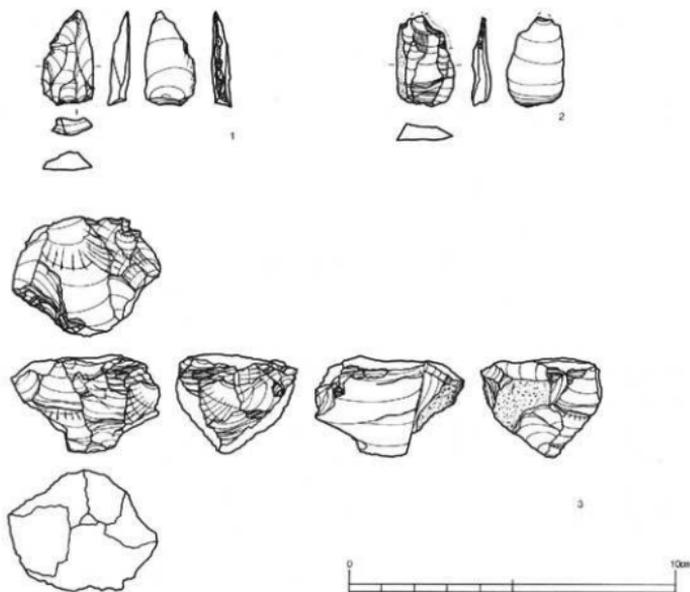


図87 ブロック16出土石器 (2/3)

異なっている。各ブロック単位で見ると互いに排他的な分布を示している。

個体別の分布 (図92) を見ると砂岩 S a 004 は F 1618 区のブロック 6 に集中している。S a 005 は G 1913、1914 区のブロック 9 に集中している。凝灰岩 T u 006、010、017、025 は F 1819 区のブロック 14 と H 1716 区のブロック 8 に分かれて分布している。T u 014 は H 1716 区のブロック 8 に集まっている。T u 020 は F 1804 区のブロック 15 に集中している。黒曜石 O b 004 は F 1804 区のブロック 15 に集中しており、黒曜石は、このエリアではここにもみ分布している。

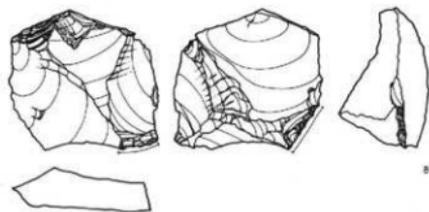
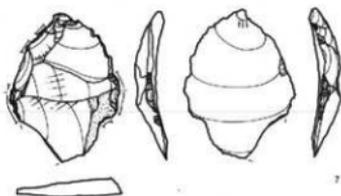
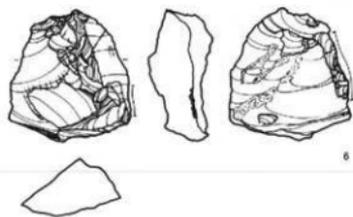
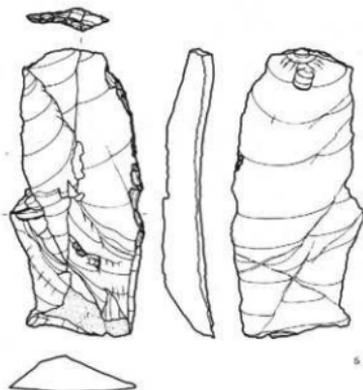
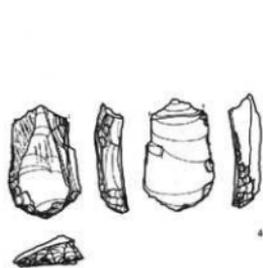
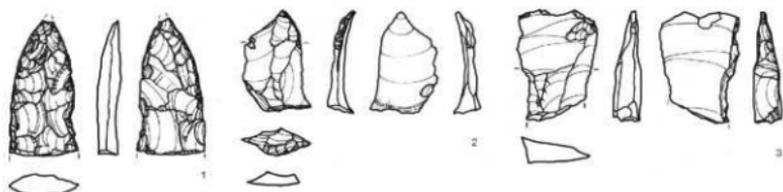


図88 エリア2ブロック外出土石器1 (2/3)

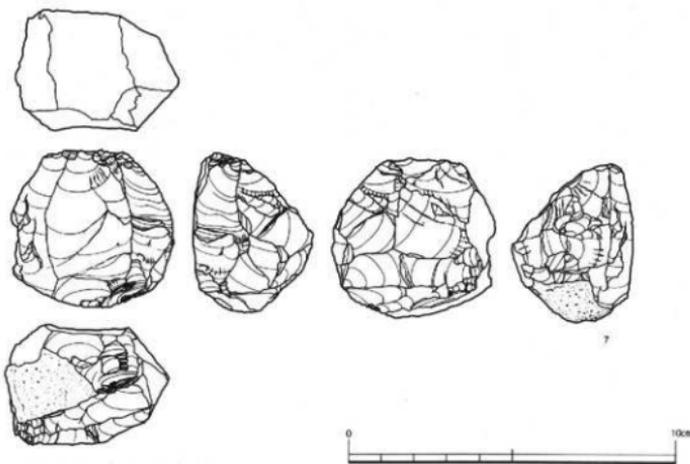
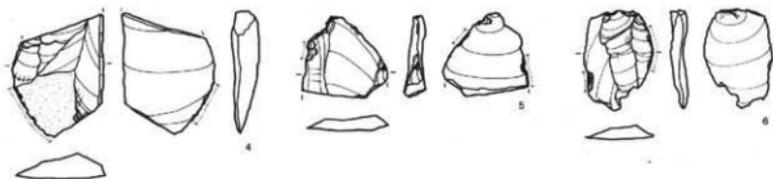
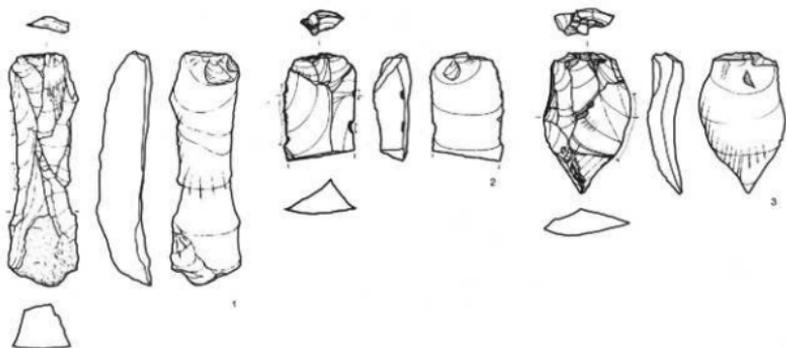


図89 エリア2ブロック外出土石器2 (2/3)

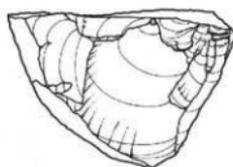
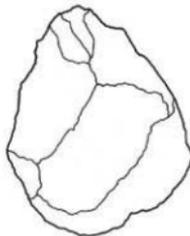
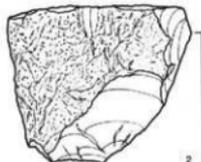
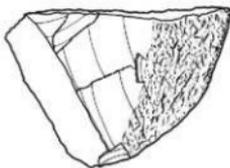
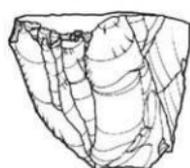
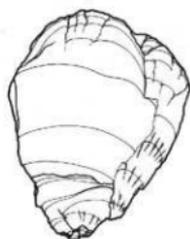
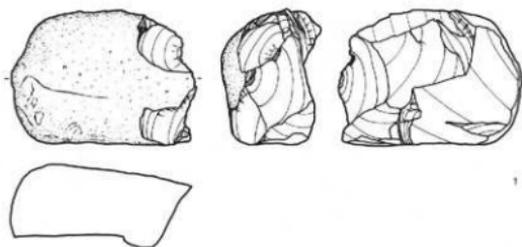


図90 エリア2ブロック外出土石器3 (2/3)

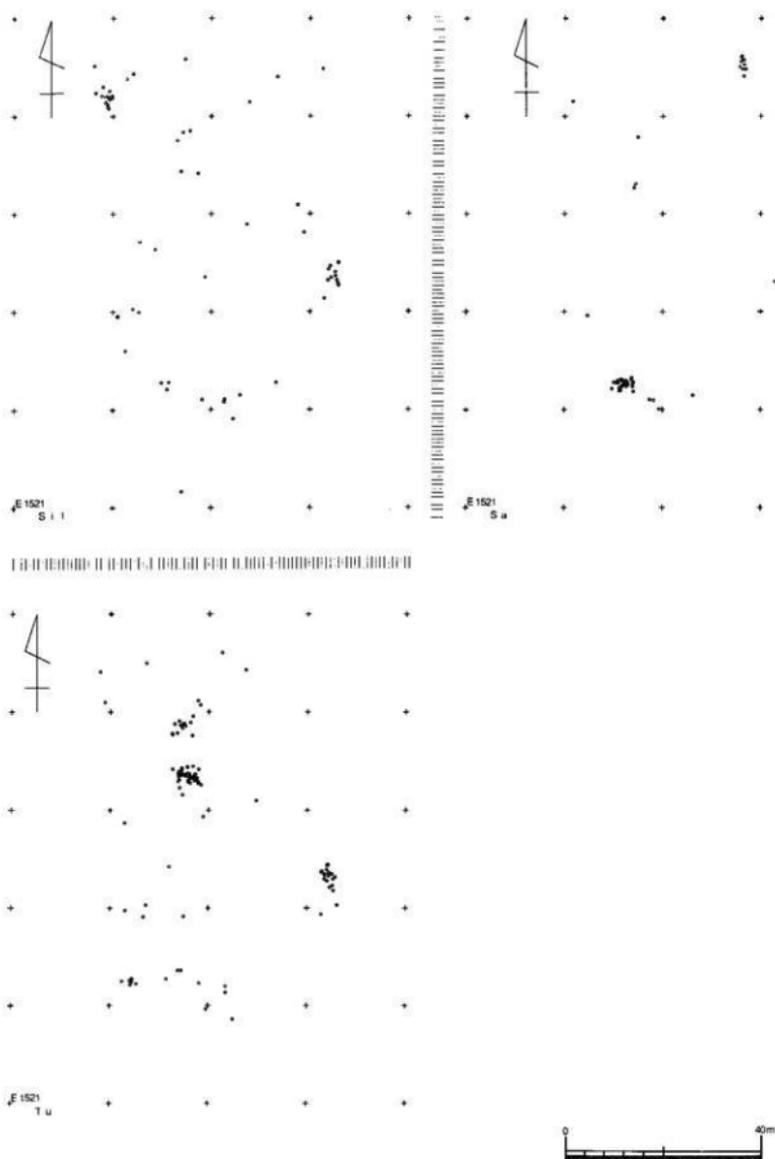


図 91 エリア 2 石材別分布図 (1/1000)

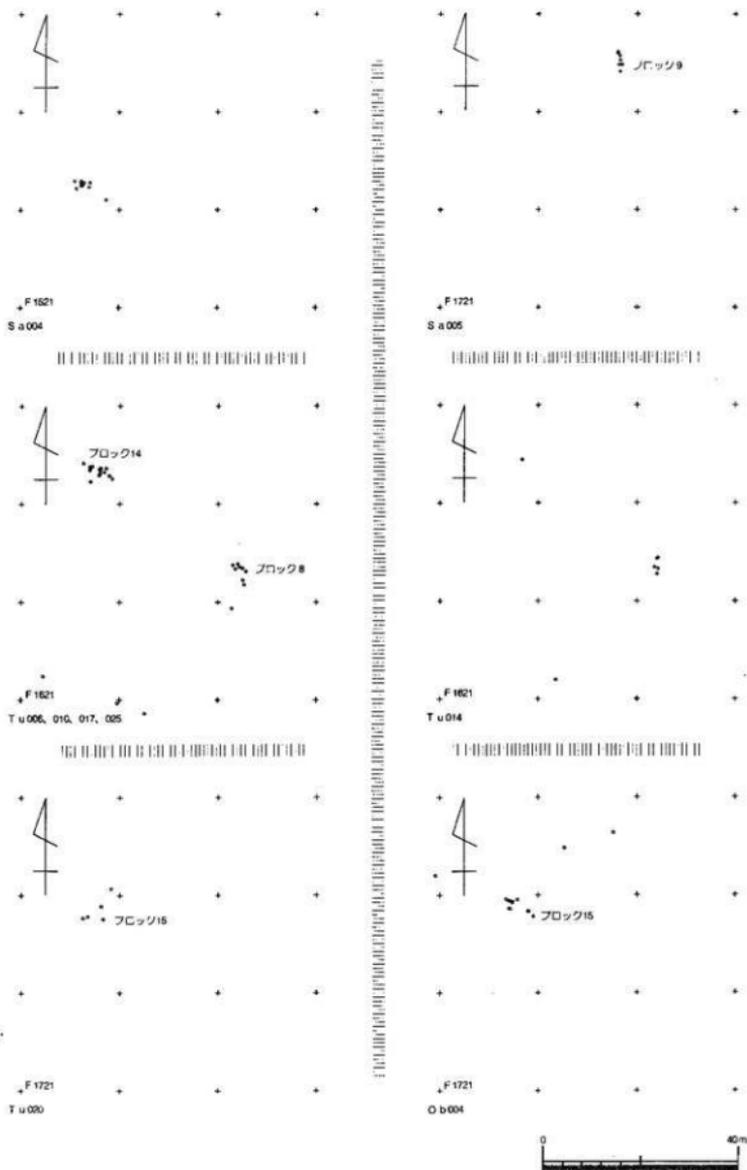


図92 エリア2個体別資料分布図 (1/1000)

表10 エリア2ブロック別石器組成表

ブロック5

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Tu										3	3							6
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	6

ブロック6

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1										2	1							3
Sa								1		18	16							35
Tu										2	1							3
Ch									1									1
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	1	22	18	0	0	0	0	0	0	42

ブロック7

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1										4								4
Sa										1	3							4
Tu										3								3
Ch										3	1							4
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	4	0	0	0	0	0	0	15

ブロック8

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1									1	9	1							11
Sa										1								1
Tu										16	3							19
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	26	4	0	0	0	0	0	0	31

ブロック9

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Sa										8	1							9
Ob									1									1
Rh										1								1
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	1	0	0	0	0	0	0	11

ブロック14

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1								1		1	1							3
Sa								1	1									2
Tu								1	2		27	15						45
Ch										1	3							4
Ob											1							1
An	1																	1
合計	1	0	0	0	0	0	2	4	1	32	16	0	0	0	0	0	0	56

ブロック15

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1			1						1	4	1							7
Sa											1							1
Tu								1		9	4							14
Ch			1							2								3
Ob			1					1	1	8								11
合計	0	3	0	0	0	0	2	2	2	23	6	0	0	0	0	0	0	36

ブロック16

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1	1								1	1	6	1						10
Si2	1																	1
Sa										1								1
Tu										1								1
Ch										1								1
Ob								1										1
合計	2		0	0	0	0	0	2	1	9	1	0	0	0	0	0	0	15

表 11 エリア 2 個体別石器組成表 1

ブロック 5																					
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F1	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域	
Tu010										1										1	ブロック 5, 8, 14
Tu036										2										2	ブロック 5, 14
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
ブロック 6																					
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F1	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域	
Ch019										1										1	ブロック 6
Sa004										9										9	ブロック 6
Sa020										2										2	ブロック 6
Sa022								1		1										2	ブロック 6
Sa052										1										1	ブロック 6
Sa063										1										1	ブロック 6
Sl-S186										1										1	ブロック 6
Sl-S195										1										1	ブロック 6
Tu037										2										2	ブロック 6, 8
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	1	18	0	0	0	0	0	0	0	0	20		
ブロック 7																					
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F1	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域	
Ch003										1										1	ブロック 7, 14
Ch021										1										1	ブロック 7
Ch029										1										1	ブロック 7
Ch030										1										1	ブロック 7
Sa056										1										1	ブロック 7
Sl-S189										1										1	ブロック 7
Sl-S206										1										1	ブロック 7
Sl-S207										1										1	ブロック 7
Tu065										1										1	ブロック 7
Tu070										1										1	ブロック 7
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10		
ブロック 8																					
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F1	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域	
Sa053										1										1	ブロック 8
Sl-S054										3										3	ブロック 8
Sl-S196										1										1	ブロック 8
Sl-S197										1										1	ブロック 8
Sl-S198										1										1	ブロック 8
Sl-S199										1										1	ブロック 8
Sl-S200										1										1	ブロック 8
Tu006										5										5	ブロック 8, 14
Tu010										2										2	ブロック 8, 14, 5
Tu014										5										5	ブロック 8, 14
Tu017										1										1	ブロック 8, 14
Tu037										1										1	ブロック 8, 6
Tu067										1										1	ブロック 8
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23		
ブロック 9																					
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F1	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域	
Oh004										1										1	ブロック 9, 15, 16
Rh006										1										1	ブロック 9
Sa005										6	1									7	ブロック 9
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9		
ブロック 14																					
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F1	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域	
An001										1										1	ブロック 14
Ch003										1										1	ブロック 7, 14
Ch025										1										1	ブロック 14
Ch027										1										1	ブロック 14
Ch028										1										1	ブロック 14
Oh019										1										1	ブロック 14
Sa054										1										1	ブロック 14
Sa055										1										1	ブロック 14
Sl-S202										1										1	ブロック 14
Sl-S208										1										1	ブロック 14
Tu006										4										4	ブロック 8, 14
Tu010										1	4									5	ブロック 8, 14, 5
Tu014										1										1	ブロック 8, 14
Tu017										3										3	ブロック 8, 14
Tu025										4										4	ブロック 14
Tu036										1										1	ブロック 5, 14
Tu038										1										1	ブロック 14
Tu072										1										1	ブロック 14
Tu076										1	2									3	ブロック 14
合計	1	0	0	0	0	0	0	2	4	1	26	0	0	0	0	0	0	0	34		

表 12 エリア2 個体別石器組成表2

ブロック15															合計		分布域			
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域
Ch005										1									1	ブロック15
Ch007										1									1	ブロック15
Ch008		1																	1	ブロック15
Ob004			1																1	ブロック15
Sil-S021								1	1										11	ブロック9, 15, 16
Sil-S071										3									3	ブロック15, 16
Sil-S219			1							1									1	ブロック15
Sil-S221									1										1	ブロック15
Tu020											4								4	ブロック15
Tu040								1											1	ブロック15
Tu041										1									1	ブロック15
合計	0	3	0	0	0	0	0	2	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	26	
ブロック16															合計		分布域			
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域
Ch006										1									1	ブロック16
Ob004									1										1	ブロック9, 15, 16
S0057										1									1	ブロック16
Sil-S021										2									2	ブロック15, 16
Sil-S023										1									1	ブロック16
Sil-S224										1									1	ブロック16
Sil-S225									1										1	ブロック16
Sil-S226		1																	1	ブロック16
Sil-S227										1									1	ブロック16
Sil-S228									1										1	ブロック16
Sil-S230										1									1	ブロック16
Sil-S041		1																	1	ブロック16
Tu074										1									1	ブロック16
合計	2	0	0	0	0	0	0	0	2	1	9	0	0	0	0	0	0	0	14	

第3節 エリア3の遺構と遺物

高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡でもっとも遺物、遺構の多いエリアで、土坑4基、礫群41基、配石109基、炭化物の集中域10カ所以上、ブロック14基を検出している。地形は、エリアの西端で検出した谷と、それを望む微高地からなっている。微高地の東側は調査区外であるが、10mほど微高地が続いた後、台地を二分する大きな開析谷に向かって傾斜が始まる。遺物は微高地上で集中して出土しており、谷に向かう緩斜面でも若干の礫群、ブロックが出土したが、微高地を離れると遺物は激減する。遺物、遺構の分布から見て、遺物、遺構の集中域は今回の調査区内に収まると見られる。遺物は2b層～3b層上層で出土しており、3a層～3b層上面付近がもっとも多い。土坑は谷底に近い所で1基、谷に向かう緩斜面で2基、微高地上で1基の合計4基を検出した。そのうち3基は遺物の集中域から10m以上離れ、周囲に遺物がほとんど分布しない所で検出した。微高地上では、ブロックの周りを囲むように礫群が出土している。また、微高地上の遺物集中域のほぼ全域で炭化物が出土した。なお、東側の調査区外の微高地の続きにも遺物の分布域が広がっている可能性もあり、当初ここを8区として調査区を設定したが、この部分は大きく攪乱が入っており、遺物、遺構は全く残っていない。

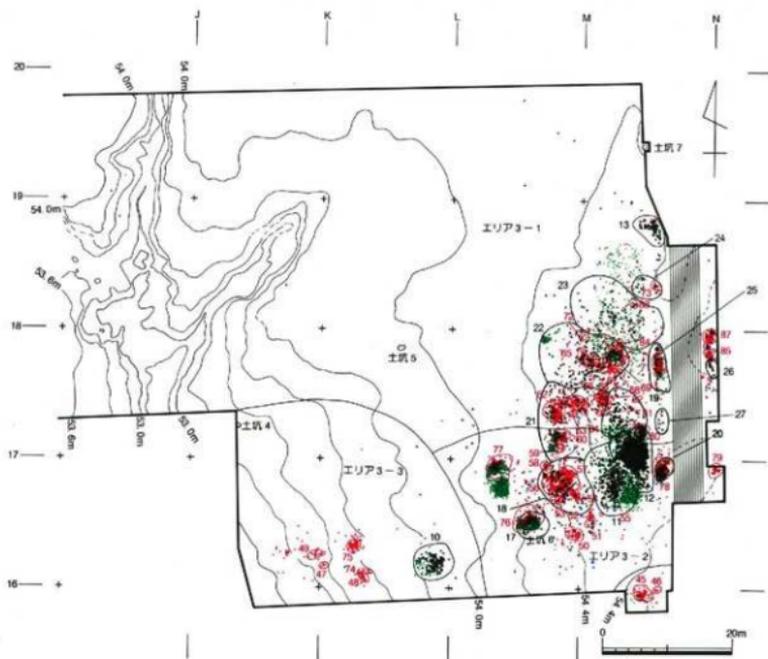


図93 エリア3遺構、遺物分布図 (1/750 スクリーントーンは攪乱)

1 土坑

土坑4 (図94) J 1716区でトレンチにかかって発見したもので、トレンチの断面観察によって、3 b層上面で掘り込み面を確認できるが、確実に視認できるのが3 b層上面で、あるいは、3 a層下層まで上がるかもしれない。3 b層上面で確認できる掘り込み面は標高53.3mである。立地は谷底に近い部分で、周囲では遺物は全く出土していない。一番近い磔群49まで24 mあり、遺物が集中する微高地からは50 m程離れている。平面形は長方形で、復元規模は長辺140 cm、短辺84 cmで、深さは190 cmである。深さは現在のところ、磐田原台地では最深である。非常に硬い鬼盤(5、6層)を掘り抜き、底は、これも硬い基底磔層を50 cm程掘り込んでいる。埋土は自然堆積で、粘質の強弱によって1~5層と6層以下に分けることができる。1~5層は茶灰色土を基本とする土層で、3 a層に似た土層である。6層以下は粘性があり、色は、茶灰色土が脱色したような色になっており、底部には鉄分の沈着が認められる。また、鉄分とわずかに炭化物を含んでいる。これらの状況から、6層以下は水の影響を受けていると考えられる。土坑の中から遺物は出土していない。東西方向の断面形でわかるように、途中で、テラス状の段を作っている。下部を掘るために設けた足掛け用の階段であろうか。

土坑5 (図95) K 1703区で検出した。検出面は3 b層上面、標高54.0 mであるが、さらに上から掘り込んでいる可能性が高い。北西側の一部を攪乱によって失っている。立地は微高地から谷に向かう緩斜面で、周囲で遺物は出土していない。遺物の集中する微高地まで28 mあり、一番近い磔群77まで25 mある。平面形は楕円形で、長径160 cm、短径75 cm、深さ85 cmである。埋土は自然堆積で、2~4層は3 a層に似た層である。6層は鉄分を含んだ灰色の目立つ層で、土坑4、7などにも共通してみられる。本米、茶灰色であった層が水の影響で脱色しているようである。埋土から遺物は出土していない。

土坑6 (図96) L 1614区、磔群76の南脇に近接して検出した。検出面は3 b層上面、標高54.2 mであるが、さらに上から掘り込んでいる可能性が高い。立地は微高地頂部から、20 cm程谷間に下がった緩斜面である。埋土は自然堆積である。磔群76との関係が問題となるが、土坑埋土の中段から磔が出土し、この磔が磔群76の構成磔と接合したことから、まず、土坑が掘られ、それが放棄されて埋没していき途中で磔群76が作られ、その磔が、土坑6の中に落ち込んだと考えられる。したがって、土坑が機能していた時期と磔群76を使用していた時期とは、若干の時間差があることになる。このことから、土坑6は磔群76に隣接して掘ってあるが、この土坑を掘ったときには磔群76はなかったことになり、この土坑も他の土坑と同じく、遺物の分布域からは離れていた可能性がある。なお、埋土から石器は出土していない。

土坑7 (図97) 調査区の東端、M 1913区でトレンチにかかって検出した。トレンチで土坑の断面を確認できるが、掘り込み面は攪乱のため残っていない。3 a層上層か2 b層から掘り込んでいると考えられる。確認できる土坑の上端は標高54.4 mである。立地は微高地の北端で、周囲では遺物は出土していない。一番近いブロック13まで南に11 mある。平面形は円形で、直径は復元値で70 cm、深さは確認できる範囲で70 cmである。土坑内部はオーバーハングになっており、内部をえぐり込んだようになっている部分もある。8層が堆積している部分は大きく壁を掘り込んでいる。埋土は自然堆積で、色と粘質の強弱によって1~5層と6~8層に分けることができる。1~5層は3 a層に似ており、6~8層は脱色して、鉄分が多くなっている。水の影響を受けていると思われる。6層は粘質を帯びた粘質土で、土坑4、5にも共通してみられる埋土である。

土坑内から加工痕のある剥片(図97)が出土している。砂岩の幅広の剥片を使用し、末端に大きさのそろわない剥離が連続している。素材剥片には自然面打面が残りに、また、古い折れ面によって1/3程を失っている。

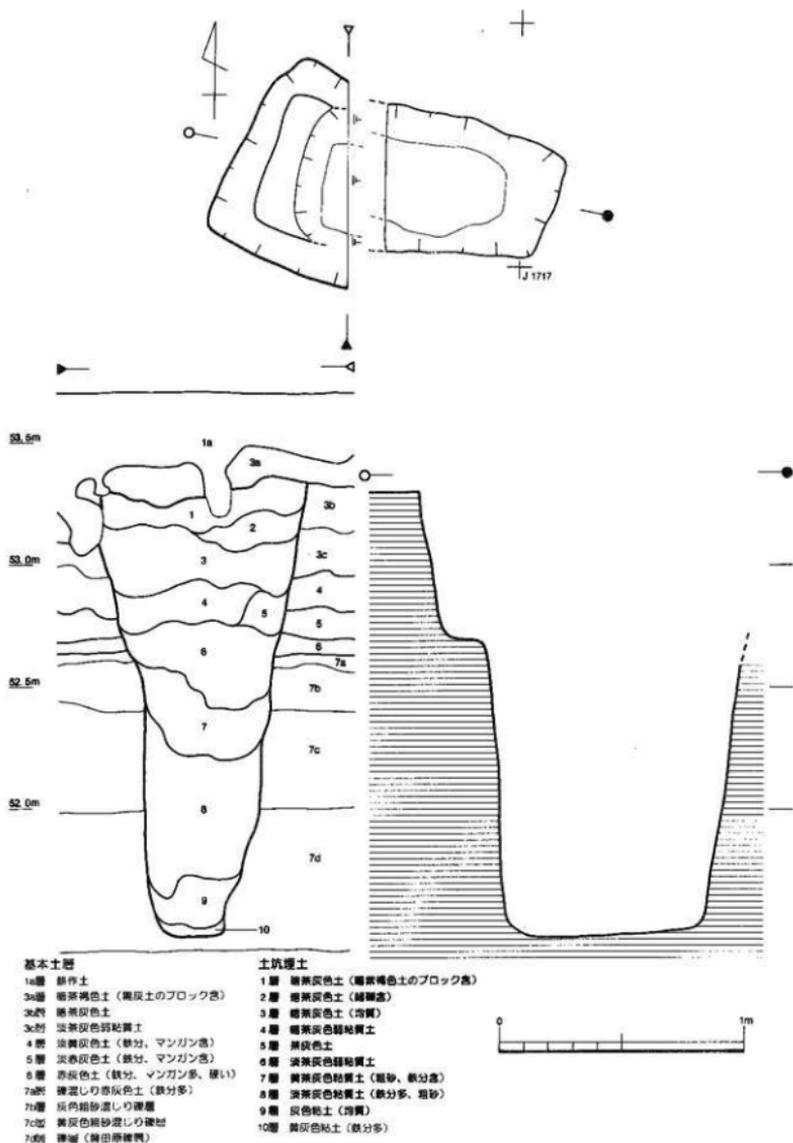
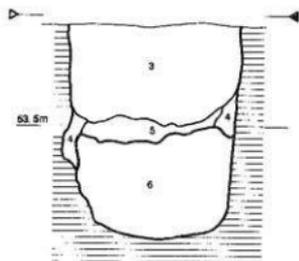
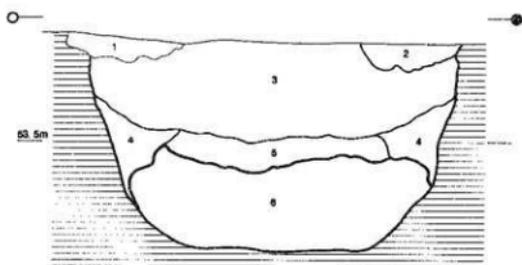
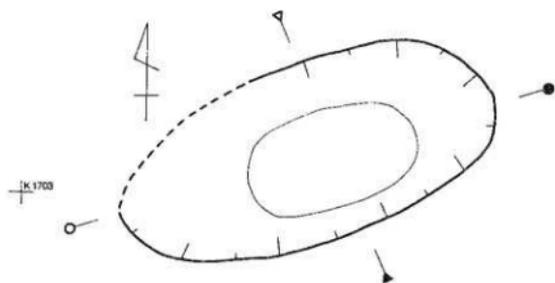


図94 土坑4平・断面図 (1/20)



- 1層 黄粘土
- 2層 赤黄粘土
- 3層 黄粘土（1cm程の円礫、炭化物、白色粘土混）
- 4層 赤黄粘土細砂質土（鉄分混、均質でしぼり良）
- 5層 黄粘土粘粉質土（鉄分が縦方向に沈着、結核混）
- 6層 灰色粘質土（鉄分が縦方向に沈着、均質）



図95 土坑5平・断面図（1/20）

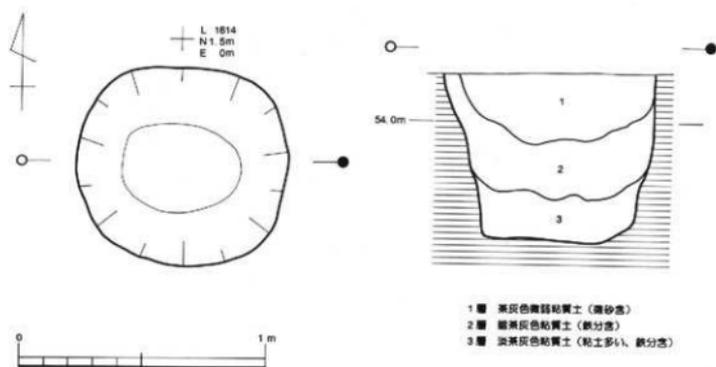


図96 土坑6平・断面図（1/20）

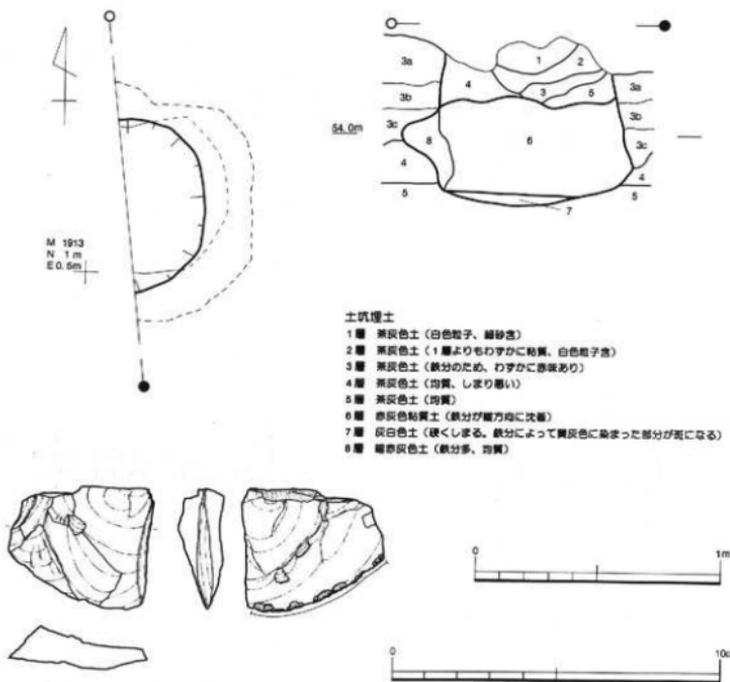


図97 土坑7平・断面図（1/20）と出土石器（2/3）

2 礫群

礫群 45 (図 98) M 1503 区を中心として、礫群 46 に隣接して 3 a ~ 3 b 層上面付近で検出した。立地は微高地上で、遺物が密集する微高地の南端である。294 × 200 cm の範囲に広がる。中央付近にやや礫が集まる所があり、その集中部は、空間を隔てて 2 ~ 3 か所に分けて見ることができる。礫集中部の西側に配石 105 を含んでいる。構成礫数は 81 点、砂岩が 86.2% で、あとはチャートと頁岩、流紋岩である。赤化率は 86.4%、破砕率 95.1%、割れ面赤化率 70.4% である。総重量は 7229 g で、平均重量は 89.3 g である。

礫群 46 (図 98) M 1504 区、礫群 45 に隣接して 3 a 層で検出した小規模な礫群である。礫群 45 よりも若干高いレベルで出土している。立地は微高地上で、遺物が密集する微高地の南端である。57 × 33 cm の範囲に広がる。礫が密集する場所はなく、散在している。構成礫数は 8 点で、砂岩が 87.5% で、あとは頁岩である。赤化率は 50%、破砕率 87.5%、割れ面赤化率 25% である。総重量は 1087 g、平均重量は 135.9 g である。

礫群 47 (図 99) K 1621 区、微高地から谷に向かう緩斜面で谷に近い所で検出した小規模な礫群である。出土層は 3 a 層である。87 × 36 cm の範囲に広がる。礫は散在している。構成礫数は 7 点、砂岩が 57.1%、あとはチャートである。赤化率は 85.7%、破砕率 100%、割れ面赤化率 57.2% である。総重量は 1524 g、平均重量は 217.7 g である。

礫群 48 (図 99) K 1622 区、微高地から谷に向かう緩斜面で谷に近い所で検出した。出土層は 3 a ~ 3 b 層上層である。礫群 74 が隣接している。102 × 55 cm の範囲に広がる。南側に礫がまとまる部分があり、そこから北西方向に礫が散在している。構成礫数は 17 点、砂岩が 88.2%、あとは頁岩である。赤化率は 82.3%、破砕率 58.8%、割れ面赤化率 47.1% である。総重量は 2400 g、平均重量は 141.2 g である。

礫群 49 (図 99) J 1620 区、K 1616 区で検出した。出土層は 3 a 層、微高地から谷に向かう緩斜面で出土している。礫群 47 と並んでもっとも谷底に近い所で検出した礫群である。220 × 83 cm の範囲に広がり、礫が密集する場所はなく、東西に細長く広がっている。構成礫数は 17 点、砂岩が 94.1% で、あとはチャートである。赤化率は 64.7%、破砕率 94.1%、割れ面赤化率は 41.2% である。総重量は 4116 g、平均重量は 242.1 g である。

礫群 74 (図 99) K 1622 区、礫群 48 に隣接して 3 b 層で検出した小規模の礫群である。微高地から谷に向かう緩斜面で谷に近い所で検出した。55 × 40 cm の範囲に広がり、全体的に礫は散在しているが、西側にやや礫が偏り、東側に礫が散在している。構成礫数は 11 点、砂岩が 91.7%、あとは頁岩である。赤化率は 66.7%、破砕率 91.7%、割れ面赤化率 58.3% である。総重量 94 g、平均重量 7.8 g で、小さく割れた礫からなる礫群である。

礫群 50 (図 100) L 1620 区を中心にして、微高地上、3 a 層から出土した。140 × 127 cm の範囲に広がる。東側に礫が集中する部分があり、そこから北西方向に礫が散在している。構成礫数は 46 点、砂岩が 89.1%、他はチャート、花崗岩、頁岩である。赤化率 82.6%、破砕率 71.7%、割れ面赤化率 47.5% である。割れ面赤化率がやや低い。総重量は 15197 g、平均重量は 190.7 g である。

礫群 51 (図 100) L 1615 区、微高地上、3 a 層で出土した。礫群 52 に隣接し、東側 1.5 m に配石 136 がある。配石 134、135、168 を含んでいる。103 × 77 cm の範囲に広がる。配石は並べたように近接しており、その北西側に礫がまとまる部分がある。構成礫数は 18 点で、砂岩が 94.4%、あとはチャートである。赤化率は 44.4%、破砕率 44.4%、割れ面赤化率 27.8% である。総重量は 15197 g、平均重量は 844 g である。配石以外の礫は 15 点で、赤化率 53.3%、破砕率 40.0%、割れ面赤化率 33.3%、総重量 3093 g、平均重量 206.2 g である。配石を除いても破砕率が低い。礫群構成礫の 3 点が配石 134 と接合する。

礫群 52 (図 100) L 1615 区、微高地上、3 a 層で出土した。礫群 51 に隣接しており、空間を持って礫

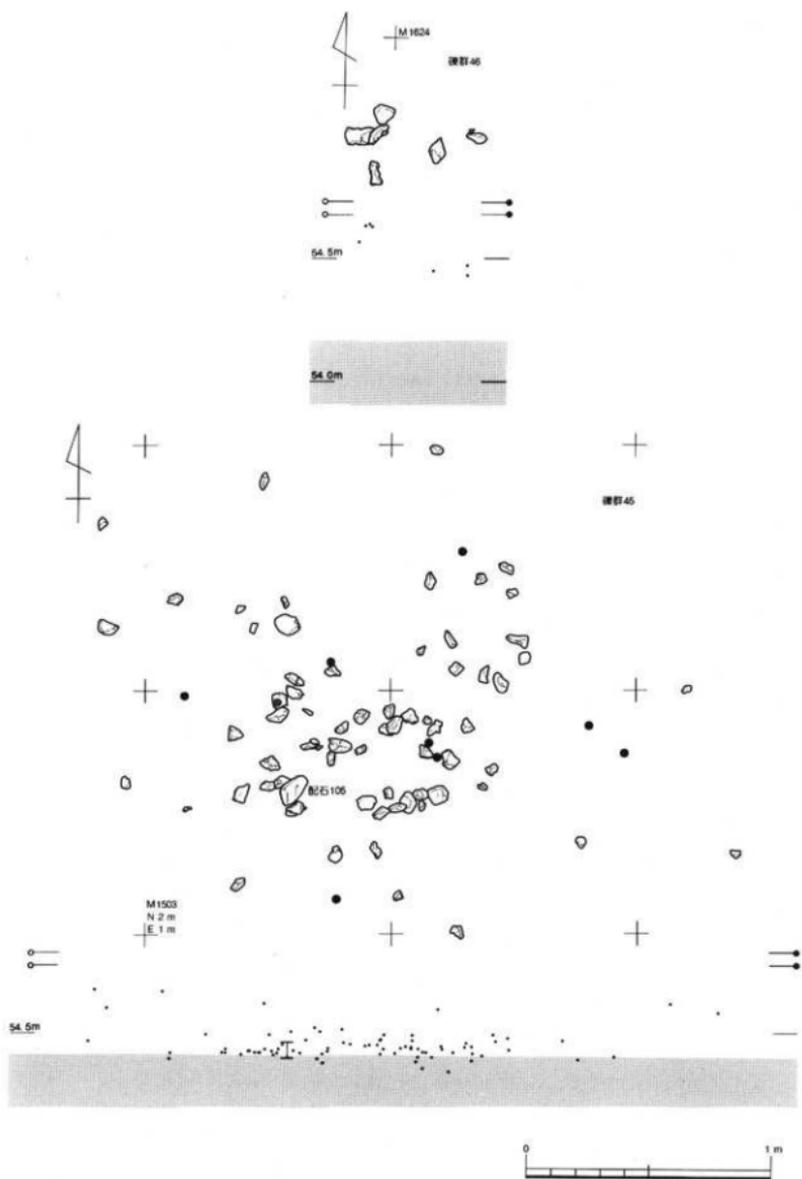


图98 碑群45、46碑分布图 (1/20)

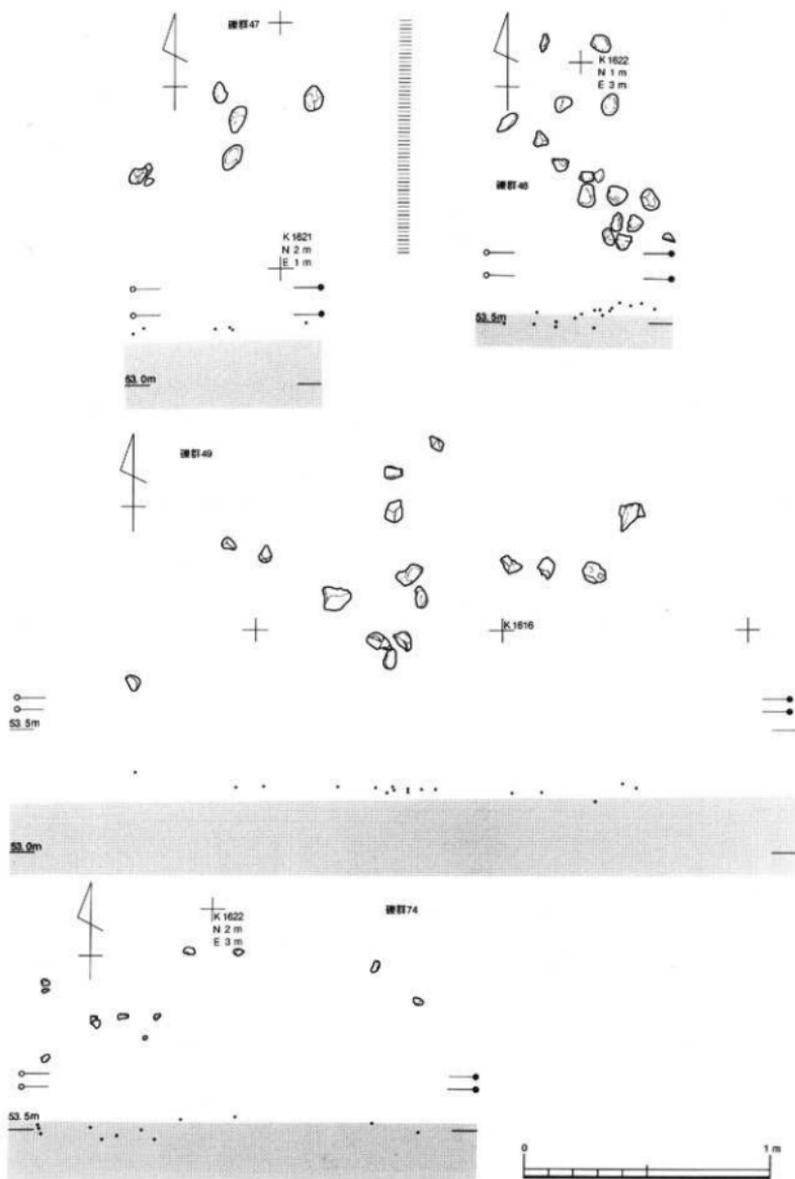


図99 礫群47～49、74礫分布図(1/20)



図100 礫群50～52 礫分布図 (1/20)

群51と分けたが、礫群51に含めた方が良いかもしれない。72×47 cmの範囲に広がり、礫の集中部はなく、散在している。構成礫数は6点で、砂岩が50%で、あとはチャートと頁岩である。総重量は1144 g、平均重量は191 gである。

礫群53 (図101) L 1610区付近で検出した。微高地上、3 a層の出土で、礫群56に近接している。170×70 cmの範囲に広がる。中央部にやや礫がまとまる部分があり、その周辺、主に西側に礫が散在しており、全体として東西方向に分布している。構成礫数は18点、砂岩が88.9%、その他はチャートと花崗岩である。赤化率は72.2%、破砕率83.3%、割れ面赤化率61.1%である。総重量2862 g、平均重量159 gである。

礫群54 (図101) L 1610区、微高地上で3 a層から出土した。礫群57に隣接している。97×73 cmの範囲に広がる。北側に礫が集中する部分があり、その南側に礫が散在している。構成礫数は34点、砂岩が82.4%、あとはチャートと花崗岩である。赤化率94.1%、破砕率94.1%、割れ面赤化率76.5%である。総重量5825 g、平均重量171 gである。

礫群55 (図101) M 1601区、微高地の頂部付近で3 a層出土である。ブロック11と重なる。中央付近にやや礫がまとまる部分があり、その周辺に少数の礫が散在する小規模な礫群であり、88×70 cmの範囲に広がる。構成礫数は11点、砂岩が90.9%で、あとはチャートである。赤化率90.9%、破砕率81.8%、割れ面赤化率90.9%である。総重量は1057 g、平均重量96.1%である。

礫群58 (図101) L 1604区、微高地上、3 a層で出土している。85×69 cmの範囲に広がる。狭い範囲に礫がまとまっているが、礫が特に密集する部分はない。構成礫数は18点、砂岩が94.4%で、あとはチャートである。赤化率66.7%、破砕率94.4%、割れ面赤化率55.6%である。総重量は2274 g、平均重量は126 gである。

礫群59 (図101) L 1725区付近、微高地上、3 a層から出土している。166×161 cmの範囲に広がる。礫が集中する部分はなく、散在している。中央付近に礫群を東西に分けるような空間がある。構成礫数は22点で、砂岩が81.8%、あとはチャートと頁岩である。赤化率は45.4%、破砕率86.4%、割れ面赤化率45.4%である。総重量は1775 g、平均重量は80.7 gである。

礫群56 (図102) L 1609区付近、微高地の西端で谷に向かって傾斜し始めるあたりで出土した。出土層は3 a層である。515×370 cmの広範囲に広がる。礫の数、分布範囲では高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡最大級の礫群である。礫群の中心付近に、茶畑の防霜ファンを設置したと見られる擾乱が入っており、これによって相当数の礫が失われてしまっていると思われる。したがって、本来の礫の分布、礫数はわからない。全体的に礫密度が高く、特に南側にやや密度が高い部分がある。配石78～80、83～86を含んでおり、配石は礫群の南側に偏っている。構成礫数は356点、砂岩が81.2%、あとはチャート、花崗岩、頁岩、流紋岩である。赤化率は86.8%、破砕率86%、割れ面赤化率69.1%である。総重量は58879 g、平均重量は165 gである。

礫群57 (図103) L 1605区付近、微高地上の西端で、礫群56に隣接して3a層で検出した。礫群56にほとんど接しているが、礫群56との間に若干の空間があり、礫の接合関係もこの空間を境に明確に分かれるため、礫群56とは別の礫群とした。配石72、81、82を含んでいる。385×200 cmの範囲で、南北に細長く分布する。構成礫数は190点、砂岩が74.2%、後はチャート、花崗岩、頁岩、流紋岩である。赤化率86.3%、破砕率75.3%、割れ面赤化率57.9%である。総重量34836 g、平均重量183 gである。

礫群60 (図104) L 1725区、微高地の西端で検出した。層位は3a層である。235×190 cmの範囲に広がる。礫のまとまる場所が少なくとも2カ所認められる。礫は全体として散在している。構成礫数は85点、砂岩が98.8%、後は花崗岩である。赤化率76.5%、破砕率92.9%、割れ面赤化率71.8%である。総重量は7569 g、平均重量は89.1 gである。西側に約50 cmに配石102、103がある。

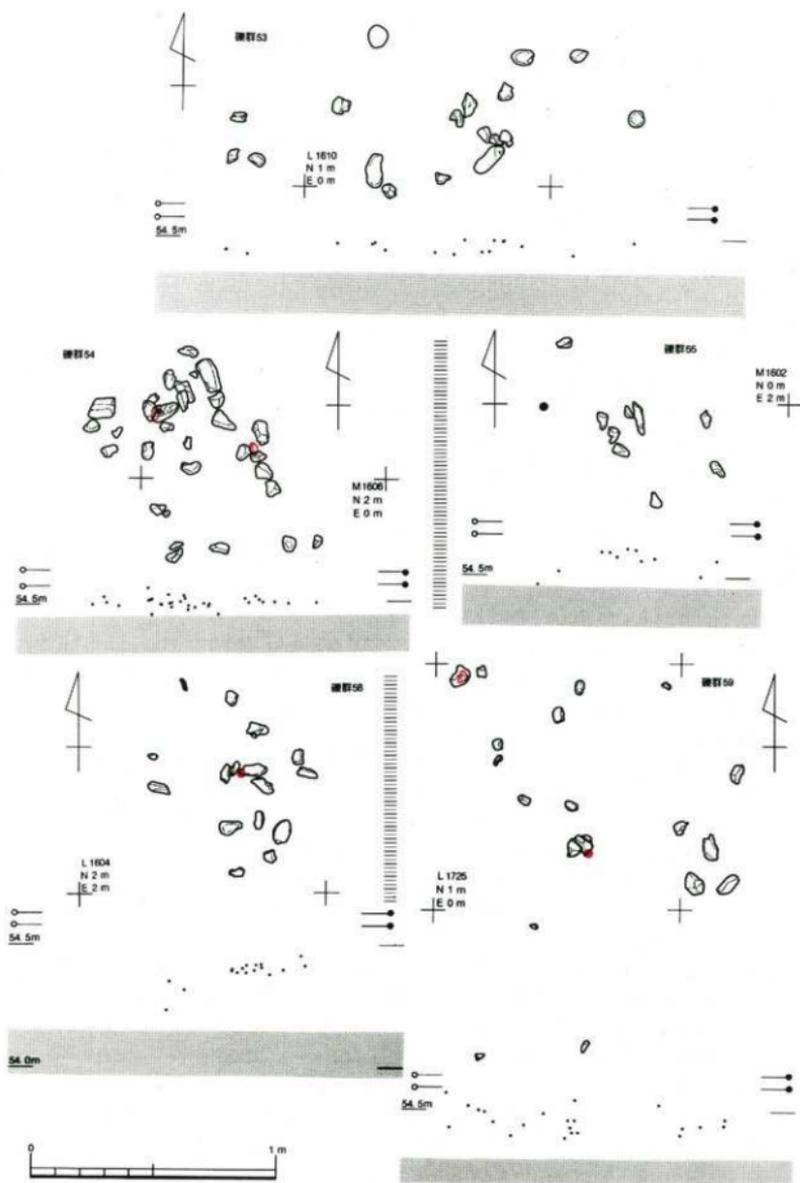


图 101 碑群 53 ~ 55、58、59 碑分布图 (1/20)

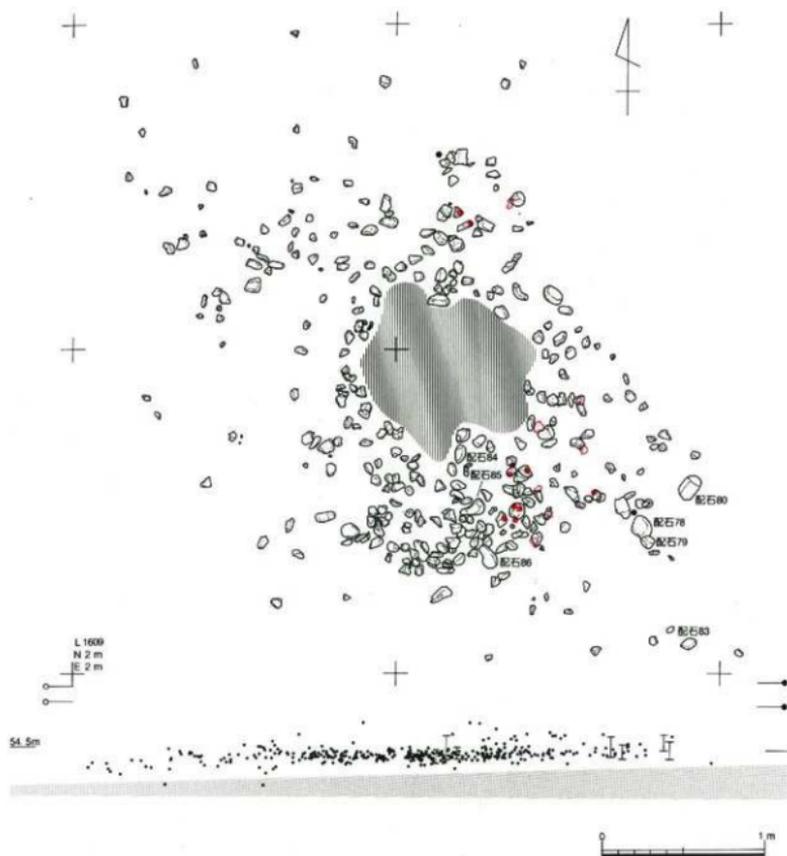


図 102 礫群 56 礫分布図 (1/30 スクリーントーンは攪乱)

礫群 62 (図 105) L 1720 区付近、微高地の西側で 3 a 層から出土した。497 × 323 c m の範囲に広がる。礫が集中する部分があり、その北側に礫が散在しているのに対して、南側に分布する礫は少ない。礫が集中している部分は、礫が二重か三重の円弧を描いて並んでいるように見える。礫の集中部に配石 100 を含んでいる。構成礫数は 250 点、砂岩が 82%、後はチャート、花崗岩、玄武岩、頁岩、流紋岩である。赤化率は 75.6%、破砕率 79.6%、割れ面赤化率 53.6% である。総重量は 39222 g、平均重量は 157 g である。

礫群 63 (図 105) L 1720 区、微高地の西側で 3a 層から出土した。礫群 62 の東側にある。80 × 55c m の範囲に広がる。礫が散在する小規模な礫群である。構成礫数は 8 点、すべて砂岩である。赤化率 100%、破砕率 100%、割れ面赤化率 75% である。総重量は 789 g、平均重量は 98.6 g である。

礫群 64 (図 106) L 1715 区付近、微高地上で 3a 層から出土した。415 × 215 c m の範囲に広がる。礫

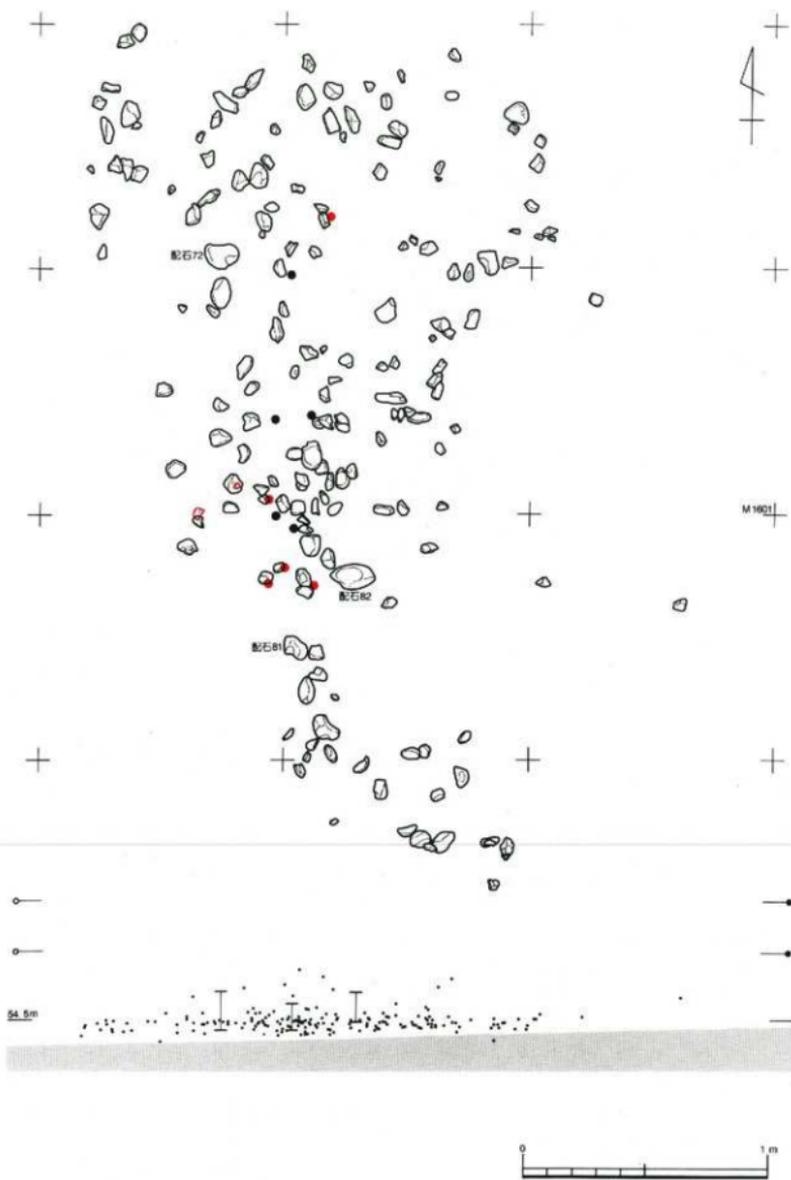


图 103 礫群 57 礫分布图 (1/20)

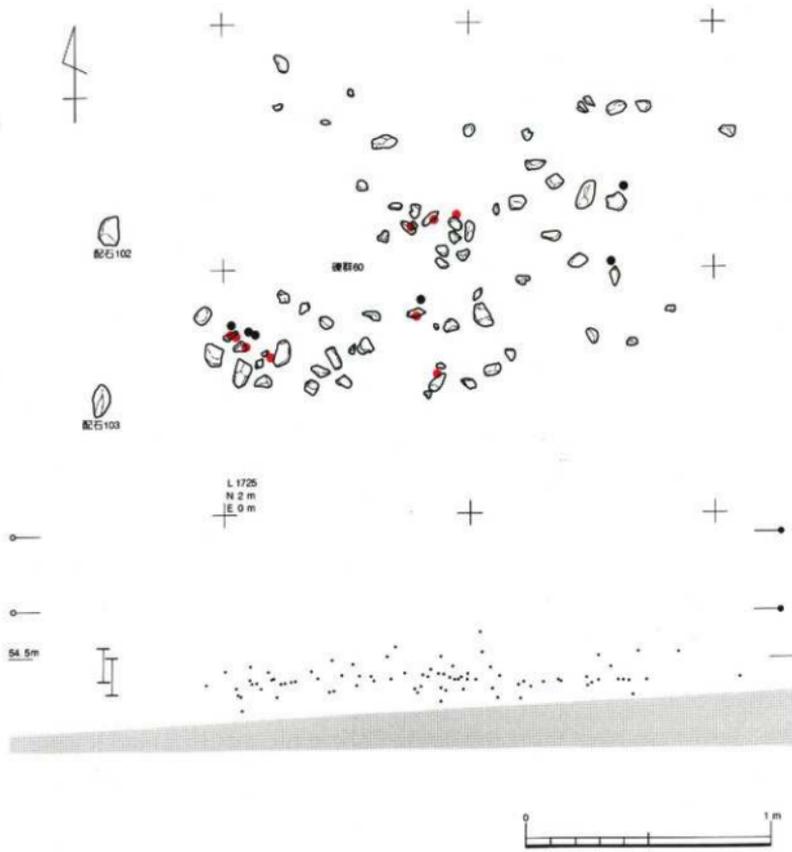


図104 礫群60 礫分布図 (1/20)

が集中するところはなく、散在している。配石98、101を含んでいる。構成礫数は104点、砂岩が84.6%、他はチャート、花崗岩、頁岩である。赤化率は89.4%、破砕率95.2%、割れ面赤化率83.6%である。総重量は11666g、平均重量は112gである。

礫群65 (図106) M1706区付近、微高地上で礫群60に近接して3a～3b層上面付近で出土した。中央に礫が集中する部分があり、その周辺に礫が散在している。全体として南北方向に細長く広がる。配石142、143を含んでいる。219×125cmの範囲に広がっている。構成礫数は50点、砂岩が80%、後はチャート、花崗岩、頁岩である。赤化率は94%、破砕率94%、割れ面赤化率80%である。総重量は7880g、平均重量は156gである。

礫群66 (図106) M1706区付近、微高地上、3a層～3b層上層で出土した。366×326cmの範囲に広がる。礫の分布は西側にやや偏っており、そこから南に礫が散在している。構成礫数は105点で、砂

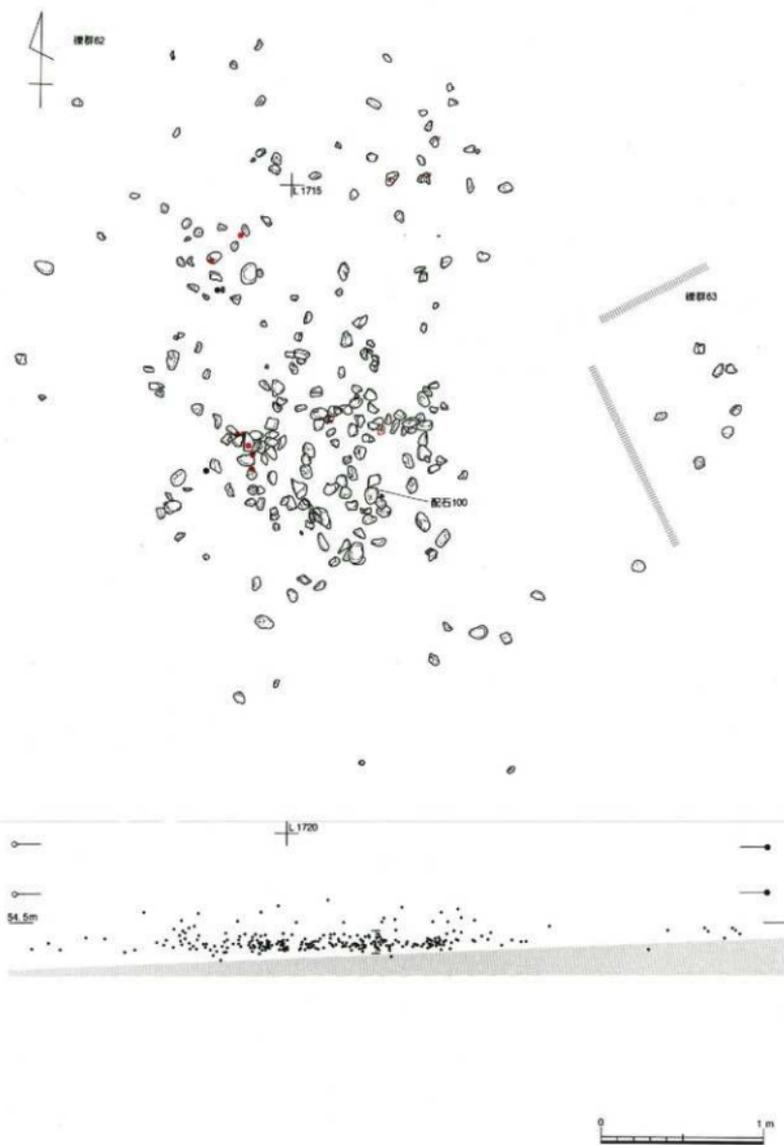


図 105 標群 62、63 標分布図 (1/30)

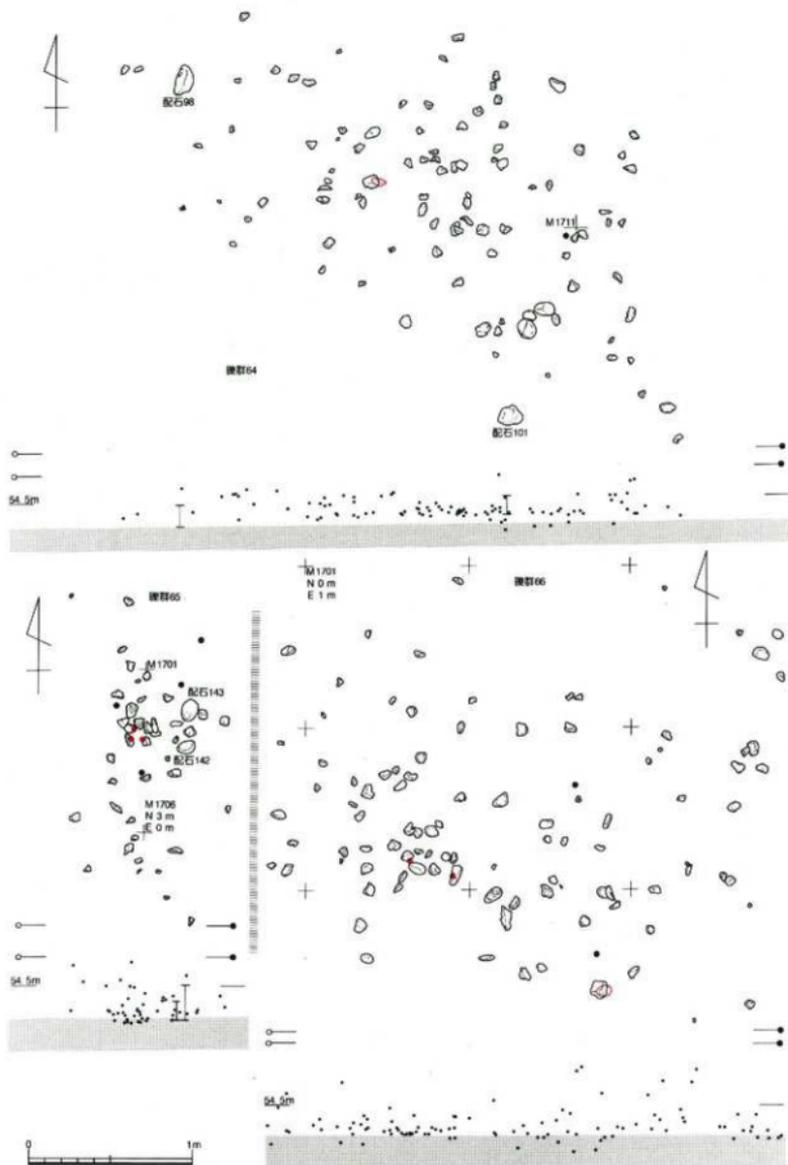


図106 群64～66 礫分布図 (1/30)

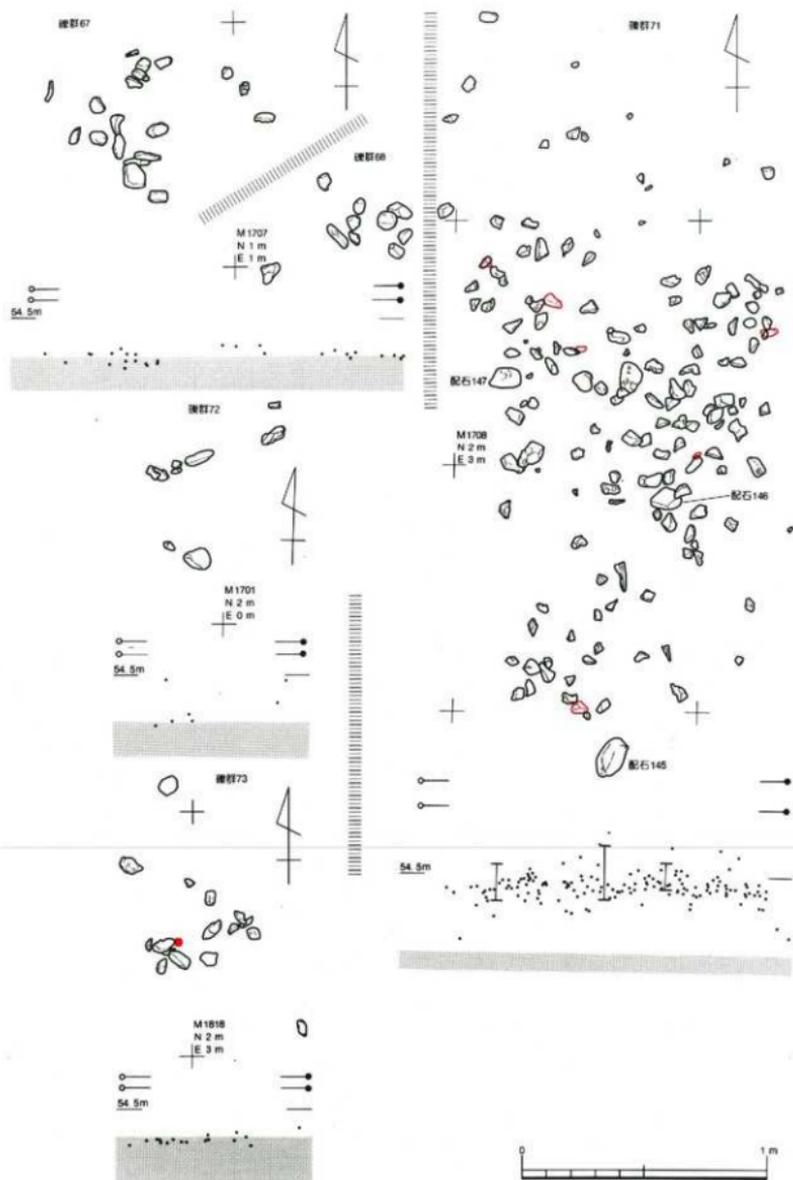


图 107 礫群67、68、71~73礫分布図 (1/20)

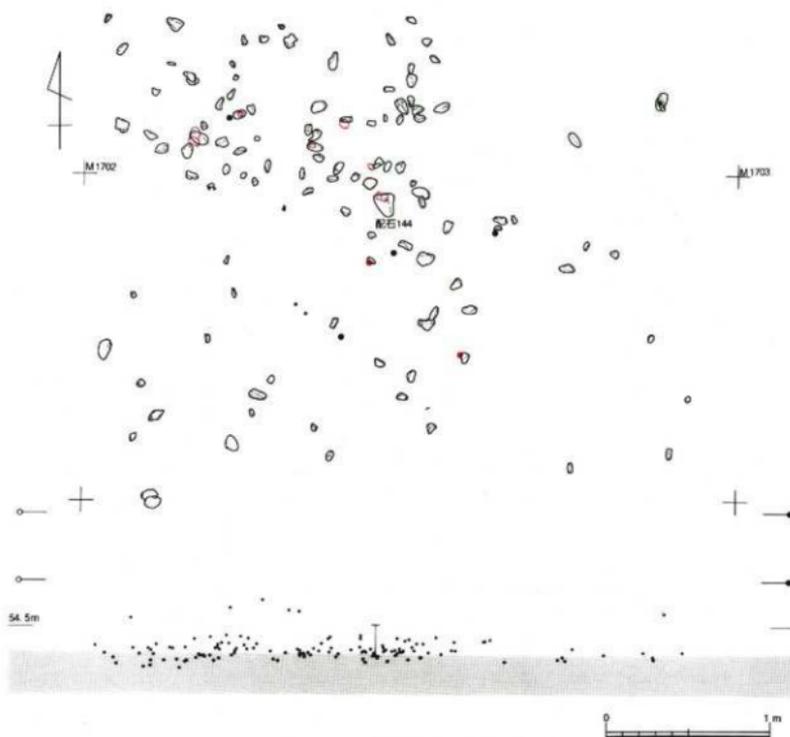


図108 礫群69 礫分布図 (1/30)

岩が90.5%、後はチャート、花崗岩、頁岩である。赤化率86.7%、破砕率89.5%、割れ面赤化率70.5%である。総重量は11894 g、平均重量は113 gである。

礫群67 (図107) M1707区、微高地上で、礫群66と礫群68の間で出土した。出土層は3 a層～3 b層上層である。94×64 cmの範囲に広がる。礫がまとまる場所が2カ所あり、その周辺に礫が散在している。構成礫数は砂岩が68.5%で、後はチャート、頁岩である。赤化率は42.1%、破砕率68.4%、割れ面赤化率31.6%である。赤化率、破砕率、割れ面赤化率とも他の礫群に比べて低いのが特徴である。総重量は2686 g、平均重量は152 gである。

礫群68 (図107) M1707区、微高地上で、礫群67の南東側に隣接して出土した。出土層は3 a層で、72×47 cmの範囲に広がる。中央付近に礫がまとまる。構成礫数は10点で、砂岩が90%、あとはチャートである。赤化率は70%、破砕率20%、割れ面赤化率20%である。礫群68と同様に赤化率、破砕率、割れ面赤化率ともに低い礫群である。総重量は2195 g、平均重量は220 gである。

礫群71 (図107) M1708区付近、微高地上、3 a層から出土した。315×146 cmの範囲に広がり、南北に細長く分布する。比較的礫の密度が高い礫群である。配石145～147を含んでいる。構成礫数は158点で、砂岩が89.2%、あとはチャート、花崗岩、頁岩である。赤化率は88%、破砕率は92.4%、割れ面赤化率73.4%である。総重量は22149 g、平均重量は140 gである。

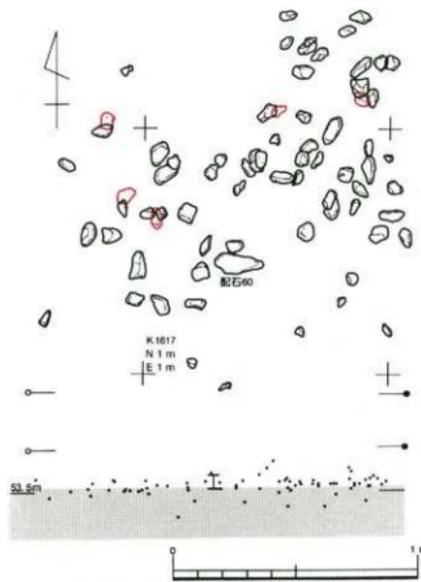


図109 礫群75礫分布図 (1/20)

集中する場所はないが、北側に礫が偏り、その南側に礫が散在している。中央付近に配石144を含んでいる。構成礫数は136点、砂岩が80.9%、あとはチャート、花崗岩、頁岩である。赤化率64%、破砕率64.7%、割れ面赤化率46.3%である。赤化率、破砕率、割れ面赤化率ともに低い礫群である。総重量2167g、平均重量159.39gである。

礫群75 (図109) K1617区、微高地から谷に向かう緩斜面で、3a層～3b層で出土した。183×155cmの範囲に広がり、配石60を含んでいる。礫の密度の高い礫群で、東側に礫が偏って分布している。構成礫数は73点で、砂岩が74%、あとはチャート、花崗岩、頁岩、流紋岩である。赤化率82.2%、破砕率67.1%、割れ面赤化率45.2%である。総重量は10099g、平均重量は138.34gである。

礫群76 (図110) L1613区、微高地から谷に向かって下り始めるあたりで出土した。出土層は3a層～3b層である。385×193cmの範囲に広がる。礫の分布密度は非常に高く、それぞれの礫が礫がくっつくように密集しており、特に密集する場所が数カ所認められる。特に中央付近では礫が多重に重なって出土し、この部分は断面投影図でもわかるとおり、地面にくぼみがあり、その中に礫を集めたようになっている。明確な掘り込みは検出できなかったが、礫群を作る際に、予め穴を掘ってあった可能性がある。礫群の使用を考える上で興味深い例である。礫群のすぐ南側には土坑6があり、その中から数点の礫が出土している。土坑6とこの礫群の関係が問題となるが、土坑6の埋土から出土した礫と礫群76の構成礫が接合した例があることから、まず土坑6が掘られ、その土坑が廃棄されて埋まっていく途中で、礫群76が作られ、その礫群の一部の礫が土坑内に落ち込んだと考えられる。

礫群内には配石87～93を含んでおり、このうち配石92は土坑6の中に落ち込んでいる。また、配石は礫群の北側に偏っている。多量の炭化物を伴っており、後の章で述べるように、この炭化物から22090±470 B.P.の年代を得ている。

礫群72 (図107) L1705区、微高地上、3a層から出土した。78×45cmの範囲に広がる。礫が集中することではなく、散在している小規模な礫群である。構成礫数は9点、すべて砂岩である。赤化率は88.9%、破砕率66.7%、割れ面赤化率44.4%である。総重量は1267g、平均重量は141gである。

礫群73 (図107) M1818区、微高地上、3a層～3b層上面付近で出土した。周囲に少数の礫が分布するものの、礫群としてまとまったものではなく、やや孤立した状態で出土した。121×46cmの範囲に広がる。中央に礫が集まっており、北と南に1点づつ礫が点在している。構成礫数は17点、砂岩が82.4%、あとは花崗岩と頁岩である。赤化率76.5%、破砕率47.1%、割れ面赤化率41.2%である。総重量は3070g、平均重量は181gである。

礫群69 (図108) M1702区付近、微高地上、3a層～3b層上面付近で出土した。礫群66、67、84と隣接している。425×405cmの比較的広い範囲に分布している。特に礫が

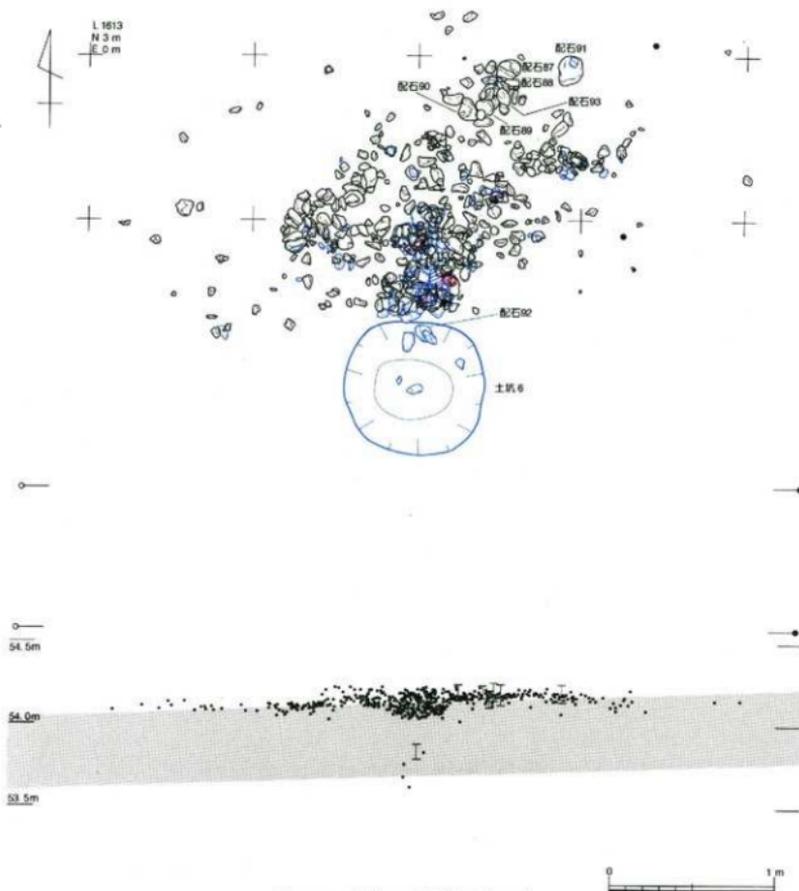


図 110 礫群 76 礫分布図 (1/30)

構成礫数は 524 点で、砂岩が 84.9%、あとはチャート、花崗岩、頁岩である。赤化率 83.8%、破砕率 91.41%、割れ面赤化率 59.7% である。赤化率、破砕率ともに高いが、これに対して割れ面赤化率が低い特徴がある。総重量は 64456 g、平均重量は 123.01 g である。

礫群 77 (図 111) L 1602 区、微高地から谷に向かう緩斜面で 3 b 層から出土した。420 × 396 cm の範囲に広がる。礫の分布密度は高く、礫が密集する部分が 3 カ所あり、その周辺に礫が散在している。礫の集中部には配石 63 ~ 67 を含んでいる。また、炭化物を多く含んでおり、特にこの礫群の南側には多量の炭化物が密集する部分があり、この炭化物から 22660 ± 510 B. P. の年代を得ている。構成礫数は 272 点で、砂岩が 84.6%、他はチャート、花崗岩、頁岩、流紋岩である。赤化率 81.2%、破砕率 89.3%、割れ面赤化率 58.1% である。赤化率、破砕率に比べて割れ面赤化率が低い特徴がある。総重量は 48039 g、平均重量は 176.6 g である。

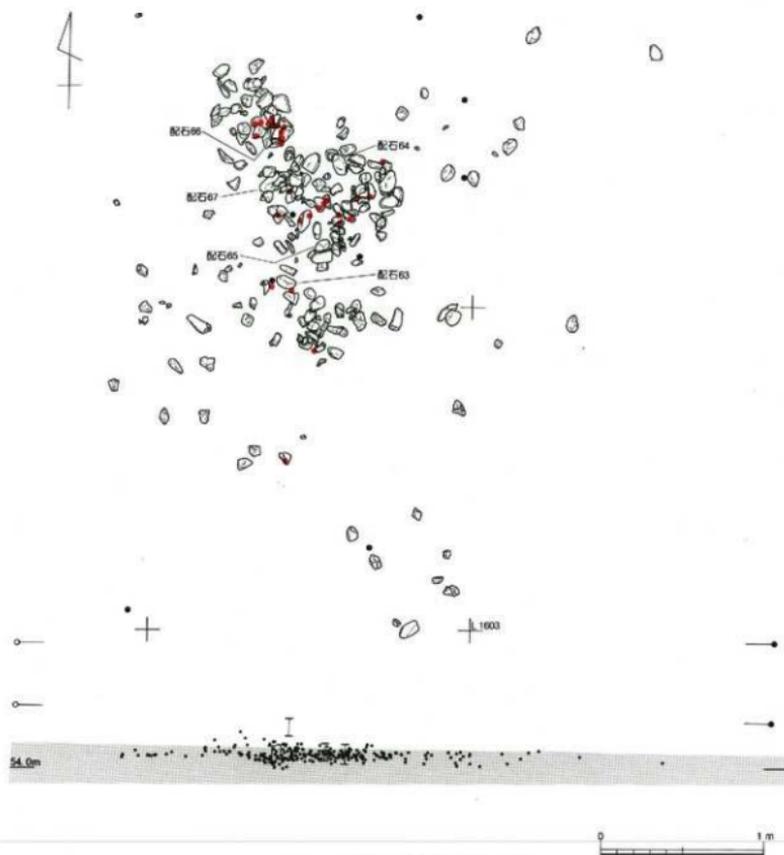


図 111 礫群 77 礫分布図 (1/30)

礫群 78 (図 112) M 1603、1604 区付近、微高地上で 3 b 層から出土した。363 × 300 c m の範囲に広がっている。礫は密集しており、中央部では礫が多量の円弧状に並んでいるように見える。円弧状になっている部分には配石を多く含んでおり、配石 107 ~ 127 が含まれている。集中部の周辺では、北側にだけ礫が散在している。南側には配石 110 があるだけである。構成礫数は 406 点で、砂岩が 94.1%、あとはチャート、花崗岩、頁岩である。赤化率は 80%、破砕率 86.2%、割れ面赤化率 64% である。赤化率、破砕率に比べて割れ面赤化率が低い。総重量は 85226 g、平均重量は 209.92 g である。配石を除くと赤化率 80.3%、破砕率 90.6%、割れ面赤化率 67.3% である。配石はほとんどが割れていないため、破砕率と割れ面赤化率が増加している。その反面、配石でも赤化したものが多いため、赤化率は変化していない。総重量は 60256 g、平均重量は 156.5 g である。

礫群 79 (図 113) 調査区の東端、N 1601 区、微高地上で 3 a 層から出土した。これよりも東側にも 10

m程微高地が続いているが、広範囲で攪乱されているため、遺物は残っていない。167×144 cmの範囲に広がる。中央部に円弧状に礫が集中し、その周辺に礫が散在している。礫の集中部には配石167を含んでいる。構成礫数は36点で、砂岩が72.2%、あとはチャート、花崗岩、頁岩である。赤化率は97.2%、破砕率63.9%、割れ面赤化率55.6%である。総重量は6055 g、平均重量は168.19 gである。赤化率に比べて破砕率が低い。

礫群80 (図113) M1718区付近、微高地上で、3 b層から出土した。ブロック12と重なっている。196×165 cmの範囲に広がる。礫の集中部が2カ所あり、その北西に礫が散在している。配石を多く含んでおり、配石153～157、159～161がある。配石は南側に偏る傾向がある。構成礫数は78点で、砂岩が92.3%、あとはチャートと花崗岩である。赤化率79.5%、破砕率93.6%、割れ面赤化率67.9%である。総重量は21990 g、平均重量281.92 gである。配石を除くと赤化率81.2%、破砕率100%、割れ面赤化率71%である。総重量9158 g、平均重量は132.7 gである。重量は、総重量、平均重量ともに軽くなっているが、赤化率、破砕率、割れ面赤化率はあまり変わっていないのは、配石も他の礫と同じように赤化し、割れているものが多いからである。

礫群81 (図112) M1716区、微高地上、3 b層で出土した小規模な礫群である。103×38 cmの範囲に礫が散在している。構成礫数は6点、すべて砂岩である。赤化率83.3%、破砕率83.3%、割れ面赤化率66.7%である。総重量は792 g、平均重量132 gである。

礫群82 (図114) M1711区付近、微高地上で3 b層から出土した。礫群83と隣接している。192×158 cmの範囲に広がる。礫が集中する場所はなく、散在している。構成礫数は50点で、砂岩が92%、あとは頁岩である。赤化率82%、破砕率90%、割れ面赤化率54%である。赤化率に比べて割れ面赤化率が低い。総重量は4095 g、平均重量81.9 gである。

礫群83 (図114) M1711区、微高地上で3 b層から出土した。礫群82と隣接している。115×60 cmの範囲に広がる小規模な礫群である。礫は散在している。構成礫数は13点で、すべて砂岩である。赤化率76.9%、破砕率100%、割れ面赤化率69.2%である。総重量439 g、平均重量は33.8 gで、小さく割れた礫が集まった礫群である。

礫群84 (図114) M1702区、微高地上で3 b層から出土した。礫群69と隣接している。86×80 cmの範囲に広がる小規模な礫群である。中央に礫がやや集中している。構成礫数は15点、砂岩が86.7%で、あとは頁岩と流紋岩である。赤化率60%、破砕率66.7%、割れ面赤化率53.3%である。総重量2065 g、平均重量137.7 gである。

礫群85 (図115) M1705区付近、微高地上で3 b層から出土した。285×153 cmの範囲に広がる。礫が密集する部分はなく、南北方向にやや細長く散在している。中央に配石149を含んでいる。構成礫数は42点で、砂岩が81%、あとはチャート、花崗岩、玄武岩、頁岩、流紋岩である。赤化率80.9%、破砕率78.6%、割れ面赤化率61.9%である。総重量は7354 g、平均重量175.1 gである。

礫群87 (図115) M1705区、微高地上で3 b層から出土した。調査区の東端で出土した。186×142 cmの範囲に礫が密集している。炭化物とわずかに焼け土を伴っている。南端に配石147を含んでいる。構成礫数は141点で、砂岩が86.8%、あとはチャート、花崗岩、頁岩、流紋岩である。赤化率87.2%、破砕率68.1%、割れ面赤化率51.1%である。総重量は27304 g、平均重量は193.65 gである。

礫群88 (図115) M1813区、微高地上で3 a層から出土している。他の礫群から離れて孤立した感じで出土している。57×26 cm範囲に礫が散在する小規模な礫群である。6点の礫からなり、3点づつが2カ所分かれて分布している。石材は砂岩が83.3%で、あとは頁岩である。赤化率は33.3%、破砕率50%、割れ面赤化率16.7%である。赤化率、割れ面赤化率ともに低い。総重量は1011 g、平均重量168.5 gである。

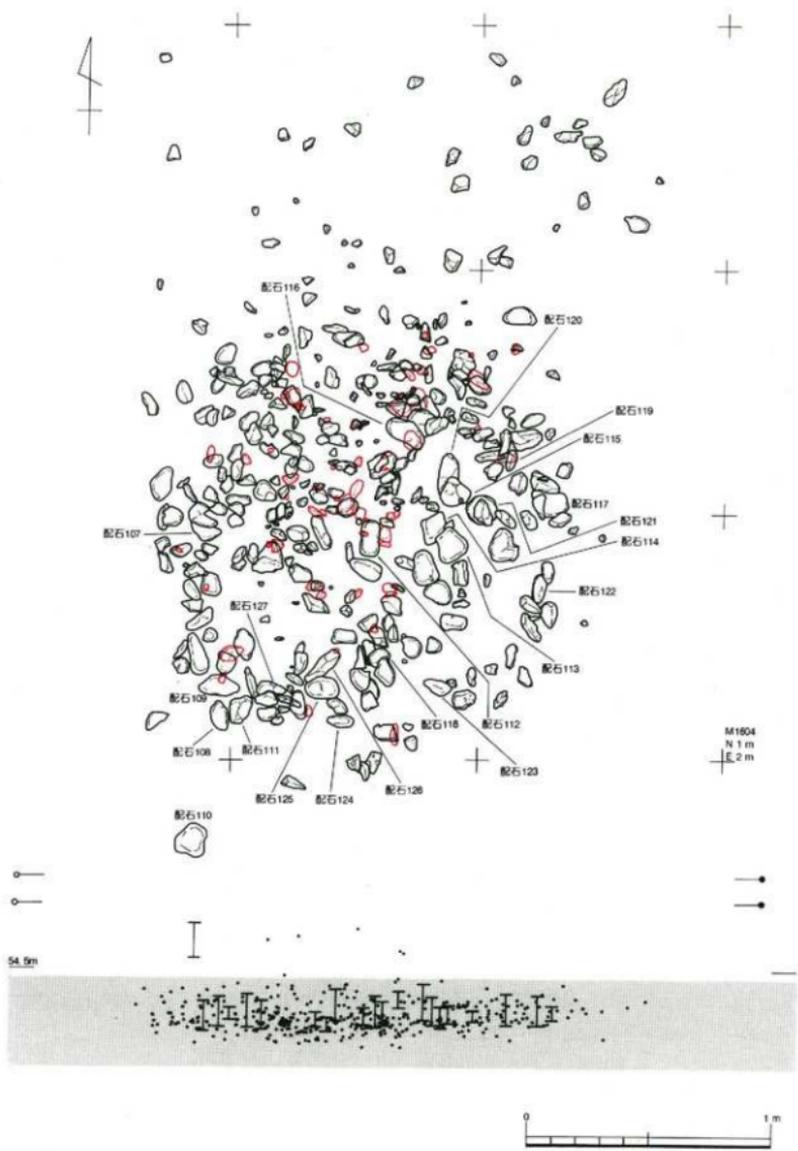


图 112 碇群 78 碇分布图 (1/20)

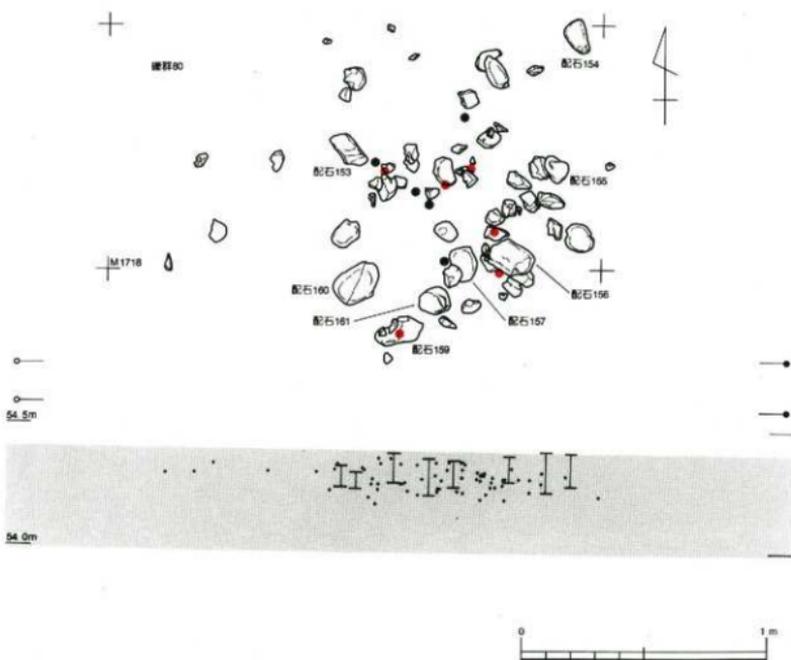
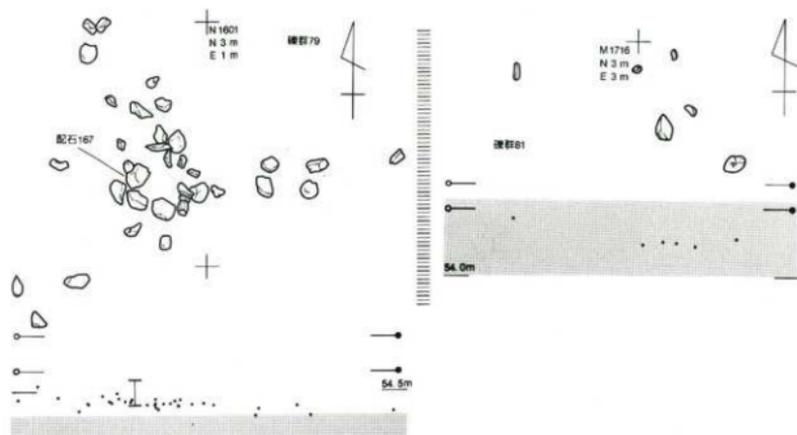


図 113 礫群 79 ~ 81 礫分布図 (1/20)

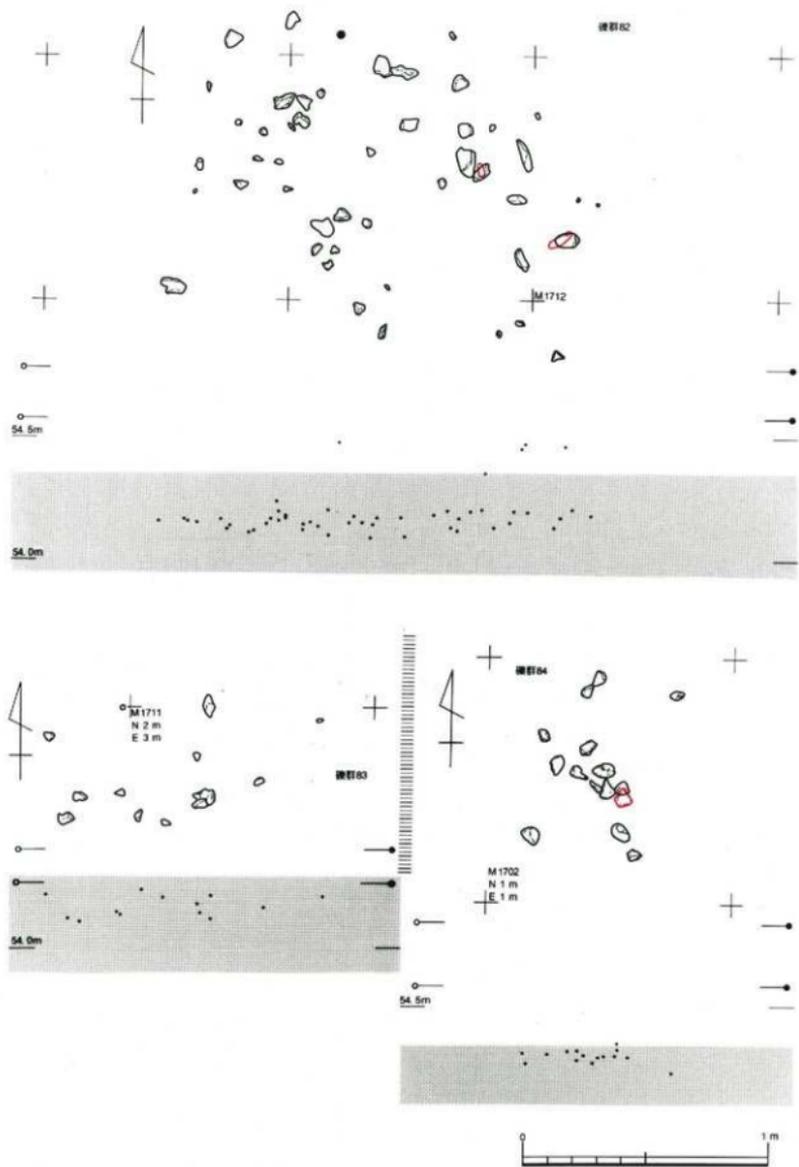


図 114 礫群 82 ~ 84 礫分布図 (1/20)

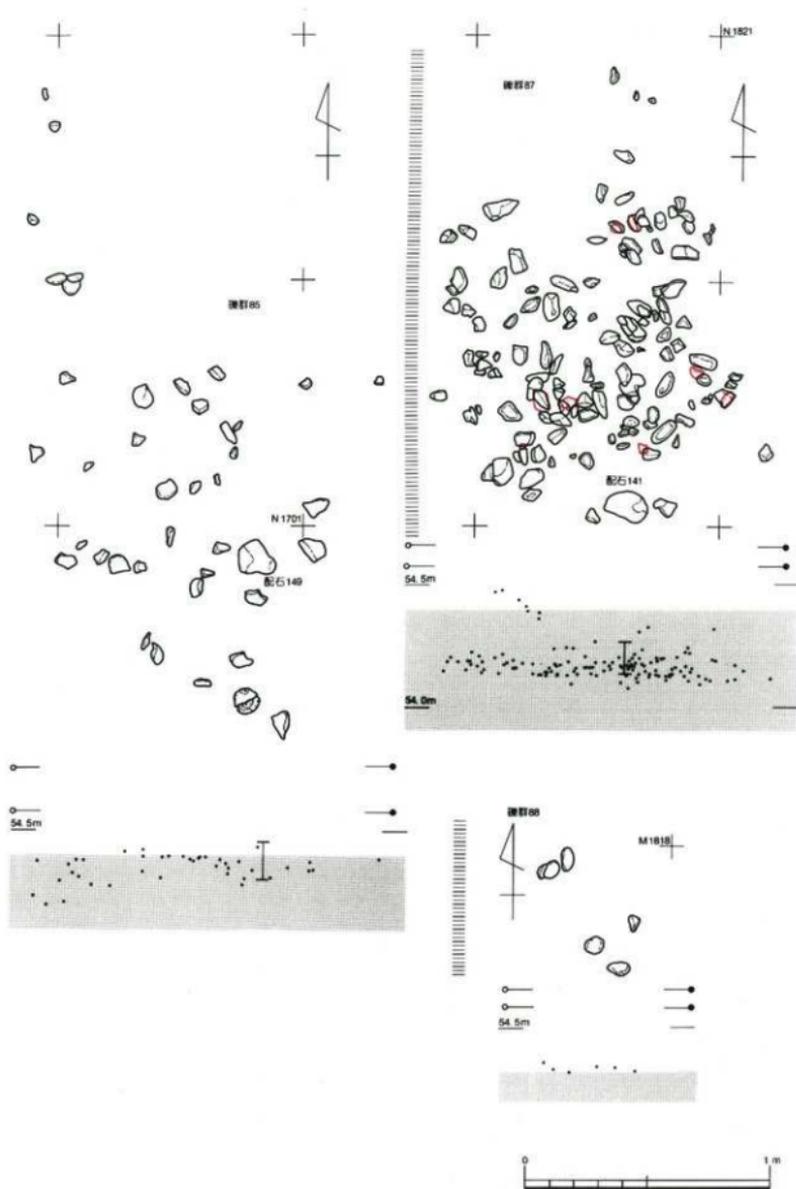


図 115 群85、87、88 碑分布図 (1/20)

3 配石

配石105 (図98) M1503区、礫群45の中で出土した。出土層は3a層で、立地は微高地上で、遺物が密集する微高地の南端である。963gの頁岩の完形礫で赤化していない。

配石133 (図100) M1611区、微高地上で3a層出土である。礫群52の西側約1mで出土している。2270gの砂岩の完形礫で赤化していない。

配石134 (図100) M1611区、微高地上で3a層出土である。礫群51に含まれる。配石135、137と近接している。4204gの砂岩礫で割れており、すぐ脇で隣接して出土した礫1点が接合する。ともに割れ面は赤化していない。

配石135 (図100) M1611区、微高地上で3a層出土である。礫群51に含まれる。配石134、137と近接している。6100gの砂岩の完形礫で赤化していない。礫群51の中では最大の配石である。

配石136 (図100) M1611区、微高地上で3a層出土である。礫群51の東側1.5mで出土している。10730gの砂岩の完形礫でわずかに赤化している。10kgを超える人型の配石であるが、やや細長い礫で長軸方向を縦にして立てて出土している。

配石168 (図100) M1611区、微高地上で3a層出土である。礫群51に含まれる。配石134、135と近接している。1800gの砂岩礫で割れており、礫群51の構成礫4点が接合し、うち2点は弱く赤化した礫で割れ面も弱く赤化している。円礫面、割れ面とも赤化していない。

配石78 (図102) L1610区、微高地上の西端、谷に向かって傾斜し始めるところで出土した。出土層は3a層である。礫群56の東端に含まれている。配石79と接している。1550gの割れ面のある砂岩の礫で、円礫面、割れ面ともに赤化していない。すぐ北西側にある礫1点と接合する。接合する礫は円礫面、割れ面ともに赤化していない。

配石79 (図102) L1610区、微高地上の西端、谷に向かって傾斜し始めるところで出土した。出土層は3a層である。礫群56の東側に含まれており、配石78と接している。1550gの砂岩の円礫で、割れているが、これに接合する礫はない。表面、割れ面ともに赤化していない。

配石80 (図102) L1610区、微高地上の西端、谷に向かって傾斜し始めるところで出土した。出土層は3a層である。礫群56の東端に含まれている。礫群56の東端にある。2480gの花崗岩の完形礫で赤化していない。

配石83 (図102) L1610区、微高地上の西端、谷に向かって傾斜し始めるところで出土した。出土層は3a層である。礫群56南東側に含まれている。礫群56の南端にある。974gの砂岩の完形礫で、弱く赤化している。

配石84 (図102) L1610区、微高地上の西端、谷に向かって傾斜し始めるところ、微高地の西際で出土した。出土層は3a層である。礫群56の中央付近に含まれている。1500gの砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石85 (図102) L1610区、微高地上の西端、谷に向かって傾斜し始めるところで出土した。出土層は3a層である。礫群56の中央よりやや南の礫がもっとも集中する部分に含まれている。1690gの砂岩の円礫で、割れており、表面、割れ面ともに弱く赤化している。礫群59の礫5点と礫群外の礫1点と接合する。この配石に接合する礫は6点とも表面、割れ面ともに赤化していない。礫群56の礫が密集する部分にありながら、礫群56の礫と接合せずに、礫群56の北約6mにある礫群59の礫5点と接合しているのが特徴である。

配石86 (図102) L1610区、微高地上の西端、谷に向かって傾斜し始めるところで出土した。出土層は3a層である。礫群56の南側に含まれる。1040gの砂岩の円礫で、割れているが、これに接合する礫はない。表面は赤化しているが、割れ面は赤化していない。

配石 72 (図 103) L 1605 区、微高地上の西端で、3a 層から出土した。礫群 57 のやや北側に含まれる。1780 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。やや細長い礫で立った状態で出土した。

配石 81 (図 103) L 1605 区、微高地上の西端で、3a 層から出土した。礫群 57 の南側に含まれる。1040 g の砂岩の円礫でわずかに割れているが、これに接合する礫はない。わずかに赤化しているが、割れ面は赤化していない。

配石 82 (図 103) L 1605 区、微高地上の西端で、3a 層から出土した。礫群 57 の南側に含まれる。2270 g の砂岩の完形礫で、わずかに赤化している。

配石 102 (図 104) L 1724 区、礫群 60 の西側、微高地上で 3a 層から出土した。この配石の南 80 cm に配石 103 がある。1750 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 103 (図 104) L 1724 区、礫群 60 の西側、微高地上で 3a 層から出土した。この配石の北 80 cm に配石 102 がある。1510 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 100 (図 105) L 1720 区、3a 層で出土した。礫群 62 の礫の集中部に含まれている。1250 g の砂岩の完形礫で、赤化している。

配石 98 (図 106) L 1715 区、3a 層で出土した。礫群 64 の西端、礫群のはずれといった所に含まれている。2830 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 101 (図 106) L 1715 区、3a 層で出土した。礫群 64 の南端に含まれている。1890 g のチャートの完形礫で赤化していない。

配石 142 (図 106) M 1706 区、微高地上で、3a 層から出土した。礫群 65 に含まれている。1008 g の花崗岩の完形礫で赤化していない。

配石 143 (図 106) M 1706 区、微高地上で、3a 層から出土した。礫群 65 に含まれている。3260 g の砂岩の完形礫で赤化していない。細長い礫で立った状態で出土した。

配石 145 (図 107) M 1708 区、微高地上で、3a 層から出土した。礫群 71 の南端、礫群のはずれに含まれている。やや細長い礫で立った状態で出土した。5350 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 146 (図 107) M 1708 区、微高地上で、3a 層から出土した。礫群 71 の中央付近に含まれている。905 g の砂岩の円礫で、割れているが、これに接合する礫はない。赤化しており、割れ面も赤化している。

配石 147 (図 107) M 1708 区、微高地上で、3a 層から出土した。礫群 71 の西側に含まれている。1880 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 144 (図 108) M 1603 区、微高地上で 3 b 層から出土した。礫群 69 の中央付近に含まれている。919 g の砂岩の完形礫でわずかに赤化している。

配石 60 (図 109) K 1617 区、微高地から谷に向かう緩斜面、3 b 層上面で出土した。エリア 3 で一番西にある配石である。礫群 75 の中央よりもやや南側に含まれている。902 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

以下の配石 87～93 は礫群 76 から出土している。分布は礫群の北側に偏っており、1カ所に集めたような状態で出土している。

配石 87 (図 110) L 1614 区、微高地から谷に向かって下り始めるあたりで、3 b 層から出土した。礫群 76 の北側に含まれている。1670 g の砂岩の円礫で、割れ面に、礫群 76 の礫 2 点と礫群外ある配石 76 が接合する。配石 87、接合する 2 点の礫とも表面、割れ面は赤化していない。

配石 88 (図 110) L 1614 区、微高地から谷に向かって下り始めるあたりで、3 b 層から出土した。礫群 76 の北側に含まれている。1000 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 89 (図 110) L 1614 区、微高地から谷に向かって下り始めるあたりで、3 b 層から出土した。礫

群76の北側に含まれている。1050 gの砂岩の円礫で、割れているが、これに接合する礫はない。表面、割れ面ともに赤化している。

配石90 (図110) L 1614区、微高地から谷に向かって下り始めるあたりで、3 b層から出土した。礫群76の北側に含まれている。1348 gの砂岩の円礫で、礫群76の礫が1点接合する。接合する礫ともに表面、割れ面が赤化している。

配石91 (図110) L 1614区、微高地から谷に向かって下り始めるあたりで、3 b層から出土した。礫群76の北側に含まれている。3110 gの砂岩の完形礫で赤化していない。

配石92 (図110) L 1614区、微高地から谷に向かって下り始めるあたりで、3 b層から出土した。土坑6の中から出土した。1040 gの花崗岩の完形礫で赤化していない。

配石93 (図110) L 1614区、微高地から谷に向かって下り始めるあたりで、3 b層から出土した。礫群76に含まれている。花崗岩の完形礫で赤化していない。

配石63 (図111) L 1602区、微高地から谷に向かう緩斜面、3 b層で出土した。礫群77の礫が密集する部分に含まれる。1001 gの花崗岩の完形礫で、赤化していない。

配石64 (図111) L 1602区、微高地から谷に向かう緩斜面、3 b層で出土した。礫群77の礫が密集する部分に含まれる。1022 gのチャートの完形礫で、赤化している。

配石65 (図111) L 1602区、微高地から谷に向かう緩斜面、3 b層で出土した。礫群77の礫が密集する部分に含まれる。925 gの砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石66 (図111) L 1602区、微高地から谷に向かう緩斜面、3 b層で出土した。礫群77の礫が密集する部分に含まれる。1000 gの砂岩の円礫で、割れているが、これに接合する礫はない。表面、割れ面ともに赤化している。

配石67 (図111) L 1602区、微高地から谷に向かう緩斜面、3 b層で出土した。礫群77の礫が密集する部分に含まれる。1168 gの砂岩の円礫で、割れ面に礫群77の礫2点が接合する。配石67とこれに接合する礫ともに表面は赤化しているが、割れ面は赤化してない。

以下の配石107～127は礫群78に含まれており、礫群78の中央部に多重に円弧を描くように分布している。すべて微高地、3 b層からの出土である。

配石107 (図112) M 1603区で出土した。礫群78の西側にあり、他の配石とはやや離れた場所にある。1230 gの砂岩の完形礫で、わずかに赤化している。

配石108 (図112) M 1603区で出土した。配石109と配石111に隣接している。919 gの砂岩の完形礫で、わずかに赤化している。

配石109 (図112) M 1603区で出土した。904 gの砂岩の完形礫で、わずかに赤化している。

配石110 (図112) M 1603区で出土した。礫群78の一番南にあり、この礫群の中で、他の礫に比べてやや浮いた状態で出土している。この礫群には含まれないのかもしれない。1680 gの花崗岩の完形礫で、赤化していない。

配石111 (図112) M 1604区で出土した。配石108に隣接している。1270 gの砂岩の円礫で、礫群78の礫1点が接合する。この配石は表面、割れ面とも赤化しているが、接合する礫は表面、割れ面とも赤化していない。

配石112 (図112) M 1604区で出土した。礫群78の中央部にある。1090 gの花崗岩の完形礫で赤化している。

配石113 (図112) M 1604区で出土した。礫群78の中央やや東よりにあり、配石114と接している。1280 gの砂岩の完形礫で、弱く赤化している。

配石114 (図112) M 1604区で出土した。礫群78の中央やや東よりにあり、配石113と接している。

1370 gの頁岩の完形礫で、赤化している。

配石 115 (図 112) M 1604 区で出土した。礫群 78 の中央やや東よりにあり、配石 120 と接している。1190 g の砂岩の完形礫で弱く赤化している。

配石 116 (図 112) M 1604 区で出土した。礫群 78 の礫集中部の北側にある。1520 g の花崗岩の完形礫で、赤化していない。

配石 117 (図 112) M 1604 区で出土した。礫群 78 の東端にある。989 g の砂岩の完形礫で、弱く赤化している。

配石 118 (図 112) M 1604 区で出土した。礫群 78 の南側にある。975 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 119 (図 112) M 1604 区で出土した。礫群 78 に東側にあり、やや細長い形で、立った状態で出土した。983 g の砂岩の完形礫で、弱く赤化している。

配石 120 (図 112) M 1604 区で出土した。礫群 78 の中央やや東側で、配石 115 と接している。1680 g の砂岩の完形礫で、弱く赤化している。

配石 121 (図 112) M 1604 区で出土した。礫群 78 の中央やや東よりにあり、配石 115 に近接している。1010 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 122 (図 112) M 1604 区で出土した。礫群 78 の東側にある。やや細長い円礫で立った状態で出土した。1040 g チャートの完形礫で赤化していない。

配石 123 (図 112) M 1604 区で出土した。礫群 78 の礫集中部の南側にある。1050 g の砂岩の完形礫で、弱く赤化している。

配石 124 (図 112) M 1604 区で出土した。礫群 78 の南端にある。1020 g の砂岩の完形礫で、弱く赤化している。

配石 125 (図 112) M 1604 区で出土した。礫群 78 の南側にあり、配石 126 と接している。1170 g の砂岩の完形礫で、弱く赤化している。

配石 126 (図 112) M 1604 区で出土した。礫群 78 の南側にあり、配石 125 と接している。1400 g の砂岩の完形礫で、赤化している。

配石 127 (図 112) M 1604 区で出土した。礫群 78 の南側にある。1200 g の砂岩の完形礫で、赤化している。

以上の配石 107～127 が礫群 78 に含まれている配石である。礫群の中にあるためか、21 点中 16 点が赤化している。赤化している配石と赤化していない配石の分布の偏りは、特に見られない。破砕の点では、配石以外の礫はほとんどが割れているのに対して配石で割れているのは 21 点中 1 点だけである。礫群の構成礫でありながら、配石ではない礫と異なる属性を示している。

配石 167 (図 113) N 1601 区、3 b 層から出土している。礫群 79 の中層部に含まれている。936 g の砂岩の円礫で、割れており、礫群 79 の礫が 1 点接合する。配石 167 とこれに接合する礫ともに表面は赤化しているが、割れ面は赤化していない。

配石 153 (図 113) M 1718 区、微高地上で 3 b 層から出土した。礫群 80 に含まれている。1050 g の砂岩の円礫で礫群 80 の礫が 1 点接合する。配石 153 とこれに接合する礫ともに表面、割れ面ともに赤化している。

配石 154 (図 113) M 1718 区、微高地上で 3 b 層から出土した。礫群 80 の北東端にあり、礫の集中域からはずれている。1469 g の花崗岩礫で、配石 160 と礫群 80 の礫 1 点と接合する。配石 154 は表面、割れ面ともに赤化しているが、これに接合する配石 160 と礫群 80 の礫 1 点は表面、割れ面ともに赤化していない。

配石 155 (図 113) M 1718 区、微高地上で 3 b 層から出土した。礫群 80 に含まれている。2188 g の砂岩の完形礫でわずかに赤化している。

配石 156 (図 113) M 1718 区、微高地上で 3 b 層から出土した。礫群 80 の礫集中部に含まれている。1840 g の砂岩で、礫群 80 の礫 5 点と礫群外礫 1 点が接合する。配石 156 は表面が赤化しており、割れ面は赤化していない。接合する礫は表面が赤化している礫が 5 点、割れ面が赤化している礫が 2 点である。この 2 点は表面も赤化している。

配石 157 (図 113) M 1718 区、微高地上で 3 b 層から出土した。礫群 80 の礫集中部に含まれている。1370 g の砂岩の完形礫で赤化している。

配石 159 (図 113) M 1722 区、微高地上で 3 b 層から出土した。礫群 80 の礫集中部南端に含まれている。1745 g の砂岩礫で、赤化していない。割れており、配石 161 と礫群 80 の礫 2 点が接合する。接合する礫 1 点が表面、割れ面が弱く赤化している他は、表面、割れ面ともに赤化していない。

配石 160 (図 113) M 1723 区、微高地上で 3 b 層から出土した。礫群 80 の南側に含まれている。1342 g の花崗岩で、礫群 80 の構成礫が 1 点接合する。配石 160、接合する礫ともに表面、割れ面は赤化していない。

配石 161 (図 113) M 1723 区、微高地上で 3 b 層から出土した。礫群 80 の南側に含まれている。1825 g の砂岩で、配石 159、礫群 80 の礫 2 点と接合する。接合する礫 1 点が表面、割れ面が弱く赤化している他は、この配石を含めて表面、割れ面ともに赤化していない。

配石 149 (図 115) M 1710 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 85 に含まれている。礫群 85 の礫 2 点が接合する。配石 149、接合する礫 2 点すべてが表面、割れ面ともに赤化している。

配石 141 (図 115) M 1705 区、微高地上で 3 b 層から出土した。礫群 87 の南端に含まれる。3900 g のチャートの完形礫で赤化していない。

配石 61 (図 116) K 1620 区、微高地から谷に向かう緩斜面で、3 a 層から出土した。配石 62 と接している。7390 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 62 (図 116) K 1620 区、微高地から谷に向かう緩斜面で、3 a 層から出土した。配石 61 と接している。1650 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 68 (図 116) L 1603 区、微高地から谷に向かって下り始めるあたりで、3 a 層から出土した。礫群 77 に隣接している。1290 g の砂岩礫で、赤化していない。わずかに割れているが、これに接合する礫はない。

配石 69 (図 116) L 1604 区、微高地から谷に向かって下り始めるあたりで、3 b 層から出土した。礫群 77 と礫群 56 の間にある。5160 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 70 (図 116) L 1605 区、微高地の内端で 3 a 層から出土した。配石 71 と礫群 57 に近接している。3230 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。南西側に小礫 1 点を伴っている。

配石 71 (図 116) L 1605 区、微高地の西端で 3 a 層から出土した。配石 70 と礫群 57 に近接している。1110 g の砂岩の完形礫で、激しく赤化している。周囲に 5 点の礫を伴っていることから、礫群にしても良いかもしれない。

配石 73 (図 116) L 1608 区、微高地から谷に向かって下り始めるあたりで、3 b 層から出土した。2079 g のチャートで、赤化している。北西約 5 m に礫群 77 があり、その構成礫 7 点と、礫群 77 付近にある礫群外礫 2 点と接合する。接合する礫は、礫群外礫 1 点を除いて赤化しており、そのうち 6 点は激しく赤化している。この配石も赤化している。

配石 74 (図 116) L 1609 区、微高地から谷に向かって下り始めるあたりで、3 a 層から出土した。礫群 56 に近接している。2155 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

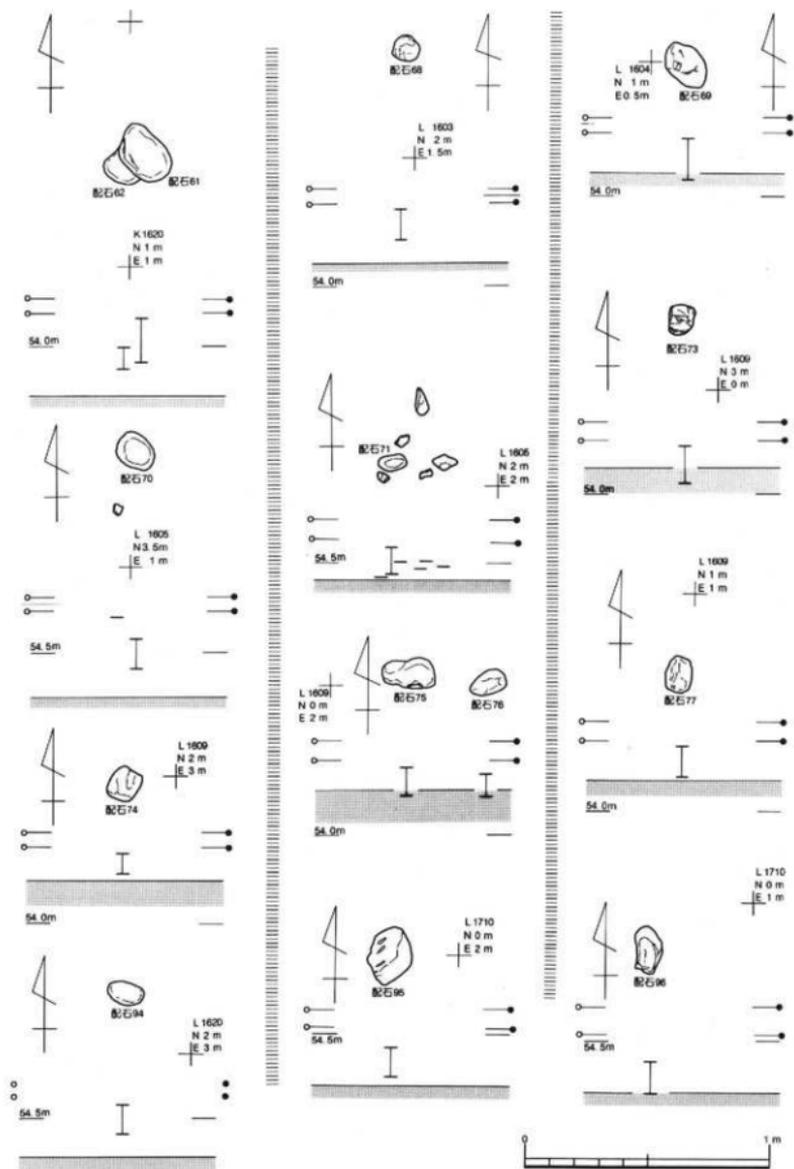


図116 配石実測図4 (1/20)

配石 75 (図 116) L 1609 区、微高地から谷に向かって下り始めるあたりで、3 b 層から出土した。配石 76 と礫群 56 に近接している。4390 g の砂岩礫で、わずかに赤化している。北約 2 m で出土した礫が 1 点接合する。

配石 76 (図 116) L 1609 区、微高地から谷に向かって下り始めるあたりで、3 b 層から出土した。配石 76 と礫群 56 に近接している。1188 g の砂岩の礫で、礫群 76 にある配石 87 と礫群 76 の礫 2 点と接合する。いずれも表面、割れ面とも赤化していない。

配石 77 (図 116) L 1609 区、微高地から谷に向かって下り始めるあたりで、3 a 層から出土した。1910 g のチャートの完形礫で赤化していない。

配石 94 (図 116) L 1620 区、微高地の西端、3 a 層から出土した。礫群 50 の南西にある。1395 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 95 (図 116) L 1710 区、微高地上で 3 a 層から出土した。配石 96 に近接している。5050 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 96 (図 116) L 1615 区、微高地上で 3 a 層から出土した。配石 95 に近接している。2660 g の頁岩で、割れているが、これに接合する礫はない。表面が赤化しており、割れ面は赤化していない。

配石 97 (図 117) L 1715 区、微高地上で 3 a 層から出土した。やや細長い円礫で、立った状態で出土した。周囲に 3 点の小礫を伴っているが、相互に接合はしない。配石は 3650 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 99 (図 117) L 1716 区、微高地から谷に向かう緩斜面で 3 a 層から出土した。周囲に遺物はほとんどなく、一番近い礫群 77 まで約 6 m ある。1200 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 102 (図 117) L 1724 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 61 に近接しており、南 60 cm には配石 103 がある。1890 g のチャートの完形礫で赤化していない。

配石 103 (図 117) L 1724 区、微高地上で 3 a 層から出土した。細長い礫で、立った状態で出土した。礫群 61 に近接しており、北 60 cm には配石 102 がある。1510 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 104 (図 117) L 1725 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 59、61 に近接している。1120 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 106 (図 117) M 1503 区、微高地上で 3 a 層から出土した。底面は、3 b 層にわずかに入り込んでいる。調査区の南端で出土しており、礫群 45 の南に近接している。1450 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 128 (図 117) M 1606 区、微高地上で 3 a 層から出土した。配石 128 と礫群 54、ブロック 11 に近接している。すぐ東側に礫を 1 点伴っているが、配石が完形のため、接合はしない。配石は 2500 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 129 (図 117) M 1606 区、微高地上で 3 a 層から出土した。細長い礫で、立った状態で出土した。配石 128 と礫群 54、ブロック 11 に近接している。2540 g の花崗岩の完形礫で赤化していない。

配石 130 (図 117) M 1607 区、微高地上で 3 a 層から出土した。やや細長い礫で、立った状態で出土した。ブロック 11 の範囲内で出土した。南側 30 cm に配石 132 があり、南西側 90 cm には配石 131 がある。1670 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 131 (図 117) M 1607 区、微高地上で 3 a 層から出土した。ブロック 11 の範囲内で出土した。東側約 70 cm に配石 132 と配石 130 がある。2520 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 132 (図 117) M 1607 区、微高地上で 3 a 層から出土した。ブロック 11 の範囲内で出土した。北側 30 cm に配石 130 があり、西側約 70 cm には配石 131 がある。4140 g の砂岩の完形礫で赤化している。配石 130、131 とともに一群をなしているかのようで、この配石だけが赤化している。

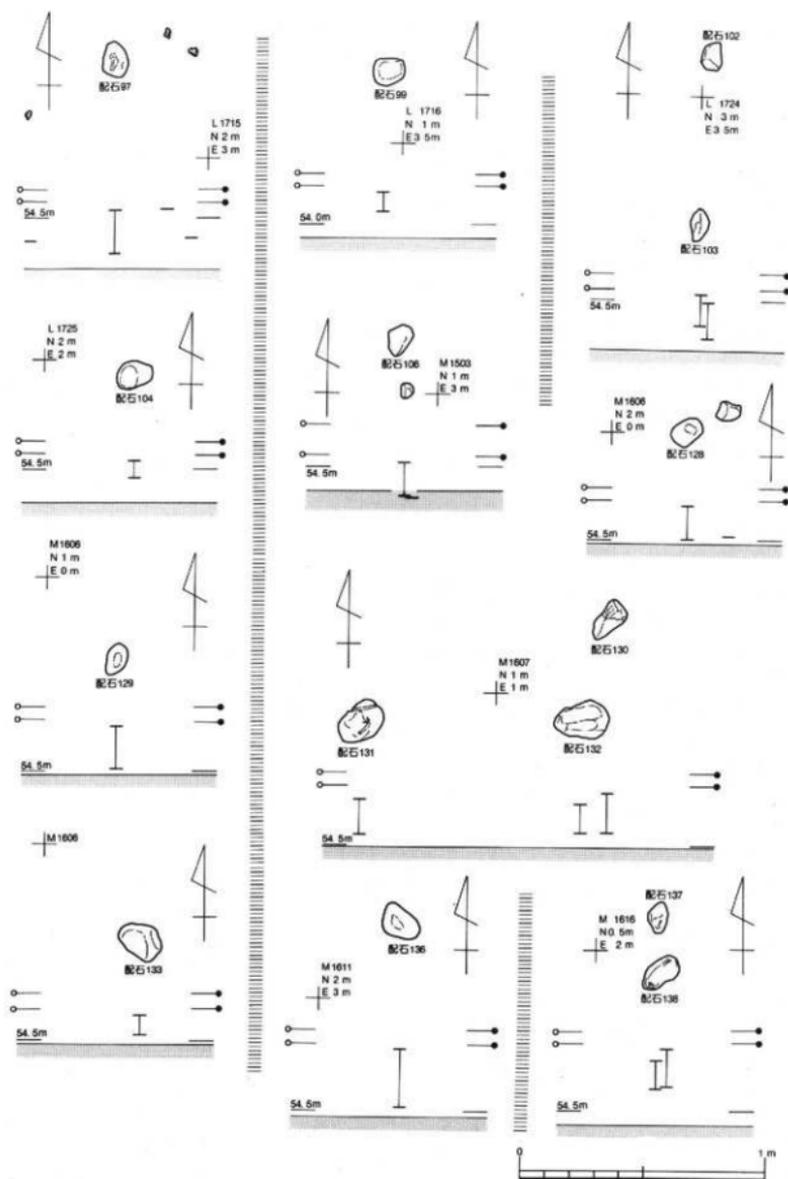


図 117 配石実測図 5 (1/20)

配石 133 (図 117) M 1611 区、微高地の西端近くで 3 a 層から出土した東側 1 m に礫群 52 があり、南東側 1.3 m に礫群 51 がある。2270 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 136 (図 117) M 1611 区、微高地の西端近くで 3 a 層から出土した。配石 133 と礫群 51、52 に近接している。10730 g の大きな砂岩の完形礫でわずかに赤化している。

配石 137 (図 117) M 1616 区、微高地上で 3 a 層から出土し、配石 138 に近接する。細長い円礫で、立った状態で出土した。周囲に遺物は少なく、一番近い遺構は、北東約 4 m に礫群 50 がある。1130 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 138 (図 117) M 1616 区、微高地上で 3 a 層から出土し、配石 134 に近接する。周囲に遺物は少なく、単独出土の印象が強い。一番近い遺構は、北東約 4 m に礫群 50 がある。2440 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 139 (図 118) M 1621 区、微高地上で 3 a 層から出土した。配石 137、138 に近接している。周囲に遺物は少なく、一番近い遺構は、北東約 4.5 m に礫群 50 がある。1130 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 140 (図 118) M 1701 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 69 の西側にある。細長い礫で、立った状態で出土した。周囲には石器が散在している。1320 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 148 (図 117) M 1710 区、微高地上、礫群 85 の南側で 3 b 層から出土した。扁平な円礫である。991 g の花崗岩の完形礫で、赤化していない。

配石 150 (図 118) M 1711 区、微高地上で、3 b 層から出土した。礫群 64 に近接している。1630 g の砂岩の礫で、一部が割れているが、これに接合する礫はない。表面がわずかに赤化しているが、割れ面は赤化していない。

配石 151 (図 118) M 1715 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 85 の南側で出土しており、配石 148 に近接している。3970 g の砂岩の完形礫で、赤化している。周囲に 3 点の小礫をとまっている。この小礫は配石とも、礫どうしでも接合はしない。

配石 152 (図 118) M 1717 区、微高地上で 3 b 層から出土した。ブロック 19 の中に入っている。3405 g の砂岩の完形礫で、わずかに赤化している。やや細長い礫で、立った状態で出土している。

配石 158 (図 118) M 1722 区、微高地上で 3 a 層から出土した。ブロック 12 の中に入っている。東側に配石 162 が隣接している。1270 g の砂岩で、激しく赤化している。割れており、周囲に 4 点の小礫を伴っているが、相互に接合はしない。この配石は、周囲の 4 点の礫よりも若干高い位置で出土していることから、平面図で見るとこの配石に伴うようだが、出土層位から見ると配石 158 の東側にある配石 162 に伴うものかもしれない。

配石 162 (図 118) M 1723 区、微高地上で 3 b 層から出土した。ブロック 12 の中に入っている。扁平な円礫で直立した状態で出土した。西側 40 cm に配石 158 がある。3215 g の砂岩で、激しく赤化している。割れているが、これに接合する礫はない。配石 158 の周囲に 4 点の小礫があるが、出土層位から見るとこの配石に伴う礫かもしれない。

配石 163 (図 118) M 1813 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 73 の北西で出土している。遺物集積地の北端で、遺物の分布がまばらになるところで出土している。3420 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石 164 (図 118) M 1818 区、微高地上で 3 a 層から出土した。配石 163 の南側約 1 m にある。東側約 2 m に礫群 73 がある。905 g の頁岩で、一部が割れているが、これに接合する礫はない。表面、割れ面ともに赤化していない。

配石 165 (図 118) M 1822 区、微高地上で 3 a 層から出土した。周囲には石器、礫がまばらに分布して

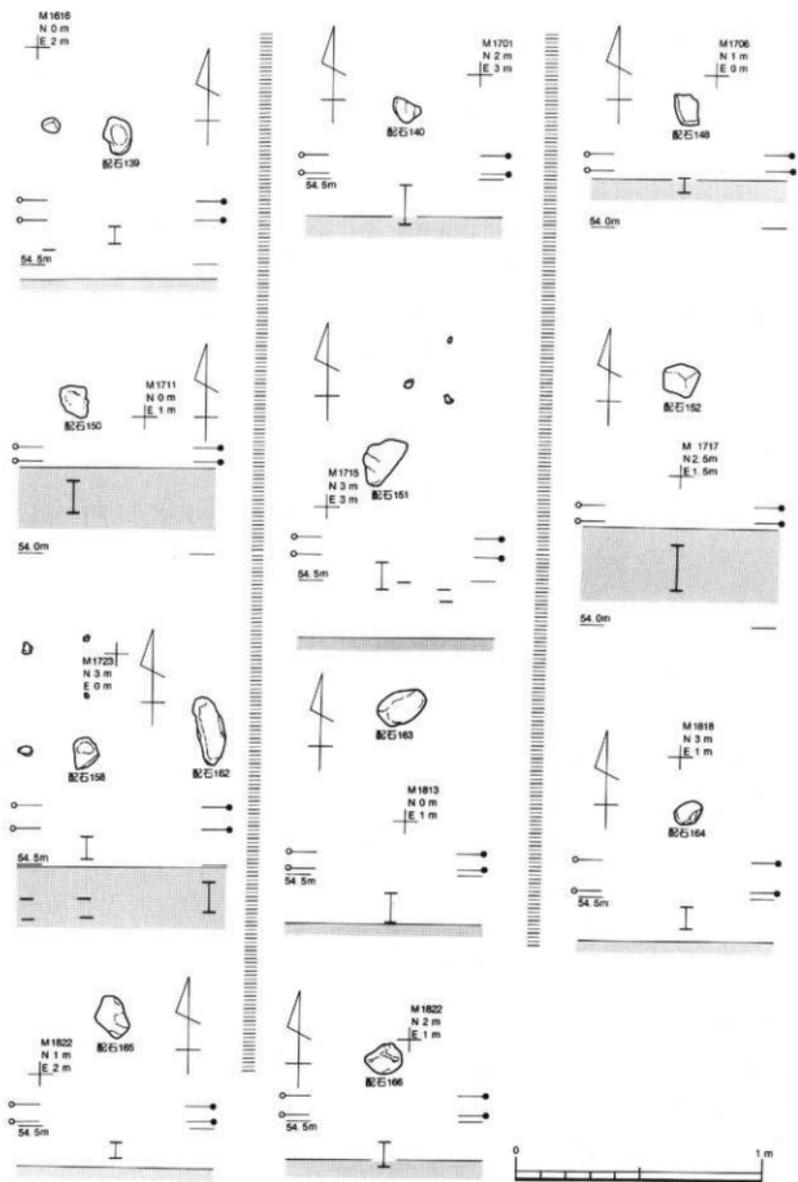


图 118 配石实测图 6 (1/20)

いる。北西側約2mに配石166がある。扁平な円礫で横になって出土している。1450gの砂岩の完形礫でわずかに赤化している。

配石166 (図118) M1822区、微高地上で3b層から出土した。3b層に底面が食い込んだような出土状態である。周囲には石器、礫がまばらに分布している。南東側約2mに配石165がある。1790gの砂岩の完形礫で赤化していない。

表14 エリア3配石の接合礫一覧1

配石番号	接合礫番号	赤化	割れ	割れ面赤化	所属
67		○	○	×	礫群77
	5023	△	○	×	礫群77
	5026	○	○	×	礫群77
73		○	○	×	礫群外礫
	4987	◎	○	◎	礫群77
	5013	◎	○	◎	礫群77
	5056	◎	○	◎	礫群77
	5062	△	○	△	礫群77
	5072	○	○	○	礫群77
	5093	◎	○	○	礫群77
	5173	◎	○	◎	礫群77
	5215	◎	○	◎	礫群外礫
	5218	×	○	×	礫群外礫
75		△	△	△	礫群外礫
	8189	△	△	△	礫群外礫
78		×	○	×	礫群56
	3158	×	○	×	礫群56
85		△	○	△	礫群56
	2535	×	○	×	礫群59
	2540	×	○	×	礫群59
	2544	×	○	×	礫群59
	2545	×	○	×	礫群59
	2554	×	○	×	礫群59
	4851	×	○	×	礫群外礫
	2464	×	○	×	礫群外礫
76		×	○	×	礫群外礫、配石87と接合
87		×	○	×	礫群76、配石76と接合
	5382	×	○	×	礫群76
	5598	×	○	×	礫群76
90		△	○	○	礫群76
	5311	△	○	△	礫群76
111		△	○	○	礫群78
	8170	×	○	×	礫群78
134		×	○	×	礫群51
	3947	△	○	△	礫群51
	3948	△	○	△	礫群51
	3951	×	○	×	礫群51
149		○	○	○	礫群85
	111	○	○	△	礫群85
	112	△	○	△	礫群85

表15 エリア3 配石の接合確一覧2

配石番号	接合確番号	赤化	割れ	割れ面赤化	所属
153		○	○	○	礫群80
	5804	○	○	△	礫群80
154		○	○	○	礫群80、160と接合
156		○	○	×	礫群80
	5853	○	○	×	礫群80
	5855	○	○	×	礫群80
	5856	◎	○	○	礫群80
	5862	×	○	×	礫群80
	5908	○	○	△	礫群80
	5876	○	○	×	礫群外礫
159		×	○	×	礫群80、159と接合
161		×	○	×	礫群80、157と接合
	5897	×	○	×	礫群80
	2094	△	○	△	礫群外礫
160		×	○	×	礫群80、154と接合
	5880	×	○	×	礫群80
167		○	○	×	礫群79
	70	○	○	×	礫群79

4 礫の接合状況

高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡を通じてもっとも多くの礫が接合している。特にLライン以東の微高地上では礫群内、礫群外で頻繁な接合が見られ、集落論の展開に重要なデータを提供し、このエリアの主要な居住域であったことを物語っている。エリア3での、Lライン以東の礫の接合状況を図119に示す。礫群間接合を列挙すると次のようになる。かっこ内の数字は接合に関わる礫群構成礫の点数で、かっこ内の礫が相互に接合し、さらに+で示した礫群の礫と接合している。

- 1 礫群45(2) + 礫群46(3)
- 2 礫群47(1) + 礫群49(2)
- 3 礫群53(1) + 礫群56(1)
- 4 礫群54(1) + 礫群57(2)
- 5 礫群54(3) + 礫群56(2)
- 6 礫群56(1) + 礫群57(5)
- 7 礫群56(1) + 礫群57(7)
- 8 礫群56(1) + 礫群57(2)
- 9 礫群56(1; 配石) + 礫群59(5) + 礫群60(1)
- 10 礫群56(2) + 礫群57(2)
- 11 礫群56(6) + 礫群58(1)
- 12 礫群59(1) + 礫群60(1) + 礫群61(1)
- 13 礫群59(1) + 礫群61(1)
- 14 礫群59(1) + 礫群61(2)
- 15 礫群60(1) + 礫群61(1)
- 16 礫群60(4) + 礫群61(1)
- 17 礫群60(2) + 礫群61(1)
- 18 礫群60(1) + 礫群61(2)

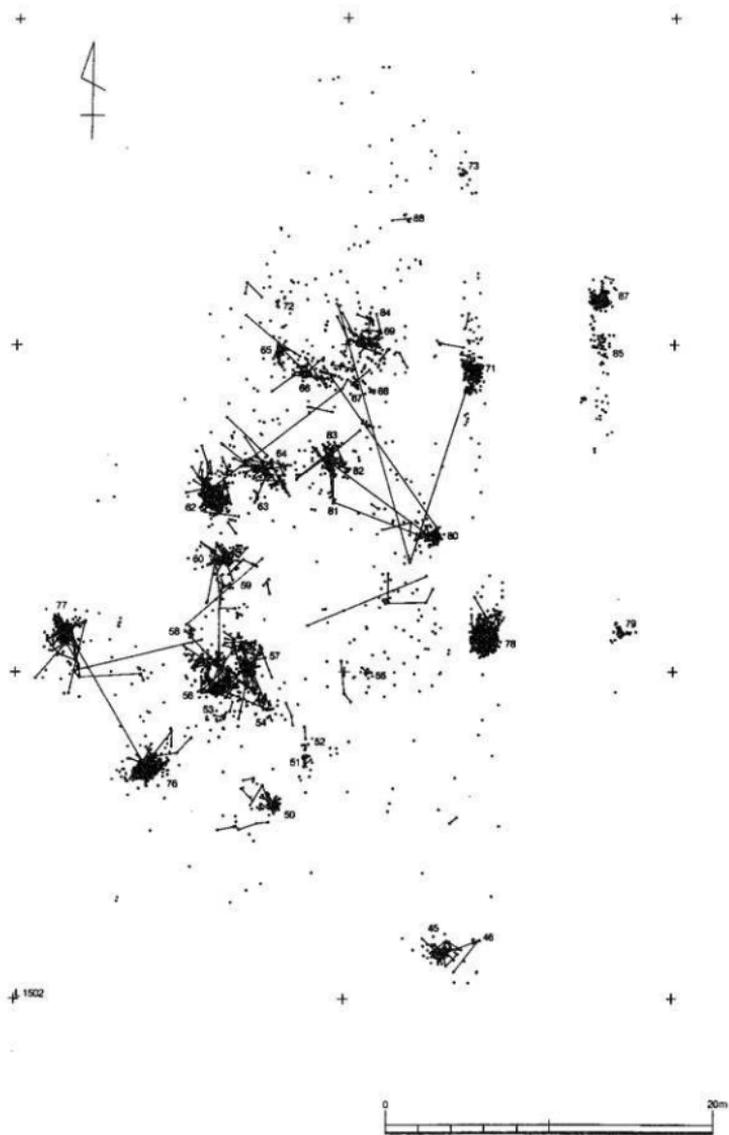


図119 エリア3 礁接合状況 (1/300、数字は礁群番号)

- 19 礫群 62 (1) + 礫群 64 (1)
- 20 礫群 62 (3) + 礫群 66 (1) + 礫群 69 (1)
- 21 礫群 63 (3) + 礫群 64 (1)
- 22 礫群 65 (1) + 礫群 66 (1)
- 23 礫群 65 (1) + 礫群 66 (1)
- 24 礫群 66 (1) + 礫群 69 (1)
- 25 礫群 66 (1) + 礫群 80 (8) + 礫群 82 (2) + 礫群 83 (1)
- 26 礫群 67 (1) + 礫群 69 (1)
- 27 礫群 69 (1) + 礫群 84 (3)
- 28 礫群 69 (2) + 礫群 84 (1)
- 29 礫群 70 (1) + 礫群 71 (1)
- 30 礫群 70 (2) + 礫群 71 (1)
- 31 礫群 70 (1) + 礫群 71 (2)
- 32 礫群 70 (3) + 礫群 71 (1)
- 33 礫群 70 (1) + 礫群 71 (2)
- 34 礫群 76 (2) + 礫群 77 (4)
- 35 礫群 80 (1) + 礫群 81 (1)
- 36 礫群 81 (1) + 礫群 83 (4)
- 37 礫群 82 (2) + 礫群 83 (1)
- 38 礫群 90 (1) + 礫群 91 (1)

以上のように、38例の礫群間接合が認められる。近接した礫群どうしの接合が多いが、10m程の距離を隔てた接合もいくつか見られる。礫群間接合の最長距離は礫群66と礫群80の12mである。礫群外礫どうしの接合では、礫群80の南西の礫と礫群84の北西の礫が接合した16.5mの例が最長である。礫群間接合が頻繁に認められる状況から、これらの礫群は近接した時期に形成されたと考えられる。

さらに、礫群間接合のまとまりを見ると、礫群60以南で接合するグループと礫群80、62以北で接合するグループに分けることができる。これがサブエリアを3-1と3-2に分割した根拠の1つである。これに対して礫群外礫では、接合した例が少ない。

次に礫群内とその周辺の礫同士の接合を見る。礫群45、46とその付近(図120)では、周辺に礫が少ない所で、礫群45の内部接合がほとんどである。礫群45と46の間で1例接合している。礫群46は、構成礫の数が少ないこともあるが、礫群内接合はあまり見られず、礫群45、礫群外礫との接合が目立っている。礫群50付近(図120)でも周辺に礫が少ない所で、礫群51では、配石137と礫群構成礫が接合している。礫群50でも内部接合が多く見られる。この一方で、礫群52では内部接合が認められない。

礫群85～87付近(図121)では礫群87の内部接合が多いのに対して、礫群85では内部接合が少ない。近接した礫群ではあるが、互いに孤立した存在である。礫群47、49付近(図120)は、礫が少ないが、礫群外礫どうしが2～4mの距離を隔てて接合しているのが目立つ。

礫群56、57付近(図122)では、多数の礫群内接合が認められる。礫群56と礫群57は隣接した礫群で、当初、同じ礫群の可能性も考えていたが、礫の接合関係を見ると、礫群56と礫群57それぞれの中での接合がまとまり、逆に言えば、礫群56と礫群57の間で接合関係があまり認められなかったことから、両者の間にある空間を隔てて2つの礫群と考えた。礫群56では、南側に礫群内接合が集中している。この場所で割れた礫があまり動いていないということであろう。これに対して、北側では接合例が少ない。同じ礫群の中で接合のあり方が対照的で、礫群の形成過程の復原に関して重要な資料となるで

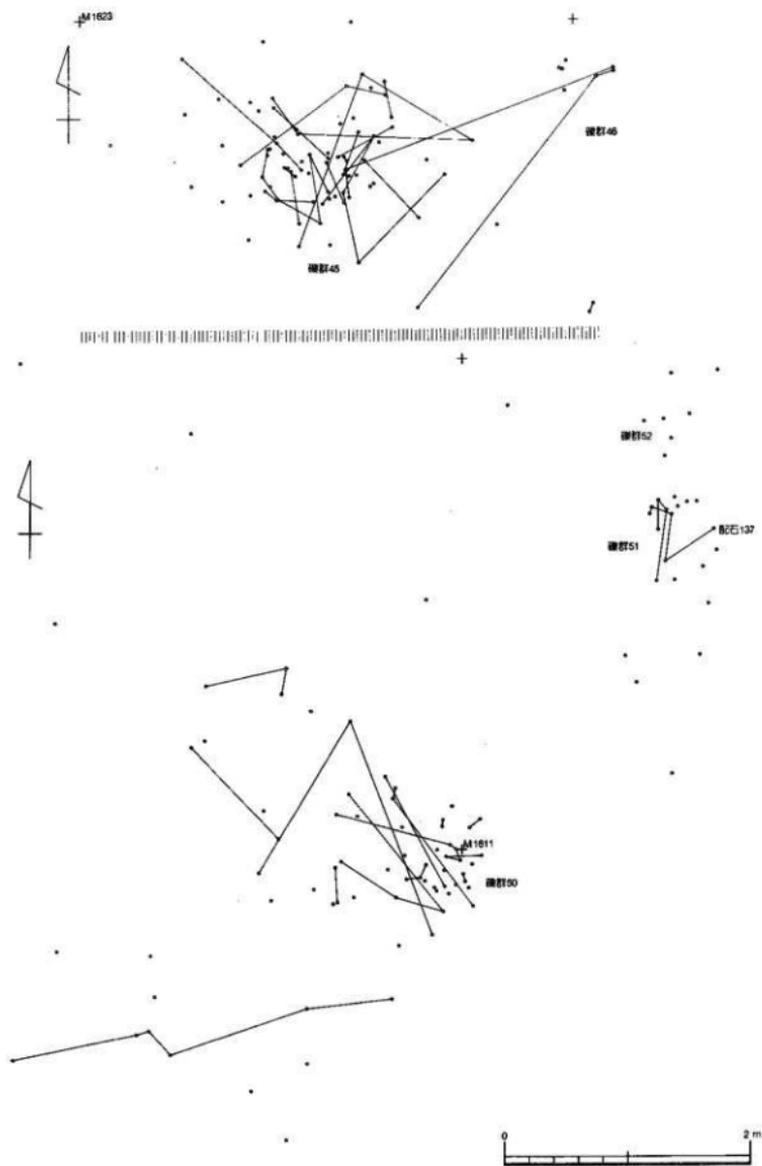


图 120 M1503、M1611 区附近接触状况 (1/40)

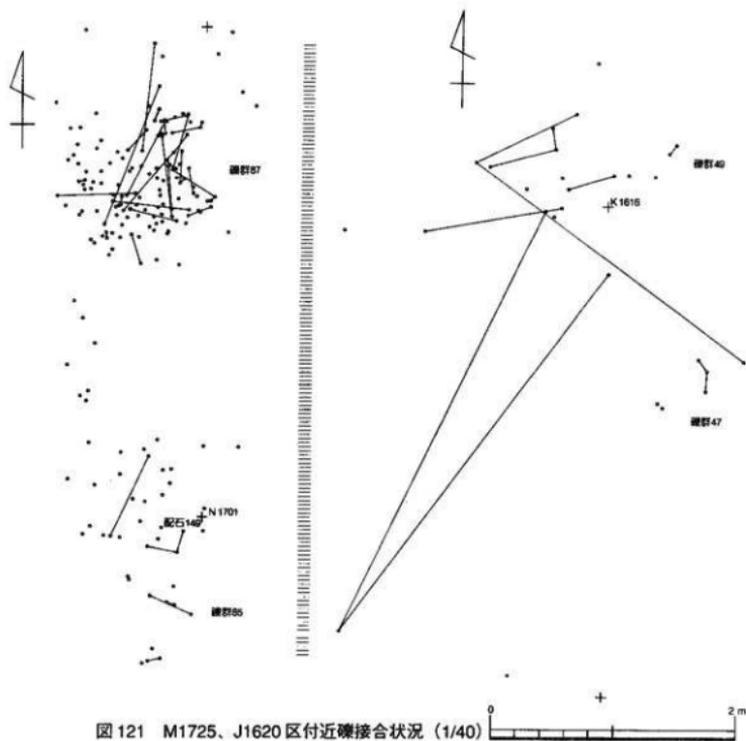


図 121 M1725、J1620 区付近礫接合状況 (1/40)

あろう。礫群 56、57 では多くの礫が接合しているのに対して、礫群 58、53 は礫群内接合がわずかに認められるだけである。礫群 54 は礫群 56、57 と礫群間接合を持っている。

礫群 60 付近 (図 123) では、礫群 60 と隣り合った礫群 59 との間で礫群間接合が認められる。礫群 60 では内部接合が多く見られるのに対して、礫群 59 では構成礫数が少ないこともあり、内部接合は少ない。礫群 56 と 57 では、礫群間接合が 1 例見られる以外は、それぞれの礫群内での接合にとどまっている。礫群 56 は破砕率が 86% と低い訳ではないが、礫群内接合の数を少ない点を指摘できる。破砕率が高い反面で内部接合が少ないということは、礫群構築当初から割れた礫を集めたことが考えられ、礫群の形成過程を考えるうえで示唆することが多い。図 123 を見ても礫群 58 は、礫群内外の接合が極めて少なく、孤立的な礫群である。

礫群 62 ~ 64 付近 (図 124) では、礫群 63 と礫群 64 の間で礫群間接合が 1 例見られるだけで、あとは礫群内接合が多く見られる。相互に独立した礫群ということが出来る。礫群 62、64 の内部接合では、ともに北西、南東方向の方向性が見られる。

礫群 65 ~ 69 付近 (図 125) では、小規模な礫群が近接して分布しており、礫群 65 と礫群 66、礫群 69 と礫群 84 といった隣り合った礫群間で礫が接合している。礫群内では、礫群 65 以外では構成礫数の割には少ない。また、礫群とその周辺の礫群外礫との接合が比較的多いのも特徴である。

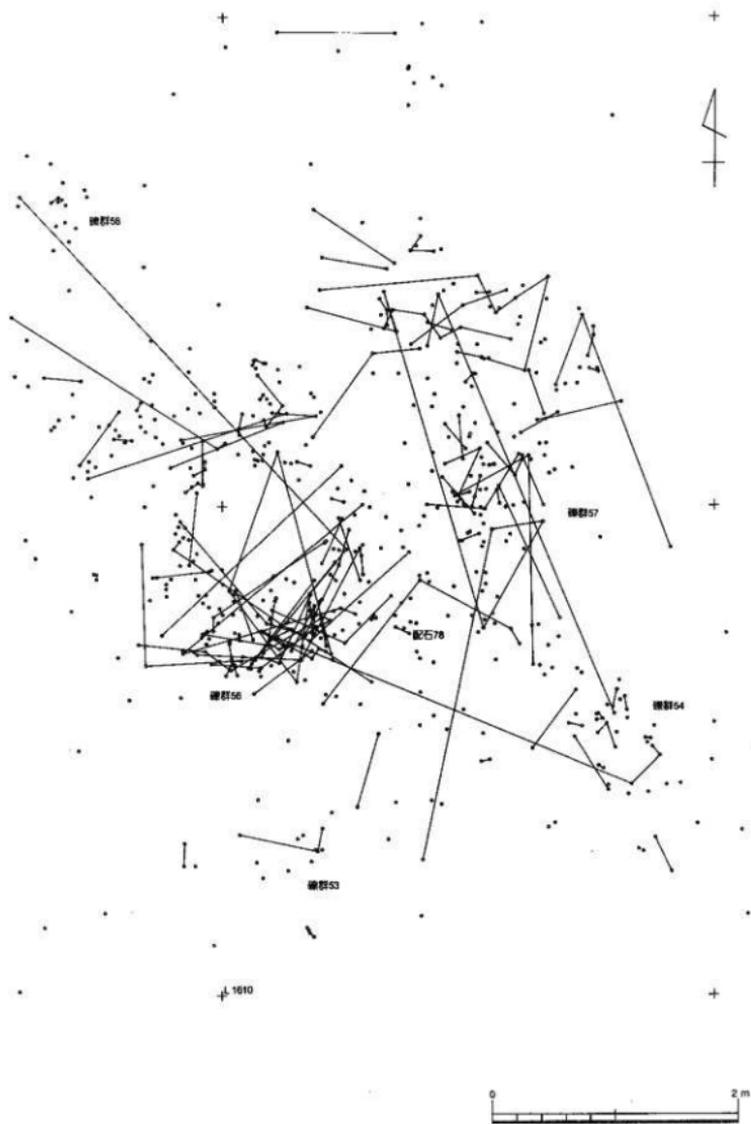


图 122 L1610 区附近接触状况 (1/40)

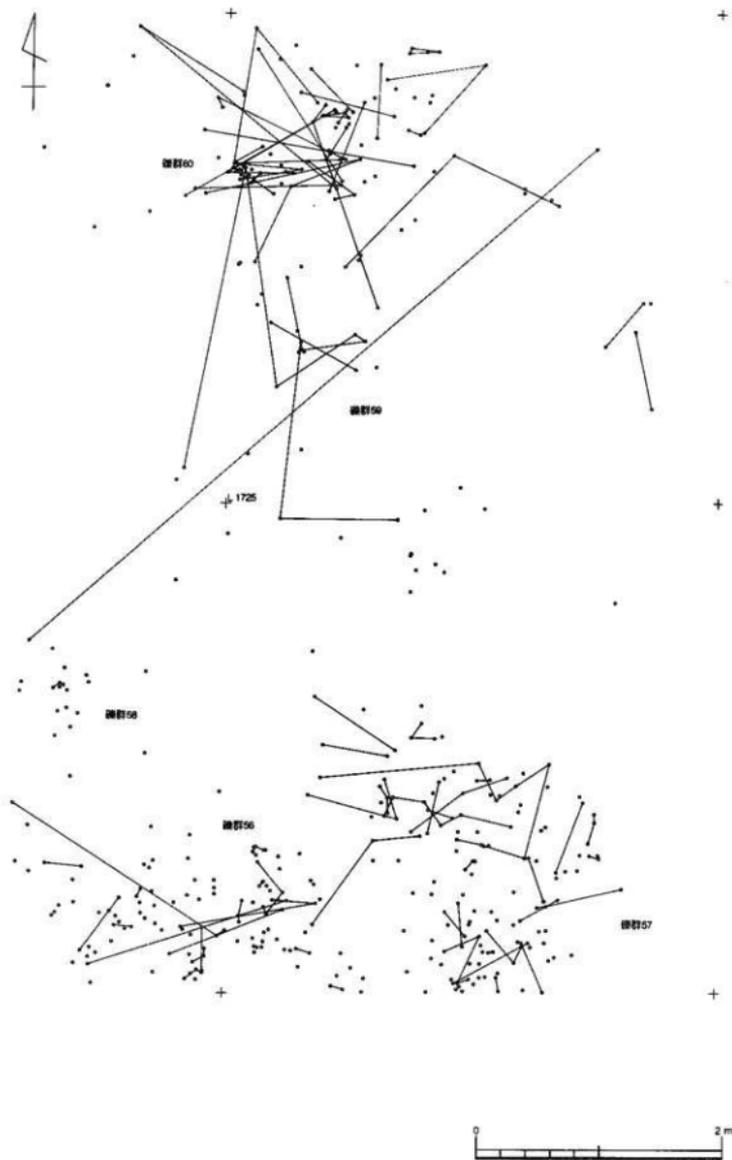


図 123 L1725 区付近継接合状況 (1/40)

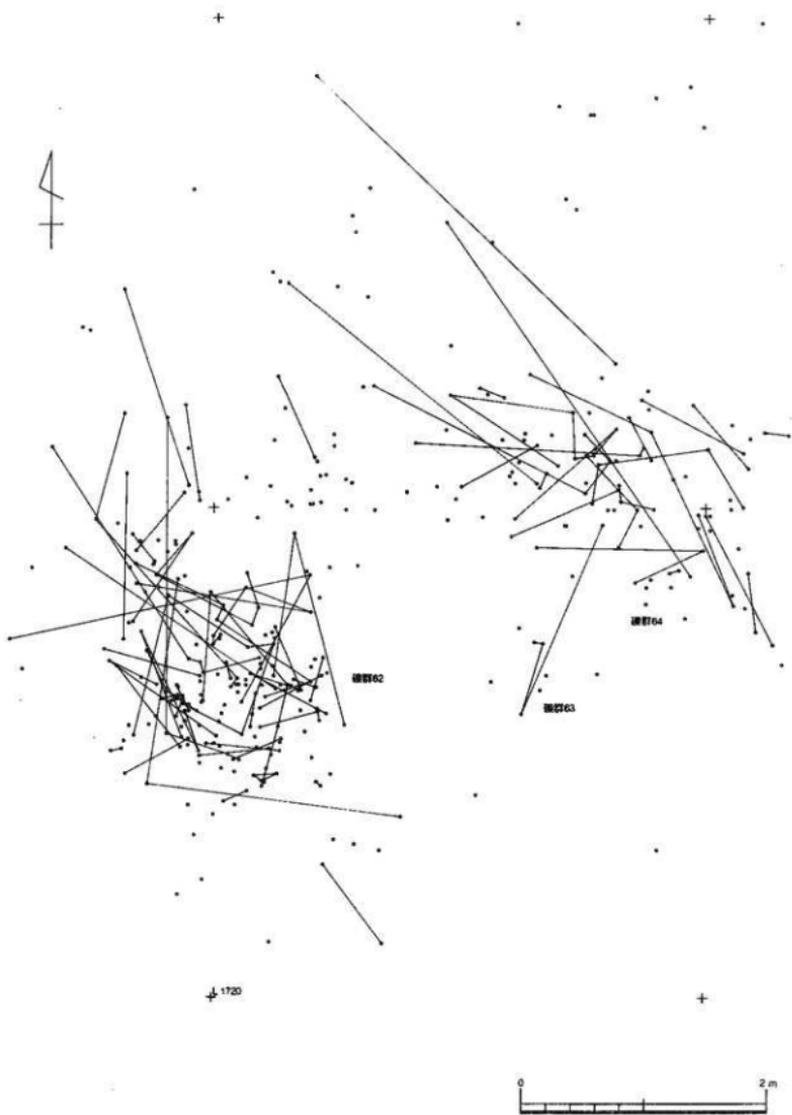


图 124 L1720 区附近裂隙接合状况 (1/40)

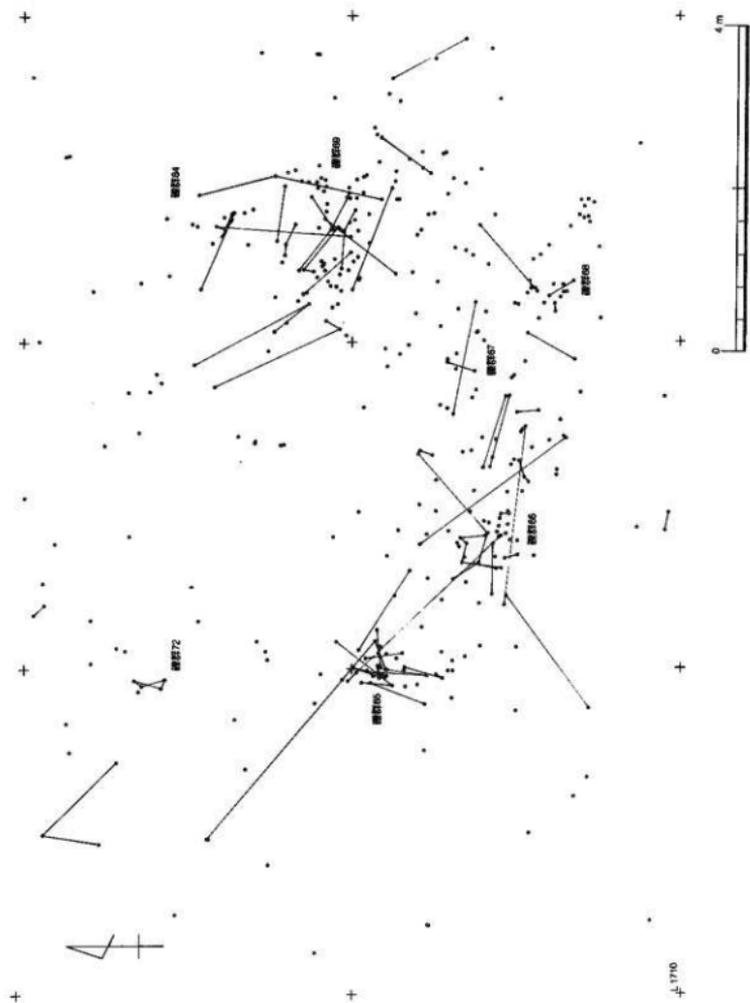


图 125 M1706 区付近隣接合状況 (1/60)

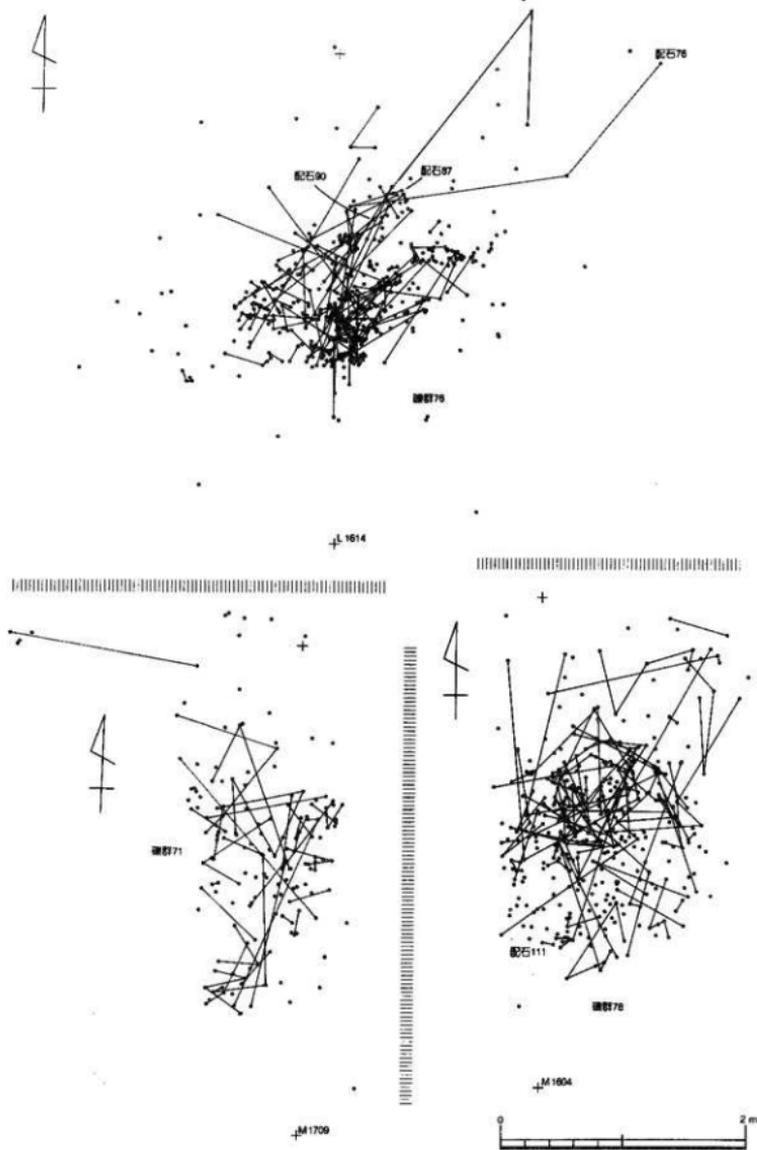


图 126 L1613、M1708、M1604 区附近接触状况 (1/40)

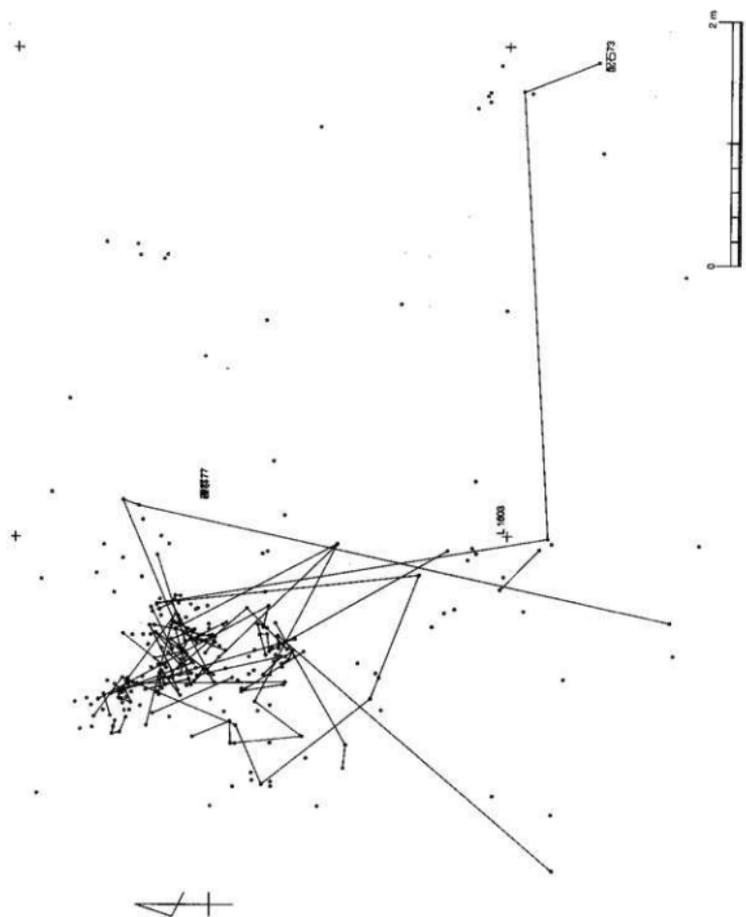


图 127 L1602 区附近连接状况 (1/40)

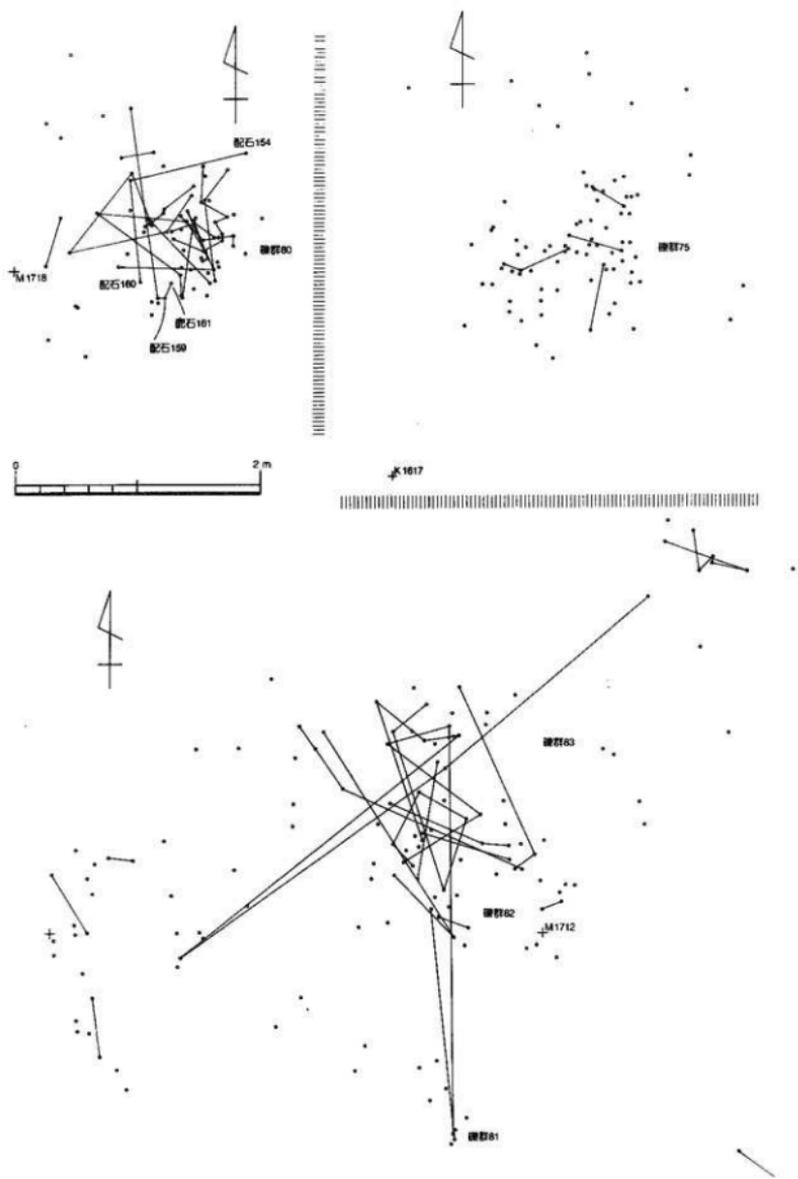


图 128 M1718、K1617、M1711 区附近衔接状况 (1/40)

礫群 76 付近 (図 126) では、周辺礫との接合は少ないが、礫群内接合が非常に多く見られる。現地でも出土したときから、バラバラに砕けた礫から構成されている印象が強く、接合関係もこれを裏付けている。構成礫のほとんどが接合に関わっており、あたかも礫を叩き割ったかのような接合状況である。このような接合状況も礫群の形成過程を復原するにあたって、重要な手がかりとなるであろう。さらに内部接合を詳細に見ると、南側の礫が密集する場所で多数の接合があり、北側の比較的まばらな部分では、北側の内部での接合よりも、南側の密集域との接合が多い。礫群内で礫が移動したことを示唆しているようである。

礫群 71 付近 (図 126) では、礫群内で多くの接合例が見られ、構成礫の半分以上が接合に関わっている。また、南側に礫群内接合がまとまる部分がある。

礫群 78 (図 126) では、多くの礫が接合している。特に、小さな礫が散在する北側で頻繁な接合が見られ、これと対照的に、比較的大きな礫が所集している南側では接合例が少ない。分布する礫の大きさ、破砕の状況と接合の間に整合関係が見られる、このような状況は、割れて小さくなった礫を北側に戻り分けたかのようなようである。礫群の使用法の一例を示唆している点で、これも興味深い資料である。

礫群 77 付近 (図 127) では、礫群内で半分以上の礫が接合している。礫群 77 には礫の集中部が 3 か所あり、一番南側の集中部では集中部の中でのみ接合する礫がいくつかあり、この部分が独立した礫群のように見える。礫群外礫との接合も目立ち、南東側 5.4 m にある配石 72 とは、間に礫群外礫 2 点をばさんで接合する。その接合線の総延長は 7.3 m に及ぶ。

礫群 80 付近 (図 128) では、礫群内接合が半分強の礫が接合に関わっている。配石の多い礫群だが、4 点の配石が接合に関わっている。礫群外礫との接合は少ない。礫群 75 付近 (図 128) は、構成礫数の割には礫群の内部接合が少ない特徴がある。礫群 75 の破砕率が 67.1% と他の礫群に比べると低いが、半分強の礫が割れているにもかかわらず、このように接合例が少ないということは、最初から割れた礫を集めた礫群ということになる。

礫群 82 付近 (図 128) では、礫群 81 ~ 83 の間で礫群間接合が見られる。礫群内では、礫群 82、83 で構成礫の半数以上が接合に関わっている。

以上の礫群内部での接合の仕方を見ると、次の 3 点を指摘できる。1 つめは、礫群 56、76 ~ 78 に見られるような礫群内接合の多い礫群である。これらの構成礫はバラバラに砕けており、過半数の礫が接合に絡んでいる。礫がその場でバラバラに砕けている状況である。これらの礫群は、赤化率は 80% 前後、破砕率は 90% 前後、割れ面赤化率は 60% 前後で、赤化率、破砕率ともに高い。赤化率と割れ面赤化率に 30% 程の開きがある点も、要因は定かではないが、指摘しておく。2 つめは、礫群 58、67、68、75、85 のように、礫群内接合があまり見られない礫群である。これらの礫群は、赤化率は 70% 弱、破砕率は 65% 程、割れ面赤化率は 55% 程で、すべての数字が他の礫群に比べて小さいのが特徴である。礫群形成の当初から割れた礫を集めていることになる。3 つめは、礫群 56、78 に見られるような、礫群内での接合の粗密である。このような状況の形成要因は礫群の使用法を考えるうえで、重要な手がかりを含んでいるであろう。

礫群の使用法や形成過程、形成要因などを検討していく過程で、このエリアで出土した礫群はさらに分類できるであろうが、上記の 3 つの接合タイプは、礫群の使用法を考えるうえで、今後、重要な位置を占めてくると思われる。

礫群間接合の状況からは、これらの礫群が、ほぼ同時期に存在したことを示しており、この微高地上で集中した遺物が 1 つの集落を構成する要素として、重要な分析資料となることを示している。このエリアの構造分析の際にこれらの礫群の検討が重要なポイントになってくるであろう。また、集落の復原にあたってはモデル地域となると期待できる。

5 出土石器

このエリアのブロックの設定方法は次の方法で行った。まず、もっとも認識しやすい石器のまとまりに注目して、ブロック10～13、17～20、25、26を設定した。次にMラインに沿って17ラインから18ラインにかけて分布する石器を処理した。このあたりは、石器が礫群と重なりながらまばらに分布している。複数のブロックに分解できると思われるが、石器の分布にまとまりがないため、見かけの分布だけではブロックの設定はできなかった。しかし、ここには多くの石器が分布しており、これらの資料をブロック外遺物として扱うと、多くの遺物が、単体か一括かの両極端な2つのレベルでしか分析できなくなる。集落論の立場からは、積極的に資料の分析単位を与えておく必要がある。そこで、後述のように次の手段として、個別別資料の分布を手がかりにブロック21～23を設定した。

1) ブロック10 (図129)

K1624区で3a層～3b層で出土した。微高地から谷に向かう緩斜面にあり、周囲にはこのブロック以外に遺物、遺構はない。孤立した状態での出土である。遺物が集中する微高地までは10m以上離れている。石材はシルト岩を主体として、流紋岩がこれに次いでいる。完成品は少なく、ナイフ形石器が2点ある以外は、加工痕のある剥片と使用痕のある剥片が1点ずつあるだけである。個体の搬入状況は次の通りである。19個体を識別した。チャートは2個体で、うち1個体が単独個体で、完成品での搬入である。黒曜石は1個体で、単独個体である。砂岩は1個体搬入されている。シルト岩1は14個体で、うち11個体が単独個体、うち2個体は完成品での搬入である。シルト岩2は1個体搬入されている。

ナイフ形石器 (図130-1、2)

1は、シルト岩の縦長剥片の打面側を上にして、打面部を斜めに切断するように加工している。2は、シルト岩の縦長剥片の打面側を下にして、素材剥片の末端側の一個縁を主剥離面側から加工している。
使用痕のある剥片 (図130-3)

チャートの縦長剥片の正面左側縁の一部に細かい剥離が不連続にはいつている。

石核 (図130-4、5)

4は、シルト岩の円礫を節理面で半割して素材とし、その小口面を作業面として、調整した打面から幅広の剥片をとっている。自然面の凹凸が大きく、端正な剥片はとれていない。また、石核の厚さが急激に薄くなるため、これ以上の剥離は不可能であろう。5は、シルト岩の円礫を素材として主として上設の調整打面から縦長剥片をとっている。1枚だけ下設の自然面打面からの剥離がある。打面は裏面に向かって急傾斜している。作業面は実測図正面とその左側縁の2面である。

2) ブロック13 (図129)

M1803、1808区で3a層から出土した。微高地上にあり、遺物、遺構の集中域よりも北側にはずれたところにある。一番近い礫群73まで約6mある。シルト岩が主体で、凝灰岩がこれに次ぐ。加工痕のある剥片と使用痕のある剥片が1点ずつある以外は、搬入して加工していない原石と剥片、碎片からなる。石核が出土していないことから、石核は搬出したのであろう。個体の搬入状況は次の通りである。このブロックでは20個体を識別した。チャートは1個体で単独個体である。砂岩は4個体搬入し、すべて単独個体で、1点は原石で搬入したまま加工していない。シルト岩1は8個体搬入し、うち7個体が単独個体で、そのうち2個体が完成品での搬入である。シルト岩2は2個体搬入し、いずれも単独個体である。凝灰岩は5個体搬入し、うち4個体が単独個体である。

加工痕のある剥片 (図131)

石材はシルト岩で、実測図の正面が素材剥片の主剥離面である。主剥離面にはバルブを除去するためと思われる丁寧な剥離がある。素材剥片は調整打面から剥離した厚手の不定形剥片である。素材剥片の末端縁辺に連続した剥離がある。

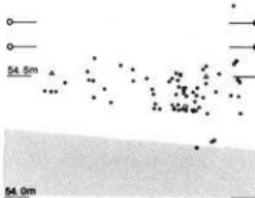
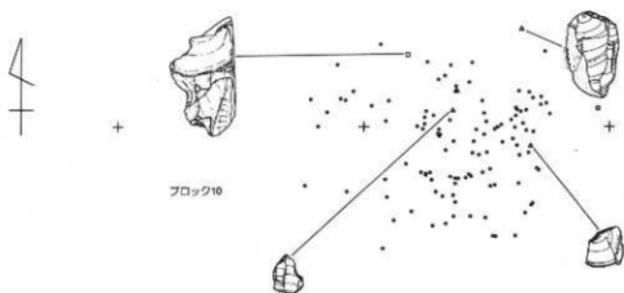


図 129 ブロック 10、13 石器分布図 (1/50)

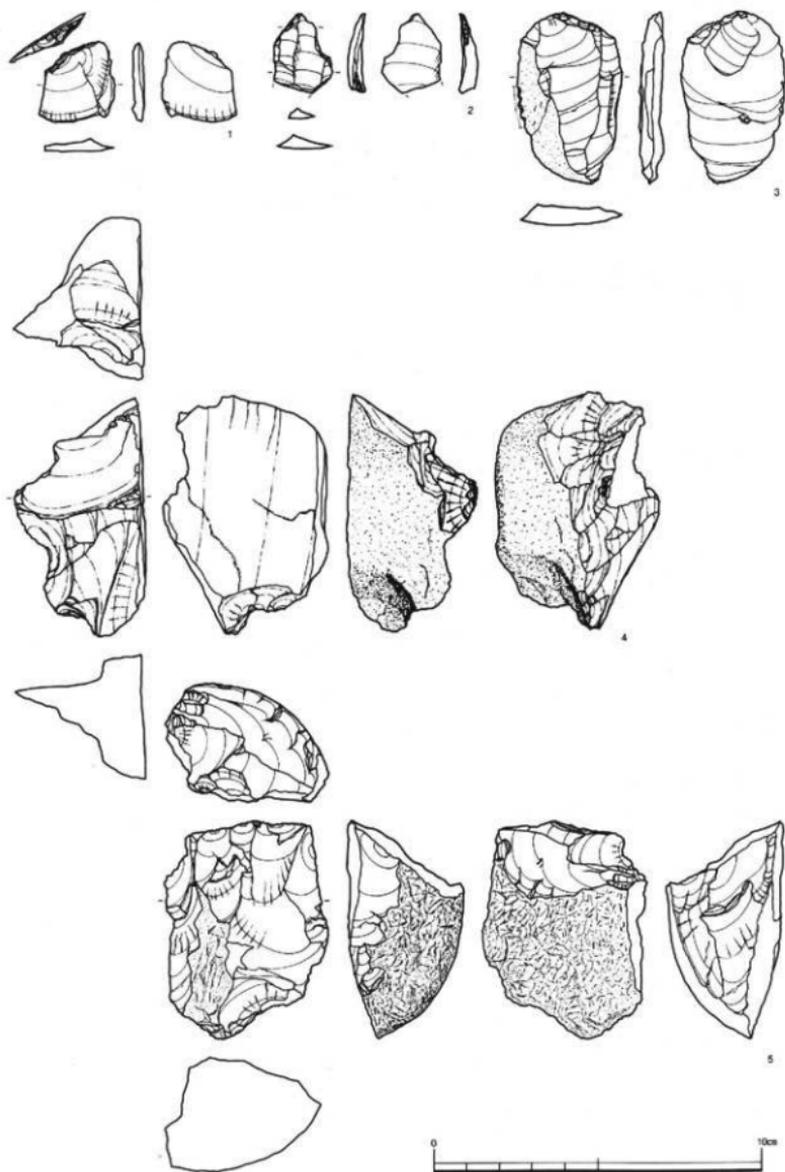


図130 ブロック10出土石器 (2/3)

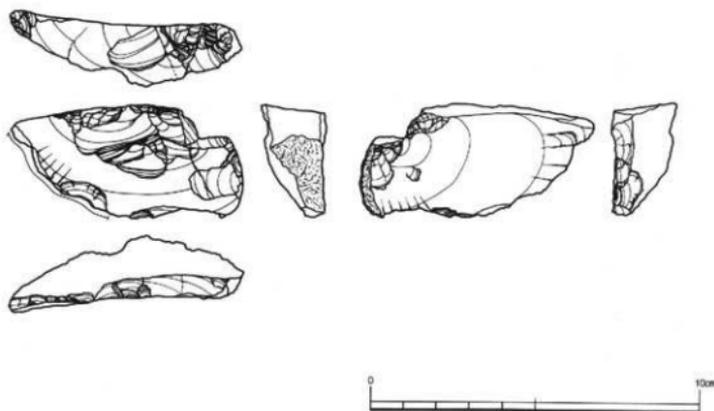


図 131 ブロック 13 出土石器 (2/3)

3) ブロック 11 (図 132)

M1606区付近、微高地上で3 a層から出土した。一部の遺物は3 b層の上面直下で出土している。210 × 135 cmの範囲に広がる。高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡最大のブロックであるブロック 12に隣接している。ブロック 12との境界は空間を根拠に区切ったが、この付近ではブロック 11とブロック 12の遺物が、若干混じっているかもしれない。シルト岩が主体で、流紋岩がこれに次ぐ。流紋岩が多いのが特徴のブロックである。すべて同一個体と思われる、石核とともに多くの剥片、碎片が出土していることから、ここで剥片剥離作業を行ったと思われる。出土点数は199点で、17個体を識別した。個体の搬入状況は次の通りである。流紋岩は1個体搬入している。砂岩は1個体、単独個体で完成品での搬入である。シルト岩 1は10個体搬入し、うち8個体が単独個体でそのうち2個体は完成品での搬入である。シルト岩 2は3個体搬入し、すべて単独個体で、うち2個体が完成品での搬入である。凝灰岩は2個体で、いずれも単独個体である。

ナイフ形石器 (図 133-1~4)

1はシルト岩の縦長剥片の打面側を下にして、これを斜めに使用して打面を除去して、二側縁を加工している。加工は主として主剥離面側からだが、一部では先行剥離面側からも加工している。刃部は右側になっている。刃部には使用痕らしい細かい剥離がある。素材剥片の主剥離面側には、バルブを除去したらしい平坦剥離がある。2は砂岩の縦長剥片を打面を上にして、打面を除去して二側縁を加工している。加工は主として主剥離面側からだが、一部、先行剥離面側からの加工も見られる。刃部は左側である。3はシルト岩の縦長剥片を打面を上にして使用し、二側縁を主剥離面側から加工している。この加工の際、正面右側縁を大きく欠損しており、刃部は正面左側側縁の一部しか残っていない。4はシルト岩の縦長剥片を打面を上にして使用し、打面側を斜めに切断するように加工している。

使用痕のある剥片 (図 133-5、6)

5はシルト岩の縦長剥片の正面左側縁に不連続な剥離がある。素材剥片の先行剥離面側には円礫の自然面が残っている。6はシルト岩の大型の縦長剥片の正面左側縁に細かい剥離が不連続にある。素材剥片の先行剥離面側には円礫の自然面が残っている。

石核 (図 133-7~9)

7はシルト岩製で、上設の調整打面から小型の縦長剥片をとっている。8はシルト岩製で、上設の調整

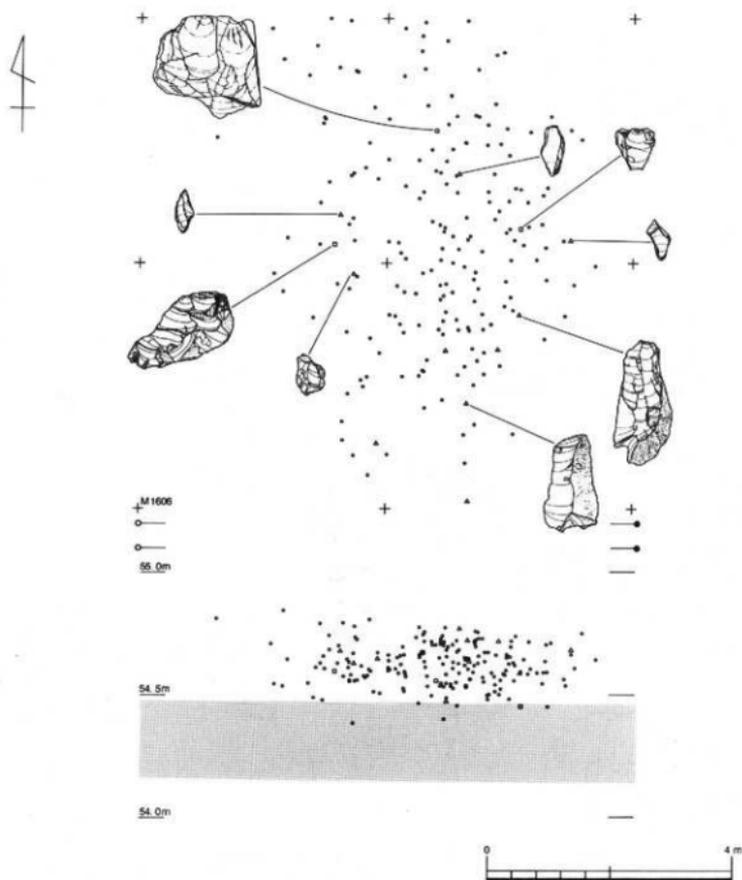


図 132 ブロック 11 石器分布図 (1/80)

打面から幅広の剥片をとっている。作業面は1面で、作業面の裏側は円礫の自然面である。9は流紋岩製で、風化が進んでいる。上設の調整打面から縦長剥片をとっている。作業面は1面で、作業面の裏側は円礫の自然面が残っている。ブロック 11 で出土した流紋岩はすべてこの石核と同一個体で、このブロックでこの石核から剥離したことは確実である。石核に残る剥離から形態を推定できる縦長の目的剥片や、完成した石器がないことから剥片剥離作業後に搬出しているようである。

4) ブロック 12 (図 134)

高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡最大のブロックである。M 1603、M 1603区付近で2 b～3 a層で出土した。240×170 cmの範囲に広がる。発掘時の状況は、まず、ブロック上面で碎片が出土し始め、次に10 cm程掘り下げたところからナイフ形石器や石核などが出土した。シルト岩を主体とするブロックで、その多く



図133 ブロック11出土石器 (2/3)

は同一個体のシルト岩であることから、短い期間に集中的に石器を製作した跡であろう。903点の石器が出土し、完成品はナイフ形石器が11点、加工痕がある剥片が2点、使用痕のある剥片が4点ある。石核は7点ある。周辺での石器の分布図(図159、160)を見ると、石器が集中している部分には剥片、砕片が多く、石核やその他の完成した石器はブロックの周辺に分布する傾向がある。このことから、主にブロックの中心付近で石器製作を行い、完成した石器をブロックの周辺に持ち出していることが考えられる。このことから、搬出した石器が相当数あると考えられる。個体の搬入状況は次の通りである。32個体を識別した。チャートが1個体で、これは単独個体である。黒曜石は1個体で単独個体である。流紋岩は1個体搬入している。砂岩は6個体搬入しすべて単独個体で、うち1個体は完成品での搬入である。シルト岩1は17個体搬入し、うち10個体が単独個体で、そのうち4個体が完成品での搬入である。凝灰岩は6個体搬入し、うち5個体が単独個体で、そのうち1個体が完成品での搬入である。

ナイフ形石器(図135-1~5)

1は、凝灰岩の縦長剥片の打面を上にして、二側縁に、主に主剥離面側から加工して刃部を右側にしている。2は、シルト岩の幅広い縦長剥片を素材として、打面を上にして二側縁に両面から加工して、素材剥片を斜めに切断している。刃部は左側である。3は、シルト岩の縦長剥片の打面側を上にして、打面側を斜めに切断するように加工している。基部を欠損している。4はシルト岩の縦長剥片の打面を上にして、打面側を斜めに切断するように加工している。基部を欠損している。5は、シルト岩の幅広い縦長剥片の打面側を上にして、打面側を斜めに切断するように加工しているが、加工の及んでいる範囲は広くない。

加工痕のある剥片(図135-6)

6は、砂岩の幅広い大型の縦長剥片の正面右側縁の一部に連続した剥離がある。先行剥離面側には円礫の自然面が残っている。

使用痕のある剥片(図135-7)

7は、シルト岩の縦長剥片の正面右側縁に微細な剥離が不連続にある。

石核(図135-8、図136、137)

図135-8はシルト岩製で、上設の調整打面から縦長剥片をとっている。石核の下面には細かい剥離があり、これは下設打面を準備するための剥離のようである。作業面は1面で、作業面の反対側は円礫の自然面が残っている。石核の右側縁には側面加工が見られ、左側縁には節理面が残っている。

図136-1はシルト岩製で、図135-8と同一個体と思われるが、接合はしない。作業面は実測図正面と上面、下面、左側面の4面あり、正面の作業面が最終作業面で、上面、左側面、下面の順で古くなっていく。このことから、作業面を転移するときに、それまで剥片をとっていた作業面が次の剥片剥離作業の打面になっている。剥離している剥片は不定形である。円礫の自然面が残っている。図136-2はやや目の粗いシルト岩製で、上設の調整打面から幅広い剥片をとっている。打面は上設の1面だけだが、作業面は正面とその右側面の2面ある。下面には円礫の自然面が残っている。図137-1はシルト岩製で、図135-8、図136-1と同一個体で、図135-8と接合する。分割した円礫を素材として、上設の平坦打面から縦長剥片をとっている。打面は石核素材の分割面と思われる。作業面は正面とその右側縁の2面で、ともに上設打面から剥片をとっている。正面作業面の裏面には円礫の自然面が残っている。下面にも分割面が残っている。2はシルト岩製で、上設の平坦打面から縦長剥片をとっている。作業面は正面の1面だけで、作業面の裏側には円礫の自然面が残っている。作業面の下にある横方向からの剥離は、石核の素材剥片の素材面であることから、大型の丸い剥片を素材としていていると考えられる。3はシルト岩製で、分割礫を素材としている。上設の平坦打面から小型の縦長剥片をとっているが、まだ剥片剥離を始めたばかりで、3枚ほどしかとっていない。作業面は正面の1面で、作業面の裏側には

4
+

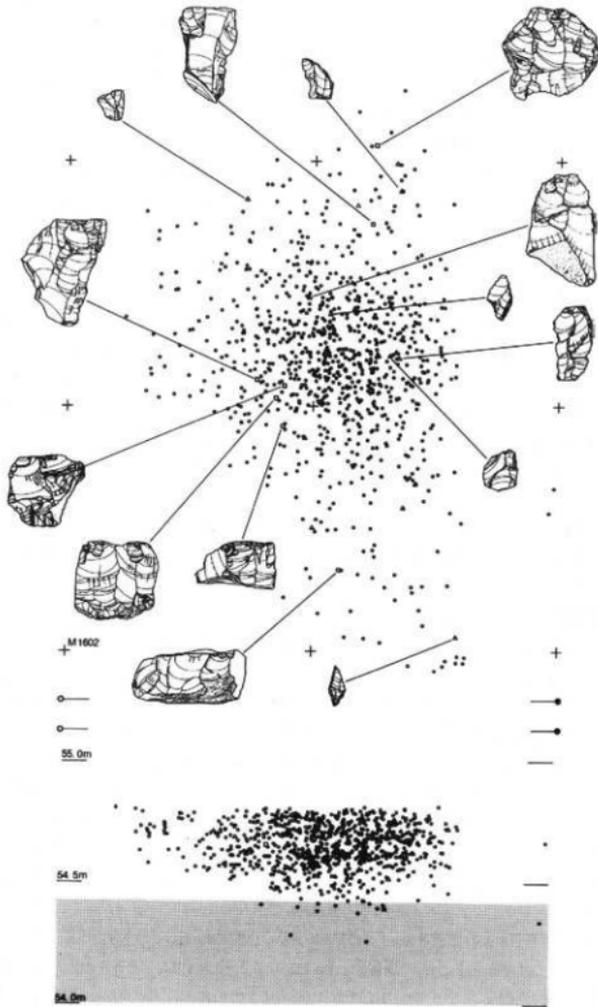


図 134 ブロック 12 石器分布図 (1/80)

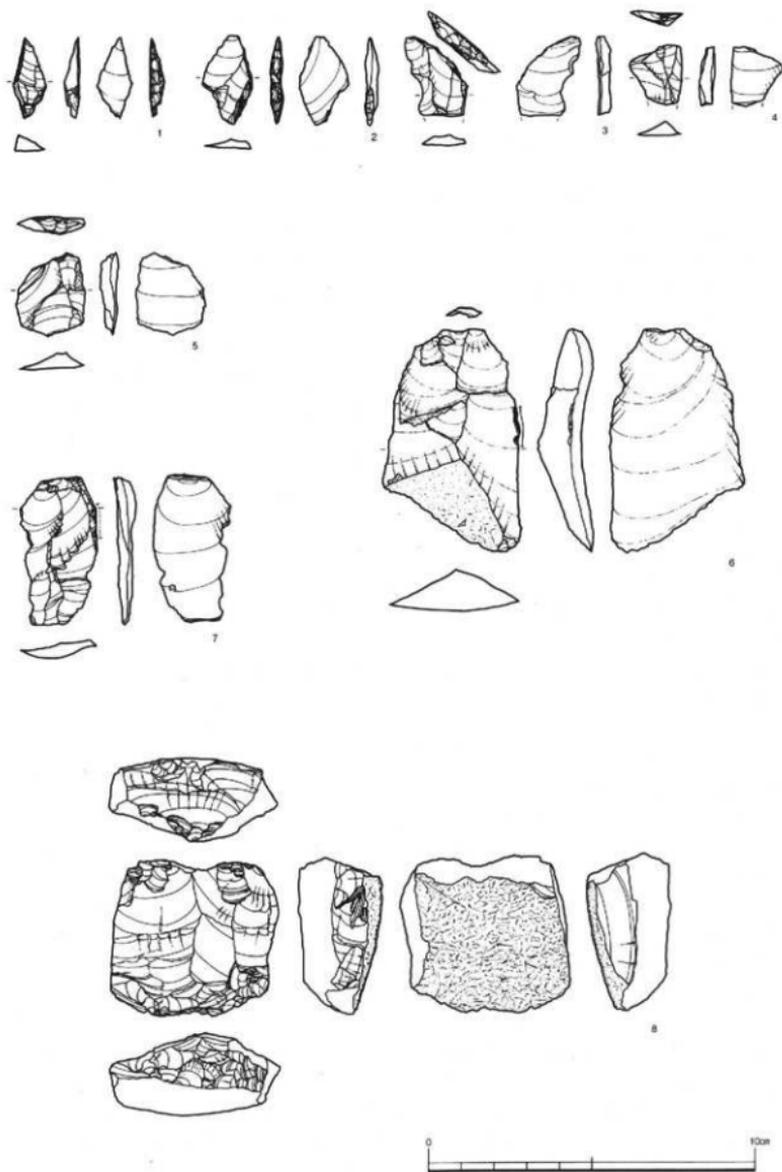


図 135 ブロック 12 出土石器 1 (2/3)

円礫の自然面が残っている。4はシルト岩製で、両設の平坦打面から縦長剥片をとっている。作業面は正面と裏面の2面で、主に、正面は上設打面から、裏面は下設打面から剥片をとっている。不定形の剥片2点が接合する。

5) ブロック17 (図138)

L1614区付近、ブロック11の南西側で3a層から出土した。115×71cmの範囲に広がる小規模なブロックだが、高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡唯一の黒耀石を主体とするブロックである。黒耀石は後の章で報告するように、原産地同定の結果、蓼科産と霧ヶ峰産があり、蓼科産が4個体、霧ヶ峰産が1個体搬入されている。完成品はナイフ形石器4点と加工痕のある剥片2点、使用痕のある剥片1点で、完成品の占める割合が高い。石核は出土していない。黒耀石の他はシルト岩が3個体あり、うち2個体は単独個体で、そのうち1個体は石核での搬入で、このブロックでは剥片剥離を行っていない。

ナイフ形石器 (図139-1~4)

1は、黒耀石の縦長剥片の打面を下側にして、二側縁を主として主剥離面側から加工して刃部を右側にしている。主剥離面側には素材剥片のバルブを除去した平坦剥離が顕著である。基部は丸く仕上げている。2は、黒耀石の薄い縦長剥片の打面を下側にして、二側縁を主剥離面側から加工して刃部を左側にしている。基部を欠損している。3は黒耀石の縦長剥片の打面を上にして一側縁を主剥離面側から加工して、刃部を右側にしている。主剥離面側には、素材剥片のバルブを除去した平坦剥離と、刃部にも平坦剥離が見られる。4は黒耀石製で、不定形剥片の末端の一側縁を加工して刃部を右側にしている。素材剥片の形態やその用い方、完成した平面形などの点で、高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡では珍しい形態である。

加工痕のある剥片 (図139-5)

5は、黒耀石の縦長剥片の末端、主剥離面側に丁寧な平坦剥離が見られる。加工の意図ははっきりしないが、この部分はスクレイパーエッジを意識したようになっている。

使用痕のある剥片 (図139-6)

6は黒耀石の縦長剥片の正面右側縁に細かい剥離があり、刃こぼれのようにになっている。

石核 (図139-7)

7はシルト岩製で、風化が激しい。両設打面から幅広の縦長剥片をとっている。作業面は正面とその右側面の2面である。

6) ブロック18 (図140)

L1609区、ブロック12の北側、2b~3b層上層で出土した。礫群56と重なっている。ブロック12に隣接している。203×133cmの範囲に広がる。シルト岩を主体としている。断面投影図を見ると上と下2面に分かれる可能性がある。完成品はナイフ形石器が6点、加工痕のある剥片と使用痕のある剥片が1点づつ、磨石が1点、搬入したまま加工していない原石が1点ある。個体の搬入状況は次の通りである。30個体を識別した。安山岩は1個体で、単独個体、磨石での搬入である。チャートは1個体で単独個体である。黒耀石と流紋岩は1個体搬入している。砂岩は1個体で単独個体、石核での搬入である。シルト岩1は18個体搬入し、うち10個体が単独個体で、そのうち2個体が完成品での搬入である。そのうち、1個体は原石で搬入したまま加工していない。シルト岩2は3個体搬入しており、すべて単独個体である。凝灰岩は4個体搬入し、すべて単独個体で、そのうち1個体が完成品での搬入である。

ナイフ形石器 (図142-1~4)

1は、シルト岩の縦長剥片の打面を上にして、主剥離面側から二側縁を加工して、刃部を右側にしている。先端を欠損している。2は、シルト岩の縦長剥片の打面側を上にして、両面から二側縁を加工して刃部を左側にしている。先端を欠損している。3は、シルト岩の縦長剥片の打面を下にして、両面から二側縁を加工して刃部を右側にしている。側縁の加工が、側縁をえぐり込むように加工して、先端が

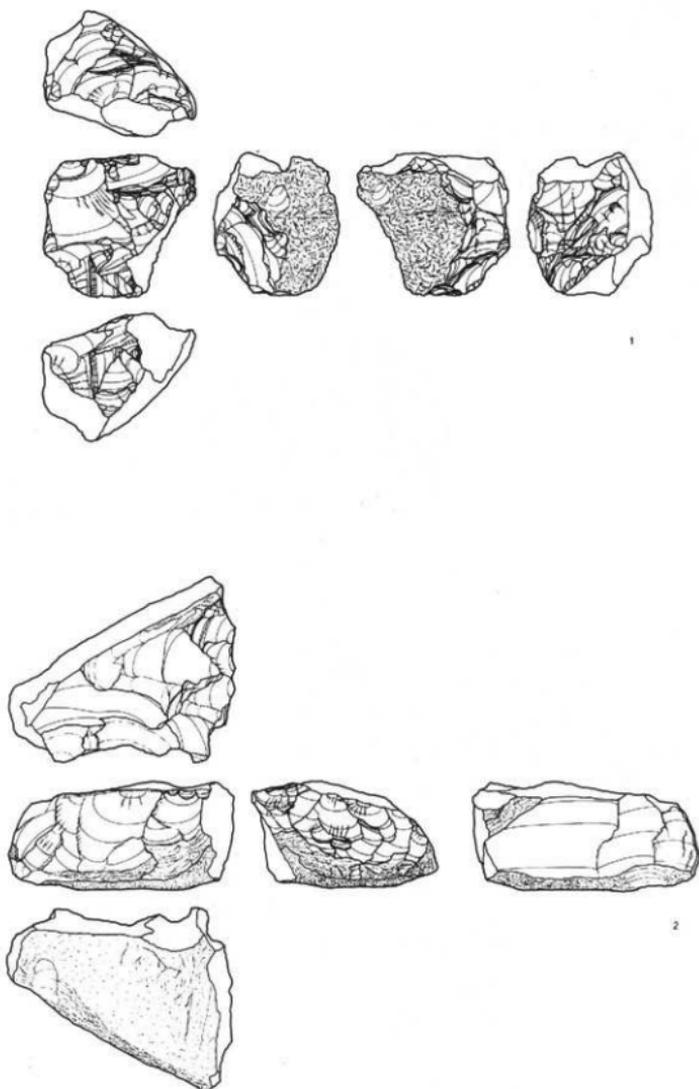


図136 ブロック12出土石器2 (2/3)

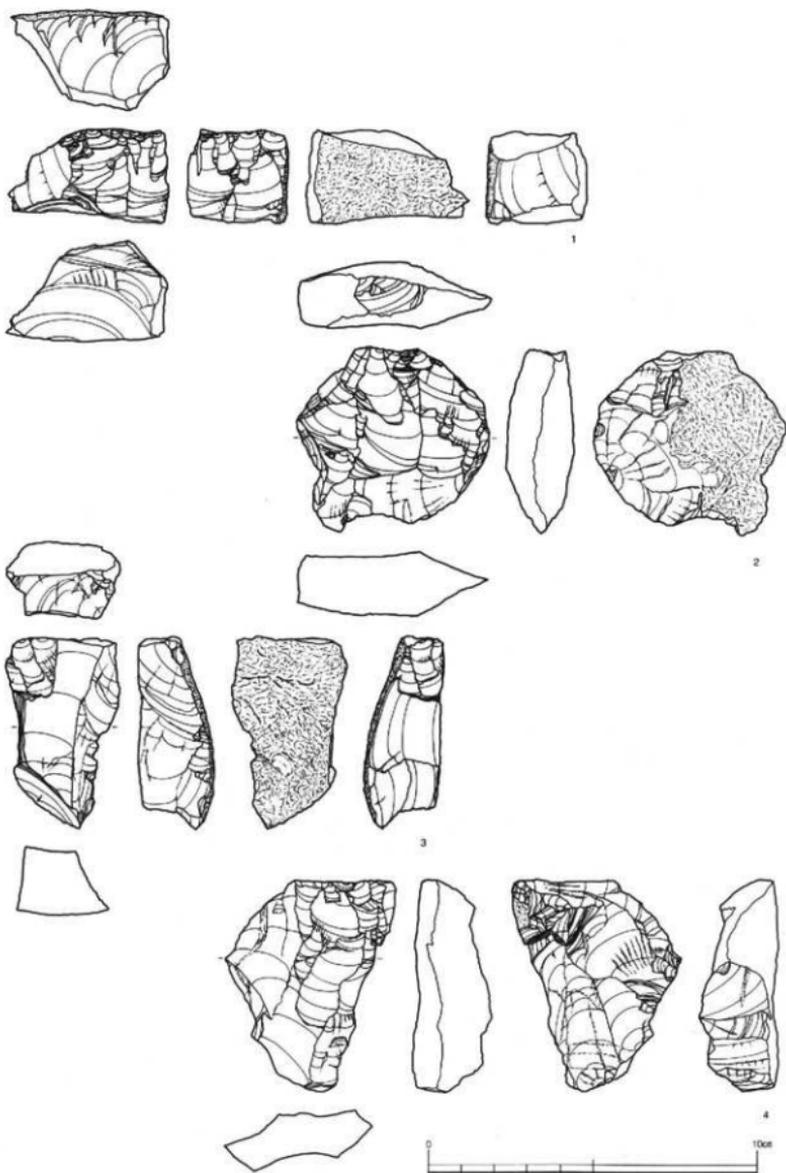


図137 ブロック12出土石器3 (2/3)

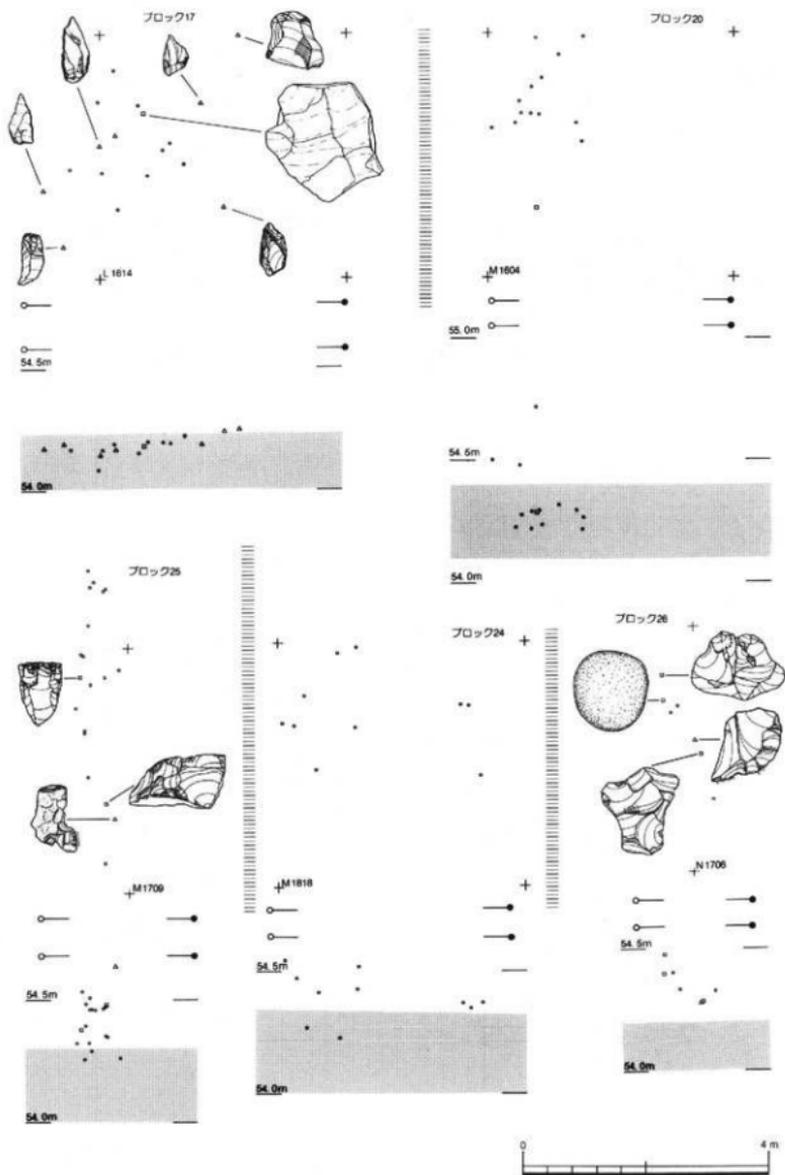


図138 ブロック17、20、24～26石器分布図(1/80)

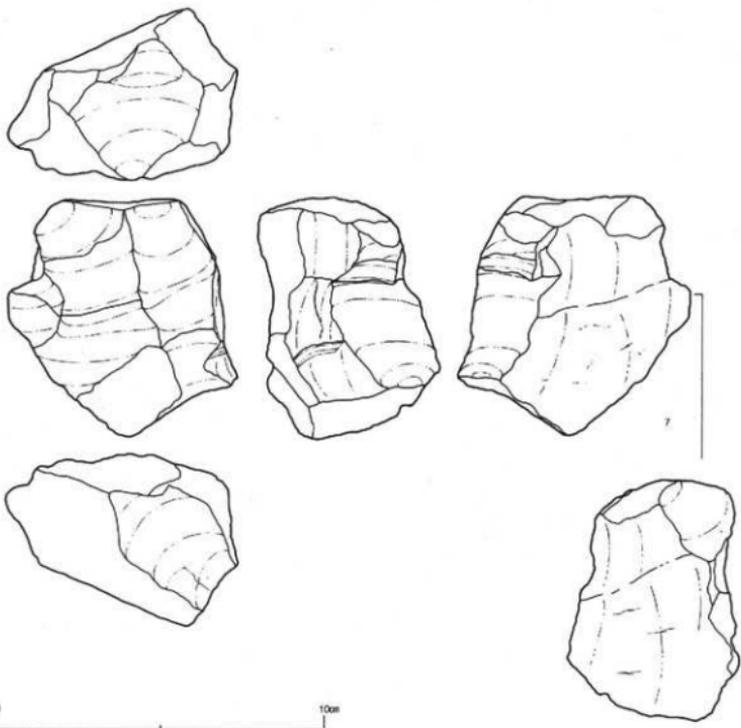
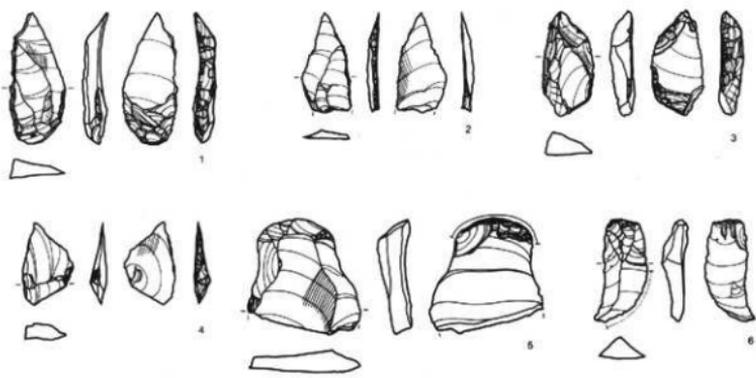


図 139 ブロック 17 出土石器 (2/3)

特に尖るように仕上げてある。4はシルト岩の縦長剥片の打面を上にして打面側を斜めに切断するように加工している。加工部分には切断面がのこっている。

加工痕のある剥片 (図 142-5)

シルト岩製で幅広の縦長剥片の正面右側縁に連続した剥離がある。素材剥片には丁寧な打面調整が見られる。下半部を欠損している。

石核 (図 142-6~8、143-1)

6はシルト岩製で、上設の平坦面の一部を調整した調整打面から、縦長剥片をとっている。明確な下設打面はないが、下側からの剥離も見られる。作業面は正面とその両側面の3面で主に剥片をとっているが、正面裏側の面でも下側からの剥離が見られる。7はシルト岩の厚手の剥片を素材にして、主剥離面側で不定形の剥片をとっている。先行剥離面側にも幅広の剥片をとった跡があるが、これがこの石核

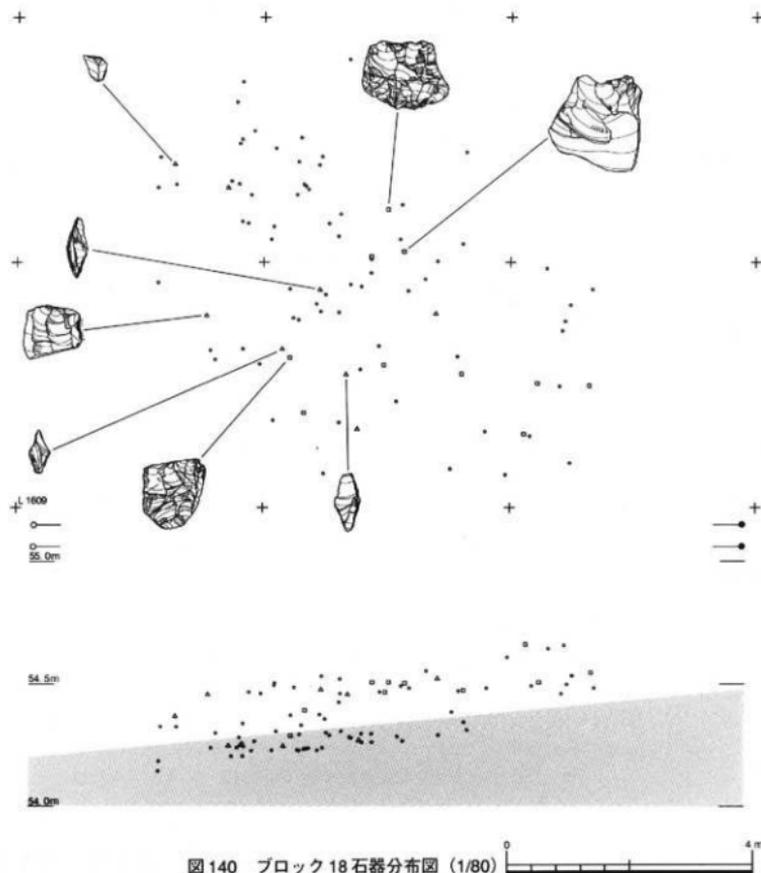


図 140 ブロック 18 石器分布図 (1/80)

の素材剥片が剥離された後の剥離かどうかは明らかでない。石材は色が赤黒くなっており、熱を受けているかもしれない。8はシルト岩製で、両設の調整打面から縦長剥片をとっている。作業面は正面の1面のみで、裏側には円礫の自然面が残っている。

図143-1はシルト岩製で、両設の調整打面から縦長剥片をとっている。作業面は正面とその裏面の2面で、正面は上設打面から、裏面は下設打面からそれぞれ剥片をとっている。上設打面は裏面に向かって急傾斜しており、これ以上剥片をとると剥片の長さが短くなっていくために、この時点で剥片剥離をやめたのであろう。

磨石 (図143-2)

粗粒の安山岩の円礫を使っており、一面が摩滅している。当初、このブロックに重なる礫群56の構成礫として取り上げていたが、磨石であったために石器に分類したのだが、明らかに赤化していることが

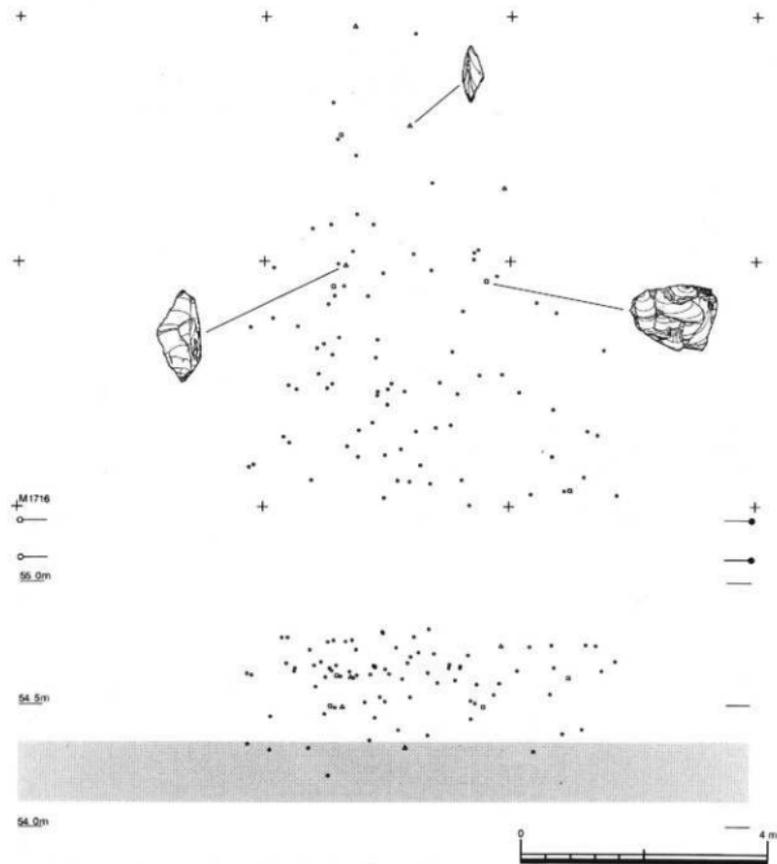


図141 ブロック19石器分布図 (1/80)



図 142 ブロック 18 出土石器 (2/3)

ら、磨石を礫群 56 に転用しているのかもしれない。

7) ブロック 19 (図 141)

M1717区付近で 2 b 層～3 b 層で出土した。ブロック 12 に隣接している。ブロック 12 とは空間をもつて区分したが、ブロック 12 に含まれるのかもしれない。220×152 cm の範囲に広がる。シルト岩を主体としている。完成品はナイフ形石器 2 点と、加工痕のある剥片、使用痕のある剥片が各 1 点づつある。石核は 4 点ある。個体別の搬入状況は次の通りである。認識したのは 26 個体で、流紋岩が 1 個体で単独個体、砂岩が 4 個体で、すべて単独個体である。シルト岩 1 が 15 個体で、うち 10 個体が単独個体で、そのうち 6 個体が完成品での搬入である。シルト岩 2 は 1 個体で、単独個体である。凝灰岩は 5 個体で、うち 4 個体が単独個体で、そのうち 1 個体が完成品での搬入である。

ナイフ形石器 (図 143-3)

シルト岩の縦長剥片の打面を上側にして、主剥離面側から二側縁を加工している。加工は両側縁とも基部にとどまっている。高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡では珍しい形態である。

加工痕のある剥片 (図 143-4)

シルト岩の不定形剥片の縁辺に連続した剥離がある。

石核 (図 143-5)

シルト岩製で、作業面は正面、下面、正面右側面の 3 面ある。正面の作業面は上設の調整打面を打面としている。下面の作業面は正面の作業面を打面としている。右側面の作業面は上設打面と下面の作業面を打面としており、両設打面となっている。剥離している剥片は幅広い縦長剥片である。

8) ブロック 20 (図 138)

M1614区、3 b 層で出土した。礫群 78 に重なっているが、石器は焼けていない。剥片と破片だけからなるブロックである。シルト岩と砂岩が主体である。個体別資料の搬入状況は次の通りである。9 個体識別した。砂岩は 3 個体で、すべて単独個体である。シルト岩 1 は 4 個体、うち 3 個体が単独個体である。シルト岩 2 は 1 個体で、単独個体である。凝灰岩は 1 個体である。

9) ブロック 21 (図 144)

L 1724、L 1725 区、微高地から谷に向かって傾斜が始まりあたりで、2 b 層～3 a 層で検出した。中央部に空間があり、2 つに分かれるのかもしれないが、個体別資料を共有するものが多いため、1 つのブロックとした。個体別資料の搬入状況は次の通りである。47 個体を識別した。チャートは 2 個体とともに単独個体である。黒曜石は 2 個体、流紋岩は 1 個体で単独個体、砂岩は 13 個体で、うち 9 個体が単独個体で、そのうち 4 個体が完成品または、原石での搬入である。シルト岩 1 は 20 個体で、うち 16 個体が単独個体、そのうち 6 個体が完成品での搬入である。シルト岩 2 は 5 個体で、うち 2 個体が単独個体で、完成品での搬入である。凝灰岩は 4 個体で、うち 2 個体が単独個体である。

ナイフ形石器 (図 146-1)

シルト岩の縦長剥片の打面を上にして、打面側を斜めに切断するように主剥離面側から加工している。

スクレイパー (図 146-2)

シルト岩の幅広い剥片の末端を加工して刃部を作っている。刃部加工がエンドスクレイパーに近いが、スクレイパーに分類したが、スクレイパーエッジとしては整った加工ではないため、加工痕のある剥片に分類した方がよいかもしい。

加工痕のある剥片 (図 146-3、4)

3 は砂岩の不定形剥片の末端をえぐるように加工している。4 は黒っぽいシルト岩の幅広い縦長剥片の末端に細かい剥離が連続している。

使用痕のある剥片 (図 146-5)

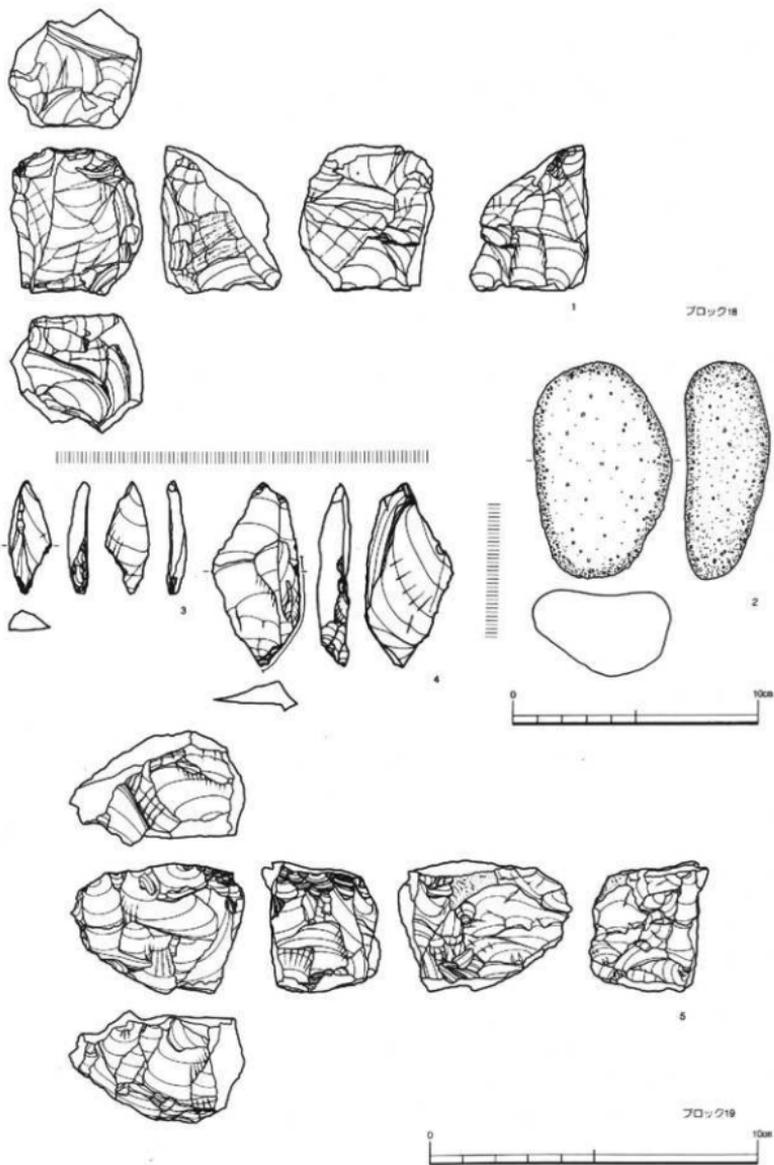


図143 ブロック18、19出土石器 (2/3、2のみ1/2)

シルト岩の幅広の縦長剥片の正面右側縁に、断続的に細かい剥離がある。

石核 (図 146-6、7、図 147-1、2)

6はシルト岩製で、実測図正面の大きな剥離はネガティブ面である。このネガ面を打面として、その左側面(実測図一番右図)で縦長剥片をとっている。また、ネガ面の右側面でも不定形の剥片をとっている。7は砂岩製で、打面が山形になるように加工して、石核を輪切りにするようにして丸い剥片をとっている。打面が山形になるように加工しているが、打面と作業面のなる角度や剥離痕の形から考えて、瀬戸内技法の影響を受けてはいるだろうが、直接関連する遺物ではないであろう。

図 147-1は砂岩製で、打面と作業面を入れ替えながら、求心状に不定形剥片をとっている。2はシルト岩製で、主として、上方から幅広の剥片をとっているが、作業面裏に残る自然面の周縁には石核の周縁一円に打面調整らしい剥離があり、このような調整は求心状に不定形剥片をとる石核によく見られることから、本来は求心状剥離をめざしたものであろう。

石皿 (図 147-3)

1は砂岩製で、当初、礫群64の構成礫として取り上げていたが、一面が摩滅したように、ややくぼんでいたため、石皿とした。敲打によるくぼみではない。全体が赤化して、割れ面も赤化していることから、礫群に転用したのであろう。なお、これは自然礫の可能性もある。

10) ブロック 22 (図 145)

M1701区を中心として、微高地の西端、2b層～3a層で出土した。シルト岩を主体としており、完成品の石器がブロックの周縁部、特に南側に偏って分布している。個別資料の搬入状況は次の通りである。53個体を識別した。黒曜石は1個体、流紋岩は1個体、砂岩は8個体で、すべて単独個体で、そのうち4個体が完成品での搬入である。シルト岩1は31個体で、うち24個体が単独個体で、そのうち8個体が完成品での搬入である。シルト岩2は3個体で、うち2個体が単独個体、そのうち1個体が完成品での搬入である。凝灰岩は9個体で、うち5個体が単独個体で、そのうち2個体が完成品での搬入である。

ナイフ形石器 (図 147-4～7)

4はシルト岩の縦長剥片を素材として、打面を上側にして二側縁を両面から加工して、刃部を右側にしている。切出し状に見えるが、先端は、先行剥離が階段状剥離を起こした部分で、丸くなっており、刃部にはなっていない。5はシルト岩の不定形剥片の二側縁を、両面から加工して刃部を右側にしている。下部を欠損している。6は砂岩の縦長剥片の打面側を上にして、一側縁を加工して刃部を左側にしている。下部を欠損している。7はシルト岩の不定形剥片の基部を、主剥離面側から加工している。高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡では少ない形態である。

スクレイパー (図 147-8)

シルト岩の縦長剥片の正面左側縁を加工しており、ノッチを作るような比較的大きい剥離も見られる。

加工痕のある剥片 (図 147-9～図 148-1)

9は、シルト岩の縦長剥片の正面右側縁に、断続的な剥離がある。10は、シルト岩の不定形剥片の正面右側縁に連続した剥離がある。図 148-1は、シルト岩製で縦長剥片の正面左側縁の一部に連続した剥離がある。また、正面右側縁には細かい剥離がある。これは加工痕というよりも使用痕に近い。

使用痕のある剥片 (図 148-2)

2は、シルト岩の縦長剥片の正面左側縁に細かい剥離が断続的にある。下部を欠損している。

石核 (図 148-3、4、図 149-1～3)

3はシルト岩製で、上設の調整打面から幅広の縦長剥片をとっている。作業面は正面と正面右側面の2面である。右側の作業面は石核の裏面を打面としている。2はシルト岩の分剥離を素材として、上

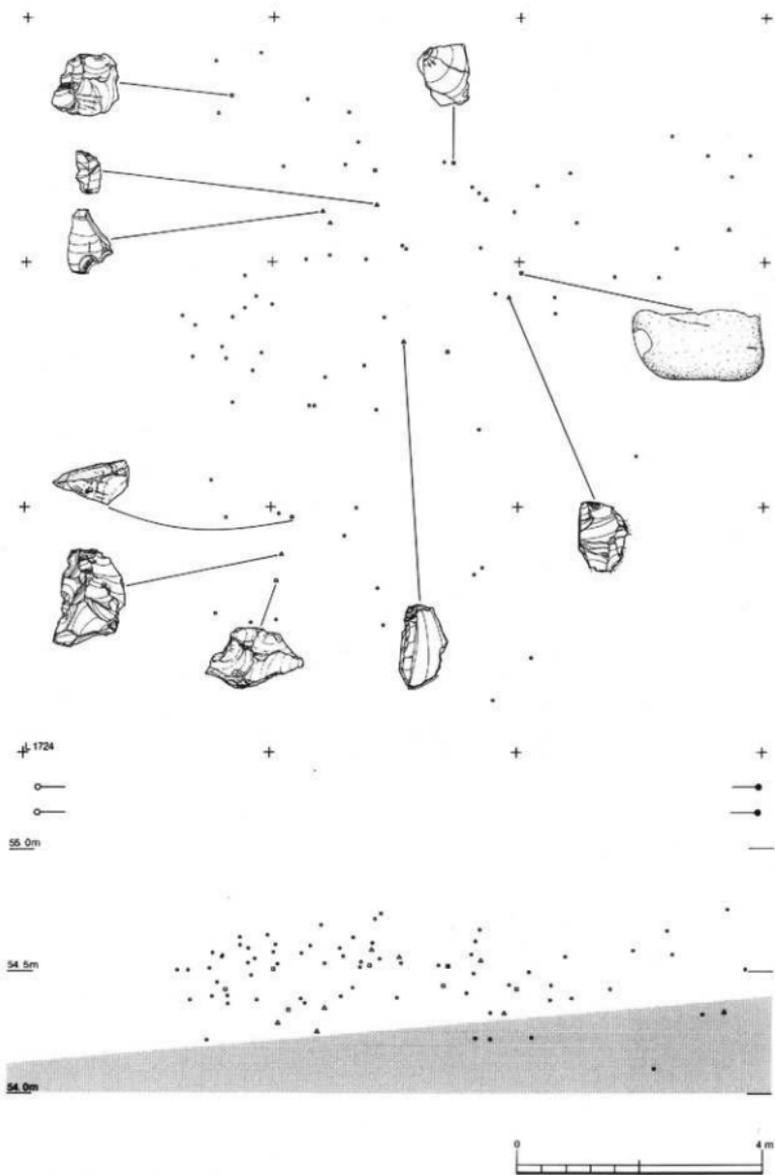


図 144 ブロック 21 石器分布図 (1/80)

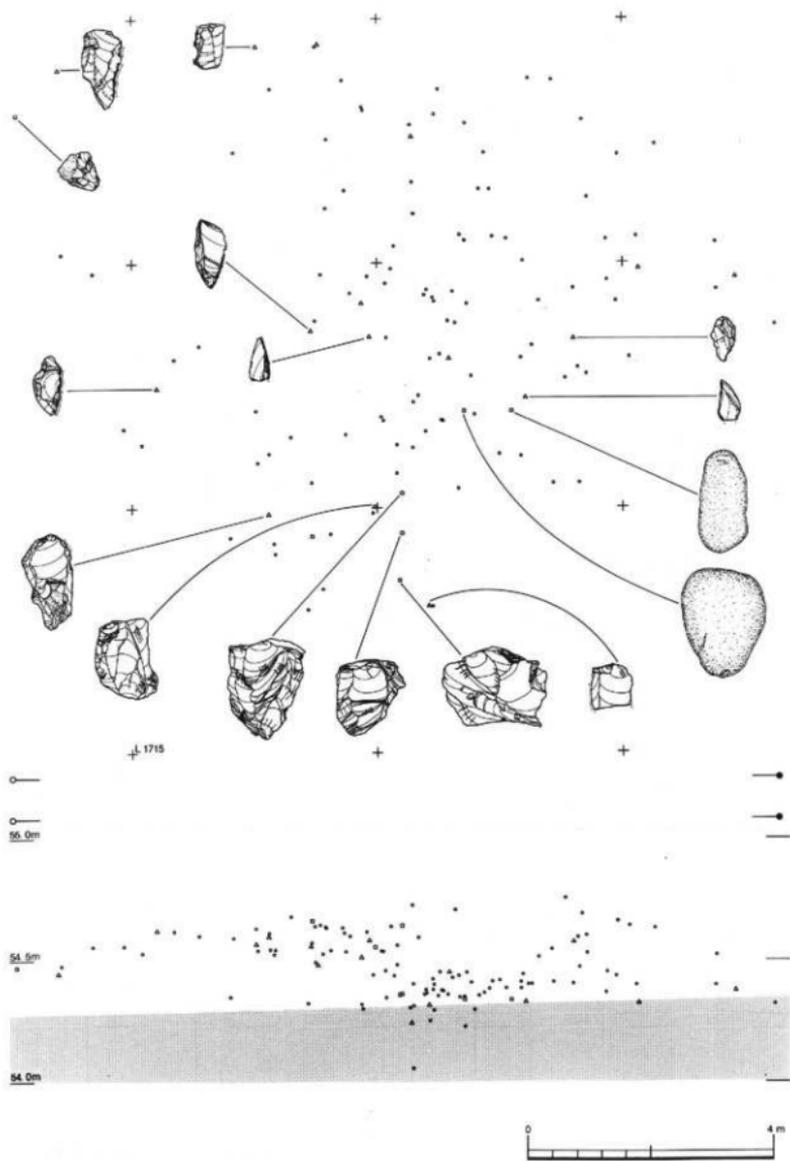


図 145 ブロック 22 石器分布図 (1/80)



図 146 ブロック 21 出土石器 (2/3)

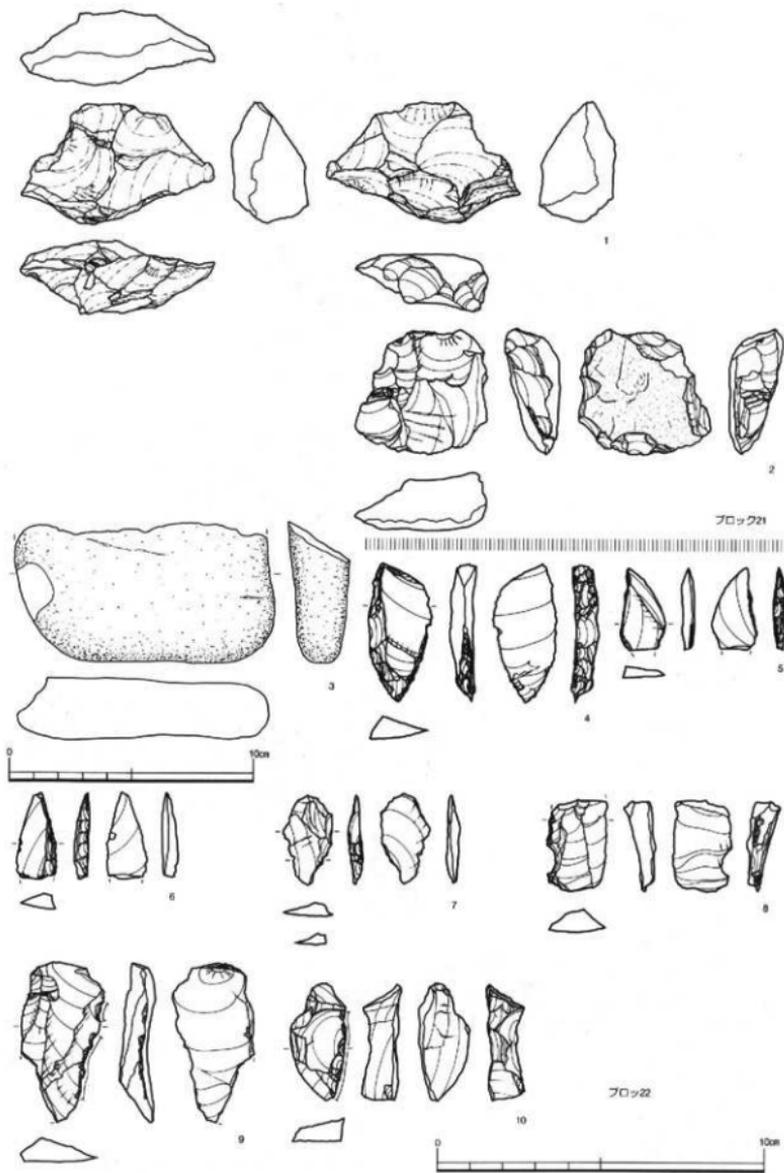


図147 ブロック21、22出土石器 (2/3、3のみ1/2)

設の調整打面から幅広の剥片をとっている。円礫の自然面が大きく残っている。作業面右側面の大きな剥離はネガティブ面だが、剥片を剥離した面というよりも素材の分割面であろう。

図149-1はシルト岩製で、円礫の自然面を残す厚手の剥片を素材としている。剥片は上方からしかとっていないが、作業面の裏面に残る打面調整と思われる剥離から考えて、これから求心状に不定形剥片をとろうとしたものであろう。2は凝灰岩製で、山形に整えた打面から横長剥片をとっている。かなり小型だが、瀬戸内技法と関連のある資料である。3はシルト岩製で、上設の調整打面から縦長剥片をとっている。上設打面の調整は一部の打点部分にとどまっているため、平坦打面に近い。明確な下設打面はないが、下からの剥離も見られる。側面の一部に円礫の自然面が残っている。

叩石 (図149-4、5)

2点とも砂岩の円礫を使用し、その一端に敲打痕がある。

11) ブロック23 (図150)

M1821、M1822区付近、微高地上で、2b層～3b層上層で出土した。シルト岩を主体としている。完成品は南側に偏って分布している。個別別資料の搬入状況は次の通りである。29個体を識別した。内訳は、安山岩は1個体で、単独個体である。流紋岩も1個体で単独個体である。6個体で、すべて単独個体である。シルト岩1は17個体で、うち10個体が単独個体、そのうち2個体が完成品での搬入である。凝灰岩は4個体で、うち2個体が単独個体である。

ナイフ形石器 (図151-1、2)

1は砂岩の縦長剥片を素材として、一側縁を主剥離面側から加工している。上限を欠損しており、復原すると長さが5cm程の大型のナイフ形石器になる。上下が逆になるかもしれない。2は、9はシルト岩の薄い縦長剥片の打面を下にして、素材剥片の末端部を斜めに切断するように加工している。

使用痕のある剥片 (図151-3)

シルト岩の縦長剥片の正面右側縁の一部に細かい剥離がある。側縁にえぐりを入れるように剥離があるので、意図的な加工かもしれない。

石核 (図151-4)

5は分厚い剥片の自然面を打面として、剥片の末端で小型の縦長剥片をとっている。加工痕にしては大きな剥離なので、石核としたが、剥離した剥片もかなり小型で、石器の素材になり得たかどうか疑問である。素材剥片の形があまり変わっていないことから、石核であるとしても、まだ剥離を始めた初期の段階と思われる。

12) ブロック24 (図138)

M1818区、微高地上で3a層～3b層で出土した。剥片と砕片のみからなるブロックである。個別別資料の搬入状況は次の通りである。2個体を識別した。流紋岩とシルト岩2でそれぞれ1個体づつあり、シルト岩2は単独個体である。

13) ブロック25 (図138)

M1708区、微高地上で3a層～3b層で出土した。分布範囲は480×80cmで、南北に細長く分布している。凝灰岩を主体としている。個別別資料の搬入状況は次の通りである。8個体を識別した。黒耀石、流紋岩、砂岩はそれぞれ単独個体である。シルト岩1は3個体で、うち2個体が単独個体である。凝灰岩は2個体搬入されている。

加工痕のある剥片 (図151-5)

シルト岩の不定形剥片の正面右側縁の一部を加工している。先行剥離面側には円礫の自然面が大きく残っている。

石核 (図152-6、7)

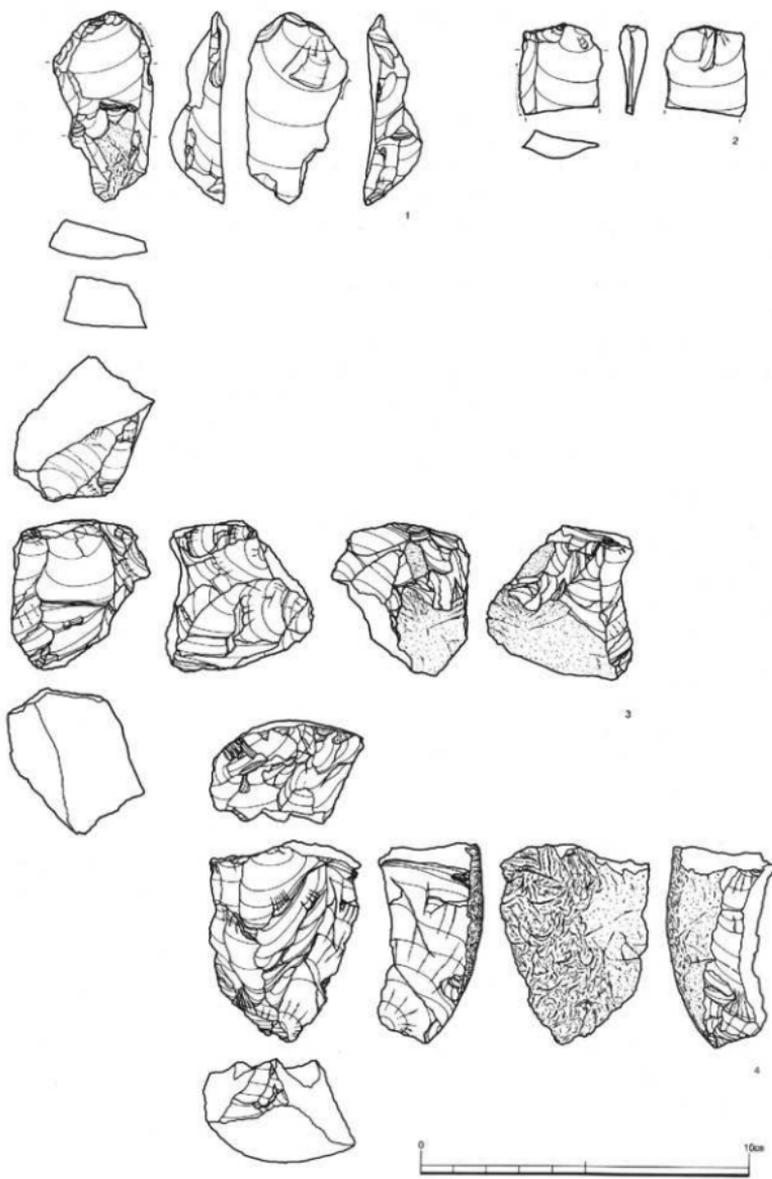


図 148 ブロック 22 出土石器 1 (2/3)

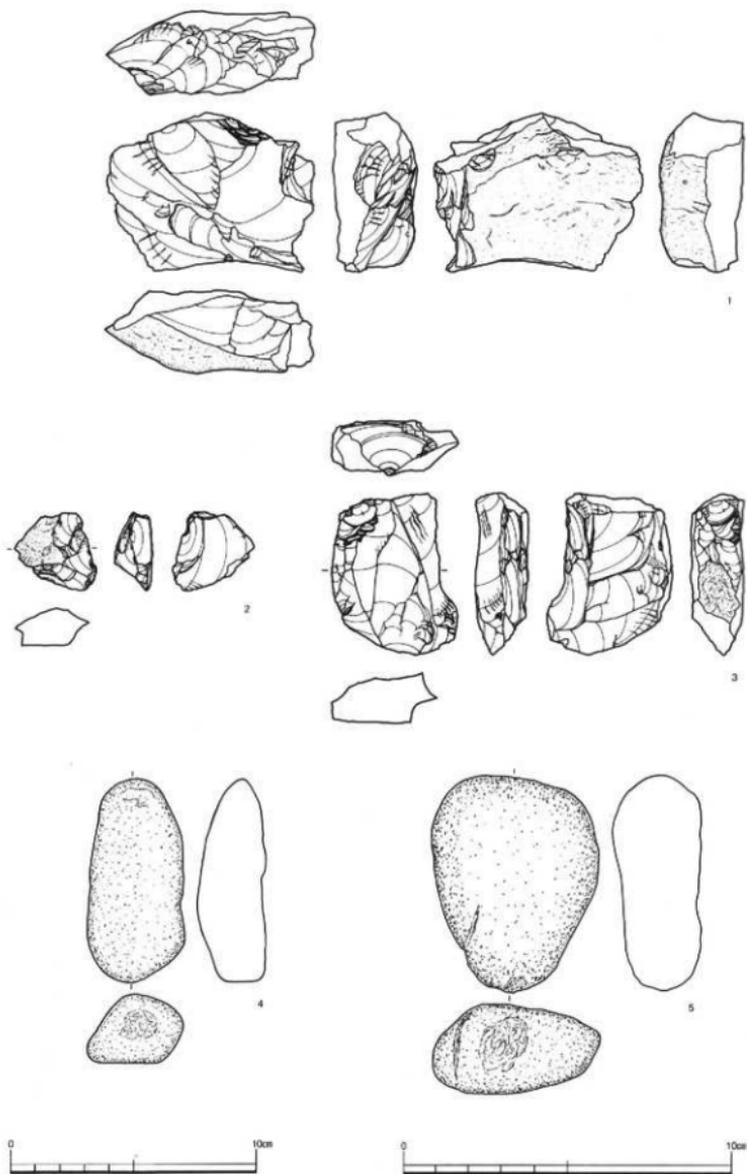


図 149 ブロック 22 出土石器 2 (2/3、4、5 は 1/2)

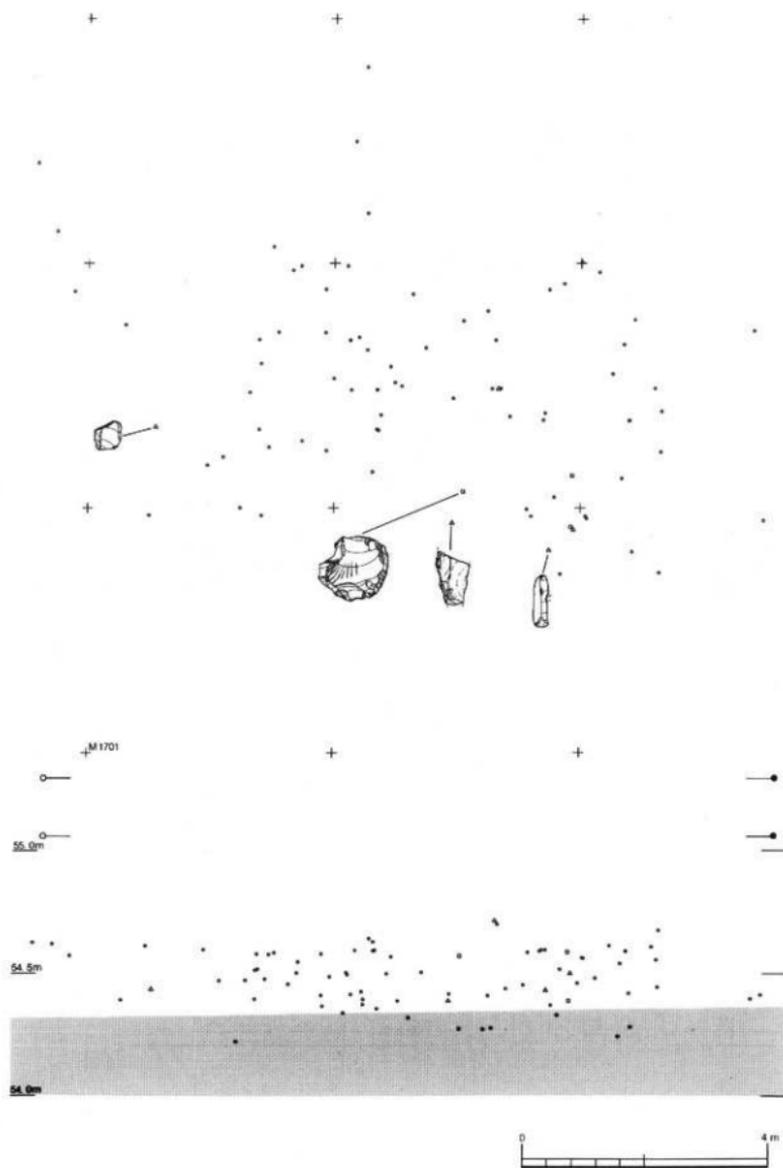


図 150 ブロック 23 石器分布図 (1/80)

6は、シルト岩の円礫を素材として、両設の調整打面から幅広の剥片をとっている。作業面は正面の1面で、作業面の裏面には円礫の自然面が大きく残っている。図150-5の加工痕のある剥片は、この石核の自然面を除去したときの剥片で、実測図下面の自然面の上にある剥離面に接合する。7は凝灰岩製で、上設の平坦打面から縦長剥片をとっている。作業面は石核のほぼ全周をめぐる。一部に下側からの剥離も見られる。これは剥離面の切り合いから見て、上設打面からの剥離以前の剥離で、剥離の初期には下設打面があったのかもしれない。

14) ブロック26 (図138)

M1710, N1706区、微高地上で3a層から出土している。個体の搬入状況は次の通りである。7個体を識別した。チャートは1個体、単独個体である。黒曜石は1個体搬入されている。砂岩、シルト岩1、2はそれぞれ1個体、単独個体で、完成品での搬入である。凝灰岩は2個体でともに単独個体のうち1個体は完成品での搬入である。このように、単独個体が主体となるブロックである。

使用痕のある剥片 (図152-1)

シルト岩の幅広剥片の末端の一部に細かい剥離が不連続にある。側面には縦方向の裁断面のような剥離がある。

石核 (図152-2、3)

2は円礫を素材として打面と作業面を交互に入れ替えながら不定形の剥片をとっている。作業面の裏側には円礫の自然面が大きく残っている。3はシルト岩の分割礫を素材にしていると思われる。素材の形が丸くないが、これも求心状に不定形剥片をとる石核に分類できるであろう。熱を受けて円礫の自然面が赤化し、作業面は黒く変色している。

叩石 (図152-4)

砂岩の円礫の一端に敲打痕が残っている。

15) ブロック27 (図153)

M1719区付近、微高地上で2b-3a層で出土した。480×80cmの範囲で、南北に細長く広がる。石核と剥片だけからなるブロックである。個体別資料の搬入状況は次の通りである。5個体を識別した。砂岩は2個体である。シルト岩1は1個体、単独個体である。凝灰岩は2個体でともに単独個体、うち1個体は完成品での搬入である。

16) ブロック外出土石器

尖頭器 (図154-1)

M1815区、3b層で出土した。両面加工で、基部が丸いティアドロップ形である。残っている素材面から、シルト岩の横長剥片を素材としているようである。

角錐状石器 (図154-2)

L1610区、2b層から出土した。凝灰岩の縦長剥片を素材として、主に主剥離面側から加工しており、後線からの加工もある。角錐状石器としては小型の部類の属するであろう。なお、実測図が上下逆になるかもしれない。

ナイフ形石器 (図154-3)

L1615区、2b層から出土した。シルト岩の縦長剥片を素材として、打面側を上にして二側縁を、主に主剥離面側から加工して刃部を右側している。縁辺の加工は、先端に近い部分はえぐり込むように加工しており、先端を意識的に尖らすようにしてある。刃部にも刃こぼれ状の剥離がある。

スクレイパー (図154-4、5)

4はM1702区、2b層から出土した。砂岩の分厚い剥片の末端を加工してある。素材剥片は円礫の自然面を大きく残している。搬入した円礫の自然面を除去したときの剥片を利用しているのであろう。5

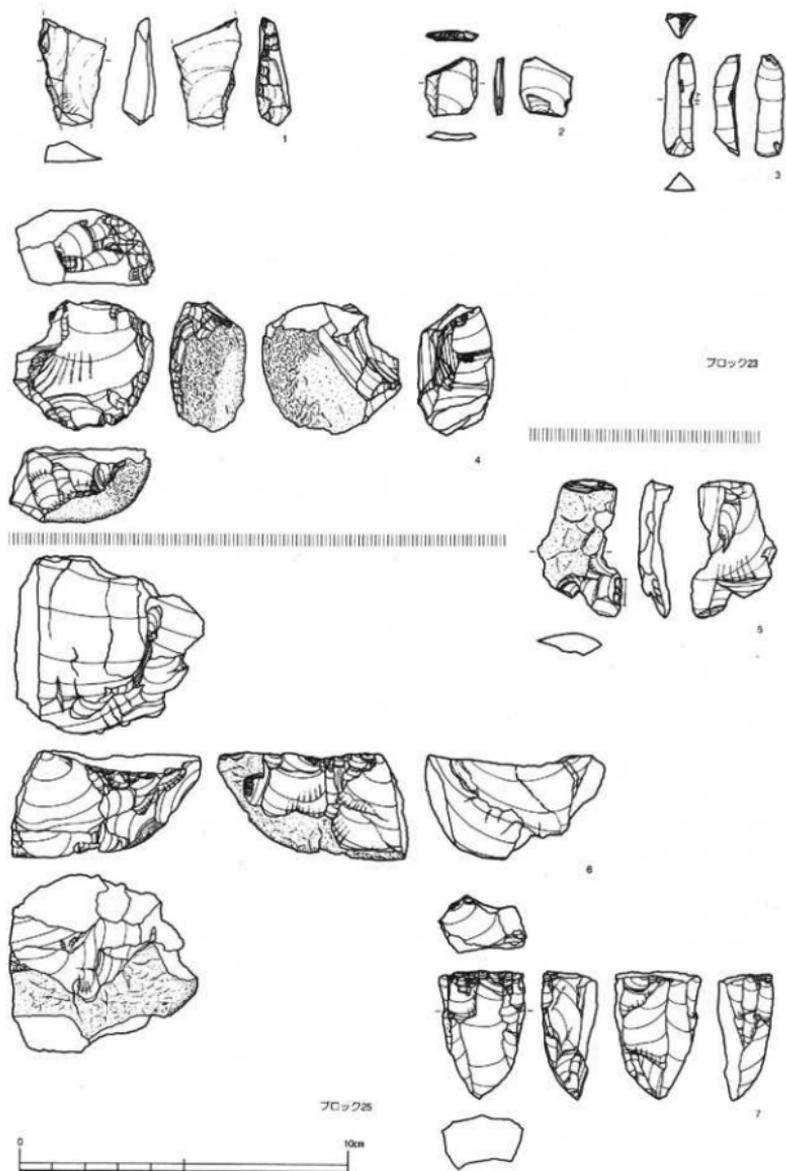


図 151 ブロック 23、25 出土石器 (2/3)

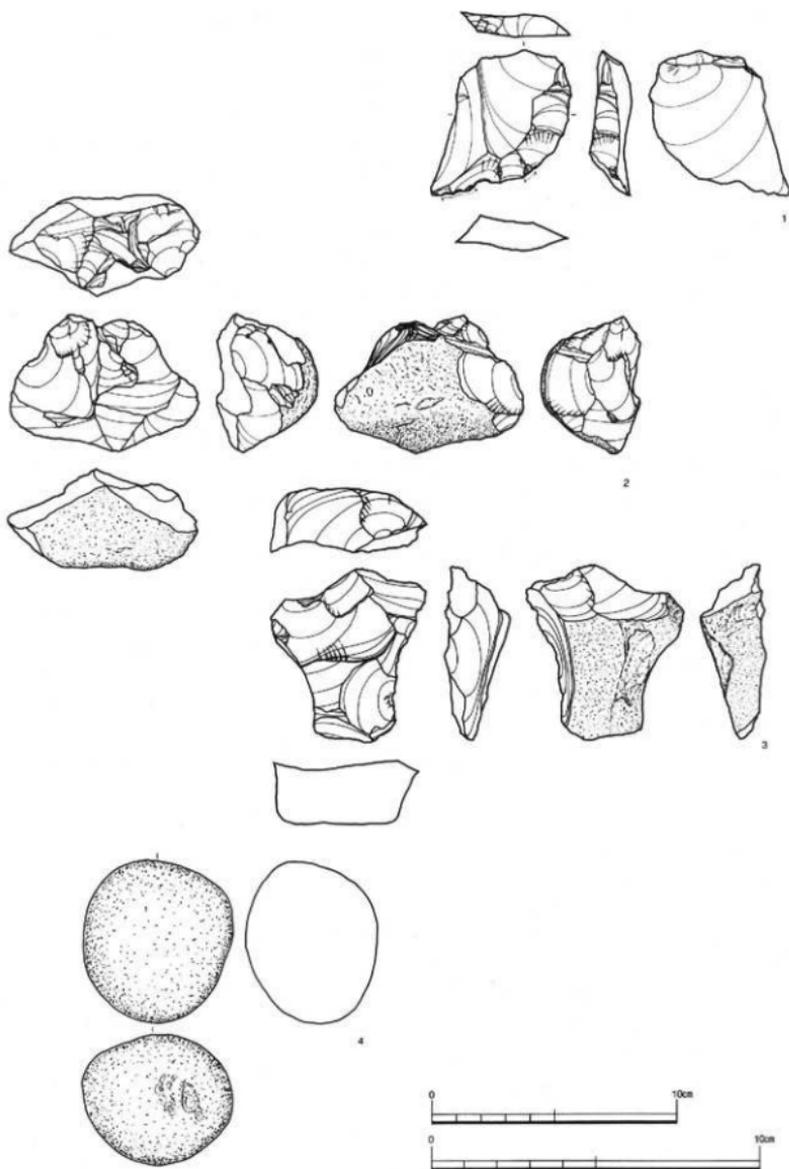


図 152 ブロック 26 出土石器 (2/3、4 は 1/2)

- 十 は、M1803区、3 a層から出土した。やや風化の進んだシルト岩の縦長剥片の側縁を加工している。加工痕は大きさが不揃いである。風化が進んでいる。
- 使用痕のある剥片 (図154-6、7)
- 6はL1909区、3 a層から出土した。黒曜石の縦長剥片の左右両方の側縁下半に不連続の剥離がある。7は、L1602区、2 b層から出土した。砂岩の縦長剥片の正面右側縁の下半に細かい剥離が不連続にある。上半を欠損している。
- 石核 (図154-8~図157)
- 8はM1611区、3 a層から出土した。やや目の粗いシルト岩製で、上設の調整打面から縦長剥片をとっている。打面の調整は打点部分に限っているため、平坦打面のように見える。下面には作業面を切る大きな剥離がある。後に接合資料として記載するが、剥片剥離終了後に石核を輪切りにして剥片をとっている。
- 図155-1はM1705区、3 a層から出土した。凝灰岩の円礫を素材としている。作業面は正面とその左側面、下面の3面あり、剥離している剥片は幅広の縦長剥片である。正面の作業面は上設の調整打面、左側面の作業面は下面の作業面を打面としている。また、下面の作業面は左側面の作業面を打面としている。作業面の新旧関係は古い順に下面、左側面、正面である。円礫の自然面が大きく残っている。2はM1606区、3 a層から出土した。シルト岩製で、上設の調整打面から幅広の縦長剥片をとっている。作業面は正面の1面だけである。3はM1702区、3 a層から出土した。シルト岩製で、上設の調整打面から、正面の作業面で幅広の剥片をとっている。明確な作業面はこの1面である。石核自体がいびつな形をしている。
- 図156-1はL1610区、3 a層から出土した。シルト岩の円礫を素材として、両設の調整打面から幅広の縦長剥片をとっている。作業面は正面とその右側面の2面で、正面は上設打面から、右側面は下設打面から剥片をとっている。円礫の自然面を残している。2はM1712区、2 b層から出土した。シルト岩製で、両設の調整打面から幅広の剥片をとっている。作業面は正面とその右側面の2面であるが、上設の打面も正面と同様に幅広の剥片をとっており、作業面かもしれない。3はL1603区、3 a層から出土した。シルト岩の円礫を素材としている。打面は石核の周縁を巡りながら、求心状に不定形剥片をとっている。4はL1608区、3 a層から出土した。凝灰岩の円礫を素材として石核の周縁から求心状に不定形剥片をとっている。
- 図157-1はL1825区、3 a層から出土した。シルト岩製で、円礫を素材としている。打面は石核の周縁を巡りながら、求心状に不定形剥片をとっている。作業面の裏側には円礫の自然面が残っている。2はM1712区、2 b層から出土した。石の目に沿って分割したシルト岩の円礫を素材としている。平坦な分割面を打面として、打点を左右に移動させながら、幅広の剥片をとっている。3はL1603区、3 a層から出土した。シルト岩の分割した円礫を素材としている。上設の打面は分割面であろう。作業面は正面の1面で、打面を左右に移動させながら幅広の剥片をとっている。作業面左側面には側面調整が見られる。また、円礫の自然面が大きく残っている。
- 図158-1はM1705区、3 b層から出土した。シルト岩の分割礫で、上設の平坦打面から縦長剥片をとっている。まだ剥離は進んでおらず、剥離作業の初期の段階であろう。
- 図158-2はL1615区、3 a層から出土した。砂岩の剥片を素材としている。正面左側縁で主剥離面側から小型の剥片をとっており、主剥離面側でも小型の剥片をとった跡がある。加工にしては剥離が大きく、目的剥片にしては小型で、加工痕のある剥片にするか迷うところだが、他の石核にも、この程度的小型剥片を取っている例があるのに対して、加工痕のある剥片にはこれほどの大きな剥離を入れた例がないことから、石核に分類した。3はM1719区、2 b層から出土した。凝灰岩製で、上設の平坦打面

94.5m
 図153 ブロック27
 石器分布図 (1/80)



図 154 エリア3ブロック外出土石器 1 (2/3)

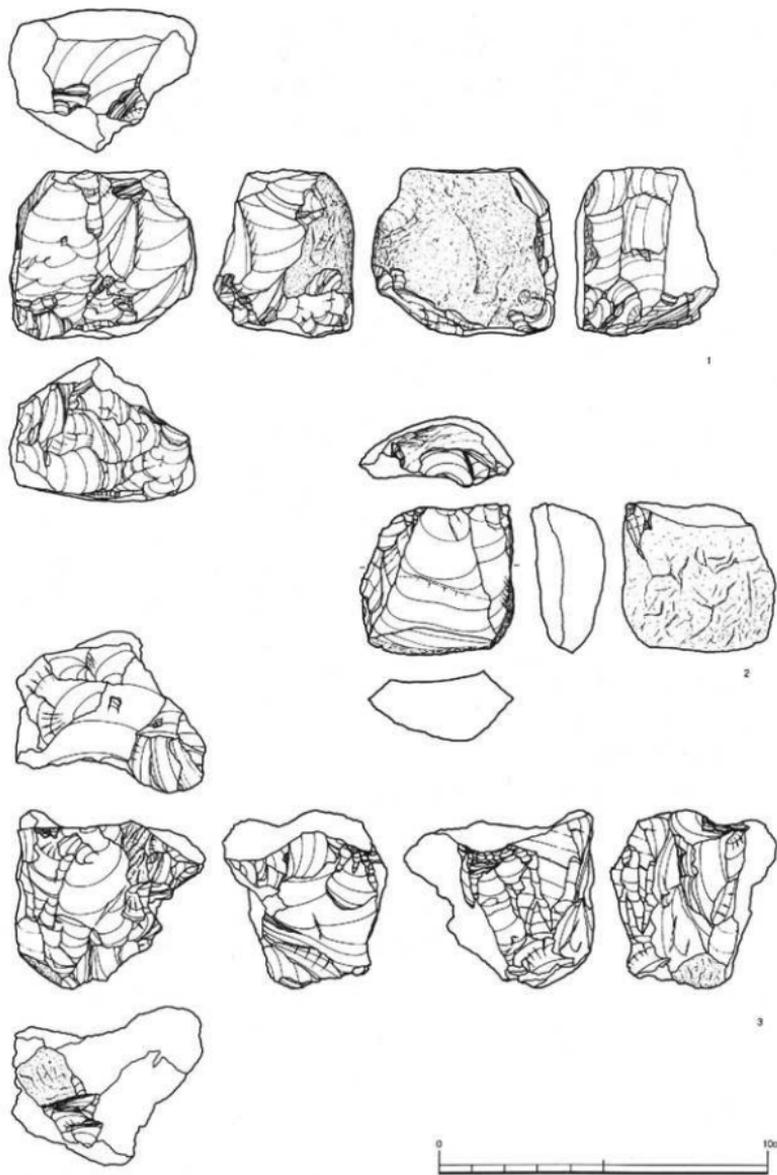


図155 エリア3ブロック外出土石器2 (2/3)

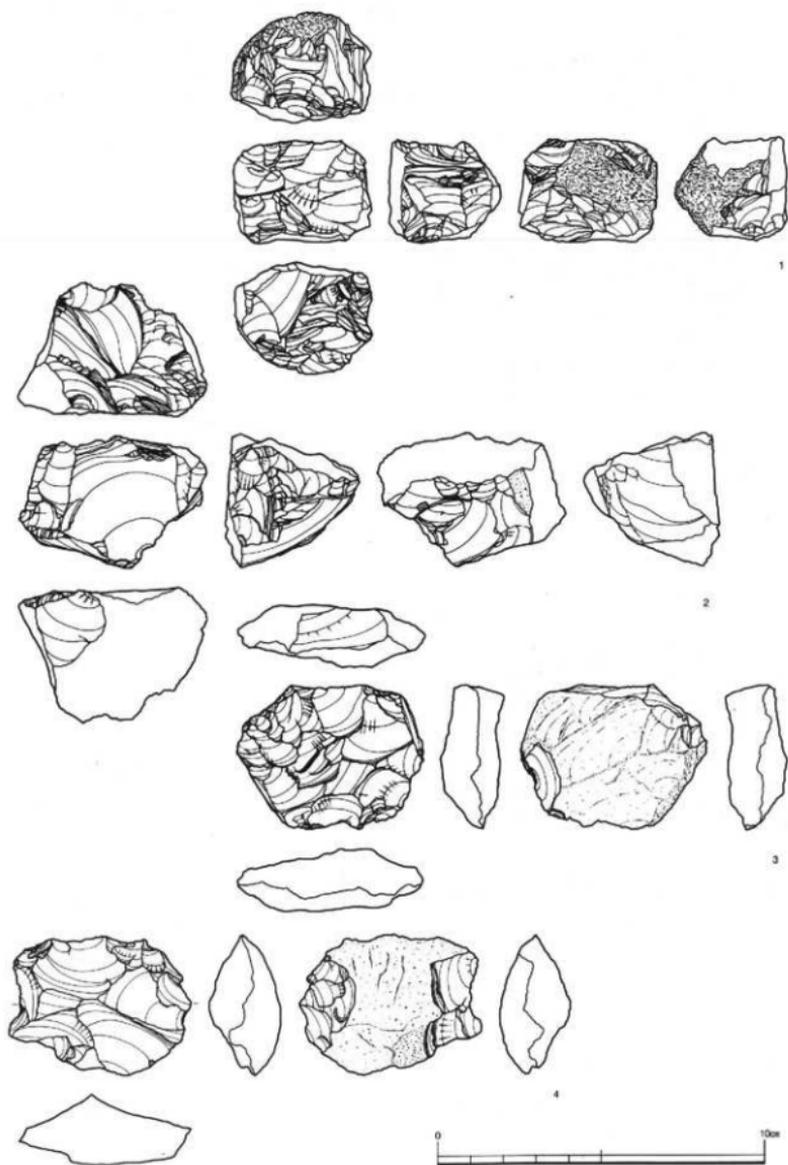


図156 エリア3ブロック外出土石器3 (2/3)

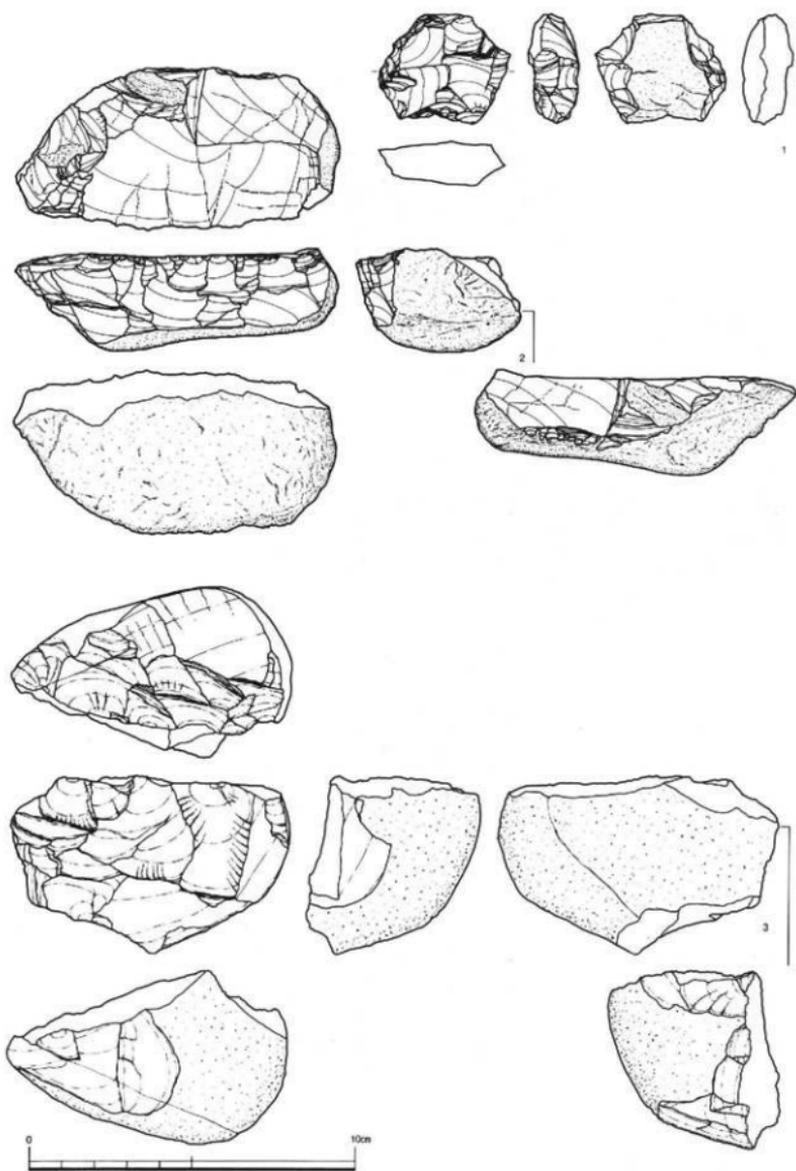


図 157 エリア3ブロック外出土石器4 (2/3)

から縦長剥片をとっている。作業面は実測図正面の1面である。これは細石核の可能性が高い。

17) エリア3 遺物集中域の石器分布状況

剥片、碎片の分布(図159)を見るとブロック12に集中しており、ここで剥片剥離作業を行ったことが明確である。逆にブロック12以外の部分では剥片、碎片はまばらになっている。これに対して石核を含めた完成品としての石器の分布(図160)を見ると、微高地上の遺物集中域ほぼ全域に均等に分布している。このことは、ブロック12以外の所では、完成品の割合が高いことになる。では、ブロック12が石器製作空間、その周辺は石器使用空間ということになるであろうか。後述する接合関係では、ブロック12の中で収まる接合がほとんどである。個別資料の分布では、ブロック12に搬入された32個体中、19個体が周辺のブロックにもまたがって分布する。このことから、ブロック12で製作した石器のうち、多くの完成品はそのままブロック内に残っているが、一部は周辺のブロックに持ち出されていると考えられる。

6 石器の接合状況

エリア3での石器の接合関係の全体図を図161に示す。ブロック12以外の部分では、最大15mの接合距離を始め、数mから10m程の距離での接合が目立っている。剥片同士の間接合がほとんどだが、ブロック間を遺物が頻繁に移動していることを示している。

ブロック11、12周辺の接合状況(図162)を見ると、ブロック11とブロック12との間で1例接合している以外は、ブロック12の中で収まる接合がほとんどである。

接合資料19

図163は、ブロック11で出土した石核(図133-8)と剥片3点の接合である。剥離の順番は3、2、1、4の順で、石核は剥片2(図163-2)の剥離痕を打面にしている。剥片1(図163-1)は、石核にした可能性があり、正面左側縁で剥片をとっているが、小さな剥離で、石器の素材になったかどうか疑問である。

接合資料30

図164の上段は、ブロック18出土の石核(図146-1)とブロック11出土の使用痕のある剥片の接合である。使用痕のある剥片は上部を大きく欠損しているが、接合した剥離面の大きさから本来の大きさを推定できる。

接合資料50

図164の下段は、石核(図155-2)と剥片1点の接合である。この剥片と石核の作業面との間には、剥片もう1枚分の隙間があることから、この剥片を剥離する前にもう1枚剥片をとっていることがわかる。ともにブロック外出土である。

接合資料27

図165は、石核2点(図137-1と図135-8)の接合である。ともにブロック12出土である。分割面で接合している。円礫を分割して石核の素材としていることがわかる資料である。2の石核には別の分割面もあることから、同じ円礫からさらに多くの石核素材を分割していると思われる。接合はしないが、図136-1の石核も同じ円礫から分割した素材を使っていると思われる。さらに、後に記載する接合資料17とも同一個体の可能性があり、かなり大きな円礫を分割しているようである。接合している2点の石核はともに縦長剥片の石核で、ほぼ同一の技術によって縦長剥片をとっている。1の石核は、2の石核との接合によって、本来の長さ(作業面の高さ)はもっと長かったものが、打面再生によって少なくとも1cm短くなっていることがわかる。2の石核は、作業面の高さが低く、剥片剥離後に下面の分割面で石核を分割したかのようであったが、1の石核と接合することによって、当初からの大きさの石核であったことがわかる。

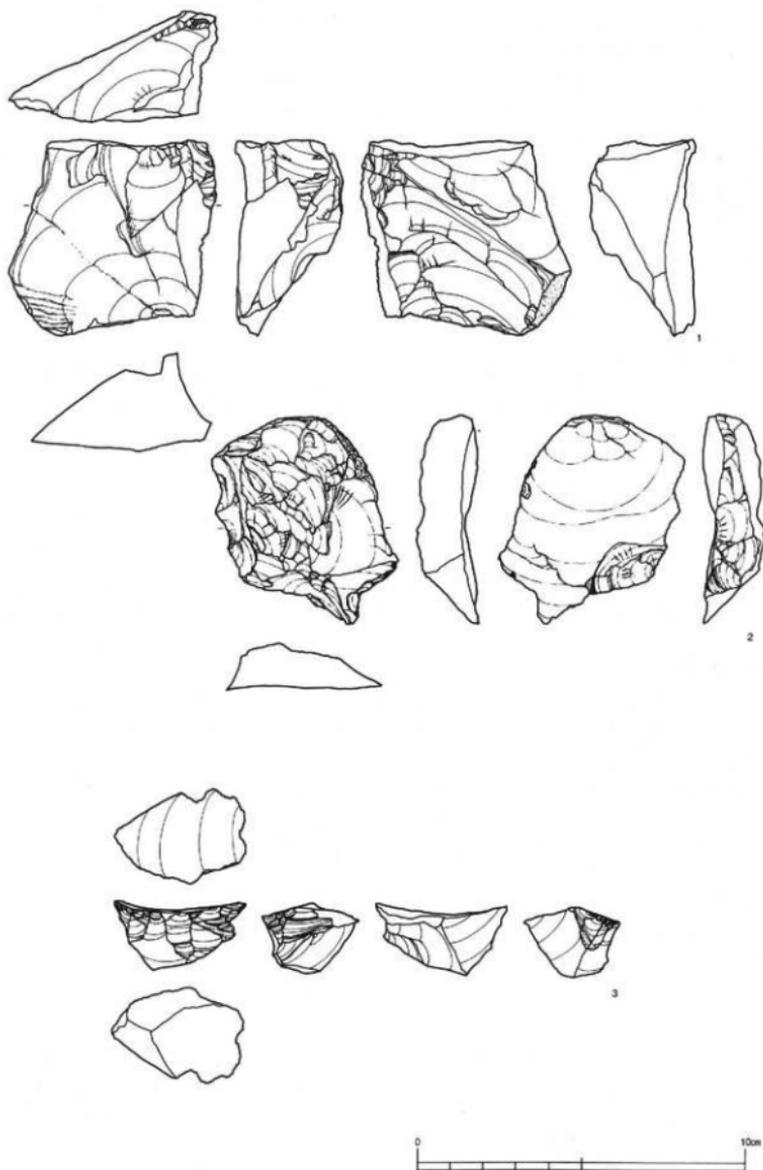


図 158 エリア3ブロック外出土石器5 (2/3)

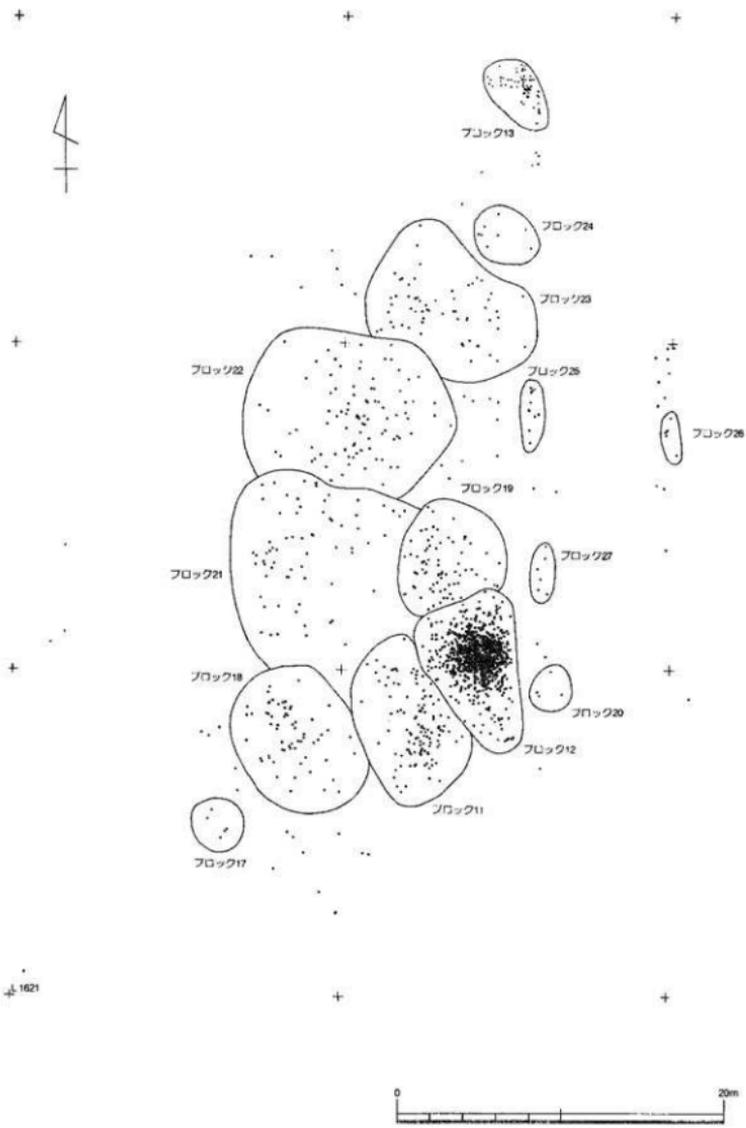


図 159 エリア3 微高地部分石器分布図1 (1/300)

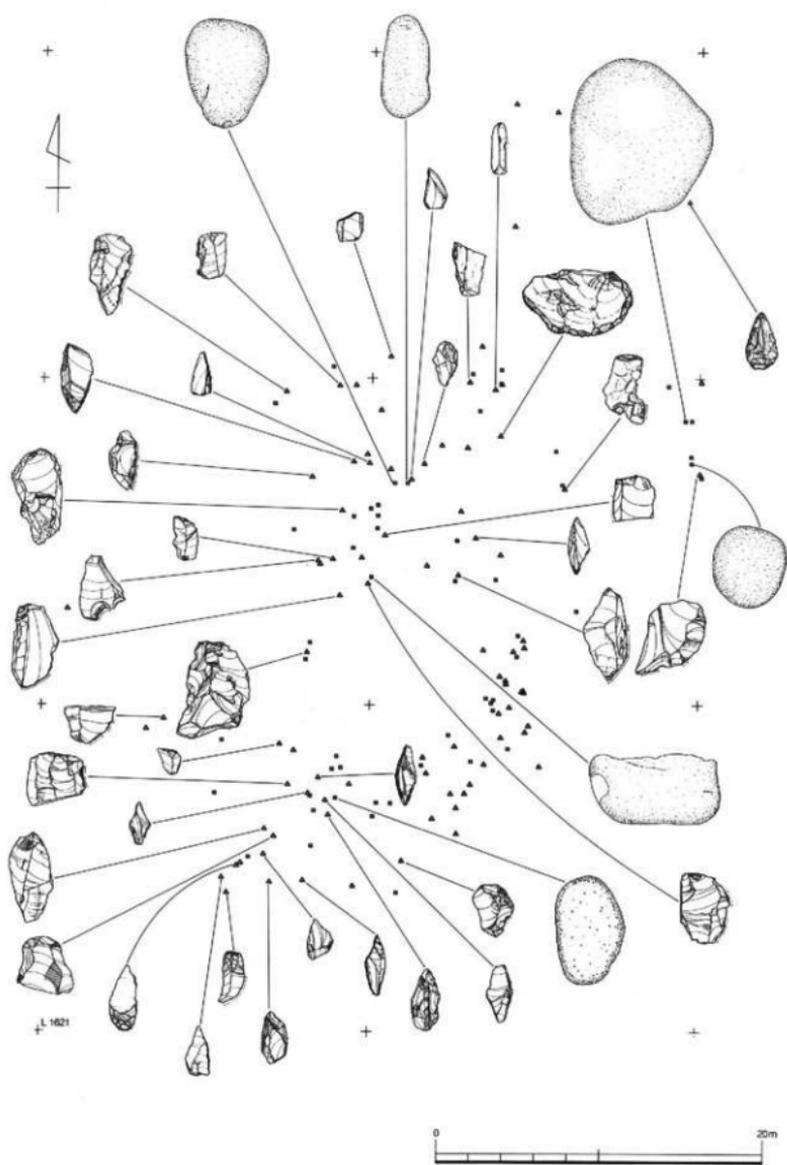


図 160 エリア 3 微高地部分石器分布図 2 (1/300)

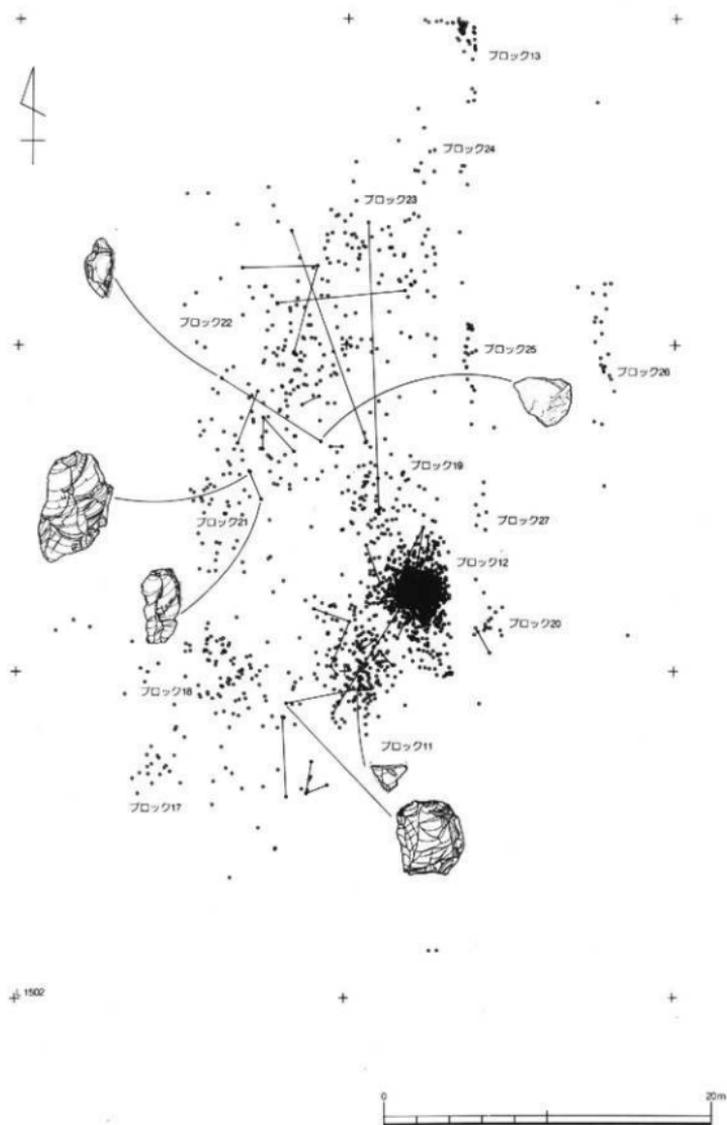


図 161 エリア 3 石器接合状況 (1/300)

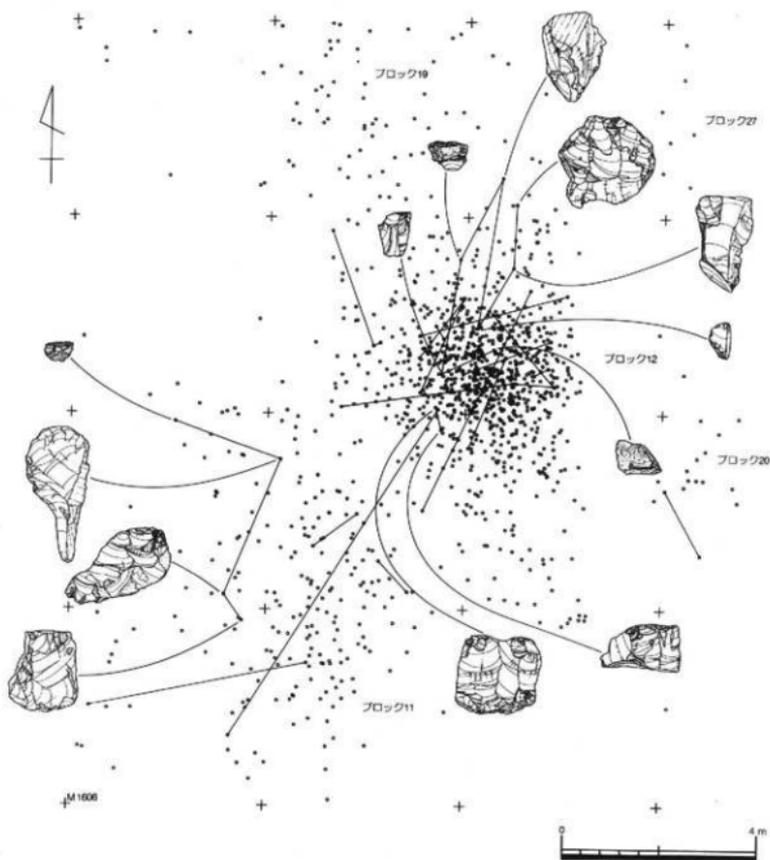


図 162 ブロック 11、12 付近石器接合状況 (1/100)

接合資料 17

図 166 は石核 2 点 (図 138-2、3) と剥片 5 点の接合である。すべてブロック 12 出土である。大きく残っている自然面から考えて、かなり大きな円礫を分割して石核素材をとっていると考えられる。剥離の順は次の通りである。剥片 6 と剥片 7 が剥離した後に、剥片 5、石核 4 + 剥片 3 + 剥片 2 の順で剥離している。最後に石核 1 が剥離している。ただし、これらは円礫面に沿った横並びの接合のため、全く逆の順番で剥離しているとも考えられる。この接合資料は、先の接合資料 27 と同じく、円礫を分割して複数の石核を生産している例である。5 の剥片も厚みのある大型の剥片で、石核の素材である可能性がある。

接合資料 34

図 167 の上段は大型の幅広の剥片と使用痕のある剥片 (図 135-7) の接合である。ブロック 12 出土。連続して剥離した剥片であるが、かなり大きさが違っている。また、剥片 2 の右側面には石核の側面と

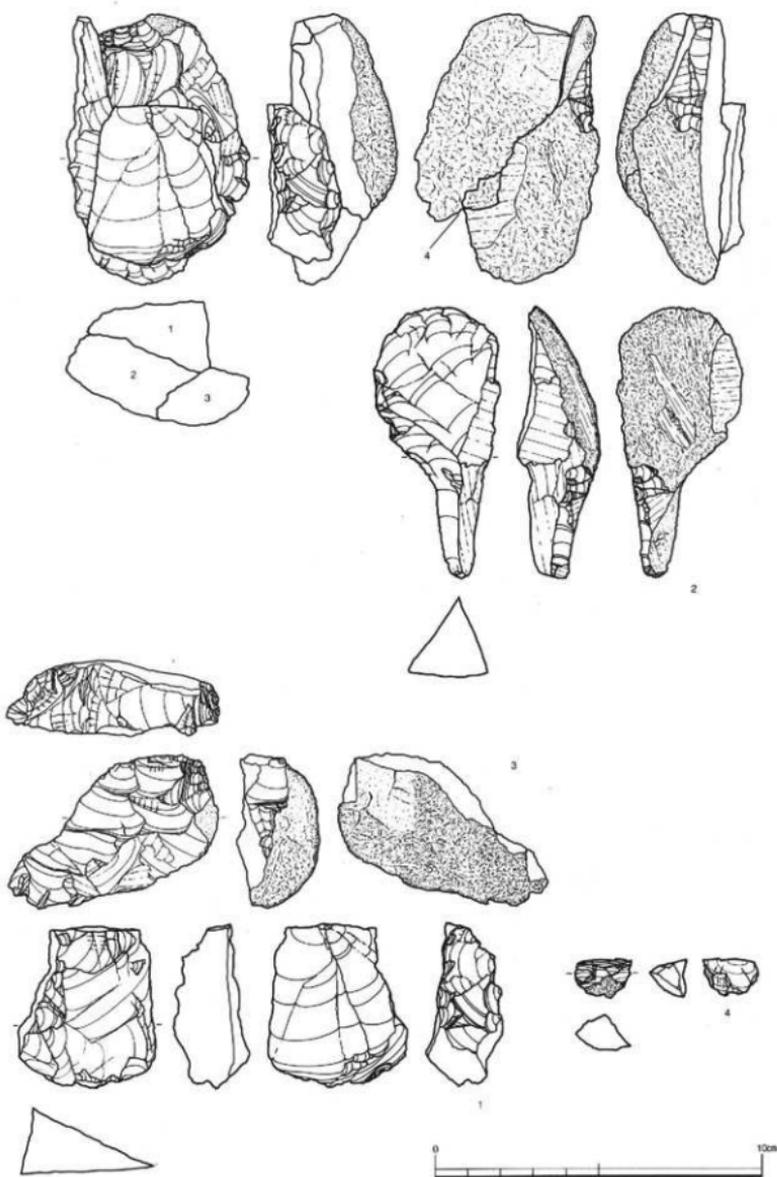


図 163 エリア 3 出土接合資料 19 (2/3)

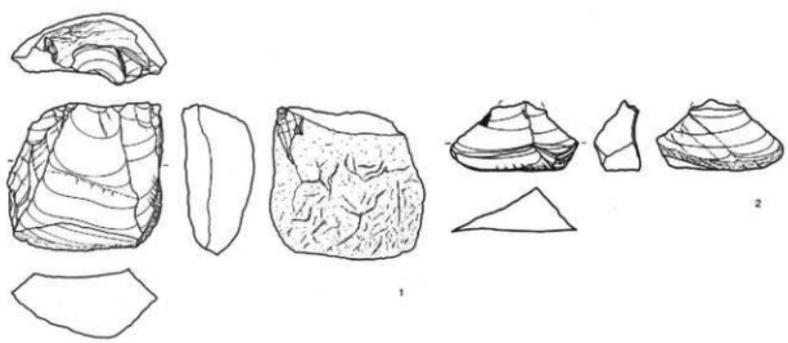
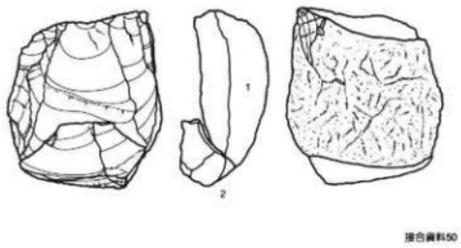
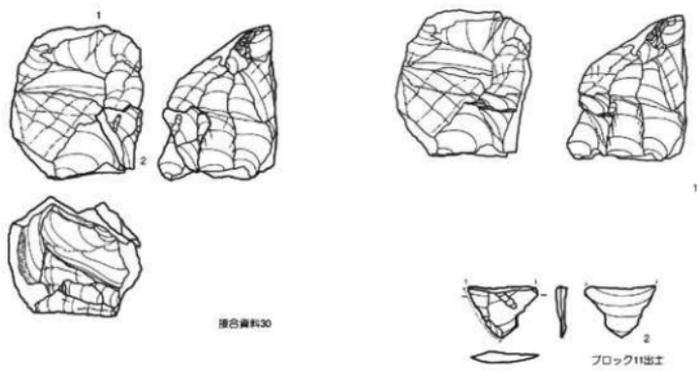


図164 エリア3出土接合資料30、50 (2/3)

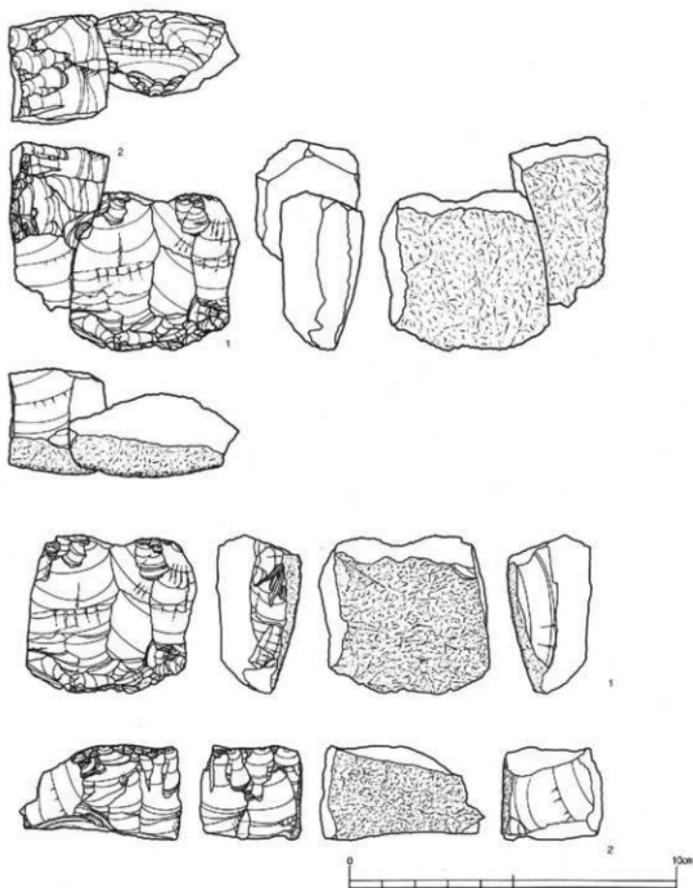


図 165 エリア3 出土接合資料 27 (2/3)

思われる面が残っており、下面には石核の底面と思われる面がある。剥片1の打面と合わせて、この剥片を剥離した石核の作業面の大きさを、長さ7.5 cm、幅5 cm以上と推定できる接合例である。

接合資料 36

図 167 の下段は、加工痕のある剥片 (図 147 - 10) と剥片の接合である。加工痕のある剥片はブロック 22 出土、剥片はブロック 21 出土である。両者の接合面は剥離面というよりも折れ面である。したがって、接合した状態の剥片が 2 つに折れた後に片方の剥片を加工している。折れた剥片の再利用といったところであろうか。

接合資料 20

図 168 上段は、石核 (図 154 - 8) と剥片 2 点の接合である。すべてブロック外出土である。この接合資料からは石核が縦長剥片の剥片剥離作業を終えた後、石核を斜めに輪切りにするようにして剥片 2

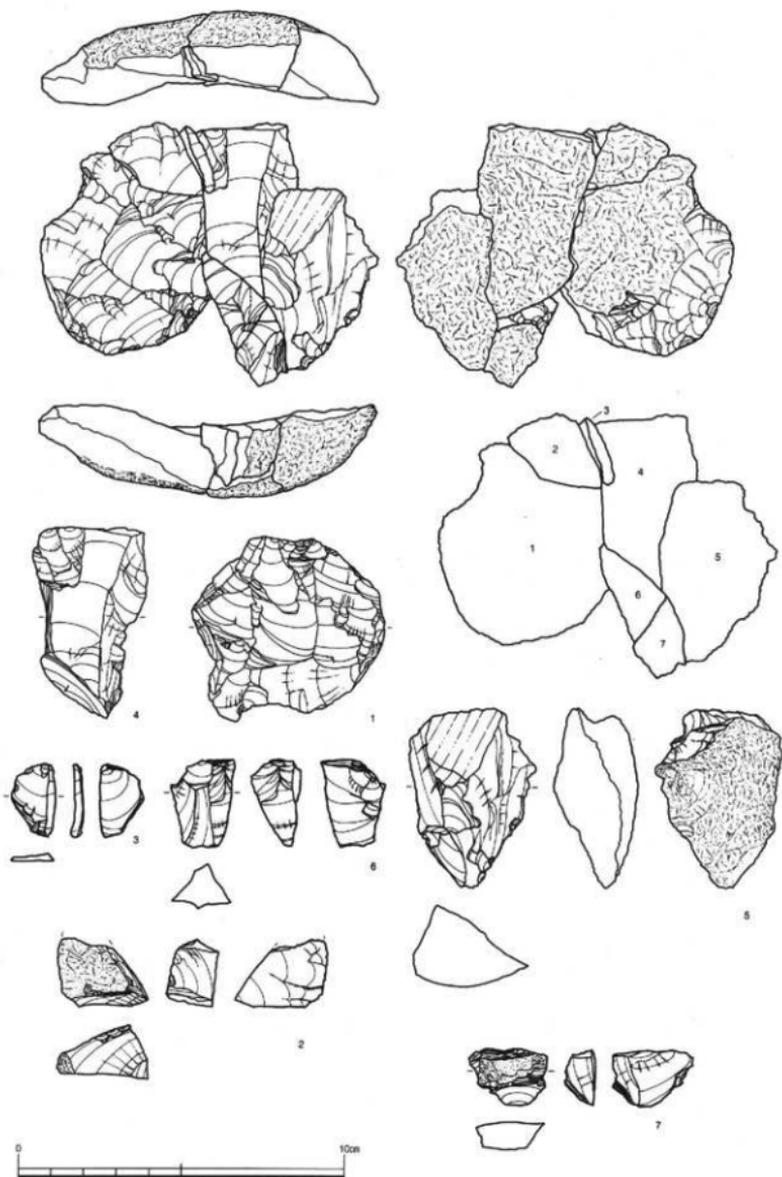


図 166 エリア3出土接合資料 17 (2/3)

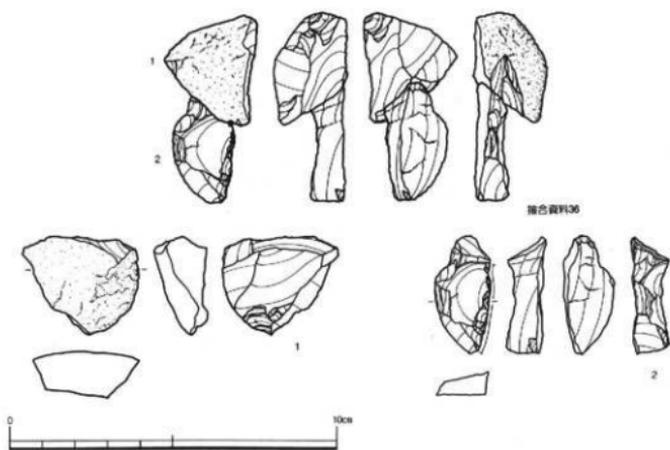
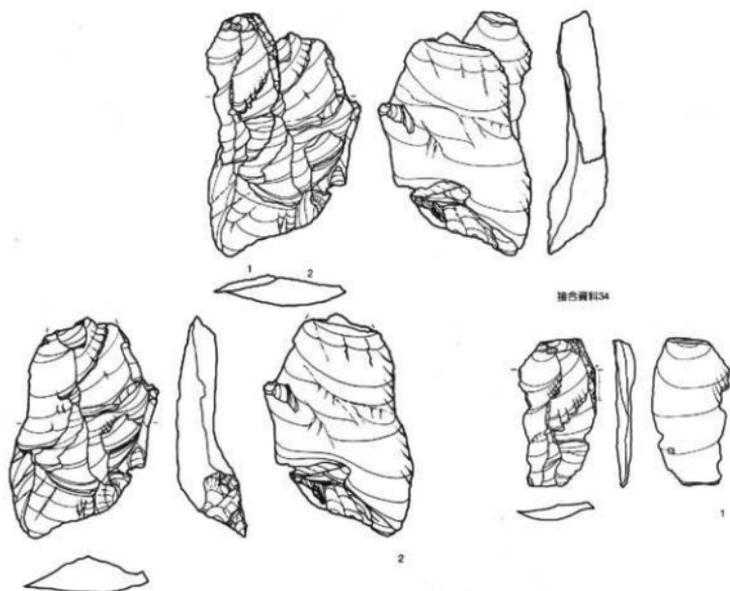


図 167 エリア 3 出土接合資料 34、36 (2/3)

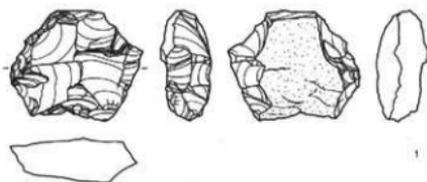
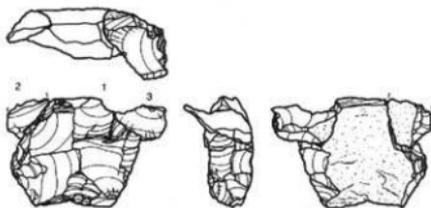
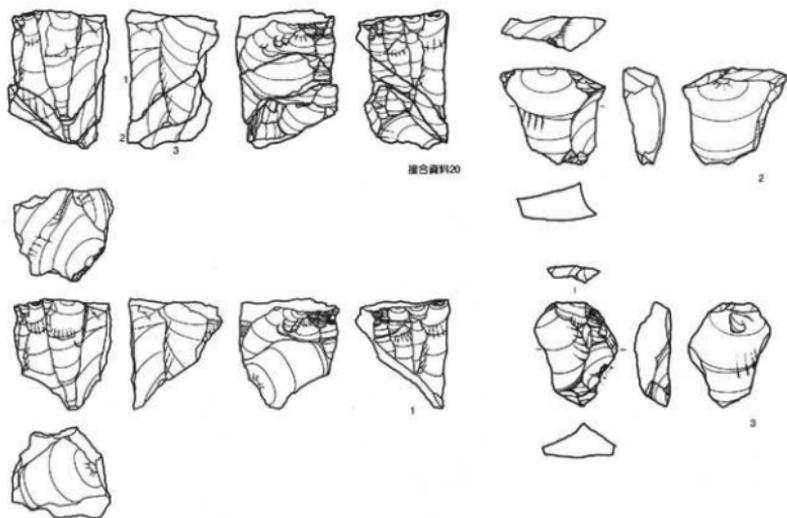


図 168 エリア 2 出土接合資料 20、24 (2/3)

点を剥離している。この剥片のうち1点(図168-3)には、使用痕と思われる微細な剥離がある。縦長剥片石核の再利用ともいえるおもしろい例である。

接合資料 24

図168下段は、石核(図157-1)と剥片2点の接合である。石核と図168-2の剥片はブロック22出土、図168-3の剥片はブロック23出土である。接合する剥片は石核の打面調整剥片で、目的剥片ではないが、剥片3を剥離したときには、この石核がもう一回り大きかったことを示している。

7 個別別資料の分布状況(図169)

個体ごとに分布が異なるものがあり、その傾向はおよそ次の通りである。

- 1 M1603、M1723区付近に分布する個体：S i l - S i 001、S i l - S i 004、R h 001、T u 002
- 2 L1719、L1720区付近に分布する個体：S i l - S i 015、S i l - S i 016
- 3 L1710、M1706区付近に分布する個体：S i 2 - S i 003、T u 002、T u 007
- 4 M1821、M1822区付近に分布する個体：S i l - S i 008、S i l - S i 017、S i l - S i 018
- 5 L1605、L1610区付近に分布する個体：S i l - S i 030、O b 001～007

このように、個体によって分布に違いがあり、特に、上記の2はブロック21、3はブロック22、4はブロック23を設定する根拠となっている。

ここで、各ブロックにおける、出土石器の全点に占める単独個体の割合を示すと次のようになる。

1 単独個体の保有率が20%未満のブロック

ブロック11(11.9%)、ブロック12(12.0%)、ブロック17(15.8%)

2 単独個体の割合が30%前後のブロック

ブロック10(28.9%)、ブロック18(35.1%)、ブロック24(33.3%)

3 単独個体の割合が半分近くを占めるブロック

ブロック19(47.6%)、ブロック20(58.3%)、ブロック21(44.4%)、ブロック22(41.2%)、ブロック23(39.2%)、ブロック25(41.7%)、ブロック27(42.9%)

4 単独個体が主体となるブロック

ブロック13(79.3%)、ブロック26(75.0%)

これらのブロックの分布を見ると、特に石器が集中しているブロック11、12では単独個体の保有率が低く、その周辺に分布しているブロックでは単独個体の割合が高くなっている。ブロック11、12では剥片、碎片が密集しており、このブロックで集中的に石器を製作したことは明らかである。これに対してその他のブロックは、石器が密集することはなく、雑群の分布と重なりながら散在しており、石器製作の痕跡は顕著ではない。ここで、各ブロックにおける剥片、碎片以外の石器、これを使用した石器(完成品)として、その割合を示すと次のようになる。

1 完成品が10%未満のブロック

ブロック10(94.0%、6%)、ブロック11(93.0%、7%)、ブロック12(97.5%、2.2%)、ブロック13(95.9%、4.1%)、ブロック20(92.9%、7.1%)、ブロック23(90.8%、9.2%)、ブロック24(100%、0%)

2 完成品が10%代のブロック

ブロック19(84.4%、15.6%)、ブロック21(82.1%、17.9%)、ブロック22(81.4%、18.6%)、ブロック25(85.0%、15%)、ブロック27(85.7%、14.3%)

3 完成品が20%以上のブロック

ブロック17(57.9%、42.1%)、ブロック18(70.5%、29.5%)、ブロック26(37.5%、62.5%)

以上を見ると、ブロック10～13といった、石器の分布密度の高い、言い換えれば、明らかに石器を製

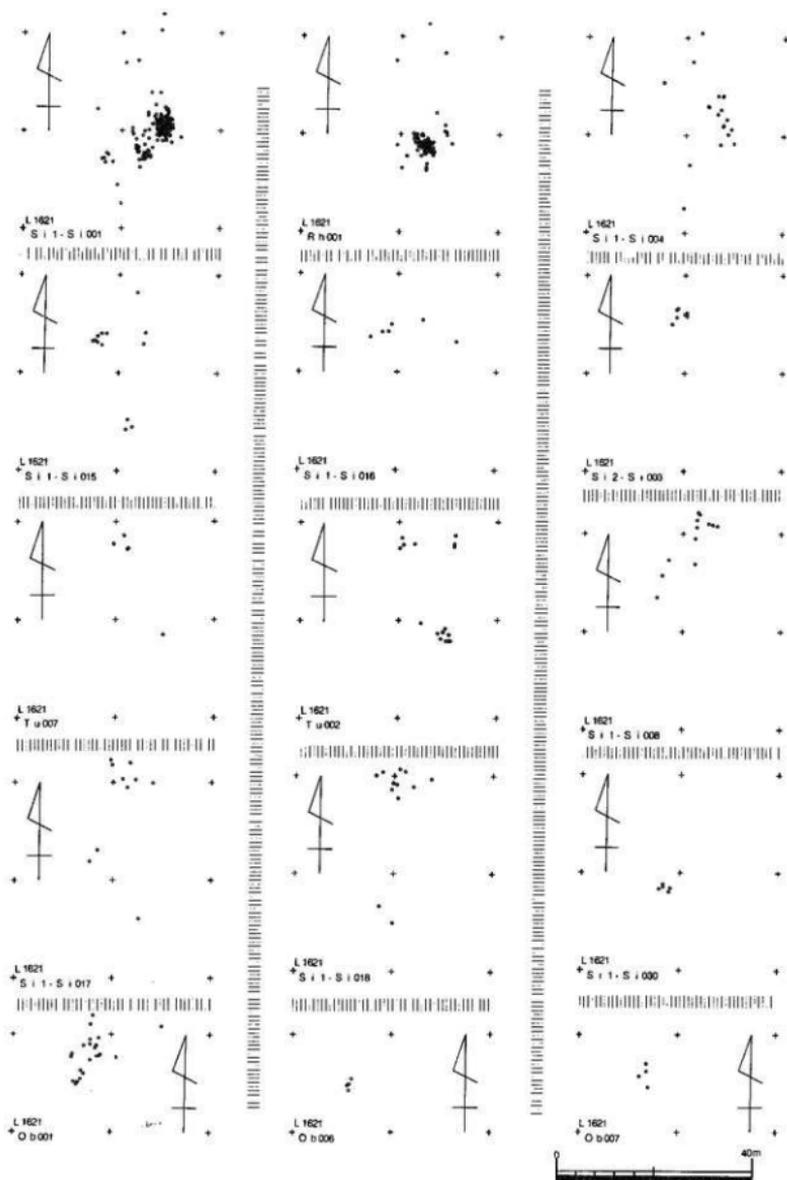


図 169 エリア 3 個別資料分布図 (1/1000)

表 16 エリア3ブロック別石器組成表1

ブロック10

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1	1						1		3	65	31							101
Si2										1								1
Sa	1									3								4
Tu										1								1
Ch								1		2	5							8
Ob											1							1
合計	2	0	0	0	0	0	1	1	3	72	37	0	0	0	0	0	0	116

ブロック11

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1	3						2	3	2	67	43							120
Si2	1							1		1								3
Sa	1									2	1							4
Tu										2	1							3
Rh									1	54	14							69
合計	5	0	0	0	0	0	2	4	3	126	59	0	0	0	0	0	0	199

ブロック12

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1	10							2	7	404	443							866
Sa							1	1		4								6
Tu	1						1			15	7							24
Ch										1								1
Ob											1							1
Rh										5								5
合計	11	0	0	0	0	0	2	3	7	429	451	0	0	0	0	0	0	903

ブロック13

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1							1	1		19	20							41
Si2										2								2
Sa										5	2		1					8
Tu										13	8							21
Ch										1								1
合計	0	0	0	0	0	0	1	1	0	40	30	0	1	0	0	0	0	73

ブロック17

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1									1	3								4
Ob	4						2	1		4	4							15
合計	4						2	1	1	7	4							19

ブロック18

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Ch										1								1
Si1	5						1		6	24	1		1					38
Si2								1	1	1								3
Sa								1										1
Tu	1									3								4
Rh										3								3
Ob										7	3							10
An															1			1
合計	6	0	0	0	0	0	1	1	8	39	4	0	1	1	0	0	0	61

表 17 エリア3ブロック別石器組成表2

ブロック19

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1	2						1		2	23	3							31
Tu								1	1	5								7
Sa										5								5
Si2										1								1
Rh										1								1
合計	2	0	0	0	0	0	1	1	3	35	3	0	0	0	0	0	0	45

ブロック20

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Sa										4	1							5
Si2										1								1
Si1										6								6
Tu										1			1					2
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1	0	1	0	0	0	0	14

ブロック21

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1	1						1	3	1	36								42
Tu										5								6
Sa							1		2	15			2			1		21
Si2		1					1			5								7
Ch										2								2
Rh										1								1
Ob										5								5
合計	1	1	0	0	0	0	3	3	4	69	0	0	2	0	0	1	0	84

ブロック22

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1	2	2					4	3	3	55	6							75
Tu								1	2	20	10							33
Si2	1								2	5								8
Sa	1							1		5					2			9
Ob										3								3
Rh										1								1
合計	4	2	0	0	0	0	4	5	7	89	16	0	0	0	2	0	0	129

ブロック23

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1	1						1	2	3	54	8							69
Sa	1									6	2							9
Rh											1							1
Tu										7								7
An										1								1
合計	2	0	0	0	0	0	1	2	3	68	11	0	0	0	0	0	0	87

ブロック24

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Sa											1							1
Tu										3								3
Si2										1								1
Si1										3								3
Rh										2								2
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	0	0	0	0	0	0	10

表 18 エリア3 ブロック別石器組成表 3

ブロック25

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Tu									1	5	6							12
Si1								1	1	3								5
Sa										1								1
Ob										1								1
Rh										1								1
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	11	6	0	0	0	0	0	20

ブロック26

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Tu									1	1								2
Si2									1									1
Ch										1								1
Ob										1		1						2
Sa															1			1
Si1								1										1
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	1	0	0	1	0	0	8

ブロック27

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Tu									1	1								2
Sa										4								4
Si1										1								1
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	7

表 19 エリア3 個体別石器組成表 1

ブロック10

個体/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計	分布域
Ch002									2	5								7	ブロック10
Ch012								1										1	ブロック10
Ob005											1							12	ブロック10, 17, 21, 22, 25
Sa016		1							2									3	ブロック10
Si1-S014									1									1	ブロック10, 12, 18, 19, 22, 23
Si1-S015									1									1	ブロック10, 19, 21, 22
Si1-S025		1							2									3	ブロック10, 19
Si1-S026								1	4									5	ブロック10
Si1-S050									2									2	ブロック10
Si1-S069									1									1	ブロック10
Si1-S146									1									1	ブロック10
Si1-S147									1									1	ブロック10
Si1-S148									1									1	ブロック10
Si1-S149									1									1	ブロック10
Si1-S150									1									1	ブロック10
Si1-S151									1									1	ブロック10
Si1-S152									1									1	ブロック10
Si1-S153									1									1	ブロック10
Si2-S006									1									1	ブロック10
合計	2	0	0	0	0	0	0	1	3	22	6	0	0	0	0	0	0	45	

ブロック11

個体/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計	分布域
Rh001									1	54	14							69	ブロック11, 12, 18, 19, 22, 23
Sa009		1																1	ブロック11, 19, 21, 23
Si1-S001		3							1	2	27							33	ブロック11, 12, 18, 19, 21, 22, 23
Si1-S004										1								1	ブロック11, 12, 18, 19, 21, 22, 23
Si1-S010										2								2	ブロック11, 12, 13, 18, 20
Si1-S017								1										1	ブロック11, 21, 22, 23
Si1-S039										1								1	ブロック11, 18, 19, 20
Si1-S040										1								1	ブロック11, 16, 22
Si1-S059								1										1	ブロック11, 22
Si1-S076										1								1	ブロック11, 12
Si1-S128										1								1	ブロック11
Si1-S131									1									1	ブロック11
Si2-S009										1								1	ブロック11
Si2-S022		1																1	ブロック11
Si2-S034										1								1	ブロック11
Tu002										1								1	ブロック11, 12, 22, 25
Tu048										1								1	ブロック11
合計	5	0	0	0	0	0	0	2	4	3	90	14	0	0	0	0	0	118	

表 20 エリア3 個体別石器組成表 2

ブロック12																	分布域					
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F	I	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域	
Ch018											1										1	ブロック12
Ob001												1									1	ブロック12, 17, 18, 21, 26
Rh001											5										5	ブロック11, 12, 18, 19, 21, 22, 23
Sw008											1										1	ブロック12, 19, 25, 27, 21, 22
Sw011								1													1	ブロック12, 19, 20, 21
Sw012																					0	ブロック12, 13, 21, 22
Sw021											1										1	ブロック12, 23
Sw033								1													1	ブロック12
Sw071											1										1	ブロック12
Sl-S001	7							1	6	102											116	ブロック11, 12, 18, 19, 21, 22, 23
Sl-S004										6											6	ブロック11, 12, 18, 19, 21, 22, 23
Sl-S005										2											2	ブロック12, 22, 23
Sl-S010									1												1	ブロック11, 12, 13, 18, 20
Sl-S013	1									1											2	ブロック12, 18, 19, 22, 23
Sl-S014										1											1	ブロック10, 12, 18, 19, 22, 23
Sl-S023							1			1											2	ブロック12, 18, 22
Sl-S024										5											5	ブロック12, 22
Sl-S053										1											1	ブロック12, 23
Sl-S073										2											2	ブロック12
Sl-S076										1											1	ブロック11, 12
Sl-S129										1											1	ブロック12
Sl-S130									1												1	ブロック12
Sl-S132										1											1	ブロック12
Sl-S133										1											1	ブロック12
Sl-S134	1									1											1	ブロック12
Sl-S184										1											1	ブロック12
Tu002							1			9	1										11	ブロック11, 12, 22, 25
Tu007										1											1	ブロック12, 22
Tu008									2	1											3	ブロック12, 21, 22, 23, 27
Tu035										1											1	ブロック12, 18
Tu049	1									1											1	ブロック12
Tu062										1											1	ブロック12
合計	10	0	0	0	0	0	0	3	3	9	148	2	0	0	0	0	0	0	0	0	175	
ブロック13																						
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F	I	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域	
Ob017											1										1	ブロック13
Sw012											1										1	ブロック12, 13, 21, 22
Sw013											1				1						1	ブロック13, 21, 22
Sw043																					1	ブロック13
Sw065											1										1	ブロック13
Sl-S008											1										1	ブロック13, 21, 22, 23
Sl-S010											1										1	ブロック11, 12, 13, 18, 20
Sl-S041											1										1	ブロック13, 18, 23
Sl-S042											1										1	ブロック13, 20
Sl-S048											2										2	ブロック13, 22
Sl-S162								1													1	ブロック13
Sl-S163								1													1	ブロック13
Sl-S184											1										1	ブロック13
S2-S003											1										1	ブロック13, 21, 22
S2-S032											1										1	ブロック13
Tu029											1										1	ブロック13
Tu030											3										3	ブロック13, 19
Tu057											1										1	ブロック13
Tu058											1										1	ブロック13
Tu059											1										1	ブロック13
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	20	0	0	1	0	0	0	0	0	0	23	
ブロック17																						
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F	I	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域	
Ob001	1							2				3									6	ブロック12, 17, 18, 21, 26
Ob005	1																				1	ブロック10, 17, 21, 22, 25
Ob006	1							1		1	1										4	ブロック17
Ob007	1																				2	ブロック17
Ob008										2											2	ブロック17
Sl-S038										2											2	ブロック17
Sl-S182										1											1	ブロック17
Sl-S185											1										1	ブロック17
合計	4	0	0	0	0	0	0	2	1	1	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	19	

表 21 エリア3 個体別石器組成表 3

ブロック18																分布域						
個体/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域		
Rh001															1					1	ブロック18	
Ch016										1											1	ブロック18
Oh001									7	3										10	ブロック12, 17, 18, 21, 26	
Rh001									3											3	ブロック11, 12, 18, 19, 22, 23	
Sa039									1											1	ブロック18	
S1-S1001	1								2	3										6	ブロック11, 12, 18, 19, 21, 22, 23	
S1-S1004									1											1	ブロック11, 12, 18, 19, 21, 22, 23	
S1-S1010									1	3										4	ブロック11, 12, 13, 18, 20	
S1-S1013	1																			1	ブロック12, 18, 19, 22, 23	
S1-S1014										1										1	ブロック10, 12, 18, 19, 22, 23	
S1-S1018										1										1	ブロック18, 22, 23	
S1-S1023										1										2	ブロック12, 18, 22	
S1-S1029										1										1	ブロック18, 22	
S1-S1030										1	4									5	ブロック18	
S1-S1036										2										2	ブロック18, 21	
S1-S1039										1										1	ブロック11, 18, 19, 20	
S1-S1040										1	1									2	ブロック11, 18, 22	
S1-S1041										1										1	ブロック13, 18, 23	
S1-S1051										2										2	ブロック18, 21	
S1-S1074	1									1										2	ブロック18	
S1-S1145	1																			1	ブロック18	
S1-S1160													1							1	ブロック18	
S1-S1179										1										1	ブロック18	
S12-S1030										1										1	ブロック18	
S12-S1031										1										1	ブロック18	
S12-S1035										1										1	ブロック18	
Tu035										1										1	ブロック12, 18	
Tu053	1																			1	ブロック18	
Tu055										1										1	ブロック18	
Tu056										1										1	ブロック18	
合計	5	0	0	0	0	0	1	1	8	38	3	0	1	1	0	0	0	0	0	58		
ブロック19																分布域						
個体/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域		
Rh001										1										1	ブロック11, 12, 18, 19, 22, 23	
Sa008										1										1	ブロック12, 19, 22, 25, 27, 21	
Sa009										1										1	ブロック11, 19, 21, 23	
Sa011										1										1	ブロック12, 19, 20, 21	
Sa015										1										1	ブロック19, 21	
S1-S1001										3										3	ブロック11, 12, 18, 19, 21, 22, 23	
S1-S1004										6										6	ブロック11, 12, 18, 19, 21, 22, 23	
S1-S1013										1										1	ブロック12, 18, 19, 22, 23	
S1-S1014										1										1	ブロック10, 12, 18, 19, 22, 23	
S1-S1015										2										2	ブロック10, 19, 21, 22	
S1-S1016										1										1	ブロック19, 21, 27	
S1-S1025	1									3										4	ブロック10, 19	
S1-S1037										1	3									4	ブロック19	
S1-S1039										1										1	ブロック11, 18, 19, 20	
S1-S1049										1										1	ブロック19, 23	
S1-S1052										1										1	ブロック19, 25	
S1-S1135	1																			1	ブロック19	
S1-S1175	1																			1	ブロック19	
S1-S1176										1										1	ブロック19	
S1-S1177										1										1	ブロック19	
S12-S1033										1										1	ブロック19	
Tu024										1	2									3	ブロック19, 22, 23	
Tu030										1										1	ブロック13, 19	
Tu043										1										1	ブロック19	
Tu050										1										1	ブロック19	
Tu051										1										1	ブロック19	
合計	3	0	0	0	0	0	1	1	3	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42		
ブロック20																分布域						
個体/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域		
Sa011										1										1	ブロック12, 19, 20, 21	
Sa051										1										1	ブロック20	
Sa073										1										1	ブロック20	
S1-S1010										1										1	ブロック11, 12, 13, 18, 20	
S1-S1039										1										1	ブロック11, 18, 19, 20	
S1-S1042										3										3	ブロック13, 20	
S1-S1043										1										1	ブロック20, 21, 22, 23	
S12-S1037										1										1	ブロック20	
Tu042										1				1						2	ブロック20	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	1	0	0	0	0	0	0	12		

表 22 エリア3 個体別石器組成表 4

ブロック21																	合計		分布域		
個体/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	FI	Ch	PER	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域	
Ch013										1									1	ブロック21	
Ch015										1									1	ブロック21	
Ob001										2									2	ブロック12, 17, 18, 26, 21	
Ob005										3									3	ブロック10, 17, 22, 25, 21	
Rh005										1									1	ブロック21	
Sa008										1									1	ブロック12, 19, 21, 22, 25, 27	
Sa009										3									3	ブロック11, 19, 21, 23	
Sa011										2									2	ブロック12, 19, 20, 21	
Sa012										1			1						2	ブロック12, 13, 21, 22	
Sa013										1									1	ブロック13, 21, 22	
Sa014										1									1	ブロック21, 23, 27	
Sa015									1	2									3	ブロック19, 21	
Sa036													1						1	ブロック21	
Sa037										1									1	ブロック21	
Sa038										1									1	ブロック21	
Sa041										1									1	ブロック21	
Sa048								1		1									1	ブロック21	
Sa070																	1		1	ブロック21	
S1-S001										1									1	ブロック11, 12, 18, 19, 21, 22, 23	
S1-S004										1									1	ブロック11, 12, 18, 19, 21, 22, 23	
S1-S008										2									2	ブロック13, 21, 22, 23	
S1-S015										7									7	ブロック10, 19, 21, 22	
S1-S016										4									4	ブロック19, 21, 27	
S1-S017										2									2	ブロック11, 21, 22, 23	
S1-S036										2									2	ブロック18, 21	
S1-S043									1										1	ブロック20, 21, 22, 23	
S1-S051										1									1	ブロック18, 21	
S1-S055									1										1	ブロック22, 21	
S1-S068										1									1	ブロック21, 22	
S1-S072										1									1	ブロック21, 22	
S1-S140										1									1	ブロック21	
S1-S142										1									1	ブロック21	
S1-S143										1									1	ブロック21	
S1-S157										1									1	ブロック21	
S1-S158										1									1	ブロック21	
S1-S159										1									1	ブロック21	
S1-S178										1									1	ブロック21	
S1-S1237										1									1	ブロック21	
S2-S003										1									1	ブロック21, 22, 13	
S2-S007										2									2	ブロック21	
S2-S008										2									2	ブロック21	
S2-S026										1									1	ブロック21	
S2-S029										1									1	ブロック21	
Tu008										1									1	ブロック12, 21, 22, 23, 27	
Tu009										2									2	ブロック21, 22, 23	
Tu028										1									1	ブロック21, 22	
Tu054										1									1	ブロック21	
合計	1	1	0	0	0	0	0	3	3	4	37	0	0	2	0	0	1	0	0	72	

ブロック24																	合計		分布域		
個体/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	FI	Ch	PER	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域	
Rh002										2									2	ブロック24	
S12-S036										1									1	ブロック24	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	

ブロック25																	合計		分布域		
個体/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	FI	Ch	PER	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域	
Ob005										1									1	ブロック10, 17, 21, 22, 25	
Rh003										1									1	ブロック25	
Sa008										1									1	ブロック12, 19, 22, 25, 27, 21	
S1-S052										1									1	ブロック19, 25	
S1-S070										1									1	ブロック25	
S1-S180										1									1	ブロック25	
Tu002										1	2								3	ブロック11, 12, 22, 25	
Tu022										2									2	ブロック22, 25, 27	
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	12	

ブロック26																	合計		分布域	
個体/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	FI	Ch	PER	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域
Ch010										1									1	ブロック26
Ob001										1		1							2	ブロック12, 17, 21, 18, 26
Sa068										1						1			1	ブロック26
S1-S236										1									1	ブロック26
S12-S019										1									1	ブロック26
Tu046										1									1	ブロック26
Tu047										1									1	ブロック26
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	1	0	0	1	0	0	0	8	

表 23 エリア3 個体別石器組成表 5

ブロンズ22																	合計		分布域	
個体/群	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	FI	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域
Ob005										3									3	ブロンズ10, 17, 21, 22, 25
Rh001										1									1	ブロンズ11, 12, 18, 19, 22, 23
Sa008										1									1	ブロンズ12, 19, 22, 25, 27, 21
Sa012										1									1	ブロンズ12, 13, 22, 21
Sa013		1																	1	ブロンズ13, 21, 22
Sa035										1									1	ブロンズ22
Sa045									1										1	ブロンズ22
Sa047										1									1	ブロンズ22
Sa064																1			1	ブロンズ22
Sa067																1			1	ブロンズ22
S1-S1001										2									2	ブロンズ11, 12, 18, 19, 21, 22, 23
S1-S1004										1									1	ブロンズ11, 12, 18, 19, 21, 22, 23
S1-S1005										10									10	ブロンズ12, 22, 23
S1-S1008										2									3	ブロンズ13, 21, 22, 23
S1-S1013		1																	7	ブロンズ12, 18, 19, 22, 23
S1-S1014								1	1	1	4								2	ブロンズ10, 12, 18, 19, 22, 23
S1-S1015										1									1	ブロンズ10, 19, 21, 22
S1-S1017										1									1	ブロンズ11, 21, 22, 23
S1-S1018										1	7								8	ブロンズ18, 22, 23
S1-S1023										1									1	ブロンズ12, 18, 22
S1-S1024										1									1	ブロンズ12, 22
S1-S1029									1	1									2	ブロンズ18, 22
S1-S1040										1									1	ブロンズ22, 11, 18
S1-S1043										1									1	ブロンズ20, 21, 22, 23
S1-S1048								1											1	ブロンズ13, 22
S1-S1055										1									1	ブロンズ21, 22
S1-S1059										1									1	ブロンズ11, 22
S1-S1068								1											1	ブロンズ21, 22
S1-S1072										1									1	ブロンズ21, 22
S1-S1136										1									1	ブロンズ22
S1-S1139										1									1	ブロンズ22
S1-S1141										1									1	ブロンズ22
S1-S1155		1																	1	ブロンズ22
S1-S1156		1																	1	ブロンズ22
S1-S1169								1											1	ブロンズ22
S1-S1170										1									1	ブロンズ22
S1-S1171										1									1	ブロンズ22
S1-S1172		1																	1	ブロンズ22
S1-S1174										1									1	ブロンズ22
S1-S1183									1										1	ブロンズ22
S1-S1235								1											1	ブロンズ22
S2-S003									2	4									6	ブロンズ13, 21, 22
S2-S024		1																	1	ブロンズ22
S2-S025										1									1	ブロンズ22
Tu002										4									4	ブロンズ11, 12, 22, 25
Tu007										4									4	ブロンズ12, 22
Tu008									1	3									4	ブロンズ12, 21, 22, 23, 27
Tu009										2									2	ブロンズ21, 22, 23
Tu022										1									1	ブロンズ24, 25, 27
Tu024								1											1	ブロンズ19, 22, 23
Tu028										1									1	ブロンズ21, 22
Tu077										1									1	ブロンズ22
Tu078										1									1	ブロンズ22
合計	4	2	0	0	0	0	0	4	5	7	73	0	0	0	0	2	0	0	97	

ブロンズ27																	合計		分布域	
個体/群	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	FI	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布域
Sa008										2									2	ブロンズ12, 19, 22, 25, 27, 21
Sa014										2									2	ブロンズ21, 23, 27
S1-S1016										1									1	ブロンズ19, 21, 27
Tu008										1									1	ブロンズ12, 21, 22, 23, 27
Tu022										1									1	ブロンズ22, 25, 27
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	7	

表 24 エリア 3 個体別石器組成表 6

個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	R	F	UF	C	F	I	Ch	P	E	RM	G	S	H	QS	A	X	A	S	合計	分布域
An002												1													1	ブロック23
Rh001														1											1	ブロック11, 12, 18, 19, 22, 23
Sa009													1												1	ブロック11, 19, 21, 23
Sa014														1											1	ブロック21, 23, 27
Sa021														1											1	ブロック12, 23
Sa032														1											1	ブロック23
Sa040														1											1	ブロック23
Sa044																									1	ブロック23
SI-S001		1									1	1													2	ブロック11, 12, 18, 19, 21, 22, 23
SI-S004													1												1	ブロック11, 12, 18, 19, 21, 22, 23
SI-S005										1		2													3	ブロック12, 22, 23
SI-S008												7													7	ブロック13, 21, 22, 23
SI-S013													1												1	ブロック2, 18, 19, 22, 23
SI-S014											1		3												4	ブロック10, 12, 18, 19, 22, 23
SI-S017													6												6	ブロック11, 21, 22, 23
SI-S018		1							1			1													3	ブロック18, 22, 23
SI-S041													1												1	ブロック13, 18, 23
SI-S043													1												1	ブロック20, 21, 22, 23
SI-S049													1												1	ブロック19, 23
SI-S053													1												1	ブロック12, 23
SI-S066													1												1	ブロック23
SI-S067													2												2	ブロック23
SI-S166													1												1	ブロック23
SI-S167													1												1	ブロック23
SI-S168													1												1	ブロック23
Tu008													2												2	ブロック12, 21, 22, 23, 27
Tu009													2												2	ブロック21, 22, 23
Tu024													1												1	ブロック19, 22, 23
Tu052													1												1	ブロック23
合計		2	0	0	0	0	0	1	2	3	42	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	

作しているブロックでは、完成品の割合が低い、逆に言えば剥片、破片の割合が高いことになる。これに対して、石器の分布密度が低いブロック、すなわち、ブロック11、12を囲むように分布しているブロック17～19、21、22などでは完成品の割合が高くなっている。

こうした状況は、先に見た単独個体資料の割合と整合している。個体別資料の分布と石器組成の状況から、主として石器製作を行ったブロック10～13と、その周辺で、単独資料を持ち込んで石器の消費活動の比重が高いブロック17～19、21、22などに分けることができそうである。

第Ⅶ章 高見丘Ⅳ遺跡の調査

第1節 エリア1の遺構と遺物

このエリア(図170)は、東は谷とそれに続く低地部分まで続き、西端は調査区外までのびているが、おそらく調査区のすぐ西側にある深い埋没谷が境になるであろう。地形はこの2本の谷にはさまれた微高地で、このエリアを仕切る東側の谷に向う緩やかな南東傾斜になっている。このエリアではブロック6基、礫群14基、配石67基、土坑3基を検出した。遺物が出土したのは2b層～3b層で、3a層が

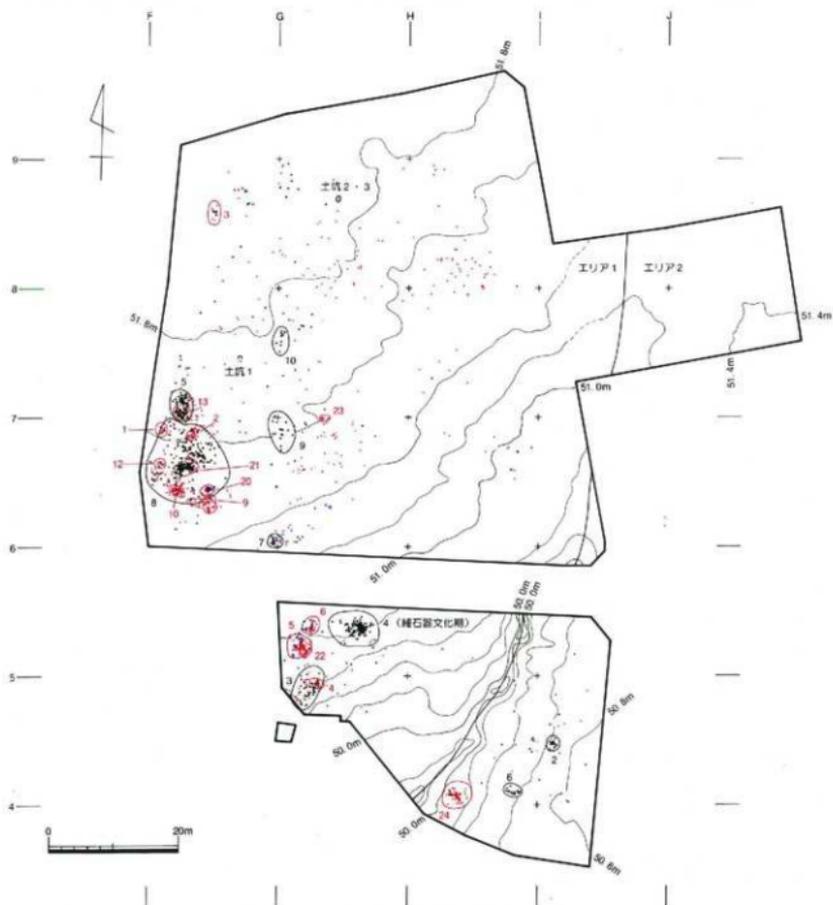


図170 エリア1遺構、遺物分布図(1/750)

もっとも多い。遺物、遺構はエリアの西側に偏っている。この部分はおそらく調査区西側の埋没谷を望む部分に当たっているために、特に居住域として選ばれたのであろう。土層では、第1章で記載したように、3b層が間層をはさんで2層に分かれる部分がある。遺物のほとんどは2層に分かれたうちの土層の3b層から出土しているが、G6区付近、ブロック7を含むあたりでは、遺物、遺構が3b層を2層に分ける間層から出土した。他の部分に比べて低いレベルで遺物、遺構が出土したことから、時期が異なるかもしれない。なお、整理作業の過程で、ブロック4が細石器の時期に属することが明らかとなったため、このブロックのみをエリア1から除外した。

1 土坑

土坑1 (図171)

F0714区で検出した。深掘りのトレンチにちょうど半分がかかった状態で検出した。検出面は微高地で、3b層上面で標高51.8mだが、さらに上から掘り込んでいることは確実である。平面形は円形で、直径60cm、検出面からの深さは75cmである。底は4層を20cm程掘り込んでいる。水がたまっていた時期があったようで、底には鉄分が沈着している。埋土は自然堆積で、遺物は出土していない。また、周囲にも遺物はあまり分布していない。一番近いところでは、北東6mにブロック10がある。

土坑2 (図172)

G0808区付近で検出した。検出面は3a層上面、標高51.7mであるが、2b層から掘り込んでいるかもしれない。微高地上で周囲に遺構、遺物は少ない。平面形はゆがんだ楕円形で、長径160cm、短径125cm、深さ25cmと平面形は大型だが、深さは浅い。埋土は1層で、遺物は出土していない。底は3b層内で止まっている。

土坑3 (図172)

G0808区付近で検出した。検出面は3a層上面、標高51.7mであるが、2b層から掘り込んでいるかもしれない。微高地上で周囲に遺構、遺物は少ない。土坑2と同じ場所に掘っており、断面の所見から、土坑2が先に掘られ、これが埋没した後にこの土坑3を掘っている。平面形は方形で、長辺1m、短辺75cm、深さ130cmである。底は6層(通称鬼盤)直下で止まっている。埋土は自然堆積で、底から円礫が1点出土している。磨石の可能性もあるが、明らかな摩滅痕跡はない。

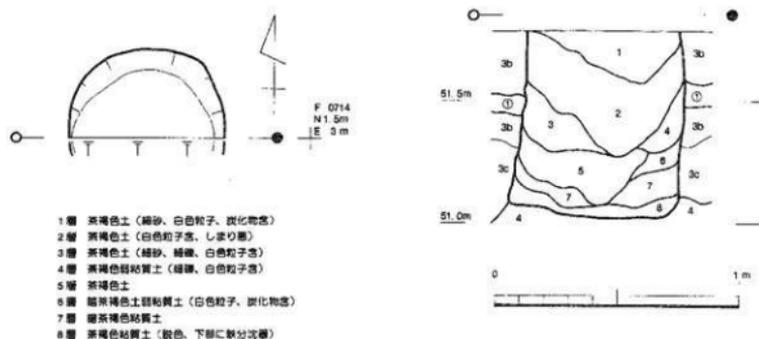


図171 土坑1平・断面図 (1/20)

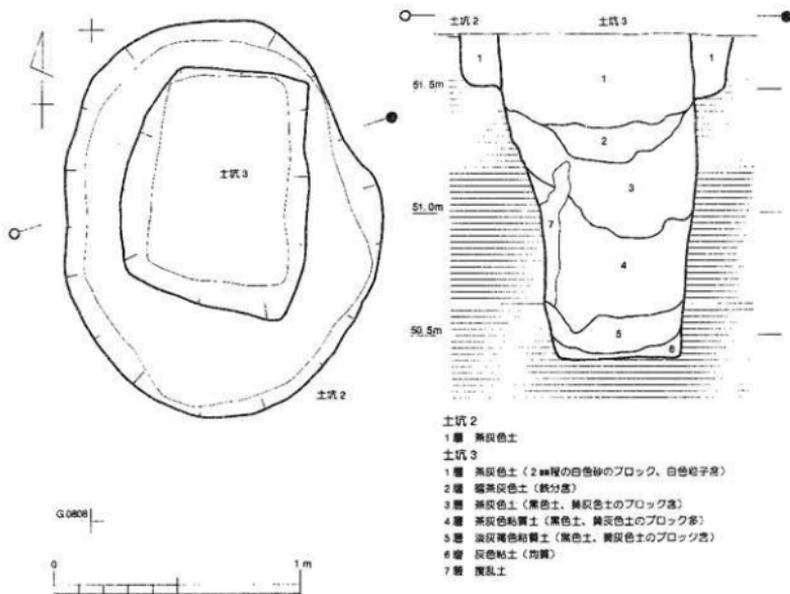


図172 土坑2、3平・断面図(1/20)

2 礫群

礫群1 (図173) F 0601区、微高地上で2b～3a層で検出した。ブロック8の範囲内にある。113×105cmの範囲に広がる。配石7、8を含んでいる。特に礫が密集する部分はない。構成礫数は15点、砂岩が86.7%であとはチャートと花崗岩である。赤化率26.7%、破砕率73.3%、割れ面赤化率26.7%で、赤化率、割れ面赤化率が低い特徴がある。総重量は7813g、平均重量520.87gである。配石を除くと総重量は5413g、平均重量は416.4gである。破砕礫が多い割には重い礫が多い。

礫群2 (図173) F 0602区、微高地上で、2b層で検出した。ブロック8の範囲内にある。165×96cmの範囲に広がる。北東～南西方向に細長く広がり、礫が集中する部分はない。北端に配石9を含んでいる。構成礫数は15点、砂岩が86.7%であとはチャートと頁岩である。赤化率40%、破砕率86.7%、割れ面赤化率20%である。破砕率に比べて赤化率、割れ面赤化率が低い。総重量3444g、平均重量229.6gである。

礫群3 (図173) F 0812区付近、微高地上で3a層で検出した。ブロック5と重なっている。197×86cmの範囲で、南北に細長く分布している。礫が集中する部分はない。配石34、40、39を含んでいる。構成礫数は13点、砂岩が92.3%で、あとはチャートである。赤化率46.1%、破砕率84.6%、割れ面赤化率31.8%である。総重量は10734g、平均重量は828gである。配石を除くと総重量2004g、平均重量200.4gである。配石に占める比率の高い礫群である。

礫群12 (図173) F 0606区、微高地上で3a層から出土した。ブロック8に範囲内にある。95×62cmの範囲に広がる。礫が集中する部分はなく、散在している。構成礫数は9点、砂岩が88.9%で、あとは頁岩である。赤化率100%、破砕率100%、割れ面赤化率88.9%である。総重量は1050g、平均重量は116.7gである。

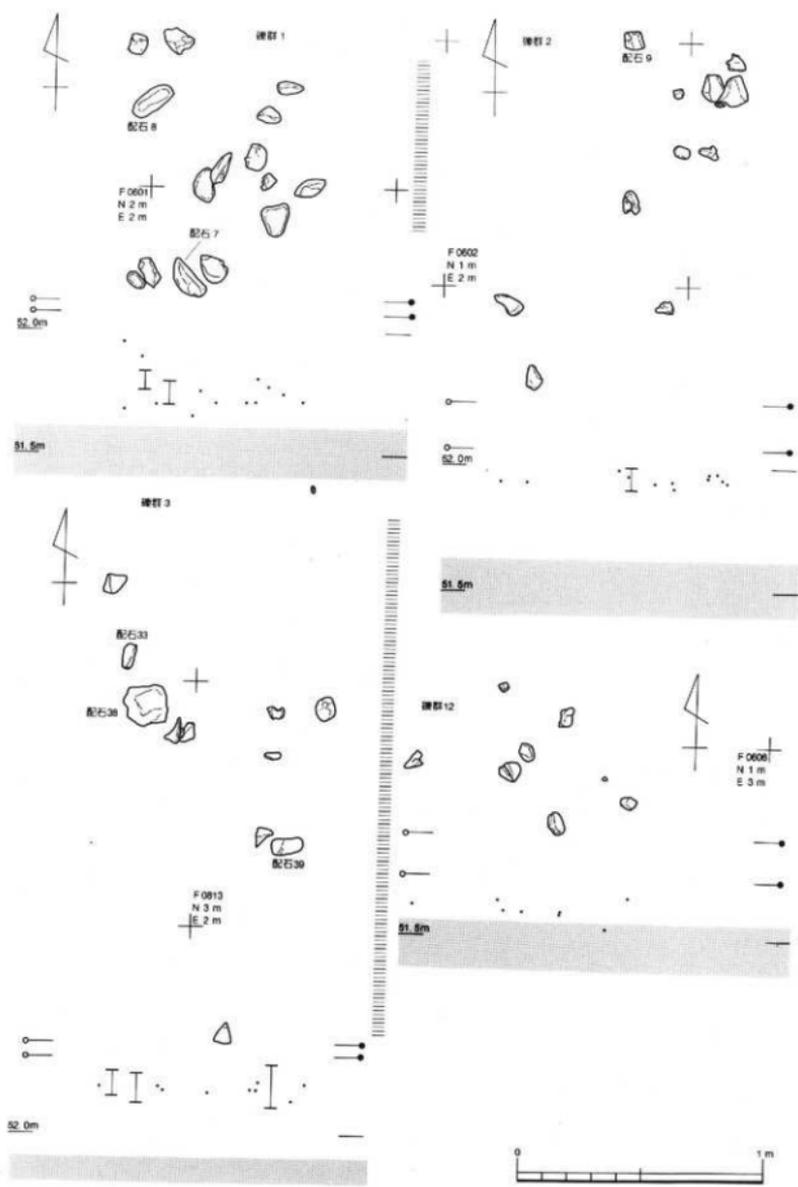


图 173 礫群 1~3、12 礫分布図 (1/20)

礫群 4 (図 174) G 0402区、微高地上で3 a層から検出した。このエリアの一番南にある礫群である。ブロック3と重なる。107×110 cmの範囲に広がる。中央付近でわずかな空間をはさんで2カ所に礫がまとまる。構成礫数は30点、砂岩が66.7%、あとはチャート、花崗岩、頁岩である。赤化率90%、破砕率60%、割れ面赤化率53.3%である。総重量は4994.5 g、平均重量は166.5 gである。

礫群 6 (図 174) G 0517区、微高地上で3 a層から検出した。180×108 cmの範囲に広がる。南北方向にやや細長く分布し、数個の礫がまとまる場所が数カ所ある。配石48、50、52～54を含んでいる。配石48、52、54は、他の礫と25 cm程の空間を隔てた所にあるので、礫群6とは別に独立した配石にした方が良いかも知れない。今のところ、配石48、52、54を礫群6に合めている理由は、もし、配石48、52、54を礫群6から独立させた場合、配石48の東側約20 cmにある小礫と配石52の東側約20 cmにある礫が、どの配石に帰属するのか判断できないため、配石48、52、54とこれらの礫をまとめて礫群6に帰属させたためである。構成礫数は31点、砂岩が74.2%で、あとは花崗岩、頁岩である。赤化率63.5%、破砕率51.6%、割れ面赤化率41.9%である。総重量11080 g、平均重量は325.9 gである。配石を除くと総重量4015 g、平均重量は138.4 gである。重量では配石の占める割合が大きい。

礫群 22 (図 174) G 0522区、微高地上で3 b層上面直下で検出した。礫群5に隣接していて、礫群5に含まれるかもしれないが、礫群5よりも下のレベルでややまとまって出土したので、独立した礫群とした。122×30 cmの範囲に広がる。中央付近に礫がまとまる部分がある。構成礫数は7点、すべて砂岩である。赤化率100%、破砕率100%、割れ面赤化率85.7%である。総重量は1148 g、平均重量は164 gである。

礫群 5 (図 175) G 0516区付近、微高地上で3 a層から検出した。礫群6と礫群22が近接する。366×274 cmの範囲に広がる。このエリア最大の礫群である。礫が密集する部分はないが、中央付近にややまとまる傾向がある。配石を多く含んでおり、配石41～47、49、51、58、59が礫群内にある。配石には細長い円礫で、人為的に立てたように直立したものが多し。また、中央の礫が集まる部分には配石はなく、配石は礫群の周縁部に分布している。構成礫数は90点で、砂岩が81.1%、他はチャート、花崗岩、安山岩、頁岩である。赤化率は80%、破砕率81.1%、割れ面赤化率60%である。総重量は32295 g、平均重量358.8 gである。配石を除くと総重量14220 g、平均重量180 gである。

礫群 9 (図 176) F 0618区、3 a層から検出した。285×186 cmの範囲に広がる。南側に礫が密集する部分があり、その北側に40 cmほどの空間をおいて礫が散在している。構成礫数は50点、砂岩が80%、その他はチャート、花崗岩、頁岩である。赤化率86%、破砕率78%、割れ面赤化率78%である。総重量2697 g、平均重量96.3 gと軽い礫が主体となる礫群である。

礫群 10 (図 177) F 0612区、微高地上で3 a層から検出した。ブロック8の範囲内にある。170×115 cmの範囲に広がる。西側に礫が密集する部分があり、東側に礫が散在する。中央付近に若干の空間があり、2つの群に分かれているように見える。構成礫数は41点、砂岩が92.7%、他はチャートと頁岩である。赤化率95.1%、破砕率82.9%、割れ面赤化率73.2%である。総重量は5112 g、平均重量は124.7 gである。

礫群 13 (図 177) F 0722区、微高地上で3 a層から検出した。ブロック5と重なる。215×151 cmの範囲に広がる。礫が集中する部分はなく、やや東西に長く散在している。構成礫数は15点、砂岩が73.3%、他はチャートと安山岩である。赤化率53.3%、破砕率86.7%、割れ面赤化率20%である。割れ面赤化率が低い特徴がある。総重量は2739 g、平均重量182.6 gである。

礫群 20 (図 178) F 0613区、微高地上で3 b層上面付近で検出した。礫群9に隣接している。123×73 cmの範囲にあり、密集している。また、炭化物を多量に伴っている。焼土もわずかに見られた。構成礫数は51点、砂岩が82.4%、他は花崗岩、変成岩類、頁岩である。赤化率は90.2%、破砕率68.6%、

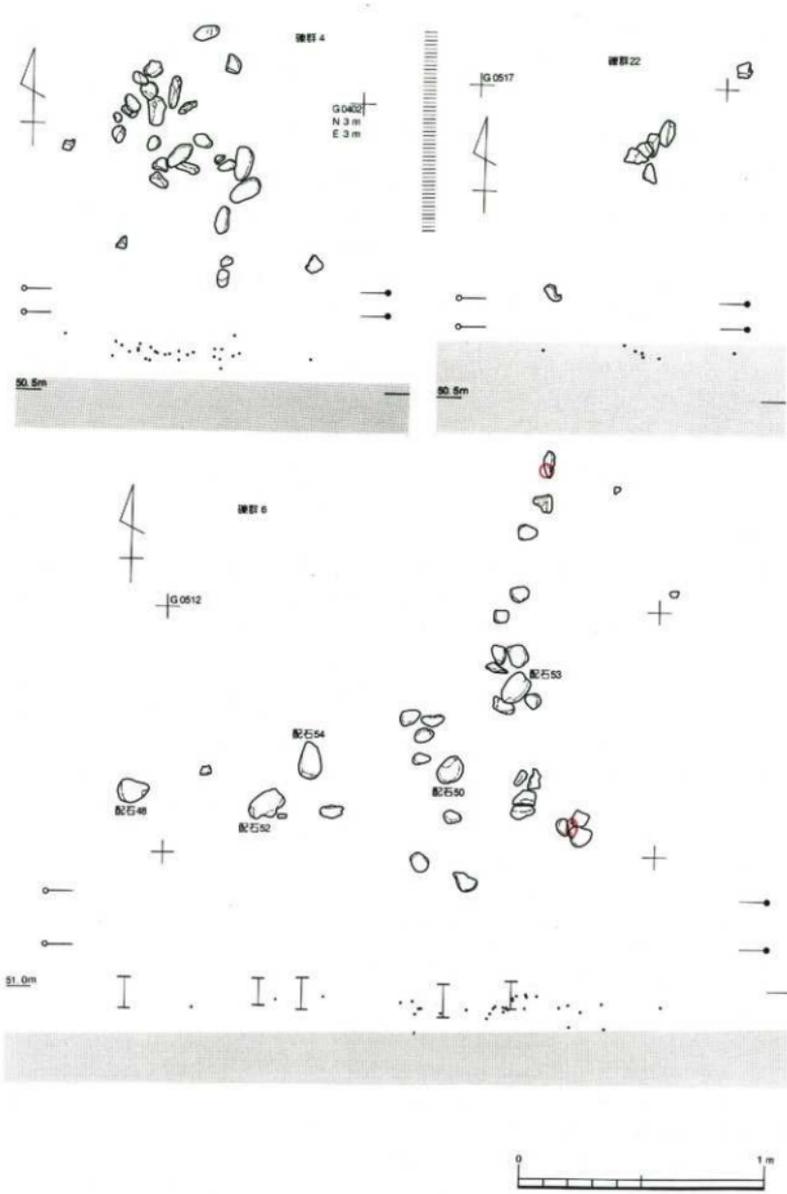


图 174 群4、6、22 石分布图 (1/20)

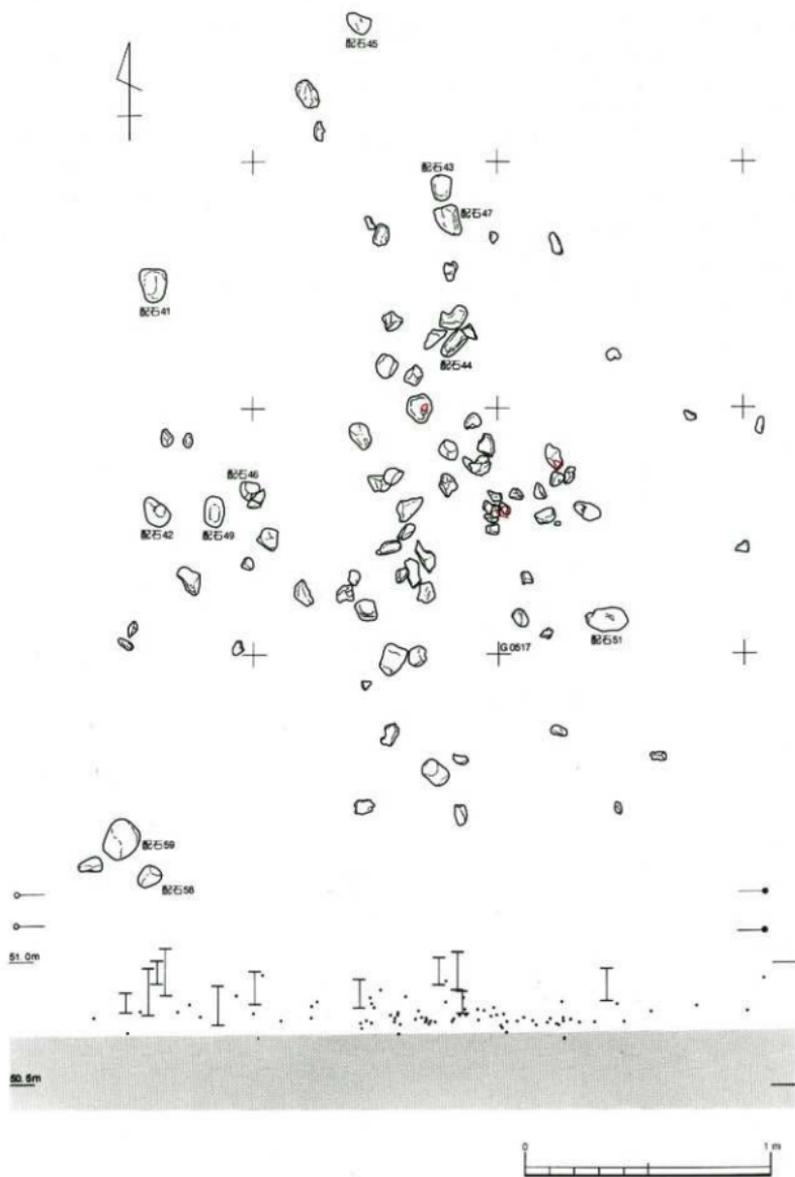


图 175 砾群5砾分布图 (1/20)

割れ面赤化率47.1%である。総重量31037 g、平均重量608.56 gである。配石を11点含んでいる関係もあるが、全体的に大きな円礫を使用しており、平均重量も他の礫群に比べて抜群に重い。もちろん高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡では最重量である。大きな礫が米粒大の炭化物を伴って密集しており、現地で出土した時点で、他の礫群とは様相が異なっているという強い印象を受けた。

礫の分布については、扁平な円礫が多く、それらが断面図下段にあるように、平らな面を内側に向けて立っており、その結果「コ」の字型に礫を立ててあるような印象を受ける。また、上の断面図に示してあるように、扁平な礫が隣の礫に折り重なるように、すなわち、将棋倒しのような状態になっている。この将棋倒しの状態の礫を起こして元に戻すと、やはり扁平な礫が平らな面を内側に向けて立てた状態になり、全体として「コ」の字型に礫を立てた状態になる。以上の所見から、出土した時点でかなり形が崩れているが、仮に近い機能を持って組み立てた礫群である可能性を考えておきたい。

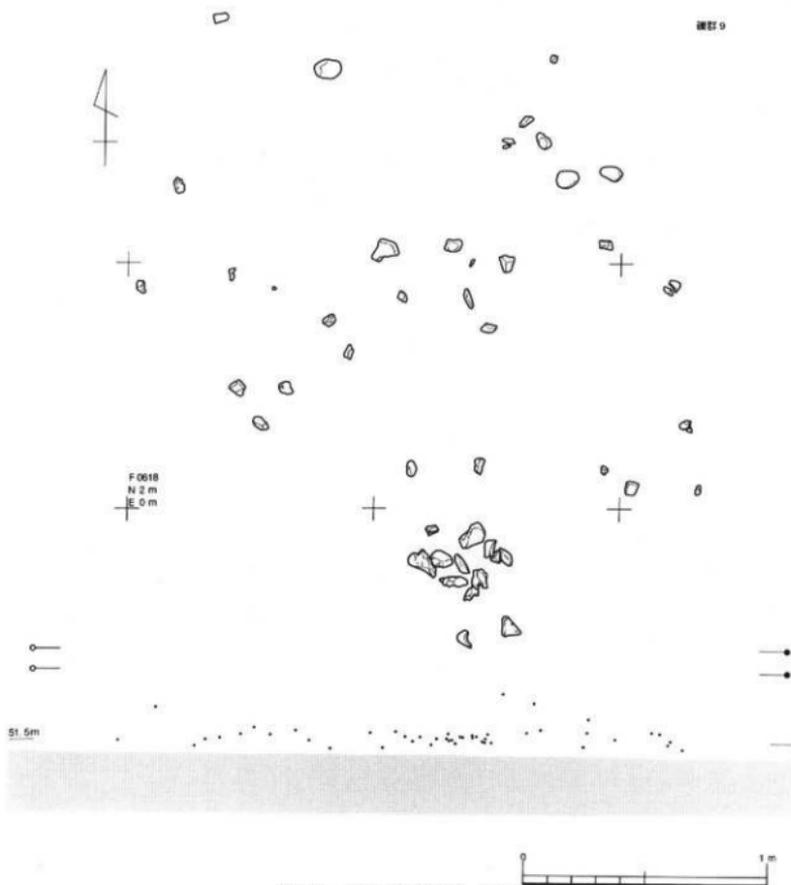


図176 礫群9礫分布図 (1/20)

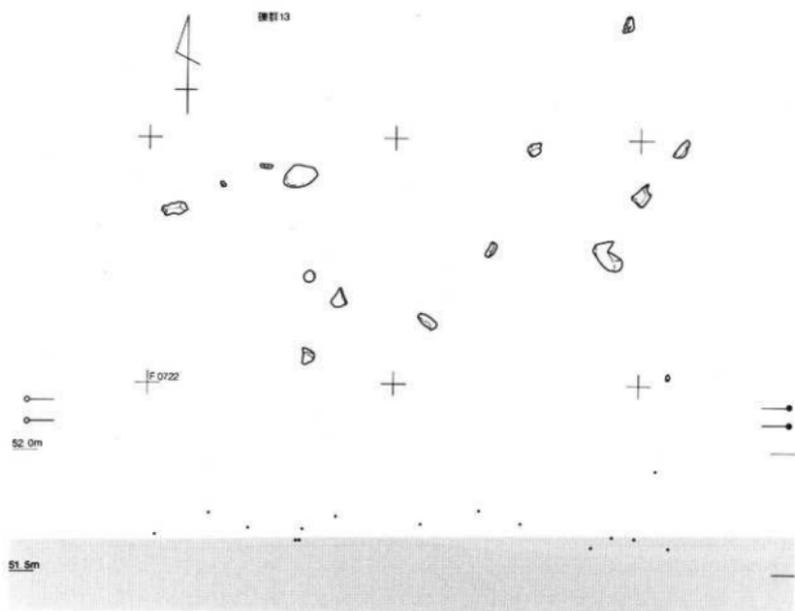
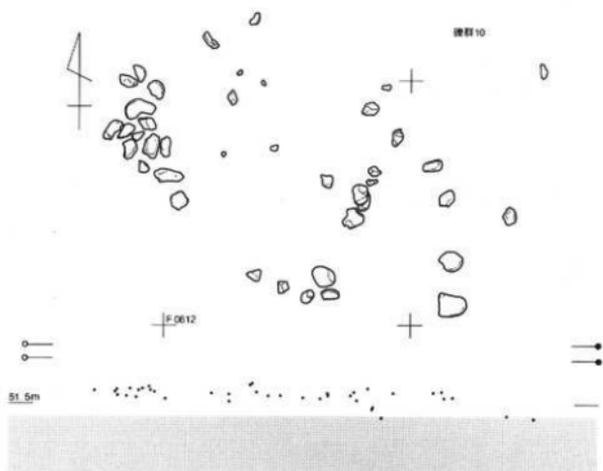


图 177 群 10、13 石分布图 (1/20)

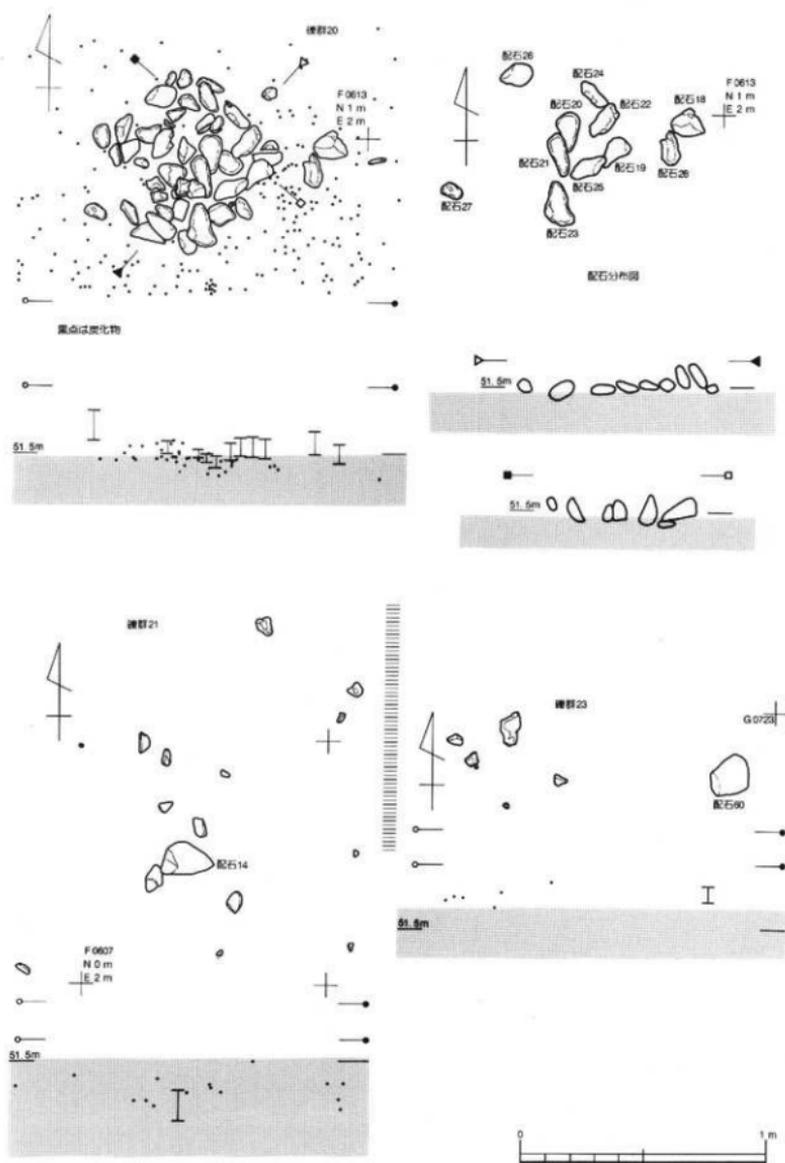


図 178 礫群 20、21、23 礫分布図 (1/20)

なお、この礫群は今後詳細な検討の可能性を残すためと、展示にも使用できるように、礫を取り上げずに周辺を約1㎡にわたって切り取り、持ち帰った後に保存処理を行った。

礫群21 (図178) F 0602区、微高地上で3 b層で検出した。ブロック8と重なる。181×136 cmの範囲に広がる。中心に配石14があり、その周辺に礫が散在している。構成礫数は16点、砂岩が68.8%で他はチャート、花崗岩、頁岩である。赤化率は68.7%、破砕率75%、割れ面赤化率56.2%である。総重量5336.8 g、平均重量332.9 gである。配石を除くと総重量1364.8 g、平均重量91 gで、配石以外は軽い礫が主体である。

礫群23 (図178) G 0602区、微高地上で3 a層で出土した。遺物の集中域からやや離れた場所から出土した。122×40 cmの範囲に広がっている。東側に配石60があり、その西側50 cm程の空間を経て礫が散在している。構成礫数は7点、すべて砂岩である。赤化率100%、破砕率100%、割れ面赤化率71.4%である。総重量1737 g、平均重量248.1 gである。配石を除くと総重量452 g、平均重量75.3 gである。配石以外は軽い礫だけからなる。

3 配石

配石7 (図173) F 0601区、微高地上で2 b層から出土した。礫群1の南端に含まれる。同じ礫群の中で北60 cmに配石8がある。1130 gの砂岩の細長い円礫で、横に寝た状態で出土した。わずかに割れている。表面、割れ面ともに赤化していない。

配石8 (図173) F 0601区、微高地上で2 b層から出土した。礫群1に含まれる。同じ礫群の中で南60 cmに配石7がある。1270 gの砂岩の細長い完形礫で、横に寝た状態で出土した。赤化していない。

配石9 (図173) F 0602区、微高地上で2 b層から出土した。礫群2の北端にある。1127 gのチャートの完形礫で、赤化していない。

配石33 (図173) F 0809区、微高地上で3 a層から出土した。礫群3に含まれている。細長い円礫で立った状態で出土した。4285 gの花崗岩の円礫で、割れているがこれに接合する礫はない。表面、割れ面ともに赤化していない。

配石38 (図173) F 0809区、微高地上で3 a層から出土した。礫群3に含まれている。5565 gのチャートの完形礫で、礫群3の中でもっとも大きな礫である。赤化していない。

配石39 (図173) F 0809区、微高地上で3 a層から出土した。礫群3に含まれている。細長い円礫で

表25 エリア1礫群属性表

群別	石種	Sa	Ch	Gr	Sc	An	Ba	Sh	Rn	Tu	小計	赤化				割れ				総重量 (g)	平均 (g)				
												○	△	×	×	○	△	×	×						
1	点数	13	1	1	0	0	0	0	0	0	15	0	2	2	11	0	10	1	4	0	1	3	11	7813	520.9
	割合 (%)	87	6.7	6.7	0	0	0	0	0	0	100	0	13	23	0	67	6.7	27	0	6.7	20	23			
2	点数	13	1	0	0	0	0	1	0	0	15	1	3	2	9	0	13	0	2	0	1	2	12	3444	229.6
	割合 (%)	87	6.7	0	0	0	0	6.7	0	0	100	6.7	20	13	60	0	87	0	13	0	6.7	13	80		
3	点数	12	1	0	0	0	0	0	0	0	13	3	2	1	7	0	11	0	2	1	3	0	9	10764	828
	割合 (%)	92	7.7	0	0	0	0	0	0	0	100	23	15	7.7	54	0	85	0	15	7.7	23	0	69		
4	点数	20	4	2	0	0	0	4	0	0	30	6	19	2	3	0	16	2	12	3	9	4	14	4995	166.5
	割合 (%)	67	13	6.7	0	0	0	13	0	0	100	20	63	6.7	10	0	53	6.7	40	10	25	23	36	32295	358.8
5	点数	73	5	6	0	2	0	4	0	0	90	6	47	19	18	0	73	0	17	2	25	23	36	32295	358.8
	割合 (%)	81	5.6	6.7	0	2.2	0	4.4	0	0	100	6.7	52	21	20	0	81	0	19	2.2	32	26	40		
6	点数	26	0	2	0	0	0	6	0	0	34	2	9	9	14	0	16	0	18	2	31	10	32	16192	323.8
	割合 (%)	77	0	5.9	0	0	0	18	0	0	100	5.9	27	27	41	0	47	0	53	0	18	21	62		
9	点数	45	3	1	0	0	0	1	0	0	50	4	27	12	7	0	39	0	11	0	14	3	11	2697	96.32
	割合 (%)	62	4	1.4	0	0	0	1.4	0	0	100	8	54	24	14	0	78	0	22	0	28	6	22		
10	点数	38	2	0	0	0	0	1	0	0	41	4	29	6	2	0	30	4	7	2	25	3	11	5112	124.7
	割合 (%)	93	4.9	0	0	0	0	2.4	0	0	100	9.8	71	15	4.9	0	73	9.8	17	4.9	61	23	27		
12	点数	8	0	0	0	0	0	1	0	0	9	0	8	1	0	0	8	1	0	0	5	3	1	1050	116.7
	割合 (%)	89	0	0	0	0	0	11	0	0	100	0	89	11	0	0	89	11	0	0	56	33	11		
13	点数	11	3	0	0	1	0	0	0	0	15	0	5	3	7	0	13	0	2	0	2	1	12	2739	182.6
	割合 (%)	73	20	0	0	6.7	0	0	0	0	100	0	33	20	47	0	87	0	13	0	13	6.7	80		
20	点数	47	0	3	5	0	0	1	0	0	53	8	54	27	19	5	35	0	16	0	15	9	27	31037	608.6
	割合 (%)	82	0	5.9	9	0	0	2	0	0	100	0	53	37	9.8	0	89	0	31	2	25	31	27		
21	点数	11	1	1	0	0	0	1	0	0	2	16	1	8	2	5	0	12	0	4	1	4	7	5327	332.9
	割合 (%)	69	6.3	6.3	0	0	0	6.3	0	0	13	100	6.3	50	13	31	0	75	0	25	6.3	25	25	44	
22	点数	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7	0	0	0	7	0	0	0	3	3	1	1148	164
	割合 (%)	100	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	100	0	0	0	100	0	0	0	0	3	3	1	1148
23	点数	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	4	1	0	0	7	0	0	0	2	3	2	1737	248.1
	割合 (%)	100	0	0	0	0	0	0	0	0	100	28	57	14	0	0	100	0	0	0	0	29	43	29	

直立して出土した。2595 g の砂岩の円礫で、割れているがこれに接合する礫はない。表面、割れ面ともに赤化していない。

配石 48 (図 174) G 0516 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 6 の西端にある。礫群 6 に含まれているが、礫群 6 の礫とは若干離れているようにも見えることから、礫群 6 とは切り離して考えた方が良くも知れない。1645 g の砂岩の完形礫で赤化していない。やや細長い礫で立った状態で出土した。

配石 50 (図 174) G 0517 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 6 の南側にある。1597 g の砂岩の完形礫で赤化していない。細長い礫で直立した状態で出土した。

配石 52 (図 174) G 0517 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 6 の西側にある。配石 48 と同じ理由で、礫群 6 から独立させた方が良くも知れない。1138 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 53 (図 174) G 0517 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 6 に含まれており、周囲に数個の礫が集まっている。1225 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 54 (図 174) G 0517 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 6 の西側にある。配石 48 と同じ理由で、礫群 6 から独立させた方が良くも知れない。1460 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 41 (図 175) G 0516 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 5 の西側に含まれている。周所に礫がなく、礫群 5 の中ではやや孤立した出土状態である。2090 g の砂岩の細長い円礫で、直立して出土した。完形で赤化していない。

配石 42 (図 175) G 0516 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 5 の西側に含まれている。配石 49 に近接している。2708 g の花崗岩の細長い円礫で直立して出土した。完形で赤化していない。

配石 43 (図 175) G 0516 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 5 の北側に含まれている。配石 47 に隣接している。1017 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 44 (図 175) G 0516 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 5 の中央やや北側に含まれている。礫が 3 点接している。1063 g の砂岩の細長い円礫で直立した状態で出土した。完形で赤化していない。

配石 45 (図 175) G 0516 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 5 の一番北側に含まれている。北のはずれとって良い場所で、礫群 5 の中ではやや孤立した感じの出土状態である。1100 g の砂岩の完形礫で赤化していない。やや細長い礫で、立った状態で出土している。

配石 46 (図 175) G 0516 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 5 の西側に含まれている。配石 49 に近接している。1128 g の砂岩の礫で、割れており、近接する礫群 5 の構成礫 2 点が接合する。表面、割れ面ともに弱く赤化している。これも細長い礫で、直立して出土している。

配石 47 (図 175) G 0516 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 5 の北側に含まれている。配石 43 が近接している。1619 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 49 (図 175) G 0516 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 5 の西側に含まれており、配石 46 と配石 42 にはさまれるようにして出土した。1879 g の砂岩の完形礫で赤化していない。細長い円礫で直立して出土している。

配石 51 (図 175) G 0516 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 5 の南側に含まれている。2264 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 58 (図 175) G 0516 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 5 の一番南側で出土した。配石 59 に隣接し、この配石とともに礫群 5 の中では南のはずれで孤立した存在である。1940 g の花崗岩の円礫で直立して出土した。

配石 59 (図 175) G 0516 区、微高地上で 3 a 層から出土した。礫群 5 の一番南側で出土した。配石 58 に隣接し、この配石とともに礫群 5 の中では南のはずれで孤立した存在である。南西側に礫が寄り添うようにして移出土している。1267 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

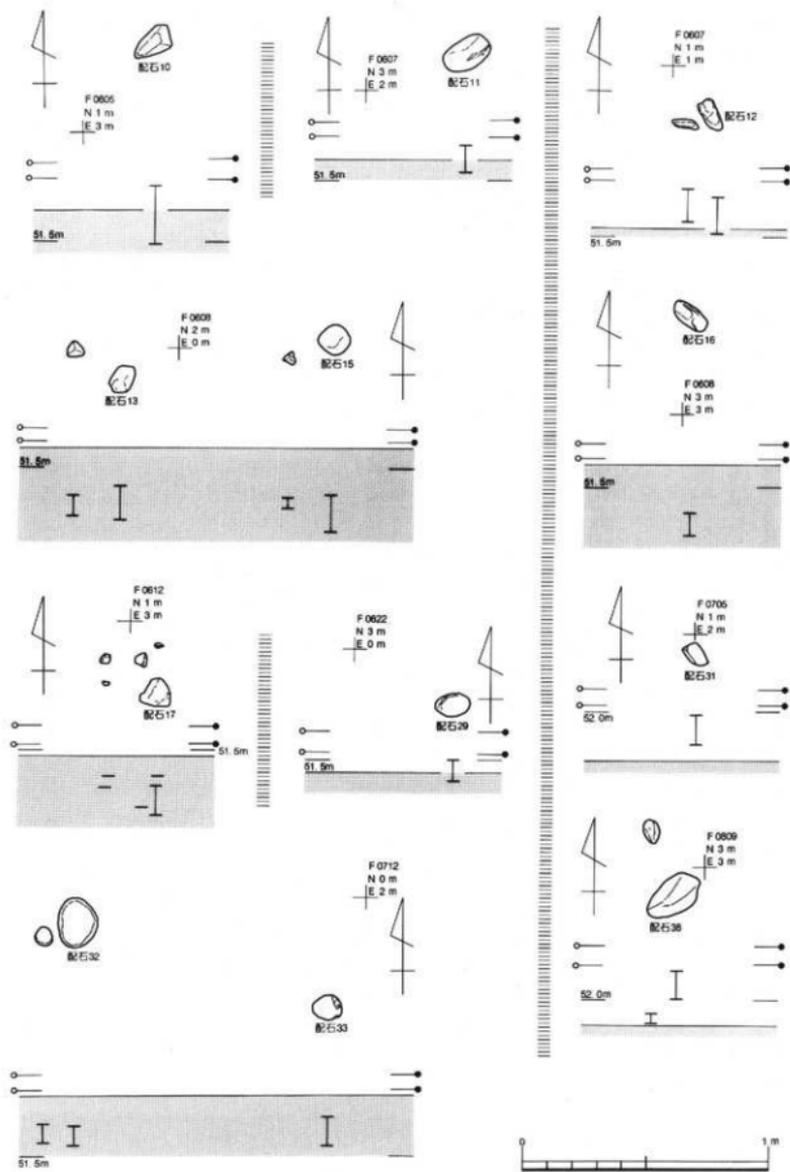


图 179 配石实测图 7 (1/20)

配石 18～28 (図 178) は礫群 20 を構成している。礫群 20 の項で記載したように、この礫群は、当初から配石に近い重さの扁平な礫を集めて構築したと考えられることから、個別の配石ではなく、他の礫とともに礫群として機能した可能性が極めて高いため、ここでは一括して記載する。平均重量は 1256.9 g で、1100 g 前後の礫が多く、重さがそろっているといえる。11 点中 8 点が赤化している。破砕しているのは 5 点、割れ面が赤化しているのは 2 点である。石材は砂岩が 8 点、頁岩 2 点、花崗岩 1 点である。配石のうち 1 点が礫群 20 の構成礫と接合する。

配石 14 (図 178) F 0607 区、微高地上で 3 b 層から出土した。礫群 21 の中心をしめるような状態で出土している。3972 g の花崗岩の完形礫で赤化していない。

配石 60 (図 178) G 0602 区、微高地上で 3 b 層から出土した。礫群 23 に含まれている。礫群の東側にあり、その西側 50 cm に小礫が散在している。1285 g の砂岩礫で、割れているがこれに接合する礫はない。表面、割れ面ともに赤化している。

配石 10 (図 179) F 0605 区、微高地上で 3 b 層から出土した。ブロック 9 に隣接している。5800 g の砂岩の完形礫で、赤化していない。細長い円礫で直立して出土した。

配石 11 (図 179) F 0607 区、微高地上で 3 b 層から出土した。ブロック 8 の範囲内にある。4840 g の砂岩の円礫で、一部が割れている。表面、割れ面ともに赤化していない。

配石 12 (図 179) F 0607 区、微高地上で 3 a 層から出土した。ブロック 8 の範囲内にある。西側に礫を 1 点伴っている。1669 g の砂岩の円礫で、割れているが、伴っている礫とは接合しない。配石とこれに伴う礫ともに細長い礫で直立して出土している。

配石 13 (図 179) F 0607 区、微高地上で 3 b 層から出土した。ブロック 8 の範囲内にある。他の配石よりも 3 b 層の中に潜った状態で出土している。西側に礫を 1 点伴っている。東側 70 cm に配石 15 がある。2530 g のチャートの完形礫で赤化していない。やや細長い円礫で直立して出土した。

配石 15 (図 179) F 0608 区、微高地上で 3 b 層から出土した。ブロック 8 の範囲内にある。他の配石よりも 3 b 層の中に潜った状態で出土している。西側に礫を 1 点伴っている。西側 70 cm に配石 13 がある。5410 g のチャートの完形礫で赤化していない。これもやや細長い円礫で直立して出土した。

配石 16 (図 179) F 0608 区、微高地上で 3 b 層から出土した。3 b 層に潜った状態で出土している。ブロック 8 に隣接している。1190 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 17 (図 179) F 0612 区、微高地上で 3 b 層から出土した。3 b 層に潜った状態で出土している。ブロック 8 に隣接しており、礫群 20 に近接している。北西側に礫を 4 点ともなっている。1552 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 29 (図 179) F 0622 区、微高地上で 3 b 層から出土した。周囲に遺物はなく、やや孤立した状態である。930 g のチャートの完形礫で、わずかに赤化している。

配石 31 (図 179) F 0705 区、微高地上で 2 b 層から出土している。周囲に遺物が少ない所にある。やや細長い礫で立った状態で出土している。1405 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 32 (図 179) F 0717 区、微高地上で 3 b 層から出土している。周囲に遺物が少ない所で出土している。西側に礫を 1 点伴っている。東側 90 cm には配石 33 がある。1063 g の砂岩の円礫で、破砕しているが、これに接合する礫はない。

配石 33 (図 179) F 0717 区、微高地上で 3 b 層から出土している。周囲に遺物が少ない所で出土している。西側 90 cm に配石 32 がある。2742 g の花崗岩の完形礫で赤化していない。

配石 38 (図 179) F 0809 区、微高地上で 3 a 層から出土している。北側に礫を 1 点伴っている。4285 g の花崗岩の円礫で、割れているが、これに接合する礫はない。表面、割れ面ともに赤化していない。

配石 35 (図 180) F 0809 区、微高地上で 3 a 層から出土した。配石 36 と接しており、東側 80 cm に

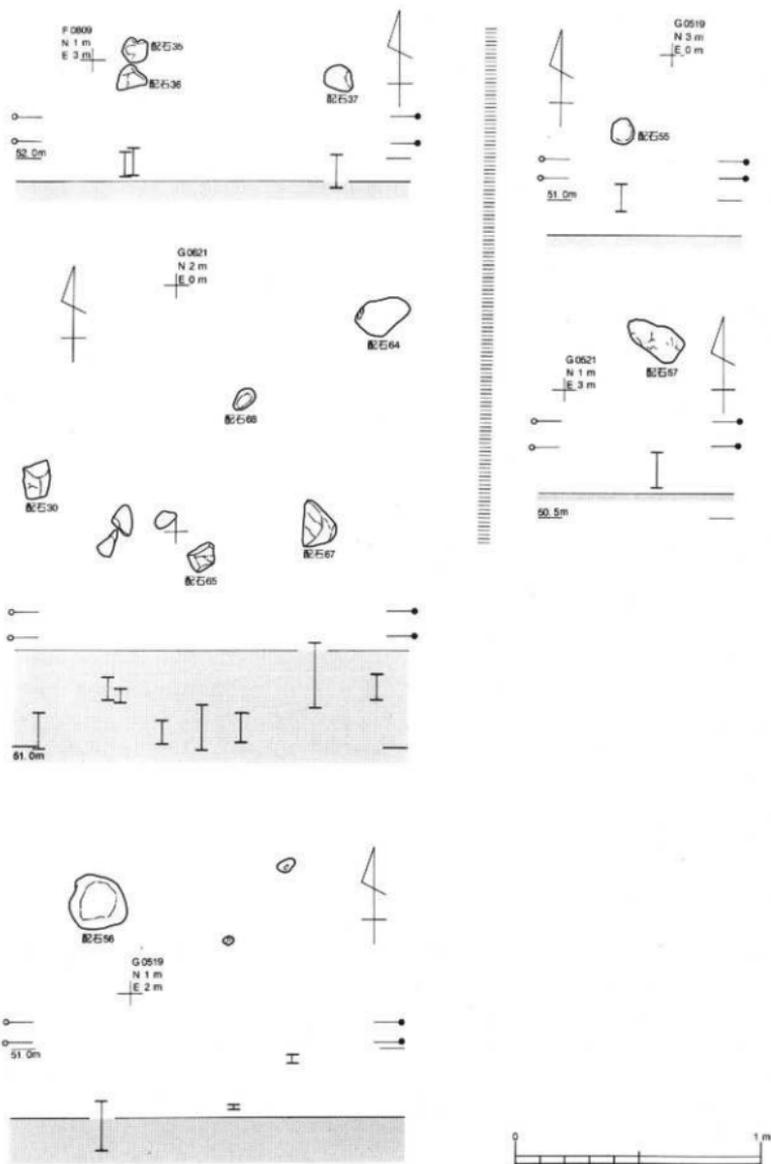


图 180 配石实测图 8 (1/20)

は配石37がある。周囲に他の遺物は少ない。982 gの砂岩の円礫で割れているが、これに接合する礫はない。

配石36 (図180) F 0809区、微高地上で3 a層から出土した。配石35と接しており、東側80 cmには配石37がある。周囲に他の遺物は少ない。1570 gの頁岩の円礫で割れているが、これに接合する礫はない。

配石37 (図180) F 0809区、微高地上で3 a層から出土した。西側80 cmに配石35、36がある。周囲の他の遺物は少ない。2022 gの花崗岩の完形礫で、赤化していない。やや細長い円礫で立った状態で出土している。

配石30 (図180) F 0625区、微高地上で3 b層を上下に分けている間層から出土している。南東60 cmに配石65、68とともに高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡ではもっとも深い層位での出土である。ブロック7と重なる。3585 gの砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石64 (図180) G 0621区、微高地上で3 b層から出土している。平たい円礫で、平坦面を下にして横に寝た状態で出土している。3552 gの砂岩の完形礫で赤化していない。

配石65 (図180) G 0621区、微高地上で3 b層を上下に分けている間層から出土している。ブロック7と重なる。北西60 cmに配石30がある。配石30、68とともに高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡ではもっとも深い層位での出土である。北西側に礫3点があり、配石30に伴うかもしれないが、距離的に近いこの配石の所屬と考える。これらの礫のうち、2点は10 cm程上のレベルで出土している。2530 gの砂岩の円礫で、割れているが、これに接合する礫はない。表面、割れ面ともに赤化していない。

配石67 (図180) G 0621区、微高地上で3 b層から出土している。細長い円礫で、直立して出土している。ブロック7と重なる。7230 gの砂岩の完形礫で赤化していない。配石の中では重い部類にはいる。

配石68 (図180) G 0621区、微高地上で3 b層を上下に分けている間層から出土している。ブロック7と重なる。配石30、65とともに高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡ではもっとも深い層位での出土である。1210 gの砂岩の完形礫で赤化していない。

配石55 (図180) G 0518区、微高地上で3 a層から出土している。細石器のブロックであるブロック4と重なっており、このエリアに入れるには問題があるかもしれない。922 gの砂岩の完形礫で赤化していない。

配石56 (図180) G 0519区、微高地上で3 b層から出土している。東側に小礫2点を伴っている。10350 gの砂岩の完形礫で赤化していない。高見丘Ⅳ遺跡では最重量の配石で、高見丘Ⅲ遺跡を入れても2番目の重さである。表面がくぼんでおり、これが使用によるものだとしたら、作業台(台石)ということが考えられる。

配石57 (図180) G 0521区、微高地上で3 a層で出土している。ブロック3に近接している。5310 gの砂岩の完形礫で赤化していない。

配石61 (図181) G 0617区、微高地上で2 b層から出土している。南東側約40 cmに配石62、63がある。周囲に他の遺物はほとんど分布していない。細長い円礫で、東側に近接する配石62、63とともに直立している。1865 gの砂岩の完形礫で赤化していない。

配石62 (図181) G 0617区、微高地上で2 b層から出土している。北西側約40 cmに配石61があり、東側には配石63が隣接している。周囲に他の遺物はほとんど分布していない。細長い円礫で、東側に近接する配石61、63とともに直立している。1415 gの砂岩の円礫で、一部が割れているがこれに接合する礫はない。わずかに赤化している。

配石63 (図181) G 0617区、微高地上で2 b層から出土している。西側には配石63が隣接している。また、南側に礫を1点伴っている。周囲に他の遺物はほとんど分布していない。細長い円礫で、東側に

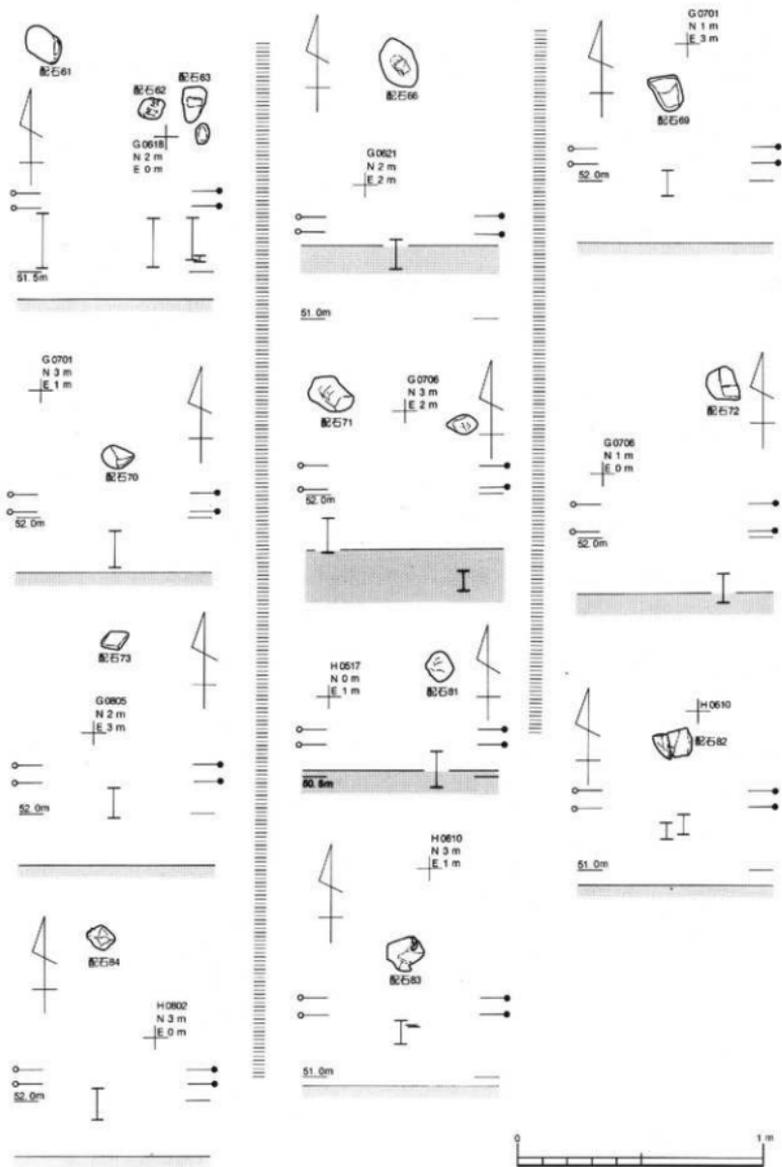


図 181 配実測図 9 (1/20)

近接する配石 62、63 とともに直立している。2054 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 66 (図 181) G 0621 区、微高地上で 3 b 層から出土している。ブロック 7 に近接している。3883 g の砂岩の円礫で、割れているが、これに接合する礫はない。表面、割れ面ともに赤化していない。

配石 69 (図 181) G 0701 区、微高地上で 2 b 層から出土している。周囲には配石 70 以外、ほとんど遺物が分布していない。1880 g の砂岩の円礫で、割れているが、これに接合する礫はない。表面、割れ面ともに赤化していない。

配石 70 (図 181) G 0701 区、微高地上で 2 b 層から出土している。周囲には配石 69 以外、ほとんど遺物が分布していない。やや細長い礫で立った状態で出土している。1977 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 71 (図 181) G 0706 区、微高地上で 3 b 層から出土している。ブロック 10 に近接している。東側でこの配石よりも 10 cm 程下から礫が 1 点出土しており、この配石に伴うものであろう。2525 g の砂岩の円礫で、割れているが、これに接合する礫はない。表面は赤化しており、割れ面は赤化していない。

配石 72 (図 181) G 0706 区、微高地上で 3 b 層から出土している。ブロック 10 と重なっている。4605 g の砂岩の円礫で、割れているが、これに接合する礫はない。表面、割れ面ともに赤化していない。

配石 73 (図 181) G 0805 区、微高地上で 2 b 層から出土している。周囲に遺物はほとんど分布していない。一番近い遺物は東側約 5 m に配石 84 がある。配石 84 とともにこのエリアではもっとも北で出土している。962 g の砂岩の完形礫で赤化している。

配石 81 (図 181) H 0517 区、微高地の東端、このエリアの東端の境界である谷に向かって下り始めるあたりで、3 b 層上面で出土している。1832 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 82 (図 181) H 0614 区、微高地の東端、このエリアの東端の境界である谷に向かって下り始めるあたりで、3 a 層上面で出土している。南約 3 m に配石 83 がある以外は、周囲にはほとんど遺物は分布していない。1612 g の砂岩の円礫で、2 つに割れて出土している。表面、割れ面ともに赤化していない。

配石 84 (図 181) H 0801 区、微高地上で 2 b 層から出土している。周囲には遺物がほとんど分布していない。一番近い遺物は西側約 5 m に配石 73 がある。配石 73 とともにこのエリアではもっとも北で出土している。1363 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 83 (図 181) H 0614 区、微高地の東端、このエリアの東端の境界である谷に向かって下り始めるあたりで、3 a 層上面で出土している。北約 3 m に配石 82 がある以外は、周囲にはほとんど遺物は分布していない。968 g の砂岩の円礫で割れているが、これに接合する礫はない。この配石の上に乗るようにして小礫が 2 点出土している。

表 26 エリア 1 配石の接合礫一覧

配石番号	接合礫番号	赤化	割れ	割れ面赤化	所属
23		△	○	×	礫群 20
	587	△	○	△	礫群 20
81		○	○	×	礫群 3
	135	×	○	×	礫群 3
46		△	○	△	礫群 5
	101	△	○	△	礫群 5
	572	△	○	△	礫群 5
39		×	○	×	礫群外礫
	133	○	○	×	礫群外礫

4 礫の接合状況

礫群間接合は少なく、次の3例があるにすぎない。カッコ内は接合する礫の点数である。

- 1 礫群5 (3) + 礫群22 (2)
- 2 礫群5 (1) + 礫群22 (1)
- 3 礫群9 (1) + 礫群11 (1)

図182でも明らかなように、遺物が集中する西側では、礫群とその周辺にある礫群外礫との接合がいくつか認められる。これに対して、遺物の分布が希薄なエリアの北側、東側ではほとんど接合していない。

礫群内での接合を見る。礫群5では、構成礫の半分以上が礫群内接合に関わっている。これと対照的に礫群6は破砕率が51%と低いいためか、礫群内接合が2例しか認められない(図183)。礫群9では破砕率が78%あるにも関わらず、礫群内接合は少ない(図181)。礫群20も同様に破砕率が68.6%と、礫群にしては破砕率が低く、礫群内接合は少ない。礫群10では礫群内接合とともに、周辺の礫群外礫との接合も若干認められる(図183)。

5 出土石器

1) ブロック3 (図184)

F0722区、微高地上で2b層～3a層から出土した。127×78cm範囲に広がる。シルト岩を主体として、黒曜石がこれに次いでいる。石核と剥片、破片のみからなるブロックである。個体の搬入状況は次の通りである。11個体識別した。シルト岩1は9個体で、うち5個体が単独個体で、そのうち1個体は完成品での搬入である。黒曜石は2個体搬入している。

石核(図185、186) 図185は、シルト岩製の巨大な石核である。シルト岩の細長い円礫の自然面をそのまま打面として大型の縦長剥片をとっている。円礫を全く加工せずにそのまま剥片を剥離している点で、高見Ⅲ・Ⅳ遺跡では特異な石核である。図186はシルト岩製で、正面の作業面を不定形の剥片をとっている。剥離の方向は多方向認められるが、上設の平坦打面からの剥離が基本である。

2) ブロック5 (図184)

F0722区付近、微高地上で2b層～3a層から出土した。105×53cmの範囲にやや南北方向に細長く広がる。中央付近の空間を境として2つのブロックに分けられるかもしれない。シルト岩を主体とするブロックである。シルト岩では剥片の数に比べて石核の数が多い特徴がある。個体の搬入状況は次の通りである。25個体を識別した。チャートは3個体搬入し、いずれも単独個体で、うち1個体は完成品での搬入である。黒曜石は2個体で、いずれも単独個体で、うち1個体は完成品での搬入である。砂岩は6個体で、うち2個体が単独個体で、そのうち1個体が完成品での搬入である。シルト岩1は14個体で、うち3個体が単独個体である。

スクレイパー (図187-1)

シルト岩の縦長剥片の両側縁から末端にかけて加工して末端を刃部になっている。

加工痕のある剥片 (図187-2)

シルト岩製で、幅広い剥片の打面に近い縁辺に連続した剥離がある。

使用痕のある剥片 (図187-3)

シルト岩製で、幅広い剥片の正面右側縁辺に細かい剥離が不連続にある。

石核 (図187-4～図189)

4は真っ黒のチャート製で、上設の自然面打面から縦長剥片をとっている。これに対して石核の底面では打面と作業面を交互に入れ替える方法が見られる。作業面は石核の全周を巡っている。1つの石核に2つの剥片剥離技術が見られる。5はシルト岩製で、上設の平坦打面と下設の自然面打面から不定形剥片をとっている。作業面は正面とその右側面の2面で、裏側には円礫の自然面が残っている。



図 182 エリア1、6ライン以北礫接合状況（1/300、数字は礫群番号）

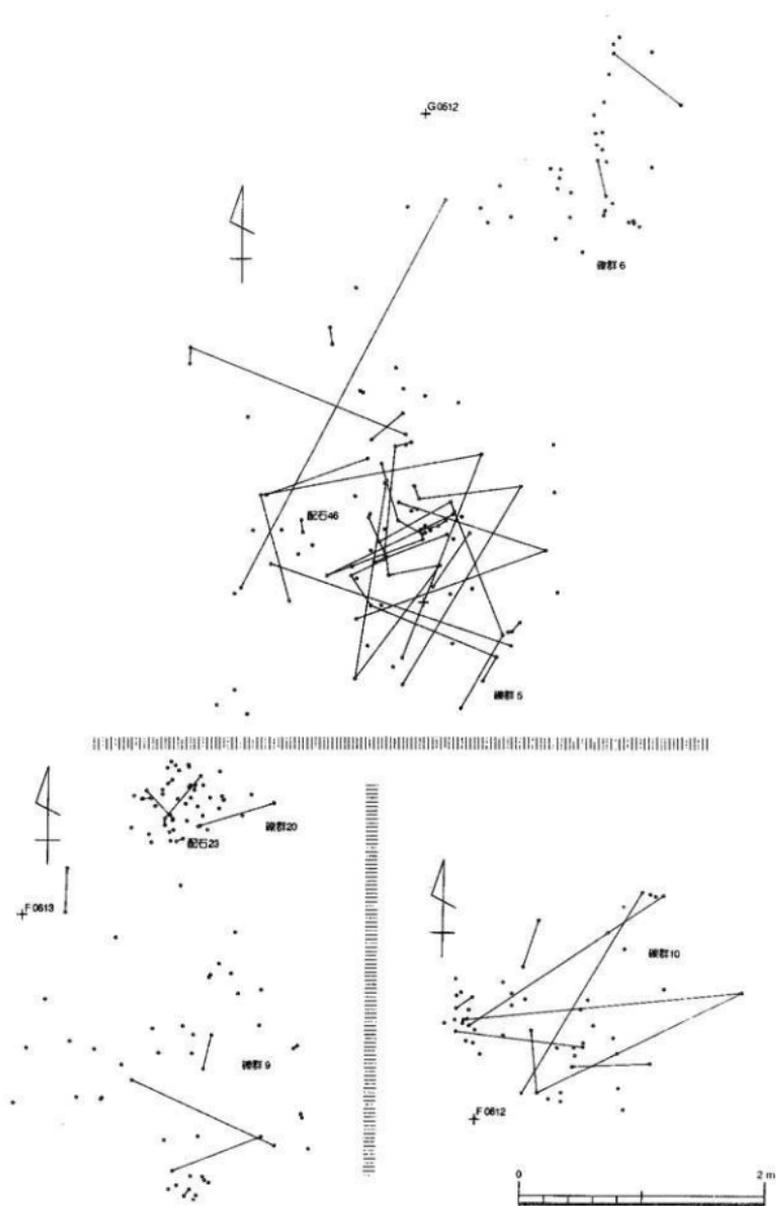


图 183 G0517、F0618、F0612 区付近榫接合状况 (1/40)

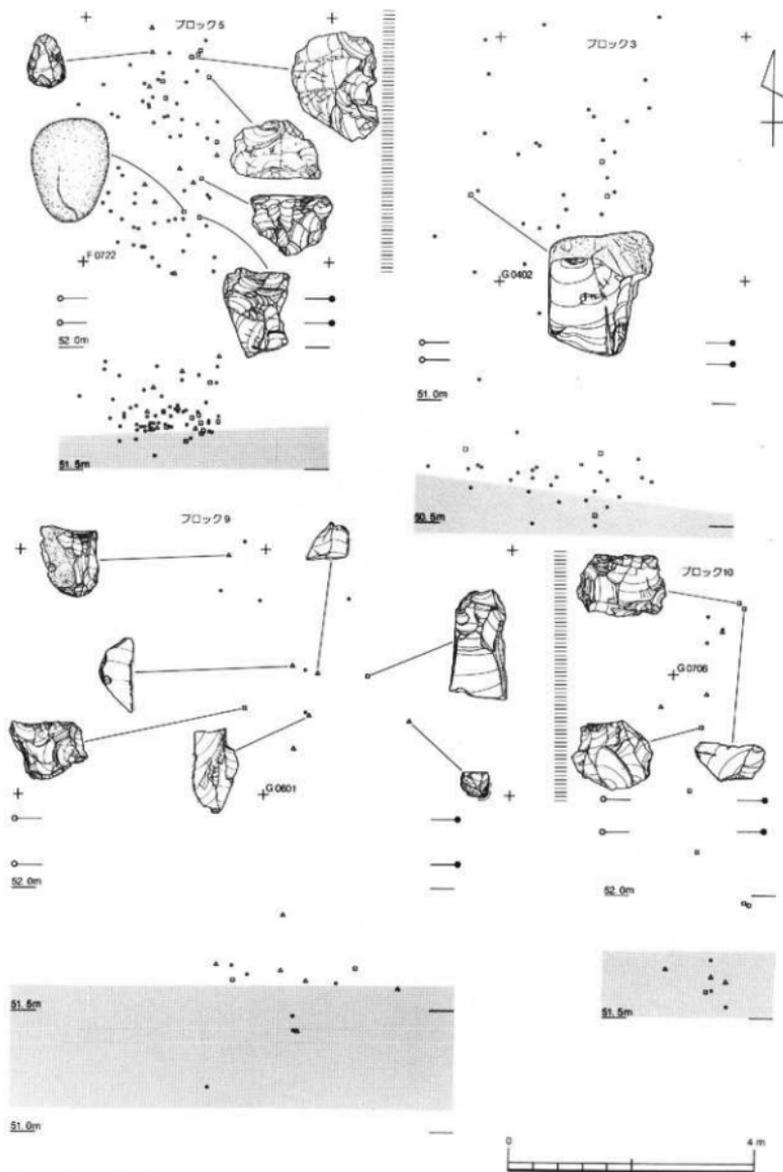


図 184 ブロック 3、5、9、10 石器分布図 (1/80)

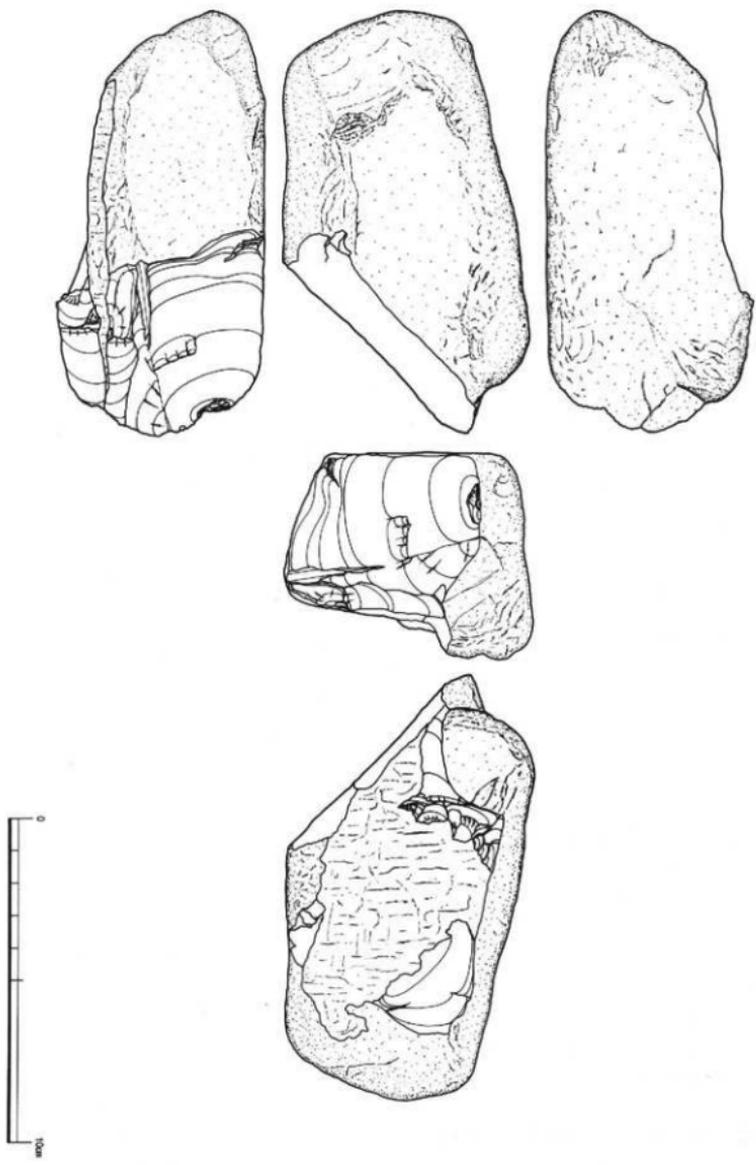


図 185 ブロック 3 出土石器 1 (2/3)

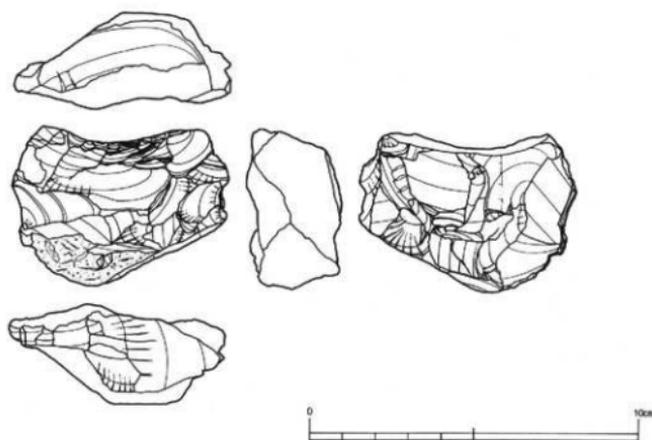


図 186 ブロック 3 出土石器 2 (2/3)

図 188-1 はシルト岩の分割礫を素材として、打面と作業面を入れ替えながら、横長剥片をとっている。円礫の自然面が大きく残っている。2 はシルト岩の分割礫を素材として、打面と作業面を入れ替えながら不定形剥片をとっている。3 はシルト岩の円礫を素材として、周囲の自然面を打面として多面体から不定形の剥片をとっているが、石の目に沿った剥離が多い。後の接合資料の項で述べるように、石器素材の剥片をとったというよりも、石核の素材をとっている。

図 189-1 は砂岩の分割礫を素材として、自然面側と分割面側の両方を打面として分割礫の側面で不定形の剥片をとっている。2 はシルト岩の分割礫を素材として分割したときの石の目を打面として、素材の側面で縦長の剥片をとっている。3 はシルト岩の分割礫を素材として分割面側を打面として、素材の側面で不定形の剥片をとっている。作業面は側面を巡っている。4 はシルト岩の分厚い剥片を素材として、上面を打面として不定形剥片をとっている。実測図右端にはこれよりも古い作業面が残っており、ここでは幅広の縦長剥片をとっている。

叩石 (図 190)

砂岩の細長い円礫の一端に敲打痕が残っている。

3) ブロック 9 (図 184)

G6001 区付近、微高地上 3 a 層～3 b 層で検出した。100×65 cm の範囲に広がる。シルト岩が主体である。遺物の集中域からやや東にはずれた所にある。剥片の数に比べてスクレイパーなど完成品の多いブロックである。ナイフ形石器も出土しているが、一部の破片である。個体の搬入状況は次の通りである。13 個体を識別した。黒曜石は 1 個体、単独個体で完成品での搬入である。砂岩は 1 個体搬入している。シルト岩 1 は 11 個体で、うち 8 個体が単独個体でそのうち 5 個体が完成品での搬入である。シルト岩 2 は 2 個体で、うち 1 個体が単独個体、完成品での搬入である。

スクレイパー (図 191-1)

シルト岩の幅広の剥片を使用して、末端を加工して刃部になっている。素材剥片の打面部は折りこたっている。素材剥片の先行剥離面側と主剥離面側には、その折れ面を打面とした細かい剥離がある。また、主剥離面側には素材剥片の厚みをとろうとしたのか、主剥離面をえぐるような大きな剥離が入っている。先行剥離面側には円礫の自然面が残っている。熱を受けて石器全体が赤く変色している。

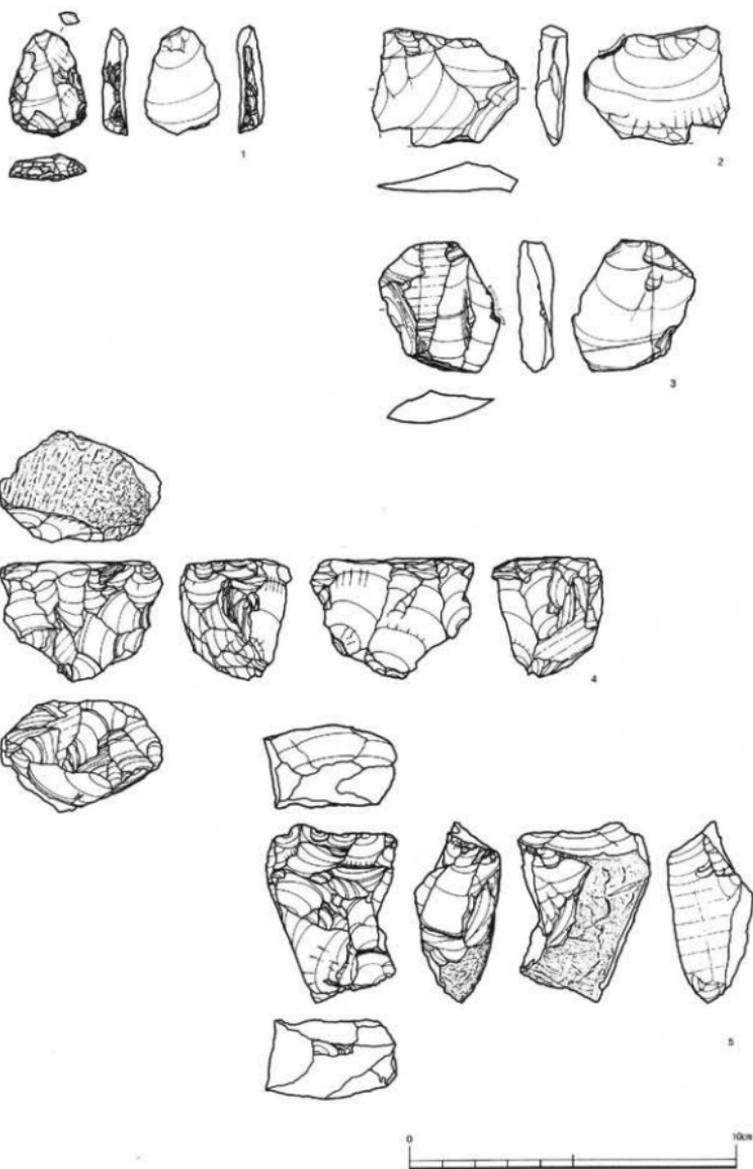


図187 ブロック5出土石器1 (2/3)

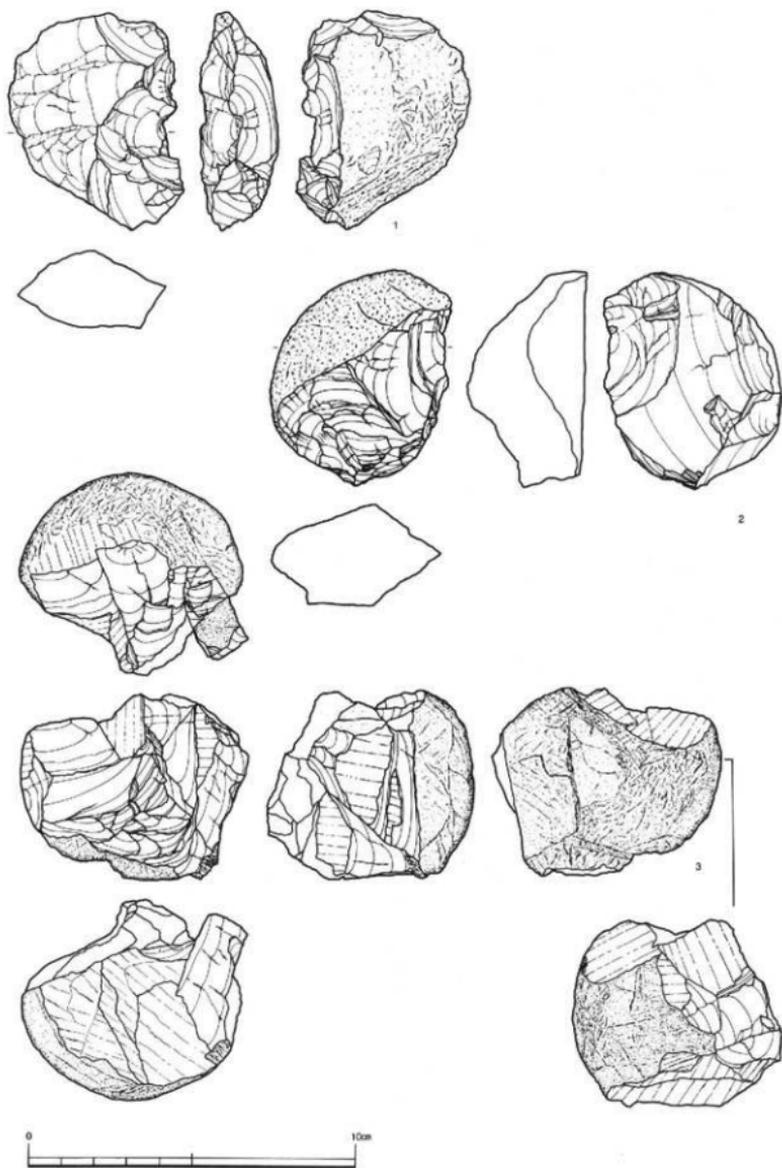


図 188 ブロック 5 出土石器 2 (2/3)

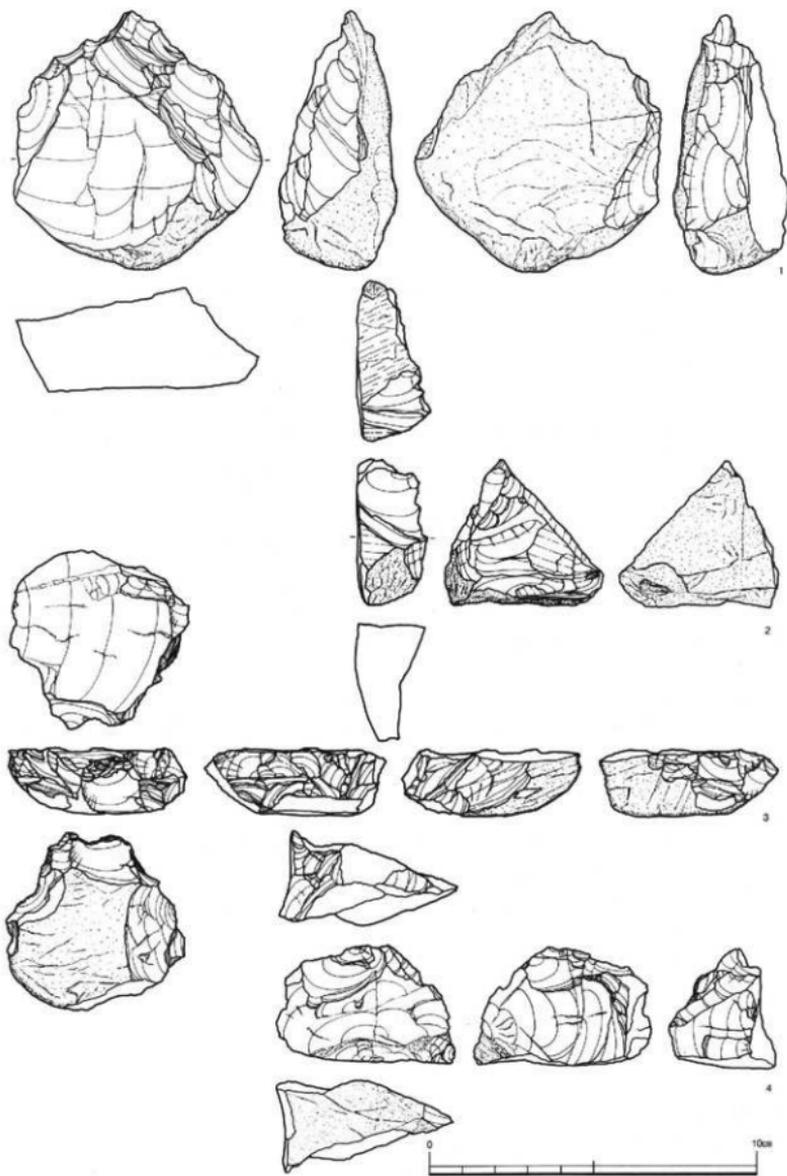


図189 ブロック5出土石器3 (2/3)

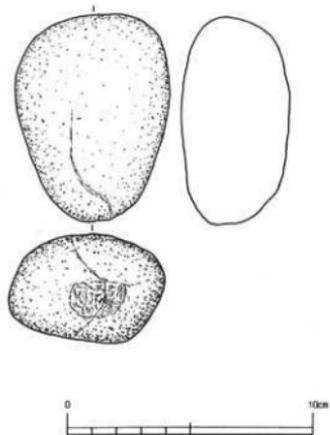


図190 ブロック5出土石器4 (1/2)

作業面は正面、下面、裏面の3面認められる。正面の作業面は上設の調整打面を打面としている。下面は裏面の作業面を打面として、裏面は下面の作業面を打面としている。

図192-1は厚手の縦長剥片の主剥離面に入ぐような大きな剥離が入っている。積極的に石核に分類したわけではないが、主剥離面に入った大きな剥離が、剥片の取得以外に意図が不明なことから、石核と考えた。2はシルト岩製で、正面に縦長剥片をとった作業面があり、その作業面を切って右方向からの剥離があり、正面右側面には正面の作業面を打面とした作業面がある。

4) ブロック10 (図184)

G 0706区、微高地上で3 b層から出土した。80×27 cmの範囲に南北方向に細長く広がる。シルト岩を主体とする。個体の搬入状況は次の通りである。8個体識別した。砂岩は1個体搬入している。シルト岩1は7個体で、うち2個体が単独個体で、そのうち3個体は完成品での搬入である。凝灰岩は1個体、石核で搬入している。

石核 (図192-3、4、図193)

3はシルト岩製で、幅広の剥片をとっている。作業面は正面、下面、裏面の3面ある。それぞれの打面は、正面作業面は上設の調整打面、下面作業面は裏面の作業面、裏面作業面は下面の作業面を主要な打面として、一部、正面の作業面を打面とした剥離も見られる。4はシルト岩製で、両設の平坦打面から縦長剥片、幅広の剥片をとっている。一部に円礫の自然面が残っている。作業面は、正面、正面左側面、裏面の3面認められる。

図193-1は、シルト岩の分厚い剥片の側面にある剥離面を平坦打面として、素材剥片の先行剥離面側で不定形の剥片をとっている。2は、凝灰岩の厚手の剥片を素材として、側面の剥離面の平坦打面から小型の剥片をとっている。剥離痕から推定できる剥片の大きさは、果たして石器の素材になり得たかどうか疑問なくらいに小さい。

5) ブロック7 (図194)

F 0625区、微高地上、3 b層を上下に二分する間層と二分された3 b層の上層で出土した。37×25 cmの範囲に広がる小規模なブロックである。凝灰岩、シルト岩からなる。剥片の数に比べて完成品の多いブロックである。個体の搬入状況は次の通りである。10個体識別した。シルト岩1は3個体で、すべて

加工痕のある剥片 (図191-2)

黒曜石の小型の不定形剥片の縁辺に細かい剥離が連続して入っている。上半部を欠損している。

使用痕のある剥片 (図191-3～5)

3はシルト岩の縦長剥片の正面右側縁に細かい剥離が不連続に入っている。下半部を欠損している。4はシルト岩の不定形剥片の縁辺に細かい剥離が不連続に入っている。5はシルト岩の縦長剥片の正面左側縁に細かい剥離が不連続に入っている。

石核 (図191-6、7、図192-1、2)

6はシルト岩の分割礫を素材としている。作業面は正面の1面だが、打面転移によって、複数の方向からの剥離が見られる。まず、裏面に残る自然面を打面として実測図の上方から不定形剥片をとった後、正面右側面の分割面を打面として不定形剥片をとっている。7はシルト岩製で、打面転移によって多方向からの剥離が見られる。

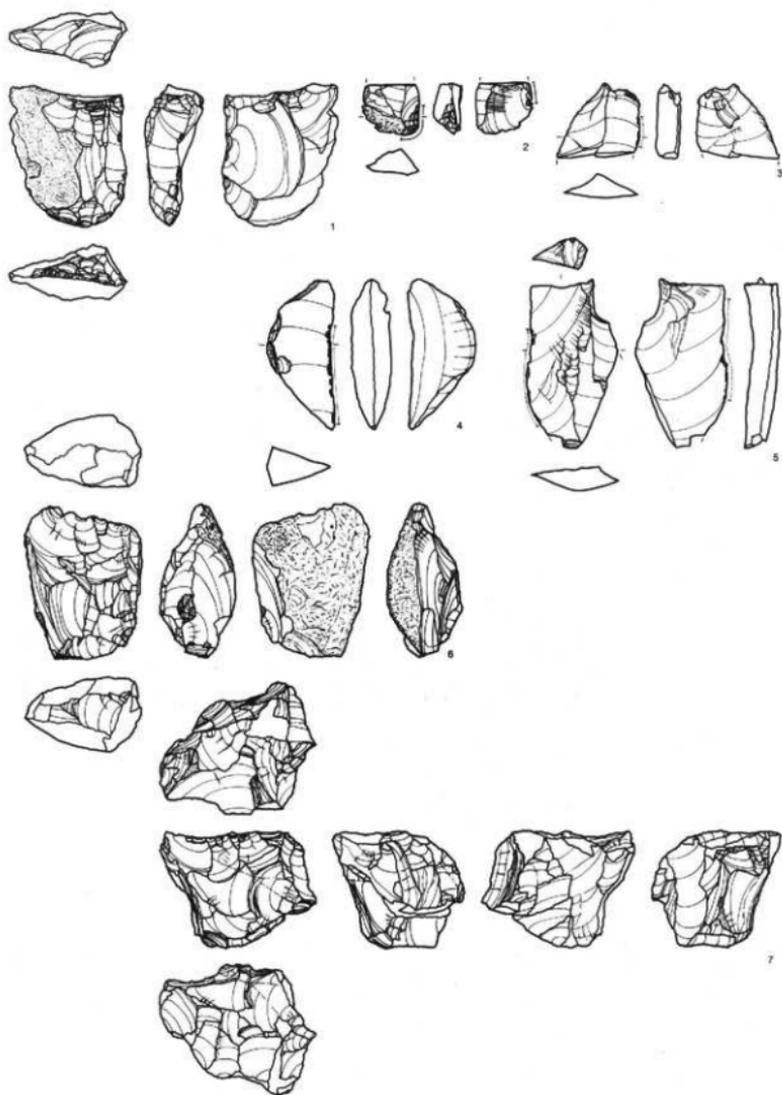


図 191 ブロック 9 出土石器 (2/3)

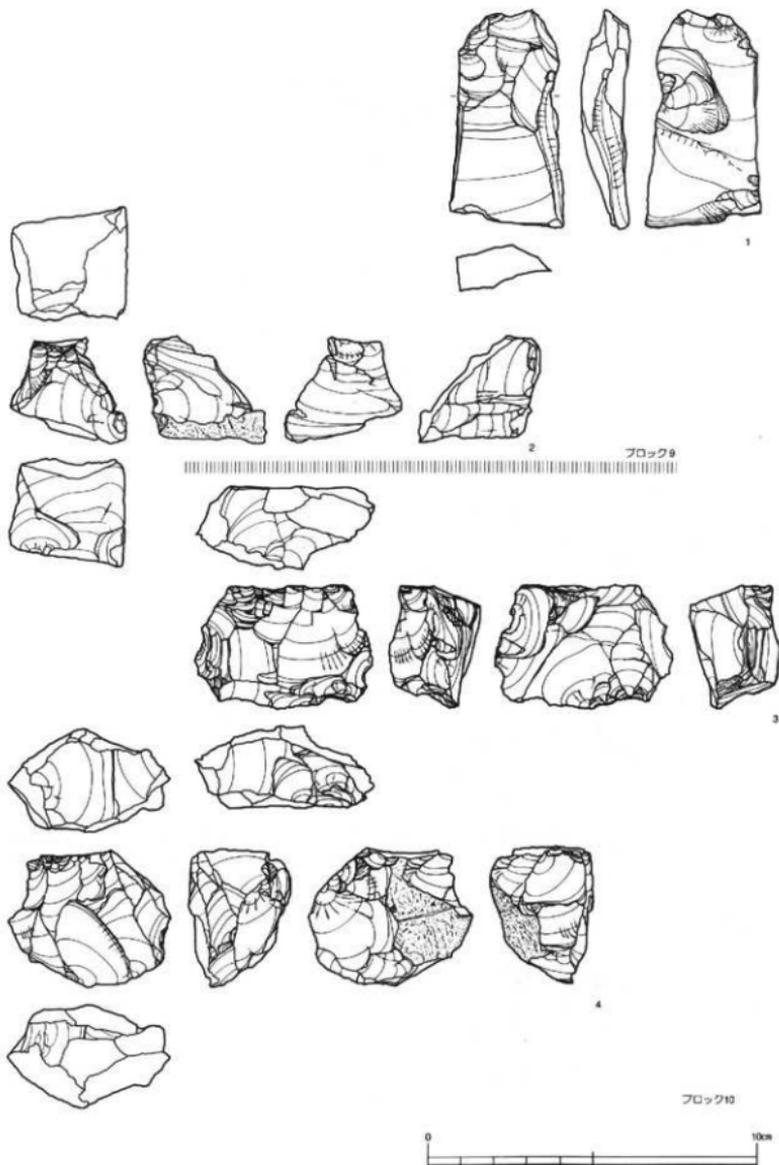


図 192 ブロック 9、10 出土石器 (2/3)

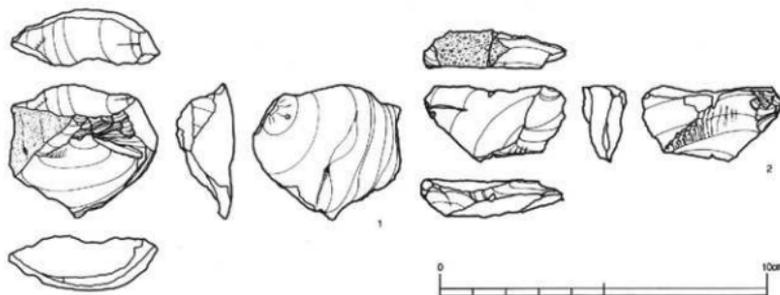


図193 ブロック10出土石器(2/3)

単独個体である。そのうち1個体は完成品での搬入である。シルト岩2は1個体で、単独個体、完成品での搬入である。凝灰岩は6個体で、うち3個体が単独個体でそのうち2個体は完成品での搬入である。

ナイフ形石器(図195-1、2)

1は凝灰岩の縦長剥片を素材として、打面側を下にして正面右側縁を加工して刃部を左側にしている。刃部には刃こぼれ状の剥離がある。下部を欠損している。2はシルト岩の縦長剥片の打面を下にして、素材剥片の末端側を斜めに切断するように加工している。

加工痕のある剥片(図195-3、4)

3は、凝灰岩の縦長剥片の正面右側縁に浅い角度の剥離が連続している。上部を欠損している。4は凝灰岩の縦長剥片の末端付近に連続した剥離がある。

使用痕のある剥片(図195-5)

凝灰岩の幅広の縦長剥片の正面右側縁に細かい剥離が不連続にある。

6) ブロック8(図196)

F 0612、F 0607区付近、微高地上で2b層～3b層で出土した。高見丘IV遺跡で最大のブロックである。シルト岩を主体とし、砂岩、凝灰岩がこれに次ぐ。310×263cmの範囲に広がる。個体の搬入

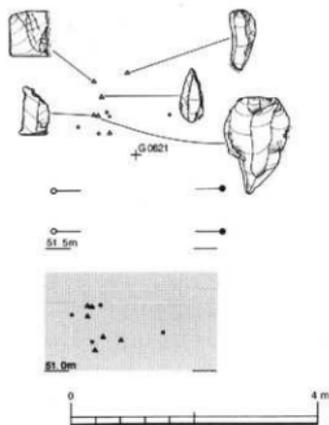


図194 ブロック7石器分布図(1/80)

状況は次の通りである。58個体認識した。チャートは6個体で、すべて単独個体、そのうち2個体が完成品での搬入である。黒曜石は2個体で、ともに単独個体、うち1個体が完成品での搬入である。砂岩は10個体で、うち4個体が単独個体で、そのうち3個体が完成品での搬入である。シルト岩1は29個体で、うち13個体が単独個体で、そのうち7個体が完成品での搬入である。シルト岩2は4個体で、うち3個体が単独個体で、そのうち1個体が完成品での搬入である。凝灰岩は7個体で、うち2個体が単独個体で、そのうち1個体が完成品での搬入である。

尖頭器(図197-1)

シルト岩の縦長剥片を素材として、周縁に平坦剥離を入れて加工している。平坦剥離は器面によって長くのびるものがある。素材の主剥離面側にも、素材のバルブ付近に認められる。周縁の加工は全周に

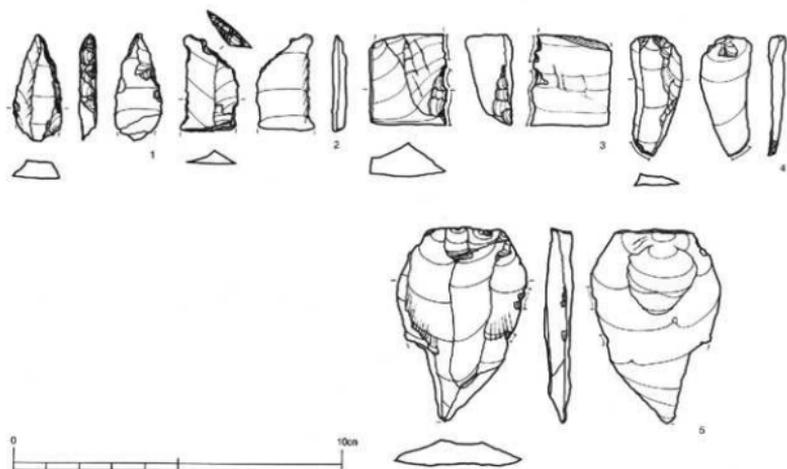


図 195 ブロック7出土石器 (2/3)

は及ばず、左側縁の上半分は加工してなく、素材の縁辺がそのまま残っている。両面加工ではないので、男女倉型尖頭器とは言いがたいが、その系譜を引く資料である。

ナイフ形石器 (図 197-2)

凝灰岩の横長剥片を素材として、正面右側縁の下半分と、正面左側縁の上半分を加工している。

加工痕のある剥片 (図 197-3~6)

3は凝灰岩の稜付き石刃、あるいは、石核の側面調整痕のある剥片の側縁の一部に、えぐりを入れるように剥離がある。4はシルト岩の幅広の不定形剥片の正面右側縁に連続した剥離がある。5は、シルト岩の厚みのある丸い剥片の正面右側縁に、連続した剥離がある。加工した部分の裏には横長剥片をとった後がある。加工痕との切り合いを見ると加工痕の方が新しいため、加工痕のある剥片としたが、裏面の横長剥片を剥離した打面は、加工した縁辺にあることから、これは石核の可能性もある。6は、チャートの不定形剥片の正面左側縁に連続した剥離がある。石材は石の目が多く入っており、複雑な割れ方をしている。

使用痕のある剥片 (図 197-7~10)

7は、凝灰岩の縦長剥片の正面右側縁に細かい剥離が不連続に入っている。下半を欠損している。8は、シルト岩の縦長剥片の正面左側縁に、大きさが不揃いな剥離が不連続に入っている。上部を欠損している。9は、凝灰岩の縦長剥片の正面左側縁に、断続的に刃こぼれ状の剥離がある。10は、シルト岩の幅広の縦長剥片の正面左側縁の一部と末端付近に不連続な剥離がある。

石核 (図 198~202)

図 198-1はシルト岩製で、両設打面から縦長剥片をとっている。作業面は石核の全周を巡っている。2はシルト岩製で、両設打面から縦長剥片をとっている。作業面は石核のほぼ全周に及んでいる。正面作業面の一番右側の剥離は、ウートラバッセをおこして石核の下面を剥ぎ取っている。3はシルト岩製で、上設の平坦打面から縦長剥片をとっている。素材の形態が整っていないため、良好な剥片はとれていない。

図 199-1はシルト岩製で、作業面は正面、下面、正面右側面の3面ある。正面作業面と正面右側面



図196 ブロック8石器分布図 (1/80)

の作業面の打面は上設の調整打面、下面作業面の打面は、正面左側面である。2はシルト岩の大型の剥片を素材として、作業面は正面、正面左側面、裏面、下面の4面認められる。剥離した剥片は小型で不定形である。3は、シルト岩の厚手の剥片を素材として、素材の側面を打面として、素材を輪切りにするようにして不定形の剥片をとっている。4はシルト岩の厚い剥片を素材として、円礫の自然面を打面として、素材を輪切りにするようにして不定形の剥片をとっている。

図200-1はシルト岩の分割礫を素材としている。側面で剥片をとっているが、石の目が多く、うまく剥離していないようである。2は円盤状の分割礫を素材として、自然面を打面として求心状に不定形剥片をとっている。2枚だけ自然面側でも剥片をとっている。3は分割礫を素材として、自然面を打面として求心状に不定形剥片をとっているが、上面と下面に打面が設置してあることから、基本的には両設打面での剥離を目指すものであろう。

図201-1はシルト岩の円礫を素材として、上設の平坦打面から幅広の縦長剥片をとっている。下面にも剥離面があるが、これは下設打面の準備なのか、目的剥片をとっているのか定かではない。2はシルト岩の剥片を素材として、上設の平坦打面から縦長剥片をとっている。正面右側縁には加工痕があることから、最終的には加工痕のある剥片としていると思われる。3はシルト岩裂で、素材は厚手の剥片と思われる。作業面は正面、裏面の2面である。正面作業面では、主として上設の平坦打面から縦長剥片をとっており、一部下方向からの剥離も見られる。裏面作業面では、主として正面左側面を打面として剥片をとっている。

図202-1はシルト岩の剥片を素材として、その側面で縦長剥片をとっている。とっている剥片は小型であり、果たして石器の素材になったかどうか疑問である。上面にも縦長剥片をとった跡があるが、これはこの石核の素材剥片が剥離される前の剥離であることから、他の石核から剥離した剥片を素材としてこの石核を製作していることになる。2は、節理面で剥離したシルト岩の剥片を素材として、上面の平坦打面から幅広の剥片をとっている。

台石 (図202-3、図203)

図202-3は砂岩の扁平な円礫を使用しており、表面にあばた上の使用痕がある。図203は砂岩の重量感のある円礫を使用しており、上面に敲打痕状の使用痕がある。

叩石 (図202-4)

砂岩の細長い円礫の一端に敲打痕がある。

7) ブロック外出土石器

尖頭器 (図204-1)

II 0918区、3 a 層出土である。シルト岩の横長剥片を素材として、周縁にやや浅い角度で加工している。上ドを欠損しているため、ナイフ形石器の可能性もあるが、高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡では横長剥片を素材としたナイフ形石器はほとんどないこと、素材剥片の主剥離面側にバルブを除去した平坦剥離が見られ、これはナイフ形石器ではあまり見られないこと、加工が、ナイフ形石器に見られる刃つぶし加工よりも浅い角度で入っていること、尚側縁の加工がいづれも側縁の半分以上に及んでいることなどから、周縁加工の尖頭器とした。

ナイフ形石器 (図204-2)

F 0712区、3 b 層出土である。シルト岩の縦長剥片を素材として、打面を下側にして、二側縁に主剥離面側から加工して刃部を右側している。

スクレイパー (図204-3、4)

3はG0516区、3 a 層出土である。シルト岩の丸い剥片の正面左側縁と正面右側縁の下側を加工してある。4はG0517区、3 a 層出土である。シルト岩の大型の縦長剥片の正面右側縁を連続して加工して

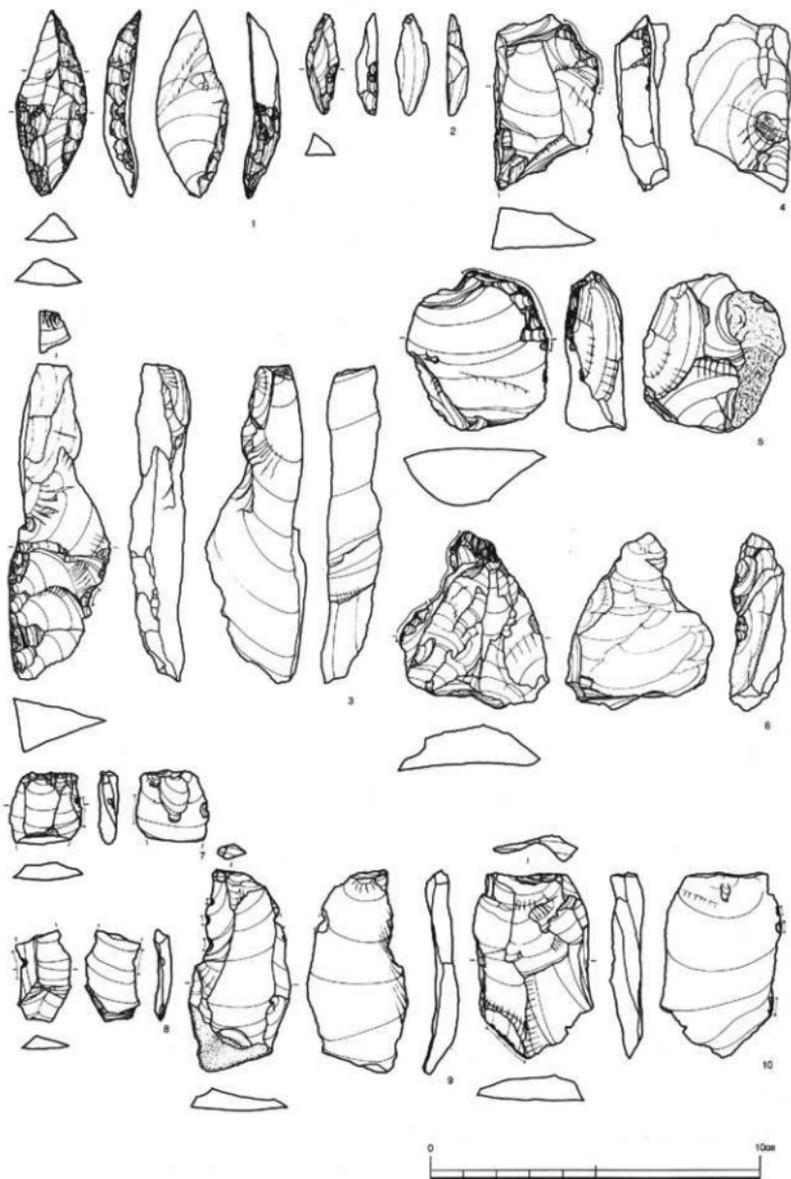


図197 ブロック8出土石器1 (2/3)

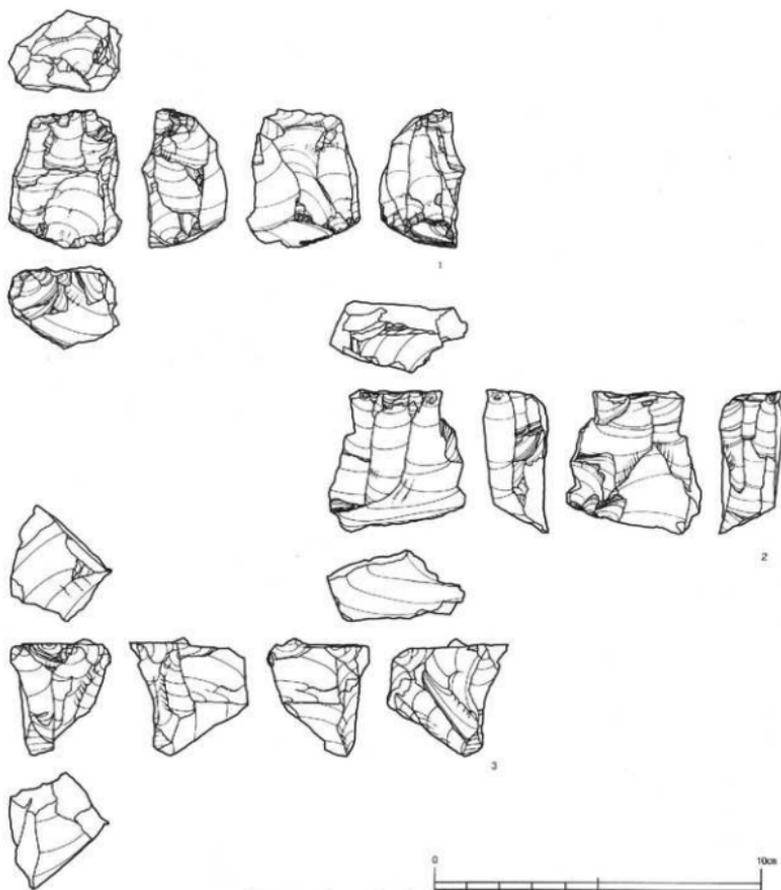


図 198 ブロック 8 出土石器 2 (2/3)

刃部を作っている。

加工痕のある剥片 (図 204-5~7)

5はG 0523区、3 a層出土である。シルト岩の不定形剥片の正面左側縁の一部に連続した剥離がある。素材剥片の末端はヒンジフラクチャーをおこしている。6はF 0622区、3 b層出土である。チャートの大型剥片の末端と正面左側縁の一部に連続した剥離がある。素材剥片には円礫の自然面が大きく残っている。7はG 0617区、2 b層出土である。シルト岩の縦長剥片の正面右側縁に、2つのえぐりを入れるように連続した剥離がある。

使用痕のある剥片 (図 204-8、9、図 205-1~3)

8はG 0512区、3 a層出土である。シルト岩の不定形剥片の正面右側縁に細かい剥離がある。9は0621区、2 b層出土である。黒曜石の縦長剥片の正面左側縁に細かい剥離がある。下部を欠損している。

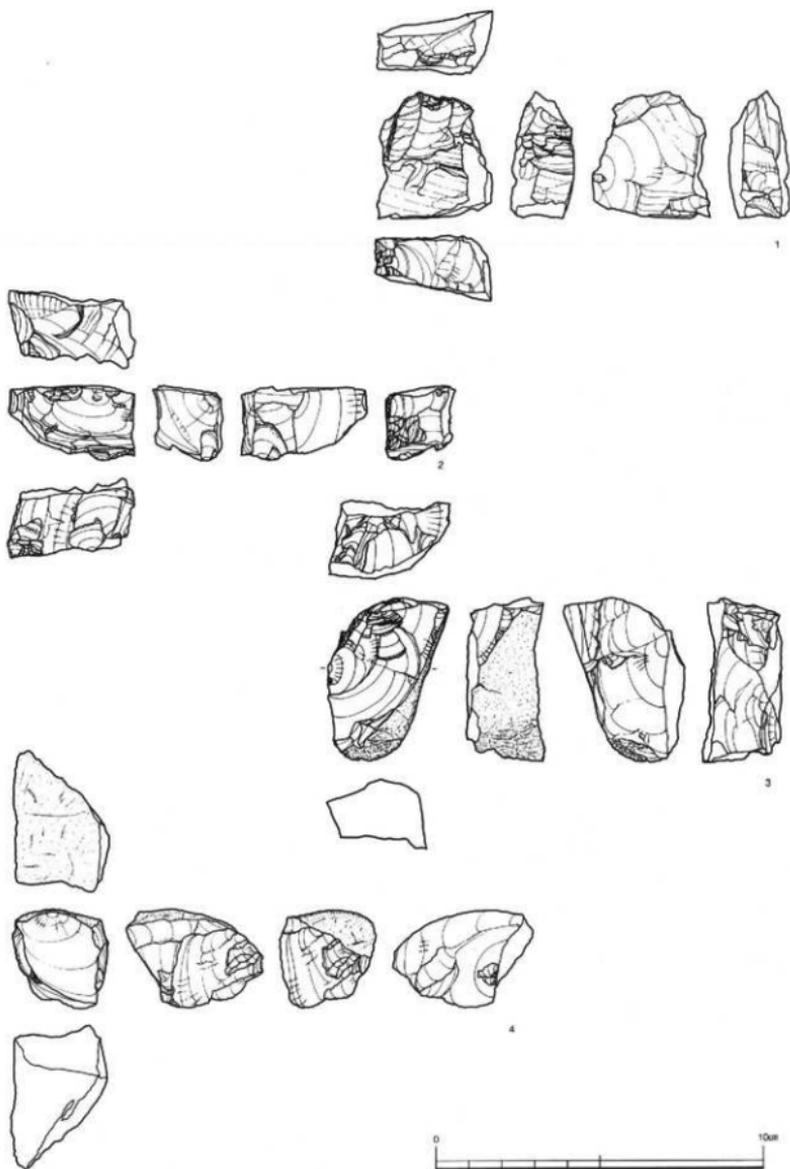


図 199 ブロック 8 出土石器 3 (2/3)

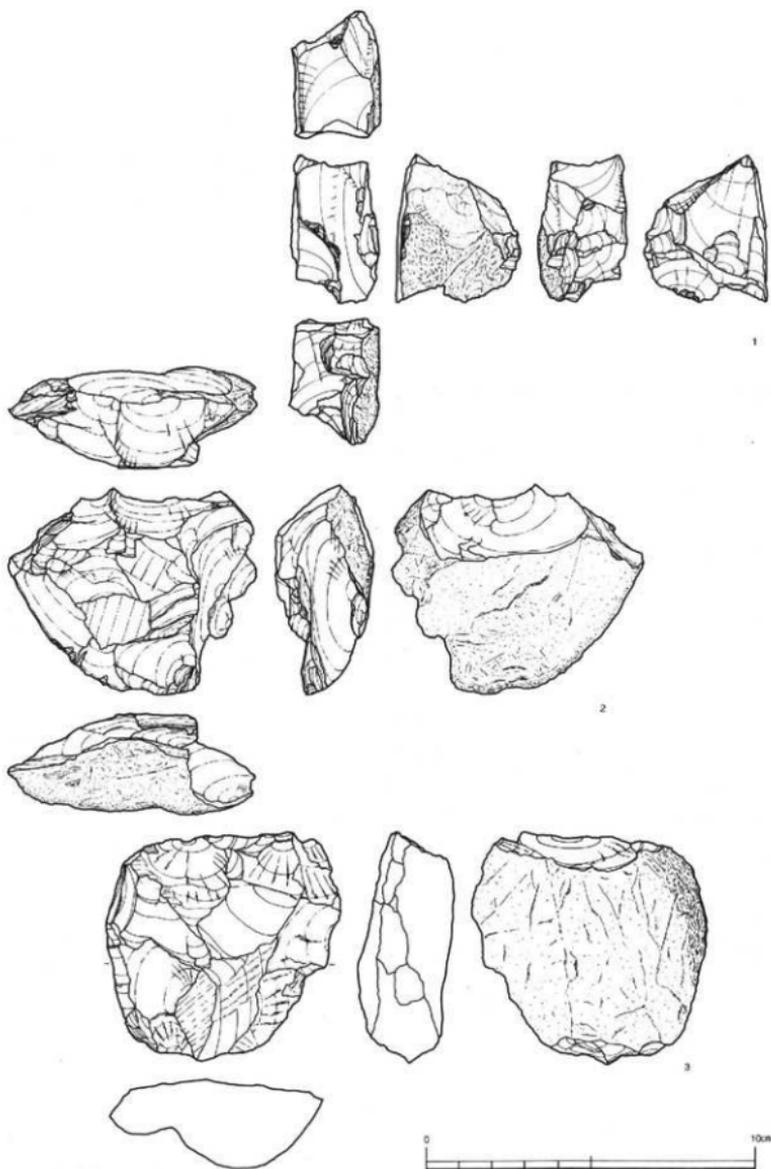


図 200 ブロック 8 出土石器 4 (2/3)

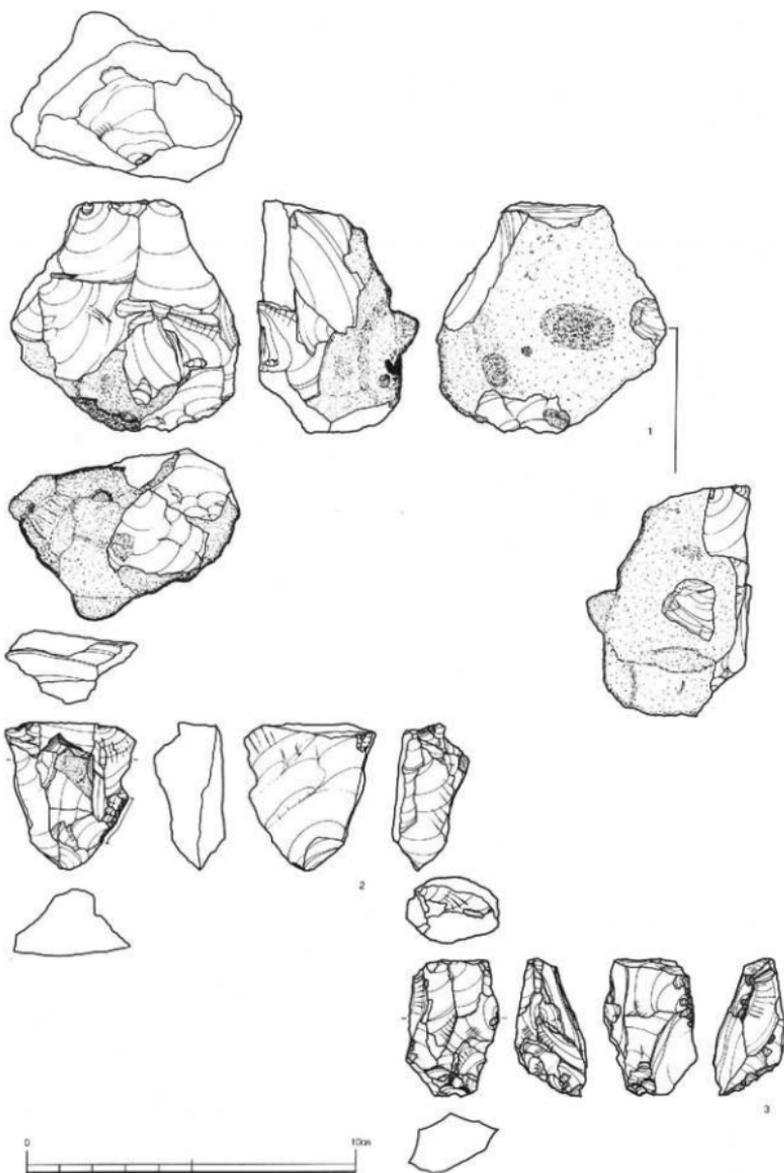


図201 ブロック8出土石器5 (2/3)

図205-1はG0621区、3b層出土である。黒曜石の縦長剥片の正面右側縁に細かい剥離が不連続にある。2はH0610区、3a層出土である。シルト岩の縦長剥片の正面右側縁の一部に不連続な剥離がある。3はF0717区、3a層出土である。凝灰岩の縦長剥片の正面左側縁の一部に細かい剥離がある。石核(図205-4、5、図206-1)

4はシルト岩の円礫を素材としている。作業面は正面と下面の2面ある。正面作業面は上設の調整打面から不定形剥片をとっている。下面作業面では、正面左側面を平坦打面として縦長の剥片をとっている。5は石の目で分割した剥片を素材としている。作業面は正面の1面である。打面は分割した石の目を上設の平坦打面、下面の剥離面を下設打面としている。剥離している剥片は不定形である。図206-1は凝灰岩の剥片を素材としている。正面で縦長剥片をとっており、上面でも丸剥片をとっている。

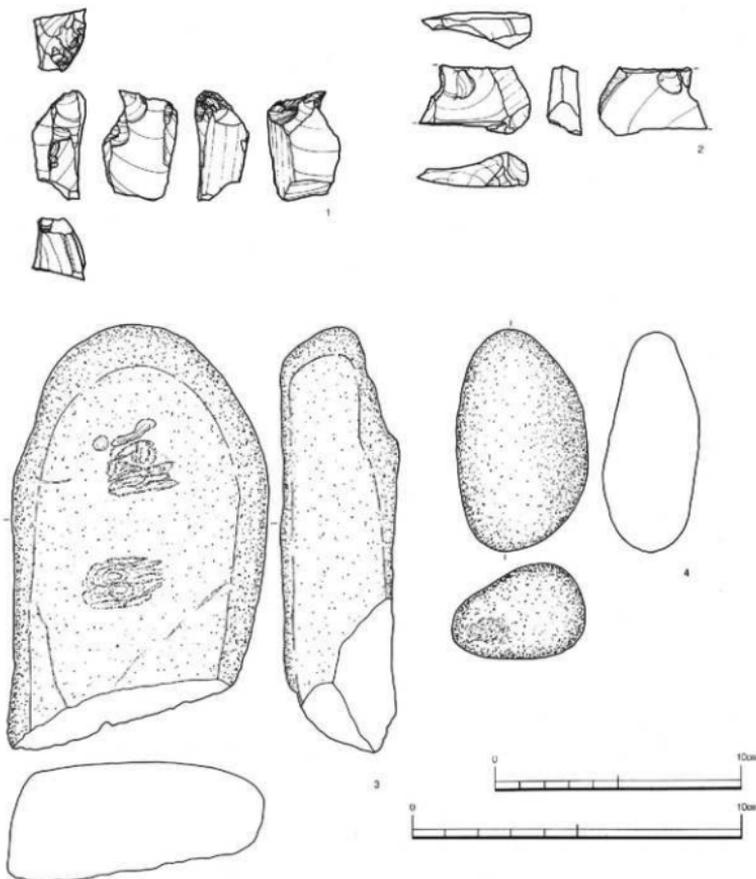


図202 ブロック8出土石器6(2/3、3、4は1/2)

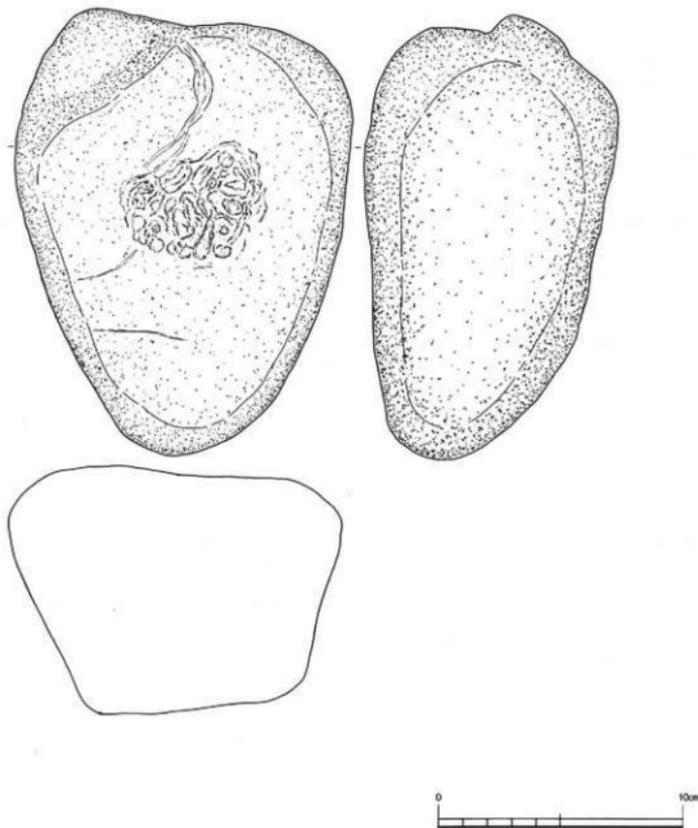


図203 ブロック8出土石器7 (1/2)

叩石 (図206-2、3)

ともに砂岩の円礫を使っており、2カ所に敲打痕がある。

6 石器の接合状況

ブロック5とブロック8で頻繁な接合があり、ブロック間接合も認められた。(図207)。この接合は円礫を分割して複数の石核を生産している資料が多い。

接合資料6

図209はブロック5出土の接合資料である。石核2点 (図188-2、図189-3) と剥片2点の接合である。シルト岩の円礫を節理で分割して2つの石核の素材を剥離している。剥片2点はいずれも不定形で、石核の作業面に接合している。

接合資料7

図210はブロック5出土の接合資料である。石核 (図188-1、図189-1) と剥片1点の接合であ

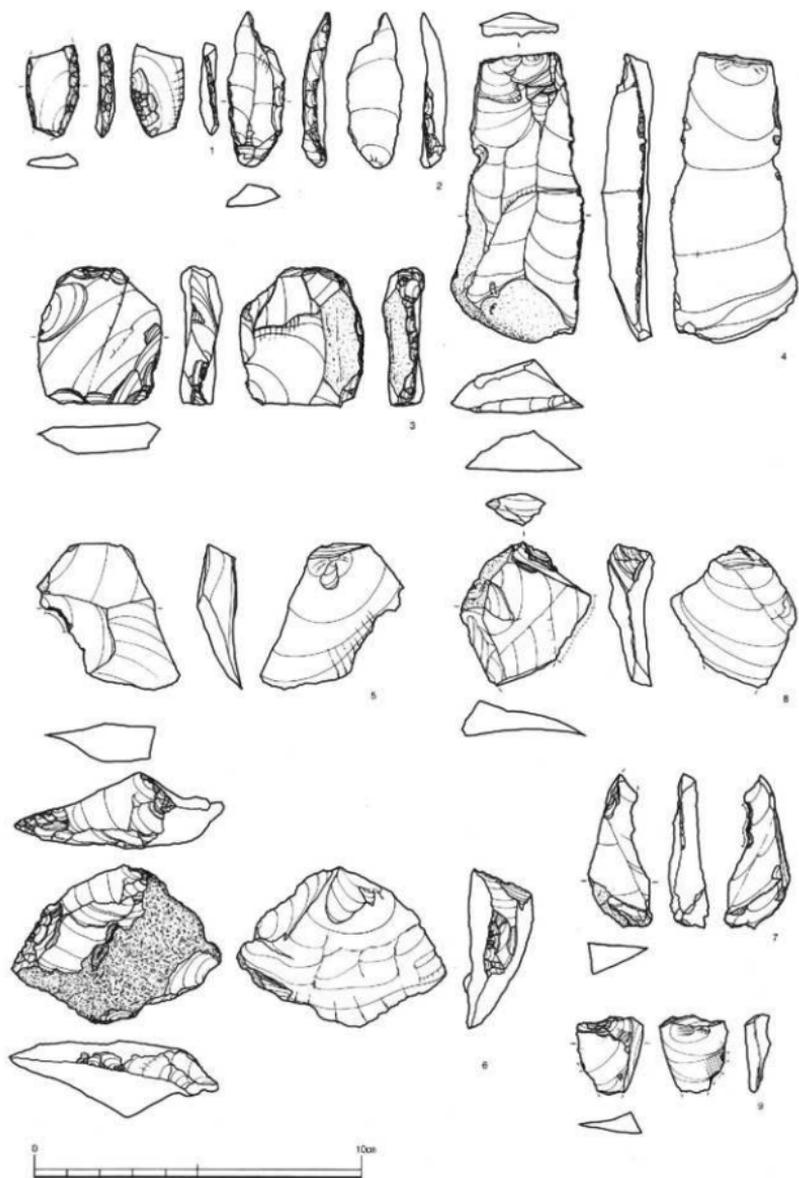


図 204 エリア1ブロック外出土石器 1 (2/3)

る。扁平な円礫を縦割りにして2点の石核の素材を剥離している。剥片は小型の不定形で、石核の作業面に接合している。

接合資料 4

図 211 は石核 5 点 (図 187-5、188-3、189-2、200-3、205-5) と剥片 3 点の接合である。このうち、図 187-5、188-3、189-2、図 210-7、8 はブロック 5 出土で、図 200-3 はブロック 8 出土、図 205-5、図 210-6 はブロック 外出土である。この接合資料では、円礫を分割しているが、節理の多い石材のため、規則的に石核の素材を獲得したというよりも、円礫をバラバラに叩き割ったという印象を受ける。そして、石核 2、3 は上下方向で縦長剥片をとっており、石核 1 は両設打面から不定形剥片を剥離し、石核 4 は扁平な素材で、求心状に不定形剥片を剥離している。このように、獲得した素材の形態に応じて剥片剥離技術を決めているようである。

接合資料 5

図 212 はブロック 8 で出土した資料で、石核 (図 199-1) と剥片 4 点の接合である。剥片 2 は石核の正面作業面に接合し、剥片 3 は石核の下面作業面に接合している。剥片 2 の接合状況から、正面の作業面で剥片剥離を終了した後、下面作業面で剥離を始めたことがわかる。

接合資料 8

図 208 はブロック 外出土の石核で、節理で分割して獲得した扁平な剥片の分割面を平坦打面として、素材剥片の側面で小型の不定形剥片をとっている。剥片剥離終了後に中央付近で 2 つに割れたものが接合している。

7 個別別資料の分布状況

シルト岩と砂岩がこのエリアの主要な個体となっている。どの個体も F 0607 区付近のブロック 8、F 0722 区付近のブロック 5 に集まる傾向がある (図 213)。このエリアではブロック 3、5、8 が分布している微高地上に遺物が集中しており、特にブロック 5、8 に集中する傾向がある。そして、ブロック間接合が認められたブロック 5 とブロック 8 両方に分布する個体が多いことから、両方のブロックが密接な関係にあることを示している。これとは逆にブロックをはずれると微高地上でも遺物は極端に少ないことから、ブロック 5、8 に集中するのが特に目立っている。この中で S i 1 - S i 006 はブロック外に散在しており、特異な分布を示している。

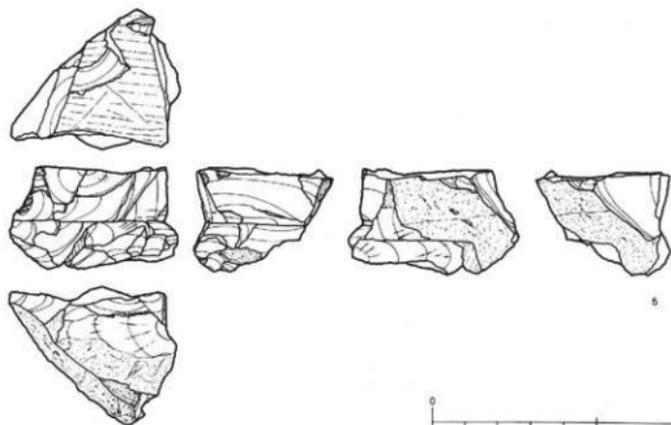
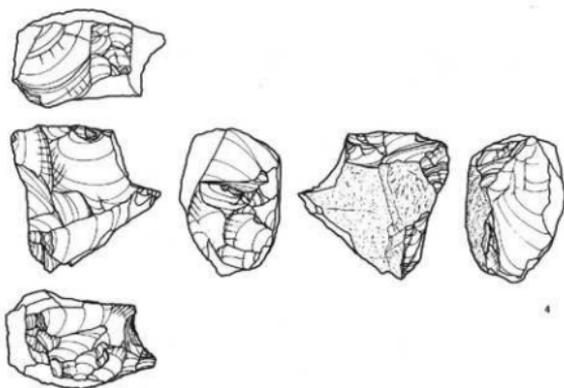
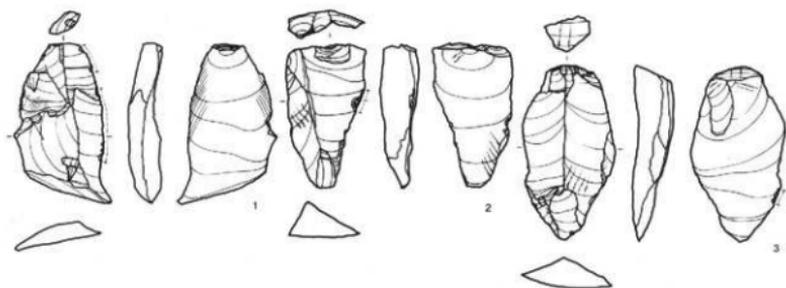


図 205 エリア1 ブロック外出土石器 2 (2/3)

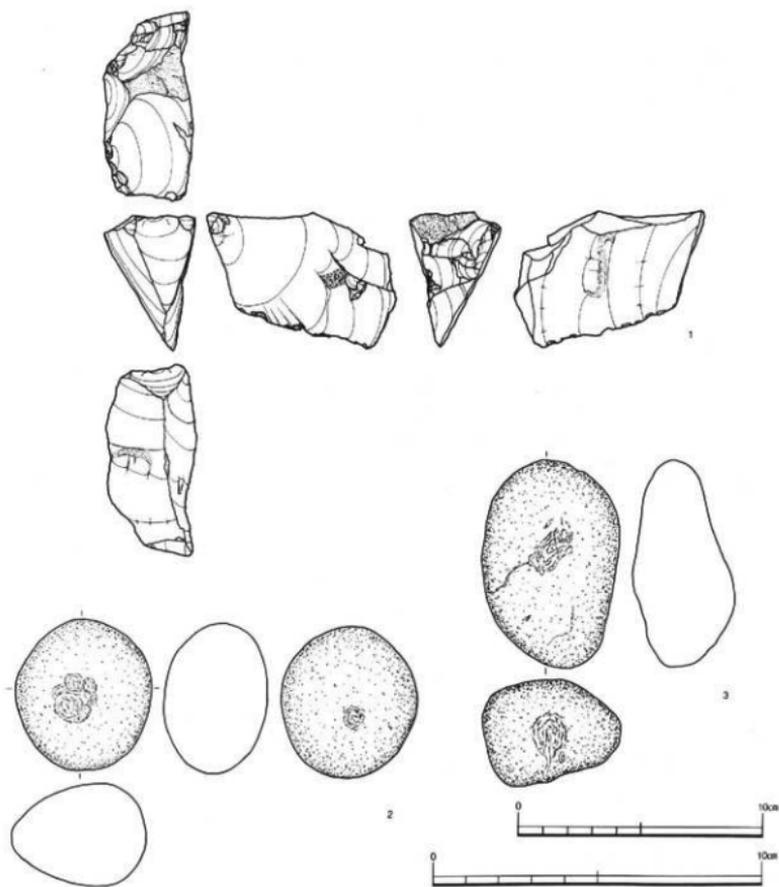


図206 エリア1ブロック外出土石器3 (2/3、2、3は1/2)

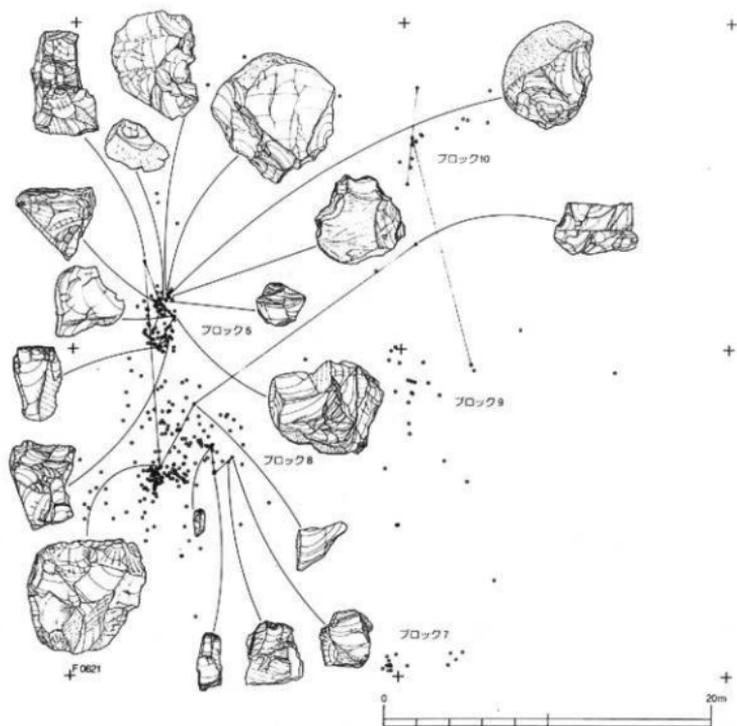


図207 エリア1、6ライン以南石器接合状況 (1/300)

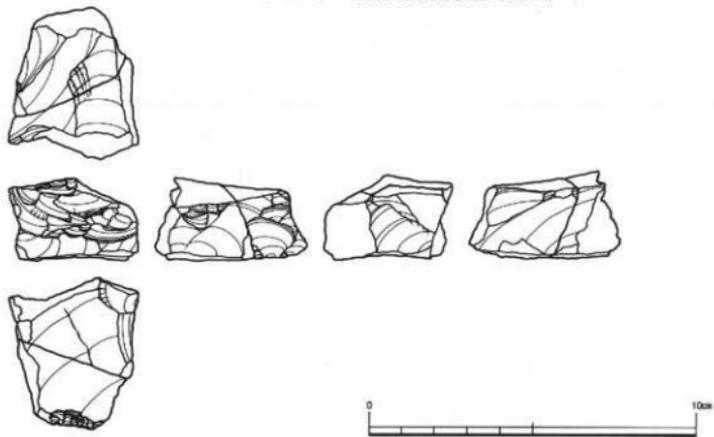


図208 エリア1出土接合資料8 (2/3)

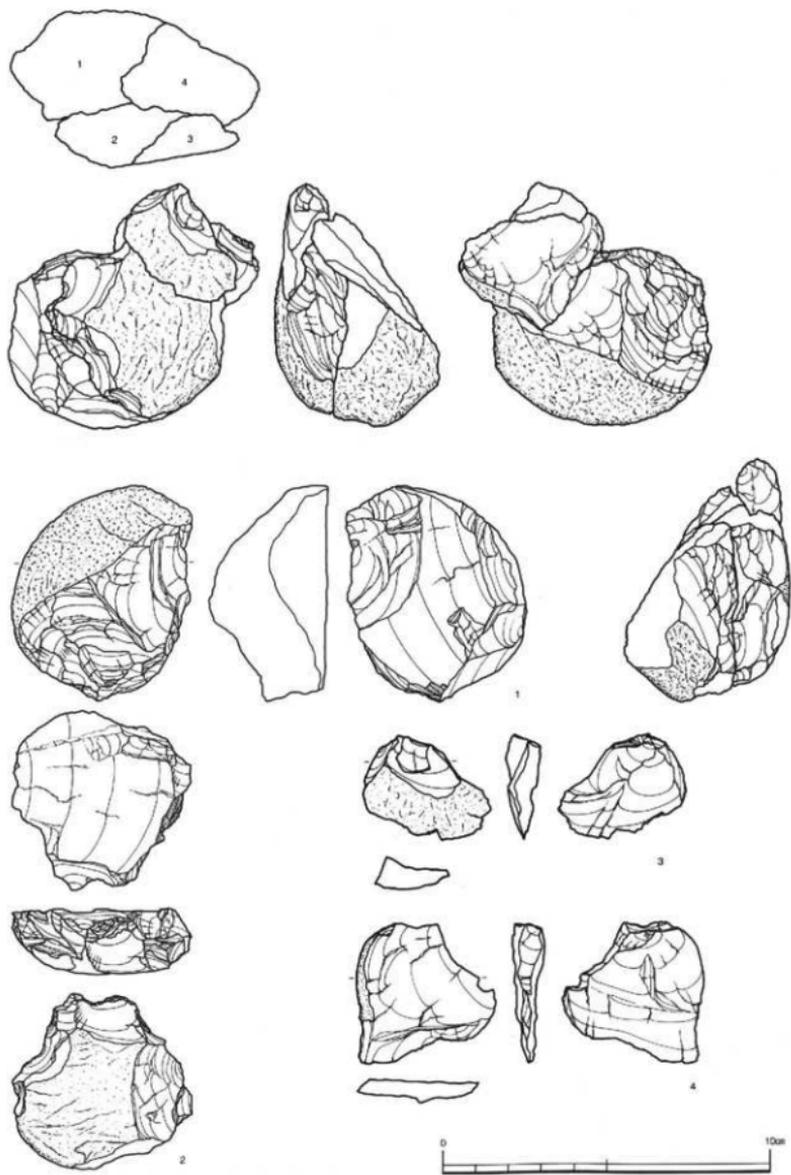


図 209 エリア1出土接合資料6 (2/3)

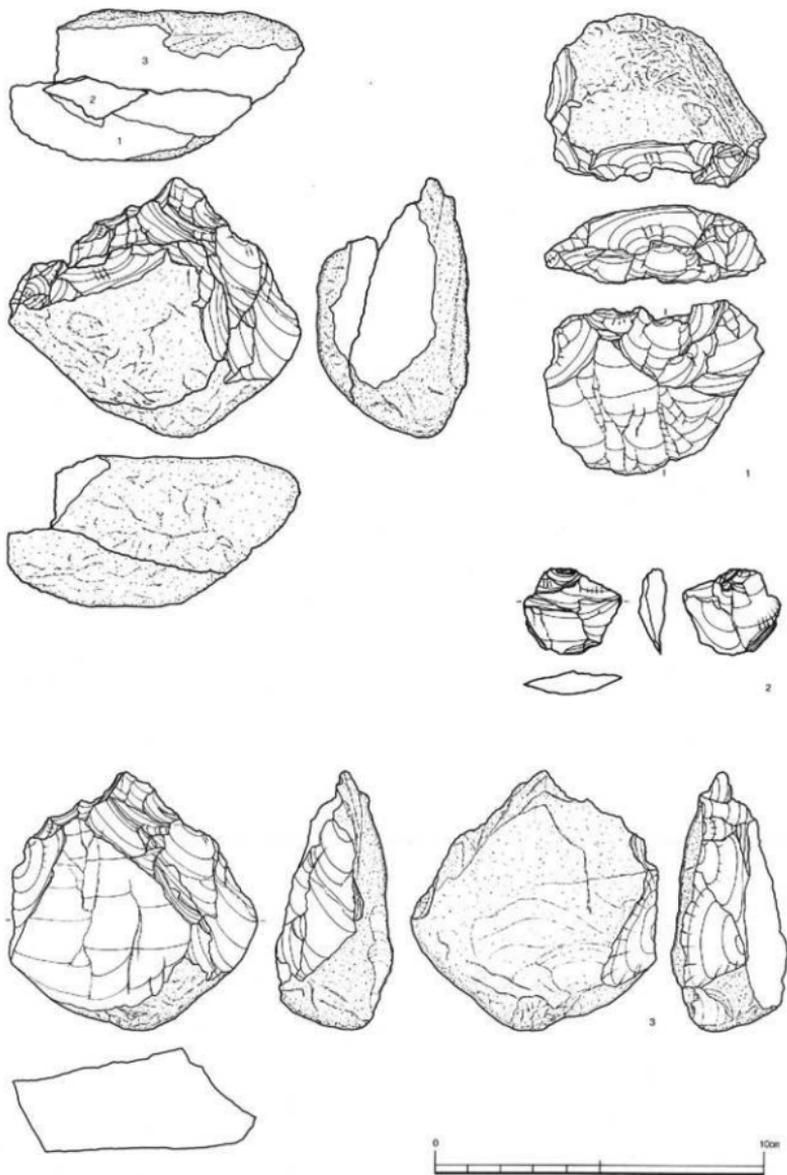


図210 エリア1出土接合資料7 (2/3)

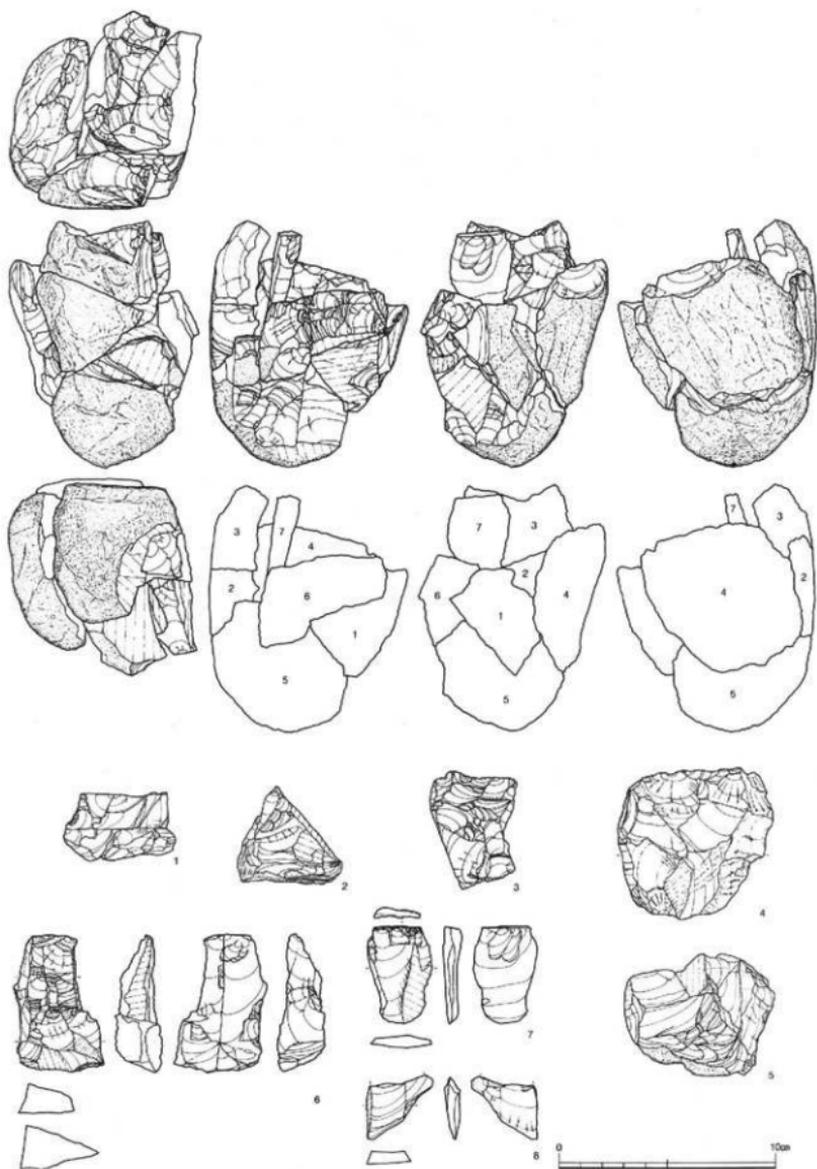


図 211 エリア1 出土接合資料4 (1/3)

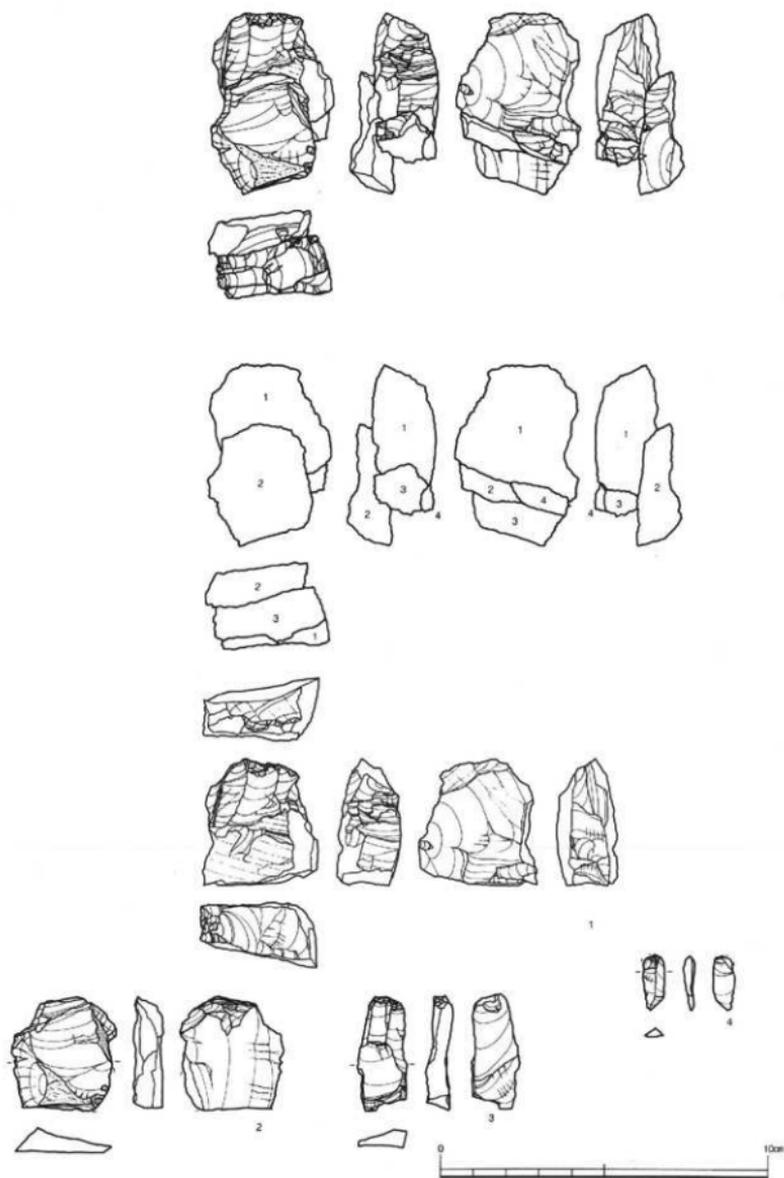


図212 エリア1出土接合資料5 (2/3)

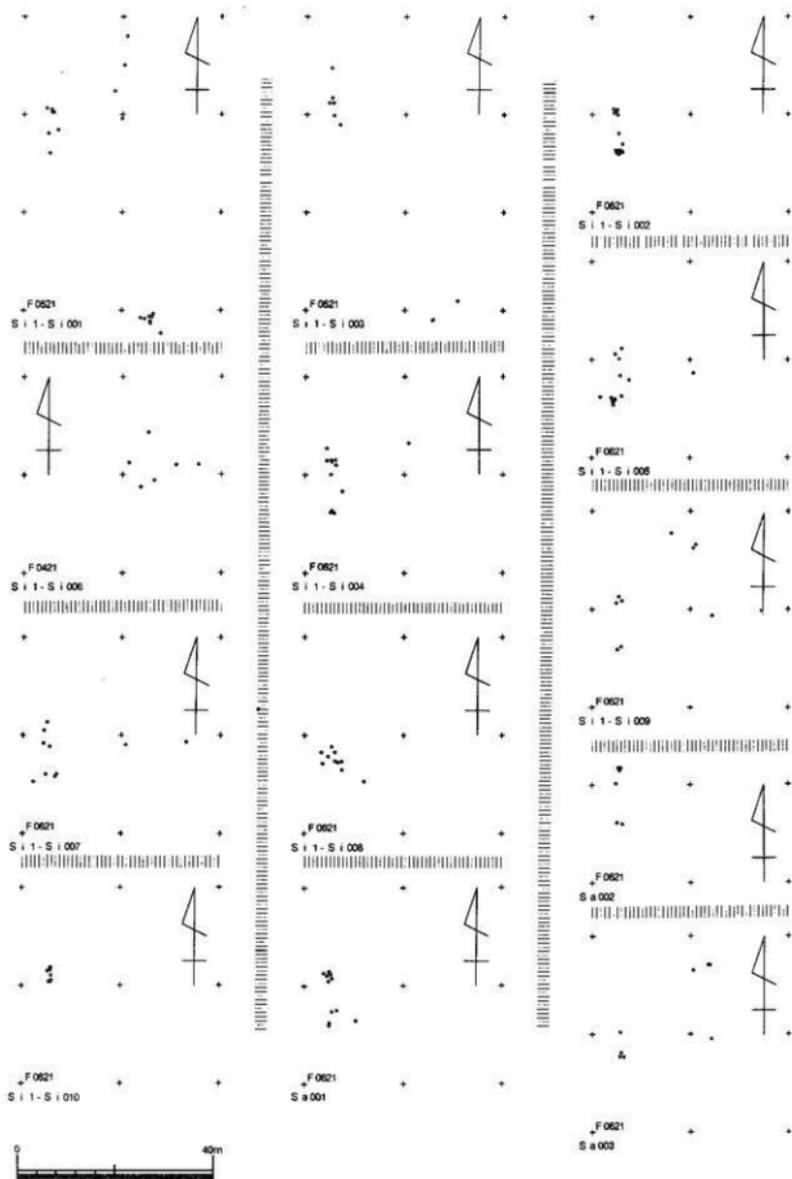


図 213 エリア 1 個体別資料分布図 (1/1000)

表27 エリア1ブロック別石器組成表

ブロック3

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1									3	17	3							23
Sa											1							1
Ob										5	2							7
Tu										1	1							2
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	3	23	7	0	0	0	0	0	0	33

ブロック5

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1		1						2	3	6	39	1						52
Sa	1								1	2	13				1			18
Ch										1	2							3
Ob											1	1						2
合計	1	1	0	0	0	0	2	4	9	55	1	1	0	0	1	0	0	75

ブロック7

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1	1									2								3
Tu	1							2	1		3							7
Si2	1																	1
合計	3	0	0	0	0	0	2	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	11

ブロック8

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Sa									1	1	18	2			1		2	25
Ob									1	1	2							4
Si1	1		1					3	7	12	80	5	1					110
Tu	1	1						2	2	3	30	10						49
Si2										1	3		1					5
Ch								1		4								6
合計	2	1	1	0	0	0	6	10	19	136	19	2	0	0	1	0	2	199

ブロック9

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1								3	2	5								10
Si2		1								1								2
Sa	1																	1
Ob								1										1
合計	1	1	0	0	0	0	1	3	2	6	0	0	0	0	0	0	0	14

ブロック10

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1								1	2	4	2							9
Tu										1								1
Sa											3							3
合計	0	0	0	0	0	0	1	2	5	5	0	0	0	0	0	0	0	13

表 28 エリア1 個体別石器組成表 1

ブロック7																						
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	C	F	I	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分類	
S1-S015		1																			1	ブロック7, 8, 10
S1-S017											1										1	ブロック7, 8
S1-S067											1										1	ブロック7
S2-S007		1																			1	ブロック7
Tu002											1										1	ブロック7, 8
Tu003											1	2									3	ブロック7, 10
Tu004																					1	ブロック7, 8
Tu015											1										1	ブロック7
Tu016		1																			1	ブロック7
Tu017												1									1	ブロック7
合計		3	0	0	0	0	0	1	1	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
ブロック8																						
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	C	F	I	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分類	
Oh001											1										1	ブロック8
Oh002											1										1	ブロック8
Oh003											1										1	ブロック8
Oh004											1										1	ブロック8
Oh005											1										1	ブロック8
Oh007											1										1	ブロック8
Oh003											1										1	ブロック8
Oh005											1										1	ブロック8
Sa001											6										6	ブロック5, 8
Sa002											2										2	ブロック5, 8
Sa003											1	2									3	ブロック5, 8, 10
Sa004											2										2	ブロック5, 8, 9
Sa005											3										3	ブロック5, 8
Sa006											1	1									2	ブロック8
Sa007											1										1	ブロック8
Sa012																					1	ブロック8
Sa013																					1	ブロック8
Sa014																					1	ブロック8
S1-S001											2	1	1								4	ブロック2, 5, 8, 9, 10
S1-S002											1	13									14	ブロック5, 8
S1-S003											1										1	ブロック3, 5, 8
S1-S004											1	2									4	ブロック5, 8
S1-S005											1	9									10	ブロック5, 8, 9
S1-S007											1	4									6	ブロック5, 8, 9
S1-S008											1	9									10	ブロック8
S1-S009											2										2	ブロック5, 8, 10
S1-S011											1	2									3	ブロック8, 9, 10
S1-S012											1										1	ブロック5, 8
S1-S013											1	2									3	ブロック5, 8
S1-S015											1	2									4	ブロック7, 8, 10
S1-S016											1	3									4	ブロック8, 10
S1-S017											1										3	ブロック7, 8
S1-S018											2	3									5	ブロック8
S1-S019											3										3	ブロック5, 8
S1-S021											1	2									4	ブロック8
S1-S022											4										4	ブロック8
S1-S023											1										1	ブロック8, 9
S1-S024											1										1	ブロック8, 9
S1-S048											1										1	ブロック8
S1-S049											1										1	ブロック8
S1-S050											1										1	ブロック8
S1-S051											1										1	ブロック8
S1-S057											1										1	ブロック8
S1-S058											1										1	ブロック8
S1-S059											1										1	ブロック8
S1-S060											1										1	ブロック8
S1-S061											1										1	ブロック8
S2-S001											1										2	ブロック8, 9
S2-S005											1										1	ブロック8
S2-S006											1										1	ブロック8
S2-S009											1										1	ブロック8
Tu001											1										1	ブロック8
Tu002											1	15	1								21	ブロック8
Tu004											4										3	ブロック7, 8
Tu005											3										3	ブロック7, 8
Tu006											1	4									5	ブロック8
Tu013											1										1	ブロック8
Tu014											1										1	ブロック8
合計		3	1	1	0	0	0	6	11	20	121	1	2	0	0	1	0	0	0	2	169	

表 29 エリア1 個体別石器組成表 2

ブロック3																	合計	分布		
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F	Ch	PE	RM	GS	HS	QS			AX	AS
Ob001										3									3	ブロック3
Ob002										1	1								2	ブロック3
S1-S001									1	6									7	ブロック3, 5, 8, 9, 10
S1-S003									1	1									2	ブロック3, 5, 8
S1-S006										2									2	ブロック3
S1-S014										1									1	ブロック3
S1-S033										1									1	ブロック3
S1-S033										1									1	ブロック3
S1-S034										1									1	ブロック3
S1-S035										1									1	ブロック3
S1-S042										1									1	ブロック3
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	3	18	1	0	0	0	0	0	0	0	22	

ブロック5																	合計	分布		
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F	Ch	PE	RM	GS	HS	QS			AX	AS
Ob009										1									1	ブロック5
Ob010										1									1	ブロック5
Ob011										1									1	ブロック5
Ob009												1							1	ブロック5
Ob010										1									1	ブロック5
Sa001	1								1	5									7	ブロック5, 8
Sa002										2	3								5	ブロック5, 8
Sa003										1									1	ブロック5, 8, 10
Sa004	1									1									2	ブロック5, 8, 9
Sa005										2									2	ブロック5, 8
Sa015															1				1	ブロック5
S1-S001										4									4	ブロック3, 5, 8, 9, 10
S1-S002									1	4									5	ブロック5, 8
S1-S003		1							1	2									4	ブロック3, 5, 8
S1-S004										3	3								6	ブロック5, 8
S1-S005										3									3	ブロック5, 8, 9
S1-S007										2									2	ブロック5, 8, 9
S1-S009									1	1	1								3	ブロック5, 8, 10
S1-S010										3	5								8	ブロック5
S1-S012										1	3								4	ブロック5, 8
S1-S013										2									2	ブロック5, 8
S1-S019										1									1	ブロック5, 8
S1-S020										2									2	ブロック5
S1-S065										1									1	ブロック5
S1-S066										1									1	ブロック5
合計	2	1	0	0	0	0	0	2	4	9	49	0	1	0	0	1	0	0	69	

ブロック8																	合計	分布		
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F	Ch	PE	RM	GS	HS	QS			AX	AS
Ob004										1									1	ブロック9
Sa004	1									1									1	ブロック5, 8, 9
S1-S001											1								1	ブロック3, 5, 8, 9, 10
S1-S005										1									1	ブロック5, 8, 9
S1-S007										1									1	ブロック5, 8, 9
S1-S011										1									1	ブロック8, 9, 10
S1-S023										1									1	ブロック8, 9
S1-S024										1	1								2	ブロック8, 9
S1-S054										1									1	ブロック9
S1-S062										1									1	ブロック9
S1-S064										1									1	ブロック9
S2-S001										1	1	1							2	ブロック8, 9
S2-S008		1								1									1	ブロック9
合計	1	1	0	0	0	0	0	1	3	2	6	0	1	0	0	0	0	0	15	

ブロック10																	合計	分布		
個体/器種	Kn	Sc	Pe	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	F	Ch	PE	RM	GS	HS	QS			AX	AS
Sa003										1									1	ブロック5, 8, 10
S1-S001										1									1	ブロック3, 5, 8, 9, 10
S1-S009										1									1	ブロック5, 8, 10
S1-S011										1									1	ブロック8, 9, 10
S1-S015										1									1	ブロック7, 8, 10
S1-S016										1	1								2	ブロック8, 10
S1-S056										1									2	ブロック10
Tu003										1									1	ブロック7, 10
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	2	0	0	0	0	0	0	0	9	

第2節 エリア2の遺構と遺物

自然流路以東のエリアである。高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡では遺構、遺物ともに希薄なエリアである。ここでは礫群4基、配石13基、ブロック3基を検出した。これらは流路に面した緩斜面に集中し、その東には微高地が広がっているが、遺構、遺物はかなり希薄である。このエリアでは、流路を中心として広い範囲で、土層の堆積状況が他と異なり、基本土層の境界が上下に入り乱れ、全体が黒ずんで分層が難しくなっている。加藤芳郎氏の教示によれば、流路の周辺が湿地状地になっていたため、草が繁茂しやすい環境にあったうえに、有機物が分解しきっていないため、このような土層になっていると思われる。したがって、遺構、遺物が少ないのも、居住に適した環境になっていなかったからと思われる。

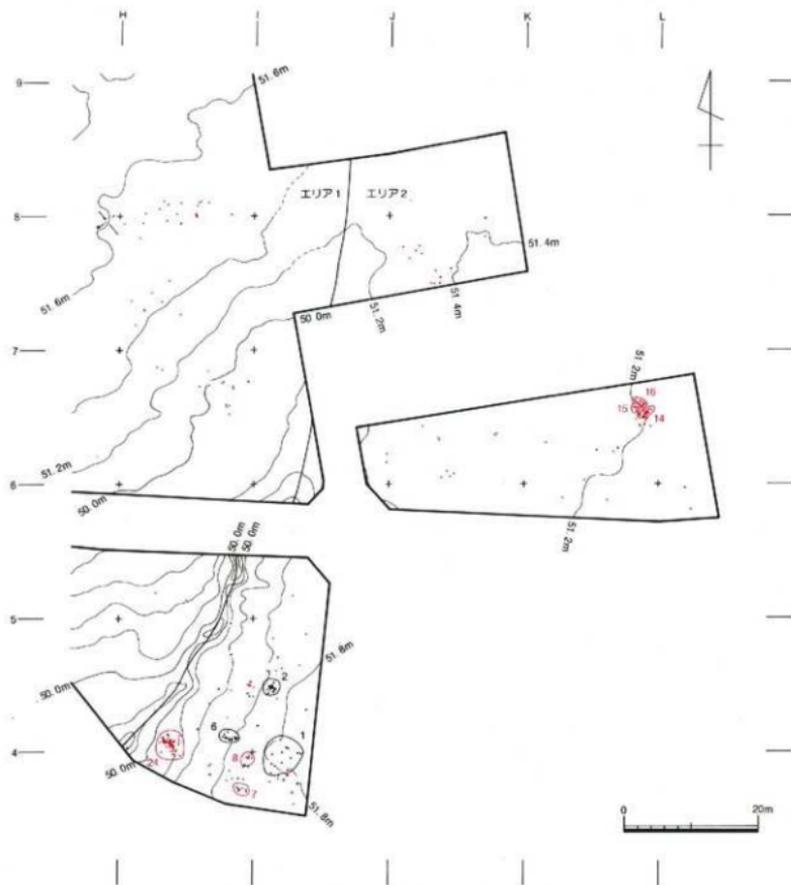


図214 エリア2遺構、遺物分布図 (1/750)

1 礫群

礫群 7 (図 215) H 0310 区、自然流路に面した傾斜面で 3 a 層で出土した。182 × 118 c m の範囲に広がる。配石 78, 79, 80 を含んでいる。礫群ではなく、礫を伴った配石が 3 つあると考えた方が良いのかもしれないが、配石と他の礫が若干離れており、この礫がどの配石に帰属するのか判断しがたいものがあるため、全体で礫群とした。礫が集中する部分はなく、散在している。構成礫数は 8 点、砂岩が 87.5 %、他は花崗岩がある。赤化率 25 %、破砕率 75 %、割れ面赤化率 25 % である。総重量 9880 g、平均重量は 1235 g である。配石の占める割合が高いため、平均重量が高いが、配石を除くと総重量 1327 g、平均重量は 265.4 g である。

礫群 8 (図 215) H 0305 区、自然流路に面した傾斜面で 3 a 層で出土した。156 × 85 c m の範囲に広がる。南端に配石 75, 76 がある。構成礫数は 7 点で、砂岩が 86.7 %、あとは花崗岩である。赤化率 28.6 %、破砕率 42.9 %、割れ面赤化率 13.3 % である。総重量 9032 g、平均重量は 1290.3 g である。配石の占める割合が高いため、平均重量が高いが、配石を除くと総重量 855 g、平均重量は 171 g である。

礫群 14 (図 216) K 0615 区、微高地上で 3 a 層で出土した。205 × 90 c m の範囲に広がる。中央付近にやや礫がまとまる。構成礫数は 18 点、砂岩が 66.7 %、他はチャート、花崗岩、頁岩である。赤化率は 72.2 %、破砕率 77.8 %、割れ面赤化率 44.4 % である。総重量は 2557 g、平均重量は 142 g である。

礫群 15 (図 216) K 0615 区、微高地上で 3 a 層で出土した。85 × 79 c m の範囲に広がる。礫が集中することなく散在している。構成礫数は 10 点、砂岩が 90 %、あとは頁岩である。赤化率は 100 %、破砕率 90 %、割れ面赤化率 80 % である。総重量は 2329 g、平均重量は 232.9 g である。

礫群 16 (図 216) K 0615 区、微高地上で 3 a 層で出土した。95 × 60 c m の範囲に広がる。礫が集中することなく散在している。構成礫数は 8 点、すべて砂岩である。赤化率は 87.5 %、破砕率 87.5 %、割

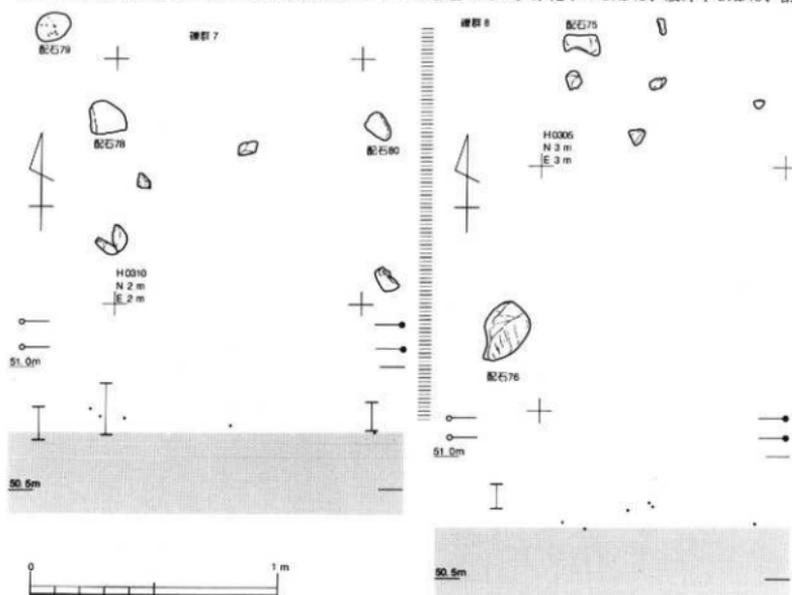


図 215 礫群 7、8 礫分布図 (1/20)

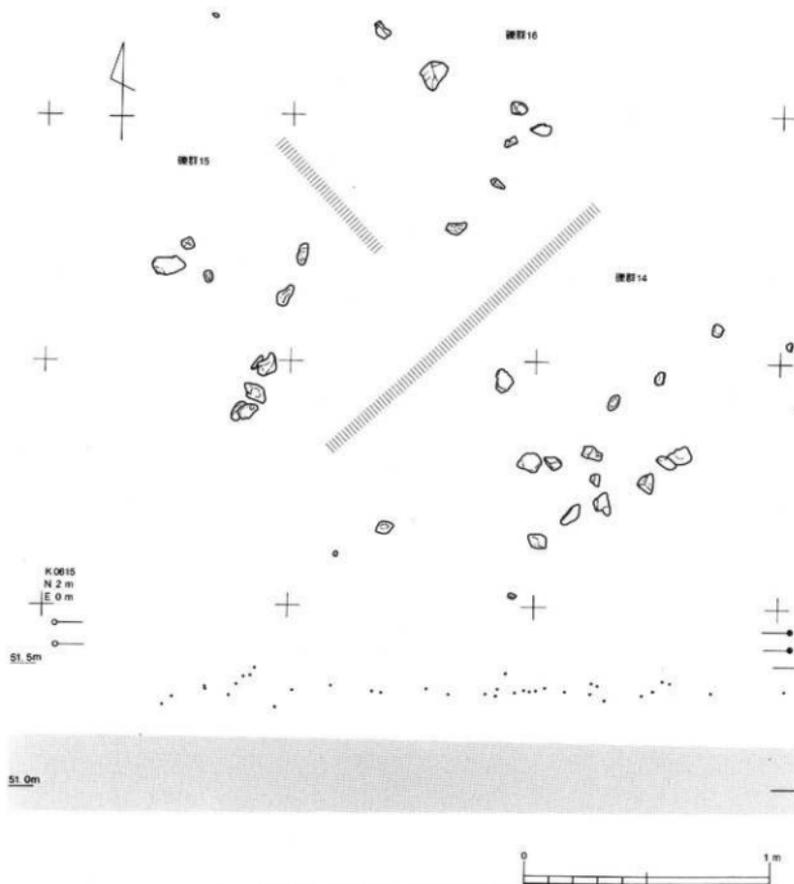


図 216 礫群 14～16 礫分布図 (1/20)

れ面赤化率 87.5%である。総重量は 1132 g、平均重量は 141.5 gである。

礫群 24 (図 217) H 0422区、谷に向かう緩斜面、流路の底付近で 3 b層から出土した。370×290 cmの範囲に広がる。中央付近に礫がまとまり、その周辺の礫が散在している。構成礫数は 61点、砂岩が 90.2%、あとはチャートである。赤化率 75.4%、破砕率 82%、割れ面赤化率 44.3%である。総重量 8843 g、平均重量は 145 gである。

2 配石

配石 78 (図 215) H 0310区、自然流路に面した傾斜面で 3 a層で出土した。礫群 7に含まれている。細長い円礫で直立して出土した。4307 gの砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 79 (図 215) H 0310区、自然流路に面した傾斜面で 3 a層で出土した。礫群 7の北端に含まれている。2518 gの砂岩の完形礫で赤化していない。

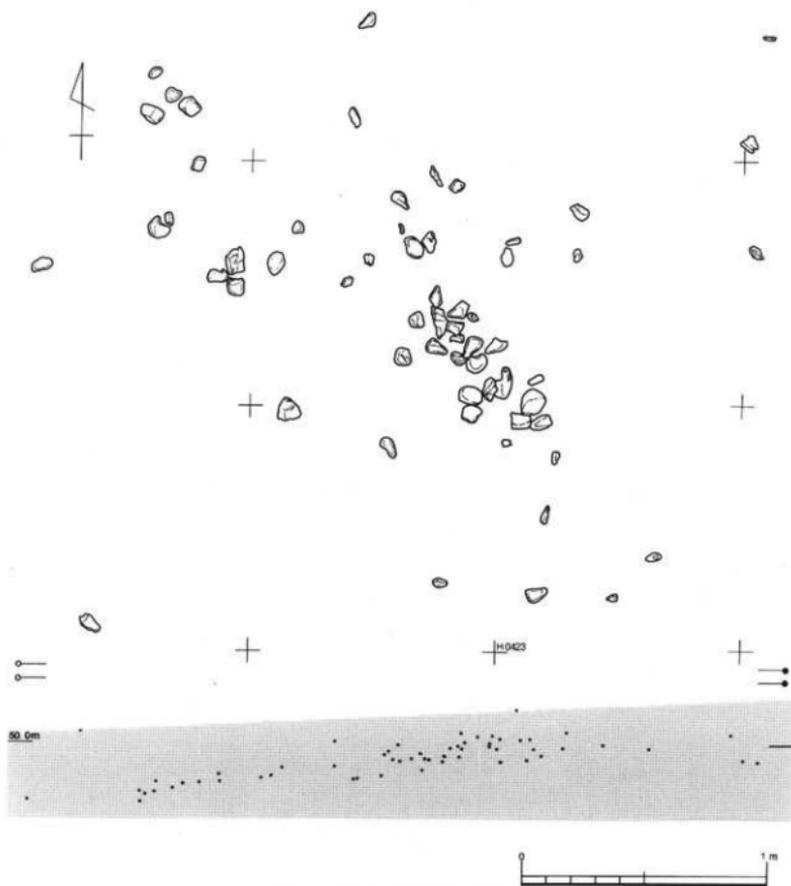


図 217 礫群 24 礫分布図 (1/20)

表 30 エリア 2 礫群属性表

標群No	石材										小計	赤 色				割 れ				割 差				総重量 (g)	平均 (g)
	Sa	Ch	Gr	Sc	An	Ba	Sh	Rh	Tu	○		○	△	×	○	○	△	×	○	○	△	×			
7	点數	7	0	1	0	0	0	0	0	0	8	0	0	2	6	0	6	0	2	0	0	2	6	9880	1235
	割合(%)	88	0	13	0	0	0	0	0	100	0	0	25	75	0	75	0	25	0	0	25	75			
8	点數	6	0	1	0	0	0	0	0	7	1	1	0	5	0	2	1	4	0	1	0	6	9032	1290	
	割合(%)	86	0	14	0	0	0	0	0	100	14	14	0	71	0	29	14	57	0	14	0	86			
14	点數	12	3	1	0	0	0	2	0	0	18	0	5	8	5	0	14	0	4	0	2	6	10	2557	142.1
	割合(%)	67	17	5.6	0	0	0	11	0	100	0	28	44	28	0	78	0	22	0	11	33	56			
15	点數	9	0	0	0	0	0	1	0	0	10	2	8	0	0	0	9	0	1	0	5	3	2	2329	232.9
	割合(%)	90	0	0	0	0	0	10	0	100	20	80	0	0	0	0	90	0	10	0	50	30	20		
16	点數	8	0	0	0	0	0	0	0	8	0	4	3	1	0	7	0	1	1	3	3	1	1132	141.5	
	割合(%)	100	0	0	0	0	0	0	0	100	0	50	38	13	0	88	0	13	13	38	38	13			
24	点數	55	6	0	0	0	0	0	0	61	23	11	12	15	0	44	6	11	5	12	10	34	8843	145	
	割合(%)	90	9.8	0	0	0	0	0	0	100	38	18	20	25	0	72	9.8	18	8.2	20	16	56			

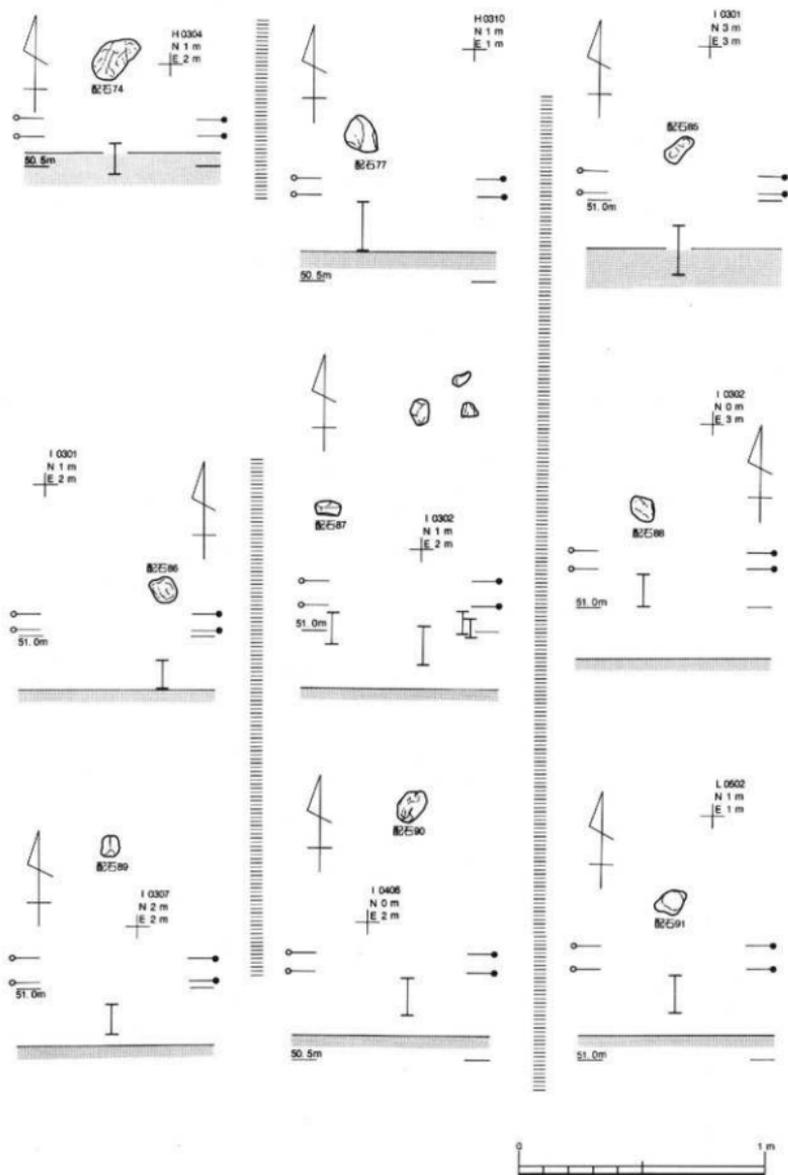


図218 配石実測図10 (1/20)

配石 80 (図 215) H 0310 区、自然流路に面した傾斜面で 3 a 層で出土した。礫群 7 の南端に含まれている。1728 g の花崗岩の円礫で割れているが、これに接合する礫はない。

配石 75 (図 215) H 0305 区、自然流路に面した傾斜面で 3 a 層で出土した。礫群 8 の北側に含まれる。4982 g の花崗岩の完形礫で赤化していない。

配石 76 (図 215) H 0305 区、自然流路に面した傾斜面で 3 a 層で出土した。礫群 8 の南端に含まれる。3195 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 74 (図 218) H 0304 区、自然流路に向かう緩斜面で 3 b 層で出土した。2848 g の砂岩の完形礫で赤化していない。一番近い礫群 7、8 まで 5 m あり、やや孤立した感じの出土状況である。

配石 77 (図 218) H 0310 区、このエリアで一番南側で出土した。出土層は自然流路に向かう緩斜面で 3 b 層である。4118 g のチャートの完形礫で赤化していない。細長い円礫で立って出土した。

配石 85 (図 218) I 0301 区、自然流路に向かう緩斜面で 3 a 層から出土した。ブロック 1 の中にある。1667 g の砂岩の完形礫で赤化していない。細長い円礫で立って出土した。

配石 86 (図 218) I 0301 区、自然流路に向かう緩斜面で 3 a 層から出土した。ブロック 1 に近接する。4185 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

配石 87 (図 218) I 0302 区、自然流路に向かう緩斜面で 3 a 層から出土した。北東側に礫 3 点を伴っている。1316 g の砂岩の完形礫で赤化していない。細長い礫で立って出土している。

配石 88 (図 218) I 0307 区、自然流路に向かう緩斜面で 3 a 層から出土した。1250 g の頁岩の完形礫で赤化していない。周囲には配石 89 があるだけで孤立した出土状態である。

配石 89 (図 218) I 0307 区、自然流路に向かう緩斜面で 3 a 層から出土した。周囲には配石 88 があるだけで孤立した出土状態である。1468 g のチャートの完形礫で赤化していない。

配石 90 (図 218) I 0406 区、自然流路に向かう緩斜面で 3 a 層から出土した。南側に近接してブロック 2 がある。2167 g のチャートの完形礫で赤化していない。

配石 91 (図 218) L 0502 区、微高地上で 3 a 層から出土した。周囲には遺物がなく、一番近い礫群 14 まで 16 m ある。孤立した出土状態である。2782 g の砂岩の完形礫で赤化していない。

3 出土石器

1) ブロック 1 (図 219)

I 0302 区付近で検出した。出土したのは自然流路を望む微高地の西端で、出土層は 3 a ~ 3 b 層である。116 × 106 cm の範囲に散在している。シルト岩を主体としている。石核と剥片からなる。個別別資料の搬入状況は次の通りである。8 個体識別した。黒曜石は 1 個体で単独個体である。砂岩は 1 個体で、単独個体で、台石での搬入である。シルト岩は 4 個体搬入している。うち 1 個体が単独個体である。凝灰岩は 2 個体でいづれも単独個体である。

石核 (図 220-1、2)

1 はシルト岩の円礫を素材として、上面の調整打面から幅広の剥片をとっている。作業面は正面の 1 面である。作業面裏側には円礫の自然面が残っている。2 は剥片素材と思われる。作業面は両面で、側面に残る平坦面を打面として不定形剥片をとっている。正面と裏面では打撃の方向が 90 度違っている。

台石 (図 220-3)

砂岩の直方体に近い形の円礫を使用している。両面に敲打によるくぼみがある。くぼみは実測図左の面が顕著である。

2) ブロック 2 (図 219)

I 0411 区、自然流路を望む緩斜面で、3 a 層で出土した。44 × 26 cm の狭い範囲に集まっている。剥片と砕片からなるブロックである。シルト岩を主体とする。個別別資料の搬入状況は次の通りである。

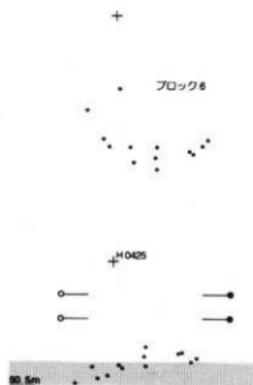
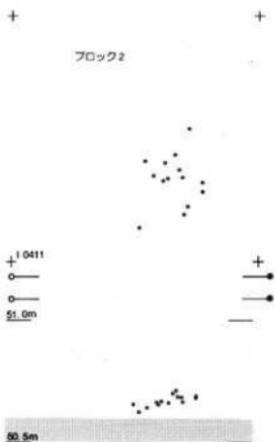
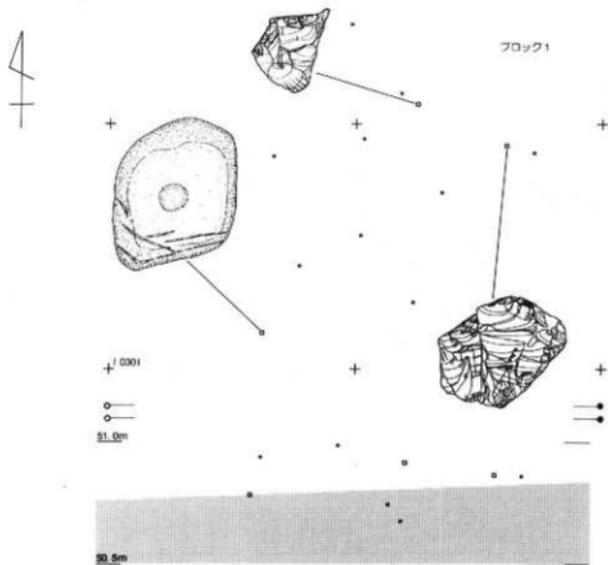


図 219 ブロック1、2、6 石器分布図 (1/80)

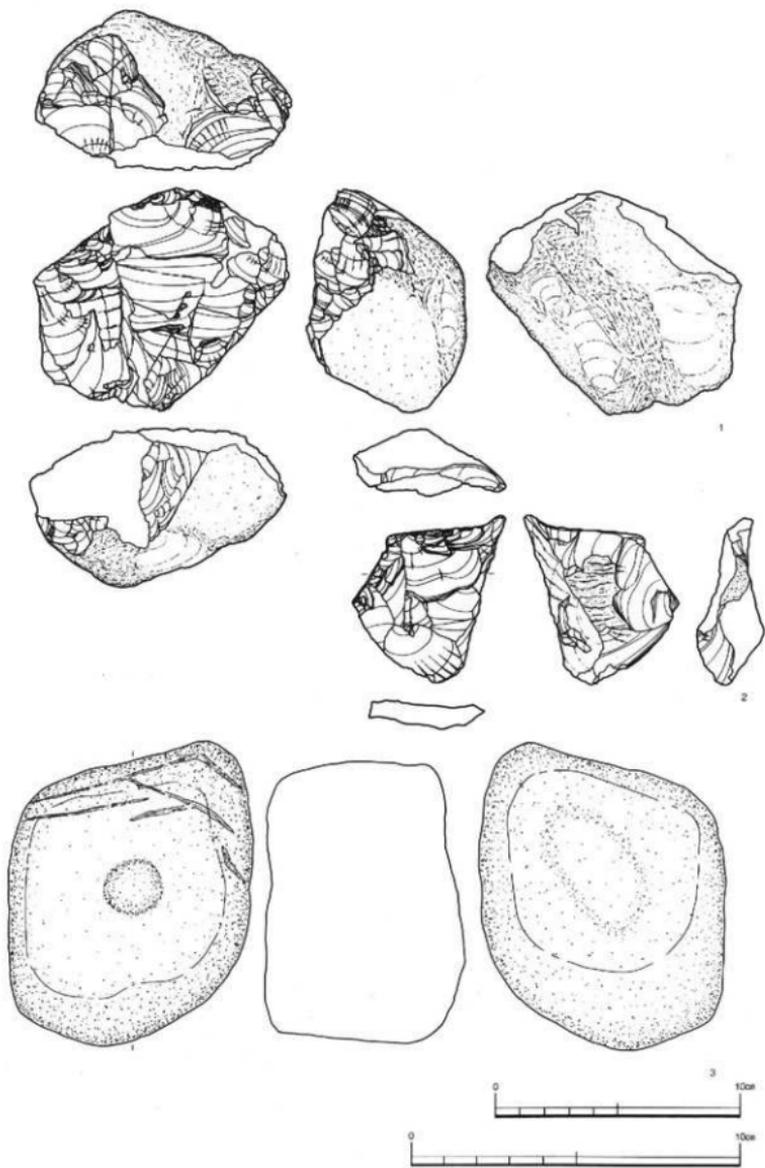


図220 ブロック1出土石器 (2/3、3は1/2)

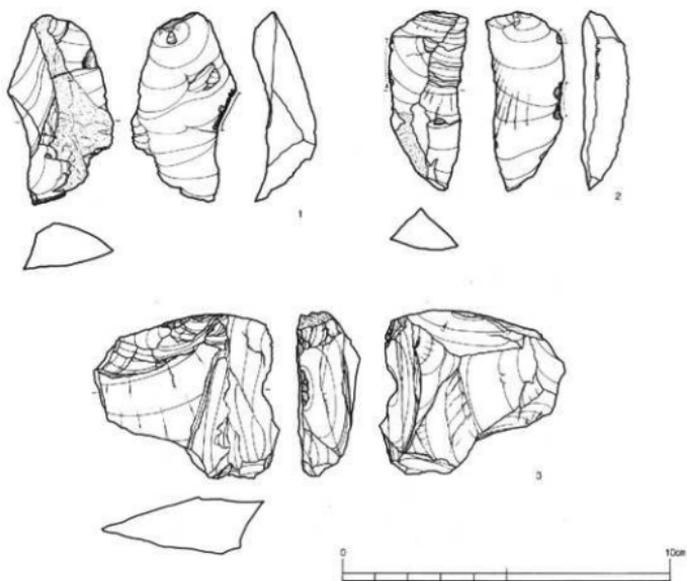


図221 エリア2ブロック外出土石器1 (2/3)

4個体識別した。すべてシルト岩で、うち2個体が単独個体である。

3) ブロック6 (図219)

H 0425区、自然流路を望む緩斜面で、3 a層～3 b層で出土した。54×35 cmの範囲にまとまっている。剥片と砕片からなるブロックである。個別資料の搬入状況は次の通りである。8個体識別した。黒曜石は1個体で、単独個体である。シルト岩は5個体で、すべて単独個体で、そのうち1個体は完成品での搬入である。凝灰岩は2個体で、いずれも単独個体である。

4) ブロック外出土石器

加工痕のある剥片 (図221-1)

1はK 0618区、3 a層出土である。シルト岩の縦長剥片の正面左側縁に大きさのそろわない剥離が連続してある。

使用痕のある剥片 (図222-2)

2はJ 0704区、3 a層出土である。シルト岩の縦長剥片の両側縁に不連続の剥離がある。

石核 (図221-3、図222)

図221-3はI 0406区、3 a層出土である。シルト岩の剥片を素材としている。作業面は素材の側面に1面あり、横長剥片をとっている。

図222-1はシルト岩の円礫を素材としている。作業面は正面以外に上面と下面でも目的剥片をとっているかもしれない。剥離している剥片は不定形である。図222-2はシルト岩製で、2枚の剥離からなる上設打面から不定形の剥片をとっている。作業面は正面のみである。3はシルト岩製で、上設の調整打面から縦長剥片をとっている。作業面は石核の全周を巡り、下面でも剥片をとっている。

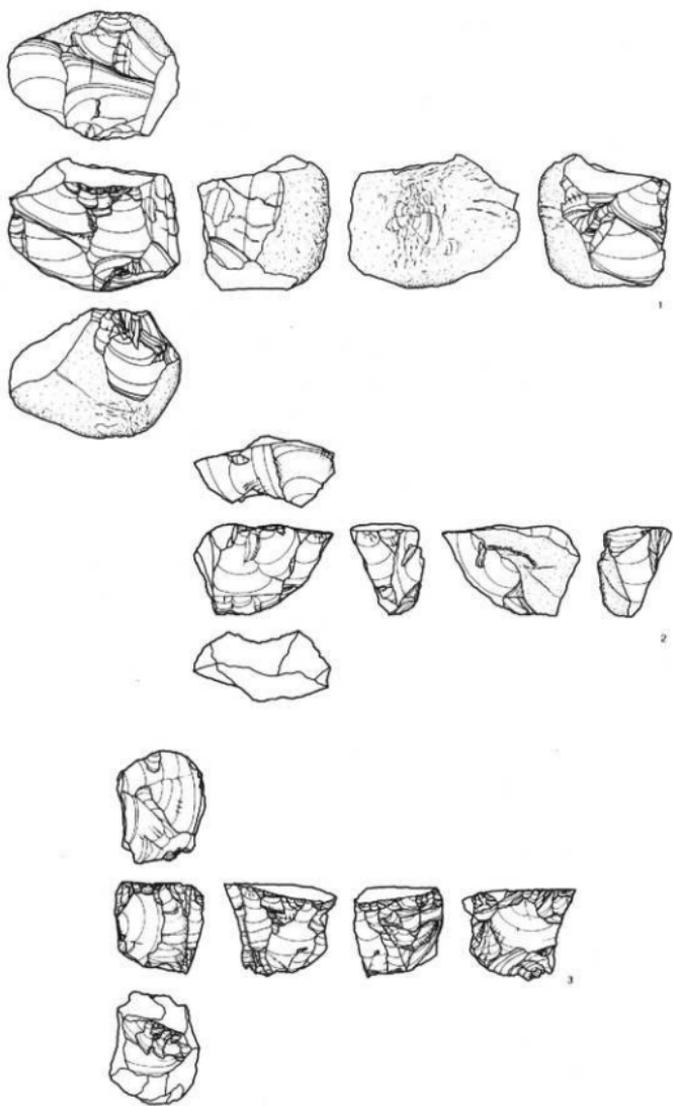


図222 エリア2ブロック外出土石器2 (2/3)

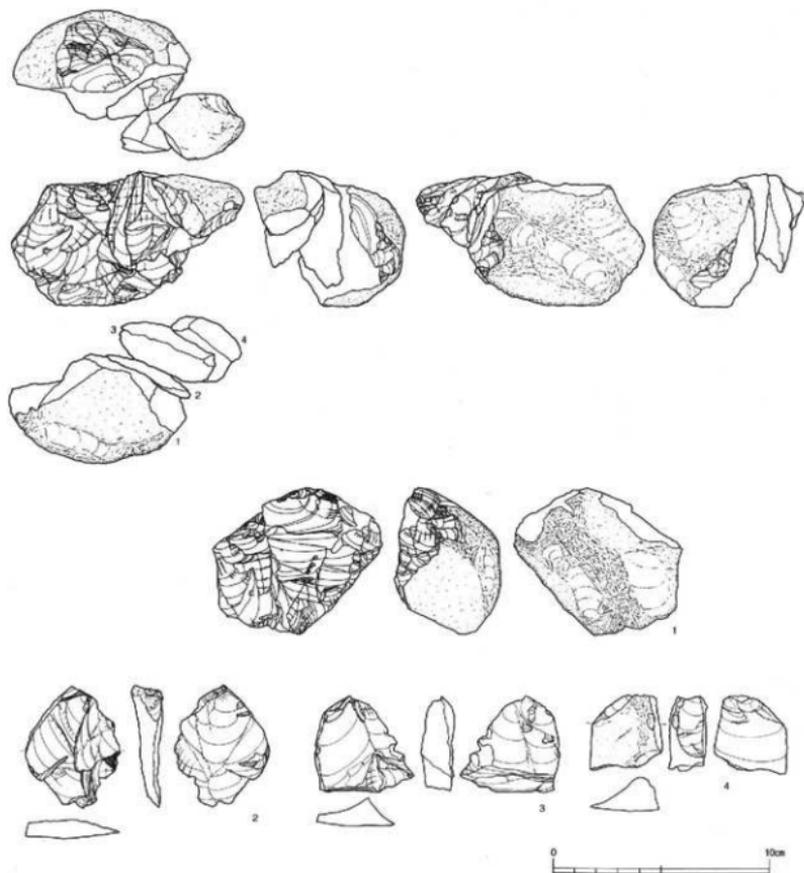


図223 エリア2出土接合資料1 (1/3)

6 石器の接合状況

このエリアでは石器の出土点数が少なく、接合資料は図223に示した資料だけである。これはブロック1で出土した接合資料である。石核1点(図220-1)と剥片3点の接合である。剥片は石核の作業面に重なるように接合しており、4、3、2の順に剥離したことがわかる。ただし、剥片2と3の間に剥片1枚分の隙間があることから、この1枚を含めて連続して剥片をとっている。打面は剥片2~4を剥離する際に左右に移動している。また、剥片2~4では打面の高さが違っていることから、剥片を1枚とるごとに打面を再生していたことがうかがえる。

7 個別別資料の分布状況

個別別資料の分布は、主要個体はすべてブロックに集中しており、ブロック1、2、6の間で共有する個体が複数あることから、これらのブロックがほぼ同時期に存在したことを示している(表32)。

表 31 エリア2ブロック別石器組成表

ブロック1

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Sa																	1	1
Sil									2	7								9
Ob										1								1
Tu										2								2
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0	1	13

ブロック2

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Sil										7	4							11
Ob										2								2
Tu										1								1
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	4	0	0	0	0	0	0	14

ブロック6

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Sil									1	4	6							11
Tu										2	1							3
Ob										1								1
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	7	0	0	0	0	0	0	15

表 32 エリア2個別別石器組成表

ブロック1

個体/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計	分布
Ob014									1									1	ブロック1
Sa016																		1	ブロック1
Sil-S093								2	3									5	ブロック1, 2
Sil-S090								1	1									2	ブロック1, 6
Sil-S091									1									1	ブロック1, 6, 2
Sil-S092									2									2	ブロック1
Tu007									1									1	ブロック1
Tu010									1									1	ブロック1
合計	0	0	0	0	0	0	0	3	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13

ブロック2

個体/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計	分布
Sil-S045									1									1	ブロック2
Sil-S046									1									1	ブロック2
Sil-S093									1									1	ブロック1, 2
Sil-S091										1								1	ブロック1, 2, 6
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	

ブロック6

個体/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計	分布
Ob013									1									1	ブロック6
Sil-S040									1									1	ブロック6
Sil-S089									1									1	ブロック6
Sil-S090									1									1	ブロック1, 6
Sil-S091									1									1	ブロック1, 6, 2
Sil-S068									1									1	ブロック6
Tu008									1									1	ブロック6
Tu009									1									1	ブロック6
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	8	

第3節 エリア3の遺構と遺物

エリア3は高見丘IV遺跡で一番西にあるエリアである。調査区の設定に先立って、周辺での土層残存状況を確認した際、現在の水路に沿って、南北方向に深さ数mに及ぶ埋没谷があることを確認した。谷は黒ボクで埋まっているようである。このエリアは、ここでは高見丘IV遺跡としているが、エリア1、2とは、この埋没谷をはさんで別の微高地上にあり、このエリアだけが広野北遺跡と同じ微高地上にある。したがって、このエリアは別の遺跡として考えた方が良いかもしれない。

このエリアは緊急で行った調査で、調査範囲が狭かったため、エリアの本来の広がりには明らかでない。このエリアの東側には、埋没谷があることから、調査した部分はこの谷を望む微高地上で、エリアの東端はこの谷で切れるであろう。反対にエリアの西端は調査区外の状況がわからないため、明らかでない。台地西側の断崖までは100m程あり、そこまで遺跡が続いている可能性はある。また、微高地は南北方向にも続いているが、調査範囲外のため、エリアの広がりはいくつかわからない。この調査区は遺構、遺物の分布密度は高く、礫群3基、配石6基、ブロック1基を検出している。

1 礫群

礫群17 (図225) A 0708区で検出した。微高地上で3 a層からの出土である。礫群18に隣接している。223×83 cmの範囲に広がる。北側に礫がまとまり、そこから南東方向に礫が散在している。東端に配石5がある。構成礫数は44点、砂岩が93.2%で、あとはチャートと頁岩である。赤化率84.1%、破砕率81.8%、割れ面赤化率54.5%である。総重量は12045 g、平均重量は281.9 gである。

礫群18 (図225) A 0708区、微高地上で3 a層からの出土である。礫群17に隣接している。120×120 cmの範囲に広がっている。礫は密集している。中央に丸い空間があり、礫はその周りに密集している。構成礫数は77点、砂岩が74%で、他はチャートと頁岩である。赤化率96.1%、破砕率89.6%、割れ面赤化率64.9%である。総重量は11674 g、平均重量151.61 gである。この礫群は、礫の密度、赤化率、破砕率、割れ面赤化率などの点で、高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡で出土した礫群の中でも良好な密集型の礫群であるため、調査後、出土状態を復元し、保存・強化処理をして研究、見学の便に供している。

礫群19 (図225) A 0712区、微高地上で3 a層から出土している。83×57の範囲に広がる。礫は散在している。構成礫数は11点、砂岩が90.9%で、あとはチャートである。赤化率63.6%、破砕率100%、割れ面赤化率36.4%である。総重量789 g、平均重量71.7 gで、軽い礫が主体である。

2 配石

配石5 (図225) A 0708区、微高地上で3 a層から出土した。礫群17の東端に含まれる。5660 gの砂岩の完形礫で赤化していない。

配石2 (図226) A 0708区、微高地上で3 b層から出土した。やや細長い礫で立った状態で出土した。3308 gの砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石3 (図226) A 0708区、微高地上で3 b層から出土した。3485 gの砂岩の礫で、割れているが、これに接合する礫はない。細長い円礫で、横に寝た状態で出土した。表面、割れ面ともに赤化していない。

表33 エリア3礫群属性表

検出地	石種	Sa	Ch	Gr	Sc	An	Ba	Sh	Rn	Tu	小計	赤化			割れ			総重量 (g)	平均 (g)						
												○	△	×	○	△	×								
17	点数	41	2	0	0	0	0	1	0	0	44	3	28	6	7	0	35	1	8	1	14	9	20	12405	281.9
	割合(%)	93.46	0	0	0	0	0	2.3	0	0	100	6.8	64	14	16	0	80	2.3	18	2.3	32	20	45		
18	点数	57	6	0	0	0	0	14	0	0	77	22	48	4	3	0	68	1	8	6	27	17	27	11674	151.6
	割合(%)	74	7.8	0	0	0	0	18	0	0	100	29	62	5.2	3.9	0	88	1.3	10	7.8	35	22	35		
19	点数	10	1	0	0	0	0	0	0	0	11	1	5	1	4	0	10	1	0	1	2	1	7	789	71.73
	割合(%)	91	9.1	0	0	0	0	0	0	0	100	9.1	45	9.1	36	0	91	9.1	0	9.1	18	9.1	6.4		

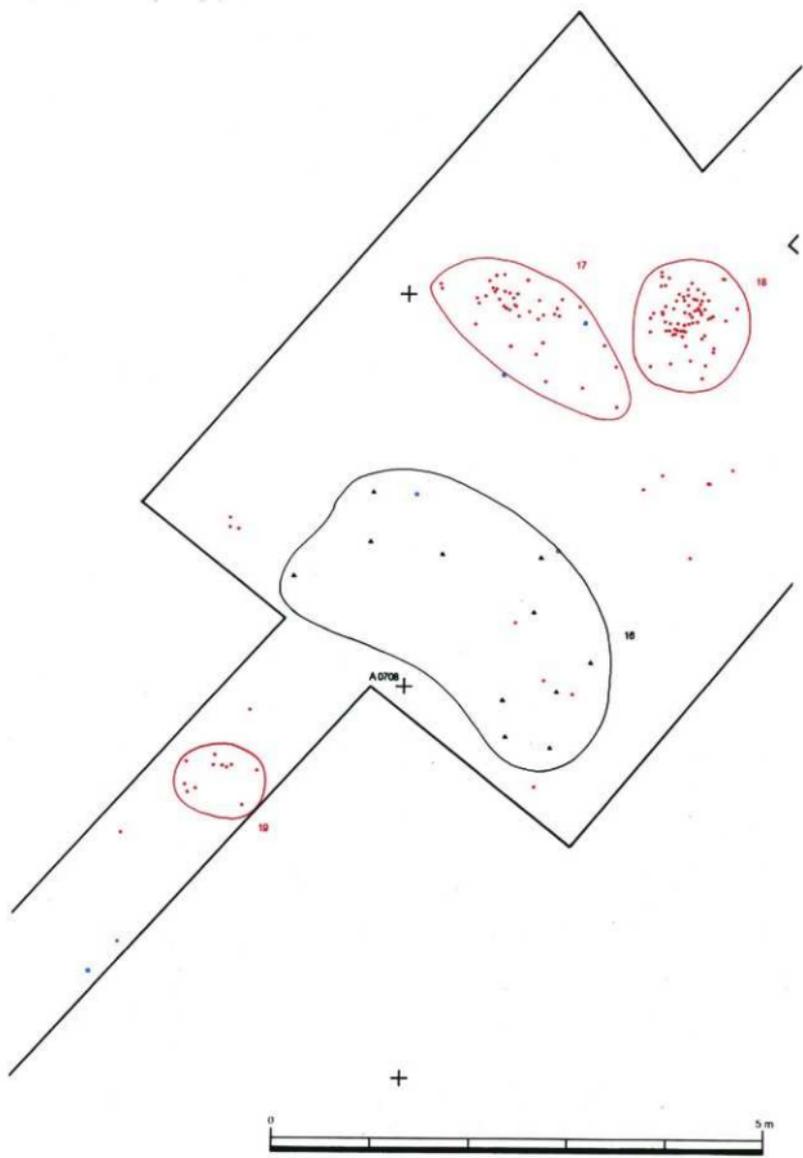


図 224 エリア 3 遺構、遺物分布図 (1/50)

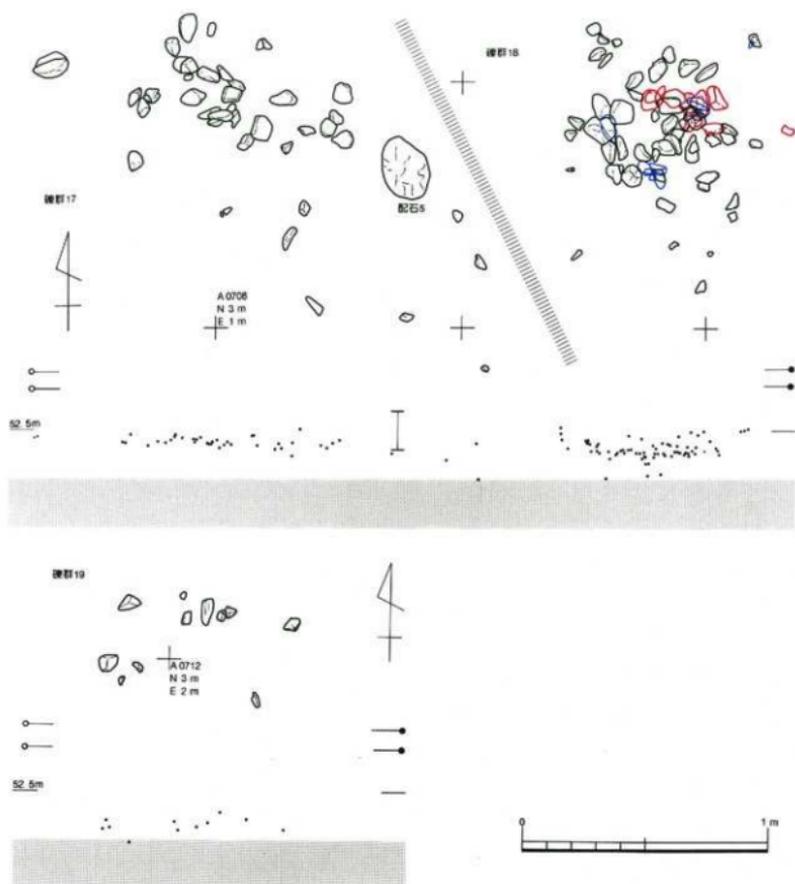


図225 礫群17～19礫分布図(1/20)

配石4 (図226) A 0708区、微高地上で3 b層から出土した。やや細長い礫で立った状態で出土した。1691 gの砂岩の完形礫で、赤化していない。

配石6 (図226) A 0712区、微高地上で3 b層から出土した。細長い礫で立った状態で出土した。1005 gの砂岩の円礫で、割れているがこれに接合する礫はない。表面、割れ面ともに赤化していない。

3 礫の接合状況

調査区が狭いため、接合関係も限られている。礫群17、18で礫群内接合と礫群外礫との接合が見られた(図227)。礫群17と18の間では接合はなかった。礫群外礫との接合は礫群17、18ともに南方向にある礫と接合している。また、礫群内、外ともに全体的に南、あるいは南東方向の接合が目立っている。礫群17、18の間で礫群間接合は見られない。礫群19は破砕率が100%であるにもかかわらず礫が接合しないという特異な状況を示している。

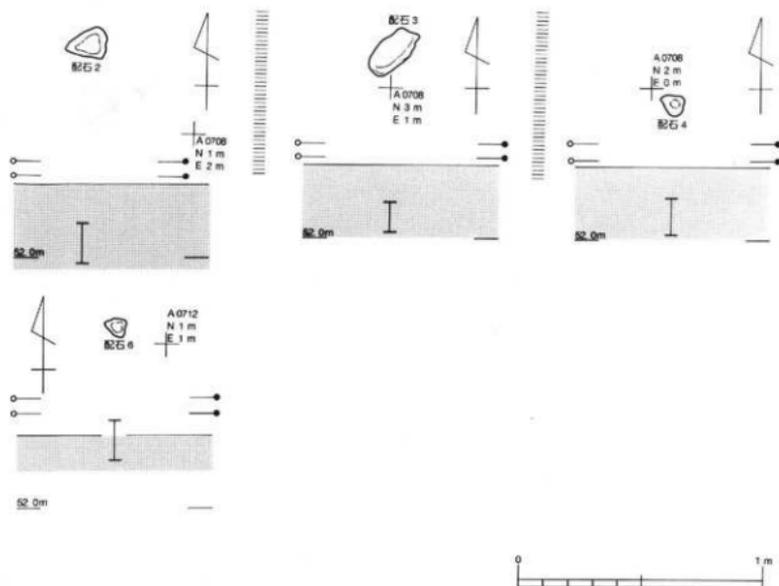


図 226 配石実測図 11 (1/20)

表 34 エリア 3 ブロック別石器組成表

ブロック 12

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
S i 1	1	1								6	1							9
S i 2										1								1
O b										1								1
合計	1	1	0	0	0	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0	10

表 35 エリア 3 個別別石器組成表

ブロック 12

個体/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布
Ob-012										1									1	ブロック12
S1-S085	1									3									4	ブロック12
S1-S086										2									2	ブロック12
S1-S087										1									1	ブロック12
S1-S088		1																	1	ブロック12
S2-S011										1									1	ブロック12
合計	1	1								8									10	

4 出土石器

1) ブロック 12 (図 228) A 0708 区、微高地上で 3 a 層で出土した。78 × 38 cm の範囲に石器が散在している。シルト岩を主体とする。個体別資料の搬入状況は次の通りである。5 個体識別した。黒曜石は 1 個体で単独個体である。シルト岩 1 は 4 個体で、うち 2 個体が単独個体で、そのうち 1 個体は完成品での搬入である。シルト岩 2 は 1 個体で、単独個体である。

ナイフ形石器 (図 229 - 1)

シルト岩の縦長剥片をの打面を上にして、正面右側縁を主剥離面側から加工して、刃部を左側にして

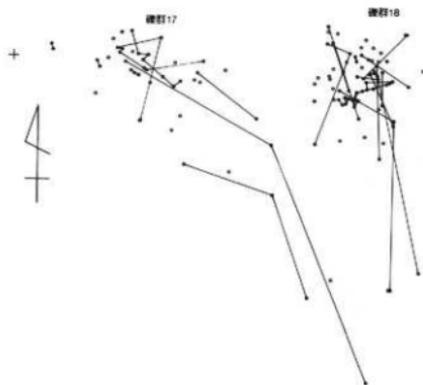


図227 A0708区付近礫接合状況(1/40)

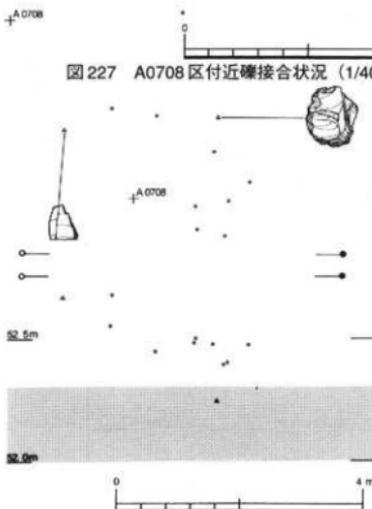


図228 ブロック12石器分布図(1/80)

ではS a 009とS i 068、S i 069の3個体に分けることができる。S a 009は細石核もブロック内に残っており、図231-25は図232-2の細石核の作業面に接合する。他の2個体は細石核が残っておらず、細石刃剥離後にブロック外に搬出していると思われる。

細石核(図232、233-1)

1は若干目の粗いシルト岩製で、船底形にしてあり、加工は甲板面から行っている。実測図の正面が

いる。上下を大きく欠損しているため、正面左側縁の下半を加工しているかどうかは不明である。

スクレイパー(図229-2)

シルト岩の幅広い剥片の縁辺の打面部以外を加工している。素材剥片の末端が刃部になっている。

剥片(図229-3)

シルト岩の大型の縦長剥片である。上面に平坦打面が残っている。剥片の下面には下面の作業面と思われる剥離が残っている。また、側面にも縦長剥片をとった跡があり、少なくとも4面の作業面を持った石核から剥離したと推定できる。また、上設打面と下設打面が残っていることから、この剥片をとった石核の正面作業面の大きさも推定できる。

第4節 細石器文化期の遺物

1) ブロック4(図230)

G 0518区、3 a層で検出した。一部の遺物は3 b層から出土している。シルト岩を主体とするブロックである。620×440cmの範囲に広がる。当初、エリア1の中に入れていたが、遺物を検討した結果、細石核と細石刃がこのブロックに集中していることから、細石器文化期のブロックと判断し、エリア1から独立させた。個別別資料の搬入状況は次の通りである。15個体識別した。砂岩は2個体で、うち1個体は単独個体で、石皿での搬入である。シルト岩1は13個体で、うち7個体は単独個体で、そのうち1個体が完成品での搬入である。

細石刃(図231)

すべて欠損品で、完形の資料はない。残存状況は次の通りである。打面側残存が13点、末端側3点、中間部11点である。末端側が残っている資料、すなわち、打面部を欠損した資料が少ない。個別別資料

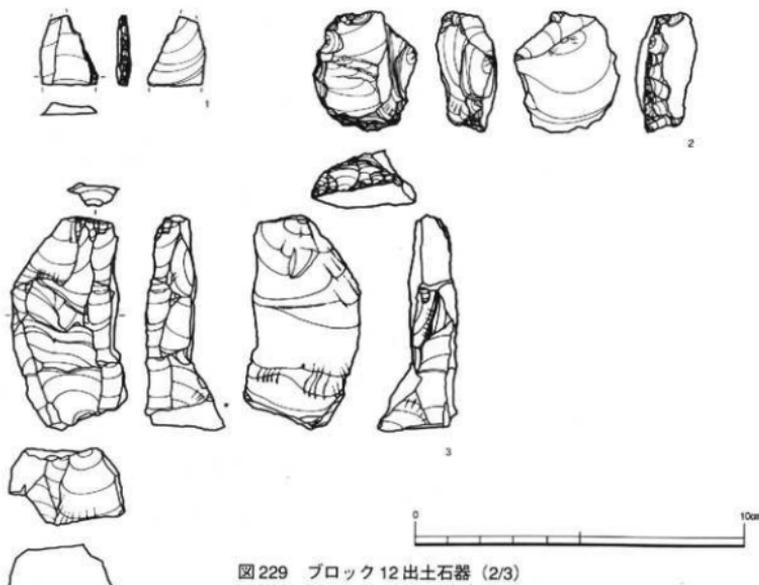


図229 ブロック12出土石器(2/3)

細石刃剥離の作業面になる。作業面に大きな剥離が入っているが、これは作業面調整であろう。船野型に分類できる。2は砂岩製で、細石刃の剥離が進んでいるが、本来は1、3と同じ船底形であったと思われる。3はシルト岩製で、船底形にしてあり、加工は甲板面から行っている。実測図の正面が細石刃剥離の作業面になると思われる。作業面に大きな剥離が入っているが、これは作業面調整であろう。円礫の自然面が残っている。船野型に分類できる。なお、1と3は甲板面で接合する。

図233-1はシルト岩製で、図231-1~3と全く同じ形態である。実測図正面が細石刃剥離の作業面になると思われるが、作業面の準備段階のようで、細石刃は剥離していない。船野型に分類できる。**使用痕のある剥片**(図232-2)

シルト岩の不定形剥片を使用しており、末端に不規則な剥離がある。

石核(図233-3)

シルト岩の剥片素材で、上面に残る平坦面を打面として、剥片の両面で不定形剥片をとっている。とっている剥片は小型で、石器の素材になるかどうか疑わしい。

石皿(図233-4)

砂岩の平たい円礫の一面がくぼんでいるため、石皿とした。敲打によるくぼみではなく、磨った跡のようである。あるいは自然石かもしれない。1/3程を欠損している。

接合資料2

図234は、細石核2点(図232-1、3)の接合である。船野型の細石核で、甲板面で接合している。2の石核に円礫の自然面が残っていることから、円礫を2つに分割して細石核を2つ作っていると考えられる。1つの個体から製作した2つの細石核は双子のように全く同じ形態である。

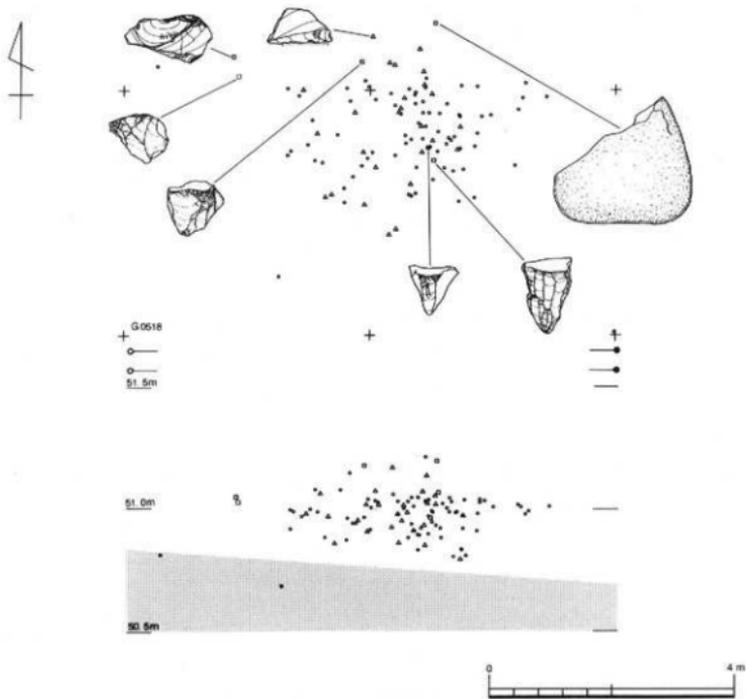


図230 ブロック4石器分布図 (1/80)

表36 ブロック4石器組成表
ブロック4

石材/器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AS	合計
Si1					3	23		3	1	34	25							89
Sa					3					3	12					1		19
Tu										1								1
合計	0	0	0	0	6	23	0	3	1	38	37	0	0	0	0	1	0	109

表37 ブロック4個別組成表

器種	器種	Kn	Sc	Po	Gr	MC	MB	RF	UF	Cr	Fl	Ch	PE	RM	GS	HS	QS	AX	AS	合計	分布
Sa009						1	3				3									7	ブロック4
Sa017																	1			1	ブロック4
Si1-S028										1										1	ブロック4
Si1-S029										1										1	ブロック4
Si1-S030										1										1	ブロック4
Si1-S036								1												1	ブロック4
Si1-S037										1										1	ブロック4
Si1-S038										1										1	ブロック4
Si1-S041										1										1	ブロック4
Si1-S052										1										1	ブロック4
Si1-S068						10														10	ブロック4
Si1-S069						13														13	ブロック4
Si1-S095										7										7	ブロック4
Si1-S096									2	1	1									4	ブロック4
Si1-S097						2				1	12									15	ブロック4
合計		0	0	0	0	3	26	0	3	2	27	3	0	0	0	0	1	0	0	65	



図 231 ブロック出土石器 1 (1/1)

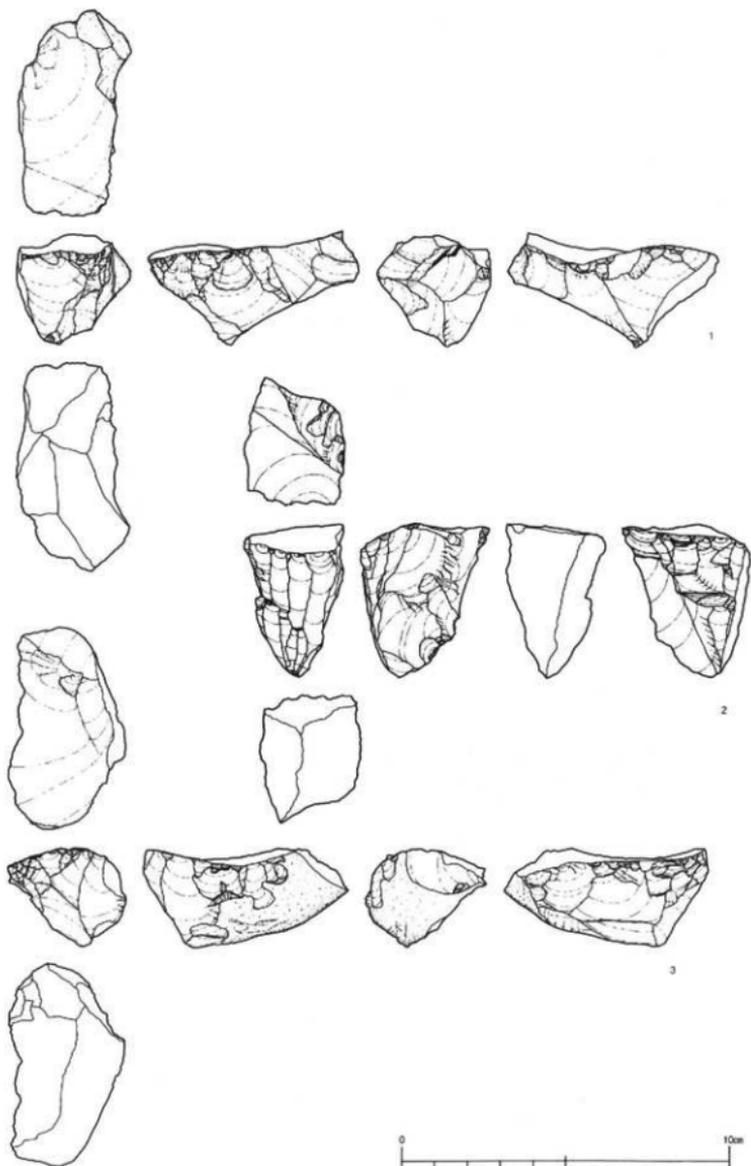


図 232 ブロック 4 出土石器 2 (2/3)

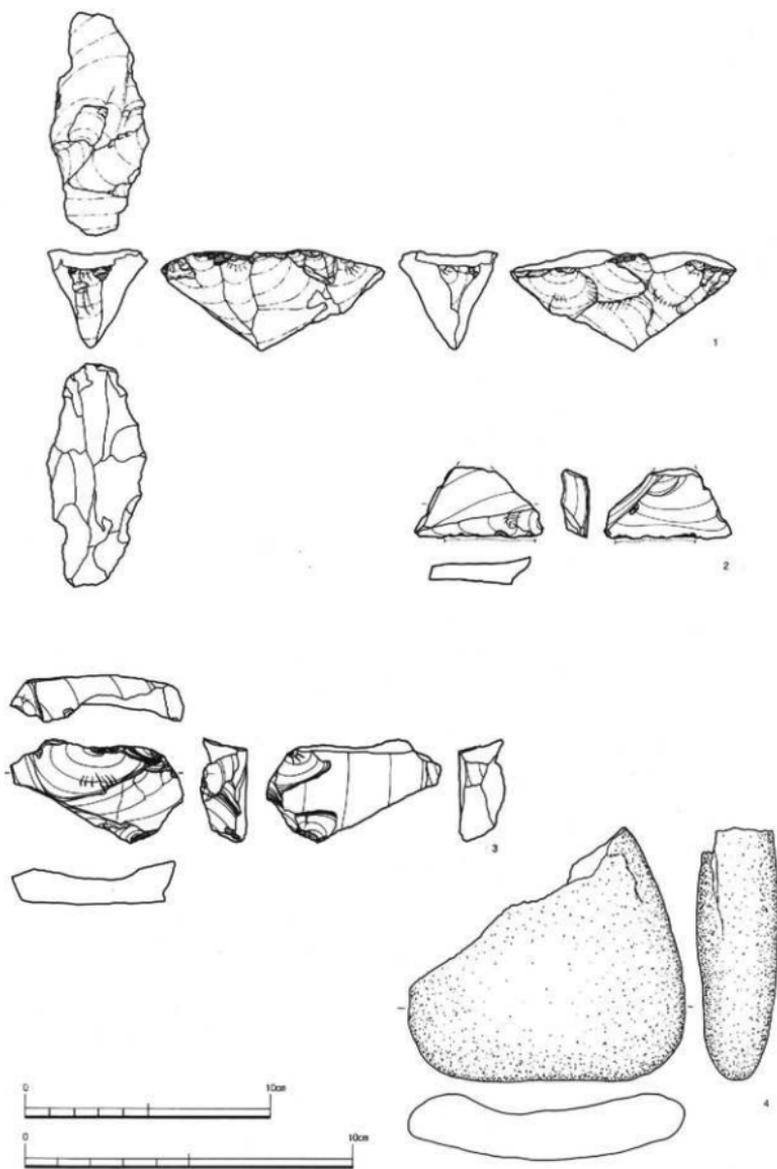


図 233 ブロック 4 出土石器 3 (2/3、4 は 1/2)

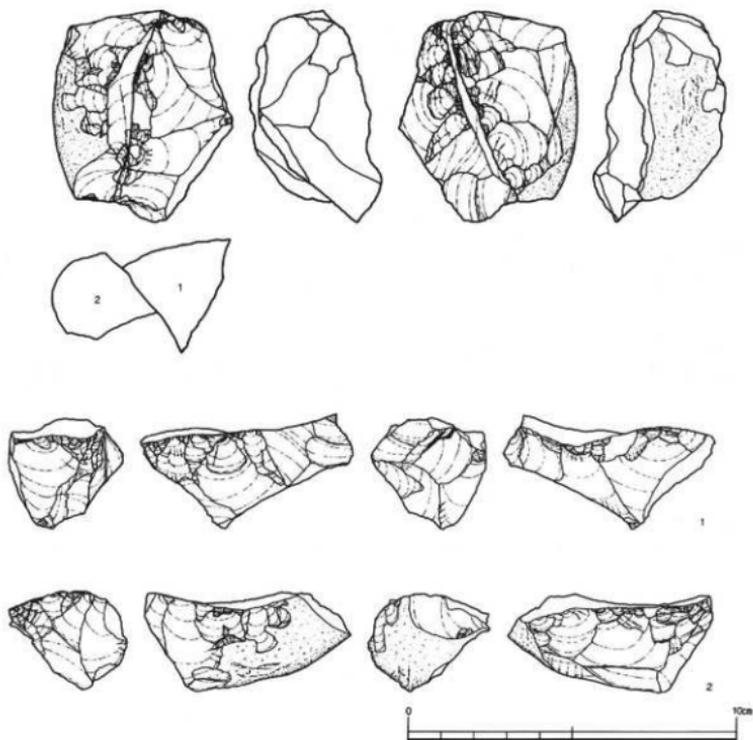


図 234 ブロック 4 出土接合資料 2 (2/3)

第Ⅷ章 縄文時代以降の調査

第1節 高見丘Ⅲ遺跡の縄文時代の調査

土坑

高見丘Ⅲ遺跡、I 17区、I 18区、J 17区、J 18区付近で、自然流路(図235)を検出した。自然流路は4本あり、うち、流路1と流路2は切り合っている。切り合い関係は流路1が流路2を切っている。流路1、2と流路3、流路4の新旧関係は不明である。これらの流路はJラインと18ラインの交点あたりで1本の流路に合流している。流路の埋土は黒ボクを中心としており(図239)、縄文時代に埋没したと考えられる。

流路3と流路4の合流地点、流路1、2の内部で、土坑11～16、焼土の分布域4カ所を検出した。土坑11～15は流路3と流路4の合流地点に密集している。また、土坑11～15の周辺には焦土が分布している。

土坑11(図236)

平面形は円形、直径110cm、深さ20cmである。埋土は自然堆積で、土坑内から自然礫が2点出土している。

土坑12(図236)

平面形は円形、直径110cm、深さ30cmである。土坑13に切られている。埋土は自然堆積で、遺物は出土していない。

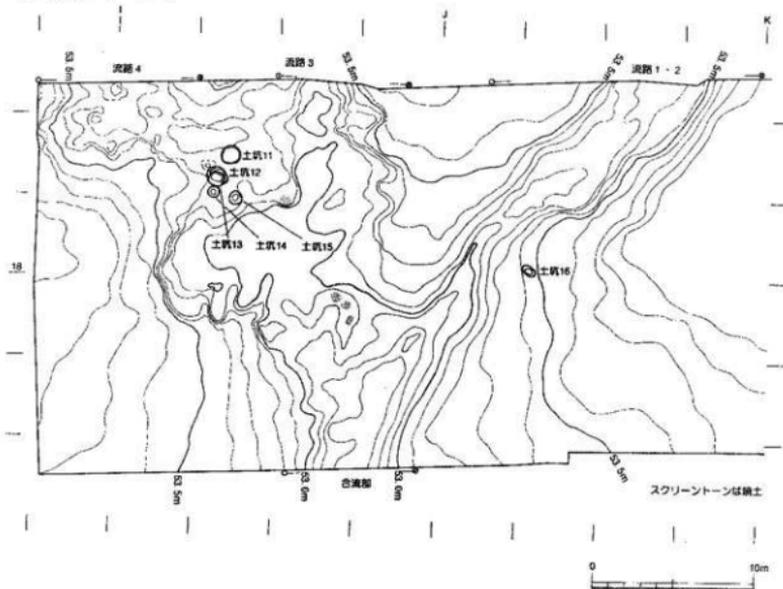


図235 土坑11～16分布及び流路内地形図(1/200)

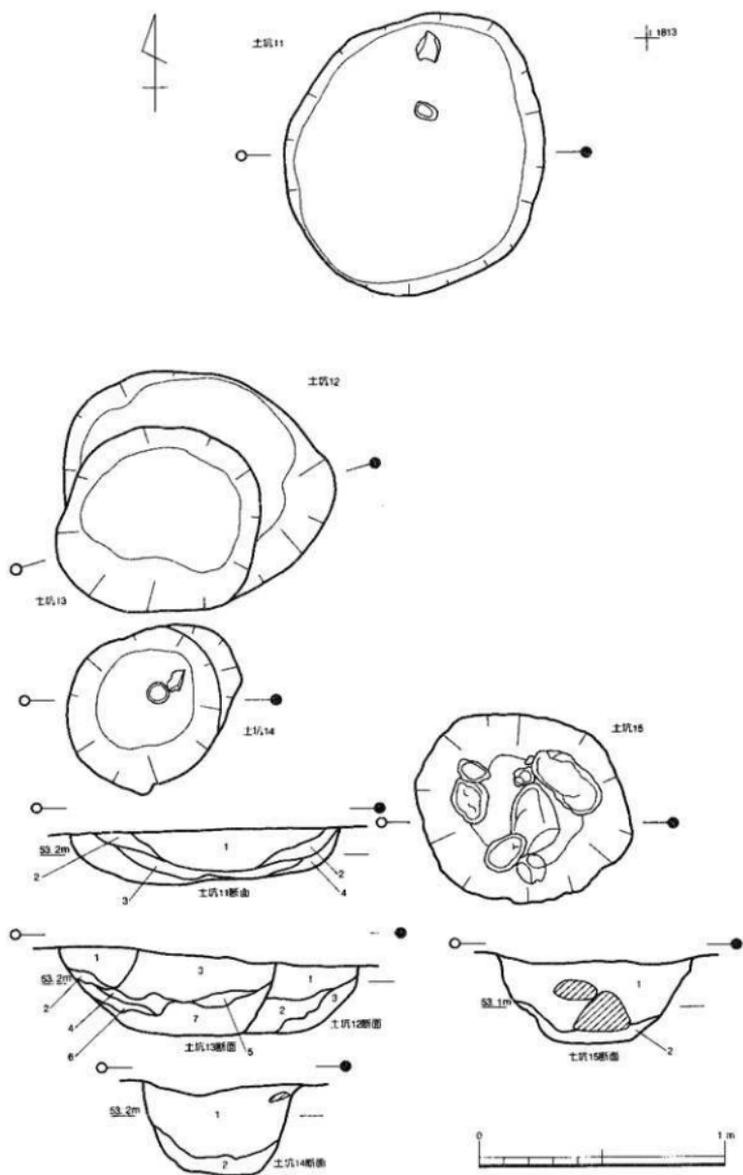


图 236 土坑 11 ~ 15 平·断面图 (1/20)



土坑11埋土

- 1層 黒色土 (5mm位の黄灰色土のブロック多)
- 2層 黒色土 (しまり段、均質)
- 3層 黒色土 (5mm位の黄灰色土のブロックに流れ込んだ方向性有)
- 4層 黒色土 (5mm位の黄灰色土のブロック多)

土坑12埋土

- 1層 黒色土 (2~3mmの黄灰色土のブロック、種砂多)
- 2層 黒色土 (2~3mmの黄灰色土、黄灰色土のブロック多)
- 3層 黄褐色土 (2~3mmの黄灰色土、1cm位の淡黄灰色土のブロック多)

土坑13埋土

- 1層 黄褐色土 (黄灰色土のブロック、黄褐色種砂質土のブロック多)
- 2層 黒色土 (しまり段)
- 3層 黄褐色土 (1cm以下の黄灰色土、黒色土、黄褐色土のブロック多)
- 4層 黄褐色土 (黄灰色土のブロック、黄褐色土のブロック多)
- 5層 黒色土 (しまり段)
- 6層 黒色土 (均質)
- 7層 黒色土 (黄灰色土、黄褐色土のブロック多)

土坑14埋土

- 1層 黒色土 (黄灰色土、黄褐色種砂質土のブロック多、しまり段)
- 2層 黄褐色土 (黄灰色土のブロック多、黄褐色土のブロック多)

土坑15埋土

- 1層 黒色土 (黄灰色土のブロック多、しまり段)
- 2層 黄褐色土 (灰色土のブロック多)

土坑16埋土

- 1層 黒色土 (均質、しまり段)

図 237 土坑 16 平・断面図 (1/20)

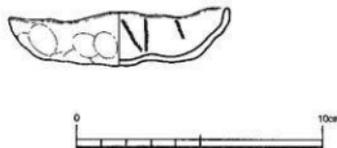
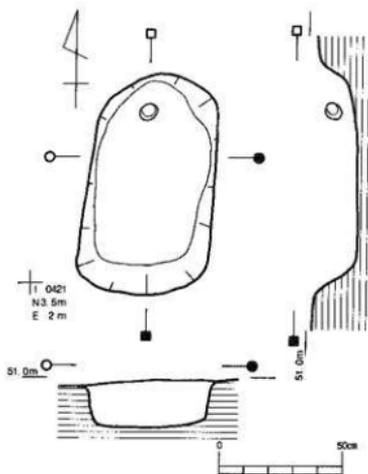
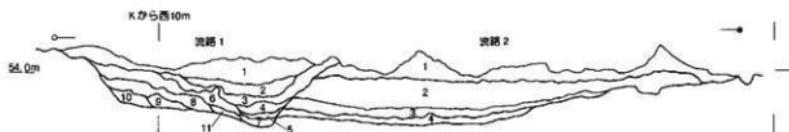


図 238 土坑 4 平・断面図及び出土遺物 (1/20、遺物は 1/2)



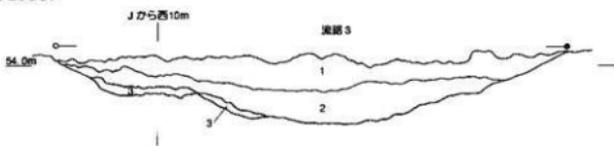
流路1

- 1層 黒褐色土(しまり悪い)
- 2層 暗茶褐色土
(黒色土、暗黄灰色土のブロック多)
- 3層 茶褐色粘砂質土
(黒色土、黄灰色土のブロック多)
- 4層 暗黄灰色土>茶褐色土>黒色土
>明黄灰色土の混層
- 5層 暗黄灰色粘砂質土
(軟分に混った赤黄灰色土のブロック多)

- 6層 黄灰色土
(黄灰色土のブロック多、しまり良)
- 7層 黄灰色粘砂質土(軟分多)
- 8層 茶褐色土
(黄灰色土の小ブロック多)
- 9層 黄灰色土>黒灰色土の混層
(白色粘子多)
- 10層 黒灰色土>黄灰色土の混層
- 11層 明黄灰色土(白色粘子、しまり良)

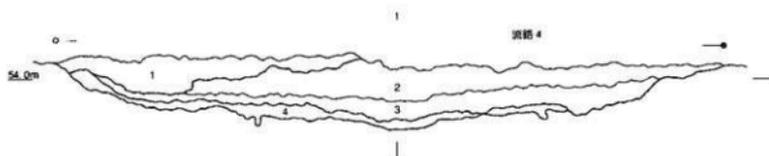
流路2

- 1層 黒色土(しまり悪い)
- 2層 黒褐色粘砂質土
(黄灰色粘砂質土のブロック多)
- 3層 黒色粘砂質土
(下層は黒灰色土に漸移)
- 4層 オリーブ灰色粘砂質土
(下層は粗砂質に漸移)



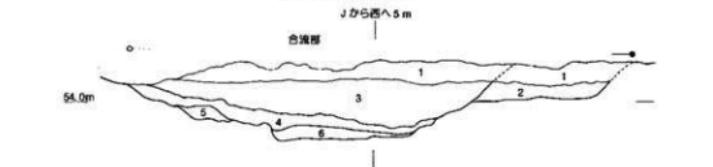
流路3

- 1層 黒色土(粘質)
- 2層 黒色粘砂質土
(下層は粘粘土質に漸移)
- 3層 暗褐色土(黄灰色土のブロック少)



流路4

- 1層 黒色土(黄灰色土のブロック多)
- 2層 黒色土(粘質)
- 3層 暗黄褐色土(粘砂少)
- 4層 暗黄灰色粘砂質土
(上層に黒色土のブロック多、
下層に暗黄灰色土のブロック多)
- 5層 黒色粘砂質土
(粘砂少、黄灰色土のブロック多)



合流部

- 1層 黒色土
- 2層 暗褐色土(赤みあり、しまり悪い)
- 3層 黒色土
(黄白色粘土のブロック、塊土粘質)
- 4層 黄灰色土(赤みあり)
- 5層 暗黄灰色土(塊土粘質)
- 6層 暗黄灰色粘砂質土



図239 流路断面図 (1/80)

土坑 13 (図 236)

平面形はゆがんだ円形で、直径 75 cm、深さ 30 cm である。土坑 12 を切っている。埋土は自然堆積で、遺物は出土していない。

土坑 14 (図 236)

平面形は円形で、直径 75 cm、深さは 35 cm である。北東側の一部が段掘りになっている。埋土は自然堆積で、自然礫が 2 点出土している。

土坑 15 (図 236)

平面形は円形で、直径 90 cm、深さは 30 cm である。埋土は自然堆積で、上坑内に自然礫が 9 点入っている。

土坑 16 (図 237)

平面形は楕円形で、長径 85 cm、短径 60 cm、深さ 20 cm である。黒色土 1 層で、自然礫が 11 点出土している。土坑の北西側にピットがあるが、土坑内のピットなのか、独立したピットなのかは、埋土が 1 層であることから、全く判断できなかった。

第 2 節 高見丘 IV 遺跡の縄文時代以降の調査

土坑 4 (図 238)

I 0421 区で検出した。長方形の土坑である。検出面は 3 a 層上面だが、さらに上から掘り込んであることは確実である。長辺 85 cm、短辺 50 cm、深さ 20 cm である。埋土は黒褐色土 1 層で、土坑内から山茶碗 (図 238) が出土している。この山茶碗は手づくねで、口径は 9 cm、外面全面に指頭圧痕が残り、内面は工具でなでて仕上げている。胎土は精緻な灰白色～淡赤灰色である。口径、胎土、成形技法から見て、時期は 15 世紀末から 16 世紀初頭、湖西方面からの搬入品であると思われる。

第Ⅸ章 自然科学分析

第1節 静岡県磐田郡豊田町高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡のテフラ

山梨文化財研究所 河西 学

1. はじめに

高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡は、磐田原台地の西側に位置する。風成褐色ローム層中からは、旧石器時代の石器が出土している。周辺には勾坂中遺跡がありテフラ分析が実施されている。(河西, 1994) 本遺跡では、褐色ローム層中から採取した堆積物中からテフラを識別し、遺物包含層の層位を検討することを目的としてテフラ分析を行ったので以下に報告する。

2. 試料および分析方法

試料は、第1～6地点(図240)の各断面から採取された堆積物60点である。なお第3地点は、2区土坑1および2区土坑2から構成されている。

試料は、湿ったまま約20gを秤量後、水を加え超音波装置を用いて分散をはかり、分析篩(#250)で受けながら泥分を除去した。乾燥後、分析篩(#60, #250)を用いて $>1/4\text{mm}$ および $1/4\sim 1/16\text{mm}$ の粒径に篩別・秤量し粒径組成を算出した。なお、分析試料の乾燥重量は、別に同一試料約5～10gを秤量ビンにとり秤量後、乾燥機で 105°C 、5時間放置して得られた乾燥重量から算出した。鉱物粒子の観察は、 $1/4\sim 1/16\text{mm}$ の粒径砂をスライドグラスに封入し偏光顕微鏡下で行った。試料ごとに火山ガラス・風化物その他の粒子を含めた合計が1000粒になるように計数した。火山ガラスの形態分類は遠藤・鈴木(1980)の方法に従った。細粒結晶を包有するF型火山ガラスはF'型火山ガラスとして区別した。火山ガラス屈折率の測定は、位相差顕微鏡による浸液法(新井, 1972)による。

3. 分析結果

火山ガラス屈折率測定値を表38に示す。偏光顕微鏡下での火山ガラスの計数結果を表39に示す。こ

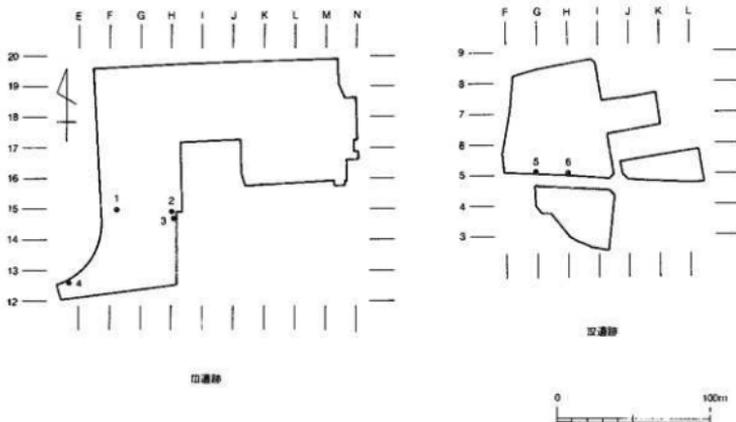


図240 テフラ分析用試料採取地点(1/1600)

表 38 火山ガラス屈折率測定値

地点	試料番号	火山ガラスの形態	色調	屈折率 (モード)	対比されるテフラ	
第1地点	No.6	泡壁型(A・A'型)	無色	1.498-1.502(1.500)	始良T nテフラ AT	
第2地点	No.8	泡壁型(A・A'型)	無色	1.498-1.502(1.500)	始良T nテフラ AT	
第3地点	2区土坑2	No.1	泡壁型(A・A'型)	無色	1.498-1.502(1.500)	始良T nテフラ AT
第3地点	2区土坑1	No.2	泡壁型(A・A'型)	無色	1.499-1.502(1.500)	始良T nテフラ AT
第4地点	No.6	泡壁型(A・A'型)	淡紫-黒	1.509-1.514	鬼界アカホヤ K-A h	
第5地点	No.4	泡壁型(A・A'型)	無色	1.498-1.502(1.500)	始良T nテフラ AT	
第6地点	No.7	泡壁型(A・A'型)	無色	1.499-1.502(1.500)	始良T nテフラ AT	

れをもとに湿重基準の含水率、粒径組成、1/4～1/16mmの全火山ガラスの含有率、形態別火山ガラス含有率を算出し図241～243に示す。なお1/4～1/16mm全火山ガラス含有率、形態別火山ガラスの含有率は、試料単位重量あたりの1/4～1/16mm粒径の火山ガラスの割合で表示した。(注1)。以下に各地点の特徴について述べる。

[第1地点]

含水率は全試料を通じて11.9～13.8%と極めて安定した値を示す。粒径組成では1/4mm以上の砂粒子が、下部のNos.9～11で8.4%～9.4%と極大部を形成し、Nos.4～8で3.7%～6.6%と極小部を、さらにNos.2～3で8.5%～9.7%の極大部を示す。1/4～1/16mmの砂粒子は全体で6.1%～8.2%とあまり大きな変化を示さない。

1/4～1/16mmの全火山ガラス含有率は、Nos.5～9でNo.6を最大値(0.10%)とする緩やかに広がりを持った極大部を形成している。またNos.1～2でもわずかな極大部が認められる。形態別ではA'型火山ガラスがもっとも多く、Nos.5～9でNo.6を最大値(0.088%)とする緩やかな極大部を示す。A型火山ガラスはNos.2～10で0～0.026%と低率で検出される。泡壁型であるA・A'型火山ガラスは、屈折率が[6]において1.498～1.502(モード1.500)を示すことから、約2.2(～2.5)万年前に噴出した始良T nテフラ(AT, 町田・新井, 1976)に同定される。本地点の暗色帯は野外観察において他地点に比較して色調が不明瞭であった。今回の分析結果では、火山ガラス含有率の最大値を示すNo.6は暗色帯に位置するものの、暗色帯から4層上部にかけて火山ガラスの極大値を示す点で他地点とは明らかに異なる。

AT降灰以降の火山ガラスの下方への二次的移動が原因の一つとして考えられる。さらに別の原因として、3c・4層とされる層準の一部に、例えば3b層などのより新しい要素が混合している可能性も若干ながら残る。いずれにせよ本地点はやや特異な堆積といえよう。

[第2地点]

本地点は、遺跡内の微高地上の稜線部分に位置しており、褐色ローム層の保存が良好である。含水率はNos.14～15で極大部(極大値15.5%)を示し、No.11で極小値7.6%を示した後、さらに暗色帯中部No.8で最大値20%を示し、上方に漸減する。粒径組成における1/4mm以上の砂粒子は、下半部のNos.10～15で3.6～5.6%とやや多く、Nos.1～9では1.1～3.2%と低率である。1/4～1/16mmの粒径砂粒子は6.2～8.1%と変化に乏しい。

1/4～1/16mmの全火山ガラス含有率は、暗色帯中部No.8を最大(0.25%)とする顕著な極大部(Nos.6～10)を形成している。形態別に見るとA・A'型ともNo.8でそれぞれ0.053%、0.18%の最大値を示している。またB・C型火山ガラスが極めてわずか検出されるにすぎない。A'型火山ガラスはNos.6～10で顕著なピークを示すのに対して、No.8だけの小さなピークを示す。No.8における火山ガ

表 39 火山ガラス計測粒数 (十は計測以外の検出を示す)

試料番号	第 1 地点										第 2 地点										2 試土様 1											
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17	No.18	No.19	No.20	
A 褐色																																
A' 褐色																																
B 褐色	5	5	3	2	6	11	11	16	7	1	4	1	4	4	8	7	17	24	28	19	13	1	4	1			2	13	13	10	7	
B' 褐色																																
C 褐色																																
D 褐色																																
E 褐色																																
F 褐色																																
F' 褐色																																
その他	993	992	997	993	986	986	989	989	997	994	996	994	994	989	992	980	973	962	978	981	998	995	999	1000	998	983	985	981	994	994		
合計	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	

試料番号	2 試土様 2				第 4 地点				第 5 地点				第 6 地点			
	No.1	No.2	No.3	No.4	No.1	No.2	No.3	No.4	No.1	No.2	No.3	No.4	No.1	No.2	No.3	No.4
A 褐色																
A' 褐色																
B 褐色	5	13	7	5	6	10	10	8	7	5	3	2	+	6	15	12
B' 褐色																
C 褐色																
D 褐色																
E 褐色																
F 褐色																
F' 褐色																
その他	996	989	997	991	984	981	981	986	987	989	993	997	994	999	1000	1000
合計	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000

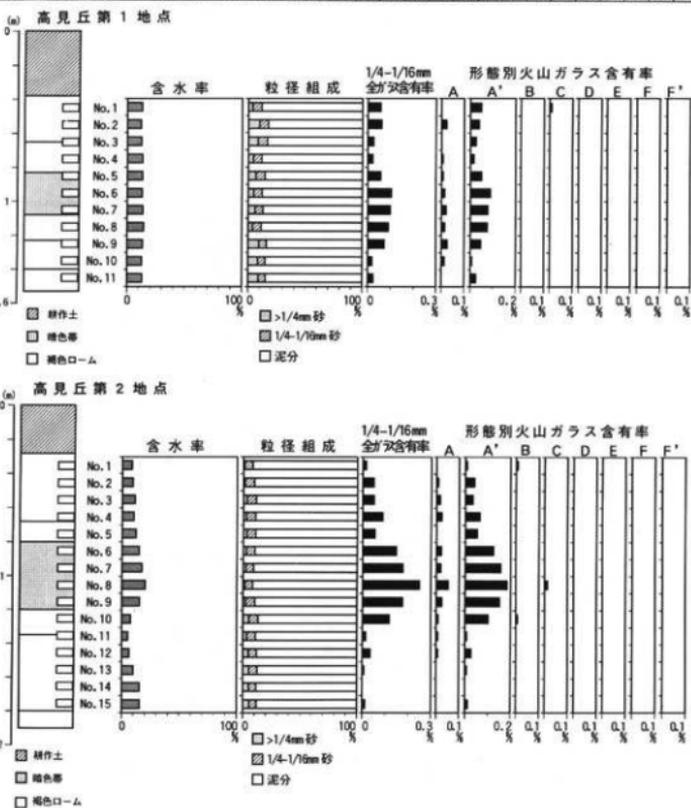
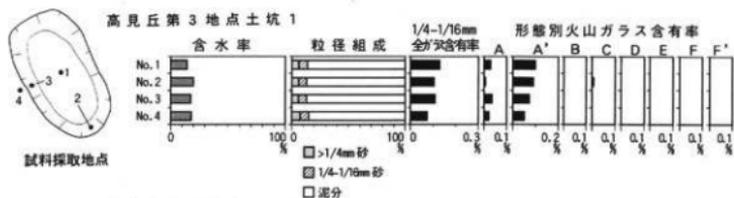
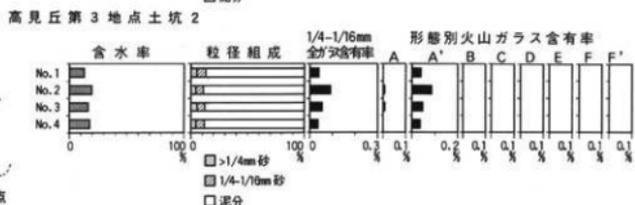


図 241 火山ガラス含有率 1



試料採取地点



試料採取地点

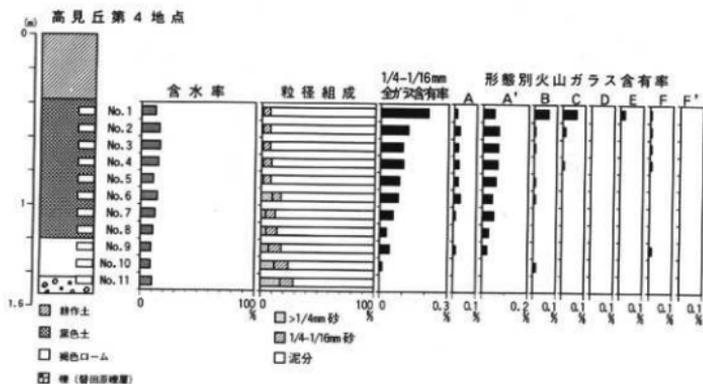
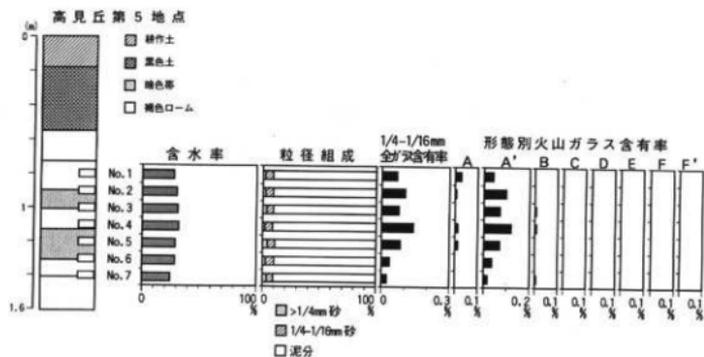


図242 火山ガラス含有率2

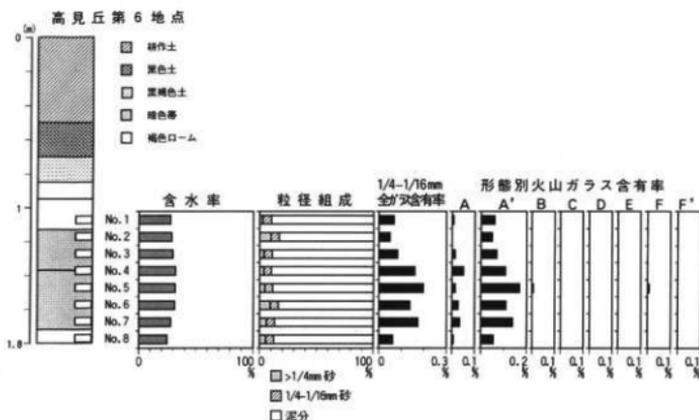


図 243 火山ガラス含有率 3

ラスの屈折率は、1.498～1.502（モード1.502）を示すことからNo. 8を中心とする泡壁型火山ガラスの濃集はA Tに同定される。A Tの降灰基準層は、Nos. 8～9付近に推定される。

〔第3地点〕

土坑の覆土上部を中心に分布する硬質の褐色ローム層中に1～3大の白色粒子が含有されることで特徴づけられる。ローム層は複数の小ブロックから構成されている。白色部分は、乾燥することで明瞭に認識され、もろく壊れやすい。実体鏡およびローム層の薄片（2区土坑2 No. 1）を偏光顕微鏡下で観察した結果、白色部分はテフラに関連する組織は認められず、一般的な泥質堆積物であることが判明した。

薄片作製時に補強のためにエポキシ樹脂を含浸させると白色部分は他のマトリックスとの区別が困難であった。偏光顕微鏡下では、白色部相当部分での鉱物組成、粒径組成、色調などにおいて特に他と区別できる要素は見いだせない。逆に肉眼で識別しなかった小ブロックが鏡下で区別される場合がある。覆土試料が小ブロックの泥質堆積物の集合で構成されている。なおこの試料中で、石英・斜長石・カリ長石・黒雲母・無色雲母・角閃石・ジルコン・緑簾石・電気石・緑泥岩・褐鉄鉱・チャート・泥岩・花崗岩類・片岩・泡壁型火山ガラスなどが検出された。覆土以外の自然堆積ロームの場合もおそらく同様の岩石鉱物から構成されているものと考えられる。肉眼での白色部分は、おそらく乾燥しやすく乾燥時に白色を呈する性質をもつ泥質堆積物であると考えられる。これらの白色部を包含する堆積物は、土坑内の覆土上部に分布し、硬質であること、肉眼的に白色粒子状部分を点在すること、またそれ以外の泥質堆積物の小ブロックが集合した組織が認められることなどから、一般的な風成褐色ローム層とは成因が異なる可能性がある。

〔2区土坑1〕

含水率は、土坑底部のNo. 2で高く（20.2%）、覆土上部のNo.1で低い（14.4%）。粒径組成では1/4mm以上の粒径砂が5.9～7.6%、1/4～1/16mmの粒径砂が6.9～7.5%とほぼ均質である。1/4～1/16mmの全火山ガラス含有率は、全体に0.073%～0.13%を示し覆土中で多い傾向がある。土坑外部のNo. 4で少なく、覆土上部のNo. 1で最大（0.13%）を示す。形態別に見るとA'型が大部分を占めわずかにA型を伴う。No. 1での火山ガラスは、屈折率1.498～1.502（モード1.502）を示すことからA Tに同定される。

〔2区土坑2〕

含水率は、土坑底部のNo. 2で高く(19.6%)、覆土上部のNo. 1で低い(13.0%)。粒径組成では、1/4 mm以上の砂粒子が4.4～5.5%、1/4～1/16 mmの粒径砂は6.6～8.0%とほぼ均質である。1/4～1/16 mmの全火山ガラス含有率は、全体に0.037%～0.092%を示す。土坑外部のNo. 4ばかりでなく覆土全般に少ないが、土坑底部のNo. 2で最大(0.092%)を示す。No. 2での火山ガラスは、屈折率1.499～1.502(モード1.500)を示すことから、A Tに同定される。

以上のように両土坑では含水率がNo. 1で低く、No. 4の火山ガラスが少ない点で共通する。火山ガラスの特徴から両地点での火山ガラスはA Tに起源するものと考えられる。火山ガラスの含有率から両土坑ともA T以降に形成されたと推定される。しかし、火山ガラス含有率が土坑1 No. 1で最大であるのに対し、土坑2 No. 1ではかなり低く含有率から見ると同一であるとはいえない。これは同一地点で同一の構造を有する土坑が近接していることから、土坑の形成時期差というよりも、覆土として時期の異なる堆積物を使用した可能性が推定される。両地点は近接しているものの土坑の掘り込んだ地層(ローム層)の層位に若干の差があった可能性がある。

〔第4地点〕

本地点は谷部に位置し、堆積物の多くが谷埋め堆積の黒褐色クロボク土である。最下層の磐田原礫層まで谷は下刻し、遺物包含層以上の谷埋め堆積物が認められる。

含水率は、8.8～16.7%を示し、No. 3で緩やかな極大が認められる。粒径組成の内>1/4 mm砂粒子は、磐田原礫層中のNo. 11を最大(17.3%)として上方に向かって漸減し、顕著な上方細粒化傾向を示す。1/4～1/16 mm砂粒子も緩やかながら同様の上方への漸減傾向を示す。1/4～1/16 mm火山ガラスの含有率は逆に上方へ漸増傾向を示し、No. 1で0.21%の値を示す。形態別火山ガラスでは、A型はNos. 1～7で連続して0.008～0.029%と低率で検出される。A'型はNos. 1～9において0.022～0.070%で安定的に検出される。両火山ガラスは、それぞれ顕著な極大を形成せずに平均して連続的に検出される。No. 6におけるA・A'型火山ガラスの屈折率は、1.509～1.514の測定値が得られた。これらの火山ガラスは、無色が主体であるが淡褐色ガラスを含み、ガラス片側縁部に厚さ約5 μmの顕著な水和層が確認されることなどから、約6300年前に噴出した鬼界アカホヤテフラK-A h(町田・新井, 1978)に同定される。No. 6において低屈折率を示すA Tタイプの火山ガラスがほとんど認められないこと、および火山ガラス包含層がクロボク土であることなどから、Nos. 1～9の火山ガラスの大部分はK-A h降灰とその後の二次堆積によるものと考えられる。

最上部のNo. 1では、無色のB(塊状)・C(中間型)型火山ガラスが検出されE(繊維状)・F(多孔質)型を伴うやや特異な組成を示す。火山ガラスの形態的特徴と層位から本遺跡No. 1は、匂坂中遺跡東区3期S X 03-13地点Ⅱ a層上部のNo. 1、および梵天遺跡I b層No. 1付近との類似性が高く、従って約2800～2900年前に噴出した天城カワゴ平軽石K gに極めて近い層準であると考えられる。(河西、1994)

〔第5地点〕

本地点は、南区での微高地の尾根部に位置し、暗色帯3 b層がその中央に挟在するローム質間層によって、3 b上層と3 b下層に分かれていることが確認される地点である。

含水率は、24.7～32.1%の値を示しNo. 4を極大とする緩やかな曲線を描く。粒径組成において1/4 mm以上の粒径砂は2.1～4.3%を、1/4～1/16 mm径砂粒は5.8～7.3%をそれぞれ示し、層位的な変化はほとんど認められない。

1/4～1/16 mm火山ガラスの含有率は、暗色帯中の間層に位置するNo. 4で0.14%の極大値を示す。形態別にみると大部分がA'型で占められ、わずかにA・B型が断続的に微量検出されるにすぎない。No. 4

においてA'型無色火山ガラスが含有率の極大(0.12%)を示し、その屈折率が1.498～1.502(モード1.500)であることからATに同定される。ATの降灰層準は暗色帯中の間層付近に推定される。この結果は、勾坂中・梵天遺跡(河西, 1994)など加藤(1980, 1994)の寺谷型暗色帯の間層にATの降灰層準が認められることと一致する。また勾坂中遺跡で確認されたような同一遺跡内でも尾根部において寺谷型暗色帯が分布する傾向も高見丘遺跡で認められる。

[第6地点]

本地点は第5地点と同一トレンチ内に位置し、第5地点から本地点に向かってすなわち東側に地形が傾斜し、第5地点で確認された暗色帯下半部3b下層が不明瞭になり、間層と3b下層とが一体化した地層(一種の谷埋め堆積物と考えられる)として露出している。

含水率はNo.4において極大(32.1%)とする緩やかな曲線を描いている。粒径組成では、1/4mm以上の粒径砂はNos 2, 6でそれぞれ9.8%, 9.4%とわずかな極大値を示すもの他は2.7～6.2%と低率である。1/4～1/16mm粒径砂は6.4～7.5%とかなり安定した含有率を示す。

1/4～1/16mm火山ガラスの含有率は、No.5とNo.7とにそれぞれ0.20%、0.17%の極大値を持ち、全体としてNos 4～7が極大部を形成している。形態別に見るとA'型が大部分を占め、A型がそれに続く。A'型火山ガラスはNos 5, 7でそれぞれ0.17%、0.14%の極大値を示し、上方に向かって漸減する。No.7における火山ガラスの屈折率は、1.499～1.502(モード1.500)であることから、Nos 4～7の火山ガラスの濃集はATに同定される。含有率曲線から見るとATの降灰層準は、No.7付近と推定される。

本地点では3b下層と間層が一体化した層が見かけ上黒みが強く、3b上層はあまり黒くない。もしこの断面だけが露出して横方向の層相変化の情報がない場合には、3b下層と間層が一体化した層を暗色帯として見誤る可能性がある。このことは逆に、野外において認識される暗色帯が、3b下層と間層とが一体化した層と類似した形成プロセスを経ている可能性をも暗示しているともとれる。

4. おわりに

分析によって、AT、K-Ah、Kgの層準明らかになった。暗色帯とATとの関係は勾坂中遺跡での結果とはほぼ一致するものであった。寺谷型暗色帯では間層中にAT層準が認められた。広野型暗色帯では、勾坂中遺跡において暗色帯上半部にAT層準が推定される傾向があったが、本遺跡では暗色帯下半部に推定される傾向がある。この現象は地域の特徴としてとらえられるかもしれない。

注1 形態x型の火山ガラスの含有率Axは

$$Ax (\%) = (C/B) \times (Ex/D) \times 100$$

で算出される。ただし、

B: 試料の乾燥重量 (g)

C: 1/4～1/16mm粒径砂分の重量 (g)

D: 計数した1/4～1/16mm粒径粒子の総数

Ex: 計数したx型の火山ガラスの粒数

文献

新井房夫(1972)斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定—テフクロロジーの基礎的研究。第四紀研究, 11, 254～269。

遠藤邦彦・鈴木正章(1980)立川・武蔵野ローム層の層序と火山ガラス濃集層。考古学と自然科学, 13, 19～30。

河西学(1994)磐田市勾坂中遺跡群のテフラ。『静岡県磐田市勾坂中遺跡群発掘調査報告書』, 35～50、

磐田市教育委員会。

加藤芳朗（1980）寺谷遺跡をめぐる地形・地質・年代測定。「寺谷遺跡発掘調査報告書」、341～349、平安博物館。

加藤芳朗（1994）浅谷の形成と土層の堆積。「静岡県磐田市勾坂中遺跡群発掘調査報告書」、51～66、磐田市教育委員会。

町田洋・新井房夫（1976）広域に分布する火山灰—始良T n火山灰の発見とその意義—。科学, 46, 339～347。

町田洋・新井房夫（1978）南九州鬼界カルデラから噴出した広域テフラ—アカホヤ火山灰。第四紀研究, 17, 143～163。

第2節 高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の礫群検出面の被熱の有無に関する磁気学的検討

姫路工業大学理学部 森永 速男
京都文化博物館 山下 秀樹

はじめに

土壌は被熱すると、その磁気的性質（帯磁率及び残留磁化）を変える（森永他、1989）。シルト質もしくは粘土質の土壌では、約250℃以上の被熱（兵庫県七日市遺跡旧石器遺構面におけるたき火実験）により、最大で帯磁率は100倍程度、残留磁化強度は1000倍程度増加することが知られている。（森永他、

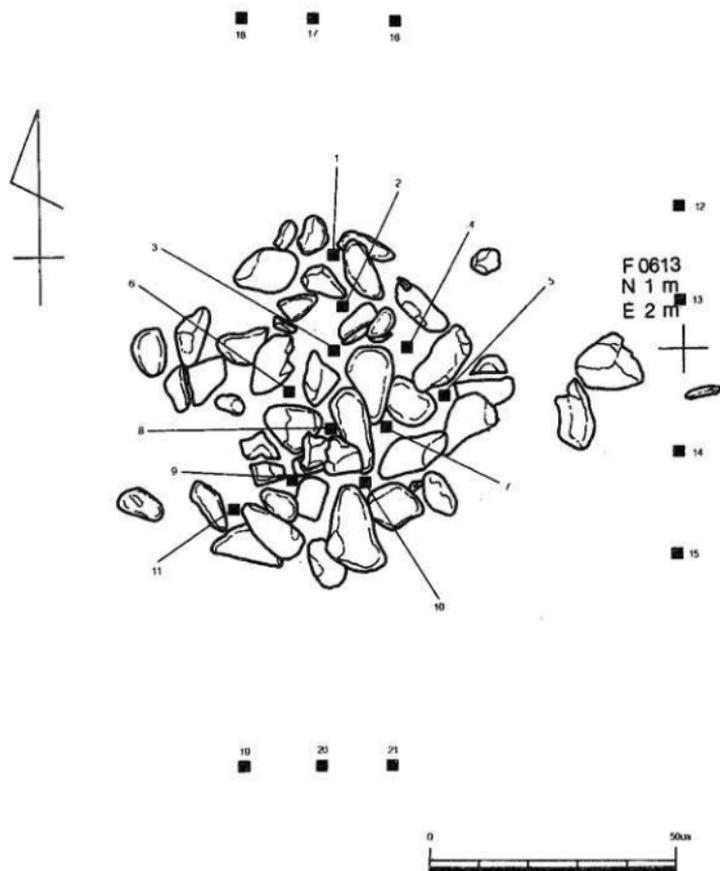


図 244 土壌試料採取地点 (1/10)

表 40 熱残留磁気測定結果

試料番号	重量	帯磁率 (S I)	残留磁化偏角	残留磁化伏角	残留磁気強度 (10 ⁻⁷ Am ²)	重量当帯磁率 (Si/g)	重量当強度 (10 ⁻⁴ Am ² /kg)
1	17.39	217	-18.9	39.0	63.12	12.48	3.630
2	15.66	194	-25.3	37.5	41.21	12.39	2.632
3	17.26	213	-38.4	41.9	67.48	12.34	3.910
4	15.79	179	-0.6	29.4	36.35	11.34	2.302
5	16.55	206	-15.9	25.9	41.37	12.45	2.500
6	15.83	192	-50.1	39.6	52.51	12.11	3.313
7	15.79	188	-22.1	51.9	69.38	11.91	4.394
8	15.39	187	-59.0	46.2	56.35	12.15	3.661
9	10.35	128	-60.7	46.9	24.98	12.37	2.414
10	16.18	206	-49.2	56.3	54.33	12.73	3.358
11	15.33	207	-37.7	67.9	6.18	13.50	0.403
12	16.98	193	-132.0	-13.0	107.10	11.37	6.307
13	16.47	193	-125.9	-22.6	54.67	11.72	3.319
14	16.97	216	-112.3	-49.0	29.02	12.73	1.710
15	16.95	194	-60.2	-80.4	32.93	11.45	1.943
16	18.06	231	-78.3	-44.1	185.10	12.79	10.249
17	18.64	233	-16.0	-33.2	84.59	12.50	4.538
18	17.35	238	-23.3	9.4	110.20	13.72	6.352
19	17.40	208	-73.1	35.1	40.55	11.95	2.330
20	17.22	217	-73.1	37.5	53.59	12.60	3.112
21	17.01	212	-70.6	45.7	49.30	12.46	2.898

1994及び1995)。この被熱による磁気的性質の変化を参考にし、高見丘IV遺跡の礫群20検出面の被熱の有無を検討した。

採取土壌試料及び磁気測定

土壌を容積10ccの立方体容器にはほぼ定方位で（形状の変形が少ない様に）封入し、採取した。採取位置を図224に示す。試料1～11は礫群範囲から、試料12～15は礫群から50cm程度離れ、礫群の検出される面の底面もしくはやや下位から、そして試料16～21は3b層上面から採取された。3b層上面から採取された試料は、磁気的性質の比較検討のためのものである。

採取土壌の帯磁率をMS2帯磁率計(Barrington社製)で、残留磁化をスピナー磁力計(夏原技研社製)で測定した。すべての結果を表40に示す。表中の磁気的性質のうち、被熱の有無の検討には、重量当帯磁率と重量当(残留磁化)強度を使う。得られた残留磁化偏角及び伏角は検討に有効な特徴的な値ではないので、ここでは検討対象としない。図245に帯磁率を横軸に、残留磁化強度を縦軸にとって、全試料の磁気的性質を図示している。図中の欠印のついた試料は比較検用の試料である。

帯磁率で最大最小間に1.2倍、残留磁化強度で25倍の差が認められる。ただし最大の帯磁率(試料18)及び残留磁化強度(試料16)は礫群範囲以外(3b層上面)から採取された比較検用試料の値である。礫群から採取された試料では、帯磁率はほぼ同じ1.2倍、残留磁化強度で10倍程度の差になっている。ただし、帯磁率の最も大きい試料で、残留磁化強度が最も小さくなっており、すでに述べたとき火実験の結果(帯磁率及び残留磁化強度ともに大きくなる)とは矛盾している。

磁気測定結果の考察及び結論

結果に認められるように、礫群の試料の磁気的性質は比較検用の試料のそれと比べて有意に大きくない。それどころか大半は、弱い磁気的性質を示している。また、被熱の効果として現れる帯磁率及び残留磁化強度両方の値の増加(一般にはこの図で、右上りの増加傾向)は認められない。以上のことから、礫群範囲内の土壌には被熱したと考えられる磁気的痕跡は認められない。

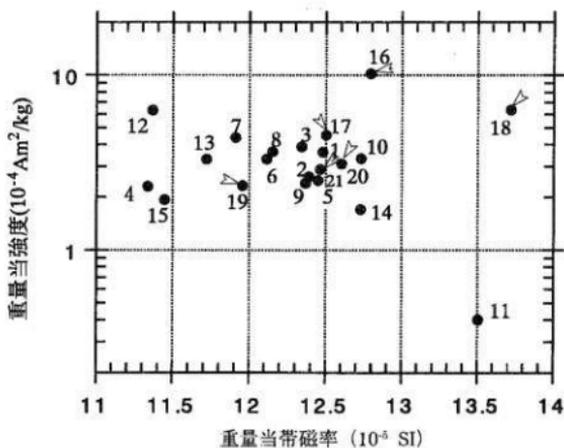


図 245 残留磁気測定結果

参考文献

- 森永速男、井口博夫、池谷元何、山下秀樹、久保弘幸、藤田淳、被熱による土壌の磁氣的性質変化—たき火実験(平成5年度及び6年度実施)のまとめ—、「遺跡探査」ニュースレター、No. 14、2-9、1995。
- 森永速男、井口博夫、山下秀樹、久保弘幸、藤田淳、安川克己、古地磁気学的手法による先土器遺跡の炉址検出法の開発とその有効性、第四紀研究、28(3)、171-183、1989。
- 森永速男、長谷川卓也、井口博夫、山下秀樹、久保弘幸、藤田淳、磁氣的性質測定を用いた被熱遺構探査法の開発-被熱による磁氣的性質変化とたき火実験-、「遺跡探査」ニュースレター、No. 10、8-13、1994。

第3節 放射性炭素による遺跡の年代測定

磐田原台地では遺物包含層の堆積条件が悪く、同一の包含層に複数時期の遺物を含んでいることは周知の事実である。過去、寺谷遺跡や広野北遺跡などで放射性炭素による年代測定の例はあるが、これはその遺跡の形成年代を推定するうえで、非常に重要なデータであるが、遺物包含層の堆積年代として、磐田原台地に普遍化できる年代ではない。したがって、高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡でも出土した炭化物から、遺跡の形成年代を推定する必要がある。そして、このデータは、あくまでも高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の形成年代を推定するデータであって、このデータを遺物包含層の年代として他の遺跡に応用するのは慎重にしなければならない。しかし、こうした個々のデータの積み重ねが、磐田原台地の旧石器時代研究の非常に有効な促進剤になることは言うまでもないであろう。

高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の調査では、炭化物の集中域を10カ所以上検出した。それらのうち図246に示す11カ所で年代測定用の試料を採取した。年代測定は(株)古環境研究所に委託した。炭化物の採取は(株)古環境研究所の指導に基づき、極力有機質の物質に触れないよう、次の方法で採取した。

炭化物の検出、取り上げは鉄製のへらを用いて、絶対に指で触れないようにする。取り上げた炭化物は現場ですぐにアルミホイルに密封した。事務所に持ち帰った炭化物は鉄製のふるいで水洗して余分な土を取り除く。このときも炭化物はピンセットで扱い、絶対に指では触れないようにした。水洗した炭化物は陶器皿の上で乾燥させた後に重量を測定して、再びアルミホイルに密封して冷蔵庫に保管した。

こうして表41に示す年代を得た。

表41-1、2の試料はⅢ遺跡エリア2の北側で検出した浅谷の埋土から採取した試料で、浅谷の埋没時期を示している。表42-3、4の試料はⅢ遺跡エリア2で採取した試料で、両者で5000年程の開きがある。表42-5はⅢ遺跡エリア3で検出した土坑4の埋土から検出した試料で、土坑の埋没時期を推定する材料になる。表42-6～9はⅢ遺跡エリア3の微高地上、遺物集中域で採取した試料で、このエリアの形成時期を推定するデータである。これによれば、3a層で採取した試料では12560 B.P.、3b層上層で採取した試料では25430～22090 B.P.の年代を示している。3b層上層は火山灰分析によ

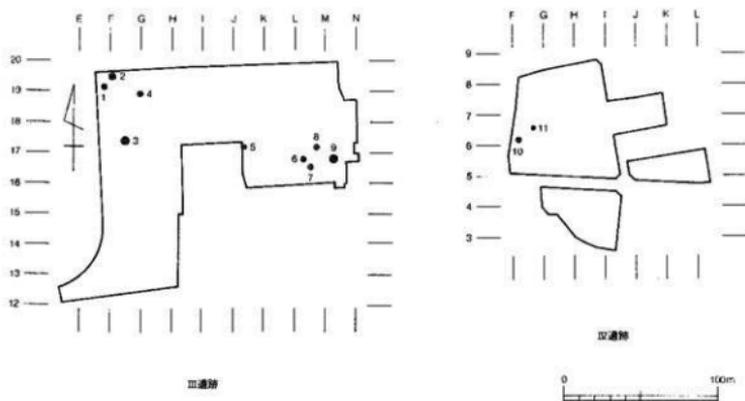


図246 年代測定用炭化物採取地点 (1/1600、ドットの大きさは採取量に比例する)

表 41 放射性炭素年代測定結果

地点番号	採取地点	測定法	放射性炭素年代	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	補正放射性炭素年代	CAMS測定番号
1	群104	AMS法	12900±60	-28.1	12850±60	92768
2	浅谷埋土	AMS法	12870±60	-28.3	12810±60	92769
3	F1719区炭化物集中域	β 線計数法	12950±70	-26.0	12940±70	106411
4	F1805、G1801区炭化物集中域	AMS法	18520±70	-28.1	18480±70	92767
5	明遺跡土坑3埋土8、9層	AMS法	13160±100	-27.6	13120±100	106416
6	L1607、L1608区炭化物集中域	β 線計数法	22680±520	-26.5	22660±510	106414
7	群76周辺	β 線計数法	22090±470	-25.1	22090±470	106413
8	L1724、L1725区炭化物集中域	β 線計数法	25460±670	-26.9	25430±670	106415
9	明遺跡ブロック11、12層炭化物分布域	β 線計数法	12570±180	-25.1	12560±180	106412
10	IV遺跡ブロック5周辺2b層内	AMS法	13060±60	-27.2	13020±60	93765
10	IV遺跡ブロック5周辺3a層内	AMS法	17020±60	-26.1	17000±60	92766
11	IV遺跡土坑1埋土	AMS法	39460±460	-24.6	39460±460	92764

て、始良・Tn火山灰を検出した層で、この火山灰の降灰時期から推定する年代と矛盾はしていないであろう。同じ遺物集中域で、3a層から採取した試料では12560 B.P.と3b層上層よりも1万年ほど新しい年代を示している。3b層上層で採取した炭化物も3a層で採取した炭化物とともに、測定に十分な量(30g以上)であり、測定結果を尊重しなければならないが、3a層で出土した遺物から推定した年代よりも新しい年代である。エリア3の遺物が集中する微高地は約1万年にわたって居住していたということだろうか。

表41-10はIV遺跡で採取した試料で、同一地点で2b層と3a層で採取した。2b層の試料では13020 B.P.、3a層の試料では17000 B.P.の年代がでている。2b層と3a層の形成時期差を推定する1つの材料になるであろう。表42-11はIV遺跡の土坑1の埋土から採取した試料の年代である。土坑の埋没時期を推定するのが目的であったが、非常に古いデータがでている。古い炭化物が流れ込んでいたのかもしれない。

なお、(株)古環境研究所から示された測定条件は次の通りである。

1 ^{14}C 年代測定値

試料の $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比から、単純に現在(1950年AD)から何年前(BP)かを計算した値。 ^{14}C の半減期は5568年を用いた。

2 $\delta^{13}\text{C}$ 測定値

試料の測定 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比を補正するための炭素安定同位体比($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$)。この値は標準物質(PDB)の同位体比からの千分偏差(‰)で表す。

3 補正 ^{14}C 年代値

$\delta^{13}\text{C}$ 測定値から試料の炭素の同位体分別を知り、 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ の測定値に補正値を加えた上で算出した年代。

4 暦年代

過去の宇宙線強度の変動による大気中 ^{14}C 濃度の変動を補正することにより、暦年代(西暦)を算出した。補正には年代既知の樹木年輪の ^{14}C の詳細な測定値を使用した。この補正は10000年BPより古い試料には適用できない。

5 測定番号

本資料の測定はBeta Analytic Inc.(Florida,U.S.A.)において行われた、同社の測定番号である。なお、加速器はドイツのキール大学の機器が使用された。

第4節 黒耀石の産地同定

磐田原台地における石器の主要石材であるシルト岩や砂岩は、台地の目前を流れる天竜川河原で現在も採取できる。そのため、搬入石材は極めて少ないが、黒耀石、サヌカイト様の安山岩といった明らかな搬入石材も見られ、一部では、黒耀石を主体とするブロックも見られる。黒耀石に関しては、その質感から経験的に長野県産と思われる、天竜川をさかのぼっていくと和田峠や霧ヶ峰といった黒耀石の原産地に至る地理的条件からも、これを支持していた。しかし、この黒耀石の原産地については、これまで科学的に同定したことはなかった。そこで、今回、高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡で出土した黒耀石の主要個体について、沼津工業高等専門学校の望月明彦氏の協力で、蛍光X線分析による黒耀石の原産地同定を試みた。その成分の分析結果を図247、これに基づく原産地の同定結果を表42に示す。

これによると、ほとんどの黒耀石は当初の予想通り長野県産であったが、少数ではあるものの、伊豆半島の柏峠産の黒耀石も認められる。長野県産の黒耀石は天竜川沿いに搬入したことは間違いないであろうが、柏峠産の黒耀石はどのような経路で搬入したのであろうか。これまで旧石器時代の集団関係・移動で、河川に沿った南北方向の移動は論じられてきたが、河川を横切る東西方向の移動は論じられることがなかった。磐田原台地と伊豆半島の間には旧石器時代の遺跡は極めて少ないことが大きな原因であるが、近年、浅野町や島山市といった、これまで旧石器時代の遺跡がほとんど確認されていなかった地域で、旧石器時代の遺跡が発見されてきていることから、今後、磐田原台地と伊豆半島を結ぶ東西方向の集団移動も考えていかなければならないだろう。

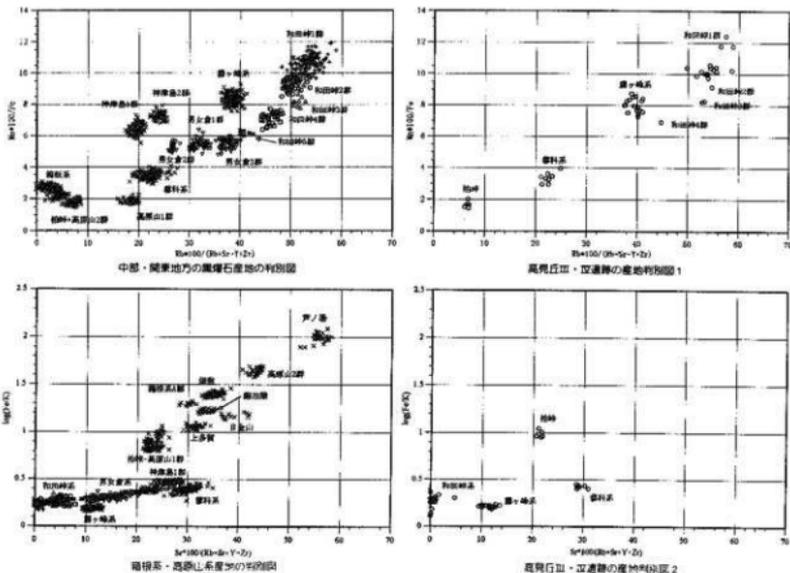


図247 黒耀石産地判別図

表 42 黒耀石産地推定確率

試料番号	産地名称1	確率(%)	産地名称2	確率(%)	男女老1群	男女老2群	男女老3群	和団村1群	和団村2群	和団村3群	和団村4群	和団村5群	産ヶ峰系	磐料系	樹幹
1A-0045	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
1A-0182	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
1A-0192	和団村1群	56	和団村2群	44	0	0	0	56	44	0	0	0	0	0	0
1A-0530	和団村1群	99	和団村2群	1	0	0	0	99	1	0	0	0	0	0	0
1A-0583	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
1A-0736	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
1B-0002	磐料系	100	男女老2群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0
1B-0137	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
1B-0210	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
1B-1163	樹幹	100	上多賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100
1B-1273	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
1B-4034	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
1B-4035	樹幹	100	上多賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100
1B-4061	磐料系	100	高塚山1群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0
1B-4062	磐料系	100	高塚山1群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0
1B-4065	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
1B-4074	磐料系	100	男女老2群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0
1B-5601	磐料系	100	男女老2群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0
1B-5603	磐料系	100	男女老2群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0
1B-5604	磐料系	100	男女老2群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0
1B-3609	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
1B-6113	磐料系	100	高塚山1群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0
1B-6490	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
1B-7303	和団村3群	100	和団村2群	0	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	0
2-0113	和団村1群	100	和団村2群	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	0	0
2-0170	和団村2群	66.3	和団村1群	33.1	0	0	0	33.1	66.9	0	0	0	0	0	0
2-0979	産ヶ峰系	88.4	和団村5群	11.5	0	0	0	0	0	0	0	11.5	88.4	0	0
3-0098	和団村1群	51.6	和団村2群	48.4	0	0	0	51.6	48.4	0	0	0	0	0	0
3-0127	和団村1群	1	和団村2群	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
3-0146	産ヶ峰系	98.2	和団村5群	1.7	0	0	0	0	0	0	0	1.7	98.2	0	0
3-0222	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
3-0358	和団村1群	100	和団村1群	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	0	0
3-0654	和団村2群	90.4	和団村3群	9.6	0	0	0	0	90.4	9.6	0	0	0	0	0
3-0670	和団村2群	98.3	和団村1群	1.1	0	0	0	1.1	98.9	0	0	0	0	0	0
3-0731	和団村1群	100	和団村2群	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	0	0
3-1082	測定不能	0	測定不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3-1185	和団村3群	100	和団村2群	0	0	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0
3-1201	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
5A-0260	樹幹	100	上多賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100
5A-0447	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
5A-079	和団村2群	96	和団村1群	4	0	0	0	4	96	0	0	0	0	0	0
5A-0812	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
5A-0814	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
5A-0815	和団村4群	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0
5A-0848	和団村1群	78.4	和団村2群	21.6	0	0	0	78.4	21.6	0	0	0	0	0	0
5A-0857	産ヶ峰系	100	和団村5群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0
5A-0938	樹幹	100	上多賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100
6-0025	樹幹	100	上多賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100
6-0258	和団村1群	98.8	和団村2群	1.2	0	0	0	98.8	1.2	0	0	0	0	0	0
6-0259	和団村1群	100	和団村2群	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	0	0
6-0336	和団村1群	99.6	和団村2群	0.4	0	0	0	99.6	0.4	0	0	0	0	0	0
6-0385	和団村1群	95.7	和団村2群	4.3	0	0	0	95.7	4.3	0	0	0	0	0	0
9-0108	和団村1群	100	和団村2群	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	0	0

畑畑、上多賀、磐料系、和団村系、戸ノ湯、日金山、神津島系、高塚山系については、すべて可能性が0なので省略した。

第X章 成果と課題

1 はじめに

高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の調査では、24500 m²におよぶ広範囲を調査した結果、さまざまな成果を得ることができた。今回の報告は、事実記載に充実に重点を置き、研究にかかる部分は、報告後、この資料が研究の土俵上により、第三者が客観的に評価できる状態になった時の課題としたため、遺構、遺物、さらにはそれら総合した遺跡の評価は、十分にはできない。ここでは、高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の報告を終えるにあたって、今後への展望を述べてまとめたい。

磐田原台地での旧石器時代の研究は、集落論に力点を置いてきた研究史がある。寺谷遺跡における、ブロックの詳細な分析による集落の復元は、先駆的な研究として概説書にも登場する。広野北遺跡におけるユニットの設定は、遺構、遺物を総合した遺跡の解釈に指針を与え、句坂中遺跡の調査につながる。句坂中遺跡でのエリアなる概念の導入は、層位の悪い条件下での資料操作方法を確立するとともに、集落論の中間理論として、今後の調査に新しい展望を開いている。事実、もし、エリアの概念がなかったら、高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の遺構、遺物を扱うことができたかどうかおおいに疑問である。したがって、必然的に高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の調査も、このような集落論の研究史上に位置づけることができれば、第1の目的は達成できたことになる。

2 石器石材の獲得

磐田原台地での石器石材は、天竜川の河原で現在も採集できる凝灰質あるいは、珪質のシルト岩や砂岩、凝灰岩を主要石材としており、石材組成の大部分はこれらで占められる。対照的に、外部からの搬入石材は極めて少なく、黒曜石がわずかに見られる。安山岩は数点あるにすぎない。高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡の石材組成も同様で、例えば、高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡に見られる石材が大方そろっている、エリア1のブロック4を見ると、シルト岩、砂岩、凝灰岩で92.4%を占めている。黒曜石は4.6%である。在地石材がほとんどであるということが出来る。中にはエリア3のブロック17のように黒曜石が主体となるブロックもあるが、これは例外的な存在である。

黒曜石については、沼津工業高等専門学校望月明彦氏の協力を得て、原産地同定を実施した。これまで磐田原台地では黒曜石の原産地同定を実施した例はなく、今回、51点の原産地を同定した意義は大きいであろう。これまで、磐田原台地に搬入された黒曜石は、肉眼的所見から、また、天竜川をさかのぼっていくと黒曜石の原産地付近に至ることから、長野県産と考えられてきた。原産地同定の結果、やはり、長野県産の黒曜石がほとんどであったが、伊豆半島産の黒曜石も複数認められた。長野県産の黒曜石が天竜川沿いに搬入されたことは確実と思われるが、伊豆半島産の黒曜石の搬入ルートは今のところ、未知である。近年、浅羽町の北山遺跡、島田市の大鳥遺跡など、太平洋沿いの旧石器時代遺跡の空白地域を埋める遺跡が確認されつつある。今後、このような太平洋沿いの遺跡のつながりを追求していく必要がある。

3 剥片剥離技術

石核の製作は、石核に残る自然面やⅣ遺跡のエリア1にある接合資料から、握り拳ほどの大きさの円礫を分割するか、あるいは、そのまま打面を用意して剥片を剥離している。打面の形態は平坦打面か若干の打面調整を行う場合が多く、細かい打面調整はあまり見られない。また、剥片素材の石核も少数見られる。この場合は不定形の剥片を剥離している。剥離する剥片は幅広い縦長剥片が基本である。Ⅲ遺跡のエリア1、ブロック4では、縦長剥片を連続剥離した接合資料があり、接合した剥片の打面の高さ

の違ひから、打面再生した痕跡も見られる。剥離した縦長剥片には、ナイフ形石器、スクレイパーの素材にする剥片と、明らかにそれよりも大型で石器に加工しない剥片（図39-12など）が見られる。後者は剥片剥離工程の初期に剥離したと思われる、剥離した剥片の使用目的に、石器加工用と非加工用とあったらしい。

縦長剥片の他には、わずかながら、横長剥片をとった石核もあり、瀬戸内技法との関連をうかがわせる資料もあるが、横長剥片を使用した資料で明確なものはないため、石核の存在を指摘するにとどめる。

4 石器組成

各ブロックの組成を見ると、ナイフ形石器が主体で、これにスクレイパー、加工痕・使用痕のある剥片が伴うのが各ブロックに共通した基本である。Ⅳ遺跡、エリア1のブロック8は男女倉型に類似した尖頭器を1点伴っている。磐田原台地の他の遺跡と比べると、彫器が極めて少ないのが特徴である。明確に彫器を伴うブロックはⅢ遺跡、エリア1のブロック1だけである。さらにブロック別に見ると、石器製作の明確なⅢ遺跡、エリア1のブロック4、Ⅲ遺跡、エリア3のブロック12、Ⅳ遺跡、エリア1のブロック8、完成品が主体となるⅢ遺跡、エリア1のブロック1、単独個体の多いⅢ遺跡、エリア2のブロックなど、個体の組成を含めると、ブロックごとによつたバリエーションがある。全体的に点数の少ないブロックほど単独個体が多くなる傾向がある。大きく分けて、石器を製作したブロックと石器を消費したブロックという性格分けができるのであろう。ブロックを離れると、単独個体が多くなるのも、こうした場所は石器消費地としての性格が強いのであろう。

5 ナイフ形石器の形態

縦長剥片を素材とした二側縁加工が主体となり、これに一側縁加工と剥片の一端を斜めに切り落とした形態のものが伴っている。素材剥片の打面を残すものはほとんど見られない。ナイフ形石器の形態の組み合わせから、茂呂系のナイフ形石器と考えて良いであろう。また、素材剥片の打面を上にもつてくるものが多い。大きさは、平均長がⅢ遺跡、エリア1で32.6mm、Ⅲ遺跡、エリア3で26.2mm、特に後者では小型が多いといえることができる。また、両者で6mmほどの差が出ているが、全体的に小型のナイフ形石器が多い印象がある。他の地域と比較する以前に今回出土したナイフ形石器の形態を検討し、特徴を明らかにする必要がある。

6 礫群

高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡では、礫群の基数がブロックをはるかに上回っている。出土した礫数も石器数を遙かに越えている。礫群が普遍的な存在として、また、石器の分布範囲が遺跡の範囲の決定要素と考えたり、石器の検討が遺跡分析の主体となるような、従来の視点の修正を迫るものである。遺跡を集落として検討する場合、礫群を抜きにしては語れないことを示している。これはすでに勾坂中遺跡の調査で実践、強調されていることである。それは礫群の数が多いという数字だけの問題ではない。高見丘Ⅲ遺跡のエリア3を例にとってみる。微高地部分では、ブロック11、12を囲むように礫群が分布しており、これらの礫群の間で頻繁な礫群間接合が見られた。接合関係から北側のサブエリアと南側のサブエリアに分けたが、これらの礫群がごく近い時期に連続して形成されたと考えて良いであろう。接合関係から見ると、数基の礫群ごとにまとまりがあるようで、礫群の使用単位を抽出できそうである。集落論の中で礫群の使用単位抽出は、礫群の使用法の解明のほか、単位集団へのアプローチなど、意義は大きい。

また、個々の礫群に注目すると、Ⅲ遺跡エリア3の礫群78は、配石など大きめの礫が2～3重の円弧状に並び、その北側に小さな礫が集中するという礫分布を示している。接合関係は北側の小さな礫の間に集中しており、南側の配石などでは破砕率が低いこともあり接合はあまり見られない。このような礫群内の接合の仕方は、礫の配列、仕分けといった作業を示している可能性を示唆しており、礫群の形

成過程、使用方法を検討する上で興味深い状況を示している。Ⅳ遺跡エリア1の礫群20は、現場で出土した時から強い印象が残っている礫群である。平均重量が600gを超えており、礫の分布にも、平たい石の平坦面に内側に向けて、礫を如のように組んだ形跡があり、それと関連するように礫群周辺に炭化物が分布している。これも礫群の使用過程を検討する上で重要な礫群と考えられる。礫群内接合に方向性や偏りが見られる礫群は他にもあり、今後の検討が期待できる。他にも、Ⅲ遺跡エリア3の礫群76など、礫群内接合が著しい礫群は、礫が割れていく過程の復原に使えそうである。

句坂中遺跡の調査でも強調されていた礫群構成礫の欠落についても、今回の調査で同様の結果を得ている。接合作業の結果、完形に戻る礫はほとんどないということ、すなわち、礫群内から欠落した礫が多量にあることが明らかとなった。礫群間や礫群外礫との接合でも補完できたものはほとんど認められなかった。今回の接合作業では、最大40mまでの接合をカバーするようにしたため、欠落した礫は礫群から40m以上離れた所に存在することになる。

7 配石

今回の調査では、礫の重量分布の検討から重さ900g以上の礫を配石とした。配石の出土状況を見ると、まず、礫群の中に含まれるのものと、礫群から離れて独立しているのものとある。両者ではおそらく機能や性格が違うであろう。当初は、礫群の中に入っているものは礫群の構成礫として、配石の分類からはすくなくとも検討したが、礫群の脇にあった場合、これを礫群の構成礫とするかどうか、判断に迷うものが多かったため、現時点では、重さだけを配石の分類基準としている。しかし、重さ900gを超える礫でも、礫群の構成礫の場合と単独で出土したものでは、機能や性格の違いが予想できる以上、さらに検討したうえで配石の下位のレベルで分類、検討しなければならない。次に、単独で出土した配石の検討である。中には重さ10kgを超えるものもあり、表面に使用によると思われる窪みが見られるものがある。重さから考えてそこに据え付けて使用したことは明らかである。配石そのものの検討よりも、エリア内での出土位置や、礫群や石器ブロックとの位置関係から検討した方が、展望が開けると思われる。

8 土坑

18基を検出した広野北遺跡が約300m南に控えているため、土坑の検出には注意を払った結果、10基を検出した。今回検出した10基中、4基はトレンチや深堀にかかっていた検出であった。平面での検出が難しかったため、本来はもう何基か土坑があったかもしれない。土坑の配列などの分布の特徴はないが、遺物の分布域から離れているのが大きな特徴である。Ⅲ遺跡エリア3の土坑4は、遺物が集中している微高地部分から50mも離れた谷底付近で検出した。周囲にはまったく遺物が分布していない。遺物の有無が調査域の決定にならないことは注意しなければならない。今回検出した土坑は、平面形から見ると円形・楕円形と方形のものに分けられる。そして、深さは円形・楕円形の土坑が1mに満たないのに対して、方形の土坑は1mをはるかに超え、Ⅳ遺跡エリア1の土坑3は約1.5m、Ⅲ遺跡エリア3の土坑4は2m近い深さである。それも鉄製のスコップでも容易には掘れない非常に硬い鬼盤を掘り抜き、磐田原礫層までも掘り込んでいる。これほどの労力を費やした土坑の機能は何であろうか。広野北遺跡では、土坑が礫群やブロックが分布する生活域から検出されたことや、土坑の埋土からオニグルミが出土したことから、貯蔵穴の可能性を指摘している。これに対して高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡では、土坑は礫群やブロックが分布する生活域から離れる傾向がある。それでも円形・楕円形の土坑は、遺物の集中域から10～20mほどの距離である。これに対して方形の土坑は、遺物の集中域から30～50m離れている。日常生活の中での利用頻度に違いがあるかもしれない。こうして考えると円形・楕円形の土坑は貯蔵穴、方形の土坑は落とす穴の可能性が出てくる。土坑内からほとんど遺物が出土していないことから、土坑の

機能の解明は別の手がかりによって間接的に迫ることになる。静岡県東部で検出されている土坑群と、立地や形態を比較することから解明が期待できる。

9 エリアの評価

①Ⅲ遺跡エリア1

このエリアは調査区西側の谷を望む微高地と、そこから東の谷に向かって緩やかに下っていく斜面からなっている。遺物の集中域は3カ所あり、微高地上に1カ所、東側の緩斜面に2カ所ある。微高地上には礫群、配石とともにブロック4がある。ブロック4は高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡でも内容の充実した、良好な一括資料である。石器、礫群の接合関係から見て、微高地上の遺物はほぼ同時期に存在したと考えられる。このエリアの主要な居住域であったと評価できる。一方、東側の斜面には、礫群の集中域があるが、石器の分布は貧弱である。分布する石器も単独個体の資料が主体となる。おそらく短期間の居住域で、石器を製作するよりも持ち込んだ石器を消費し、遺棄していったのであろう。

②Ⅲ遺跡エリア2

エリア1から北に伸びる微高地上に広がるエリアである。西と東を谷にはさまれた南北方向に細長いエリアである。微高地上に礫群、ブロックが散在しているが、北西隅で検出した入り江状の浅谷の周辺に集まる傾向がある。谷を望むあたりに居住域があったと考えられるが、全体的に遺物が少なく、特に石器の少ないエリアである。石器を見ると単独個体の石器が主体で、持ち込んだ石器を遺棄していった、すなわち、石器を消費するエリアであったようである。ブロックは、単独個体が主体となるブロックが多く、石器を製作した痕跡はあまり見られない。短期間の居住を繰り返したエリアと考えられる。礫群では、炭化物の集中域を伴う礫群が目立っている。火処と礫群の関係を探る資料となるであろう。また、このエリアでは炭化物の集中域が目立っており、火処の推定と遺跡の年代測定に重要な資料となっている。

③Ⅲ遺跡エリア3

微高地とその西側の谷に向かう緩傾斜部分からなっている。遺構、遺物は微高地と緩斜面の微高地に近い部分に集中している。微高地では、ブロック11、12を中心にしてそれを囲むように礫群、ブロックが円弧状に分布している。ブロック11、12では石器製作の痕跡が顕著であるのに対して、その周辺にあるブロックでは完成品の割合が高くなっており、石器を製作するよりも石器を使用する空間であったらしい。石器の接合関係はあまり頻繁ではないが、下記の礫の接合と合わせると、微高地上のブロックはほぼ同時期に存在したと考えられる。ブロック11、12とその周辺のブロックとの間での個体の共有数は決して多くないが、中央のブロックで製作した石器の一部を周辺に持ち出して使用していることが考えられる。

礫群では頻繁な礫群間接合が見られた。これらの礫群が非常に近い時期に存在したことを示している。今後の検討に委ねる部分が多いが、エリアの分析から集落の復原に迫る良好なモデル地域となるであろう。

④Ⅳ遺跡エリア1

ほぼ全体が微高地にあたっている。遺物が集中しているのは西側に限られている。ブロック5とブロック8のブロック間接合や礫の接合関係から見て、微高地西側のブロック、礫群が非常に近い時期に残されたと考えられる。調査区の西側には現在の水路に沿った埋没谷があり、それを望むあたりに居住域を構えていたと考えられる。これに対して、エリアの中央から東側は微高地にあたっているが、遺物の分布はまばらで、礫群、ブロックは分布していない。谷を望むような見通しのきく場所を居住域に選んでいたようである。石器ブロックでは、男女倉型尖頭器に類似した尖頭器を含んだブロック8は、石器群の時期決定に重要な資料となっている。

⑤Ⅳ遺跡エリア2

エリア1との境界になっている自然流路を望む部分に遺構、遺物が集中しているが、量は多くない。特に、自然流路の東側にも微高地が広がっているが、微高地部分の遺構、遺物は貧弱である。流路のあたりは、土層の所見から、湿地状になっていたと考えられ、居住に適していなかったであろう。

⑦Ⅳ遺跡エリア3

今回の調査ではもっとも西にあるエリアで、他のエリアとは埋没谷を隔てて別の微高地状にあり、高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡では唯一、広野北遺跡と同じ微高地状にある。調査域は狭いが、特に礫の分布が比較的密で、良好な礫群が出土している。調査区の周辺にも微高地は広がっているが、攪乱によって遺構、遺物は失われている。おそらく周辺にも多くの遺構、遺物が存在していたと思われる。

10 おわりに

24500㎡という広範囲を調査し、旧石器時代の集落の検討に重要な資料を得ることができた。遺跡の地形は、微高地と浅谷からなっており、微高地上に遺構、遺物が集中し、居住域を形成し、そこから離れた遺物が希薄な所には土坑が掘ってあるという、当時の集落を、周辺の景観を含めて復原することができる。遺物が希薄な所に土坑があるということは、今後の調査において、遺物の粗密だけが調査域の決定手段にはならないことを物語っている。今回の報告は、最低限の事実報告の充実に努め、研究に関する分野は、資料を公にした後の課題とした。したがって、ここでは今後の展望を指摘するにとどめた。

今回の調査では、礫群を2基保存した。1基は取り上げた礫に強化処理をした後に再び、出土状態に戻し、調査後に完成した東名高速道路の遠州豊田パーキングエリア内に展示してある。1基は出土状態を保つため、現地で出土した状態で地面ごと切り取ってクレーンで吊り上げ、トラックで持ち帰り、保存処理を行うという、大がかりな作業を実行した。これらの作業は、文化財の新しい活用方法を実現するための試行であると同時に、当研究所の保存処理技術の威信を懸けた作業でもあった。また、巻末に全遺物の台帳と遺物接合の一覧を掲載した。見にくいとか、長すぎるなどといった嫌いもあるかもしれないが、文化財の保存、活用の見直しが真剣、かつ、深刻な問題として直面している現在、今後の調査数・量の増大を見込んだとき、近い将来、ある決断を迫られるかもしれない。いかなる事態になっても、永久に復原できないデータが生じないようにとの祈りを込めて掲載した。

出土遺物一覧表

計測値の単位は、長さ、幅、厚さについてはmm、重さについてはgである。

計測値に*がついているものは欠損を示す。

Table with columns: 序号 (Serial Number), 出土层 (Excavation Layer), 出土期 (Excavation Period), 所属墓葬 (Associated Tomb), 石料 (Material), 平面号 (Plan Number), Y坐标 (Y Coordinate), Z坐标 (Z Coordinate), 层号 (Layer Number), 朝向 (Orientation), 单位 (Unit), 备注 (Remarks), 备注 (Remarks), 备注 (Remarks), 备注 (Remarks), 备注 (Remarks), 备注 (Remarks). The table lists archaeological findings across various layers and sites, including items like 81 F1010, 82 F1010, etc., with their respective coordinates and layer numbers.

番号	品土名	出土地	群員数	年代	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	厚さ	高さ	形状	説明	備考	
969	H1717	3a	43	5a	-138912.849	-60204.805	53.758	17	14	6	3	×	○	×	7243
970	H1717	3a	43	5a	-138912.931	-60204.072	53.618	43	30	24	21	△	○	△	7244
971	H1717	3a	43	5a	-138913.006	-60204.755	53.646	26	15	14	6	○	○	○	7245
972	H1717	3a	43	5b	-138913.064	-60204.511	53.780	19	10	8	2	○	○	○	7246
973	H1717	3a	43	5a	-138913.270	-60204.342	53.756	27	19	13	8	○	○	○	7247
974	H1717	3a	43	5a	-138913.426	-60204.464	53.825	38	32	15	16	○	○	○	7248
975	H1717	3a	43	5b	-138913.553	-60204.422	53.770	33	28	21	16	○	○	○	7249
976	H1717	3a	43	5b	-138913.593	-60204.142	53.738	40	31	19	19	×	○	×	7250
977	H1717	3a	43	5b	-138913.689	-60204.129	53.771	20	18	12	3	○	○	○	7251
978	H1717	3a	43	5a	-138913.758	-60204.042	53.730	24	18	8	3	○	○	○	7252
979	H1717	3a	43	5a	-138913.960	-60204.196	53.717	33	23	19	9	○	○	○	7253
980	H1717	3a	43	5a	-138914.221	-60202.779	53.861	33	33	17	12	○	○	○	7254
981	H1717	3a	43	5b	-138914.317	-60203.829	53.750	18	15	10	2	×	○	×	7255
982	H1717	3a	43	5a	-138914.683	-60203.974	53.723	41	35	16	16	○	○	○	7256
983	H1717	3a	43	5a	-138915.134	-60204.798	53.693	32	23	22	23	×	○	×	7257
984	H1717	3a	43	5a	-138915.316	-60204.825	53.843	38	34	12	16	○	○	○	7258
985	H1717	3a	43	5a	-138914.942	-60203.021	53.722	34	17	15	9	×	○	×	7259
986	H1717	3a	43	5a	-138915.026	-60203.071	53.764	62	31	24	46	○	○	○	7260
987	H1717	3a	43	5a	-138915.313	-60203.581	53.806	64	31	24	61	△	○	△	7261
988	H1717	3a	43	5a	-138915.506	-60203.558	53.851	33	26	20	12	○	○	○	7262
989	H1717	3a	43	5a	-138915.572	-60203.850	53.820	26	19	15	7	△	○	△	7263
990	H1717	3a	43	5a	-138915.826	-60203.218	53.780	48	28	18	24	○	○	○	7264
991	H1717	3a	43	5a	-138915.837	-60204.775	53.610	16	10	8	8	○	○	○	7271
992	H1717	3a	43	5a	-138915.926	-60204.423	53.614	28	21	15	11	○	○	○	7272
993	H1717	3a	43	5b	-138916.007	-60203.283	53.736	19	13	4	1	○	○	○	8217
994	H1717	3a	43	5a	-138916.011	-60204.740	53.694	38	24	13	9	○	○	×	8218
995	H1717	3a	43	5a	-138916.026	-60203.071	53.764	28	19	9	5	○	○	○	8219
996	H1717	3a	43	5a	-138916.267	-60204.460	53.741	18	17	6	2	○	○	○	7274
997	H1717	3a	43	5a	-138916.046	-60204.604	53.625	23	15	10	3	○	○	○	7276
998	H1717	3a	43	5a	-138916.632	-60204.354	53.705	21	16	14	3	○	○	×	7277
999	H1717	3a	43	5a	-138916.608	-60204.483	53.752	40	37	23	21	○	○	○	7278
1000	H1717	3a	43	5a	-138916.702	-60204.507	53.780	27	16	10	3	○	○	○	7279
1001	H1721	3a	43	5a	-138916.826	-60204.202	53.718	35	24	14	10	○	○	○	7280
1002	H1721	3a	43	5a	-138917.071	-60204.278	53.761	34	27	13	10	○	○	○	7284
1003	H1722	3a	43	5a	-138916.196	-60204.827	53.651	66	45	21	78	×	×	×	7317
1004	H1722	3a	43	5b	-138916.150	-60204.852	53.639	48	30	28	46	○	○	○	7318
1005	H1722	3a	43	5a	-138916.019	-60204.683	53.780	21	15	10	4	○	○	○	7320
1006	H1722	3a	43	5a	-138916.052	-60203.527	53.765	47	29	29	28	○	○	○	7285
1007	H1722	3a	43	5a	-138916.058	-60203.547	53.772	38	30	22	19	○	○	○	7286
1008	H1722	3a	43	5a	-138916.070	-60203.496	53.700	34	29	14	11	○	○	○	7287
1009	H1722	3a	43	5a	-138916.021	-60203.908	53.740	25	20	8	3	×	○	×	7290
1010	H1722	3a	43	5a	-138917.104	-60203.894	53.815	41	27	27	19	○	○	○	7300
1011	H1722	3a	43	5a	-138916.435	-60204.882	53.713	40	28	18	20	○	○	○	7303
1012	H1722	3a	43	5a	-138916.978	-60204.642	53.658	17	13	12	2	○	○	○	7305
1013	H1722	3a	43	5a	-138916.976	-60204.423	53.581	61	32	29	51	○	○	○	7306
1014	H1722	3a	43	5a	-138916.435	-60204.823	53.736	28	17	14	7	○	○	×	7307
1015	H1722	3a	43	5a	-138917.156	-60204.921	53.753	27	16	14	5	○	○	○	7308
1016	H1722	3a	43	5a	-138917.231	-60204.652	53.795	15	9	8	1	○	○	○	7309
1017	H1722	3a	43	5a	-138917.224	-60204.832	53.801	19	11	7	1	○	○	○	7310
1018	H1722	3a	43	5a	-138917.294	-60204.178	53.670	22	16	7	3	○	○	○	7315
1019	H1722	3a	43	5a	-138917.113	-60204.041	53.738	26	18	8	4	○	○	○	7313
1020	H1722	3a	43	5a	-138917.288	-60203.981	53.570	57	41	23	58	○	○	×	7314
1021	H1722	3a	43	5a	-138916.195	-60203.908	53.660	21	18	12	4	○	○	○	7316
1022	H1827	3a	0	5a	-138888.922	-60205.410	53.964	67	38	35	80	○	○	×	7861
1023	H1822	3a	0	5a	-138888.844	-60205.467	53.877	86	82	50	396	○	○	×	7860

番号	出土層	土層	開闢7m以内	種類	石材	形状	X座標	Y座標	Z座標	高さ	幅	厚さ	長さ	段合番号	取上番号	調査号	備考
160	F1620	3a	14	Ch	Tu	XXXXX	-126882.252	-60222.128	84401	8	5	2	0.04	0	7785		
161	F1620	3a	14	Fl	Tu	TuJ71	-126881.713	-60222.218	84416	*7	11	3	0.12	0	7776		
162	F1620	3a	14	Fl	Tu	TuJ76	-126884.918	-60222.817	84376	48	22	10	2.25	0	7778		
163	F1620	3a	14	Fl	Ch	ChN05	-126884.787	-60222.699	84224	26	26	8	7.02	0	7779		
164	F1620	3a	14	Fl	Tu	TuJ08	-126884.885	-60221.813	84205	11	27	8	0.71	0	7803		
105	F1624	3a	14	Ch	Tu	XXXXX	-126886.828	-60222.288	84272	5	7	2	0.04	0	7810		
165	F1619	3a	14	Fl	Tu	TuJ05	-126887.658	-60222.862	84258	18	15	5	1.15	0	7842		
167	G1623	3a	0	Fl	On	ChN7	-126886.621	-60220.565	84128	*13	*13	12	0.24	0	7838		
166	G1623	3a	0	Fl	Sr	SrN9	-126886.789	-60222.481	83988	48	20	11	19.93	0	7837		
169	F1713	3a	0	Fl	Tu	TuJ71	-126891.383	-60228.882	84356	27	13	7	1.32	0	7904		
170	F1708	3a	0	So	Sr	SrJ10	-126892.226	-60241.627	84272	25	21	9	5.67	0	7909	68-4	
171	G1623	3a	0	Ch	Tu	XXXXX	-126886.865	-60222.285	84208	7	7	3	0.1	0	7911		
172	F1614	3a	14	Fl	Tu	TuJ06	-126881.713	-60221.401	84172	17	11	3	0.37	0	7972		
173	F1619	3a	14	Ch	Tu	XXXXX	-126882.782	-60222.457	84158	9	5	2	0.06	0	8042		
174	F1618	3a	14	Fl	Tu	XXXXX	-126887.871	-60225.083	84145	10	5	2	0.06	0	8047		
175	F1619	3a	14	Fl	Fl	SrJ05	-126882.989	-60222.226	84190	84	24	12	16.44	0	8050	85-2	
176	F1619	3a	14	Fl	Tu	TuJ72	-126882.681	-60224.455	84157	14	17	5	0.82	0	8056		
177	F1619	3a	14	Ch	Tu	XXXXX	-126882.626	-60224.249	84125	8	8	1	0.05	0	8058		
178	F1619	3a	14	Fl	Tu	TuJ10	-126882.288	-60224.218	84087	25	18	6	1.18	0	8061		
179	F1619	3a	14	Ch	Tu	XXXXX	-126883.027	-60224.747	84128	3	2	1	0.01	0	8063		
180	F1620	3a	14	Fl	Tu	TuJ10	-126882.696	-60222.970	84065	6	17	2	0.22	54	8106		
181	F1602	3a	7	Fl	So	SoJ06	-126892.824	-60246.285	84388	20	13	3	2.78	0	8227		
182	F1602	3a	7	Fl	Ch	ChN29	-126892.824	-60246.285	84388	10	9	2	0.19	0	8228		
183	F1602	3a	7	Ch	So	XXXXX	-126892.824	-60246.285	84388	6	9	2	0.09	0	8229		
184	F1602	3a	7	Ch	So	XXXXX	-126892.824	-60246.285	84388	4	9	2	0.06	0	8230		
185	F1602	3a	7	Ch	On	ChN30	-126892.824	-60246.285	84388	8	4	1	0.06	0	8231		
186	F1602	3a	7	Ch	So	XXXXX	-126892.824	-60246.285	84388	4	7	2	0.05	0	8232		
187	H1717	3a	8	Ch	Tu	XXXXX	-126892.824	-60246.285	84388	7	6	1	0.04	0	8233		
188	F1614	3a	14	Ch	Tu	XXXXX	-126891.828	-60223.585	84328	4	2	1	0.03	0	8234		
189	F1614	3a	14	Ch	Tu	XXXXX	-126891.828	-60223.585	84328	2	2	1	0.01	0	8235		
190	F1614	3a	14	Ch	Tu	XXXXX	-126891.282	-60224.289	84462	2	1	1	0.01	0	8236		
191	F1614	3a	14	Ch	Tu	XXXXX	-126891.282	-60224.289	84462	3	2	1	0.01	0	8237		
192	F1620	3a	14	Fl	Tu	TuJ10	-126882.689	-60222.970	84065	11	12	2	0.17	0	8238		

番号	出土区	出土層	所属層群	石材	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	高さ	厚さ	形状	刻印	刻部形状	取上番号
1987	M1707	3a	8B	Se	-138904.670	-60124.905	54.384	42	41	28	43	○	K	×	3813
1988	M1707	3a	8B	Se	-138804.617	-60125.019	54.348	27	22	8	3	○	○	○	3814
1988	M1707	3a	8B	Se	-138804.614	-60124.634	54.358	85	84	38	118	×	○	△	3815

番号	出立区	出立車	所属	性別	年代	種別	石川	船場	X座標	Y座標	Z座標	高さ	幅	長さ	最大	積の体積	取上容量	設備等	備考	
1219	M181	Ja	23	Fl	5/1	S/00	-13887147	-6012171	5438	16	20	7	1.8	0	4165					
1220	M181	Ja	23	Fl	5/1	S/00	-13888117	-6012268	5441	6	11	0	0	0	1166					
1221	M181	Ja	23	Kn	5/1	S/18	-13889470	-6012659	5443	17	18	2	0.81	0	4167	151	2			
1222	M181	Ja	23	Fl	5/1	S/18	-13890574	-6012725	5447	10	5	0	0.07	0	4170	165-3下				
1223	M181	Ja	23	Fl	5/1	S/18	-13890511	-6012601	5445	11	6	2	0.18	0	4169					
1224	M181	Ja	23	Fl	5/1	S/18	-13890122	-6012170	5438	12	13	2	0.29	0	4170					
1225	M181	Ja	23	Fl	5/1	S/18	-13890127	-6012171	5438	12	13	2	0.29	0	4170					
1226	M182	Ja	23	Fl	5/1	S/00	-13889281	-6012738	5450	12	16	6	0.80	0	4172					
1227	M182	Ja	23	Fl	5/1	S/41	-13889715	-6012623	5439	21	21	8	3.24	0	4173					
1228	M182	Ja	23	Fl	5/1	T/00	-13897180	-6012402	5448	6	9	0	0.36	0	4174					
1229	M182	Ja	23	Fl	5/4	S/XX	-13878071	-6012513	5449	14	11	5	0.56	0	4175					
1230	M182	Ja	23	Fl	5/1	S/00	-13890568	-6012168	5448	24	20	6	0.16	0	4177					
1231	M182	Ja	23	Fl	5/1	S/00	-13890499	-6012487	5437	27	23	10	4.90	0	4176					
1232	M182	Ja	23	Fl	T/00	-13897811	-6012079	5440	18	14	4	0.58	0	4179						
1233	M182	Ja	23	Fl	5/1	S/18	-13891289	-6012651	5445	10	6	0	0.15	0	4180				計測不能	
1234	M182	Ja	23	Fl	5/1	S/XX	-13896132	-6012271	5431	15	6	3	0.13	0	4182					
1235	M182	Ja	23	Fl	5/1	S/XX	-13890127	-6012171	5448	15	6	0	0.12	0	4183					
1236	M182	Ja	23	Fl	5/1	S/01	-13898144	-6012130	5440	21	23	6	0.45	0	4184					
1237	M183	Ja	23	Fl	5/1	S/14	-13887125	-6012100	5450	22	21	4	1.78	0	4185				計測不能	
1238	M183	Ja	23	Fl	T/00	-13897187	-6009118	5436	7	0	0	0.36	0	4186						
1239	M183	Ja	23	Fl	5/4	S/42	-13889201	-6009117	5412	27	24	19	3.83	0	4187					
1240	M183	Ja	23	Fl	5/1	S/00	-13889181	-6012428	5449	24	20	4	1.98	0	4188					
1241	M183	Ja	23	Fl	5/1	S/00	-13888104	-6013148	5437	38	35	15	3.60	0	4189					
1242	M182	Ja	23	Fl	5/1	S/00	-13889205	-6014267	5415	27	50	15	36.54	0	4190					
1243	M182	Ja	23	Fl	5/4	S/00	-13889181	-6014889	5443	19	10	3	0.32	0	4191					
1244	M182	Ja	23	Gr	5/1	S/01	-13899474	-6012132	5437	31	44	40	18.51	0	4190					
1245	M183	Ja	23	Fl	5/1	S/17	-13890133	-6012517	5452	27	29	10	3.59	0	4192					
1246	M183	Ja	23	Fl	5/1	S/XX	-13890170	-6012188	5452	11	9	2	0.17	0	4194					
1247	M183	Ja	23	Fl	5/1	S/43	-13890174	-6012189	5449	16	23	7	1.85	0	4195					
1248	M183	Ja	23	Fl	5/1	S/00	-13890256	-6012168	5449	18	23	7	1.27	0	4196					
1249	M183	Ja	23	Co	5/1	S/16	-13890320	-6012155	5448	45	25	24	35.80	0	4197					
1250	M183	Ja	23	Co	5/1	S/00	-13899476	-6012479	5436	16	6	2	0.68	0	4198					
1251	M183	Ja	23	Co	5/1	S/XX	-13890222	-6012623	5443	18	11	2	0.34	0	4199					
1252	M183	Ja	23	Fl	5/1	S/XX	-13890136	-6012129	5450	10	5	4	0.1	0	4200					
1253	M183	Ja	23	Fl	5/1	S/16	-13890466	-6012498	5446	4	6	0	0.36	0	4201					
1254	M182	Ja	23	Co	5/1	S/147	-13899733	-6012907	5472	40	44	23	41.65	0	4202	151-3				
1255	M182	Ja	23	Kn	5/4	S/44	-13899245	-6012046	5437	+33	21	10	4.43	0	4200	151-1				
1256	M181	Ja	22	Fl	5/1	S/18	-13891118	-6012188	5436	38	35	16	3.62	0	4205					
1257	M181	Ja	22	Fl	5/1	S/00	-13890889	-6012140	5440	30	25	16	5.42	0	4205					
1258	M181	Ja	22	Fl	5/1	S/00	-13890160	-6012142	5433	31	27	0	0.1	0	4206					
1259	M181	Ja	22	Fl	5/1	S/24	-13892200	-6012058	5435	18	20	22	0.7	0	4207					
1260	L130	Ja	22	Fl	5/1	S/14	-13891446	-6012129	5438	18	12	2	0.62	0	4208					
1261	M183	Ja	22	Co	5/1	S/XX	-13891569	-6012188	5449	6	2	0	0.02	0	4209					
1262	M183	Ja	23	Fl	5/4	S/00	-13891062	-6012135	5429	18	18	5	1.21	0	4210					
1263	M183	Ja	23	Fl	5/1	S/00	-13890208	-6012168	5449	6	0	0	0.04	0	4211				150-3	
1264	M181	Ja	22	Co	T/00	-13892796	-6012048	5434	40	+12	7	0.48	0	4213						
1265	M181	Ja	22	Co	T/00	-13892796	-6012048	5434	40	0	0	0.48	0	4213						
1267	M181	Ja	22	Co	T/00	-13892796	-6012048	5434	40	4	2	0.62	0	4214						
1268	M181	Ja	22	Co	T/00	-13892796	-6012048	5434	40	0	0	0.48	0	4214				計測不能		
1269	M181	Ja	22	Fl	S/XX	-13893111	-6012188	5444	11	4	0	0.26	0	4217						
1270	M181	Ja	22	Fl	S/XX	-13893111	-6012188	5444	11	4	0	0.26	0	4217						
1271	M181	Ja	22	Fl	S/XX	-13893111	-6012188	5444	11	4	0	0.26	0	4217				計測不能		
1272	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/14	-13894088	-6012974	5428	41	28	11	8.88	0	4220					
1273	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/00	-13894138	-6012984	5436	48	0	0	0.09	0	4221					
1274	M183	Ja	22	Fl	T/00	-13895124	-6012811	5435	14	10	5	0.22	0	4222				140-1		
1275	M171	Ja	22	Co	S/3	S/29	-13894188	-6012822	5437	31	63	36	86.37	0	4223					
1276	M171	Ja	22	Co	S/4	S/42	-13894612	-6012918	5439	17	17	0	1.73	0	4224					
1277	M171	Ja	22	Fl	S/18	S/18	-13894918	-6012918	5431	+28	26	9	4.33	0	4225	140-2				
1278	M171	Ja	22	Fl	S/18	S/18	-13894918	-6012918	5431	+28	26	9	4.33	0	4225	140-3				
1279	M183	Ja	22	Co	S/2	S/43	-13897785	-6012884	5442	60	46	32	99.02	0	4227	140-4				
1280	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/03	-13897741	-6012819	5447	29	8	8	1.75	0	4228					
1281	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/05	-13897624	-6012819	5444	6	0	0	0.07	0	4229					
1282	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/XX	-13896978	-6012974	5436	12	6	2	0.14	0	4230					
1283	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/18	-13896978	-6012974	5436	12	6	2	0.14	0	4230					
1284	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/17	-13896918	-6012930	5438	25	25	7	4.47	0	4232					
1285	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/05	-13896761	-6012926	5438	17	15	10	3.76	0	4233					
1286	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/05	-13896761	-6012926	5438	17	15	10	3.76	0	4233					
1287	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/17	-13896761	-6012926	5438	17	+19	+17	5	1.26	0	4233				
1288	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/05	-13896761	-6012926	5438	17	15	10	3.76	0	4233					
1289	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/05	-13896761	-6012926	5438	17	15	10	3.76	0	4233					
1290	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/17	-13896761	-6012926	5438	17	15	10	3.76	0	4233					
1291	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/05	-13896761	-6012926	5438	17	15	10	3.76	0	4233					
1292	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/05	-13896761	-6012926	5438	17	15	10	3.76	0	4233					
1293	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/05	-13896761	-6012926	5438	17	15	10	3.76	0	4233					
1294	M183	Ja	22	Co	S/4	S/XX	-13894488	-6012974	5438	3	2	0	0.02	0	4242					
1295	M183	Ja	22	Fl	T/00	-13894572	-6012897	5421	27	5	3	0.29	0	4243						
1296	M183	Ja	22	Fl	5/1	S/18	-13894488	-6012974	5438	+18	16	4	0.63	0	4244				180-3下	
1297	M183	Ja	22	Co	T/00	-13894488	-6012974	5438	0	0	0	0.00	0	4248				計測不能		
1298	M183	Ja	22	Co	T/00	-13894488	-6012974	5438	0	0	0	0.00	0	4248						
1299	M183	Ja	22	Co	T/00	-13894488	-6012974	5438	0	0	0	0.00	0	4248				計測不能		
1300	M183	Ja	22	Fl	T/00	-13895056	-6013169	5440	11	17	5	0.69	0	4248						

番号	出士区	出上層	所属M/F	階層	種別	種別	Y座席	Y座席	Y座席	Y座席	換	換	換	換	換	換	換	換	換
1342	M717	3a	19	Ch	S1	So176	-138972201	-001022386	54408	39	53	32	84.05	0	4291	143-5			
1343	M717	3a	19	Ch	S1	So181	-138972184	-001024344	54417	41	16	33	84.07	0	4294				
1344	M717	3a	19	Ch	S1	So137	-138972567	-001043209	54325	16	19	4	89.5	0	4295				
1345	M717	3a	19	Ch	S1	So177	-138972202	-001024344	54416	41	16	33	84.07	0	4296				
1346	M717	3a	19	Ch	S1	So113	-138972414	-00104797	54444	44	20	6	43.2	0	4297				
1347	M717	3a	19	Ch	S1	So137	-138972567	-00104797	54445	44	20	6	43.2	0	4298				
1348	M717	3a	19	Ch	S1	Tu1639	-138971403	-00105232	54416	41	16	33	84.07	0	4299				
1349	M717	3a	19	Ch	S1	Tu1643	-138972104	-00105543	54448	44	20	6	43.2	0	4300				
1350	M717	3a	19	Ch	S1	Tu1643	-138972104	-00105543	54448	44	20	6	43.2	0	4301				
1351	M717	3a	21	Fl	Tu	Tu1609	-138971309	-00109098	54390	8	10	3	21.4	0	4302				
1352	M717	3a	21	Fl	So	So111	-138972336	-00102432	54392	39	30	24	31.7	0	4303				
1353	M717	3a	21	Fl	So	So111	-138972336	-00102432	54392	39	30	24	31.7	0	4304				
1354	M717	3a	21	Fl	So	So111	-138972336	-00102432	54392	39	30	24	31.7	0	4305				
1355	M717	3a	21	Fl	So	So111	-138972336	-00102432	54392	39	30	24	31.7	0	4306				
1356	M717	3a	19	Fl	So	So142	-138972072	-00109214	54325	16	19	4	89.5	0	4307				
1357	M717	3a	19	Fl	So	So142	-138972072	-00109214	54325	16	19	4	89.5	0	4308				
1358	M717	3a	0	Ch	So	So100X	-138971331	-00101512	54378	8	4	1	80.7	0	4309				
1359	M717	3a	0	Fl	So	So145	-138971454	-00104446	54416	41	16	33	84.07	0	4310				
1360	M717	3a	0	Fl	So	So100X	-138971730	-00104443	54615	11	31	10	34.5	0	4311				
1361	M717	3a	0	Fl	So	So100X	-138971420	-00104223	54619	10	9	2	31.6	0	4312				
1362	M717	3a	0	Fl	So	So145	-138971454	-00104446	54416	41	16	33	84.07	0	4313				
1363	M717	3a	0	Fl	So	So100X	-138971787	-00104146	54643	13	17	2	33.8	0	4314				
1364	M717	3a	19	Fl	So	So111	-138972336	-00102432	54392	39	30	24	31.7	0	4315				
1365	M717	3a	19	Fl	So	So100X	-138971137	-00103702	54611	6	12	3	31.2	0	4316				
1366	M717	3a	0	Fl	So	So100X	-138971988	-00102132	54685	18	10	4	33.3	0	4317				
1367	M717	3a	0	Fl	So	So100X	-138971988	-00102132	54685	18	10	4	33.3	0	4318				
1368	M717	3a	0	Ch	So	So100X	-138972059	-00102450	54590	3	2	0	99.8	0	4319				
1369	M717	3a	0	Ch	So	So100X	-138972045	-00102128	54584	0	0	0	99.2	0	4320				
1370	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138971938	-00103205	54338	7	9	22	42.92	18	4321			
1371	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138971938	-00103205	54338	7	9	22	42.92	18	4322			
1372	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138971938	-00103205	54338	7	9	22	42.92	18	4323			
1373	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138971938	-00103205	54338	7	9	22	42.92	18	4324			
1374	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138971938	-00103205	54338	7	9	22	42.92	18	4325			
1375	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138971938	-00103205	54338	7	9	22	42.92	18	4326			
1376	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138971938	-00103205	54338	7	9	22	42.92	18	4327			
1377	M717	3a	0	Fl	So	So11	So101	-138971938	-00103205	54338	7	9	22	42.92	18	4328			
1378	M717	3a	0	Fl	So	So11	So101	-138971938	-00103205	54338	7	9	22	42.92	18	4329			
1379	M717	3a	0	Fl	So	So11	So101	-138971938	-00103205	54338	7	9	22	42.92	18	4330			
1380	M717	3a	11	Fl	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4331			
1381	M717	3a	11	Fl	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4332			
1382	M717	3a	11	Fl	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4333			
1383	M717	3a	11	Fl	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4334			
1384	M717	3a	11	Fl	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4335			
1385	M717	3a	11	Fl	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4336			
1386	M717	3a	11	Fl	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4337			
1387	M717	3a	11	Fl	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4338			
1388	M717	3a	11	Fl	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4339			
1389	M717	3a	11	Fl	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4340			
1390	M717	3a	11	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4341			
1391	M717	3a	11	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4342			
1392	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4343			
1393	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4344			
1394	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4345			
1395	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4346			
1396	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4347			
1397	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4348			
1398	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4349			
1399	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4350			
1400	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4351			
1401	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4352			
1402	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4353			
1403	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4354			
1404	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4355			
1405	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4356			
1406	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4357			
1407	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4358			
1408	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4359			
1409	M717	3a	12	Ch	So	So11	So101	-138972074	-00107480	54356	17	10	6	32.3	0	4360			
1410	M71																		

番号	出立区	出立種	所属Jr(円)	種別	石材	種族	X座標	Y座標	高さ	幅	長さ	積石	積石高	積石幅	積石長さ	積石積	取立番号	取立高	取立幅	取立長さ	備考
1465	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891946	-06099137	54342	2	7	1	0.04	0	0	4420	1	1	0.04		
1466	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891912	-06100138	54368	18	13	1	0.06	0	0	4421	1	1	0.06		
1467	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891608	-06100149	54588	6	8	2	0.05	0	0	4422	1	1	0.05		
1468	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891646	-06100204	54540	7	9	2	0.05	0	0	4423	1	1	0.05		
1469	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891641	-06100210	54522	6	10	2	0.05	0	0	4424	1	1	0.05		
1470	M1723	Ja	12	Fl	S1	S0001	-13891641	-06100244	54590	*17	13	3	0.05	34	40	4425	1	1	0.05		
1471	M1722	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891640	-06100293	54535	4	8	2	0.05	0	0	4426	1	1	0.05		
1472	M1722	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891676	-06102890	54534	6	4	2	0.05	0	0	4427	1	1	0.05		
1473	M1722	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891738	-06102890	54537	5	3	2	0.07	0	0	4428	1	1	0.07		
1474	M1722	Ja	12	Ch	S1	S0001	-13891663	-06102946	54515	18	2	1	0.05	0	0	4429	1	1	0.05		
1475	M1722	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-138919206	-06102930	54394	4	4	2	0.05	0	0	4430	1	1	0.05		
1476	M1722	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891663	-06102933	54575	18	2	1	0.05	0	0	4431	1	1	0.05		
1477	M1722	Ja	12	Fl	S1	S473	-13891810	-06103142	54522	33	12	18	0.08	47	42	4432	1	1	0.08		
1478	M1722	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891825	-06103179	54570	2	2	1	0.05	0	0	4433	1	1	0.05		
1479	M1722	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891840	-06103179	54570	2	2	1	0.05	0	0	4434	1	1	0.05		
1480	M1722	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891858	-06103183	54598	3	2	1	0.05	0	0	4435	1	1	0.05		
1481	M1722	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891865	-06103183	54607	3	2	1	0.05	0	0	4436	1	1	0.05		
1482	M1722	Ja	12	Fl	S1	XXXXXX	-13891865	-06102481	54532	10	3	2	0.05	0	0	4437	1	1	0.05		
1483	M1722	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891864	-06102392	54590	3	2	0.05	0	0	4438	1	1	0.05			
1484	M1722	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891666	-06102142	54676	18	11	3	0.04	0	0	4444	1	1	0.04		
1485	M1722	Ja	12	Fl	S1	XXXXXX	-13891829	-06102144	54506	17	17	4	0.04	0	0	4440	1	1	0.04		
1486	M1722	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891829	-06102123	54539	7	3	2	0.05	0	0	4441	1	1	0.05		
1487	M1722	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891863	-06102198	54596	7	6	2	0.05	0	0	4442	1	1	0.05		
1488	M1722	Ja	12	Fl	S1	XXXXXX	-13891862	-06102205	54478	8	14	2	0.05	0	0	4443	1	1	0.05		
1489	M1722	Ja	12	Fl	S1	XXXXXX	-13891866	-06102198	54572	8	5	2	0.05	0	0	4444	1	1	0.05		
1490	M1722	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891816	-06102378	54609	8	4	3	0.07	0	0	4448	1	1	0.07		
1491	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891829	-06102197	54588	5	4	2	0.02	0	0	4449	1	1	0.02		
1492	M1723	Ja	12	Fl	S1	XXXXXX	-13891827	-06101872	54588	5	20	3	0.4	0	0	4448	1	1	0.4		
1493	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891828	-06101809	54587	3	5	2	0.04	0	0	4451	1	1	0.04		
1494	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891866	-06101900	54578	5	2	2	0.05	0	0	4450	1	1	0.05		
1495	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891859	-06101854	54528	4	4	2	0.07	0	0	4452	1	1	0.07		
1496	M1723	Ja	12	Fl	S1	XXXXXX	-13891858	-06101807	54598	12	6	2	0.12	0	0	4453	1	1	0.12		
1497	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891828	-06101822	54584	5	2	0.04	0	0	4454	1	1	0.04			
1498	M1723	Ja	12	Fl	S1	S0001	-13891848	-06102123	54588	*17	*21	8	2.34	0	0	4455	1	1	2.34		
1499	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891816	-06101807	54588	10	10	2	0.05	0	0	4456	1	1	0.05		
1500	M1722	Ja	12	Fl	S1	S0001	-13891858	-06102308	54614	31	23	6	3.85	0	0	4459	1	1	3.85		
1501	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891877	-06102198	54578	2	3	2	0.02	0	0	4459	1	1	0.02		
1502	M1722	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891828	-06101822	54594	8	8	2	0.06	0	0	4460	1	1	0.06		
1503	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891828	-06101877	54590	8	5	2	0.06	0	0	4461	1	1	0.06		
1504	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891828	-06101877	54588	8	5	2	0.06	0	0	4462	1	1	0.06		
1505	M1723	Ja	12	Fl	S1	XXXXXX	-13891849	-06101552	54558	15	13	4	0.47	0	0	4463	1	1	0.47		
1506	M1723	Ja	12	Fl	S1	XXXXXX	-13891848	-06101473	54574	10	10	5	1.05	0	0	4464	1	1	1.05		
1507	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891863	-06101287	54514	11	3	2	0.04	0	0	4467	1	1	0.04		
1508	M1723	Ja	12	Fl	S1	XXXXXX	-13891826	-06101344	54590	14	10	2	0.22	0	0	4467	1	1	0.22		
1509	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891862	-06101309	54603	6	6	2	0.05	0	0	4468	1	1	0.05		
1510	M1723	Ja	12	Fl	S1	XXXXXX	-13891857	-06101238	54494	7	10	3	0.2	0	0	4469	1	1	0.2		
1511	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891861	-06101175	54537	6	7	2	0.08	0	0	4470	1	1	0.08		
1512	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891863	-06101175	54537	6	7	2	0.08	0	0	4471	1	1	0.08		
1513	M1723	Ja	12	Fl	S1	S0001	-13891859	-06101199	54538	18	18	5	1	48	42	4472	1	1	1		
1514	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891862	-06101175	54537	6	7	2	0.08	0	0	4473	1	1	0.08		
1515	M1723	Ja	12	Fl	S1	S474	-13891833	-06100882	54475	51	28	8	12.88	0	0	4474	1	1	12.88		
1516	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891858	-06100285	54532	2	2	2	0.05	0	0	4475	1	1	0.05		
1517	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891858	-06100285	54578	6	6	2	0.05	0	0	4476	1	1	0.05		
1518	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891872	-06100287	54596	2	2	1	0.02	0	0	4477	1	1	0.02		
1519	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891822	-06100288	54583	6	6	2	0.05	0	0	4478	1	1	0.05		
1520	M1863	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13892040	-06100222	54819	7	5	2	0.07	0	0	4479	1	1	0.07		
1521	M1863	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13892052	-06100246	54606	6	6	0	0.18	0	0	4480	1	1	0.18		
1522	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891866	-06100246	54626	6	6	2	0.05	0	0	4481	1	1	0.05		
1523	M1723	Ja	12	Fl	S1	XXXXXX	-13891874	-06100240	54813	11	4	3	0.18	0	0	4482	1	1	0.18		
1524	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891858	-06100219	54515	11	11	2	0.02	0	0	4483	1	1	0.02		
1525	M1723	Ja	12	Fl	S1	S0001	-13891910	-06100240	54483	13	12	2	0.33	0	0	4484	1	1	0.33		
1526	M1723	Ja	12	Fl	S1	S0001	-13891936	-06100176	54539	16	7	5	0.22	0	0	4485	1	1	0.22		
1527	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891872	-06100176	54616	10	12	2	0.02	0	0	4486	1	1	0.02		
1528	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891862	-06100188	54534	5	5	2	0.04	0	0	4487	1	1	0.04		
1529	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891828	-06100188	54595	5	5	2	0.04	0	0	4488	1	1	0.04		
1530	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891858	-06100188	54593	5	5	2	0.04	0	0	4489	1	1	0.04		
1531	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891818	-06100177	54581	7	3	2	0.02	0	0	4490	1	1	0.02		
1532	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891818	-06100177	54581	7	3	2	0.02	0	0	4491	1	1	0.02		
1533	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891858	-06101631	54599	9	4	2	0.07	0	0	4492	1	1	0.07		
1534	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891825	-06101631	54597	12	9	2	0.02	0	0	4493	1	1	0.02		
1535	M1723	Ja	12	Fl	S1	XXXXXX	-13891818	-06100942	54594	7	13	4	0.36	0	0	4494	1	1	0.36		
1536	M1723	Ja	12	Fl	S1	S0001	-13891924	-06100281	54622	14	14	4	0.71	0	0	4495	1	1	0.71		
1537	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891858	-06100281	54582	3	2	2	0.02	0	0	4496	1	1	0.02		
1538	M1723	Ja	12	Ch	S1	XXXXXX	-13891826	-06101149	54601	8	5	2	0.08	0							

番号	出土地	出土層	所屬Dof	種類	石種	形状	寸法	重量	出所	年代	備考	図録	備考		
1824	M1703	3a	23	Fl	Sr	S-182	-139203966	-00993708	34.668	29	15	4	1.24	4819	
1825	M1701	2a	21	Fl	Sr	S-181	-139184639	-00993766	34.403	29	15	4	1.40	4818	
1826	L1608	3a	18	Fl	Sr	S-189	-138923820	-00111768	64.802	30	15	6	3.22	4818	
1827	L1604	3a	18	Fl	Sr	S-182	-139203329	-00114348	54.240	12	15	2	0.90	4822	
1828	M1703	3a	23	Fl	Sr	S-181	-139184111	-00993239	34.511	23	21	3	1.3	4825	
1829	M1603	3a	0	Fl	Sr	S-182	-139203122	-00114348	54.240	12	15	2	0.90	4822	
1830	L1608	3a	18	Fl	Sr	S-189	-138923820	-00111768	64.802	30	15	6	3.22	4818	
1841	L1614	2a	17	Cr	Sr	S-182	-139203296	-00117294	54.181	73	38	43	27.6	5580	
1842	L1614	2a	17	Fl	Sr	S-182	-139203130	-00118327	54.221	29	26	7	5	32	5584
1843	L1614	2a	17	Fl	Sr	S-182	-139203132	-00118326	54.224	33	24	6	5	35	5588
1844	L1602	2a	0	Kn	Sr	S-181	-139217465	-00123760	54.080	+14	+6	+6	6.25	5599	
1845	L1602	2a	0	Fl	Sr	S-182	-139203132	-00118326	54.224	33	24	6	5	35	5588
1846	L1613	3a	17	Kn	On	On006	-138830355	-00116327	54.175	+31	+15	3	1.4	5601	
1847	L1613	3a	17	Fl	On	On006	-138832022	-00116327	54.170	+23	+16	3	1.16	5602	
1848	L1613	3a	17	Fl	On	On006	-138831478	-00116327	54.170	+23	+16	3	1.16	5603	
1849	L1614	2a	17	Fl	On	On006	-138832022	-00116327	54.170	+23	+16	3	1.16	5604	
1850	L1614	2a	17	Fl	On	On006	-138831478	-00116327	54.170	+23	+16	3	1.16	5605	
1851	L1614	2a	17	Ch	On	On001	-138830312	-00117229	54.193	+20	+7	0	0.67	5607	
1852	L1614	2a	17	Ch	On	On001	-138830312	-00117229	54.193	+20	+7	0	0.67	5608	
1853	L1614	2a	17	Ch	On	On001	-138830312	-00117229	54.193	+20	+7	0	0.67	5609	
1854	L1614	2a	17	Kn	On	On001	-138830312	-00117229	54.193	+20	+7	0	0.67	5610	
1855	M1821	2a	22	Fl	Sr	S-181	-139184639	-00993766	34.403	29	15	4	1.13	5688	
1856	M1822	2a	23	Fl	Sr	S-189	-138923820	-00111768	64.802	30	15	6	3.22	5689	
1857	M1822	2a	23	Fl	Sr	S-189	-138923820	-00111768	64.802	30	15	6	3.22	5690	
1858	M1701	2a	21	Fl	Sr	S-181	-139184639	-00993766	34.403	29	15	4	1.13	5688	
1859	M1701	2a	21	Fl	Sr	S-181	-139184639	-00993766	34.403	29	15	4	1.13	5689	
1860	M1701	2a	21	Fl	Sr	S-181	-139184639	-00993766	34.403	29	15	4	1.13	5690	
1861	M1702	2a	0	Ch	On	Rn002	-138923820	-00111768	64.802	30	15	6	3.22	5691	
1862	M1702	2a	0	Ch	On	Rn002	-138923820	-00111768	64.802	30	15	6	3.22	5692	
1863	M1702	2a	0	Ch	On	Rn002	-138923820	-00111768	64.802	30	15	6	3.22	5693	
1864	M1711	2a	21	Fl	Sr	Sa014	-138910738	-00109716	54.223	41	27	18	22.9	5723	
1865	M1712	2a	19	Fl	Sr	Sa016	-138910738	-00109716	54.223	41	27	18	22.9	5724	
1866	M1714	2a	19	Fl	Sr	Sa018	-138910738	-00109716	54.223	41	27	18	22.9	5725	
1867	M1718	2a	19	Fl	Sr	Sa020	-138910738	-00109716	54.223	41	27	18	22.9	5726	
1868	M1718	2a	19	Fl	Sr	Sa022	-138910738	-00109716	54.223	41	27	18	22.9	5727	
1869	M1722	2a	12	Fl	Sr	Sr101	-138916641	-00021085	54.285	25	15	3	1.08	5826	
1870	M1723	2a	12	Fl	Sr	Sr104	-138916641	-00021085	54.285	19	11	6	1	0.80	5827
1871	M1801	2a	11	Fl	Sr	Rn003	-138923820	-00111768	64.802	30	15	6	3.22	5828	
1872	M1807	2a	11	Fl	Sr	Sa021	-138912459	-00100061	54.400	+21	+23	17	3.83	5829	
1873	M1818	2a	11	Fl	Sr	Sa023	-138912459	-00100061	54.400	+21	+23	17	3.83	5830	
1874	M1818	2a	11	Fl	Sr	Sa024	-138912459	-00100061	54.400	+21	+23	17	3.83	5831	
1875	M1822	2a	23	Ch	Sr	Sr028	-138821089	-00101026	54.227	20	20	8	4.35	5943	
1876	M1822	2a	23	Ch	Sr	Sr028	-138821089	-00101026	54.227	20	20	8	4.35	5944	
1877	M1822	2a	23	Ch	Sr	Sr028	-138821089	-00101026	54.227	20	20	8	4.35	5945	
1878	M1822	2a	23	Ch	Sr	Sr028	-138821089	-00101026	54.227	20	20	8	4.35	5946	
1879	M1822	2a	23	Ch	Sr	Sr028	-138821089	-00101026	54.227	20	20	8	4.35	5947	
1880	M1706	2a	22	Fl	Sr	Sa042	-138920588	-00109126	54.220	+18	+12	8	0.86	6075	
1881	L1702	2a	21	Fl	Sr	Sa048	-138911173	-00101256	54.252	42	28	15	12	6.80	6084
1882	L1715	2a	21	Fl	Sr	Sa048	-138911173	-00101256	54.252	42	28	15	12	6.80	6085
1883	L1715	2a	21	Fl	Sr	Sa048	-138911173	-00101256	54.252	42	28	15	12	6.80	6086
1884	L1725	2a	21	Fl	Ch	On005	-138918182	-00110205	54.223	12	16	3	0.44	6007	
1885	L1801	2a	0	Fl	Sr	Sa048	-138911173	-00101256	54.252	42	28	15	12	6.80	6087
1886	L1802	2a	0	Fl	Sr	Sa048	-138911173	-00101256	54.252	42	28	15	12	6.80	6088
1887	L1813	2a	17	Ch	On	On006	-138923108	-00118236	54.086	+5	+4	2	0.66	6127	
1888	L1814	2a	17	Ch	On	On006	-138923108	-00118236	54.086	+5	+4	2	0.66	6128	
1889	L1813	2a	17	Kn	On	On005	-138924932	-00112406	54.145	60	10	6	3.40	6127	
1890	L1814	2a	17	Fl	Sr	Sr105	-138920886	-00117173	53.383	48	56	10	33.16	6274	
1891	M1703	3a	23	Fl	Sr	Sa014	-138910738	-00109716	54.223	41	27	18	22.9	6081	
1892	M1708	2a	25	Ch	Tu	X0004	-138941419	-00088728	54.255	3	5	1	0.05	6209	
1893	M1708	2a	25	Ch	Tu	X0004	-138941419	-00088728	54.255	3	5	1	0.05	6210	
1894	M1708	2a	25	Ch	Tu	X0004	-138941419	-00088728	54.255	3	5	1	0.05	6211	
1895	M1708	2a	25	Ch	Tu	X0004	-138941419	-00088728	54.255	3	5	1	0.05	6212	
1896	M1708	2a	25	Ch	Tu	X0004	-138941419	-00088728	54.255	3	5	1	0.05	6213	
1897	M1708	2a	25	Ch	Tu	X0004	-138941419	-00088728	54.255	3	5	1	0.05	6214	
1898	M1708	2a	25	Ch	Tu	X0004	-138941419	-00088728	54.255	3	5	1	0.05	6215	
1899	M1804	2a	13	Fl	Sr	Sa042	-138912459	-00100061	54.400	+21	+23	17	3.83	6051	
1900	M1809	2a	13	Fl	Sr	Sa044	-138912459	-00100061	54.400	+21	+23	17	3.83	6052	
1901	M1818	2a	11	Fl	Sr	Sa021	-138912459	-00100061	54.400	+21	+23	17	3.83	6053	
1902	M1802	2a	12	Fl	Sr	Sa021	-138912459	-00100061	54.400	+21	+23	17	3.83	6054	
1903	M1804	2a	13	Fl	Sr	Sa042	-138912459	-00100061	54.400	+21	+23	17	3.83	6055	
1904	M1804	2a	13	Fl	Sr	Sa044	-138912459	-00100061	54.400	+21	+23	17	3.83	6056	
1905	M1804	2a	13	Fl	Sr	Sa044	-138912459	-00100061	54.400	+21	+23	17	3.83	6057	
1906	M1804	2a	13	Fl	Sr	Sa044	-138912459	-00100061	54.400	+21	+23	17	3.83	6058	
1907	M1804	2a	13	Fl	Sr	Sa044	-138912459	-00100061	54.400	+21	+23	17	3.83	6059	
1908	M1804	2a	13	Fl	Sr	Sa044	-138912459	-00100061	54.400	+21	+23	17	3.83	6060	
1909	M1708	2a	25	Fl	Tu	Tu002	-138904937	-00028356	54.321	23	14	3	0.6	5688	
1910	M1714	2a	21	Ch	Rn	Rn002	-138923820	-00111768	64.802	30	15	6	3.22	5694	
1911	M1805	2a	0	Rn	Sr	Sr109	-138920886	-00117173	53.383	48	56	10	33.16	6216	
1912	M1705	2a	0	Cr	Sr	Sr104	-138916641	-00021085	54.285	19	11	6	1	0.80	5829
1913	M1804	2a	13	Fl	Sr	Sa042	-138912459	-00100061	54.400	+21	+23	17	3.83	6061	
1914	M1804	2a	13	Fl	Sr	Sa042	-138912459	-0							

表 49 高見丘遺跡出土配石

番号	出土層	石種	石質	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	高さ	出土	南北	西東	調査年度	出土番号
1	E1209	2b	1	9	Sa	-139025.748	-60234.598	52.782	120	148	103	4485	×	305
2	E1210	2a	1	0	Sa	-139034.126	-60250.622	52.907	183	144	100	2400	×	1022
3	E1220	2a	1	6	Sa	-138992.844	-60251.548	53.311	214	118	73	4800	×	45
4	E1202	2b	1	8	Sh	-138995.320	-60251.071	53.316	155	114	49	1150	×	803
5	E1205	2b	1	4	Sa	-138997.627	-60252.177	53.293	128	86	74	1100	×	187
6	E1205	2b	0	6	Sa	-138996.765	-60251.295	53.289	147	71	71	1060	×	307
7	E1225	2a	1	15	Ch	-138998.117	-60250.386	53.230	132	113	84	1370	×	1355
8	E1225	2a	1	15	Sa	-138998.204	-60250.870	53.219	178	110	109	2020	×	1307
9	E1225	2a	0	6	Sa	-138998.813	-60250.452	53.245	176	113	140	2440	×	1357
10	E1215	2a	2	0	Sa	-138991.988	-60250.329	54.219	172	124	85	2243	×	7401
11	E1225	2a	2	0	Sa	-138991.822	-60251.904	54.101	254	154	108	4812	△	7482
12	E1215	22	2	0	Sa	-138991.744	-60250.420	53.863	201	163	100	4558	△	702
13	E1202	22	2	0	Sa	-138992.800	-60250.340	54.077	146	89	60	1020	×	719
14	F1201	2a	1	0	Sa	-139000.048	-60248.647	53.197	148	126	82	1200	×	820
15	F1201	2a	1	0	Sa	-139000.120	-60248.287	53.180	150	130	90	2130	△	920
16	F1201	2a	1	0	Sa	-139000.408	-60248.913	53.176	124	100	95	1500	×	933
17	F1201	2a	1	0	Sa	-139000.448	-60248.991	53.148	134	100	79	1500	×	832
18	F1201	2a	1	0	Sa	-139001.249	-60248.604	53.182	200	120	53	3000	×	952
19	F1201	2a	1	0	Sa	-139001.775	-60248.981	53.182	176	131	54	1500	×	933
20	F1201	2b	1	0	Sa	-139001.218	-60249.297	53.188	128	112	63	900	×	463
21	F1201	2a	1	10	Gr	-139000.700	-60249.788	53.138	110	96	64	1180	×	938
22	F1202	2a	1	11	Sa	-139002.535	-60249.400	53.150	156	131	98	2350	△	983
23	F1301	2b	1	0	Sa	-138992.478	-60248.918	53.837	147	138	30	1028	×	33
24	F1302	2b	1	9	Gr	-138990.517	-60249.314	53.984	129	100	75	1131	×	32
25	F1302	2b	1	0	Gr	-138992.096	-60248.398	53.958	177	85	47	1162	×	307
26	F1302	2b	1	0	Sa	-138992.934	-60249.634	53.811	165	108	81	1203	×	45
27	F1306	2b	1	7	Sa	-138998.818	-60239.212	53.577	145	103	74	1370	×	220
28	F1306	2b	1	7	Ch	-138997.218	-60239.363	53.577	168	111	78	1208	×	220
29	F1306	2b	1	7	Ch	-138997.043	-60239.240	53.572	147	94	90	1990	×	223
30	F1306	2b	1	7	Sh	-138998.032	-60239.160	53.572	138	108	81	846	×	288
31	F1306	2b	1	7	Sa	-138995.200	-60239.778	53.504	150	110	83	1460	×	196
32	F1306	2b	1	7	Sa	-138995.889	-60239.072	53.509	164	108	68	1800	×	200
33	F1312	2b	1	0	Sa	-138990.348	-60244.349	53.538	148	115	71	1510	×	256
34	F1316	2a	1	0	Sh	-138992.237	-60246.908	53.317	131	98	112	1230	○	1050
35	F1316	2a	1	14	Sa	-138994.538	-60246.254	53.228	165	105	95	1600	×	962
36	F1316	2a	1	14	Sa	-138993.741	-60247.545	53.309	176	136	93	2810	×	848
37	F1319	2a	1	0	Sa	-138995.208	-60249.358	53.170	200	150	100	3800	×	754
38	F1321	2a	1	0	Sa	-138994.288	-60249.288	53.187	160	100	80	1700	×	912
39	F1321	2a	1	0	Sa	-138994.677	-60249.817	53.225	183	130	86	2780	×	1038
40	F1321	2a	1	0	Sa	-138999.478	-60249.529	53.187	195	142	75	2780	×	1037
41	F1322	2a	1	13	Sa	-138997.562	-60249.152	53.408	172	115	75	2200	×	148
42	F1401	2a	1	0	Sa	-138983.305	-60247.723	53.685	179	163	83	2290	△	701
43	F1420	2a	1	0	Sa	-138997.491	-60239.284	53.389	150	127	104	2900	×	333
44	F1502	2b	1	0	Sa	-138992.012	-60239.520	53.524	150	127	75	2200	×	368
45	F1505	2a	2	33	Ch	-138938.970	-60239.404	53.548	230	118	88	3200	×	6395
46	F1505	2a	2	0	Ch	-138953.820	-60239.018	53.680	178	137	111	3800	×	6513
47	F1505	2a	2	35	Sa	-138927.905	-60232.644	53.862	202	53	50	1400	×	6514
48	F1722	2b	2	103	Ch	-138918.875	-60244.012	53.311	179	128	111	3600	×	1813
49	F1813	2a	2	0	Gr	-138988.760	-60240.748	54.491	142	110	63	1110	×	745
50	F1816	22	2	0	Sa	-138973.498	-60240.877	54.158	152	88	78	1162	×	765
51	G1308	2a	2	0	Sa	-138984.040	-60228.007	53.645	148	112	88	1350	×	623
52	G1308	2a	2	0	Ch	-138984.076	-60228.398	52.940	142	128	83	2200	×	858
53	G1710	2a	2	44	Sa	-138965.980	-60213.425	54.141	140	124	56	1800	×	7399
54	G1911	2a	2	0	Sa	-138990.040	-60227.827	54.241	152	152	82	1800	×	218
55	G1912	2a	2	0	Sa	-138988.057	-60225.507	54.381	133	93	79	1180	×	227
56	H1716	2a	2	143	Sa	-138913.220	-60208.083	53.020	145	119	80	3800	×	7175
57	H1717	2a	2	0	Sa	-138912.448	-60205.935	53.028	184	168	87	1500	×	7176
58	H1817	2a	2	0	Sa	-138995.598	-60205.978	54.057	280	148	87	1800	×	1858
59	H1820	2a	2	0	Sa	-138993.703	-60205.050	54.108	136	93	50	915	×	7850
60	H1817	2a	2	78	Sa	-138934.871	-60144.605	53.312	180	90	80	1800	×	2051
61	H1817	2a	2	0	Sa	-138934.803	-60132.804	53.823	211	175	127	7300	×	2051
62	I1202	2a	3	0	Sa	-138924.552	-60133.016	53.909	198	122	48	1650	×	2050
63	I1802	2b	3	77	Sa	-138921.805	-60127.184	54.127	155	105	85	1800	×	1817
64	I1802	2b	3	77	Ch	-138921.105	-60122.289	53.863	131	95	81	1622	×	1817
65	I1802	2b	3	77	Sa	-138921.609	-60122.889	53.978	117	190	84	975	×	1817
66	I1802	2b	3	77	Sa	-138920.952	-60123.568	53.854	148	88	77	1000	○	1816
67	I1802	2b	3	77	Sa	-138917.202	-60123.240	53.982	148	94	72	1188	○	1817
68	L1803	2a	3	0	Sa	-138921.527	-60120.978	54.181	122	111	83	1290	×	2860
69	L1804	2b	3	0	Sa	-138922.968	-60117.868	54.978	105	181	108	5180	×	3211
70	L1805	2a	3	0	Sa	-138919.998	-60112.024	54.438	116	132	100	3230	×	2753
71	L1805	2a	3	0	Sa	-138921.878	-60112.429	54.432	129	88	78	1110	○	2784
72	L1806	2a	3	0	Sa	-138923.958	-60112.222	54.657	160	128	76	1780	×	2868
73	L1806	2a	3	0	Ch	-138924.730	-60118.131	54.045	153	104	89	2070	×	2791
74	L1809	2a	3	0	Sa	-138925.082	-60115.164	54.703	164	151	94	2155	×	8220
75	L1809	2a	3	0	Sa	-138925.960	-60115.842	54.181	237	86	99	4300	△	5221
76	L1809	2a	3	0	Sa	-138926.061	-60115.284	54.158	148	117	87	1184	×	5222
77	L1809	2a	3	0	Ch	-138927.324	-60117.075	54.140	145	130	82	1810	×	3011
78	L1810	2a	3	36	Sa	-138925.042	-60117.684	54.489	184	134	58	1950	×	3182
79	L1810	2a	3	56	Sa	-138925.192	-60112.422	54.448	143	100	84	1813	×	3182
80	L1810	2a	3	36	Gr	-138924.869	-60117.189	54.458	168	119	75	2480	×	3178
81	L1810	2a	3	57	Sa	-138924.543	-60113.858	54.458	114	119	80	1900	△	3181
82	L1810	2a	3	57	Sa	-138924.231	-60111.463	54.493	164	103	82	1800	×	3189
83	L1810	2a	3	56	Sa	-138925.828	-60112.176	54.447	129	109	88	914	△	3189
84	L1810	2a	3	56	Sa	-138924.688	-60113.803	54.411	140	111	75	1900	×	3063
85	L1810	2a	3	56	Sa	-138924.776	-60113.224	54.438	164	118	75	1600	×	3063
86	L1810	2a	3	56	Sh	-138925.350	-60113.420	54.442	180	78	70	1640	○	3066
87	L1814	2b	3	78	Sa	-138929.113	-60117.485	54.118	138	130	87	1010	×	3379
88	L1814	2b	3	78	Sa	-138929.014	-60117.485	54.118	138	130	87	1010	×	3379
89	L1814	2b	3	78	Sa	-138929.324	-60117.848	54.157	134	118	74	1050	○	3385
90	L1814	2b	3	78	Sa	-138929.354	-60117.718	54.143	153	103	90	1348	△	3386
91	L1814	2b	3	78	Sa	-138929.285	-60117.820	54.175	152	103	80	1400	×	3386
92	L1814	2b	3	78	Gr	-138930.842	-60117.838	53.791	120	86	77	1040	○	3385
93	L1814	2b	3	7										

表50 高見丘IV遺跡エリア1出土土器

番号	出土層	所属層別	石材	X線層	Y線層	Z線層	長さ	幅	高さ	形状	用途	表化	柄文	調査単位	出土番号
1	Q0618	2b	0	Sa	-130095467	-00218234	51861	33	22	8	○	○	○	○	1
2	Q0619	2b	0	Sa	-130095475	-00218460	52236	28	21	23	○	○	○	○	2
3	Q0619	2b	0	Sa	-130094338	-00217381	51899	40	25	19	○	○	○	○	3
4	Q0618	2b	0	Sa	-130094984	-00217842	52102	38	20	11	○	○	○	○	4
5	Q0620	2b	0	Sa	-130092721	-00214511	51884	48	28	16	○	○	○	○	5
6	Q0623	2b	0	Sa	-130097343	-00218434	51773	138	109	39	△	○	○	○	6
7	Q0624	2b	0	Sa	-130098843	-00217119	51802	47	36	28	○	○	○	○	7
8	Q0624	2b	0	Sa	-130098803	-00217120	51802	32	21	22	○	○	○	○	8
9	Q0624	2b	0	Sa	-130098841	-00217239	51803	33	11	10	○	○	○	○	9
10	Q0624	2b	0	Sa	-130098858	-00217357	51805	51	35	14	○	○	○	○	10
11	Q0624	2b	0	Sa	-130099722	-00218055	52055	25	25	25	○	○	○	○	11
12	Q0704	2b	0	Sa	-133011554	-00218716	51793	87	20	18	○	○	○	○	12
13	H0617	2b	0	Sa	-130095581	-00208535	51568	43	39	28	△	○	○	○	13
14	H0617	2b	0	Sa	-130095705	-00209549	51520	25	19	13	○	○	○	○	14
15	H0617	2b	0	Sa	-130095708	-00209552	51528	45	27	8	○	○	○	○	15
16	H0617	2b	0	Sa	-130095480	-00204881	51528	31	21	12	○	○	○	○	16
17	H0617	2b	0	Sa	-130095401	-00204145	51520	46	27	14	○	○	○	○	17
18	H0617	2b	0	Sa	-130095453	-00205287	51885	37	23	13	○	○	○	○	18
19	H0617	2b	0	Sa	-130095745	-00203338	51848	43	33	20	○	○	○	○	19
20	H0617	2b	0	Sa	-130094512	-00202804	51919	43	23	14	○	○	○	○	20
21	H0617	2b	0	Sa	-130094518	-00202845	51887	24	20	8	○	○	○	○	21
22	H0618	2b	0	Sa	-130095473	-00201253	51914	38	28	11	○	○	○	○	22
23	H0618	2b	0	Sa	-130095473	-00201253	51914	40	22	18	○	○	○	○	23
24	H0618	2b	0	Sa	-130095438	-00200387	51896	33	18	13	○	○	○	○	24
25	H0619	2b	0	Sa	-130094482	-00197557	51890	29	24	13	○	○	○	○	25
26	H0621	2b	0	Sa	-130097174	-00209844	51847	33	28	18	○	○	○	○	26
27	H0621	2b	0	Sa	-130098802	-00209460	51837	35	31	17	○	○	○	○	27
28	H0622	2b	0	Sa	-130094313	-00202588	51927	41	34	27	○	○	○	○	28
29	H0622	2b	0	Sa	-130094304	-00202513	51881	82	22	22	○	○	○	○	29
30	H0622	2b	0	Sa	-130096823	-00202294	51848	41	25	15	○	○	○	○	30
31	H0622	2b	0	Sa	-130097419	-00203544	51914	25	18	11	○	○	○	○	31
32	H0622	2b	0	Sa	-130097797	-00203455	51845	24	29	12	○	○	○	○	32
33	H0622	2b	0	Ch	-130098236	-00202824	51880	42	35	21	○	○	○	○	33
34	H0622	2b	0	Sa	-130098809	-00204288	51889	32	22	12	○	○	○	○	34
35	H0623	2b	0	Sa	-130097252	-00200283	51806	54	31	10	○	○	○	○	35
36	H0623	2b	0	Sa	-130098304	-00199795	51819	35	30	18	○	○	○	○	36
37	H0623	2b	0	Sa	-130098318	-00199702	51851	50	31	19	○	○	○	○	37
38	H0623	2b	0	Sa	-130098323	-00200943	51792	29	22	14	○	○	○	○	38
39	H0623	2b	0	Sa	-130098453	-00201333	51798	44	29	13	○	○	○	○	39
40	H0623	2b	0	Sa	-130098324	-00198284	51790	45	25	17	○	○	○	○	40
41	H0623	2b	0	Sa	-130098381	-00188438	51824	37	28	11	○	○	○	○	41
42	H0623	2b	0	Sa	-130098476	-00188143	51788	42	30	15	○	○	○	○	42
43	H0623	2b	0	Sa	-130098465	-00188165	51787	35	27	16	○	○	○	○	43
44	H0623	2b	0	Sa	-130098485	-00188821	51800	21	14	8	○	○	○	○	44
45	H0623	2b	0	Sa	-130098480	-00188821	51801	38	25	18	○	○	○	○	45
46	H0624	2b	0	Sa	-130098771	-00187465	51817	36	25	17	○	○	○	○	46
47	H0624	2b	0	Sa	-130097387	-00187487	51808	20	21	18	○	○	○	○	47
48	H0624	2b	0	Sa	-130098772	-00188772	51826	105	58	32	○	○	○	○	48
49	H0625	2b	0	Sa	-130098706	-00183354	51733	21	21	25	○	○	○	○	49
50	H0625	2b	0	Sa	-130098737	-00183320	51764	13	10	10	○	○	○	○	50
51	H0701	2b	0	Sa	-130101395	-00209317	51809	107	77	47	△	○	○	○	51
52	H0701	2b	0	Sa	-130100375	-00208488	51834	31	20	17	○	○	○	○	52
53	H0702	2b	0	Ch	-130100653	-00202889	51803	24	17	5	○	○	○	○	53
54	H0703	2b	0	Sa	-130101139	-00209857	51811	30	21	12	○	○	○	○	54
55	H0703	2b	0	Sa	-130101277	-00209495	51815	28	18	10	○	○	○	○	55
56	H0703	2b	0	Sa	-130101881	-00209482	51815	17	14	10	○	○	○	○	56
57	H0703	2b	0	Sa	-130100559	-00186319	51795	50	29	15	○	○	○	○	57
58	H0618	2b	0	Sa	-130092733	-00201386	51840	40	32	21	○	○	○	○	58
59	Q0617	2b	0	Sa	-130098178	-00218454	51794	29	20	17	○	○	○	○	59
60	Q0617	2b	0	Sa	-130098487	-00218458	51786	27	14	5	○	○	○	○	60
61	Q0617	2b	0	Sa	-130092214	-00225483	52232	15	11	2	○	○	○	○	61
62	Q0622	2b	0	Sa	-130098311	-00225482	52234	18	24	12	○	○	○	○	62
63	Q0628	2b	0	Sa	-130094757	-00220795	52143	36	23	14	○	○	○	○	63
64	Q0612	2b	0	Sa	-130090787	-00223880	52145	44	28	17	○	○	○	○	64
65	Q0617	2b	0	Sa	-130098708	-00223582	52134	42	17	15	○	○	○	○	65
66	Q0613	2b	0	Ch	-130088113	-00220388	52249	37	29	13	○	○	○	○	66
67	Q0612	2b	0	Sa	-130098713	-00221174	52275	46	32	17	○	○	○	○	67
68	Q0616	2b	0	Sa	-130092318	-00228788	52188	18	17	8	○	○	○	○	68
69	Q0616	2b	0	Ch	-130094804	-00229745	52178	37	29	29	○	○	○	○	69
70	Q0616	2b	0	Sa	-130094818	-00229746	52257	38	26	18	○	○	○	○	70
71	Q0617	2b	0	Sa	-130092341	-00222281	52178	25	15	10	○	○	○	○	71
72	Q0677	2b	0	Sa	-130093242	-00225483	52099	30	25	13	○	○	○	○	72
73	Q0617	2b	0	Ch	-130092408	-00223382	52033	31	29	10	○	○	○	○	73
74	Q0617	2b	0	Sa	-130092341	-00222281	52178	25	15	10	○	○	○	○	74
75	Q0618	2b	0	Sa	-130095429	-00220385	51805	50	38	15	○	○	○	○	75
76	Q0621	2b	0	Sa	-130097390	-00226293	52080	44	24	11	○	○	○	○	76
77	Q0622	2b	0	Ch	-130096890	-00225455	51989	29	22	10	○	○	○	○	77
78	Q0622	2b	0	Sa	-130097987	-00224488	52158	37	28	14	○	○	○	○	78
79	Q0622	2b	0	Sa	-130097272	-0022184	52099	29	26	14	○	○	○	○	79
80	Q0622	2b	0	Sa	-130098478	-00221388	52196	29	23	18	○	○	○	○	80
81	Q0622	2b	0	Sa	-130098304	-00222289	52143	28	20	14	○	○	○	○	81
82	Q0622	2b	0	Sa	-130098488	-00224288	52113	37	23	17	○	○	○	○	82
83	Q0625	2b	0	Sa	-130094298	-00221378	51820	84	27	24	○	○	○	○	83
84	Q0623	2b	0	Sa	-130098817	-00221211	51821	82	27	24	○	○	○	○	84
85	Q0623	2b	0	Ch	-130098454	-00221889	52097	48	38	37	○	○	○	○	85
86	Q0702	2b	0	Sa	-130111112	-00222712	52182	37	28	14	○	○	○	○	86
87	Q0703	2b	0	Sa	-130114894	-00221603	52127	27	17	11	○	○	○	○	87
88	F0609	2b	0	Ch	-130094788	-00226128	52228	53	38	32	○	○	○	○	88
89	F0619	2b	0	Sa	-130098413	-00224530	52163	31	21	12	○	○	○	○	89
90	F0620	2b	0	Sa	-130094680	-00223887	52143	31	21	12	○	○	○	○	90
91	F0623	2b	0	Sa	-130094711	-00229777	51898	91	83	88	○	○	○	○	91
92	F0623	2b	0	Sa	-130098480	-00228347	52101	45	21	7	○	○	○	○	92
93	F0625	2b	0	Sa	-130092344	-00223282	52121	43	35	17	○	○	○	○	93
94	F0705	2b	0	Ch	-130114881	-00232957	51820	38	21	9	○	○	○	○	94
95	F0705	2b													

番号	出上区	出上層	所属階層	石種	X座標	Y座標	Z座標	高さ	幅	厚さ	長さ	形状	割材	割取形状	取上番号
110	H0412	2b	0	5a	-13007.399	-0070.449	51.899	20	21	7	3	○	○	○	143
111	H0412	2b	0	5b	-13007.344	-0070.453	51.899	12	28	18	5	△	○	○	145
112	H0414	2a	0	5a	-13007.022	-0027.762	51.899	120	97	62	800	○	○	○	142
113	F0909	2a	0	5b	-13004.861	-0029.287	51.912	85	49	28	119	×	×	×	147
114	F0909	2a	0	5a	-13004.803	-0029.229	51.910	97	49	35	200	×	×	×	149
115	F0909	2a	0	5a	-13006.105	-0028.134	51.907	79	53	53	234	×	×	×	146
116	F0414	2a	0	5a	-13008.828	-0024.982	51.889	68	49	18	136	×	×	×	154
117	F0418	2a	0	5a	-13006.187	-0020.070	51.888	53	34	19	46	×	×	×	150
118	G0705	2a	0	5a	-13010.036	-0025.897	51.892	63	63	63	150	○	○	○	156
119	G0801	2a	0	5a	-13002.819	-0029.970	50.629	74	55	30	199	×	×	×	139
120	G0906	2a	0	5a	-13006.495	-0026.727	50.906	36	23	13	9	○	○	○	161
121	H0601	2a	0	5a	-13002.513	-0020.211	51.864	65	61	23	23	○	○	○	162
122	H0602	2a	0	5a	-13001.701	-0020.927	51.837	45	34	29	31	○	○	○	163
123	H0602	2a	0	5a	-13001.804	-0020.581	51.814	46	41	32	41	○	○	○	164
124	G0200	2a	0	5a	-13003.769	-0022.523	51.844	25	27	27	27	○	○	○	165
125	F0416	2b	0	5a	-13009.276	-0020.282	51.771	97	83	48	467	×	×	×	160
126	G0801	2b	0	5a	-13006.959	-0029.250	51.801	86	86	24	164	△	△	△	167
127	G0801	2b	0	5a	-13006.120	-0028.417	51.765	150	96	45	467	×	×	×	168
128	G0903	2b	0	5a	-13003.287	-0027.615	50.845	118	72	51	418	×	×	×	170
129	F0413	2b	2	5a	-13008.208	-0020.087	52.178	33	21	7	6	○	○	○	173
130	G0416	2b	0	5a	-13006.984	-0027.942	52.362	29	20	11	6	○	○	○	174
131	H0417	2b	0	5a	-13006.076	-0020.645	51.897	28	20	6	5	○	○	○	175
5A底															
番号	出上区	出上層	所属階層	石種	X座標	Y座標	Z座標	高さ	幅	厚さ	長さ	形状	割材	割取形状	取上番号
2	F0602	2b	2	5a	-13012.199	-0024.056	51.819	40	26	12	15	×	×	×	4
3	F0602	2b	2	5a	-13012.069	-0024.281	51.892	58	43	22	46	△	△	△	5
4	F0602	2b	2	5a	-13012.872	-0024.242	51.866	75	46	30	127	○	○	○	6
5	F0602	2b	2	5a	-13012.442	-0024.064	51.869	69	60	21	66	○	○	○	7
6	F0602	2b	2	5a	-13012.943	-0024.917	51.983	99	60	28	130	○	○	○	8
7	F0602	2b	2	5a	-13012.205	-0024.859	51.955	66	84	20	172	×	×	×	9
8	F0602	2b	2	5a	-13012.147	-0024.813	51.917	68	84	16	160	○	○	○	10
9	F0602	2b	2	5a	-13012.241	-0024.881	51.980	49	20	15	13	×	×	×	11
10	F0602	2b	2	5a	-13012.206	-0024.841	51.941	137	125	50	809	×	×	×	12
11	F0602	2b	2	5a	-13012.049	-0024.765	51.903	101	62	30	281	○	○	○	13
12	F0602	2b	2	5b	-13012.357	-0024.953	51.942	84	61	40	289	×	×	×	14
13	F0602	2b	2	5a	-13012.075	-0024.134	51.938	74	37	33	86	○	○	○	16
14	F0607	2b	0	5a	-13011.611	-0024.133	51.917	28	12	19	16	○	○	○	17
14	F0602	2b	2	5a	-13012.083	-0024.360	51.777	21	17	5	3	○	○	○	27
16	F0607	2b	0	5a	-13011.518	-0024.339	51.794	40	35	21	21	×	×	×	28
16	F0617	2b	0	5a	-13011.616	-0024.360	51.820	123	86	82	847	○	○	○	29
17	G0602	2b	0	5a	-13012.080	-0022.828	51.813	27	18	4	7	○	○	○	34
18	G0604	2b	0	5a	-13012.830	-0021.025	51.730	32	17	8	5	○	○	○	39
18	G0604	2b	0	5a	-13012.849	-0021.020	51.740	22	10	7	7	△	△	△	40
20	G0604	2b	0	5a	-13012.844	-0021.007	51.722	43	41	19	28	△	△	△	41
21	G0418	2b	0	5a	-13013.999	-0021.838	51.533	73	49	44	171	×	×	×	49
22	F0706	2b	0	5a	-13010.985	-0022.020	51.897	82	48	30	123	×	×	×	47
23	F0706	2b	0	5a	-13010.213	-0022.860	51.868	109	60	29	150	×	×	×	48
24	F0706	2b	0	5a	-13010.258	-0023.864	51.874	74	57	30	161	×	×	×	49
25	F0709	2b	0	5a	-13010.318	-0024.369	50.927	37	33	21	28	×	×	×	50
26	F0710	2b	0	5a	-13010.483	-0024.241	51.927	27	21	19	33	○	○	○	51
27	F0710	2b	0	5a	-13010.452	-0023.270	51.893	29	17	15	5	○	○	○	52
28	F0713	2b	0	5b	-13011.342	-0023.187	51.895	35	26	30	19	○	○	○	53
29	F0715	2b	0	5a	-13011.413	-0021.942	51.922	72	3	10	26	○	○	○	54
30	F0719	2b	0	5b	-13011.407	-0023.585	51.938	44	28	12	12	×	×	×	55
31	F0719	2b	0	5a	-13011.498	-0024.974	50.933	44	25	18	14	○	○	○	56
32	F0722	2b	0	5a	-13011.986	-0024.116	51.881	54	34	16	33	○	○	○	57
33	F0722	2b	0	5b	-13011.281	-0024.582	51.685	112	88	59	568	△	△	△	58
34	F0722	2b	0	5a	-13011.281	-0024.978	51.740	34	29	33	41	○	○	○	59
35	F0723	2b	0	5a	-13011.809	-0024.178	51.878	73	45	19	68	○	○	○	60
36	F0724	2b	0	5a	-13011.895	-0023.392	51.930	57	42	17	30	○	○	○	62
37	F0807	2b	0	5a	-13012.004	-0024.307	51.935	89	50	49	214	○	○	○	64
38	G0903	2b	0	5a	-13012.549	-0023.844	51.988	35	26	15	19	○	○	○	66
39	G0903	2b	0	5a	-13012.558	-0023.108	51.909	72	37	39	139	○	○	○	64
40	F0803	2b	0	5a	-13012.158	-0023.278	51.930	82	71	41	256	○	○	○	67
41	F0804	2b	0	5a	-13012.278	-0024.804	51.857	33	29	9	23	○	○	○	68
42	F0804	2b	0	5a	-13012.374	-0024.844	51.877	79	49	38	130	△	△	△	69
43	F0814	2b	0	5a	-13013.290	-0023.747	51.568	34	28	18	37	○	○	○	72
44	F0814	2b	0	5a	-13013.628	-0023.287	51.488	87	39	21	35	○	○	○	73
45	F0818	2b	0	Gr	-13013.710	-0023.680	51.458	80	73	47	394	○	○	○	75
45	F0819	2b	0	5a	-13013.284	-0023.258	51.472	99	48	26	106	○	○	○	76
47	G0801	2b	0	5a	-13012.548	-0022.472	51.835	84	41	26	62	○	○	○	78
48	G0801	2b	0	5a	-13012.279	-0022.978	51.583	35	30	17	72	○	○	○	80
49	G0802	2b	0	5a	-13012.629	-0023.582	51.724	56	39	29	45	○	○	○	81
50	G0802	2b	0	5a	-13012.652	-0022.992	51.580	36	21	18	8	○	○	○	83
51	G0802	2b	0	5a	-13010.979	-0022.857	51.749	43	20	25	24	○	○	○	84
52	G0807	2b	0	5a	-13012.825	-0023.298	51.585	28	19	11	6	△	△	△	85
53	G0802	2b	0	5a	-13012.206	-0022.920	51.696	77	17	13	6	○	○	○	87
54	G0802	2b	0	5a	-13012.971	-0022.723	51.677	19	8	6	3	○	○	○	88
55	G0802	2b	0	5b	-13012.870	-0021.427	51.548	29	12	9	5	○	○	○	89
56	G0802	2b	0	5a	-13012.115	-0021.821	51.621	29	19	6	3	○	○	○	90
57	G0803	2b	0	5a	-13012.768	-0021.686	51.528	40	15	11	6	○	○	○	91
58	G0803	2b	0	5a	-13012.779	-0021.406	51.583	20	10	20	8	○	○	○	92
59	G0802	2b	0	5a	-13012.633	-0021.276	51.607	44	18	13	12	○	○	○	93
60	G0803	2b	0	5a	-13012.617	-0021.102	51.585	28	16	13	12	○	○	○	94
61	G0803	2b	0	5b	-13012.259	-0021.180	51.680	41	33	18	22	○	○	○	95
62	G0803	2b	0	5a	-13012.001	-0020.959	51.549	41	34	18	25	○	○	○	96
63	G0803	2b	0	5a	-13012.058	-0021.817	51.569	32	16	11	6	○	○	○	97
64	G0804	2b	0	5a	-13012.837	-0021.228	51.544	22	12	7	4	○	○	○	99
65	G0806	2b	0	5a	-13012.781	-0022.349	51.588	72	19	10	3	○	○	○	100
66	G0806	2b	0	5a	-13012.827	-0021.866	51.693	56	41	14	36	×	×	×	102
67	G0906	2b	0	5a	-13012.327	-0024.513	51.622	23	13	8	3	○	○	○	103
68	G0907	2b	0	5a	-13012.586	-0022.187	51.529	41	26	20	13	○	○	○	104
69	G0907	2b	0	5a	-13012.508	-0022.195	51.574	33	26	13	11	○	○	○	106

番号	加工区	加工種	所属機群	石材	X座標	Y座標	Z座標	高さ	幅	長さ	赤化	前八	前四半	加工番号
86	H0408	3a	0	Se	-139125207	-00198114	51179	33	29	14	12	△	○	125
89	H0409	3a	0	Se	-139125136	-00198103	51187	41	12	12	△	○	○	126
90	H0409	3a	0	Ch	-139124408	-00194488	51177	22	17	8	3	○	○	127
91	H0409	3a	0	Se	-139124408	-00194488	51188	28	19	12	6	○	○	128
92	H0410	3a	0	Se	-139125130	-00198103	51205	31	11	12	○	○	○	129
93	H0410	3a	0	Se	-139125254	-00193030	51195	26	21	17	12	×	○	130
94	H0414	3a	0	Se	-139128119	-00194131	51122	110	87	68	47	○	○	133
95	H0415	3a	0	Se	-139128223	-00193354	51185	20	11	8	1	○	○	134
96	H0415	3a	0	Se	-139128233	-00193351	51040	23	5	8	1	○	○	135
97	H0701	3a	0	Se	-139103188	-00206983	51620	48	41	23	43	○	○	137
98	H0712	3a	0	Se	-139109584	-00200303	51580	52	66	44	39	○	○	136
99	H0712	3a	0	Se	-139111022	-00200518	51322	37	17	17	○	○	○	138
100	H0718	3a	0	Se	-139112406	-00208243	51500	43	33	23	34	○	○	140
101	H0718	3a	0	Se	-139113081	-00208241	51435	45	38	8	13	○	○	141
102	H0718	3a	0	Se	-139114019	-00209328	51432	48	33	17	17	○	○	142
103	H0717	3a	0	Se	-139112728	-00203895	51470	48	31	12	20	○	○	143
104	H0718	3a	0	Se	-139114634	-00200948	51480	38	25	17	14	○	○	144
105	H0718	3a	0	Se	-139114833	-00200838	51467	45	18	14	14	○	○	145
106	H0721	3a	0	Se	-139118142	-00209457	51507	72	41	22	88	×	○	148
107	H0718	3a	0	Ch	-139112385	-00227340	51727	30	21	13	8	×	○	149
108	Q0718	3a	0	Se	-139112707	-00227233	51725	47	38	20	34	○	○	150
109	Q0718	3a	0	Se	-139114145	-00226868	51715	84	70	54	410	×	○	151
110	G0711	3a	0	Se	-139112637	-00225258	51694	41	33	28	28	△	○	152
111	G0711	3a	0	Se	-139115371	-00217302	51821	83	74	45	278	×	×	153
112	F0602	3a	0	Se	-139121406	-00243200	51894	28	18	19	4	○	○	154
113	F0602	3a	0	Se	-139121387	-00242344	51704	39	35	13	16	○	○	159
114	F0602	3a	0	Se	-139121178	-00242398	51808	24	17	7	2	○	○	160
115	F0602	3a	0	Se	-139121851	-00242448	51888	19	18	7	2	○	○	171
116	F0602	3a	0	Se	-139122113	-00242496	51680	18	17	5	2	○	○	172
117	F0602	3a	0	Se	-139122482	-00242474	51626	24	20	19	7	△	○	174
118	F0602	3a	0	Se	-139122314	-00242364	51680	18	5	5	14	○	○	175
119	F0602	3a	0	Tu	-139123733	-00244352	51878	20	17	5	136	×	○	179
120	F0603	3a	0	Se	-139121267	-00241277	51804	24	21	25	24	△	△	184
121	F0603	3a	0	Se	-139121383	-00241418	51878	15	8	8	14	○	○	185
122	F0603	3a	0	Se	-139121348	-00240210	51768	42	24	18	10	×	○	186
123	F0603	3a	0	Se	-139122140	-00241816	51778	43	22	17	13	×	○	187
124	F0603	3a	0	Se	-139122021	-00240828	51768	33	22	14	8	○	○	189
125	F0603	3a	0	Se	-139122481	-00240707	51733	34	32	14	8	△	○	189
126	F0603	3a	0	Se	-139123837	-00241853	51820	33	29	10	7	○	○	190
127	F0603	3a	0	Se	-139124028	-00240719	51598	84	83	83	383	×	○	200
128	F0603	3a	0	Se	-139125828	-00243454	51885	17	14	6	1	×	○	205
129	F0607	3a	0	Ch	-139126529	-00243837	51855	13	10	2	0.27	×	○	212
130	F0607	3a	0	Se	-139127318	-00243250	51577	30	29	21	8	○	○	213
131	F0607	3a	0	Se	-139127482	-00244884	51682	338	329	389	2	○	○	216
132	F0608	3a	0	Se	-139125699	-00241303	51596	11	19	7	1	○	○	224
133	F0608	3a	0	Se	-139126766	-00241810	51578	16	19	8	1	○	○	224
134	F0612	3a	0	Se	-139129782	-00245118	51995	19	12	0.32	○	○	○	249
135	F0612	3a	0	Se	-139129376	-00245581	51578	72	59	16	100	×	×	241
136	F0612	3a	10	Se	-139130084	-00243771	51542	80	60	28	103	○	○	246
137	F0612	3a	10	Se	-139130376	-00243482	51558	69	58	24	11	○	○	247
138	F0612	3a	10	Se	-139130757	-00245068	51582	61	58	25	57	△	○	248
139	F0612	3a	10	Se	-139130875	-00245790	51538	23	19	13	5	○	○	249
140	F0612	3a	0	Se	-139130812	-00244719	51584	69	59	24	11	○	○	249
141	F0612	3a	0	Se	-139130478	-00244816	51553	68	30	18	35	○	○	251
142	F0612	3a	0	Se	-139130452	-00244837	51580	70	70	23	117	○	○	251
143	F0612	3a	0	Se	-139130189	-00244318	51584	69	69	24	10	○	○	254
144	F0612	3a	0	Se	-139130188	-00244528	51600	73	40	17	61	○	○	254
145	F0612	3a	0	Se	-139130132	-00244888	51580	53	48	42	128	○	○	254
146	F0612	3a	0	Se	-139130946	-00244024	51440	17	17	17	17	○	○	255
147	F0612	3a	0	Se	-139130878	-00243823	51480	68	58	28	65	○	○	258
148	F0612	3a	0	Se	-139131408	-00243737	51538	68	58	25	102	△	○	261
149	F0612	3a	0	Se	-139131851	-00243578	51553	73	54	24	43	○	○	261
150	F0612	3a	10	Se	-139131328	-00244888	51548	73	42	23	84	○	○	263
151	F0612	3a	10	Se	-139131488	-00244835	51550	75	50	33	118	○	○	264
152	F0612	3a	10	Se	-139131250	-00244822	51544	67	52	27	86	○	○	265
153	F0612	3a	10	Se	-139131825	-00244789	51528	119	87	31	425	○	○	267
154	F0612	3a	10	Se	-139131628	-00245019	51445	36	27	18	7	×	○	267
155	F0612	3a	10	Se	-139132188	-00245158	51582	67	58	48	142	○	○	268
156	F0612	3a	10	Se	-139131377	-00245114	51485	72	72	28	168	○	○	269
157	F0612	3a	10	Se	-139131411	-00245118	51478	83	33	11	18	○	○	270
158	F0612	3a	10	Se	-139131481	-00245183	51515	80	59	20	185	○	○	271
159	F0612	3a	10	Se	-139131444	-00245187	51487	85	64	28	144	○	○	272
160	F0612	3a	10	Sh	-139131416	-00245330	51523	64	53	24	61	△	△	273
161	F0612	3a	10	Se	-139131820	-00245280	51548	21	15	7	1	○	○	274
162	F0612	3a	10	Ch	-139131671	-00245790	51600	61	41	24	28	○	○	275
163	F0612	3a	10	Se	-139131316	-00245779	51543	23	18	8	5	○	○	276
164	F0612	3a	10	Se	-139131376	-00245540	51520	29	23	20	10	△	○	277
165	F0612	3a	10	Se	-139131385	-00245884	51577	51	40	18	11	○	○	280
166	F0612	3a	10	Se	-139131783	-00245298	51541	96	78	29	289	○	○	281
167	F0612	3a	10	Se	-139131894	-00245298	51537	80	47	42	190	○	○	282
168	F0612	3a	10	Se	-139131832	-00245458	51526	46	44	31	15	○	○	283
169	F0613	3a	9	Se	-139131881	-00241847	51478	48	31	15	23	×	○	280
170	F0617	3a	0	Se	-139132779	-00244488	51500	70	14	6	2	×	○	287
171	F0617	3a	0	Se	-139132779	-00244488	51507	27	17	13	5	○	○	287
172	F0617	3a	0	Se	-139133216	-00242185	51495	20	17	13	5	○	○	291
173	F0617	3a	0	Se	-139133538	-00244768	51530	86	57	25	57	○	○	292
174	F0618	3a	9	Se	-139132488	-00244888	51536	68	58	28	11	○	○	293
175	F0618	3a	9	Cr	-139132185	-00241257	51544	108	75	18	195	○	○	294
176	F0618	3a	9	Se	-139132420	-00245293	51537	113	71	28	335	○	○	295
177	F0618	3a	9	Ch	-139132387	-00246887	51480	103	72	58	508	○	○	296
178	F0618	3a	9	Se	-139132476	-00246880	51508	55	48	28	117	○	○	298
179	F0618	3a	9	Se	-139132976	-00244558	51532	74	87	24	83	○	○	298
180	F0618	3a	9	Se	-139132140	-00240230	51881	28	22	18	11	○	○	298
181	F0618	3a	9	Se	-139132384	-00246386	51877	28	28	18	11	○	○	300
182	F0618	3a	9	Se	-139132489	-00240487	51512	50	33	17	25	○	○	301
183	F0618	3a	9	Se	-139132387	-00240439	51502	32	24	12	8	○	○	302
184	F0618	3a	9	Se	-139132476	-00246386	51877	28	28	18	11	○	○	303</

番号	出工種	出工種	所属業種	石付	X座標	Y座標	Z座標	高さ	傾	測定	精度	単位	測尺	測距方法	取上番号	
199	F0018	2a	9	Sa	-139131.839	-60240.830	51.943	77	37	35	121	△	○	○	319	
200	F0018	2a	9	Sa	-139131.348	-60241.094	51.513	49	28	21	9	○	○	○	318	
201	F0018	2a	9	Sa	-139133.223	-60241.182	51.504	54	45	30	62	○	○	○	320	
202	F0018	2a	9	Sa	-139132.095	-60241.420	51.937	16	15	9	△	○	○	○	321	
203	F0018	2a	9	Sa	-139131.811	-60241.805	51.365	74	4	2	○	○	○	○	322	
204	F0018	2a	9	Sa	-139133.087	-60241.958	51.361	58	24	23	37	○	○	△	323	
205	F0018	2a	9	Sa	-139131.493	-60241.338	51.527	60	51	39	95	○	○	○	324	
206	F0018	2a	9	Sa	-139131.490	-60241.344	51.514	61	36	36	96	○	○	○	325	
207	F0018	2a	9	Sa	-139132.506	-60241.344	51.527	65	25	38	77	○	○	○	326	
208	F0018	2a	9	Sa	-139134.186	-60240.489	51.486	78	61	41	228	○	○	○	327	
209	F0018	2a	9	Sa	-139131.166	-60240.915	51.527	62	44	28	55	○	○	○	328	
210	F0018	2a	9	Sa	-139134.139	-60240.518	51.818	79	30	30	96	○	○	○	329	
211	F0018	2a	9	Sh	-139134.132	-60240.817	51.533	111	73	36	364	○	○	○	330	
212	F0018	2a	9	Sa	-139134.090	-60240.781	51.967	87	51	31	98	△	○	○	331	
213	F0018	2a	9	Sa	-139134.290	-60240.569	51.527	62	46	2	○	○	○	○	332	
214	F0018	2a	9	Sa	-139134.242	-60240.824	51.513	94	23	23	80	○	○	○	333	
215	F0018	2a	9	Sa	-139132.852	-60239.771	51.506	82	66	41	296	○	○	○	334	
216	F0018	2a	9	Sa	-139134.325	-60240.568	51.484	81	48	19	150	○	○	○	335	
217	F0018	2a	9	Sa	-139134.295	-60240.663	51.514	108	47	27	150	○	○	○	336	
218	F0018	2a	9	Sa	-139134.241	-60240.791	51.522	117	68	28	198	△	○	○	337	
219	F0018	2a	9	Sa	-139134.402	-60240.447	51.448	96	72	26	230	△	○	○	338	
220	F0018	2a	9	Sa	-139134.548	-60240.814	51.505	74	54	51	179	△	○	○	339	
221	F0017	2a	0	Sa	-139133.104	-60243.380	51.937	29	24	12	7	△	○	○	340	
222	F0017	2a	0	Sa	-139132.288	-60243.671	52.880	64	26	18	50	○	○	○	341	
223	F0017	2a	0	Sa	-139133.239	-60243.022	51.543	47	38	28	94	○	○	○	342	
224	F0017	2a	0	Sa	-139131.784	-60241.497	51.535	52	42	28	70	△	○	○	344	
225	F0017	2a	0	Sa	-139132.795	-60244.884	52.277	72	60	33	132	○	○	○	345	
226	F0017	2a	0	Sa	-139134.842	-60246.149	51.821	35	22	13	10	○	○	○	346	
227	F0017	2a	0	Sa	-139132.106	-60243.827	51.248	27	19	13	4	○	○	○	351	
228	F0017	2a	0	Sh	-139118.811	-60243.432	51.887	71	78	24	89	○	○	○	352	
229	F0017	2a	0	Sh	-139117.247	-60243.581	51.678	73	48	24	89	△	○	○	354	
230	F0017	2a	0	Sa	-139118.147	-60243.588	51.804	106	73	45	349	○	○	○	355	
231	F0017	2a	0	Sa	-139118.147	-60243.588	51.804	106	73	45	349	○	○	○	355	
232	F0017	2a	0	Sa	-139118.147	-60243.588	51.804	106	73	45	349	○	○	○	355	
233	F0017	2a	0	Sa	-139118.147	-60243.588	51.804	106	73	45	349	○	○	○	355	
234	Q0016	2b	0	Sa	-139105.092	-60227.744	51.821	132	78	37	640	○	○	○	359	
235	Q0011	2b	0	Sa	-139118.688	-60227.844	51.766	51	24	11	24	○	○	○	360	
236	Q0012	2b	0	Sa	-139111.528	-60223.822	51.827	88	61	43	301	○	○	○	371	
237	Q0012	2b	0	Sa	-139117.421	-60221.473	51.662	98	66	30	371	○	○	○	372	
238	Q0011	2b	0	Sa	-139121.701	-60224.868	51.827	88	61	43	301	○	○	○	373	
239	Q0013	2b	0	Ch	-139139.888	-60209.991	51.470	45	42	21	50	○	○	○	385	
240	Q0014	2b	0	Sa	-139132.896	-60224.819	51.407	38	28	18	18	○	○	○	388	
241	Q0014	2b	0	Sa	-139132.244	-60224.819	51.327	38	28	18	18	○	○	○	389	
242	Q0018	2b	0	Ch	-139122.821	-60218.413	51.323	23	14	8	1.94	○	○	○	380	
243	Q0019	2b	0	Sa	-139121.210	-60241.310	51.329	20	17	8	2	○	○	○	380	
244	Q0017	2b	0	Sa	-139121.827	-60223.819	51.463	24	15	8	2	○	○	○	381	
245	F0014	2b	0	Sa	-139122.249	-60238.828	51.513	72	35	35	128	○	○	○	387	
246	Q0001	2b	0	Sa	-139127.806	-60239.153	51.186	50	38	14	24	△	○	○	393	
247	F0011	2b	1	Ch	-139121.818	-60241.632	51.867	102	100	40	37	188	○	○	△	401
248	F0014	2b	0	Ch	-139121.897	-60241.512	51.809	84	56	28	216	○	○	○	402	
249	F0014	2b	1	Sa	-139121.929	-60241.882	51.706	156	100	47	927	○	○	○	403	
250	F0014	2b	1	Sh	-139122.113	-60241.488	51.715	123	68	49	792	○	○	○	404	
251	F0014	2b	1	Sh	-139127.351	-60241.745	51.726	106	78	49	626	○	○	○	405	
252	F0014	2b	1	Sa	-139122.337	-60241.955	51.895	120	55	40	342	○	○	○	406	
253	F0014	2b	1	Sa	-139122.337	-60241.955	51.895	120	55	40	342	○	○	○	407	
254	F0014	2b	1	Sa	-139122.337	-60241.955	51.895	120	55	40	342	○	○	○	408	
255	F0014	2b	0	Sa	-139121.286	-60246.878	51.814	14	11	5	1	○	○	○	410	
256	F0014	2b	0	Sa	-139121.865	-60245.147	51.861	51	29	17	27	○	○	○	411	
257	F0014	2b	0	Sa	-139121.907	-60243.304	51.846	88	67	40	294	△	○	○	414	
258	F0014	2b	0	Sa	-139128.923	-60245.807	51.775	134	35	12	42	○	○	○	416	
259	F0014	2b	0	Ch	-139127.883	-60245.878	51.842	33	33	10	7	○	○	○	418	
260	F0014	2b	0	Sa	-139128.329	-60248.330	51.890	68	42	23	75	○	○	○	419	
261	F0011	2b	0	Sa	-139134.188	-60248.738	51.827	58	49	48	168	○	○	○	418	
262	F0011	2b	0	Sa	-139128.061	-60248.158	51.888	61	23	19	17	○	○	○	422	
263	F0011	2b	0	Sa	-139128.145	-60248.408	51.717	89	28	18	44	○	○	○	423	
264	F0011	2b	0	Sa	-139128.360	-60248.292	51.828	51	24	11	4	○	○	○	424	
265	F0011	2b	0	Ch	-139128.555	-60248.513	51.840	70	66	41	185	○	○	○	427	
266	F0011	2b	0	Sa	-139128.297	-60247.958	51.783	36	28	11	9	○	○	○	432	
267	F0011	2b	0	Sa	-139128.988	-60246.574	51.827	34	29	11	4	○	○	○	433	
268	F0011	2b	0	Sa	-139130.854	-60248.158	51.808	27	21	7	3	○	○	○	435	
269	F0011	2b	0	Sa	-139131.329	-60248.127	51.701	33	15	14	8	○	○	○	438	
270	F0011	2b	0	Sa	-139131.574	-60241.081	51.794	57	31	17	22	○	○	○	438	
271	F0011	2b	1	Sa	-139131.454	-60248.054	51.962	89	70	66	323	△	○	○	440	
272	F0011	2b	1	Sa	-139128.581	-60247.822	51.760	326	82	40	606	△	○	○	441	
273	F0011	2b	1	Sa	-139122.008	-60247.776	51.653	138	99	48	371	○	○	○	442	
274	F0011	2b	1	Sa	-139128.802	-60247.555	51.719	113	89	57	392	○	○	○	443	
275	F0011	2b	1	Sa	-139128.888	-60247.137	51.715	102	55	52	187	○	○	○	444	
276	F0011	2b	1	Sa	-139122.096	-60247.127	51.714	134	68	184	○	○	○	○	445	
277	F0011	2b	0	Sa	-139128.803	-60248.782	51.818	38	20	18	8	○	○	○	446	
278	F0011	2b	0	Sa	-139131.020	-60248.158	51.815	75	44	29	71	○	○	○	449	
279	F0011	2b	0	Sa	-139131.186	-60248.892	51.826	71	40	20	58	○	○	○	450	
280	F0017	2b	0	Sa	-139131.981	-60246.001	51.617	61	37	18	43	△	○	○	451	
281	F0011	2b	0	Sa	-139128.477	-60248.012	51.869	87	49	20	71	△	○	○	452	
282	F0011	2b	0	Sa	-139127.987	-60248.476	51.828	92	44	20	51	○	○	○	454	
283	F0011	2b	12	Sa	-139128.770	-60248.089	51.649	50	40	14	29	○	○	○	456	
284	F0011	2b	12	Sa	-139127.084	-60248.098	51.627	79	75	41	177	○	○	○	457	
285	F0011	2b	0	Sa	-139128.014	-60241.889	51.804	76	34	11	21	○	○	○	458	
286	F0011	2b	12	Sa	-139128.908	-60247.834	51.903	89	63	46	344	○	○	○	459	
287	F0011	2b	0	Sa	-139127.207	-60247.836	51.593	79	62	33	171	○	○	○	460	
288	F0011	2b	0	Sa	-139127.223	-60247.836	51.593	79	62	33	171	○	○	○	4	

番号	出立区	出立種	所属種別	石種	X座標	Y座標	Z座標	高さ	幅	深さ	長さ	形状	内径	取組番号	取上番号
310	F0E12	3a	10	Sa	-130131373	-80248.016	51.558	123	50	45	211	○	○	○	496
311	F0E12	3a	10	Sa	-130131465	-80245.857	51.322	78	73	20	104	○	○	○	497
312	F0T22	2b	0	Sa	-130116270	-80245.480	51.923	22	18	18	40	○	○	○	569
313	F0T22	2b	0	Sa	-130118195	-80245.547	52.089	37	28	12	15	Δ	Δ	Δ	571
314	F0T22	2b	0	Sa	-130119325	-80244.425	52.020	0	0	0	0	○	○	○	573
315	F0E13	2b	20	Sa	-130131286	-80249.812	51.385	72.4	0	0	0	○	○	○	575
316	F0E13	2b	20	Sa	-130130829	-80240.404	51.441	55.3	40.4	13.4	19.5	Δ	Δ	Δ	578
317	F0E13	2b	20	Sa	-130131031	-80240.235	51.444	89.7	34	40.8	19.4	Δ	Δ	Δ	579
318	F0E13	2b	20	Sa	-130130553	-80240.122	51.437	117.3	72.3	42.7	40	○	○	○	580
319	F0E13	2b	20	Sa	-130131030	-80240.207	51.478	110.3	103.6	44.8	58.0	Δ	Δ	Δ	583
320	F0E13	2b	20	Sa	-130131370	-80240.261	51.443	104.8	92.8	21.4	29.7	○	○	○	584
321	F0E13	2b	20	Sa	-130131278	-80240.389	51.459	124	125.9	34	40	○	○	○	585
322	F0E13	2b	20	Sa	-130130236	-80240.353	51.445	101.9	82	24.3	180.8	Δ	Δ	Δ	587
323	F0E13	2b	20	Sa	-130131822	-80241.628	51.519	93	82	23	205	×	×	×	588
324	F0E13	2b	20	Sa	-130131262	-80240.390	51.547	102.6	94	26.3	74.6	○	○	○	589
325	F0E13	2b	20	Sa	-130131408	-80240.341	51.488	97.4	84.4	62.7	165.5	○	○	○	590
326	F0E13	2b	20	Sa	-130131342	-80240.318	51.529	132.8	92.2	48.7	174.7	Δ	Δ	Δ	589
327	F0E13	2b	20	Sa	-130131323	-80240.309	51.520	127	85.1	26	167.1	○	○	○	590
328	F0E13	2b	20	Sa	-130131206	-80240.177	51.487	89.3	93.8	56	78.6	○	○	○	591
329	F0E13	2b	20	Sa	-130131227	-80240.196	51.480	81.5	60	32.8	86.6	×	×	×	593
330	F0E13	2b	20	Sa	-130131230	-80240.188	51.478	102.4	88.5	42.5	462.9	○	○	○	596
331	F0E13	2b	20	Sa	-130131216	-80240.177	51.500	82.1	61.4	34.5	18	○	○	○	597
332	F0E13	2b	20	Sa	-130131287	-80240.848	51.507	95.4	85.4	55	428.7	○	○	○	589
333	F0E13	2b	20	Sa	-130131214	-80240.848	51.480	90.6	89.5	42.5	364.8	○	○	○	596
334	F0E13	2b	20	Sa	-130131186	-80240.803	51.460	118.0	109	24.2	387.9	○	○	○	601
335	F0E13	2b	20	Sa	-130131111	-80240.828	51.524	103.9	69.5	51.7	585.9	Δ	Δ	Δ	602
338	F0E13	2b	20	Sa	-130131054	-80241.021	51.487	82	55	45	300	○	○	○	603
339	F0E13	2b	20	Sa	-130130988	-80240.803	51.478	64	55	55	468	○	○	○	602
340	F0E13	2b	20	Sa	-130131028	-80241.097	51.473	114.8	84.8	49	809.4	○	○	○	605
349	F0E13	2b	20	Sa	-130130787	-80240.808	51.495	122.9	79.7	32.9	555.5	Δ	Δ	Δ	606
340	F0E13	2b	20	Sa	-130130681	-80240.803	51.472	140.8	110.2	68.8	611.1	○	○	○	603
341	F0E13	2b	20	Sa	-130131017	-80240.867	51.535	138.0	110	68.8	611.1	○	○	○	606
342	F0E13	2b	20	Sa	-130131055	-80240.745	51.473	129.8	84.8	54.6	570.8	○	○	○	609
343	F0E13	2b	20	Sa	-130131114	-80240.584	51.420	130.8	98.1	80	748.8	○	○	○	611
344	F0E13	2b	20	Sa	-130130981	-80240.612	51.483	79.8	93.8	62.7	614	○	○	○	614
345	F0E13	2b	20	Sa	-130130338	-80240.804	51.483	93	78.1	38.5	327.8	○	○	○	615
346	F0E13	2b	20	Sa	-130130858	-80240.804	51.432	61	51.1	81.09	○	○	○	616	
347	F0E13	2b	20	Sa	-130130842	-80240.804	51.436	37	32	33.2	42	○	○	○	617
348	F0E13	2b	20	Sa	-130130968	-80240.558	51.456	37	32	13	12.83	○	○	○	618
349	F0E13	2b	20	Sa	-130130793	-80240.805	51.494	117	86.2	44.7	819.2	Δ	Δ	Δ	619
350	F0E13	2b	20	Sa	-130130274	-80240.680	51.410	122.2	82.5	30.3	423.2	○	○	○	620
351	F0E13	2b	20	Sa	-130130951	-80240.824	51.465	60.3	43.3	28.2	58.5	○	○	○	621
352	F0E13	2b	20	Sa	-130130888	-80240.788	51.479	120.4	74.3	23.8	558.3	○	○	○	622
353	F0E13	2b	20	Sa	-130130822	-80240.788	51.478	64.8	64.8	40.4	391.1	○	○	○	623
354	F0E13	2b	20	Sa	-130130784	-80240.783	51.534	141	73.7	49.1	538.3	Δ	Δ	Δ	624
355	F0E13	2b	20	Sa	-130130752	-80240.788	51.480	98	75	42.1	333.9	○	○	○	625
356	F0E13	2b	20	Sa	-130130729	-80240.783	51.482	123.6	82.8	43.2	422.8	○	○	○	622
357	F0E12	0	0	Ca	-130131143	-80243.097	51.549	50	44	23	48	○	○	○	628
358	F0E12	0	0	Sa	-130131239	-80243.082	51.567	33	15	11	7	○	○	○	629
359	F0E12	0	0	Sa	-130131113	-80242.889	51.507	27	12	7	0	○	○	○	629
360	F0E12	0	0	Sa	-130131208	-80242.803	51.580	124	71	70	783	Δ	Δ	Δ	634
361	F0E12	0	0	Sa	-130133803	-80243.173	51.301	88	84	47	181	Δ	Δ	Δ	631
362	F0E12	0	0	Sa	-130132177	-80243.460	51.464	48	21	15	31	○	○	○	632
363	F0E12	0	0	Ca	-130134028	-80244.157	51.817	80	49	43	238	○	○	○	636
364	F0E12	0	0	Sa	-130135113	-80242.279	51.882	65	49	29	112	×	×	×	637
365	F0E22	0	0	Sa	-130136175	-80244.643	51.464	48	21	15	31	○	○	○	642
366	F0E22	0	0	Sa	-130130988	-80244.157	51.789	87	75	41	330	○	○	○	642
367	F0E22	0	0	Sa	-130132812	-80243.380	51.754	82	55	41	176	×	×	×	644
368	F0E22	0	0	Sa	-130132727	-80243.253	51.619	31	27	11	9	○	○	○	645
369	F0E22	0	0	Sa	-130132505	-80243.388	51.787	32	41	19	6	○	○	○	645
370	F0E22	0	0	Ca	-130133712	-80244.028	51.701	122	81	58	840	○	○	○	648
371	F0E26	0	0	Sa	-130135250	-80247.573	51.380	87	66	24	131	×	×	×	651
372	F0E26	0	0	Sa	-130135909	-80248.121	51.596	61	26	22	32	○	○	○	652
373	F0E26	0	0	Sa	-130134824	-80248.255	51.484	61	26	22	32	○	○	○	653
374	F0E26	0	0	Sa	-130137840	-80248.788	51.729	27	16	12	7	○	○	○	654
375	F0E26	0	0	Sa	-130137487	-80248.281	51.465	28	38	17	31	○	○	○	655
379	F0E26	12	5a	Sa	-130137171	-80247.851	51.538	18	13	4	1	Δ	Δ	Δ	658
377	F0E27	0	0	Sa	-130134088	-80249.811	51.421	61	37	16	30	Δ	Δ	Δ	660
378	F0E27	0	0	Ca	-130136858	-80247.418	51.911	112	91	84	884	×	×	×	670
379	F0E27	0	0	Sa	-130136285	-80245.882	51.378	28	20	11	5	○	○	○	671
380	F0E27	0	0	Sa	-130136540	-80243.285	51.567	80	61	69	353	×	×	×	677
381	F0E27	0	0	Ca	-130136331	-80243.889	51.312	127	68	68	380	○	○	○	680
382	F0E27	0	0	Sa	-130132600	-80242.882	51.417	42	24	13	13	Δ	Δ	Δ	681
383	F0E27	0	0	Ca	-130137442	-80242.898	51.417	19	13	7	2	○	○	○	682
384	F0E27	0	0	Sa	-130132888	-80243.918	51.520	30	25	8	7	○	○	○	685
385	F0E27	0	0	Sa	-130132888	-80243.400	51.411	25	12	4	2	○	○	○	680
386	F0E27	0	0	Sa	-130132705	-80243.385	51.382	75	60	32	89	×	×	×	689
387	F0E27	0	0	Sa	-130132124	-80243.458	51.460	84	60	32	89	×	×	×	689
388	F0E27	0	0	Ca	-130132028	-80243.853	51.453	60	40	28	72	○	○	○	690
389	F0E27	0	0	Sa	-130132016	-80243.748	51.344	68	42	29	87	○	○	○	692
390	F0E27	0	0	Sa	-130132187	-80243.889	51.422	63	48	23	88	○	○	○	701
391	F0E27	0	0	Sa	-130132284	-80243.534	51.377	43	21	10	50	○	○	○	693
392	F0E27	0	0	Sa	-130132532	-80243.889	51.348	106	76	30	288	×	×	×	705
393	F0E27	0	0	Sa	-130132707	-80243.228	51.408	60	38	31	35	○	○	○	705
394	F0E27	0	0	Ca	-130132814	-80243.889	51.474	52	15	11	8	○	○	○	711
395	F0E26	0	0	Sa	-130134783	-80241.446	51.521	35	15	11	8	○	○	○	717
396	F0E26	0	0	Sa	-130139495	-80241.272	51.348	186	89	72	505	○	○	○	743
397	F0E11	0	0	Ca	-130138853	-80246.440	51.474	52	15	11	8	○	○	○	747
398	F0E11	0	0	Sa	-130139331	-80248.825	51.428	38	37	19	15	○	○		

番号	出土区	出土層	所属群	石材	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	厚さ	重さ	形状	取上番号	
164	Q0400	2a	0	5a	-139184.233	-60220.302	50.752	82	85	33	219	○	○	239
165	Q0400	2a	0	5a	-139184.413	-60220.291	50.848	79	17	12	5	○	○	240
166	Q0400	2a	0	5a	-139185.579	-60218.164	50.204	124	76	62	492	◎	○	242
167	Q0400	2a	0	5a	-139185.509	-60218.162	50.204	69	61	40	131	◎	○	243
168	Q0400	2a	0	5a	-139184.698	-60218.089	50.210	56	59	30	99	○	○	244
169	Q0518	19	0	5a	-139154.518	-60221.677	51.023	90	75	38	282	×	○	250
170	Q0518	2b	0	5a	-139154.783	-60220.064	51.008	122	119	43	643	○	○	251
171	Q0512	2a	8	5b	-139151.427	-60224.487	50.876	89	80	27	163	×	×	257
172	Q0518	2a	5	5a	-139155.287	-60220.518	50.819	40	39	14	14	○	○	258
173	Q0518	2a	5	5a	-139155.901	-60228.293	50.748	30	28	22	11	○	○	259
174	Q0518	2a	5	5b	-139155.302	-60228.586	50.732	89	48	27	80	○	○	260
175	Q0517	2a	6	5a	-139152.882	-60224.205	50.856	42	31	18	18	○	×	261
176	Q0517	2a	5	5a	-139155.423	-60225.978	50.717	47	35	30	32	△	○	262
177	Q0402	2a	4	5a	-139180.725	-60223.895	50.868	101	71	32	280	△	×	265
178	Q0520	2b	6	5a	-139155.798	-60221.215	50.257	51	44	8	20	○	○	264
179	Q0517	2b	5	5a	-139155.292	-60225.744	50.883	41	28	20	18	×	○	263
180	Q0517	2b	0	5a	-139154.701	-60224.845	50.771	48	29	31	24	○	○	264
181	Q0517	2b	22	5a	-139155.307	-60224.889	50.887	84	82	30	150	○	○	265
182	Q0522	2b	22	5a	-139182.151	-60225.203	50.883	101	53	35	280	○	○	266
183	Q0522	2b	22	5a	-139158.227	-60225.288	50.887	94	85	58	249	○	○	267
184	Q0522	2b	22	5a	-139154.232	-60225.298	50.881	76	75	45	199	○	○	268
185	Q0522	2b	22	5a	-139158.258	-60225.242	50.715	100	80	43	218	○	○	269
186	Q0522	2b	22	5a	-139158.543	-60225.273	50.883	81	41	27	73	○	○	270
187	Q0522	2b	22	5a	-139158.891	-60225.876	50.882	70	42	18	51	○	×	271
188	Q0522	2b	0	Gr	-139184.424	-60224.939	50.385	98	82	54	408	×	×	272
189	Q0523	2b	0	5a	-139158.224	-60218.538	50.482	28	28	19	7	○	○	273
190	Q0523	2b	0	5a	-139159.028	-60218.423	50.482	86	28	28	38	×	○	274
191	Q0523	2b	0	Ch	-139183.028	-60218.371	50.373	41	28	20	59	×	×	275
192	Q0402	2b	0	5a	-139183.375	-60224.927	50.548	23	8	6	1	○	○	276
193	Q0402	2b	0	5a	-139181.254	-60218.493	50.405	51	23	28	41	○	○	277
194	Q0402	2b	0	Ch	-139182.886	-60225.583	50.232	28	17	7	4.98	○	○	278
195	Q0407	2b	0	5a	-139164.581	-60225.554	50.484	130	87	57	714	×	○	279
196	Q0409	2b	0	Ch	-139184.886	-60218.968	50.110	52	42	35	63	×	○	280
197	Q0401	2a	0	5a	-139183.807	-60227.411	50.898	37	25	13	8	△	△	281
198	Q0401	2a	0	5a	-139183.807	-60227.411	50.898	41	31	8	16	△	△	282
199	Q0401	2a	0	5a	-139183.807	-60227.411	50.898	37	25	7	9	○	○	283
200	Q0401	2a	0	5a	-139183.331	-60226.774	50.788	88	33	18	76	○	○	284
201	Q0401	2a	0	5a	-139183.967	-60227.411	50.868	91	37	13	73	○	○	285
202	Q0409	2a	4	Ch	-139181.019	-60223.893	50.859	37	18	12	5	○	○	286
203	Q0520	2a	4	Ch	-139181.519	-60224.893	50.859	13	7	5	0.9	○	○	287
204	Q0518	2a	5	5a	-139155.423	-60224.968	50.951	51	38	23	44	△	○	288

表51 高見丘Ⅳ遺跡エリア1出土石器

4区石器

番号	出土層	出土層 所属70年代	石種	形状	X線撮影	Y線撮影	Z線撮影	長さ	幅	測定	重量	発掘番号	取込番号	図番号	備考
1	G001	2b	Ch	Ch	XXXX	-130121070	-160211061	13	17	11	18.1				
2	G006	2b	Fl	Fl	S1075	-130084845	-60228462	52.275	27	33	11.1	29	0	71	
3	F004	2b	Fl	Fl	S1076	-130054505	-60214407	40	22	19	52.215	40		71	
4	G006	2b	Fl	Fl	S1075	-130084845	-60228462	52.308	28	37	13	17	0	72	
5	G007	2b	Fl	Fl	S1079	-130087178	-60222491	52.243	*16	27	9	13.8	0	74	
6	G004	2b	Fl	Fl	S1076	-130054505	-60214407	41.877	*15	23	11	14.5	0	80	
7	F009	2b	Fl	Fl	S1075	-130084845	-60228462	52.248	33	27	13	8	0	108	
8	F009	2b	Fl	Fl	S1076	-130054505	-60214407	42.228	*19	27	13	7	0	108	
9	F019	2b	Fl	Fl	S1078	-130093422	-60235747	52.309	41	32	7	7.05	0	110	
10	F019	2b	Fl	Fl	S1080	-130095207	-60239380	52.239	40	16	8.01	0	111		
11	F033	2b	Fl	Fl	XXXX	-130120206	-60241464	12	14	2	0.47	0	118		
12	F033	2b	Fl	Fl	S1077	-130102430	-60241940	51.978	*18	28	15	16.3	0	119	
13	F011	2b	Fl	Fl	S1076	-130054505	-60214407	52.180	36	26	47	2.5	0	131	206-2
14	F006	2b	Fl	Fl	S1076	-130054505	-60214407	52.180	36	26	47	2.5	0	136	206-2
15	G001	2a	Fl	Fl	S1075	-130084845	-60228462	51.967	*17	33	8	1.96	0	137	
16	G006	2b	Fl	Fl	S1075	-130084845	-60228462	51.867	*16	33	8	1.96	0	138	
17	G009	2a	Fl	Fl	S1077	-130094474	-60229717	52.064	*18	40	7	0.99	0	140	
18	F009	2a	Fl	Fl	S1082	-130105321	-60244891	51.890	31	40	14	74.76	0	130	
19	H018	2a	Fl	Fl	Tu	Tu018	-130127204	-60119020	51.705	*18	16	1.58	0	171	204-1

4区石器

番号	出土層	出土層 所属70年代	石種	形状	X線撮影	Y線撮影	Z線撮影	長さ	幅	測定	重量	発掘番号	取込番号	図番号	備考	
1	F002	2b	Ch	Ch	XXXX	-130121928	-60243951	51.630	9	4	2	0.04	0	1		
2	F002	2b	Fl	Fl	S1073	-130123275	-60243288	51.933	29	18	8	3.43	0	2		
3	F002	2b	Fl	Fl	S1008	-130173431	-60243891	51.883	*17	15	9	0.82	0	14		
4	F007	2b	Fl	Fl	S1008	-130125516	-60243283	51.763	22	27	3	2.2	0	16		
5	F007	2b	Fl	Fl	S1008	-130125587	-60243287	51.762	18	17	5	1.53	0	19		
6	F007	2b	Fl	Fl	S1008	-130127332	-60242470	51.762	22	14	6	1.29	0	20		
7	F008	2b	Fl	Fl	Tu001	-130124909	-60241499	51.798	*12	18	7	0.78	0	21		
8	F008	2b	Fl	Tu	Tu001	-130125372	-60241390	51.798	18	8	5	0.39	0	22		
9	F008	2b	Fl	Fl	XXXX	-130125372	-60241390	51.798	18	8	5	0.39	0	23		
10	F008	2b	Fl	Tu	Tu005	-130125972	-60241390	51.800	23	22	5	1.83	0	24	187-7	
11	F008	2b	Fl	Fl	S1077	-130126500	-60243832	51.722	*18	*14	7	1.07	0	26		
12	F007	2b	Fl	Fl	S1004	-130124163	-60241718	51.718	*12	18	7	0.75	0	28		
13	F007	2b	Fl	Tu	Tu013	-130125508	-60243039	51.723	20	14	7	1.63	0	30		
14	F007	2b	Fl	Tu	XXXX	-130125508	-60243039	51.723	20	14	7	1.63	0	31		
15	F007	2b	Fl	Fl	XXXX	-130125503	-60241977	51.764	22	7	1	0.21	0	32		
16	F008	2b	Fl	Fl	Tu	Tu005	-130126495	-60241730	51.873	30	22	7	1.94	0	33	
17	F012	2b	Fl	Fl	S1073	-130123275	-60243288	51.630	9	4	2	0.04	0	34	201-3	
18	F012	2b	Fl	Fl	S1075	-130126365	-60242388	51.818	41	48	18	31.08	0	36		
19	G001	2b	Fl	Fl	S1074	-130122251	-60239103	51.888	*16	24	6	2.82	0	37		
20	G007	2b	Fl	Fl	S1075	-130124121	-60242216	51.868	47	20	11	6.17	0	38	204-7	
21	F020	2b	Fl	Fl	S1071	-130115510	-60231383	52.006	40	38	21	34.51	0	37		
22	F004	2b	Fl	Fl	S1008	-130125516	-60243283	51.763	22	27	3	2.2	0	39		
23	F014	2b	Fl	Fl	S1008	-130126426	-60237874	51.562	33	21	8	2.85	0	41		
24	G001	2a	Fl	Fl	S1074	-130122250	-60239103	51.878	*16	24	13	22.28	0	41	182-1	
25	G001	2a	Fl	Fl	S1075	-130122118	-60239103	51.878	*16	24	13	22.28	0	42	182-1	
26	G001	2a	Fl	Fl	S1076	-130122118	-60239103	51.878	*16	24	13	22.28	0	43	182-1	
27	G004	2a	Fl	Fl	XXXX	-130122118	-60239103	51.878	*16	24	13	22.28	0	44	182-1	
28	G006	2a	Fl	Fl	XXXX	-130122118	-60239103	51.878	*16	24	13	22.28	0	45	182-1	
29	H010	2b	Fl	Fl	Tu006	-130129325	-60237328	51.744	20	29	6	1.88	0	46	188-1	
30	H010	2b	Fl	Fl	S1073	-130124681	-60239242	51.133	20	24	11	24.23	0	47	182-2	
31	G020	2a	Fl	Fl	S1001	-130120216	-60232736	51.823	31	28	21	28	0	48	190-1	
32	G020	2a	Fl	Fl	S1009	-130120628	-60239354	51.989	39	34	26	52.46	0	49	190-2	
33	G020	2a	Fl	Fl	S1005	-130120817	-60239354	51.961	33	43	11	3.20	0	50	190-2	
34	G011	2b	Fl	Fl	S1004	-130113325	-60224194	51.653	40	49	40	34.40	0	51	192-3	
35	F001	2b	Fl	Fl	S1023	-130127212	-60232020	51.920	19	18	4	1	0	180		
36	F007	2b	Fl	Fl	S1021	-130127148	-60241111	51.860	18	14	1	1.24	0	181		
37	F012	2b	Fl	Fl	S1075	-130126365	-60242388	51.818	41	48	18	31.08	0	182		
38	F023	2b	Fl	Fl	S1072	-130118998	-60244038	51.658	16	22	5	1.7	0	184		
39	F002	2b	Fl	Fl	S1082	-130124298	-60244551	51.800	*16	*10	5	0.84	0	185		
40	F002	2b	Fl	Fl	S1072	-130124298	-60244551	51.800	*16	*10	5	0.84	0	186		
41	F002	2b	Fl	Fl	S1003	-130120191	-60244596	51.752	28	31	7	4.37	0	187		
42	F002	2b	Fl	Fl	S1001	-130120216	-60232736	51.823	31	28	21	28	0	188		
43	F002	2b	Fl	Fl	S1005	-130122118	-60239103	51.878	*16	24	13	22.28	0	189		
44	F002	2b	Fl	Fl	S1006	-130122508	-60243039	51.827	*16	12	4	0.61	0	190		
45	F002	2b	Fl	Fl	S1001	-130121517	-60232736	51.827	*16	12	4	0.61	0	191	192-8	
46	F002	2b	Fl	Fl	S1073	-130123240	-60243039	51.724	*17	*25	9	2.44	0	189		
47	F002	2b	Fl	Fl	S1074	-130123240	-60243039	51.828	*16	*42	6	0.79	0	192		
48	F002	2b	Fl	Fl	S1071	-130115501	-60243039	51.776	33	34	13	19.11	0	182		
49	F002	2b	Fl	Fl	S1074	-130123240	-60243039	51.800	31	29	6	4.01	0	183	211-8	
50	F007	2b	Ch	Ch	XXXX	-130124298	-60244551	51.821	5	7	2	0.06	0	192		
51	F007	2b	Fl	Fl	S1022	-130124555	-60244642	51.888	33	17	4	0.77	0	183		
52	F007	2b	Fl	Fl	S1003	-130124566	-60244396	51.622	30	23	1	3.67	0	184		
53	F007	2b	Fl	Fl	S1049	-130124298	-60244551	51.643	36	35	8	19.91	0	187	187-10	
54	F007	2b	Fl	Fl	S1005	-130124132	-60242388	51.742	34	21	7	4.31	0	188		
55	F007	2b	Fl	Fl	S1022	-130124298	-60244551	51.801	18	15	4	1.46	0	190		
56	F007	2b	Fl	Fl	S1073	-130123240	-60243039	51.724	*17	5	0	0.01	0	200		
57	F007	2b	Fl	Fl	XXXX	-130125509	-60243117	51.878	8	8	0	0.12	0	201		
58	F007	2b	Fl	Fl	S1022	-130125583	-60242103	51.618	18	22	4	1.86	0	203		
59	F007	2b	Fl	Fl	Tu009	-130125946	-60242853	51.626	*15	*18	5	1.09	0	204		
60	F007	2b	Fl	Fl	S1022	-130125946	-60242853	51.607	18	15	4	1.46	0	206		
61	F007	2b	Fl	Fl	S1001	-130125723	-60244543	51.840	*13	*11	9	0.74	0	207		
62	F007	2b	Fl	Fl	XXXX	-130126220	-60244551	51.628	10	8	0	0.12	0	208		
63	F007	2b	Fl	Fl	S1001	-130125287	-60244565	51.840	*19	5	10	2.61	0	209		
64	F007	2b	Fl	Fl	S1002	-130126028	-60243765	51.572	27	23	6	3.88	0	211		
65	F007	2b	Fl	Tu002	-130127018	-60243229	51.864	*18	8	4	0.86	0	212			
66	F007	2b	Fl	Fl	S1018	-130127348	-60243869	51.864	*18	8	4	0.86	0	213		
67	F007	2b	Fl	Fl	S1005	-130122118	-60239103	51.878	*16	24	13	22.28	0	214		
68	F007	2b	Fl	Fl	S1001	-130127138	-60244396	51.622	30	26	14	12.08	0	216		
69	F007	2b	Fl	Fl	S1016	-130127792	-60243171	51.572	17	25	6	1.98	0	210		
70	F007	2b	Fl	Fl	S1023	-130127462	-60244118	51.644	*18	10	5	1.02	0	215	202-3	
71	F007	2b	Fl	Fl	S1016	-130										

番号	出立	出立	出立	種別	石	種	X	Y	Z	高	幅	深	積	取	取	取
番号	出立	出立	出立	種別	石	種	X	Y	Z	高	幅	深	積	取	取	取
100 F067	3a	0	Cr	Sr	Sr004	-139127313	-60244859	51562	71	73	24	129.72	4	340	200-3	
101 F070	3a	0	Cr	Sr	Sr008	-139101484	-60241876	51403	61	79	48	133.72	4	299		
102 G006	3a	0	Fl	Sa	Sa003	-139105055	-60252487	51430	69	29	11	22.71	0	280		
103 G006	3a	0	Fl	Sa	Sa003	-139109476	-60226374	51896	6	16	2	9.08	0	361		
104 G006	3a	0	Fl	Sa	Sa002	-139107013	-60229163	51470	43	26	9	48.93	0	219		
105 G006	3a	0	Fl	Sa	Sa011	-139127300	-60229215	51445	28	27	10	54.1	0	363		
106 G006	3a	0	Fl	Sa	Sa005	-139105461	-60225485	51400	61	21	11	27.75	0	361		
107 G006	3a	0	Cr	Sr	Sr	Sr003	-139105444	-60228732	51700	41	46	47.24	0	365	180-1	
108 G007	3a	0	Fl	Sr	Sr013	-139104136	-60224794	51727	+13	+10	3	9.82	0	365		
109 G007	3a	0	Fl	Sr	Sr013	-139102098	-60224794	51722	22	2	2	2.25	0	367		
110 G071	3a	0	LF	Sr	Sr016	-139108326	-60229455	51885	40	28	15	11.91	0	368		
111 G071	3a	0	LF	Sr	Sr016	-139108326	-60229455	51885	40	28	15	11.91	0	368		
112 G091	3a	9	Fl	Sr	Sr024	-139120380	-60228553	51600	29	+22	0	23.77	0	377	180-4	
113 G091	3a	9	Fl	Sr	Sr024	-139120380	-60228553	51600	29	+22	0	23.77	0	377		
114 G091	3a	9	Fl	Sr	Sr024	-139120380	-60228553	51600	29	+22	0	23.77	0	377		
115 G091	3a	9	Fl	Sr	Sr024	-139120380	-60228553	51600	29	+22	0	23.77	0	377		
116 G091	3a	9	Fl	Sr	Sr024	-139120380	-60228553	51600	29	+22	0	23.77	0	377		
117 G091	3a	9	Fl	Sr	Sr024	-139120380	-60228553	51600	29	+22	0	23.77	0	377		
118 G091	3a	9	Fl	Sr	Sr024	-139120380	-60228553	51600	29	+22	0	23.77	0	377		
119 F065	2b	0	Fl	Sr	Sr023	-139107075	-60220738	51493	25	28	7	5.83	0	354		
120 F073	2b	0	LF	Sr	Sr026	-139109331	-60230189	51897	43	40	10	12.24	0	396		
121 G076	2b	0	Fl	Sr	Sr016	-139107265	-60229230	51584	28	25	8	6.82	0	367		
122 G082	2b	0	Fl	Sa	Sa003	-139120451	-60225738	51804	32	14	7	2.08	0	298		
123 F061	2b	8	Fl	Sr	Sr015	-139109409	-60224878	51831	15	17	7	9.99	0	399		
124 F081	2b	8	Cr	Sr	Sr008	-139109487	-60224878	51865	46	22	48	29.45	0	408		
125 F082	2b	8	Fl	Sr	Sr017	-139121875	-60248338	51901	+29	+12	0	1.81	0	410		
126 F082	2b	8	Fl	Sr	Sr017	-139121875	-60248338	51901	+29	+12	0	1.81	0	410		
127 F082	2b	8	Fl	Sr	Sr017	-139121875	-60248338	51901	+29	+12	0	1.81	0	410		
128 F082	2b	8	Fl	Sr	Sr017	-139121875	-60248338	51901	+29	+12	0	1.81	0	410		
129 F082	2b	8	Fl	Sr	Sr017	-139121875	-60248338	51901	+29	+12	0	1.81	0	410		
130 F081	2b	8	Fl	Sr	Sr025	-139129363	-60249217	51780	54	30	13	18.87	0	425		
131 F081	2b	8	Fl	Cr	Cr002	-139129376	-60249876	51787	16	20	5	2.12	0	426		
132 F081	2b	8	Fl	Sa	Sa007	-139124432	-60242896	51432	41	62	8	6.82	0	418		
133 F081	2b	8	Cr	Sr	Sr006	-139120439	-60249205	51782	22	24	10	6.78	0	429	202-2	
134 F081	2b	8	Cr	Cr005	Cr005	-139120439	-60249205	51782	22	24	10	6.78	0	429		
135 F081	2b	8	Fl	Sr	Sr017	-139120304	-60246448	51410	21	14	3	0.75	0	403		
136 F082	2b	8	Fl	Sr	Sr021	-139122366	-60245832	51875	29	43	47	46.88	0	429	200-1	
137 F081	2b	8	Cr	Cr006	Cr006	-139129376	-60249876	51787	16	20	5	2.12	0	426		
138 F086	2b	8	Fl	Sa	Sa007	-139124432	-60242896	51432	41	62	8	6.82	0	418		
139 F086	2b	8	Fl	Sa	Sa007	-139124432	-60242896	51432	41	62	8	6.82	0	418		
140 F086	2b	8	Fl	Sa	Sa007	-139124432	-60242896	51432	41	62	8	6.82	0	418		
141 F087	2b	8	Fl	Sr	Sr008	-139124327	-60245105	51815	20	21	7	3.98	0	446	201-1	
142 F072	2b	5	Fl	Sr	Sr021	-139118116	-60244444	51822	47	47	13	20.5	0	466		
143 F072	2b	5	Fl	Sr	Sr021	-139118116	-60244444	51822	47	47	13	20.5	0	466		
144 F072	2b	5	Fl	Sr	Sr021	-139118116	-60244444	51822	47	47	13	20.5	0	466		
145 F072	2b	5	Fl	Sr	Sr021	-139118116	-60244444	51822	47	47	13	20.5	0	466		
146 F072	2b	5	Fl	Sr	Sr021	-139118116	-60244444	51822	47	47	13	20.5	0	466		
147 F072	2b	5	Fl	Sr	Sr021	-139118116	-60244444	51822	47	47	13	20.5	0	466		
148 F072	2b	5	Fl	Sr	Sr021	-139118116	-60244444	51822	47	47	13	20.5	0	466		
149 F072	2b	5	Fl	Sr	Sr021	-139118116	-60244444	51822	47	47	13	20.5	0	466		
150 F082	2b	0	HF	Cr	Cr006	-139128388	-60242368	51610	58	45	25	40.11	0	640	204-4	
151 F082	2b	0	HF	Tu	Tu008	-139122087	-60244279	51804	31	55	9	10.82	0	643		
152 F082	2b	0	HF	Tu	Tu008	-139122087	-60244279	51804	31	55	9	10.82	0	643		
153 F082	2b	0	AS	Sa	Sa013	-139129383	-60244176	51533	180	130	101	379.0	0	649	200	
154 F082	2b	0	Fl	Sr	Sr017	-139120304	-60246448	51410	21	14	3	0.75	0	403		
155 F086	2b	8	Fl	Sr	Sr025	-139129363	-60249217	51780	54	30	13	18.87	0	425		
156 F087	2b	8	Fl	Sr	Sr026	-139129376	-60249876	51787	43	28	8	15.34	0	661		
157 F087	2b	8	Fl	Sr	Sr026	-139129376	-60249876	51787	43	28	8	15.34	0	661		
158 F087	2b	8	RF	Cr	Cr007	-139129376	-60249876	51787	43	28	8	15.34	0	661		
159 F087	2b	8	RF	Cr	Cr007	-139129376	-60249876	51787	43	28	8	15.34	0	661	180-6	
160 F087	2b	8	Fl	Tu	Tu004	-139125796	-60247798	51428	+40	+11	2	0.24	0	662		
161 F087	2b	8	Cr	Tu	Tu003	-139125882	-60247194	51443	44	40	20	27.52	0	668	180-2	
162 F087	2b	8	Fl	Tu	Tu003	-139125882	-60247194	51443	44	40	20	27.52	0	668		
163 F087	2b	8	Fl	Sr	Sr021	-139129376	-60245105	51815	20	21	7	3.98	0	446		
164 F087	2b	8	Fl	Sr	Sr021	-139129376	-60245105	51815	20	21	7	3.98	0	446		
165 F087	2b	8	Cr	Sr	Sr006	-139120439	-60249205	51782	22	24	10	6.78	0	429		
166 F087	2b	8	Cr	Sr	Sr006	-139120439	-60249205	51782	22	24	10	6.78	0	429		
167 F087	2b	8	Fl	Tu	Tu003	-139125882	-60247194	51443	44	40	20	27.52	0	668		
168 F087	2b	8	Fl	Tu	Tu003	-139125882	-60247194	51443	44	40	20	27.52	0	668		
169 F087	2b	8	Fl	Sr	Sr021	-139129376	-60245105	51815	20	21	7	3.98	0	446		
170 F087	2b	8	Fl	Sr	Sr021	-139129376	-60245105	51815	20	21	7	3.98	0	446		
171 F087	2b	8	Fl	Sr	Sr021	-139129376	-60245105	51815	20	21	7	3.98	0	446		
172 F087	2b	8	Fl	Sr	Sr021	-139129376	-60245105	51815	20	21	7	3.98	0	446		
173 F087	2b	8	Fl	Tu	Tu001	-139129376	-60245105	51815	20	21	7	3.98	0	446		
174 F087	2b	8	Fl	Sr	Sr021	-139129376	-60245105	51815	20	21	7	3.98	0	446		
175 F087	2b	8	Cr	Tu	Tu001	-139129376	-60245105	51815	20	21	7	3.98	0	446		
176 F087	2b	8	Fl	Sr	Sr021	-139129376	-60245105	51815	20	21	7	3.98	0	446		
177 F087	2b	8	Cr	Tu	Tu001	-139129376	-60245105	51815	20	21	7	3.98	0	446		
178 F087	2b	8	Fl	Sr	Sr021	-139129376	-60245105	51815	20	21	7	3.98	0	446		
179 F087	2b	8	Fl	Sr	Sr021	-139129376	-60245105	51815	20	21	7	3.98	0	446		
180 F087	2b	8	Cr	Cr	Cr006	-139129376	-60249876	51787	43	28	8	15.34	0	661		
181 F087	2b	8	Cr	Cr	Cr006	-139129376	-60249876	51787	43	28	8	15.34	0	661		
182 F087	2b	8	Cr	Cr	Cr006	-139129376	-60249876	51787	43	28	8	15.34	0	661		
183 F087	2b	8	Cr	Cr	Cr006	-139129376	-60249876	51787	43	28	8	15.34	0	661		
184 F087	2b	8	Cr	Cr	Cr006	-139129376	-60249876	51787	43	28	8	15.34	0	661		
185 F087	2b	8	Cr	Cr	Cr006	-139129376	-60249876	51787	43	28	8	15.34	0	661		

番号	出上区	出上東	西尾770	路線	花村	橋本	X座標	Y座標	Z座標	高さ	傾	方位	長さ	割合	取上番号	国番号	備考	
223	F012	3b	8	F	S	S1	S011	-130138476	-80248662	51472	+18	+6	0	0.04	0			
224	F012	3b	8	F	S	S1	XXXX	-130138486	-80248661	51480	+11	0	0	0.04	0			
225	F012	3b	8	F	S	S1	XXXX	-130138482	-80248661	51388	+12	7	3	0.15	0	765		
226	F012	3b	8	F	S	S1	XXXX	-130138485	-80248660	51396	+6	0	0	0.04	0	766		
227	F012	3b	8	F	S	S1	S011	-130138257	-80248640	51420	+14	0	3	0.38	0	768		
228	F012	3b	8	F	S	S1	XXXX	-130138261	-80248640	51461	+10	0	0	0.04	0	769		
229	F012	3b	8	F	S	S1	TJ09	-130138201	-80248571	51342	+21	2	16	0.21	0	771	200-1	
230	F012	3b	8	F	S	Tu	TJ01	-130138206	-80248570	51451	+17	+15	4	0.58	0	772	180-4	
231	F012	3b	8	F	S	S1	XXXX	-130138206	-80248570	51451	+17	+15	4	0.58	0	773	180-4	
232	G001	3a	8	H	S	S4	S4014	-130127476	-80248723	51580	+89	33	42	2.58	0	779	202-4	
233	F025	3b	7	H	F	Tu	TJ015	-130138276	-80220475	51219	+29	24	20	7.86	0	785	190-3	
234	F025	3b	7	H	F	Tu	TJ016	-130138284	-80220475	51221	+21	19	18	6	0.84	0	787	190-4
235	F025	3b	7	H	F	Tu	TJ018	-130138290	-80220475	51261	+23	15	5	1.71	0	791	190-1	
236	F025	3b	7	H	F	Tu	TJ018	-130138290	-80220475	51261	+23	15	5	1.71	0	792	190-1	
237	F025	3b	7	H	F	Tu	TJ004	-130138335	-80220410	51208	+60	39	8	12.03	0	793	195-0	
238	F025	3b	7	H	S	S2	S007	-130138345	-80220480	51262	+99	18	4	2.08	0	794	195-2	
239	F025	3b	7	H	F	Tu	TJ004	-130138354	-80220480	51225	+21	1	2	0.22	0	795	195-3	
240	F025	3b	7	H	F	Tu	TJ017	-130138345	-80220480	51116	+33	12	8	2.17	0	799		
241	F025	3b	7	H	S	S1	S015	-130138345	-80220480	51128	+90	+1	0	0.04	0	799		
242	G001	3a	7	F	S	S1	S017	-130138353	-80224748	51155	+43	18	10	12.18	0	807		
243	G001	3a	7	F	S	Ch	Ch001	-130138361	-80228370	51067	+50	29	7	6.97	0	812	200-1	
244	G001	3a	7	F	S	Ch	Ch008	-130138364	-80228361	51443	+68	27	12	14.02	0	818		
245	G001	3a	7	F	S	Ch	Ch008	-130138374	-80228379	51603	+14	29	6	1.37	0	814		
246	G001	3a	7	F	S	Ch	Ch007	-130138377	-80228366	51626	+24	21	2	2.82	0	815	204-9	
247	F000	3b	9	H	S	S4	S4001	-130132366	-80244088	51880	+23	48	10	15.64	0	816		
248	F000	3b	9	H	S	S4	S4002	-130132390	-80230461	51898	+44	34	18	19.03	0	819	191-1 経路	
249	F000	3b	9	F	S	S1	S001	-130132335	-80230989	51645	+37	47	15	19.88	0	820		
250	F000	3b	9	H	S	S1	S002	-130132389	-80230322	51672	+24	40	40	48.08	0	821	191-7	
251	F000	3b	9	F	S	S2	S008	-130124394	-80240327	51424	+27	30	6	3.31	0	822		
252	F000	3b	9	F	S	S4	S4001	-130124399	-80240300	51489	+11	10	0	0.81	0	823		
253	F000	3b	9	F	S	S4	S4002	-130127398	-80244925	51276	+14	+11	11	1.81	0	825		
254	F000	3b	9	F	S	S4	S4001	-130127398	-80244925	51276	+14	+11	11	1.81	0	826		
255	F000	3b	9	F	S	S4	S4002	-130127397	-80243935	51321	+13	+28	7	2.8	0	827		
256	F000	3b	9	F	S	Tu	TJ001	-130128134	-80240328	51419	+67	40	11	24.02	0	828		
257	F000	3b	9	F	S	Tu	TJ002	-130128133	-80240328	51419	+67	40	11	24.02	0	829		
258	F000	3b	9	F	S	Tu	TJ001	-130128134	-80240328	51419	+67	40	11	24.02	0	830		
259	F000	3b	9	F	S	Tu	TJ002	-130128133	-80240328	51419	+67	40	11	24.02	0	831		
260	F025	3b	8	F	S	S1	S011	-130118373	-80236343	51182	+18	16	3	0.77	0	838		
261	G001	3a	8	F	S	S1	S004	-130118384	-80235934	51181	+48	19	12	8.38	0	837	191-4	
262	F025	3b	8	F	S	S1	S015	-130118387	-80236343	51182	+18	16	3	0.77	0	839		
263	F025	3b	8	F	S	Tu	TJ018	-130139732	-80230356	51757	+28	64	29	44.42	0	847	200-1	
264	F016	3b	6	F	S	Ch	Ch008	-130138182	-80244448	51177	+44	18	8	3.37	0	848		
265	F016	3b	6	F	S	Ch	Ch001	-130138181	-80243306	51805	+34	39	21	50.28	4	801	216-1	
266	F016	3b	6	F	S	S4	S4001	-130117429	-80246113	51081	+14	14	5	0.98	0	853		
267	F016	3b	6	F	S	S4	S4002	-130116781	-80246113	51081	+14	14	5	0.98	0	854		
268	F016	3b	6	F	S	Ch	Ch008	-130116780	-80246192	51856	+17	16	8	1.82	0	857		
269	F016	3b	6	F	S	S4	S4001	-130116781	-80246192	51856	+17	16	8	1.82	0	858		
270	F016	3b	6	F	S	S4	S4002	-130116780	-80246192	51856	+17	16	8	1.82	0	859	193-1	
271	F022	3a	5	F	S	S1	S010	-130118322	-80240347	51774	+21	20	5	2.86	0	862		
272	F022	3a	5	F	S	S4	S4001	-130116476	-80241889	51489	+19	15	6	0.81	0	863	189-1	
273	F022	3a	5	F	S	S1	S010	-130116476	-80241889	51489	+19	15	6	0.81	0	864	189-1	
274	F022	3a	5	F	S	S4	S4002	-130116476	-80241889	51489	+19	15	6	0.81	0	865	209-3	
275	F022	3a	5	F	S	S1	S010	-130116476	-80241889	51489	+19	15	6	0.81	0	866	209-3	
276	F022	3a	5	F	S	S1	XXXX	-130116487	-80244741	51740	+5	12	4	0.2	0	867		
277	F022	3a	5	F	S	S1	S018	-130116247	-80244741	51737	+67	39	3	19.63	0	868	189-2	
278	F022	3a	5	F	S	S1	S004	-130116200	-80244740	51699	+27	22	8	3.71	0	869		
279	F022	3a	5	F	S	S4	S4001	-130116190	-80244740	51699	+18	+42	32	12.8	0	873	189-4	
280	F022	3a	5	F	S	Ch	Ch008	-130115782	-80240346	51786	+30	29	4	3.3	0	878		
281	F022	3a	5	F	S	S4	S4001	-130115785	-80240346	51786	+30	29	4	3.3	0	879		
282	F022	3a	5	F	S	S4	S4002	-130115783	-80240346	51786	+30	29	4	3.3	0	880		
283	F022	3a	5	F	S	S4	S4001	-130115783	-80240346	51786	+30	29	4	3.3	0	881		
284	F022	3a	5	F	S	S4	S4002	-130115785	-80240346	51786	+30	29	4	3.3	0	882		
285	F022	3a	5	F	S	S4	S4001	-130115783	-80240346	51786	+30	29	4	3.3	0	883		
286	F022	3a	5	F	S	S4	S4002	-130115785	-80240346	51786	+30	29	4	3.3	0	884		
287	F022	3a	5	F	S	S4	S4001	-130115783	-80240346	51786	+30	29	4	3.3	0	885		
288	F022	3a	5	F	S	S4	S4002	-130115785	-80240346	51786	+30	29	4	3.3	0	886		
289	F022	3a	5	F	S	S4	S4001	-130115783	-80240346	51786	+30	29	4	3.3	0	887		
290	F022	3a	5	F	S	S4	S4002	-130115785	-80240346	51786	+30	29	4	3.3	0	888		
291	F022	3a	5	F	S	S4	S4001	-130115783	-80240346	51786	+30	29	4	3.3	0	889	219-3	
292	F022	3a	5	F	S	S4	S4002	-130115785	-80240346	51786	+30	29	4	3.3	0	890		
293	F022	3a	5	F	S	Ch	Ch001	-130117325	-80244878	51790	+2	1	0.02	0	889			
294	F022	3a	5	F	S	S4	S4001	-130117324	-80244878	51789	+1	0	0.01	0	890			
295	F022	3a	5	F	S	S4	S4002	-130117311	-80244878	51777	+27	10	8	3.85	0	890		
296	F022	3a	5	F	S	S4	S4001	-130117311	-80244878	51777	+27	10	8	3.85	0	891		
297	F022	3a	5	F	S	S4	S4002	-130117311	-80244878	51777	+27	10	8	3.85	0	892	187-4	
298	F022	3a	5	F	S	S4	S4001	-130117311	-80244878	51777	+27	10	8	3.85	0	893		
299	F022	3a	5	F	S	S4	S4002	-130117311	-80244878	51777	+27	10	8	3.85	0	894		
300	F022	3a	5	F	S	S4	S4001	-130117311	-80244878	51777	+27	10	8	3.85	0	895	200-4	
301	F022	3a	5	F	S	S4	S4002	-130117311	-80244878	51777	+27	10	8	3.85	0	896		
302	F022	3a	5	F	S	S4	S4001	-130117311	-80244878	51777	+27	10	8	3.85	0	897		
303	F022	3a	5	F	S	S4	S4002	-130117311	-80244878	51777	+27	10	8	3.85	0	898		
304	F022	3a	5	F	S	S4	S4001	-130117311	-80244878	51777	+27	10	8	3.85	0	899		
305	F022	3a	5	F	S	S4	S4002	-130117311	-80244878	51777	+27	10	8	3.85	0	900		
306	F022	3a	5	F	S	S4	S4001	-130117311	-80244878	51777	+27	10	8	3.85	0	901	187-4	
307	F022	3a	5	F	S	S4</												

表52 高見丘V遺跡エリア2出土土

番号	出土区	出土層	所属層群	石材	X線検	γ線検	Z線検	長さ	幅	厚さ	重量	片化	割れ	割面形状	取上番号
1	J0706	3a	0	Sa	-139104.803	-00187.911	51.835	29	20	11	5	○	○	○	1
2	J0706	3a	0	Sa	-139106.248	-00187.913	51.837	23	17	67	20	○	○	○	2
3	J0707	3a	0	Ch	-139104.410	-00185.537	51.530	42	36	12	16	△	○	○	3
4	J0707	3a	0	Sa	-139104.457	-00185.953	51.533	32	19	12	6	○	○	○	4
5	J0707	3a	0	Sa	-139105.187	-00186.037	51.584	42	26	14	16	○	○	○	5
6	J0707	3a	0	Sa	-139105.208	-00186.113	51.588	54	35	29	54	○	○	○	6
7	J0707	3a	0	Sa	-139105.624	-00185.185	51.325	48	35	15	28	○	○	○	7
8	J0712	3a	0	Sa	-139108.188	-00182.155	51.511	114	77	27	283	×	○	○	8
9	J0712	3a	0	Sa	-139110.200	-00183.753	51.542	84	41	34	181	×	○	○	9
10	J0712	3a	0	Sa	-139110.191	-00183.302	50.963	107	67	45	433	△	○	○	10
11	J0712	3a	0	Sa	-139108.968	-00182.484	51.508	59	45	24	54	△	○	○	11
12	J0712	3a	0	Sa	-139110.001	-00182.488	51.457	55	32	29	47	×	○	○	12
13	J0723	3a	0	Sa	-139096.768	-00182.809	51.268	112	69	39	298	×	○	○	13
14	J0734	3a	0	Ch	-139103.066	-00185.918	51.400	72	24	19	40	×	○	○	14
15	J0301	3a	0	Sa	-139152.487	-00186.196	50.943	124	90	42	819	×	○	○	15
16	J0301	3a	0	Sa	-139153.931	-00186.237	50.808	143	117	30	741	△	○	△	16
17	J0302	3a	0	Sa	-139163.435	-00186.010	50.963	107	67	45	433	△	○	○	17
18	J0302	3a	0	Sa	-139163.423	-00186.197	50.977	67	66	60	372	△	○	○	18
19	J0302	3a	0	Sa	-139163.238	-00184.850	50.990	89	62	42	345	×	○	○	19
20	J0306	3a	0	Sa	-139164.299	-00187.455	50.765	103	101	67	798	△	○	△	20
21	J0307	3a	0	Sa	-139187.703	-00183.964	50.925	47	29	23	28	○	○	○	21
22	J0401	3a	0	Sa	-139182.912	-00187.033	50.900	24	27	29	21	○	○	○	22
23	J0402	3a	0	Sh	-139162.375	-00182.181	51.019	30	21	14	9	○	○	○	23
24	J0406	3a	0	Sh	-139167.795	-00186.571	50.725	95	64	48	340	△	○	○	24
25	J0407	3a	0	Sa	-139167.447	-00185.713	50.752	108	95	54	351	×	○	○	25
26	J0407	3a	0	Sa	-139161.021	-00183.887	50.994	61	33	48	83	○	○	○	26
27	J0421	3a	0	Sa	-139178.500	-00187.756	50.903	88	71	50	352	○	○	○	27
28	J0419	3a	0	Ch	-139172.825	-00186.480	50.897	22	19	3	1	×	○	○	28
29	J0419	3a	0	Ch	-139172.878	-00186.549	50.897	17	10	1	1	×	○	○	29
30	J0420	3a	0	Ch	-139174.767	-00185.185	50.715	44	28	10	9	×	○	○	30
31	J0204	3a	0	Sa	-139181.721	-00186.214	50.538	88	50	27	172	△	○	○	31
32	J0204	3a	0	Sa	-139181.920	-00186.489	50.514	82	48	49	282	△	○	○	32
33	J0905	3a	8	Sa	-139180.866	-00190.872	50.723	105	73	61	640	×	○	○	33
34	J0905	3a	8	Sa	-139180.392	-00190.821	50.811	62	21	19	29	×	○	○	34
35	J0305	3a	8	Sa	-139180.179	-00190.860	50.808	27	4	6	2	○	○	○	35
36	J0305	3a	8	Sa	-139190.889	-00190.408	50.763	61	52	38	160	×	○	○	36
37	J0305	3a	8	Sa	-139189.758	-00190.880	50.725	41	34	22	35	○	○	○	37
38	J0305	3a	8	Sa	-139183.913	-00190.860	50.808	27	4	6	2	○	○	○	38
39	J0310	3a	0	Sa	-139184.198	-00193.900	50.630	47	28	9	14	○	○	○	39
40	J0210	3a	0	An	-139184.053	-00191.357	50.682	88	62	59	495	×	○	○	40
41	J0210	3a	7	Sa	-139185.507	-00191.825	50.791	99	28	35	173	○	○	○	41
42	J0210	3a	7	Sa	-139185.768	-00192.064	50.636	105	45	37	165	×	○	○	42
43	J0210	3a	7	Sa	-139185.782	-00192.824	50.600	90	54	49	140	×	○	○	43
44	J0210	3a	7	Sa	-139185.258	-00191.487	50.765	63	48	48	83	○	○	○	44
45	J0210	3a	7	Sa	-139185.902	-00190.812	50.720	105	70	51	412	△	○	○	45
46	H0422	3a	24	Sa	-139177.941	-00203.289	49.805	57	38	25	60	△	○	△	46
47	H0422	3a	24	Sa	-139177.948	-00203.166	49.761	111	56	36	96	△	○	△	47
48	H0422	3a	24	Sa	-139177.149	-00203.213	49.843	59	53	32	100	×	○	○	48
49	H0422	3a	24	Sa	-139177.018	-00203.264	49.817	85	52	34	162	○	○	○	49
50	H0422	3a	24	Sa	-139177.031	-00202.867	49.815	62	37	36	96	△	○	△	50
51	H0422	3a	24	Sa	-139177.438	-00202.330	49.858	74	53	33	96	△	○	△	51
52	H0422	3a	24	Sa	-139178.424	-00203.858	49.769	84	45	37	144	○	○	○	52
53	H0422	3a	24	Sa	-139178.296	-00203.136	49.793	64	38	17	63	○	○	○	53
54	H0422	3a	24	Sa	-139178.263	-00203.328	49.802	51	41	19	37	×	○	○	54
55	H0422	3a	24	Sa	-139178.485	-00203.157	49.849	84	53	48	233	○	○	○	55
56	H0422	3a	24	Sa	-139178.515	-00203.016	49.847	65	49	45	187	○	○	○	56
57	H0422	3a	24	Sa	-139178.422	-00203.077	49.875	113	87	57	440	○	○	○	57
58	H0422	3a	24	Sa	-139178.590	-00202.222	49.826	69	68	21	92	○	○	○	58
59	H0422	3a	24	Sa	-139178.716	-00202.861	49.805	52	31	35	108	○	○	○	59
60	H0422	3a	24	Sa	-139178.409	-00202.905	49.861	90	29	28	175	○	○	○	60
61	H0422	3a	24	Sa	-139178.427	-00202.614	49.860	50	27	27	37	△	○	○	61
62	H0422	3a	24	Sa	-139178.508	-00202.408	49.811	48	37	9	14	×	○	○	62
63	H0422	3a	24	Sa	-139178.149	-00202.388	49.930	87	40	30	105	○	○	○	63
64	H0422	3a	24	Sa	-139178.302	-00202.483	49.857	32	16	15	9	×	○	○	64
65	H0422	3a	24	Ch	-139178.202	-00202.185	49.897	67	57	30	154	○	○	○	65
66	H0422	3a	24	Sa	-139178.338	-00202.284	49.949	79	58	27	195	○	○	○	66
67	H0422	3a	24	Sa	-139178.180	-00202.170	49.829	51	48	22	48	△	○	○	67
68	H0422	3a	24	Sa	-139178.602	-00202.251	49.892	47	38	19	54	△	○	○	68
69	H0422	3a	24	Sa	-139178.352	-00202.241	49.942	96	51	30	134	○	○	○	69
70	H0422	3a	24	Sa	-139178.464	-00202.244	49.929	65	51	52	186	○	○	○	70
71	H0422	3a	24	Sa	-139178.674	-00202.262	49.861	124	90	41	247	○	○	○	71
72	H0422	3a	24	Ch	-139178.613	-00202.180	49.848	95	57	26	277	○	○	○	72
73	H0422	3a	24	Ch	-139178.661	-00202.191	49.847	46	30	24	32	△	○	○	73
74	H0422	3a	24	Sa	-139178.687	-00202.188	49.860	84	63	40	188	○	○	○	74
75	H0422	3a	24	Sa	-139178.742	-00202.164	49.851	83	59	28	129	○	○	○	75
76	H0422	3a	24	Ch	-139178.750	-00202.242	49.939	84	55	282	○	○	○	○	76
77	H0422	3a	24	Sa	-139178.610	-00202.239	49.829	53	39	23	93	○	○	○	77
78	H0422	3a	24	Sa	-139178.817	-00202.139	49.980	70	46	23	80	○	○	○	78
79	H0422	3a	24	Sa	-139178.840	-00202.291	49.880	83	59	39	190	○	○	○	79
80	H0422	3a	24	Sa	-139178.746	-00202.148	49.891	84	64	20	103	○	○	○	80
81	H0422	3a	24	Sa	-139178.775	-00201.979	49.889	93	49	39	184	○	○	○	81
82	H0422	3a	24	Sa	-139178.980	-00202.078	50.005	93	74	21	188	×	○	○	82
83	H0422	3a	24	Sa	-139178.622	-00202.082	49.844	63	48	25	98	○	○	○	83
84	H0422	3a	24	Sa	-139178.850	-00202.028	50.021	66	59	68	178	○	○	○	84
85	H0422	3a	24	Sa	-139178.168	-00202.418	49.872	72	43	25	89	△	○	○	85
86	H0422	3a	24	Ch	-139178.223	-00202.223	49.877	78	29	29	87	△	○	○	86
87	H0422	3a	24	Sa	-139179.023	-00202.884	49.872	62	70	40	264	○	○	○	87
88	H0422	3a	24	Sa	-139179.891	-00202.642	50.049	82	59	20	103	○	○	△	88
89	H0422	3a	24	Sa	-139179.496	-00202.882	49.921	61	41	21	87	○	○	○	89
90	H0422	3a	24	Sa	-139177.938	-00200.995	50.041	90	45	20	83	×	○	○	90
91	H0422	3a	24	Sa	-139178.223	-00201.936	49.928	52	45	19	46	△	○	○	91
92															

番号	出士区	出土層	開掘層数	石種	X線標	Y線標	Z線標	長さ	幅	厚さ	重量	赤化	割れ	割痕	取上番号
82	H0423	3b	24	Sa	-139179.611	-60021.332	49.983	52	37	23	40	○	○	○	481
82	H0303	3b	0	Sa	-139180.208	-60201.912	50.011	62	46	20	79	×	×	×	482
84	H0303	3a	0	Sa	-139180.278	-60201.708	50.044	77	36	13	51	△	△	△	484
93	H0303	3b	0	Sa	-139180.432	-60200.640	50.237	109	65	59	451	△	×	×	485
96	H0305	3b	0	Sa	-139182.733	-60193.477	50.435	60	22	13	19	×	×	×	486
27	H0523	3a	16	Sa	-139172.219	-60189.819	50.457	79	32	36	32	○	○	○	487
98	H052	3b	0	Sa	-139154.614	-60184.154	50.587	33	26	17	11.5	○	○	○	485
94	H0306	3a	0	Sa	-139182.172	-60191.423	50.712	34	32	30	156	×	×	×	500
100	H0415	3a	0	Sa	-139180.044	-60190.752	50.465	74	42	36	71	○	○	○	510
101	H0415	3a	0	Sa	-139189.820	-60190.541	50.447	48	29	20	38	×	×	×	537
102	H0415	3a	0	Sa	-139170.037	-60190.351	50.467	59	42	25	68	△	△	△	538
103	H0415	3a	0	Sa	-139170.077	-60190.444	50.460	79	32	34	4	△	△	△	536
104	H041	3a	0	Sa	-139170.270	-60189.828	50.532	20	12	4	1	○	○	○	542
105	H041	3a	0	Sa	-139171.654	-60189.822	50.561	34	21	10	7	○	○	○	543
106	H041	3a	0	Sa	-139170.721	-60189.822	50.620	79	32	36	108	○	○	○	541
107	H041	3a	0	Ch	-139170.621	-60187.882	50.927	35	27	12	10	△	△	△	552
108	H041	3a	0	Sa	-139171.500	-60187.426	50.838	41	28	17	29	○	○	○	558
109	H041	3a	0	Sa	-139171.223	-60187.887	50.589	64	60	33	218	×	×	×	559
110	H0448	3a	0	Sa	-139172.002	-60188.384	50.842	29	25	15	10	○	○	○	561
111	H0445	3a	0	Ch	-139170.672	-60192.223	50.388	57	45	31	107	○	○	○	562

7区	出士区	出土層	開掘層数	石種	X線標	Y線標	Z線標	長さ	幅	厚さ	重量	赤化	割れ	割痕	取上番号
1	K0910	3a	16	Sa	-139127.532	-60323.319	51.289	25	17	10	3	○	○	○	3
2	K0910	3a	16	Sa	-139127.648	-60322.632	51.293	72	37	25	71	○	○	○	3
3	K0910	3a	16	Sa	-139127.827	-60322.411	51.401	107	81	61	306	△	△	△	5
4	K0910	3a	16	Sa	-139127.988	-60322.090	51.288	78	52	39	164	△	△	△	6
5	K0915	3a	15	Sa	-139128.021	-60323.485	51.333	127	71	50	450	○	○	○	7
6	K0915	3a	15	Sh	-139128.084	-60323.311	51.406	38	20	10	19	○	○	○	8
7	K0915	3a	15	Sa	-139128.086	-60323.402	51.405	132	104	65	678	△	△	△	9
8	K0915	3a	15	Sa	-139128.041	-60322.353	51.284	83	45	41	181	○	○	○	10
9	K0915	3a	16	Sa	-139128.429	-60322.222	51.379	86	64	44	195	△	△	△	11
10	K0915	3a	16	Sa	-139128.262	-60322.170	51.379	65	45	45	187	△	△	△	11
11	K0915	3a	16	Sa	-139128.160	-60322.126	51.374	59	32	20	21	○	○	○	12
12	K0915	3a	16	Sa	-139128.033	-60321.969	51.295	83	45	20	73	○	○	○	14
13	K0915	3a	14	Sa	-139128.829	-60321.250	51.277	51	46	23	69	○	○	○	15
14	K0915	3a	14	Sa	-139128.915	-60320.953	51.288	28	20	12	8	○	○	○	16
15	K0915	3a	14	Sa	-139128.090	-60321.488	51.297	58	29	19	25	△	△	△	18
16	K0915	3a	14	Gr	-139128.349	-60321.419	51.429	96	68	15	137	△	△	△	19
17	K0915	3a	14	Sa	-139128.460	-60321.448	51.420	74	65	24	264	×	×	×	22
18	K0915	3a	14	Sa	-139128.473	-60321.520	51.379	89	78	50	217	△	△	△	21
19	K0915	3a	14	Gr	-139128.156	-60321.664	51.250	62	30	4	264	×	×	×	22
20	K0915	3a	14	Sa	-139128.263	-60321.481	51.284	77	53	32	223	△	△	△	23
21	K0915	3a	14	Ch	-139128.446	-60321.341	51.427	53	25	30	44	×	×	×	24
22	K0915	3a	14	Sa	-139128.575	-60321.374	51.430	73	29	27	114	○	○	○	25
23	K0915	3a	14	Sh	-139128.650	-60321.846	51.322	102	68	40	196	○	○	○	26
24	K0915	3a	14	Sa	-139129.401	-60321.529	51.400	78	54	36	131	△	△	△	27
25	K0915	3a	14	Sa	-139129.190	-60322.122	51.402	62	72	34	151	×	×	×	28
26	K0915	3a	14	Sa	-139129.419	-60322.013	51.398	104	75	29	235	○	○	○	29
27	K0915	3a	14	Sa	-139129.723	-60321.391	51.293	81	65	39	226	△	△	△	30
28	K0915	3a	14	Ch	-139129.884	-60322.304	51.283	83	65	44	314	×	×	×	33
29	K0915	3a	14	Sa	-139129.775	-60322.800	51.412	21	18	3	1	○	○	○	34
30	K0915	3a	15	Sa	-139129.048	-60323.106	51.484	86	67	48	248	○	○	○	35
31	K0915	3a	15	Sa	-139129.032	-60323.125	51.454	71	48	34	98	○	○	○	36
32	K0915	3a	15	Sa	-139129.150	-60323.153	51.449	108	78	45	324	○	○	○	37
33	K0915	3a	15	Sa	-139129.217	-60323.189	51.417	78	52	37	122	○	○	○	38
34	K0915	3a	15	Sa	-139129.229	-60323.210	51.374	83	54	38	178	○	○	○	39
35	K0915	3a	15	Sa	-139129.371	-60323.238	51.396	57	49	17	44	○	○	○	42
36	K0915	3a	0	Sh	-139130.196	-60321.545	51.389	36	23	11	7	×	×	×	43
37	K0915	3a	0	Ch	-139130.665	-60321.869	51.285	71	58	44	225	○	○	○	44
38	K0915	3a	0	Ch	-139131.003	-60321.999	51.399	24	24	8	3	△	△	△	45
39	K0915	3a	0	Sa	-139131.398	-60322.817	51.379	91	53	29	159	○	○	○	46
40	K0915	3a	0	Sa	-139131.173	-60322.750	51.404	53	47	23	52	○	○	○	47
41	K0915	3a	0	Sa	-139131.511	-60322.778	51.290	130	101	52	898	○	○	○	49
42	K0915	3a	0	Sa	-139136.757	-60320.324	51.393	167	83	40	277	○	○	○	50
43	K0915	3a	0	Ch	-139139.328	-60156.942	51.322	64	25	24	56	×	×	×	51
44	K0917	3a	0	Sh	-139133.115	-60162.450	51.224	50	83	51	400	×	×	×	52
45	K0917	3a	0	Sa	-139133.467	-60162.514	51.315	81	67	51	291	×	×	×	53
46	K0918	3a	0	Sa	-139133.627	-60156.274	51.221	112	85	55	568	×	×	×	54
47	K0919	3b	0	Ch	-139132.687	-60154.203	51.244	112	90	35	683	×	×	×	55
48	K0920	3b	0	Sa	-139132.426	-60153.905	51.230	150	80	60	787	×	×	×	56
49	J0922	3a	0	Ch	-139138.892	-60162.160	51.291	42	32	25	44	○	○	○	58
50	J0923	3a	0	Sa	-139138.043	-60161.290	51.447	42	33	40	20	×	×	×	59
51	J0923	3a	0	Sa	-139138.844	-60160.910	51.409	24	24	15	10	○	○	○	60
52	J0923	3a	0	Sa	-139138.412	-60160.318	51.425	44	21	13	15	○	○	○	61
53	J0923	3a	0	Sa	-139142.034	-60144.231	51.309	31	21	18	9	○	○	○	63
54	K0924	3a	0	Gr	-139142.425	-60137.542	51.399	90	88	55	499	×	×	×	64
55	K0915	3a	15	Sa	-139128.523	-60323.440	51.388	47	44	24	60	○	○	○	67
56	K0915	3a	14	Sa	-139129.848	-60322.087	51.467	29	25	19	9	×	×	×	68
57	K0915	3a	0	Sa	-139130.342	-60321.773	51.427	41	27	22	19	○	○	○	69
58	K0915	3a	0	Sa	-139131.043	-60321.905	51.399	48	29	20	39	○	○	○	70
59	K0915	3a	0	Sa	-139131.281	-60321.029	51.327	38	34	19	15	○	○	○	71
60	K0916	3a	0	Sa	-139133.816	-60146.711	51.448	37	27	20	22	○	○	○	72
61	K0919	3a	0	Ch	-139135.170	-60136.620	51.405	29	22	11	12	△	△	△	75
62	K0923	3a	0	Ch	-139129.432	-60146.841	51.275	61	25	20	26	×	×	×	76
63	K0923	3a	0	Sh	-139138.748	-60139.433	51.362	35	25	7	6	×	×	×	77

表 53 高見丘IV遺跡エリア2出土石器

番号	出土区	出土層	所属	種別	石種	形状	長さ	幅	厚さ	重量	検出番号	取上番号	図番号	備考
1	0201	3a	1	Fl	Sil	S002	-129181.021	-60181.921	50.738	57	28	14	15.8	0
2	0201	3a	1	Fl	Sil	S002	-129182.219	-60181.921	51.228	12	14	13	6.14	0
3	0201	3a	1	AS	Sa	S016	-129183.412	-60187.514	50.783	130	129	82	19.70	0
4	0202	3a	1	Fl	Tu	S002	-129184.714	-60187.514	51.680	41	40	19	11.06	0
5	0202	3a	1	Fl	Sil	S030	-129181.813	-60182.925	51.052	18	25	8	1.82	0
6	0202	3a	1	Fl	Sil	S030	-129181.124	-60184.629	51.029	40	21	13	19.65	0
7	0202	3a	1	Fl	Sil	S030	-129182.204	-60182.522	50.864	68	82	68	24.1	1
8	0206	3a	0	Cr	Sil	S028	-129185.008	-60186.519	50.727	19	51	58	48.28	0
9	0217	3a	0	Fl	Sil	S027	-129178.231	-60184.591	50.922	15	20	11	1.56	0
10	0241	3a	1	Fl	Sil	S063	-129178.388	-60186.088	50.984	48	44	14	2.18	1
11	0242	3a	1	Fl	Ch	0242	-129179.930	-60185.272	50.748	x31	+10	9	3.55	0
12	0244	3a	0	Fl	Sil	S428	-129170.764	-60185.262	50.889	62	56	27	27.34	0
13	0245	3a	0	Fl	Sa	S021	-129171.416	-60180.980	50.905	+17	+14	5	0.77	0
14	0245	3a	0	Fl	Sil	S027	-129178.231	-60184.591	50.999	24	23	13	12.44	0
15	0245	3a	0	Ch	Sil	XXXXX	-129173.235	-60184.467	50.513	3	2	0	0.01	0
16	0245	3a	0	Ch	Sil	XXXXX	-129177.886	-60184.611	50.500	8	4	2	0.08	0
17	0245	3a	0	Fl	Sil	S084	-129177.887	-60184.286	50.584	+14	8	4	0.31	0
18	0245	3a	0	Fl	S080	-129178.057	-60184.186	50.580	+11	+8	5	0.28	0	
19	0245	3a	0	Ch	Sa	XXXXX	-129178.231	-60184.591	16.532	5	8	3	0.98	0
20	0245	3a	0	Fl	Tu	T408	-129177.187	-60183.033	30.544	25	18	5	1.81	0
21	0245	3a	0	Ch	Sil	XXXXX	-129178.140	-60183.740	30.588	9	3	2	0.08	0
22	0245	3a	0	Ch	Sil	XXXXX	-129178.388	-60183.600	30.576	3	2	1	0.01	0
23	0245	3a	0	Cr	Sil	S088	-129178.120	-60182.315	30.893	42	43	55	130.65	3
24	0245	3a	0	Fl	Ch	0245	-129178.388	-60183.211	30.523	14	14	8	0.72	0
25	0245	3a	0	Fl	Tu	T408	-129178.257	-60182.204	30.638	6	0	0	0.82	0
26	0245	3a	0	Fl	Sa	S040	-129178.252	-60182.724	30.940	22	22	7	0.45	0
27	0245	3a	0	Fl	Sil	S081	-129178.121	-60182.870	30.661	+22	+17	7	2.26	0
28	0245	3a	0	Ch	Sil	XXXXX	-129178.022	-60182.487	30.816	7	5	2	0.11	0
29	0245	3a	1	Fl	Tu	T409	-129178.229	-60182.488	30.847	33	29	11	7.49	0
30	0245	3a	0	Fl	S025	-129182.284	-60181.497	30.990	+17	+18	6	0.82	0	
31	0245	3a	0	Cr	Sil	S425	-129182.284	-60181.497	30.971	53	29	48	88.38	0
32	0245	3a	0	Fl	S024	-129184.166	-60182.583	30.721	42	60	12	23.24	0	
33	0245	3a	0	Fl	Sa	S083	-129177.309	-60182.470	49.867	18	25	4	2.08	0
34	0245	3a	0	Fl	Sil	S021	-129178.460	-60183.463	49.866	38	35	17	40.07	0
35	0245	3a	0	Fl	Sil	XXXXX	-129178.467	-60183.135	49.850	11	4	2	0.26	0
36	0245	3a	0	Fl	Sil	S026	-129185.823	-60183.456	50.486	30	+16	18	6.03	0
37	0245	3a	1	Cr	Sil	S420	-129183.872	-60185.004	50.918	59	-49	26	27.38	0
38	0245	3a	1	Fl	Sa	S083	-129180.470	-60183.114	50.890	52	45	14	22.91	1
39	0245	3a	1	Fl	Sa	S083	-129182.815	-60185.008	50.878	34	36	29	24.81	1
40	0245	3a	0	Cr	Tu	T411	-129180.823	-60182.472	50.274	23	21	9	2.63	0
41	0245	3a	0	Cr	Sil	S021	-129177.859	-60180.713	50.541	58	47	11	21.48	0
42	0245	3a	0	Fl	Sil	S043	-129179.513	-60182.986	49.264	22	21	12	11.68	0
43	0245	3a	0	Cr	Sil	S044	-129189.713	-60180.540	33.423	29	31	40	37.84	0
44	0241	3a	2	Fl	Sil	S083	-129189.842	-60187.121	50.885	+29	+22	8	2.87	0
45	0241	3a	2	Fl	Sil	S065	-129170.360	-60182.928	50.823	24	16	5	1.84	0
46	0241	3a	2	Ch	Sa	XXXXX	-129170.365	-60187.509	50.853	8	7	2	0.06	0
47	0241	3a	2	Ch	Sil	XXXXX	-129170.362	-60187.247	50.861	6	8	2	0.85	0
48	0241	3a	2	Fl	Sil	XXXXX	-129170.309	-60187.278	50.889	19	11	4	0.43	0
49	0241	3a	2	Ch	Sil	XXXXX	-129170.824	-60187.228	50.711	9	8	2	0.14	0
50	0241	3a	2	Fl	Sil	S081	-129170.820	-60187.184	50.867	+15	0	0	0.64	0
51	0241	3a	2	Ch	Sil	XXXXX	-129170.888	-60187.538	50.893	2	7	1	0.15	0
52	0241	3a	2	Fl	Sa	XXXXX	-129170.680	-60187.584	50.641	9	+10	2	0.12	0
53	0241	3a	2	Fl	Ch	XXXXX	-129170.718	-60188.909	50.881	15	6	2	0.28	0
54	0241	3a	2	Fl	Tu	XXXXX	-129170.885	-60189.908	50.889	12	11	2	0.18	0
55	0241	3a	2	Fl	Sa	XXXXX	-129171.111	-60187.130	50.682	10	12	4	0.24	0
56	0241	3a	2	Fl	Ch	XXXXX	-129171.340	-60187.200	50.686	12	12	2	0.21	0
57	0241	3a	2	Fl	Sil	S046	-129171.424	-60187.821	50.653	37	37	9	32.7	0
50年代														
番号	出土区	出土層	所属	種別	石種	形状	長さ	幅	厚さ	重量	検出番号	取上番号	図番号	備考
1	J0712	3a	0	Cr	Sil	S074	-129180.465	-60182.595	31.573	27	27	30	0	0
2	J0794	3a	0	Fl	Sil	S073	-129180.580	-60183.907	31.240	95	23	13	14	16
70年代														
番号	出土区	出土層	所属	種別	石種	形状	長さ	幅	厚さ	重量	検出番号	取上番号	図番号	備考
1	K0818	3a	0	Fl	Sa	S472	-129183.228	-60183.332	51.921	57	30	14	19.05	0
2	K0818	3a	0	Ch	Sil	XXXXX	-129183.842	-60186.239	51.468	+8	+7	3	0.12	0
3	L0501	3a	0	Ch	Sil	S071	-129182.830	-60182.204	51.074	28	43	21	21.08	0

計測不詳

表54 高見丘IV遺跡エリア3出土磚

図号	出土層	所属層	石种	X線検査	Y線検査	Z線検査	長さ	幅	高さ	厚さ	形状	取付位置	取上番号
1	A0103	3a	18	Sh	-139100940	-0033810	32502	51	31	18	35	×	2
2	A0102	3a	18	Sh	-139100170	-0034405	32488	53	31	17	37	×	3
3	A0103	3a	18	Sh	-139100184	-0033949	32458	51	47	19	31	○	4
4	A0103	3a	18	Sh	-139100189	-0033975	32308	41	20	24	34	○	5
5	A0103	3a	18	Sh	-139100173	-0033949	32458	54	34	25	39	△	6
6	A0103	3a	18	Sh	-139100306	-0033942	32438	75	35	23	39	○	7
7	A0103	3a	18	Sh	-139100381	-00339143	32452	59	47	28	64	○	8
8	A0103	3a	18	Sh	-139100345	-00339182	32441	102	70	39	314	○	9
9	A0106	3a	18	Sh	-139100419	-00339229	32488	61	24	21	34	○	10
10	A0106	3a	18	Sh	-139100458	-00339218	32416	45	84	41	251	○	11
11	A0103	3a	18	Sh	-139100393	-00339272	32424	71	46	36	110	○	12
12	A0103	3a	18	Sh	-139100377	-00339282	32441	53	41	37	51	○	13
13	A0106	3a	18	Sh	-139100441	-00339423	32488	95	99	33	253	○	14
14	A0106	3a	18	Sh	-139100451	-00339393	32415	81	99	40	274	○	15
15	A0103	3a	18	Sh	-139100408	-00339357	32418	57	48	23	34	○	16
16	A0106	3a	18	Sh	-139100457	-00339372	32417	88	63	30	187	△	17
17	A0106	3a	18	Sh	-139100461	-00339390	32410	103	84	32	474	○	18
18	A0106	3a	18	Sh	-139100449	-00339369	32407	104	84	44	470	○	19
19	A0106	3a	18	Sh	-139100454	-00339363	32434	83	74	24	151	○	20
20	A0106	3a	18	Sh	-139100436	-00339377	32478	81	48	35	184	○	21
21	A0106	3a	18	Sh	-139100439	-00339379	32444	85	33	13	20	○	22
22	A0103	3a	17	Sh	-139100392	-00341805	32460	112	48	33	238	○	23
23	A0103	3a	17	Sh	-139100348	-00341882	32474	133	81	35	512	△	24
24	A0103	3a	17	Sh	-139100314	-00341327	32475	114	74	41	448	×	25
25	A0103	3a	17	Sh	-139100393	-00341268	32451	58	37	37	48	○	26
26	A0103	3a	17	Sh	-139100388	-00341198	32484	88	72	41	334	○	27
27	A0103	3a	17	Sh	-139100383	-00341133	32481	98	50	32	114	○	28
28	A0103	3a	17	Sh	-139100341	-00341161	32448	87	58	38	188	○	29
29	A0103	3a	17	Sh	-139100381	-00341143	32480	41	37	18	22	○	30
30	A0103	3a	17	Sh	-139100317	-00341040	32481	83	60	46	292	○	31
31	A0106	3a	17	Sh	-139100405	-00341056	32487	81	51	49	217	○	32
32	A0103	3a	17	Sh	-139100384	-00340981	32448	87	39	32	105	○	33
33	A0106	3a	17	Sh	-139100437	-00341051	32484	89	34	25	89	○	34
34	A0106	3a	17	Sh	-139100484	-00341328	32480	61	49	26	100	○	35
35	A0106	3a	17	Sh	-139100485	-00341328	32481	77	39	38	113	○	36
36	A0106	3a	17	Sh	-139100453	-00341235	32438	96	60	51	388	○	37
37	A0106	3a	17	Sh	-139100482	-00341235	32480	87	51	32	112	○	38
38	A0103	3a	17	Sh	-139100381	-00340805	32478	30	34	22	18	○	39
39	A0103	3a	17	Sh	-139100381	-00340808	32478	44	32	20	37	○	40
40	A0106	3a	17	Sh	-139100381	-00340811	32482	81	47	31	105	○	41
41	A0106	3a	17	Sh	-139100443	-00340853	32469	87	57	79	182	○	42
42	A0106	3a	17	Sh	-139100411	-00340844	32429	89	60	38	178	○	43
43	A0106	3a	17	Sh	-139100438	-00340824	32440	54	43	24	44	○	44
44	A0106	3a	17	Sh	-139100448	-00341283	32479	59	28	28	39	○	45
45	A0106	3a	17	Sh	-139100418	-00340889	32444	82	39	26	84	○	46
46	A0106	3a	17	Sh	-139100487	-00340882	32427	114	60	28	211	○	47
47	A0106	3a	17	Sh	-139100452	-00340790	32438	87	58	38	188	○	48
48	A0106	3a	17	Sh	-139100430	-00340895	32443	77	86	31	181	○	49
49	A0106	3a	17	Sh	-139100435	-00340892	32443	45	32	19	29	○	50
50	A0106	3a	17	Sh	-139100438	-00340817	32445	52	44	27	30	○	51
51	A0106	3a	17	Sh	-139100480	-00340782	32448	53	43	31	89	○	52
52	A0106	3a	17	Sh	-139100478	-00340888	32448	88	49	30	83	○	53
53	A0106	3a	17	Sh	-139100456	-00340852	32438	64	62	33	44	○	54
54	A0106	3a	17	Sh	-139100428	-00340488	32449	84	67	29	118	○	55
55	A0106	3a	17	Sh	-139100439	-00340398	32429	70	41	27	110	○	56
56	A0106	3a	17	Sh	-139100466	-00340455	32441	87	58	38	188	○	57
57	A0106	3a	17	Sh	-139100481	-00340488	32384	69	58	38	175	△	58
58	A0106	3a	17	Sh	-139100489	-00340718	32423	98	96	27	287	△	59
59	A0106	3a	17	Sh	-139100452	-00340651	32421	80	51	30	101	○	60
60	A0106	3a	17	Sh	-139100452	-00340651	32421	80	51	30	101	○	61
61	A0106	3a	17	Sh	-139100452	-00340651	32421	80	51	30	101	○	62
62	A0106	3a	17	Sh	-139100452	-00340651	32421	80	51	30	101	○	63
63	A0106	3a	17	Sh	-139100452	-00340651	32421	80	51	30	101	○	64
64	A0106	3a	18	Sh	-139100434	-00339355	32443	72	38	31	73	○	65
65	A0106	3a	18	Sh	-139100487	-00339380	32432	271	21	31	107	○	66
66	A0106	3a	18	Sh	-139100424	-00339380	32486	40	39	20	72	△	67
67	A0106	3a	18	Sh	-139100481	-00339331	32428	89	89	28	233	○	68
68	A0106	3a	18	Sh	-139100419	-00339348	32446	93	74	35	285	○	69
69	A0106	3a	18	Sh	-139100462	-00339287	32410	110	100	60	600	○	70
70	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	71
71	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	72
72	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	73
73	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	74
74	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	75
75	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	76
76	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	77
77	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	78
78	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	79
79	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	80
80	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	81
81	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	82
82	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	83
83	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	84
84	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	85
85	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	86
86	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	87
87	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	88
88	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	89
89	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	90
90	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	91
91	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	92
92	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	93
93	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	94
94	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	95
95	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	96
96	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	97
97	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	98
98	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	99
99	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	100
100	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	101
101	A0106	3a	18	Sh	-139100478	-00339441	32446	125	102	90	788	○	102
102	A0106	3a	18</										

番号	出士区	出土層	所属資料	石材	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	高さ	重さ	形状	形状	製法	取上番号
111	A0713	2a	0	5a	-139108.079	-60340.308	52.562	59	39	37	71	○	○	○	124
112	A0713	3a	0	5a	-139108.022	-60336.860	52.482	7	7	4	0.00	○	○	○	129
113	A0712	3a	19	5a	-139106.606	-60340.488	52.347	75	44	23	83	△	○	△	150
114	A0712	2a	10	5a	-139108.811	-60340.757	52.419	56	38	26	30	×	○	×	131
115	A0712	2a	10	5a	-139108.835	-60341.000	52.338	85	51	47	204	○	○	×	132
116	A0712	2a	10	5a	-139108.810	-60341.850	52.380	103	82	35	181	○	○	○	133
117	A0712	3a	10	5a	-139108.799	-60043.927	52.343	32	18	10	6	○	○	×	134
118	A0712	2a	10	5a	-139108.843	-60341.941	52.379	87	29	25	51	×	○	×	135
119	A0712	2a	10	5a	-139108.778	-60341.211	52.385	97	90	29	98	×	○	×	136
120	A0712	3a	19	5a	-139108.000	-60344.237	52.349	82	51	37	109	○	○	○	137
121	A0712	2a	10	5a	-139108.087	-60344.394	52.255	38	17	13	10	×	○	×	138
122	A0712	2a	10	5a	-139108.069	-60344.124	52.253	48	28	15	18	○	△	×	139
123	A0712	2a	10	5a	-139109.218	-60343.848	52.389	56	21	11	11	○	○	○	140
124	A0712	2a	0	5a	-139108.300	-60344.875	52.316	113	66	32	255	△	○	×	141
125	A0712	3a	0	5a	-139108.000	-60344.800	52.140	54	26	14	17	×	○	△	142
126	A0703	3a	10	5a	-139103.828	-60338.826	52.489	28	13	6	2	○	○	○	144
127	A0706	3a	10	5a	-139104.005	-60338.179	52.291	95	82	37	273	○	○	△	145
128	A0706	2a	10	5a	-139104.052	-60338.200	52.438	74	45	20	71	○	○	△	148
129	A0708	3a	10	5a	-139104.067	-60338.054	52.404	74	24	31	154	○	○	○	147
130	A0708	3a	10	5a	-139104.101	-60338.107	52.388	53	21	17	29	○	○	○	148
131	A0708	3a	10	5a	-139104.154	-60338.072	52.411	58	44	34	98	○	○	○	149
132	A0708	3a	10	5a	-139104.177	-60338.048	52.410	55	38	23	58	○	○	○	150
133	A0708	2a	10	5a	-139104.202	-60338.436	52.416	87	80	31	152	○	○	○	151
134	A0708	2a	10	5a	-139104.253	-60338.313	52.420	56	58	31	81	○	○	○	152
135	A0708	2a	10	5a	-139104.402	-60338.305	52.427	93	76	43	28	○	○	○	153
136	A0708	2a	10	5a	-139104.363	-60338.284	52.421	36	28	21	12	○	○	×	154
137	A0708	2a	10	5a	-139104.373	-60338.249	52.410	81	41	22	47	○	○	○	155
138	A0708	3a	10	5a	-139104.311	-60338.214	52.383	69	48	20	51	○	○	○	156
139	A0708	3a	10	5a	-139104.370	-60338.227	52.384	53	35	17	28	○	○	○	157
140	A0708	3a	0	5a	-139104.330	-60340.278	52.193	112	88	66	752	×	○	×	160
141	A0708	3b	0	5a	-139104.705	-60338.352	52.084	148	81	69	798	×	○	×	161
142	A0708	3b	0	5a	-139105.888	-60338.611	52.007	111	87	39	407	×	○	×	163
143	A0708	3a	10	5a	-139104.057	-60338.972	52.417	81	48	31	72	○	○	△	166
144	A0708	3a	17	5a	-139104.023	-60341.223	52.436	48	34	10	16	△	○	×	167
145	A0708	3a	10	5a	-139104.381	-60338.560	52.513	12	12	6	0.89	○	○	○	168
146	A0708	3a	10	5a	-139104.428	-60338.235	52.406	82	55	38	104	○	○	×	169
147	A0708	3a	10	5a	-139104.281	-60338.082	52.415	84	50	41	72	○	○	○	170
148	A0708	3a	10	5a	-139104.007	-60338.054	52.404	84	78	18	138	○	○	○	171
149	A0708	3a	10	5a	-139104.286	-60338.152	52.399	17	15	9	2	○	○	×	172
150	A0713	2a	0	5a	-139108.079	-60340.308	52.562	88	37	25	60	○	○	△	173

表 55 高見丘IV遺跡エリア3 出土石器

番号	出土区	出土層	所属層/シロ	経緯	石材	種別	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	厚さ	重さ	検出番号	取上層号	図番号	備考
1	A0707	3a	12	Fl	On	On012	-139106.022	-60342.326	52.680	17	16	3	0.76	0	105		
2	A0707	3a	12	Fl	Sil	S085	-139106.526	-60342.202	52.353	11	16	0	5.1	0	106		
3	A0708	3a	12	Fl	Sil	S087	-139106.690	-60341.625	52.440	43	27	0	8.34	0	110		
4	A0708	3a	12	So	Sil	S088	-139106.563	-60340.621	52.246	26	21	17	17.46	0	111		229-2
5	A0708	3a	12	Fl	Sil	S085	-139107.226	-60346.689	52.420	18	0	0	0.34	0	112		
6	A0708	3a	12	Fl	Sil	S085	-139107.746	-60340.108	52.424	114	29	10	2.94	0	116		
7	A0707	3a	12	So	Sil	S085	-139106.677	-60343.128	52.668	42	16	4	7.25	0	120		229-1
8	A0711	3a	12	Fl	Sil	S085	-139106.046	-60340.449	52.403	89	30	21	44.89	0	123		229-3
9	A0712	3a	12	Fl	So	S011	-139106.134	-60340.897	52.684	12	11	2	0.29	0	126		
10	A0712	3a	12	Ch	Sil	X333X	-139106.001	-60340.966	52.526	14	14	2	0.02	0	127		
11	A0712	3a	12	Fl	Sil	S086	-139106.619	-60340.512	52.394	20	20	3	1.54	0	128		

表 56 高見丘IV遺跡出土石器

番号	出土層	出土層	所属工種	所産地	石種	X線像	Y線像	工具像	長さ	幅	厚さ	重量	単位	別名	調査者	出土層
1	AD703	3a	3	0	Sh	-139102.787	-00238.399	57.872	253	120	88	3750	g	○	h	1
2	AD706	2b	3	0	Sa	-139106.823	-00349.483	51.977	191	143	88	3368	g	×	h	186
3	AD709	3a	3	0	Sa	-139104.841	-0041.209	52.027	192	120	95	2485	g	×	h	182
4	AD709	3a	3	0	Sa	-139106.990	-0034.900	52.022	156	108	74	1891	g	×	h	164
5	AD706	3a	3	0	Sa	-139106.314	-00366.191	52.827	248	168	112	5698	g	×	h	143
6	AD712	3a	3	0	Sa	-139110.929	-00245.182	52.198	110	85	55	1005	g	×	h	143
7	F0801	2b	1	1	Sa	-139122.356	-00247.257	51.899	150	84	68	1130	g	△	h	448
8	F0801	2b	1	1	Sa	-139121.828	-00247.257	51.899	150	84	68	1130	g	△	h	448
9	F0902	2b	1	2	Ch	-139121.994	-00243.229	51.910	100	82	77	1127	g	×	h	2
10	F0905	3a	1	0	Sa	-139122.593	-00230.726	51.404	220	180	131	5809	g	×	h	393
11	F0901	3a	1	0	Sa	-139120.811	-00243.229	51.530	281	204	147	6847	g	×	h	485
12	F0907	3a	1	0	Sa	-139127.217	-00244.900	51.511	148	129	71	1059	g	×	h	215
13	F0907	3a	1	0	Ch	-139126.133	-00242.249	51.288	144	125	99	2370	g	×	h	382
14	F0907	3a	1	0	Ch	-139127.426	-00243.540	51.792	213	146	93	3530	g	×	h	604
15	F0906	3a	1	0	Sa	-139126.824	-00241.263	51.241	187	134	82	2412	g	×	h	43
16	F0906	3a	1	0	Sa	-139124.540	-00239.300	51.309	152	95	61	1190	g	×	h	831
17	F0912	3a	1	0	Sa	-139131.328	-00242.808	51.237	120	129	72	1552	g	×	h	632
18	F0913	3a	1	0	Sa	-139131.017	-00246.147	51.458	151	109.3	74.7	1176	g	×	h	376
19	F0913	3a	1	0	Sa	-139131.128	-00240.408	51.477	157	101.4	48.5	806.7	g	△	h	581
20	F0913	3a	1	0	Sa	-139131.046	-00240.408	51.418	150.8	109.2	31.9	1084.8	g	×	h	810
21	F0913	3a	1	0	Cr	-139131.064	-00240.378	51.481	190	37.8	58.6	124.7	g	×	h	588
22	F0913	3a	1	0	Sa	-139131.043	-00240.483	51.479	151.4	110.2	78.4	1933.1	g	○	h	812
23	F0913	3a	1	0	Sa	-139131.276	-00240.488	51.488	184.4	114.8	53.7	1532.5	g	○	h	588
24	F0913	3a	1	0	Sa	-139130.943	-00240.540	51.488	164	93.1	32.8	1127.8	g	○	h	612
25	F0913	3a	1	0	Sa	-139131.189	-00240.541	51.484	156	129.1	82.8	1833.7	g	×	h	582
26	F0913	3a	1	0	Sa	-139130.801	-00240.830	51.500	136.3	113.8	56.2	1158.8	g	△	h	628
27	F0913	3a	1	0	Sa	-139131.208	-00241.118	51.532	137.2	81.5	1195	g	○	h	591	
28	F0913	3a	1	0	Sa	-139131.187	-00240.429	51.483	111.1	84.3	73.1	1199	g	○	h	578
29	F0927	3a	1	0	Ch	-139137.200	-00245.828	51.413	134	95	49	930	g	×	h	638
30	F0925	3a	1	0	Sa	-139138.700	-00230.533	50.983	203	124	113	3265	g	×	h	790
31	F0700	2a	0	0	Sa	-139103.083	-00232.300	51.880	132	119	75	1047	g	×	h	442
32	F0717	3a	1	0	Sa	-139117.034	-00245.136	51.856	138	111	56	1063	g	×	h	946
33	F0717	3a	1	0	Sa	-139112.425	-00244.130	51.856	180	148	65	2142	g	×	h	946
34	F0808	3a	1	0	Sa	-139087.804	-00246.287	52.111	121	113	99	995	g	×	h	151
35	F0809	3a	1	0	Sa	-139087.300	-00234.830	51.828	129	120	73	882	g	×	h	158
36	F0809	3a	1	0	Sh	-139087.116	-00234.819	51.820	136	93	86	1370	g	×	h	152
37	F0808	3a	1	0	Cr	-139087.086	-00234.819	51.819	137	117	82	1022	g	×	h	149
38	F0808	3a	1	0	Cr	-139085.125	-00235.140	52.014	244	161	109	4285	g	×	h	152
39	F0812	3a	1	3	Sa	-139108.808	-00239.717	52.108	178	134	88	2345	g	×	h	134
40	F0813	3a	1	0	Sa	-139108.108	-00240.143	52.117	182	114	81	1126	g	△	h	186
41	OS118	3a	1	5	Sa	-139154.486	-00227.428	50.909	158	144	83	2096	g	×	h	54
42	OS118	3a	1	5	Gr	-139155.413	-00227.274	50.811	158	114	86	2108	g	×	h	104
43	OS118	3a	1	5	Sa	-139154.801	-00226.217	50.989	158	144	83	2096	g	×	h	54
44	OS118	3a	1	5	Sa	-139154.700	-00228.143	50.781	112	88	68	9703	g	×	h	104
45	OS118	3a	1	5	Sa	-139152.428	-00226.537	50.815	119	89	74	1100	g	×	h	55
46	OS118	3a	1	5	Sa	-139155.237	-00226.863	50.830	148	113	82	1126	g	△	h	186
47	OS118	3a	1	5	Sa	-139154.750	-00226.187	50.887	137	108	74	1810	g	×	h	54
48	OS118	3a	1	6	Sa	-139152.785	-00229.145	50.915	145	126	88	1845	g	×	h	54
49	OS118	3a	1	6	Sa	-139155.407	-00227.143	50.789	161	104	76	1878	g	×	h	183
50	OS17	3a	1	9	Sa	-139152.842	-00224.824	50.887	148	108	77	1597	g	×	h	159
51	OS17	3a	1	5	Sa	-139155.477	-00229.585	50.871	180	129	78	2384	g	×	h	155
52	OS17	3a	1	6	Sa	-139152.732	-00225.558	50.989	188	124	95	1136	g	×	h	111
53	OS17	3a	1	6	Sa	-139152.298	-00224.572	50.916	134	104	56	2225	g	×	h	127
54	OS17	3a	1	8	Sa	-139152.588	-00225.403	50.914	158	100	78	1400	g	×	h	114
55	OS19	3a	1	0	Sa	-139153.288	-00218.214	50.886	120	111	50	927	g	×	h	372
56	OS19	3a	1	0	Sa	-139155.543	-00215.174	50.577	225	222	164	10730	g	×	h	489
57	OS21	3a	1	0	Sa	-139156.753	-00226.895	50.825	261	128	100	5310	g	×	h	511
58	OS21	3a	1	5	Cr	-139156.928	-00227.406	50.786	186	104	97	1940	g	×	h	243
59	OS21	3a	1	5	Sa	-139156.792	-00227.110	50.786	161	106	62	1287	g	×	h	242
60	OS22	3a	1	23	Sa	-139120.258	-00222.232	51.898	197	121	48	1785	g	○	h	845
61	OS217	3a	1	0	Sa	-139133.557	-00222.548	51.536	180	127	57	1885	g	×	h	40
62	OS217	3a	1	0	Sa	-139132.898	-00222.543	51.529	145	87	78	1415	g	△	h	43
63	OS118	3a	1	0	Sa	-139133.853	-00221.881	51.518	151	126	83	2054	g	×	h	49
64	OS21	3a	1	0	Sa	-139138.093	-00229.117	51.200	227	147	82	3552	g	×	h	804
65	OS21	3a	1	0	Sa	-139139.187	-00229.844	50.963	179	106	97	2530	g	×	h	625
66	OS21	3a	1	0	Sa	-139137.497	-00227.823	51.189	206	128	136	3883	g	○	h	808
67	OS21	3a	1	0	Sa	-139138.871	-00229.408	51.182	261	161	134	7230	g	×	h	808
68	OS21	3a	1	0	Sa	-139136.450	-00229.184	51.024	123	88	74	1210	g	×	h	288
69	OS101	2a	1	0	Sa	-139103.134	-00227.885	51.824	141	122	78	1880	g	×	h	169
70	OS101	2a	1	0	Sa	-139101.245	-00228.882	51.785	184	111	93	1977	g	×	h	182
71	OS106	3a	1	0	Sa	-139104.828	-00228.344	51.769	188	124	72	2255	g	○	h	288
72	OS106	3a	1	0	Sa	-139106.881	-00228.528	51.820	248	143	117	4865	g	×	h	374
73	OS805	2b	1	0	Sa	-139091.586	-00210.875	51.974	338	188	51	1800	g	×	h	138
74	OS204	3a	2	0	Sa	-139102.998	-00195.302	50.472	186	118	83	2845	g	×	h	383
75	OS358	3a	2	0	Gr	-139180.310	-00190.783	50.700	200	158	118	4890	g	×	h	304
76	OS165	3a	2	8	Sa	-139181.800	-00191.140	50.787	249	190	89	3195	g	×	h	400
77	OS1010	3a	2	0	Ch	-139187.218	-00192.543	50.820	201	151	124	4118	g	×	h	415
78	OS1010	3a	2	7	Sa	-139185.228	-00192.018	50.719	220	165	99	4537	g	×	h	408
79	OS1010	3a	2	7	Sa	-139184.827	-00192.288	50.704	141	134	96	2510	g	×	h	406
80	OS1010	3a	2	0	Cr	-139185.274	-00192.632	50.749	131	118	88	1728	g	×	h	413
81	OS101	3a	2	0	Sa	-139185.843	-00192.452	50.485	158	102	67	1833	g	○	h	121
82	OS410	3a	2	0	Sa	-139125.372	-00183.131	51.126	135	136	91	1812	g	×	h	43
83	OS410	3a	2	0	Sa	-139128.134	-00184.287	51.130	123	115	74	988	g	×	h	124
84	OS410	3a	2	0	Sa	-139181.108	-00182.645	51.922	134	128	88	1183	g	×	h	128
85	OS21	3a	2	0	Sa	-139181.425	-00187.183	50.714	189	139	104					

表 57 線接合一覧

互道線・エリア 1

線群 1

調査区 取り上げ番号

3	277+278
3	297+1346 (線群外)
3	257+187+155+307 (線群外配石)
3	272+1285 (線群 6) +1316 (線群 6)
3	1348+1337 (線群外)
3	168+1335
3	201+194+347 (線群外) +1328 (線群外)
3	157+1431+1432+1433
3	1330+1332+1333+1334

線群 6

調査区 取り上げ番号

3	57-800+1317
3	95-97-779+783+785
3	99+1292
3	113+114
3	124+793+1319
3	128+267 (線群外)
3	782+1283
3	796+798
3	802+1275 (線群外)
3	807+1280 (線群外)
3	1289+1252 (線群 17) +1263 (線群 17)
3	1291+682 (線群外) +694 (線群外)
3	1309+835 (線群 14)
3	1323+864 (線群 14)

線群 7

調査区 接合番号 (取り上げ番号)

2	184-199
2	43-44
2	43-44
2	15-14 (線群外)
2	19+29
2	24+31
2	27+32

線群 10

調査区 取り上げ番号

3	450+456+948
3	453+383 (線群外)
3	455+941
3	457+940+949
3	946+960
3	952+954
3	955+956

線群 11

調査区 取り上げ番号

3	979-980-981+1002 (線群 12) +1003 (線群 12)
3	985-990+991+995
3	986+994
3	992+993
3	994+1004
3	1401+1444

線群 13

調査区 取り上げ番号

3	892+880 (線群 14)
3	896+901+401 (線群外)
3	897+898
3	899+904+906+907+920+924 (線群外) +925 (線群外)
3	922+903
3	905+1445
3	910-911+912+913+914+916
3	918-919

線群 14

調査区 接合番号 (取り上げ番号)

3	827+832+834+836+837+838+849
3	852+1435+1436+1437+1438
3	853+870+1034 (線群外)
3	856+857
3	866+867 (線群外) +890 (線群外)
3	871+873
3	872+864 (線群外)

線群 15

調査区 取り上げ番号

3	1154+1358
---	-----------

線群 16

3	1234+1235
3	1236+1239
3	1241+1242+1439
3	1243+1271

線群 17

調査区 取り上げ番号

3	1245+1255+1256+1258
3	1249+1259
3	1285+1268+1269
3	1266+1267

線群 18

調査区 取り上げ番号

2	1077+1090
2	1079+1088+1089
2	1081+1085
2	1084+995 (線群 19)
2	1086+1092

線群 19

調査区 取り上げ番号

2	983+984
2	990+991+971 (線群外) +976 (線群外)
2区	992+993

線群 20

調査区 接合番号 (取り上げ番号)

2	1005+1007+1000 (線群外)
2	1012+1016+1018 (線群外)

線群 21

調査区 接合番号 (取り上げ番号)

2	1040+1041
2	1042+1044
2	1043+1045

線群 24

調査区 取り上げ番号

2	863+864+866+867+868-869+870
---	-----------------------------

線群 25

調査区 取り上げ番号

2	585+587
2	588+589+591

線群 26

調査区 取り上げ番号

2	615+600 (線群外)
2	622+623+626+639 (線群外)
2	624+625
2	632+636

線群 27

調査区 取り上げ番号

2	99-499+501+503+775 (線群 30)
2	492+471 (線群 28) +520 (線群 30) +565 (線群外)
2	495+496
2	504+90 (線群外) +112 (線群外)
2	505+486 (線群外)

線群 28

調査区 取り上げ番号

2	450+451+468+124 (線群外)
2	452+454+455+459+460+479
2	460+472
2	463+548
2	465+466+467
2	474+480+552 (線群外)

線群 30

調査区 接合番号 (取り上げ番号)

2	510+511+515
2	518+92 (線群外) +485 (線群外)
2	521+524+1099+1100
2	522+529
2	523+533
2	535+564 (線群外)
2	538+543
2	542+544+566

線群 31

調査区 取り上げ番号

2	157+360
2	158+159+364

互道線・エリア 2

線群 32

調査区 取り上げ番号

1B	6399+6400
1B	6403+6404+6405+6407

群 33		1B 8008-8027
調査区	取り上げ番号	1B 8012-8013+8014+8015+8016
1B	6307-6977+6982	1B 8024+7664 (雑群外) +8048 (雑群外)
1B	6978-6981	1B 8028-8030+8031
1B	6979+6980	
1B	6992+6993	
群 35		群 94
調査区	取り上げ番号	調査区 接合番号 (取り上げ番号)
1B	6320-6322	1B 7980-8054
1B	6321+6349	1B 7985-8040 (雑群外)
1B	6324+6325	1B 8066+8116
1B	6326-6332+6336+6351+6352	1B 8085-8097+7401 (雑群外)
1B	6328+6331	1B 8104-8105
1B	6334-6335	1B 8114-8115
1B	6336-6348	
1B	6339-6340+6341	群 95
1B	6343+6357	調査区 取り上げ番号
1B	6350+6354	1A 512+486 (雑群 96)
1B	6356+6394	1A 513+525+776 (雑群 96)
1B	6359+6367	1A 515+823+824
1B	6360+8212+8213	515+523+446 (雑群 96) +449 (雑群 96) +450 (雑群 96) +484 (雑群 96)
1B	6361+6368	1A +485 (雑群 96) 504 (雑群 96) +505 (雑群 96)
群 36		群 96
調査区	取り上げ番号	調査区 取り上げ番号
1B	6451+6452	1A 205+448
1B	6950+6430 (雑群外)	1A 206+506
群 37		1A 487+488+490
調査区	取り上げ番号	群 97
1B	6223+6237+6221 (雑群外) +6240 (雑群外)	調査区 取り上げ番号
1B	6225+6226+6227+6229	1A 161+373+390
1B	6228+6230	1A 163+376
群 38		1A 173-380+381+383
調査区	取り上げ番号	1A 175+417
1B	6249+6250	1A 178+397
群 39		1A 378+429
調査区	取り上げ番号	1A 379-181 (雑群外)
1B	6263+6266	1A 387-189 (雑群外)
1B	6264+6265+7059 (雑群 40)	1A 391+416
1B	6267+6268	1A 392+210 (雑群外)
1B	6273+6275 (雑群外)	1A 393+394
群 40		1A 398+400+527 (雑群外)
調査区	取り上げ番号	1A 401+407+408+462 (雑群外)
1B	6286+7046+7090	1A 405+412+186 (雑群外)
1B	7033+7035+7067 (雑群外)	1A 410+276 (雑群 98)
1B	7077+7012	1A 418+764
群 41		1A 428+429+765+769
調査区	取り上げ番号	1A 438+439+183 (雑群外)
1B	7582+7590 (雑群 103) +6454 (雑群外)	群 98
1B	7629+7631 (雑群 103)	調査区 接合番号 (取り上げ番号)
1B	7588+7600 (雑群 103) +7610 (雑群 103) +7889 (雑群 103)	1A 149+348+459 (雑群外)
1B	7637+7618 (雑群 103)	1A 337+803
群 43		1A 340+804
調査区	接合番号 (取り上げ番号)	1A 343+344
1B	7155+8216	1A 303+805+326 (雑群外)
1B	7167+7235	1A 306+325
1B	7227+7228+8217	1A 308+309+310
1B	7242+8218	1A 313+321
1B	7264+8219	1A 314+320
群 44		1A 315+317+318
調査区	取り上げ番号	1A 284+455 (雑群外)
1B	7485+7499	1A 296+825
1B	7510+7511	群 102
1B	7523+7537	調査区 取り上げ番号
1B	7525+7526	1A 236+242+247+248+257
1B	7547+7914	1A 239+254
群 89		1A 240+220 (雑群外)
調査区	取り上げ番号	1A 244+246
1B	7930+7931	1A 250+531
群 90		1A 253+822
調査区	取り上げ番号	1A 261+266 (雑群外)
1B	7874+7948 (雑群 91)	群 103
群 92		調査区 取り上げ番号
調査区	取り上げ番号	1B 7607+7608
1B	7955+7838 (雑群外)	1B 7616+7640 (雑群外) +7641 (雑群外) +7642 (雑群外) +7643 (雑群外)
群 93		1B 7617+7622+7623+7630
調査区	取り上げ番号	1B 7619+7620+7621
1B	7989+7990	群 104
1B	7994+8019	調査区 取り上げ番号
1B	8001+8006	1A 539+506
1B	8002+8018+8020+8021+7744 (雑群外)	1A 588+808
		道 通 路 ・ エ リ ア 3
		群 45

調査区	総合番号 (取り上げ番号)	1B	1313-2784
1B	4899+4913+4932	1B	1322-2824 (雑群 57)+2829 (雑群 57)+3174 (雑群 57)+3191 (雑群 57)
1B	4905+4907+4972+5965+5970	1B	+4868 (雑群 57)+1380 (雑群 外)
1B	4906+4949	1B	1323-2846 (雑群 57)+2849 (雑群 57)+2852 (雑群 57)+2854 (雑群 57)
1B	4908+8172	1B	+2877 (雑群 57)+2882 (雑群 57)+2886 (雑群 57)
1B	4911+4937+4940	1B	1353+3046+3117
1B	4912+4916+4921+4925+4935+4964	1B	1371+3074+3075
1B	4918+4922+4927	1B	1374+2805+3023+3087+3116+3126+2667 (雑群 58)
1B	4924+4929	1B	2684+2738+2795
1B	4925+4944+4960+4966+5969	1B	2699+2690
1B	4928+4930+4931	1B	2697+2783
1B	4939+4941	1B	2701+2711
1B	4942+4951	1B	2703+5086 (雑群 77)+5213 (雑群 外)
1B	4945+4955+5967	1B	2712+2713
1B	4950+4961	1B	2722+2725
1B	4952+4953	1B	2728+2731+2733+2739
1B	4954+4967	1B	2730+2972
	4958+5966+4978 (雑群 46)+4979 (雑群 46)+4980 (雑群 46)+4974 (雑群 外)	1B	2734+2786+2737
雑群 46		1B	2742+2779+2785
調査区	取り上げ番号	1B	2768+2782+2791+2792
1B	4969+8173	1B	2770+2771+2772
雑群 47		1B	2780+2820 (雑群 57)+2839 (雑群 57)
調査区	取り上げ番号	1B	2787+2788+8151
1B	2054+8141	1B	2789+2793+2794
1B	2055+2056+2057	1B	2798+2800
1B	2058+2005 (雑群 49)+2012 (雑群 49)	1B	2809+2810
雑群 48		1B	2811+2813
調査区	取り上げ番号	1B	2814+2987+3139+3140
1B	2063+2631	1B	2817+2981
雑群 49		1B	2959+2984+3055
調査区	取り上げ番号	1B	2962+3069+4878
1B	2008+2010+2011	1B	2967+2986+3073
1B	2009+2028	1B	2975+3007
1B	2017+2020	1B	2982+2991+3039+3109
1B	2018+2021 (雑群 外)+2052 (雑群 外)	1B	2990+3052+3128+3129+3136
1B	2031+2032	1B	2992+3051+4876
雑群 50		1B	2995+2997+3078
調査区	総合番号 (取り上げ番号)	1B	3000+3001+3122
1B	3282+3302+3303+3321+3322+3972	1B	3024+3056
1B	3293+3318+3336+3340	1B	3029+3030
1B	3295+3327	1B	3034+3037+3041
1B	3296+3297+3975	1B	3035+3036
1B	3300+3301	1B	3038+3040
1B	3317+3289 (雑群 外)+3344 (雑群 外)	1B	3048+3094
1B	3319+3320	1B	3053+3085+4879
1B	3331+3332+3333	1B	3057+3093+3095+3096
1B	3337+8182	1B	3068+3077+3079+3081
1B	3338+3341	1B	3067+3098+3155
1B	3966+3967	3072 (配石)+2535 (雑群 59)+2540 (雑群 59)+2544 (雑群 59)	
雑群 51		+2545 (雑群 58)+2554 (雑群 58)+4851 (雑群 60)+2464 (雑群 外)	
調査区	取り上げ番号	1B	3083+3115+4877
1B	3946+3949+3950+3957	1B	3089+3153+3199 (雑群 57)+3200 (雑群 57)
1B	3947+3948+3951+3956+3959 (配石)	1B	3101+3107+3108+3113
1B	3960 (配石)+8170	1B	3103+3147
雑群 52		1B	3105+3121+3130
調査区	取り上げ番号	1B	3110+3111+4874
1B	3940+3921 (雑群 外)	1B	3118+3132
雑群 53		1B	3119+3120
調査区	取り上げ番号	1B	3131+3137
1B	3018+3019	1B	3134+8153
1B	3236+3248+3250	1B	3158+3161 (配石)
1B	3252+3165 (雑群 56)	1B	3160+8154
雑群 54		雑群 57	
調査区	取り上げ番号	調査区	総合番号 (取り上げ番号)
1B	3209+3211	1B	1332-2892
1B	3210+3263	1B	1335+2862+3193
1B	3212+3217+3227	1B	1342+2920+2937
1B	3213+3214+3215+3216+8161	1B	2822+2826+2836+2841+2843+2858
1B	3218+2834 (雑群 57)+2840 (雑群 57)	1B	2823+2827+2828
1B	3219+3221	1B	2830+1318 (雑群 外)
1B	3222+3224	1B	2831+1316 (雑群 外)
1B	3228+3230	1B	2837+2842
1B	3231+3232+3264+3058 (雑群 56)+3080 (雑群 56)	1B	2839+2844+2851
1B	3260+3261	1B	2845+2847
雑群 55		1B	2863+2864+2865
調査区	総合番号 (取り上げ番号)	1B	2866+2867+2868
1B	3906+3924+3925+3926+3932+346 (雑群 外)	1B	2870+2878+2880
1B	3927+3928	1B	2874+2939
雑群 56		1B	2876+2879
調査区	取り上げ番号	1B	2894+4863

1B	2895-6058 (雑群外)	1B	2293-2306+2451
1B	2903+4866	1B	2300+2319+2322+2327+2328+2330
1B	2904+2909+2915+2923	1B	2301+2325+2326+2343+2359
1B	2908-2932+2933	1B	2303+2304
1B	2910+2911+8152	1B	2308+2383
1B	2913+2919	1B	2331+2360+8144
1B	2916+2935+3201	1B	2337+2394
1B	2921+2926	1B	2341+2370
1B	2927+3194	1B	2342+2348
1B	2931+2934	1B	2367+2371+2373
1B	3187+4869	1B	2372+2392
1B	3205-8155+8156+8157	1B	2382+8254
1B	3206+8158+8159+8160	1B	2390+2393
1B	3207+1369 (雑群外)	1B	2431+2433
雑群 58		1B	2434+2435+2441+8149
調査区	取り上げ番号	1B	2444+2445
1B	2668+2532 (雑群外)	1B	2447+2452
1B	2670+8261	1B	2172+2208 (雑群 64)
1B	2671+2672	雑群 63	
雑群 59		調査区	取り上げ番号
調査区	接合番号 (取り上げ番号)	1B	2401+8145
1B	1295+2509 (雑群 60) +2520 (雑群 60) +1270 (雑群外)	1B	2402+2403+2407+2409 (雑群 64)
1B	1297+1284 (雑群 60) +1283 (雑群外)	雑群 64	
1B	2537+2542	調査区	取り上げ番号
1B	2539+2541+2751 (雑群外) +2754 (雑群外)	1B	1213+2228+3860+4894
1B	2546+1278 (雑群 60) +2476 (雑群 60)	1B	1216+1220+2205+2206+2214+2233+2297
雑群 60		1B	1217+8137
調査区	取り上げ番号	1B	1219+2200
1B	1290+1288+1289	1B	1225+8267
1B	2498+2500+4849+4850+4879	1B	1258+1259
1B	2503+2505	1B	2188+2226+2227
1B	2504+2506+2512+4854+2515+2459 (雑群外) +2460 (雑群外)	1B	2190+2211+2217+2234
1B	2507+4852	1B	2194+2203
1B	2511+2463+2477+1272 (雑群外)	1B	2207+2209
1B	4853+2466+2474	1B	2210+2216+3817+3823
1B	2467+2517	1B	2213+2410+2413
1B	2472+2482	1B	2219+2398
1B	2473+2486	1B	2220+2221+2412
1B	2475+2481+2483+4845+8199	1B	2225+2232
1B	2478+4843	1B	2230+3819
1B	2480+4847+4846+2457 (雑群外) +2458 (雑群外)	1B	2237+1193 (雑群外)
1B	2484+6006 (雑群外)	1B	2238+3820
1B	2487+2523	1B	2399+2416+2423
1B	2491+2497+4842	1B	2414+3863
1B	2492+2522	1B	2417+1196 (雑群外)
1B	2493+2494+2496+8150	1B	2418+2419
1B	2513+4846+8171	1B	3858+3862
1B	2516+1271 (雑群外)	雑群 65	
1B	2524+1269 (雑群外)	調査区	接合番号 (取り上げ番号)
雑群 62		1B	2123+4893 (雑群 66)
調査区	取り上げ番号	1B	2127+2134+4831
1B	1189+1234+2359+2363+2368+4839	1B	2128+2129
1B	1190+2250+2427+2428+8146+8147+8148	1B	2130+2131+3494+4897
1B	1191+1235	1B	2132+2137+3496+3497+3498+3507
1B	1209+1228	1B	2138+4827
1B	1240+2290+2298+2320+2321+2323	1B	2139+2140+3500+4829
1B	1244+2249+2251	1B	3495+3501
1B	1250+2345+2357+2391	1B	3499+3506+2118 (雑群外)
1B	1254+2314+2352	1B	4830+3523 (雑群 66)
1B	1263+2386	雑群 66	
1B	2151+2157+8143	調査区	取り上げ番号
1B	2152+2281+2282+2283+2354	1B	960+2148 (雑群外)
1B	2153+2278	1B	961+3535+3536+3537+3546
1B	2156+2158	1B	962+8132+8133
1B	2179+2180	1B	3516+3597
1B	2243+2351	1B	3517+3545
1B	2245+2317+2366	1B	3519+3539+3547+3565
1B	2247+2296+2332+2336+2374+4880	1B	3531+5707
1B	2253+2280+2307+4838	1B	3538+5699
1B	2254+2305	1B	3541+3542
1B	2255+2440	1B	3553+3554+4892
1B	2258+2267+2269	1B	3561+3571+3572+5703
1B	2259+2273	1B	3564+5701
1B	2260+2271+2279+3801 (雑群 66) +5720 (雑群外)	1B	3568+3606 (雑群 66)
1B	2261+2304+2349+2385+2436+2438	1B	3570+3598
1B	2265+2268	1B	3573+3574
1B	2270+4836	1B	3575+3579
1B	2274+2276+2380	1B	3591+3593+3594
1B	2277+2284	調査区	取り上げ番号
1B	2286+2292	1B	9976+5935 (雑群 80) +5830 (雑群 80) +5841 (雑群 80) +5842 (雑群 80) +5847 (雑群 80) +5848 (雑群 80) +5852 (雑群 80)

	+5981 (雑群 80) +5739 (雑群 82) +5765 (雑群 82) +5751 (雑群 83) +3832 (雑群外) +3867 (雑群外) +5997 (雑群外)	1B 5225+6070+6071
雑群 67		1B 5228+8190
調査区	採合番号 (取り上げ番号)	1B 5236+5514
1B	3653+3654	1B 5237+5310
1B	3659+3661	1B 5239+5276+5260+5261+5262
1B	3663+3639 (雑群 69)	1B 5241+5362
1B	3665+3667	1B 5242+5255+5258+5368+5371+5372+8195
雑群 69		1B 5243+5248+5250+5251+5252+5253+5254+6075
調査区	取り上げ番号	1B 5244+5247+5261+8191+6074
1B	874+8134	1B 5245+5266+5267+5384
1B	3420+5676+5663 (雑群外)	1B 5256+5257+6077
1B	3423+3426	1B 5259+5260+5319+5332+8192+8193
1B	3425+3441+3617	1B 5263+5274+5275+5276+5277+5299
1B	3430+3431+5692	1B 5264+5317+8194
1B	3432+5691+5694	1B 5268+5270+5271+5272
1B	3433+3434+3436	1B 5283+5284
1B	3438+3612	1B 5289+5369
1B	3439+3455	1B 5290+5294+5295+6106
1B	3442+5663 (雑群 84) +5665 (雑群 84) +5666 (雑群 84)	1B 5292+5343+5365+5417
1B	3445+3446	1B 5293+5296
1B	3461+3462+8165+8166+8167	1B 5297+5314+5357+6086
1B	3619+5671+5660 (雑群 84)	1B 5300+5308
1B	3627+4889	1B 5301+5302
1B	3629+3647+4887	1B 5305+5326+5327
1B	3632+3634	1B 5306+5307
1B	4888+5710	1B 5311+5386 (配石)
1B	5672+5674	1B 5312+5416+6105
1B	5679+951 (雑群外) +945 (雑群外)	1B 5322+5351+5392+5393+5346
1B	5712+6713	1B 5323+5345
雑群 71		1B 5329+5330
調査区	取り上げ番号	1B 5331+5334+5338
1B	3759+3766	1B 5335+5336
1B	3760+3743	1B 5337+5456
1B	3761+3770+3773+3893 (雑群外)	1B 5338+5436
1B	3762+6531+3747	1B 5342+5414+5420+6205
1B	3763+3765+3772+3775	1B 5347+6084
1B	3766+3796+3797	1B 5354+5424
1B	3769+3771+3778+3724	1B 5355+5431+5447+6092+6129+6169+6195+6196+8211
1B	3776+3713+3749	1B 5356+5358
1B	1110+3798	1B 5359+5456+5459+5460+5461+6085+6093+6164
1B	1112+8135	1B 5360+5361+6110 (雑群外)
1B	1118+3691	1B 5364+5389
1B	3684+3464 (雑群外)	1B 5366+3015 (雑群外) +3277 (雑群外)
1B	3686+3690+3699+3732	1B 5370 (配石) +5382+5398+5222 (雑群外配石)
1B	3694+6720	1B 5373+5422+5017 (雑群 77) +6034 (雑群 77) +6039 (雑群 77)
1B	3696+3791	1B 5340 (雑群 77)
1B	3697+3705+3714+6520+6526	1B 5376+5429
1B	3702+8266	1B 5383+5437
1B	3703+3737+3740	1B 5395+5455+5457+6210
1B	3704+3715+3792	1B 5411+5412+5413+6111+6136
1B	3706+3709	1B 5418+5463+5464+5465+5468
1B	3707+3708+3712	1B 5423+5515+5533
1B	3711+3802+3806	1B 5426+5427+5428+6150
1B	3716+6512+6518	1B 5430+5491
1B	3723+3729	1B 5433+5547+5567
1B	3739+6523	1B 5434+5442+5548+5553+5575
1B	3741+3742	1B 5438+5488+5501
1B	3752+3810	1B 07
1B	3755+3756	1B 5444+5448+6094+6211
1B	3758+3811	1B 5445+5453+5474+5475+5476
1B	3769+3801+6538	1B 5446+6145
1B	3793+3800+6537	1B 5449+5557
1B	3803+3808	1B 5469+6212
雑群 72		1B 5470+6188
調査区	取り上げ番号	1B 5472+5478
1B	2113+8142	1B 5473+5525+6133
1B	2114+2115+2116+2117+6262	1B 5481+5541
雑群 73		1B 5484+6148
調査区	取り上げ番号	1B 5485+5486+5487+6147
1B	3372+3381	1B 5489+5494+5496+5499
1B	3374+3375+4895	1B 5490+6217+6192+6193
雑群 75		1B 5493+6141
調査区	採合番号 (取り上げ番号)	1B 5497+5502+5517
1B	2401+2569+2589	1B 5498+5542+5584+6122+6206
1B	2581+2599	1B 5500+5518+5519+5520+5521+5522+6134
1B	2597+3483	1B 5506+5507
1B	2608+3486	1B 5508+5509
雑群 76		1B 5527+5528+5529+6135
調査区	採合番号 (取り上げ番号)	1B 5530+5531+5532
		1B 5543+5588+5589+6118

1B 5544-5552
 1B 5546-5552
 1B 5549-5551
 1B 5555-8196
 1B 5556-5558-5559
 1B 5563-5565+5567+5568+5569+5570+5571+6119+6123
 1B 5573-5574
 1B 5578-5579
 1B 5582-5583
 1B 5593-5594
 1B 6081+6082-6189
 1B 6090-6091
 1B 6097-6098+6099+6100+6103
 1B 6124-8200
 1B 6130-6131+8201
 1B 6146-6207
 1B 6155-6156+6157+6158+6159
 1B 6161+6166+6167+6168-6170+6171+6172+6186+6187+6191
 +8204-8205+8206
 1B 6184+6185
 1B 6194+8208-8209+8210
 1B 6197-6198+6199+6200+6201+6202

群 77

調査区 接合番号 (取り上げ番号)
 1B 4967-5013-5056+5062-5072+5093-5173-5215 (群外)
 +5218 (群外) +5219 (群外配石)
 1B 4991+4994
 1B 4992-5098+5122
 1B 4995-4996-4997+4999
 1B 5002-5176-5177+5200+5201-5216 (群外)
 1B 5033-5083
 1B 5005+5055+5057+5069+5079+5094+5178+6030+8182+8183
 1B 5007-5135
 1B 5010+6036+6038+6041
 1B 5014-5075-5076+5080+8180+8181
 1B 5015+6033
 1B 5016+5100
 1B 5019-5044
 1B 5020-5021-5025+5034
 1B 5023-5026+5032 (配石)
 1B 5031+5033
 1B 5035+6025
 1B 5036-5184+8177
 1B 5037-5191
 1B 5039-5148
 1B 5042-5099+5107
 1B 5043+5181
 1B 5045+5048
 1B 5047+5103+5111
 1B 5049+5052
 1B 5090+5167+5169+5170
 1B 5051+5186+6027+6028
 1B 5066+5067+5126
 1B 5070-8178-8179
 1B 5079-5178
 1B 5089+5090
 1B 5092+5114+5120+5121+8185
 1B 5101+6045
 1B 5102+5119+8184+5209 (群外)
 1B 5106+5109+5108+5109+5110
 1B 5174+5124-5125
 1B 5128+5153
 1B 5131-5134
 1B 5132-5140+5141
 1B 5133+5144
 1B 5136+5151+5179+6018+6024+6026
 1B 5142+5185+8186+8187
 1B 5145+5147+5148+6020
 1B 5152+5192
 1B 5154+5158+5174
 1B 5164+5165
 1B 5175+6042+6043
 1B 5180+6015
 1B 5189+8188
 1B 5030-8174-8175+8176

群 78

調査区 取り上げ番号
 1B 6560+6596+6787+6807+6833+6860
 1B 6562-6575+6880+8883
 1B 6564+6565+6566+6606+6791+8812+8818+8872+8874+8878

+6879+7088
 1B 6567+6568
 1B 6569+6803
 1B 6570+6721+6794+6848+6866+6888+6917+6918+7073
 1B 6572-6578+6857
 1B 6577+6712
 1B 6579+6923+6830+6849+6859+6862+6870
 1B 6580+6788+6806
 1B 6581+6584
 1B 6587+6588+6591
 1B 6592+6594
 1B 6595+6854
 1B 6605+6752+6761+6765+7089
 1B 6607+6610+6614+6618+6620
 1B 6609+6624+6625
 1B 6615+6623
 1B 6619+6626+6634+7071
 1B 6622+6781+6834+6901+7098
 1B 6627+6640+6650+6757+6768+6774+6787+6802+6813
 +6814+6821
 1B 6629+6630
 1B 6632+6637+6647+6769+6772
 1B 6633+6742+6743
 1B 6638+6542 (群外)
 1B 6641+6655+6657
 1B 6642+6776+6816+6822
 1B 6643+6865
 1B 6644+6770+6771+6805
 1B 6649+6653+6773
 1B 6658+8214
 1B 6665+6778
 1B 6666+6724+6744
 1B 6667+6668
 1B 6669+6740
 1B 6672+6673+6574+6676+7125
 1B 6679+6748+6838
 1B 6680+6682+6711+6731+7080
 1B 6681+6683+6684+6738+6932
 1B 6686+6689+6690+6735
 1B 6693+6700
 1B 6694+6701
 1B 6695+6697+6698
 1B 6696+6934+7072
 1B 6706+6708+6709
 1B 6713+6714
 1B 6718+6725+6846+7134
 1B 6720+6927
 1B 6754+6786+7133
 1B 6756+6863
 1B 6777+6820
 1B 6779+6906
 1B 6782+6912
 1B 6784+6823+6824+6875+6876+6903+6907
 6796+6797
 1B 6825+6836+6864
 1B 6827+6839
 1B 6835+6877
 1B 6843+6847+6924+7108
 1B 6844+6856
 1B 6856+6867+6880
 1B 6873+7110
 1B 6911+6921
 1B 6919+6922+6925
 1B 6930+6931

群 79

調査区 取り上げ番号
 1B 54-59
 1B 61-8123
 1B 64+80+81
 1B 70+75 (配石)
 1B 83+84

群 80

調査区 取り上げ番号
 1B 5832 (配石) +5880+5900 (配石)
 1B 5833+5836+5906
 1B 5834+8197
 1B 5836+5885+5867+5870+5872+5879+5882+5980+5984
 1B 5845+5846+5851+5864
 1B 5850+5859+5860+5865
 1B 5853+5854 (配石) +5855+5856+5862+5808+3676 (群外)

1B 5863+5881+5901+5903+5904+5983+5985+8198
1B 5868+5907
1B 5869+5746 (雑群 82) +5771 (雑群 82)
1B 5875 (配石) +5804 (雑群 81)
1B 5877+5878
1B 5883+5884
1B 5897+5899 (配石) +5902 (配石) +2094 (雑群外)

雑群 82

調査区 接合番号 (取り上げ番号)
1B 3836+3828 (雑群外) +3830 (雑群外)
1B 3838+3849
1B 5736+5798+5728 (雑群外)
1B 5737+3833 (雑群外)
1B 5738+5742+5748+5456+5777+5754 (雑群 83) +3831 (雑群外)
1B 5744+5752 (雑群 83) +5756 (雑群 83) 5758 (雑群 83) +5759 (雑群 83)
+511 (雑群外) +3834 (雑群外) +3839 (雑群外)
1B 5749+5768+5770
1B 5772+5773+5721 (雑群 83)
1B 5779+3869 (雑群外)
1B 5780+5781

雑群 84

調査区 取り上げ番号
1B 3435+5657 (雑群外)
1B 5662+5668

雑群 85

調査区 取り上げ番号
1B 100-103
1B 101+102
1B 109+123
1B 111+112+117 (配石)

雑群 87

調査区 取り上げ番号
1B 27+149
1B 28+195
1B 32+33
1B 137+138+145
1B 139+174+188+189
1B 140+150+153+154
1B 142+171+238
1B 147+255
1B 148+157+8125
1B 151+152+8124
1B 155+156+199
1B 158+212
1B 166+211
1B 189+184+185
1B 170+263
1B 173+175+176
1B 177+8126+8127+8128+8129
1B 193+234
1B 194+264
1B 197+261
1B 207+249
1B 225+226
1B 229+8263
1B 235+236+265
1B 242+268 (雑群外)

雑群 88

調査区 取り上げ番号
1B 5633+5634
1B 5636+5632 (雑群外)

新道線・エリア 1

雑群 1

調査区 取り上げ番号
5A 440+441

雑群 2

調査区 取り上げ番号
5A 4+8+9+10+11+12+975+976
5A 5+6
5A 7+16

雑群 3

調査区 取り上げ番号
4 128+173
4 134 (配石) +135

雑群 4

調査区 取り上げ番号
6 295+569+570
6 299+302
6 304+321

6 雑群 5
6 56+57
6 66+67
6 68+58 (雑群外) +59 (雑群外)
6 69+70+93+96+246+254+255
6 72+106
6 73+80+83+84+97+144
6 75+76+141+252
6 77+79+156+245
6 81+82+147+148
6 86+91+94+152+249+359
6 89+143+503+515 (雑群 22) +517 (雑群 22)
6 90+257 (雑群外)
6 92+149
6 98+105+140+251
6 101+102 (配石) +572
6 106+110 (雑群外)
6 109+516 (雑群 22)
6 151+153

雑群 6

調査区 取り上げ番号
6 34+37
6 128+131
6 133+134

雑群 9

調査区 取り上げ番号
5A 206+588 (雑群外) +981 (雑群外) +982 (雑群外)
5A 298+314
5A 307+308
5A 319+312
5A 309+310
5A 313+331+977
5A 333+336+978

雑群 10

調査区 取り上げ番号
5A 248+247 (雑群外)
5A 282+341
5A 270+490
5A 277+344+259 (雑群外) +450 (雑群外)
5A 280+253 (雑群外)
5A 486+449 (雑群外)
5A 493+256 (雑群外)

雑群 12

調査区 取り上げ番号
5A 456+655 (雑群外)
5A 457+979
5A 461+422 (雑群外) +423 (雑群外)

雑群 13

調査区 取り上げ番号
5A 906+922+938 (雑群外)
5A 914+916+957+355 (雑群外)
5A 921+929+933+573 (雑群外)
5A 931+357+356 (雑群外) +997 (雑群外) +898 (雑群外)

雑群 20

調査区 接合番号 (取り上げ番号)
5A 575+584
5A 579+580
5A 586 (配石) +587
5A 595+597+606
5A 599+600+618
5A 603+604
5A 607+834 (雑群外)
5A 614+615
5A 616+617
5A 621+622

雑群 21

調査区 取り上げ番号
5A 685+692+213 (雑群外) +631 (雑群外) +741 (雑群外) +749 (雑群外)
+751+ (雑群外) +832 (雑群外)

雑群 22

6 512+513+514

雑群 23

調査区 取り上げ番号
5A 838+839+81 (雑群外) +84 (雑群外)

新道線・エリア 2

雑群 7

調査区 取り上げ番号
6 410+411+412

雑群 14

調査区	取り上げ番号	1A	720-721-722
7	10+3 (線群 16)	1B	45+48
7	19+20	1B	89+90
	27+68+11 (線群 16)	1B	93+94
線群 15		1B	312+8130+8131
調査区	取り上げ番号	1B	479+1100+3900
7	7+67	1B	817+1064+3882+3883+3884+3886+3890
7	35+36+37	1B	1047+3895
7	38+39	1B	1152+1153
線群 16		1B	1159+5592+5594
調査区	接合番号 (取り上げ番号)	1B	1200+6136
7	6+14+47 (線群外)	1B	1257+8138
線群 24		1B	1298+2549
調査区	接合番号 (取り上げ番号)	1B	1997+2002+2004
6	428+452	1B	2001+2644
6	457+475	1B	2015+2648
		1B	2021+2052
互連絡・エリア 3		1B	2026+2027
線群 17		1B	2550+2551
調査区	取り上げ番号	1B	2637+2643
9	24+25	1B	2639+2640
9	27+34+42+43+54+55	1B	2751+2754
9	29+30+40+41+52+53	1B	2756+2757
9	31+46+59	1B	2763+2765+2766
9	33+65+115 (線群外)	1B	3009+3010
9	35+47+48	1B	3015+3277
9	36+37	1B	3239+3240+3241+3242
9	38+167	1B	3256+3257
9	58+64	1B	3269+3272
9	62+66+163 (線群外)	1B	3283+3286+3287
線群 18		1B	3284+3291
調査区	取り上げ番号	1B	3289+3344
9	2+97	1B	3305+3309+3310+3311+3314+3315
9	3+83	1B	3353+3354
9	7+13+68	1B	3355+8163+8164
9	8+82	1B	3401+3981
9	11+12	1B	3406+3879 (配石)
9	18+166	1B	3414+3415
9	20+90	1B	3418+3419
9	21+98	1B	3470+8168
9	69+168	1B	3472+6499
9	76+86+105 (線群外)	1B	3473+8169
9	78+79	1B	3586+3587+3816
9	80+81+152+153+154+155+156+157+169	1B	3841+3842+3843+3844+3845+5782
9	85+147+171	1B	3875+5823+5825
9	87+148+149+150+104 (線群外)	1B	3894+4885
9	91+170	1B	3912+3919+3920
9	92+93+101	1B	4981+4982
9	94+95+102	1B	5221 (配石) +8189
9	103+145	1B	5624+5952
		1B	5651+5652
		1B	5722+5725
互連絡線群外線の接合		1B	5812+5816+5817+5818
調査区	取り上げ番号	1B	6206+6209
2	2+701 (3区) +702 (3区) +705 (3区)	1B	6546+6547
2	106+126	1B	6549+6550
2	166+425	1B	6896+6897
2	280+281	1B	6967+6968
2	294+725	1B	6970+8215
2	306+658+723+153 (3区) +1397 (3区)	1B	6996+6997
2	412+413+417	1B	7396+7975+8036+8037
2	668+669	1B	7443+7444
2	698+705+714	1B	7570+7866
2	703+717	1B	7647+7923
2	1067+1070	1B	7651+7689
3	330+372	1B	7701+8078
3	331+1434	1B	7796+7818
3	475+476	1B	7835+7950
3	924+925	1B	7860+7861
3	935+936+937	1B	7884+7885+7886
3	970+974+975	1B	7890+7902
3	1018+1021+1022 (配石)	1B	7953+8221+8222+8223+8224
3	1220+1221	1B	8042+8045+8046
3	1223+1224	1B	8079+8081
3	1340+1341		
3	1360+1440+1441+1442+1443		
3	1411+1412+1413+1414+1415+1416		
1A	53+63	互連絡線群外線の接合	
1A	187+483	調査区	取り上げ番号
1A	200+477	5A	133+134 (配石)
1A	221+222 (配石)	5A	588+981+982
		5A	634+635

5A	778-983-984
5A	782-783
5A	789-790
6	269-270-271
6	272-564-565-566
6	274-275-276-277-278-279-567-568
9	122-124
9	160-162

表 58 石器接合一覧

区道跡	エリア	調査区	接合番号	取り上げ番号
	1	3	1	179+366+425+598+1104+1121
	1	3	2	726+756
	1	3	3	732+772+1184
	1	3	4	582+1134
	1	3	5	321+1199
	1	3	6	439+1127
	1	3	7	438+639
	1	3	8	66-1067
	1	3	9	215+654
	1	3	10	443+456+473+477+1119+1211+1212
	1	3	11	579+587+1123
	1	3	12	5-7
	1	3	13	35+767
	1	3	14	64+1074
	1	3	15	689+693
	1	2	16	629+1099
	3	1B	17	551+741+1044+4322+4369+4765+4798
	3	1B	18	746+853+887+4345
	3	1B	19	4332+4634+4891+4708
	3	1B	20	493+4759+4760
	3	1B	21	497+1201+1215
	3	1B	22	554+605+606
	3	1B	23	673+439+4429
	3	1B	24	2989+4168+4244
	3	1B	25	4651+4659+8254
	3	1B	26	13-14
	3	1B	27	299+666
	3	1B	28	315+729
	3	1B	29	452+665
	3	1B	30	474+4696
	3	1B	31	619+620
	3	1B	32	648+825
	3	1B	33	730+4425
	3	1B	34	847+4483
	3	1B	35	955+1107
	3	1B	36	981+1178
	3	1B	37	984+3987
	3	1B	38	1114+4273
	3	1B	39	1181+4005
	3	1B	40	2103+6678
	3	1B	41	4099+4016
	3	1B	42	4201+4208
	3	1B	43	4278+4279
	3	1B	44	4283+4294
	3	1B	45	4313+5627
	3	1B	46	4355+4432
	3	1B	47	4472+4609
	3	1B	48	4657+4811
	3	1B	49	4666+4742
	3	1B	50	4899+4756
	3	1B	51	5584+5585
	2	1B	52	6296+6297
	2	1B	53	8061+8106
	1	3	54	324+570

区道跡	エリア	調査区	接合番号	取り上げ番号
	2	6	1	10+28+492+496
	1	6	2	345-563
	1	6	3	371-383
	1	5A	4	153+183+349+851+885+905+924+928
	1	5A	5	230+742+745+989
	1	5A	6	864+866+868+895
	1	5A	7	863+865+896
	1	5A	8	148+345
	1	5A	9	362+398
	1	5A	10	856+892
	1	5A	11	889+910

写真図版



(1)高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡遠景（北から）



(2)高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡遠景（南から）



(1)天竜川方面遠望



(2)Ⅲ遺跡エリア2遠望



(1)Ⅲ遺跡基本土層 (エリア1)



(2)Ⅳ遺跡基本土層 (暗色帯2枚)



(1)IV遺跡基本土層 (暗色帯1枚)



(2)谷切り込み面 (Ⅲ遺跡エリア1)



(1)谷検出状況（Ⅲ遺跡エリア1）



(2)土坑1（Ⅲ遺跡エリア1）



(1)土坑 2 (Ⅲ遺跡エリア 1)



(2)礫群 10 (Ⅲ遺跡エリア 1)



(1)礫群 12 (Ⅲ遺跡エリア)



(2)礫群 13 (Ⅲ遺跡エリア)



(1) 礫群 14 (Ⅲ遺跡エリア 1)



(2) 礫群 25 (Ⅲ遺跡エリア 1)



(1) 礫群 27～30 (Ⅲ遺跡エリア1)



(2) ブロック4 (Ⅲ遺跡エリア1)



(1) 谷検出状況 (Ⅲ遺跡エリア2)



(2) 土坑3 (Ⅲ遺跡エリア2)



(1) 礫群 35 (Ⅲ遺跡エリア2)



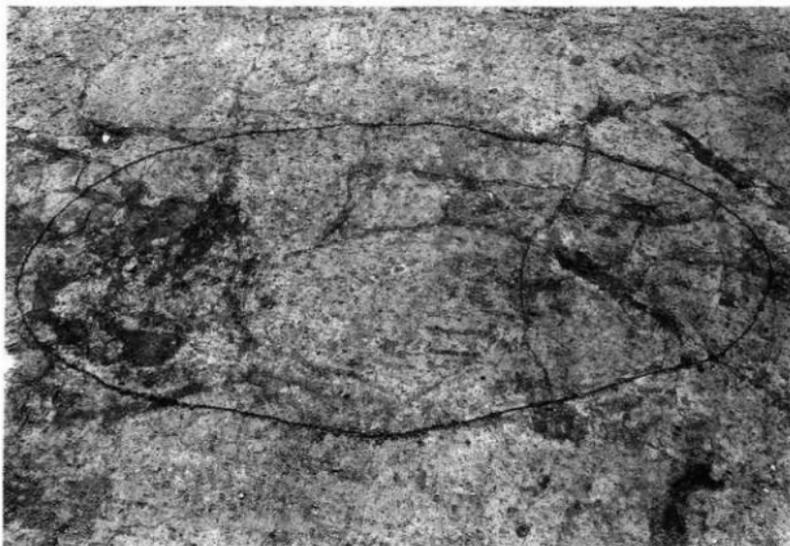
(2) ブロック 6 (Ⅲ遺跡エリア2)



(1)土坑 4 検出状況 (Ⅲ遺跡エリア 3)



(2)土坑 4 完掘 (Ⅲ遺跡エリア 3)



(1)土坑5検出状況 (Ⅲ遺跡エリア3)



(2)土坑5完掘 (Ⅲ遺跡エリア3)



(1) 礫群 76 と土坑 6 検出状況 (Ⅲ遺跡エリア 3)



(2) 土坑 6 完掘 (Ⅲ遺跡エリア 3)



(1)土坑7検出状況(Ⅲ遺跡エリア3)



(2)土坑7完掘(Ⅲ遺跡エリア3)



(1) 礫群 50 (Ⅲ遺跡エリア3)



(2) 礫群 55 (Ⅲ遺跡エリア3)



(1) 礫群 56 (Ⅲ遺跡エリア3)



(2) 礫群 62 (Ⅲ遺跡エリア3)



(1) 礫群 67 (Ⅲ遺跡エリア 3)



(2) 礫群 75 (Ⅲ遺跡エリア 3)



(1)礫群 76 (Ⅲ遺跡エリア3)



(2)土坑6内部礫出土状況 (Ⅲ遺跡エリア3)



(1) 礫群 77 (Ⅲ遺跡エリア 3)



(2) 礫群 78 (Ⅲ遺跡エリア 3)



(1) 燼群 80 (Ⅲ遺跡エリア 3)



(2) 燼群 85 (Ⅲ遺跡エリア 3)



(1)礫群 87 (Ⅲ遺跡エリア3)



(2)ブロック 12 (Ⅲ遺跡エリア3)



(1)土坑1 検出状況 (IV遺跡エリア1)



(2)土坑1 完掘状況 (IV遺跡エリア1)



(1)土坑 2、3 半截状況 (IV遺跡エリア)



(2)土坑 2、3 完掘状況 (IV遺跡エリア)



(1) 礫群 4 (IV遺跡エリア)



(2) 礫群 5 (IV遺跡エリア)



(1) 礫群 6 (IV遺跡エリア 1)



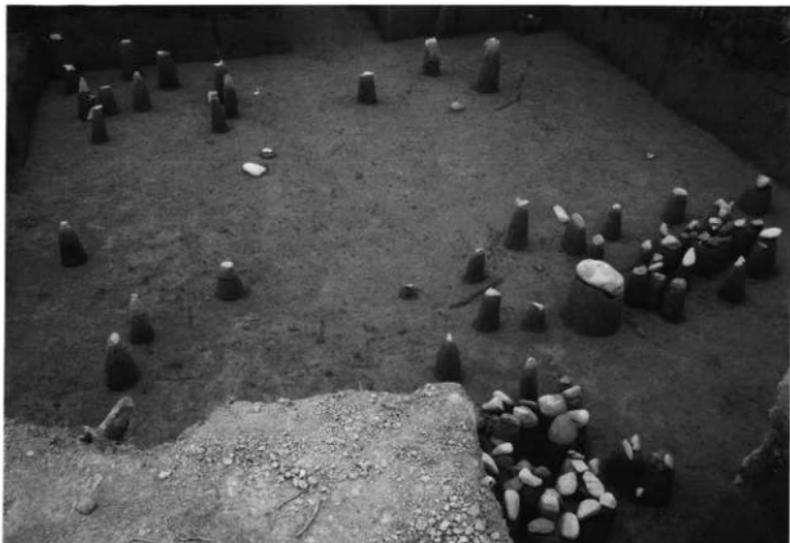
(2) ブロック 5 (IV遺跡エリア 1)



(1)ブロック 8 (IV遺跡エリア 1)



(2)礫群 24 (IV遺跡エリア 2)



(1)エリア3 遺物出土状況



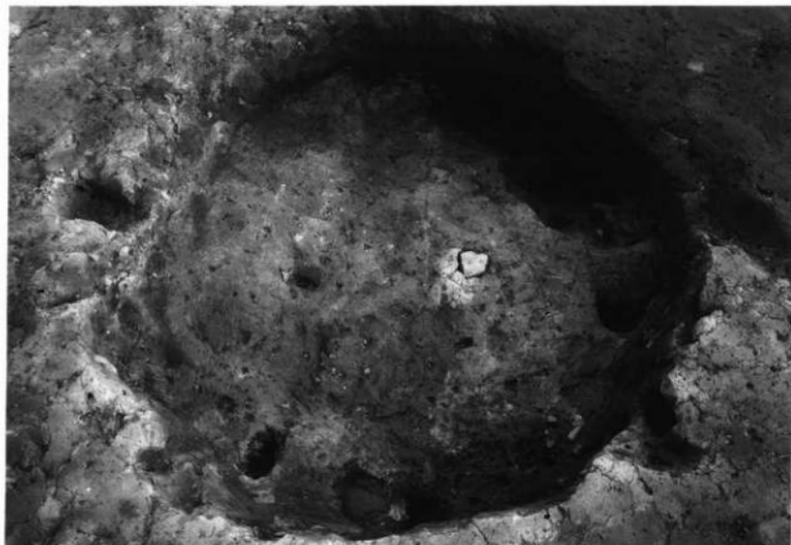
(2)礫群 17 (IV遺跡エリア3)



(1) 礫群 18 (IV遺跡エリア 3)



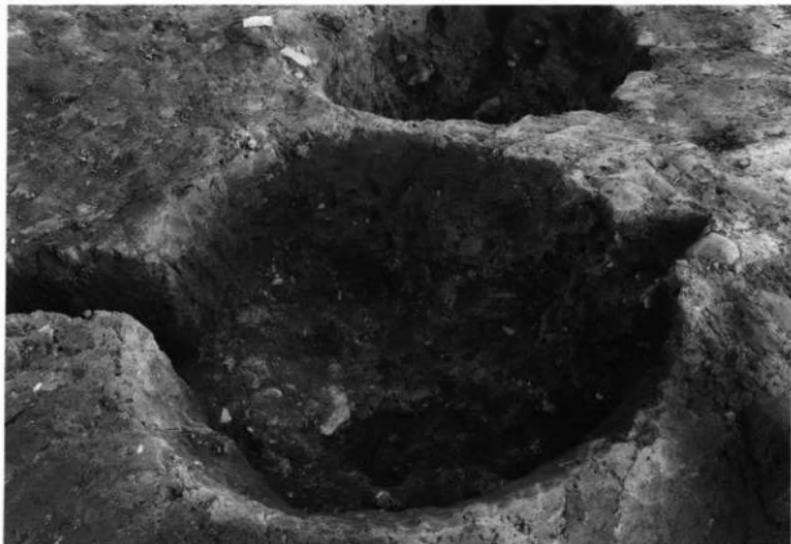
(2) ブロック 4 (IV遺跡細石器文化期)



(1) 土坑 11 (Ⅲ遺跡)



(2) 土坑 12 (Ⅲ遺跡)



(1)土坑 13 (Ⅲ遺跡)



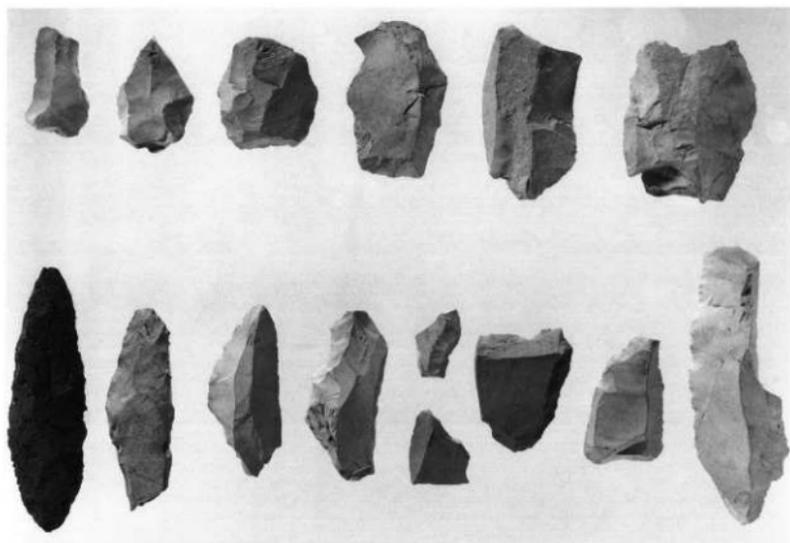
(2)土坑 14 (Ⅲ遺跡)



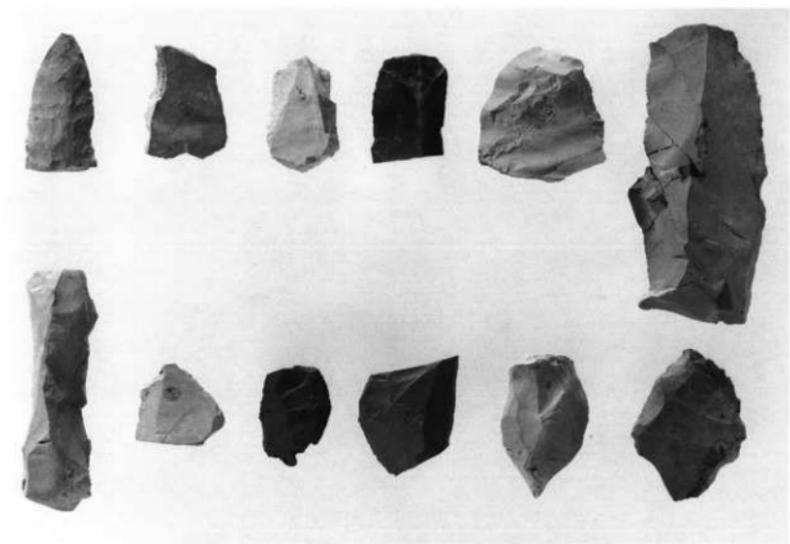
(1)土坑 15 (Ⅲ遺跡)



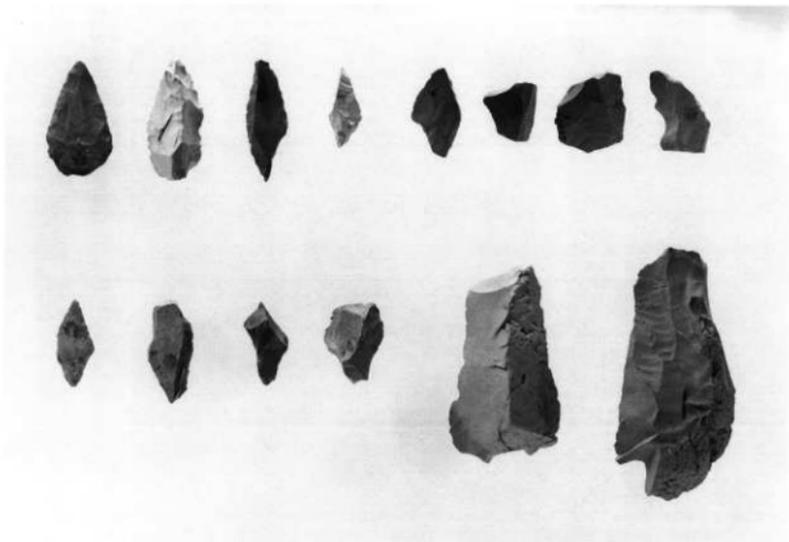
(2)土坑 16 (Ⅲ遺跡)



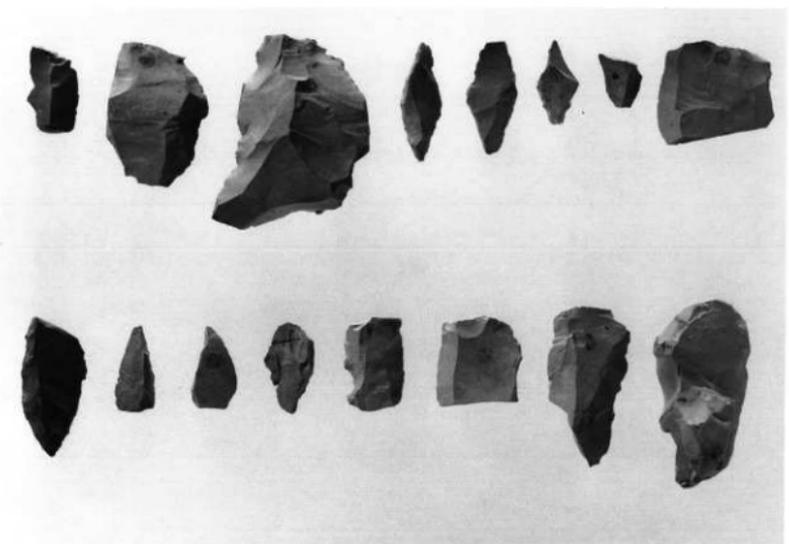
(1)ブロック1出土石器 (2/3) (上段、Ⅲ遺跡エリア1)
ブロック外出土石器 (2/3) (下段、Ⅲ遺跡エリア1)



(2)ブロック外出土石器 (エリア2)



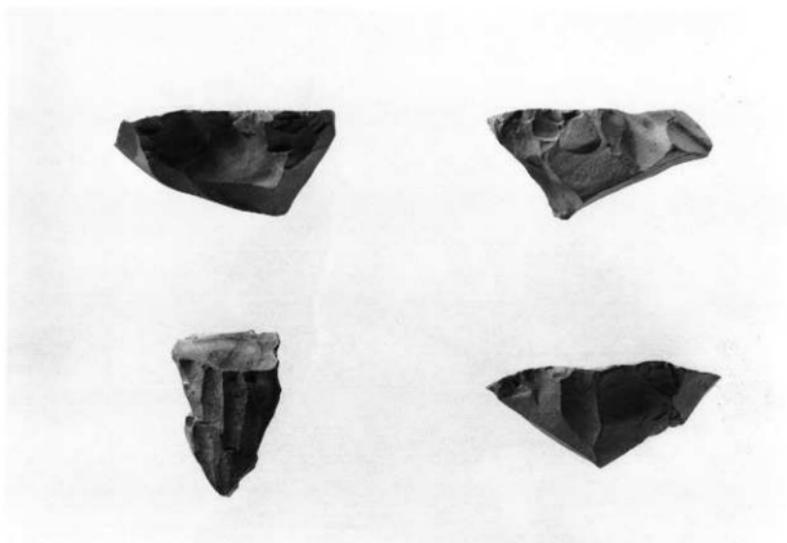
(1)ブロック外出土石器 (2/3) (上段左 3点、Ⅲ遺跡エリア2)
3ブロック 12 出土石器 (2/3) (上段右 5点、Ⅲ遺跡エリア3)
ブロック 11 出土石器 (2/3) (下段、Ⅲ遺跡エリア3)



(2)ブロック 21 出土石器 (2/3) (上段左 3点、Ⅲ遺跡エリア3)
ブロック 18 出土石器 (2/3) (上段右 5点、Ⅲ遺跡エリア3)
ブロック 22 出土石器 (2/3) (下段、Ⅲ遺跡エリア3)



(1)ブロック7、8出土石器 (2/3) (IV遺跡エリア1)



(2)ブロック4出土石器 (2/3) (IV遺跡細石器文化期)

報告書抄録

ふりがな	たかみがおかさんいせい							
書名	高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡							
副書名	東名高速道路磐田原パーキングエリア移設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ名	静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告							
シリーズ番号	第108集							
編著者名	富樫孝志 渡瀬治 佐藤清隆 河西学 森永速男 山下秀樹							
編集期間	財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所							
所在地	〒422-8002 静岡市谷田23-20 TEL054-262-4261							
発行年月日	1998年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
たかみがおかさんいせい 高見丘Ⅲ遺跡	しずおかけんいわた せん 静岡県磐田郡 豊田町高見丘	22484	9	34°44'45"	137°50'34"	19941220 / 19960831	17170	東名高速道路 磐田原PA移 設事業に伴う
たかみがおかさんいせい 高見丘Ⅳ遺跡	しずおかけんいわた せん 静岡県磐田郡 豊田町高見丘	22484	19	34°44'38"	137°50'31"	19941220 / 19960831	7290	埋蔵文化財発 掘調査業務
収納遺跡名	種別	主な時代	主な遺構			主な遺物	特記事項	
高見丘Ⅲ遺跡	集落跡	旧石器時代	土坑、礫群、配石、石器ブロック			尖頭器 ナイフ形石器 スクレイパー 石核		
高見丘Ⅳ遺跡	集落跡	旧石器時代	土坑、礫群、配石、石器ブロック			尖頭器 ナイフ形石器 スクレイパー 石核		

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告第108集

高見丘Ⅲ・Ⅳ遺跡

東名高速道路磐田原パーキングエリア移設事業に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告書

平成10年3月31日発行

編集発行 財団法人

静岡県埋蔵文化財調査研究所

静岡市谷田23-20

TEL 054-262-4261 (代表)

印刷所 株式会社篠原印刷所

静岡市登呂6丁目7-5

TEL 054-286-5141







